# 平成20年度 保育園サービス第三者評価事業 報告書

平成 21 年 3 月 杉 並 区

## はじめに

笙	1	部	利	田	老	囯	杏
ヵ	- 1		一个リ	т	ъ	미미	Ħ

	調査の概要	1
	1 調査の目的	1
	2 調査対象者	1
	3 調査方法	1
	4 調査期間	1
	5 利用者調査票の配布・回収状況	1
	6 調査項目の構成	3
	7 報告書の見方	3
	全体の調査結果	4
	1 回答者の属性	4
	2 総合的な満足度	6
	3 毎日の保育サービスについて	8
	4 お子さんや保護者の尊重について	10
	5 要望・意見やトラブルへの対応について	12
	6 利用(入園)前の保育園の対応について	13
	7 クロス集計結果	14
	8 自由意見(保育園に対して日頃感じていること	·要望)16
	各保育園の利用者調査結果	17
第 2	第2部 事業評価	
	 評価の概要	71
	1 評価の概要	71
	2 評点のつけ方	71
	3 訪問調査とフィードバック	72
	各保育園の評価結果報告書	73

## 【巻末】

付属資料1:杉並区立保育園 利用者調査 調査票

付属資料2:経営層合議シート(事業プロフィル・組織マネジメント・サービス分析)

付属資料3:職員用シート(組織マネジメント・サービス分析)

## はじめに

保育園サービス第三者評価は、第三者からみた保育園のサービスの評価結果を幅広く利用者や保育園に情報提供することにより、サービス内容を利用者に明らかにするとともに公立保育園におけるサービスの質の向上に向けた取り組みを促し、利用者本位のサービスシステムの構築を目的として行うものである。

評価対象:杉並区立の次の13保育園を対象としている。

	保育園名	利用世帯数	備考
1	杉並保育園	74	延長
2	上高井戸保育園	36	
3	高井戸保育園	80	9週・延長
4	大宮前保育園	65	
5	大宮保育園	78	9週・延長
6	本天沼保育園	78	8ヶ月・延長
7	荻窪南保育園	71	障害
8	高井戸東保育園	81	8ヶ月・延長
9	松ノ木保育園	74	
10	阿佐谷北保育園	89	8ヶ月・障害
11	久我山保育園	86	8ヶ月・延長
12	浜田山保育園	89	9週・延長
13	今川保育園	78	8ヶ月・延長・障害
	合 計	979	

備考欄の9週 9週目以上の園、8ヶ月 8ヶ月以上の園、記載なし 1歳以上の園、 延長 延長保育実施園、障害 障害児保育実施園

評価機関:ひょう株式会社

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号:機構 07-173)

評価者:評価者11名の修了者番号は以下の通りである。

No . H0302007、No . H0302024、No . H0302026、No . H0401054、No . H0401084、

No . H0403050, No . H0405013, No . H0501039, No . H0501052, No . H0501071,

No . H0502002

## 評価の流れ

	内容	時期・期間
1	関係者説明会	平成 20 年 9月
2	利用者調査票配布(利用者調査)	平成 20 年 10 月
3	経営層自己評価票作成(事業評価)	平成 20 年 10 月
4	職員自己評価票作成(事業評価)	平成 20 年 10 月
5	訪問調査 利用者調査・事業評価結果報告	平成 20 年 11 月 ~ 12 月
6	評価結果のフィードバック	平成 21 年 2 月

# 第1部 利用者調查

## 調査の概要

## 1 調査の目的

実際に杉並区立保育園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して感じている こと、また意見や要望について把握することを目的とする。

## 2 調査対象者

13 保育園の利用者(保護者)を対象とした。(複数のお子さんを預けている場合は、一番年齢の低いお子さんのことについて回答。)

## 3 調査方法

無記名のアンケート方式で実施した。園より保護者全員にアンケート票を手渡しで配布し、回収 については、園を介さず直接評価機関へ郵送する方法で行った。

### 4 調査期間

平成 20 年 10 月 10 日 ~ 平成 20 年 10 月 31 日

#### 5 利用者調査票の配布・回収状況

全世帯に配布し、13 園の回収率は59.6%~82.7%、平均有効回収率は68.2%である。

	保育園名	配布数	回収数	回収率
1	杉並保育園	74	54	73.0%
2	上高井戸保育園	36	26	72.2%
3	高井戸保育園	80	50	62.5%
4	大宮前保育園	65	47	72.3%
5	大宮保育園	78	53	67.9%
6	本天沼保育園	78	49	62.8%
7	荻窪南保育園	71	51	71.8%
8	高井戸東保育園	81	67	82.7%
9	松ノ木保育園	74	52	70.3%
10	阿佐谷北保育園	89	53	59.6%
11	久我山保育園	86	56	65.1%
12	浜田山保育園	89	56	62.9%
13	今川保育園	78	54	69.2%
	合 計	979	668	68.2%

#### (参考:標本誤差)

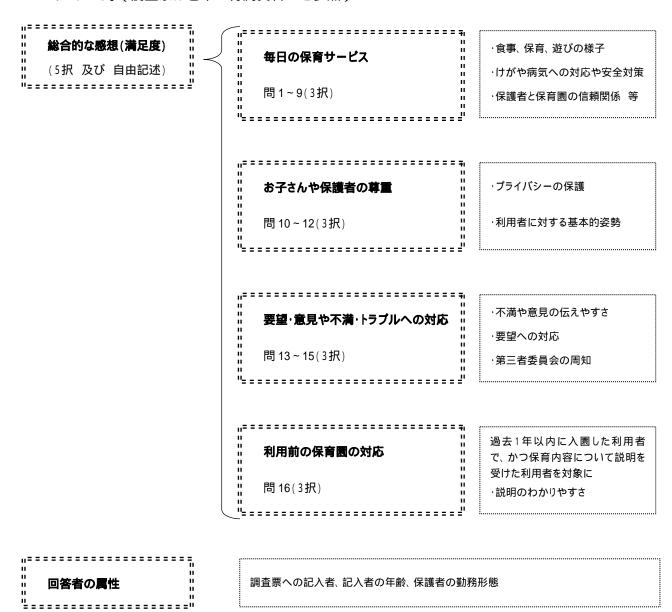
調査結果の比率から母集団(対象世帯全体)の傾向を推測するには、統計上の誤差(標本誤差)を考慮する必要がある。N(母集団)に 979 人、n(回答者数)に 668 人をあてはめて算出すると、以下の表の通りである。知りたい設問の回答率に誤差(±1.3~±2.1)をあてはめて母集団の傾向を推測することになる。

回答率	標本誤差
10%	± 1.3
20%	± 1.7
30%	± 2.0
40%	± 2.1
50%	± 2.1
60%	± 2.1
70%	± 2.0
80%	± 1.7
90%	± 1.3

「標本誤差」とは、全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。本調査は標本調査ではないが、全体と回答者数に差が生じているため、参考として誤差を算出した。信頼度 95%の計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。例えば、ある設問の選択肢の回答比率が 70%であった場合「全体からの回収があったとしても、その回答比率の誤差の範囲は最高でも $\pm 2.0\%$ 以内( $68.0 \sim 72.0\%$ )である」とみることができる。

#### 6 調査項目の構成

調査票は、回答者の属性のほかに、園の様子について(16問)と、総合的な感想(1問)で構成されている。(調査票は巻末の付属資料1を参照)



今年度は、第三者評価の標準的な調査項目に杉並区独自の項目を加えている。追加した項目は以下 の通りである。

問9 友達とのふれあいなど、人とのかかわり方の基礎が育てられていると思いますか

#### 7 報告書の見方

回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で表示してある。 百分率は小数第二位を四捨五入してあるため、比率の合計が100%にならない場合がある。

作図・表の都合上、設問や回答の選択肢を要約している場合がある。

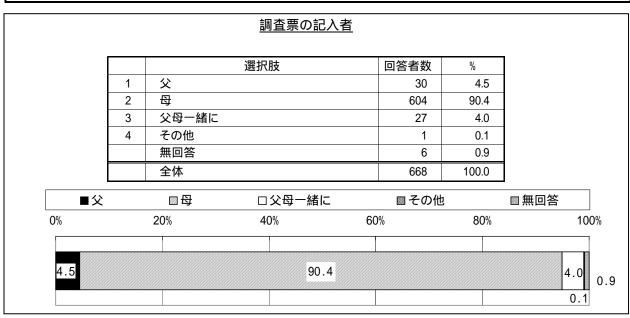
## 全体の調査結果

### 1 回答者の属性

調査票の記入者668人の約9割は母親である。

回答者の年齢構成をみると、35~39歳が4割弱(38.0%)、30~34歳が3割強(32.2%)となっており、30代が全体の約7割を占めている。40代が2割強(22.8%)、20代は6.0%という結果である。

勤務形態をみると、父親の 76.2%、母親の 63.5%がフルタイム(常勤) である。なお、母親の 18.7% はパート、アルバイト勤務である。



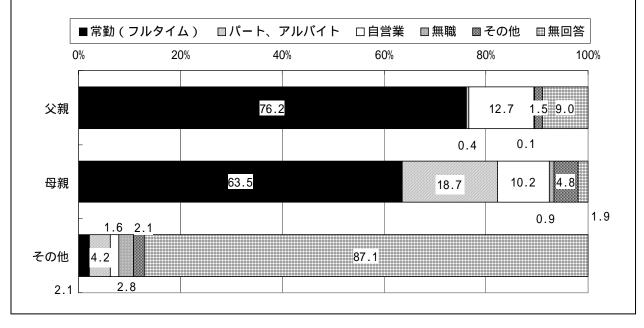
#### 記入者の年齢 選択肢 回答者数 20 歳未満 0.0 2 20~25 歳未満 2 0.3 3 25~30 歳未満 38 5.7 30~35 歳未満 215 32.2 35~40 歳未満 254 38.0 5 40~50 歳未満 152 22.8 6 50 歳以上 2 0.3 無回答 0.7 5 全体 668 100.0 ■20~25歳未満 ■20歳未満 ■30~35歳未満 ■35~40歳未満 □25~30歳未満 ■40~50歳未満 ■50歳以上 ■無回答 40% 60% 80% 100% 0% 20% 22.8 5.7 32.2 38.0 0.7 0.3 0.3

## 保護者の勤務形態

父親	選択肢	回答者数	%
1	常勤(フルタイム)	509	76.2
2	パート、アルバイト	3	0.4
3	自営業	85	12.7
4	無職	1	0.1
5	その他	10	1.5
	無回答	60	9.0
	全体	668	100.0

母親	選択肢	回答者数	%
1	常勤(フルタイム)	424	63.5
2	パート、アルバイト	125	18.7
3	自営業	68	10.2
4	無職	6	0.9
5	その他	32	4.8
	無回答	13	1.9
	全体	668	100.0

その他	選択肢	回答者数	%
1	常勤(フルタイム)	14	2.1
2	パート、アルバイト	28	4.2
3	自営業	11	1.6
4	無職	19	2.8
5	その他	14	2.1
	無回答	582	87.1
	全体	668	100.0

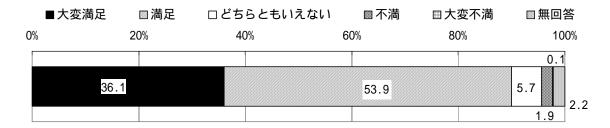


#### 2 総合的な満足度

現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。(1つに )

「大変満足」が4割弱(36.1%)、「満足」が5割強(53.9%)となっており、これらを合計した"園に概ね満足している"と感じる人は、回答者の9割を占めている。一方、「不満」、「大変不満」をあわせても1割に達せず、特に強い不満を感じる人はごくわずかである。

#### 総合的な感想(満足度)



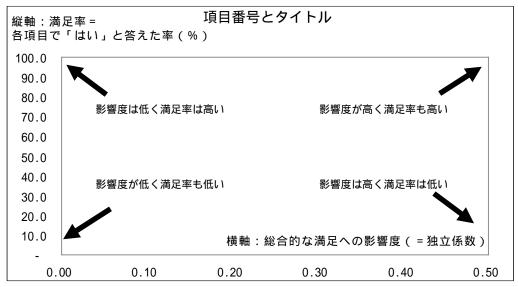
#### (満足影響度について)

満足影響度とは、総合的な満足度(1 大変満足、2 満足、3 どちらともいえない、4 不満、5 大変不満)と1~16の各項目(1 はい、2 どちらともいえない、3 いいえ)との相対的な関係を表したものである。

各項目が園の総合的な満足度とどのような関係(影響が強いのか弱いのか)にあるのかがわかり、満足度をあげるために取り組むべきことについて、優先順位付けを検討する際の手がかりとなるものである。影響度は、最小0.0~最大1.0の独立係数であらわされ、0.3以上は影響がある、0.4以上は強い影響がある、0.6以上は非常に強い影響がある、という整理をしている。

毎日の保育サービス、お子さんや保護者の尊重、要望・意見や不満・トラブルへの対応、利用前の保育園の対応などの分野ごとに、満足率(各項目に「はい」と答えた率)とあわせて独立係数(影響度)を掲載した。各項目の分布する位置による満足率と影響度の考え方は、以下の通りとなっている。

#### 満足影響度グラフの見方



## (満足率・独立係数一覧)

分野	項 目 名	満足率	独立係数
	1.食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	86.98	0.206
	2.戸外遊びの機会は十分ですか	86.53	0.222
	3.保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	75.45	0.195
	4.保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	86.83	0.252
毎日の伊奈井一	5.安全対策が十分取られていると思いますか	62.72	0.301
毎日の保育サー ビス	6.保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	66.17	0.193
	7.お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか	86.23	0.375
	8.保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	83.23	0.382
	9.友達とのふれあいなど、人との関わり方の基礎が育てられていると思いますか	92.07	0.239
	平均		0.263
	10.職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー (秘密)を守っていますか	78.14	0.295
お子さんや保護	11.お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	90.72	0.353
者の尊重	12.職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	85.93	0.261
	平均	84.93	0.303
	13.要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	52.54	0.316
要望・意見や不 満・トラブルへ	14.保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	60.78	0.377
の対応	15.要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか	25.90	0.088
	平均	46.41	0.260
利用前の保育園 の対応	16.保育園から受けた説明はわかりやすかったですか	82.39	0.258
	全平均	73.54	0.251

#### 3 毎日の保育サービスについて

保育や遊びの様子、病気やけがへの対応、保護者と保育園の信頼関係など"毎日の保育サービス について保護者が感じていることは次の通りである。

9割を超える回答者が「9.人とのかかわり方の基礎が育てられている」と回答しており、友達や保育士とのふれあいの中で、子どもはあいさつや遊びの中にあるルールなどを身につけている様子が認められている。また、「1.食事・おやつなど」、「2.戸外遊びの機会」など毎日の保育園での生活、「4.発熱や怪我などの処置、保護者への連絡等」、「7.お子さんについて職員と相談できる」、「8.職員の聞く姿勢」など保護者と園の信頼関係に対する項目についても、8割を大きく超える回答者が満足している結果である。

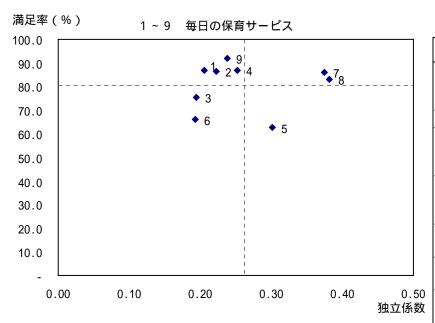
一方、「6.保護者が参加しやすい行事日程」への満足率は7割を下回っており、保護者の多様な就業状況の中、園の行事への参加が容易とはいえない状況がうかがえる。行事日程の早めの周知や日程決定の経緯を明らかにすることなどで、参加しやすいと感じる人を増やすことは可能ではないか。また、「5.安全対策が十分取れられている」についても満足率は6割強にとどまり、記述回答には園舎の耐震性や不審者対策、遊具の安全性などへの関心の高さもあらわれている。

なお、「3.保護者の急な変更への柔軟な対応」に満足する人は約4分の3を占めるが、保育園によって延長スポット保育の実施状況が異なることなどから、園による満足率の違いが大きい項目である。

#### 【満足影響度】

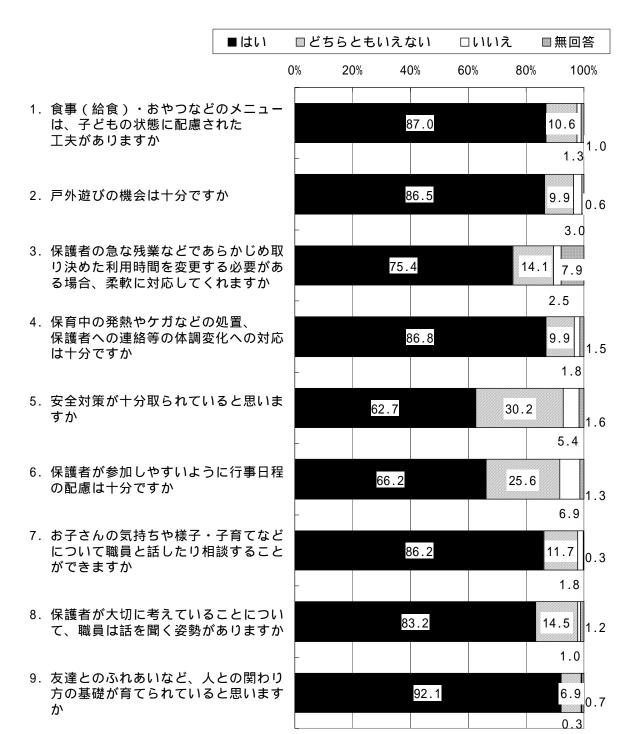
園の総合的な満足度には、項目 8、7、5(影響の強い順)が影響を与えている。保護者と園の信頼 関係や安全対策に満足している人は、園の総合的な満足度も高いことがうかがえる。

#### 毎日の保育サービス (満足率平均80.69%、独立係数平均0.263)



#### 項目名

- 食事(給食)・おやつなどのメニューは、 子どもの状態に配慮された工夫がありますか
- 2. 戸外遊びの機会は十分ですか
- 3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り 決めた利用時間を変更する必要がある 場合、柔軟に対応して〈れますか
- 4. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護 者への連絡等の体調変化への対応は 十分ですか
- 5. 安全対策が十分取られていると思いますか
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどに ついて職員と話したり相談することができ ますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 9. 友達とのふれあいなど、人との関わり方の基礎が育てられていると思いますか



#### 4 お子さんや保護者の尊重について

利用者のプライバシー保護や職員の礼儀正しさなど、"お子さんや保護者の尊重"について保護者が感じていることは次の通りである。

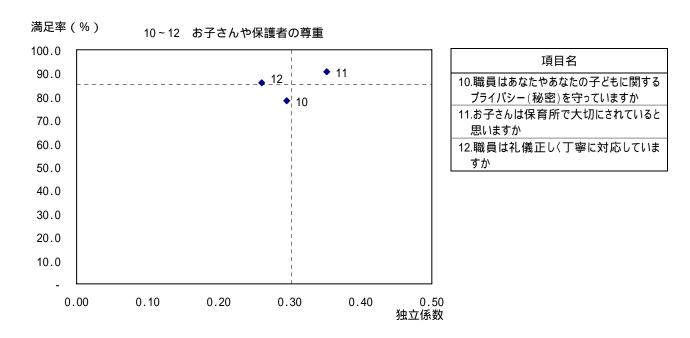
9割を超える回答者が「11.お子さんは保育園で大切にされている」ことを肯定的にとらえており、子どもの成長の様子や表情を通して、保護者にも子どもが園で大切にされていることが理解されている。また、「12.職員は礼儀正しく丁寧に対応している」ことを肯定的にとらえる率も8割を大きく超え、保育士をはじめとする職員の対応に概ね満足している様子がうかがえる。

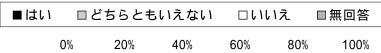
一方、「10. 職員はプライバシー(秘密)を守っている」という率は8割を下回る。しかし、否定的な回答が多いわけではなく、保護者には具体的な取り組みが伝わっていないという背景が推察される。園では個人情報保護法に則り、子どもや保護者の個人情報が掲載された書類等の適正な管理、園に出入りするボランティアや実習生などに対する守秘義務指導の徹底、園内での写真やビデオの撮影のルールづくりなどを進めていることから、このような取り組みの周知がこの項目の肯定的な回答率をあげる一因となると思われる。

#### 【満足影響度】

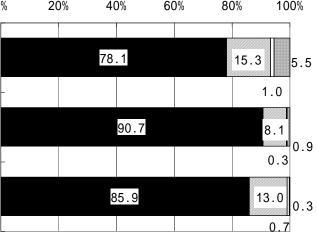
園の総合的な満足度には、項目 11 が影響を与えている。

#### お子さんや保護者の尊重 (満足率平均84.93%、独立係数平均0.303)





- 10.職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか
- 11.お子さんは保育所で大切にされていると思いますか
- 12.職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか



#### 5 要望・意見やトラブルへの対応について

要望や不満などを言いやすい雰囲気、意見を聞き入れる園の体制、トラブルが起きた際の対応など"要望・意見や不満・トラブルへの対応"について保護者が感じていることは次の通りである。

肯定的な率をみると「13.要望や不満は言いやすい」は5割強、「14.要望や不満などにきちんと対応している」は6割強にとどまり、"保育サービス"や"利用者の尊重"と比較すると肯定的な回答は低くとどまる傾向となっている。いずれも「どちらともいえない」とする人の割合が3割ほどを占め、保護者の感じ方も一様ではないことがうかがえる。

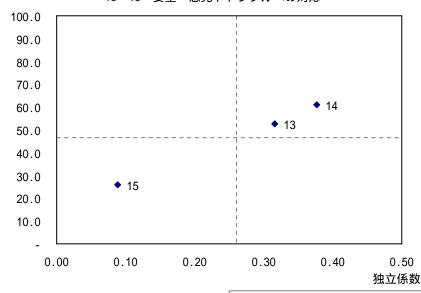
「15.第三者委員に相談できること」を知っている人は全体の4分の1にとどまる。いずれの園も ポスターなどの掲示などは行っており、引き続きの周知活動が必要といえる。

#### 【満足影響度】

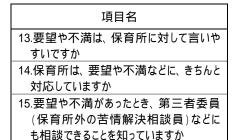
園の総合的な満足度には、項目 13 及び 14 が影響を与えている。要望や不満の有無に関わらず、何かあれば聞いてもらえる、対応してもらえるという安心感は、園全体の満足感につながるものといえる。

## 要望・意見やトラブルへの対応 (満足率平均 46.41%、独立係数平均 0.260)

満足率(%) 13~15 要望・意見やトラブルへの対応

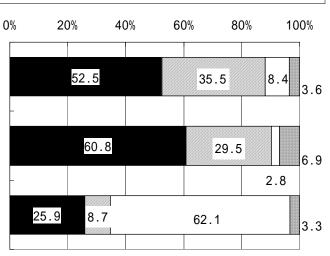


■はい



■無回答

- 13.要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか
- 14.保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか
- 15.要望や不満があったとき、第三者委員 (保育所外の苦情解決相談員)などに も相談できることを知っていますか



□いいえ

∞どちらともいえない

## 6 利用(入園)前の保育園の対応について

入園に際して保育園から受けた説明については以下の通りである。

(利用開始が1年以内かつ説明を受けた方が回答)

1年以内に利用を開始した 190 名のうち、保育内容の説明を受けたのは 176 名である。176 名の うち8割を超える人が説明はわかりやすかったと感じている。記述回答には、「どちらともいえない」 理由として準備が必要な持ち物の複雑さをあげるものなどもみられるが、利用前の保護者の不安を 取り除く効果については概ね満足していることが表れている。

過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか。

	回答者数	%
はい	190	28.4
いいえ	416	62.3
無回答	62	9.3
合計	668	100.0

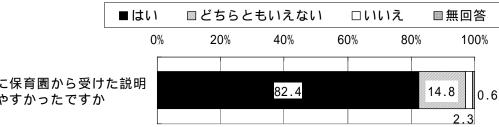
#### 利用を始める前に保育内容などの説明がありましたか。(で「はい」と答えた190名を対象)

	回答者数	%
はい	176	92.6
いいえ	4	2.1
無回答	10	5.3
合計	190	100.0

#### 16. 入園の際に保育園から受けた説明はわかりやすかったですか。(で「はい」と答えた 176 名を対象)

	回答者数	%
はい	145	82.4
どちらともいえない	26	14.8
いいえ	4	2.3
無回答	1	0.6
合計	176	100.0

#### 利用(入園)前の保育園の対応について (満足率 82.39%、独立係数 0.258)



16. 入園の際に保育園から受けた説明 はわかりやすかったですか

## 7 クロス集計結果

回答者の属性別にみた総合的な満足度は以下の通りである。

"園に概ね満足している"率は父親・母親いずれも9割を超えるが、「大変満足」と強い満足を感じる率は、父親(23.3%)よりも母親(36.8%)で高い。

年齢別で" 園に概ね満足している "率をみると、25~30 歳未満(81.5%) 30~35 歳未満(87.0%) 35~40 歳未満(93.3%) 40~50 歳未満(92.1%)となり、保護者の年齢の高さと満足度は比例する傾向がみられる。

勤務形態別では、父親、母親、その他の保護者のいずれにおいても、"園に概ね満足している"率は、パート・アルバイト及び自営よりも常勤(フルタイム)で高い。

年齢別 - 25 歳未満及び 50 歳以上、勤務形態別 - 無職及びその他は、回答者数が少ないためコメントは控える。 属性の無回答者は除く。

#### 調査記入者と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
父	回答者数	30人	7人	20人	2人	1人	0人	0人
	(%)	100.0%	23.3%	66.7%	6.7%	3.3%	0.0%	0.0%
母	回答者数	604人	222人	323人	34人	11人	1人	13人
內	(%)	100.0%	36.8%	53.5%	5.6%	1.8%	0.2%	2.2%
父母一緒に	回答者数	27人	9人	16人	1人	1人	0人	0人
文母 稲に	(%)	100.0%	33.3%	59.3%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%
その他	回答者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
تار دی	(%)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 調査記入者の年齢と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
20-5年土港	回答者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
20歳未満	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20~25歳未満	回答者数	2人	0人	1人	0人	0人	1人	0人
20~20成人间	(%)	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
25~30歳未満	回答者数	38人	14人	17人	5人	1人	0人	1人
25~30成人间	(%)	100.0%	36.8%	44.7%	13.2%	2.6%	0.0%	2.6%
30~35歳未満	回答者数	215人	75人	112人	16人	6人	0人	6人
30~33成火闸	(%)	100.0%	34.9%	52.1%	7.4%	2.8%	0.0%	2.8%
35~40歳未満	回答者数	254人	93人	144人	11人	1人	0人	5人
33~40成人间	(%)	100.0%	36.6%	56.7%	4.3%	0.4%	0.0%	2.0%
40~50歳未満	回答者数	152人	56人	84人	6人	5人	0人	1人
中0~50成不何	(%)	100.0%	36.8%	55.3%	3.9%	3.3%	0.0%	0.7%
50歳以上	回答者数	2人	1人	1人	0人	0人	0人	0人
30/成以上	(%)	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## \_\_\_\_\_\_ 1 父親の勤務形態と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤(フルタイム)	回答者数	509人	178人	283人	28人	10人	0人	10人
市 動(ブルダイム)	(%)	100.0%	35.0%	55.6%	5.5%	2.0%	0.0%	2.0%
パート、アルバイト	回答者数	3人	1人	1人	0人	0人	0人	1人
7(-1, 5,70)(41)	(%)	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
自営業	回答者数	85人	33人	43人	5人	2人	0人	2人
日日未	(%)	100.0%	38.8%	50.6%	5.9%	2.4%	0.0%	2.4%
無職	回答者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
<del>無</del> 地	(%)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数	10人	5人	4人	1人	0人	0人	0人
COAIR	(%)	100.0%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## - 2 母親の勤務形態と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
学塾バラリカスノン	回答者数	424人	146人	239人	17人	11人	1人	10人
常勤(フルタイム)	(%)	100.0%	34.4%	56.4%	4.0%	2.6%	0.2%	2.4%
パート、アルバイト	回答者数	125人	43人	66人	14人	0人	0人	2人
7(-1, 5,70)(41)	(%)	100.0%	34.4%	52.8%	11.2%	0.0%	0.0%	1.6%
自営業	回答者数	68人	29人	31人	5人	2人	0人	1人
日己未	(%)	100.0%	42.6%	45.6%	7.4%	2.9%	0.0%	1.5%
無職	回答者数	6人	4人	2人	0人	0人	0人	0人
<del>八八</del> 相以	(%)	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数	32人	15人	15人	2人	0人	0人	0人
C 07  E	(%)	100.0%	46.9%	46.9%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%

## \_\_\_3 その他でお迎えに行〈方の勤務形態と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		A+1		<b>*</b> # □	どちらとも	<b>7</b> \#	<b></b>	m □ ⁄⁄
		合計	大変満足	満足	いえない	不満	大変不満	無回答
常勤(フルタイム)	回答者数	14人	4人	8人	2人	0人	0人	0人
市 動(ブルダイム)	(%)	100.0%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
パート、アルバイト	回答者数	28人	9人	14人	4人	1人	0人	0人
7 1 7 7 7 7 7 7 1 1	(%)	100.0%	32.1%	50.0%	14.3%	3.6%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数	11人	3人	6人	1人	1人	0人	0人
口口来	(%)	100.0%	27.3%	54.5%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%
無職	回答者数	19人	6人	10人	1人	1人	0人	1人
光代和以	(%)	100.0%	31.6%	52.6%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%
その他	回答者数	14人	7人	6人	1人	0人	0人	0人
COJIE	(%)	100.0%	50.0%	42.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%

## 8 自由意見(保育園に対して日頃感じていること・要望)

調査票の自由記述欄および質問別記述欄に寄せられた意見を、内容によって分類すると次の通りとなる。

大分類	中分 <b>類</b>	件数	内容
1 毎日の保育	1 保育内容	68	遊びや活動・おもちゃや絵本・表現活動・昼寝
	2 散歩、園外活動	99	頻度や場所、自然や社会との関わり
	3 不定時保育	88	登園·降園時間の融通·延長保育·保 護者の都合による保育への対応
	4 食事・おやつ	104	メニューや量
	5 保健·衛生 (病気·けが·健康)	110	園での発熱等への対応・与薬・けが への対応・健康管理や病気予防
	6 安全性·園舎·園庭·周辺 環境	149	安全対策・園や周辺の環境
	7 行事の内容や日程·保護 者会	120	行事や保護者会の内容や参加しやす さ・父母会について
	8 毎日の連絡	116	子どもの気持ちや様子についての連絡(主に送迎時)・写真やビデオ
( 901 件 )	9 個別相談·園からのお知 らせ	47	育児などの相談のしやすさ・おたより
2 子ども・保護者の尊重	1 プライバシー保護	34	プライバシー保護
	2 子ども·保護者の気持ち の尊重	17	気持ちに配慮した言葉遣いや態度
	3 友達・人とのかかわり方	69	友達・人とのふれあいなど、人とのか かわり方の基礎づくり
(469件)	4 保育士·園	349	保育士・園の対応
3 不満・要望・トラブル	1 不満・要望の言いやすさ	74	言いやすい雰囲気・聞〈姿勢
への対応	2 不満・トラブル対応	60	不満やトラブルへの対応の的確さ
( 158 件 )	3 第三者委員·苦情窓口	24	第三者委員など外部窓口の周知
4 利用前の対応 ( 25 件 )	1 入園時説明	25	利用前の保育内容の説明
5 保育行政·保育	1 区への意見・要望	61	保育園事務・兄弟姉妹の入園、民営 化について
サービス·少子化対策 ( 71 件 )	2 子どもを生み育てること	10	児童福祉行政・子育て支援策・子育て しやすい社会

## 各保育園の利用者調査結果

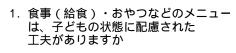
園ごとの利用者調査結果は、それぞれ次の通りである。

1	杉 並 保 育 園 19
2	上高井戸保育園23
3	高井戸保育園27
4	大宮前保育園31
5	大 宮 保 育 園 35
6	本 天 沼 保 育 園 39
7	荻窪南保育園43
8	高井戸東保育園 … 47
9	松 ノ 木 保 育 園 51
10	阿佐谷北保育園55
11	久 我 山 保 育 園 59
12	浜田山保育園63
13	今 川 保 育 園67

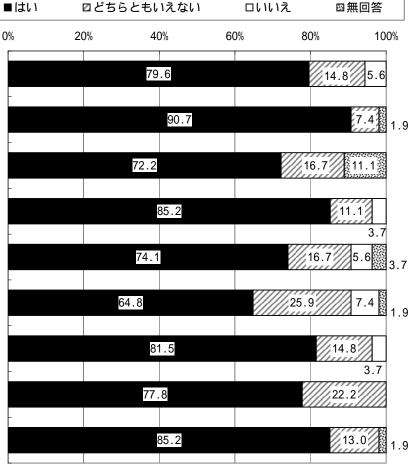
Ш

## 《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 54



- 2. 戸外遊びの機会は十分ですか
- 3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか
- 4. 保育中の発熱やケガなどの処置、 保護者への連絡等の体調変化への対応 は十分ですか
- 5. 安全対策が十分取られていると思いますか
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思いますか



## 《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

回答者数 = 54

■はい	はい ∅どちらともいえない □いいえ		いえ [	3無回答	
0%	20%	40%	60%	80%	100%
-		85.2		7	.4 5.6
-		,			1.9
		90.7			9.3
-		85.2			14.8

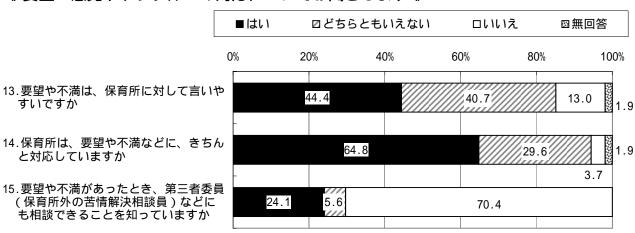
10.職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか

11.お子さんは保育所で大切にされている と思いますか

12.職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか

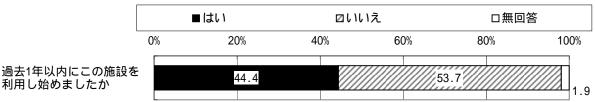
## 《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 54



## 《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

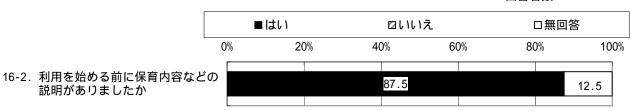
回答者数 = 54



16-1. 過去1年以内にこの施設を

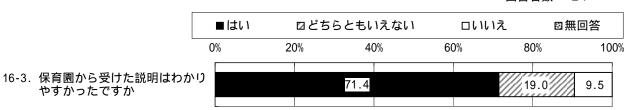
## 《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

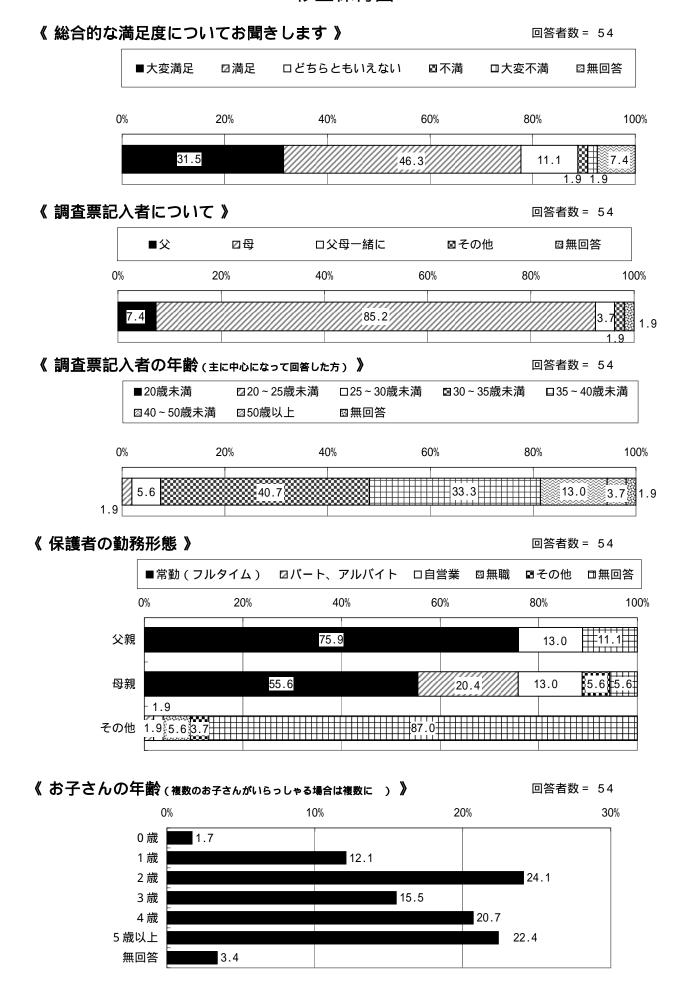
回答者数 = 24



## 《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 21





## 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 26



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

10.

11.

12.

回答者数= 26

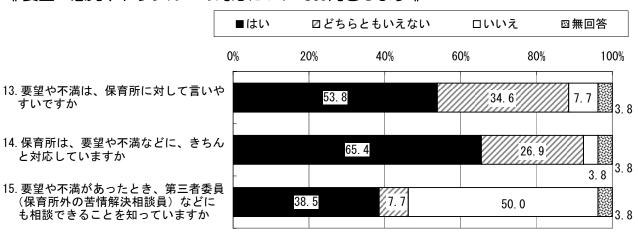
11. 5

	■はい	∅どち	らともいえない	ロい	いえ ロ	图無回答
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
職員はあなたやあなたの子どもに関るプライバシー(秘密)を守っていますか			84. 6			15. 4
. お子さんは保育所で大切にされてい と思いますか	3		100.0			
職員は礼儀正しく丁寧に対応してい すか	‡ 		88. 5			7.7

88. 5

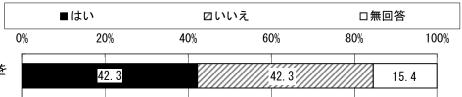
## 《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数= 26



## 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

回答者数= 26



16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

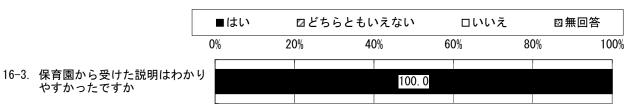
## 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

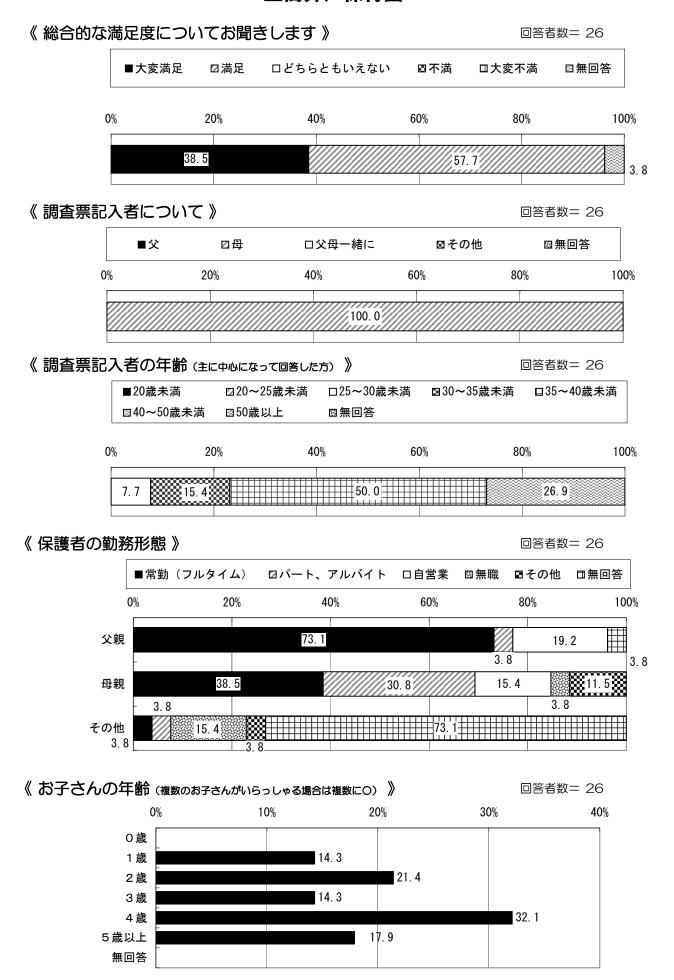
回答者数= 11



《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

回答者数= 9







∅どちらともいえない

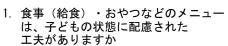
## 《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

■はい

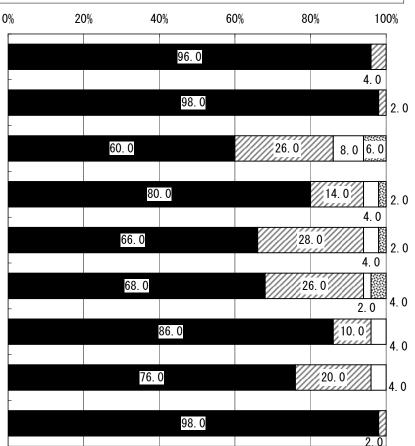
回答者数= 50

四無回答

口いいえ



- 2. 戸外遊びの機会は十分ですか
- 3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか
- 4. 保育中の発熱やケガなどの処置、 保護者への連絡等の体調変化への対応 は十分ですか
- 5. 安全対策が十分取られていると思いますか
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思います か



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

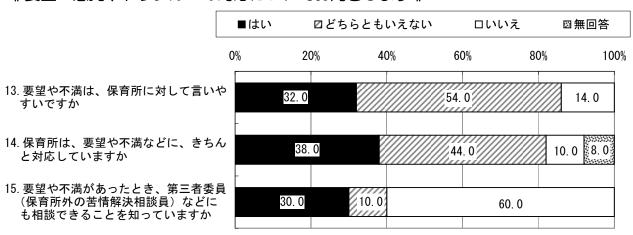
回答者数= 50

■はい	∅どちらともいえない		はい ロ	いいえ	図無回答
0%	20%	40%	60%	80%	100%
		66. 0		28.0	6.0
-					4. 0
		94.	0		
-					2. 0
		72. 0		2	8. 0

- 10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか
- 11. お子さんは保育所で大切にされている と思いますか
- 12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか

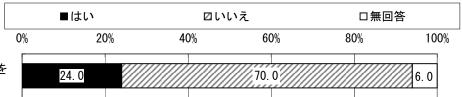
## 《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数= 50



# 《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

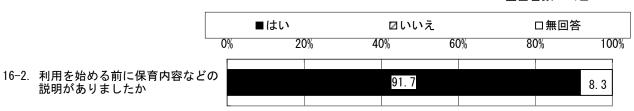
回答者数= 50



16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

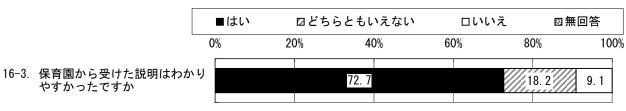
## 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

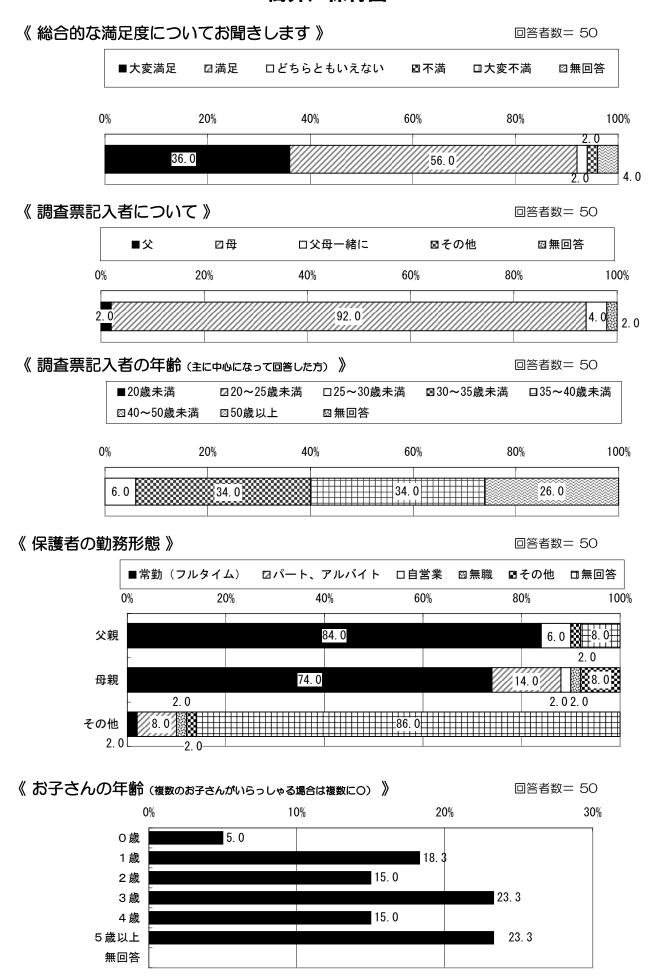
回答者数= 12



## 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

回答者数二 11

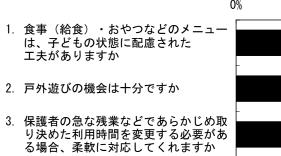


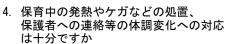


呆 大 育 宮 貳 前

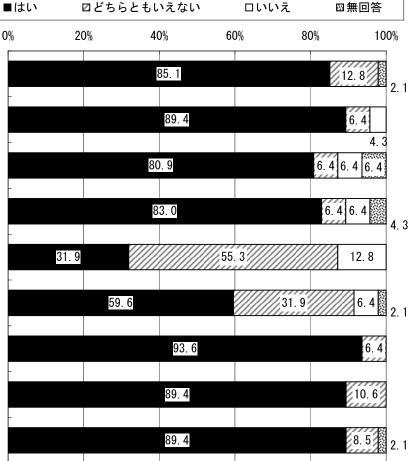
#### 《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数= 47





- 5. 安全対策が十分取られていると思いますか
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 9. 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思いますか



#### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

回答者数= 47

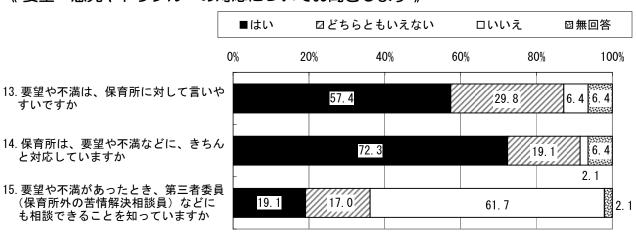
	■はい	۵٤۶	ちらともいえない	ا□	いいえ	⊞無回答
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
関す いま			76. 6		14.	9 8.5
いる			87. 2			12.8
いま	<u>-</u>		87. 2			12.8

10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか

- 11. お子さんは保育所で大切にされている と思いますか
- 12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか

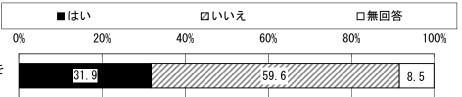
#### 《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数= 47



## 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

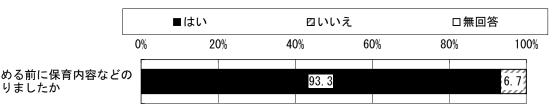
回答者数= 47



16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

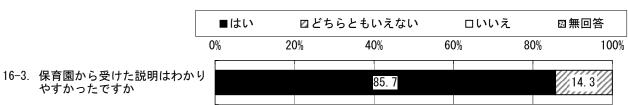
## 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

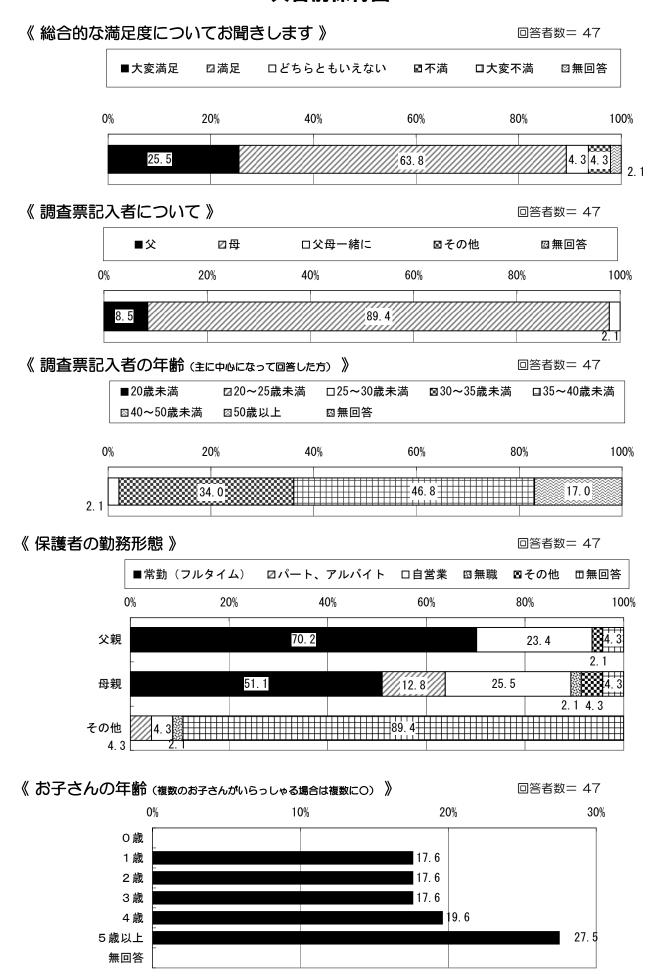
回答者数= 15



16-2. 利用を始める前に保育内容などの 説明がありましたか

#### 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

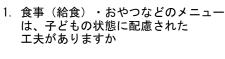




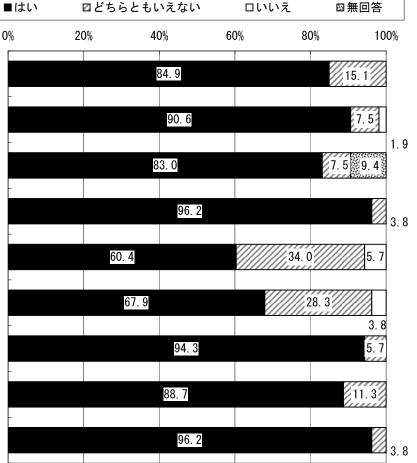
保育園

#### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 53



- 2. 戸外遊びの機会は十分ですか
- 3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか
- 4. 保育中の発熱やケガなどの処置、 保護者への連絡等の体調変化への対応 は十分ですか
- 5. 安全対策が十分取られていると思いますか
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思います か

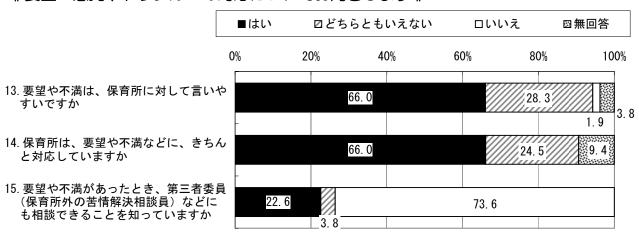


## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

	■はい	∅どちらともいえない		□いいえ		⊠無回答
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
10. 職員はあなたやあなたの子どもに関るプライバシー(秘密)を守っていますか	す		88. 7			5. 7 5. 7
11. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	る		92. 5			5. 7
12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	<u>-</u> \$		90. 6			9.4
9 18						/////

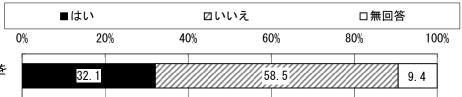
#### 《要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします》

回答者数= 53



#### 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

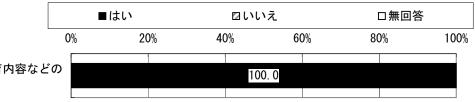
回答者数= 53



16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

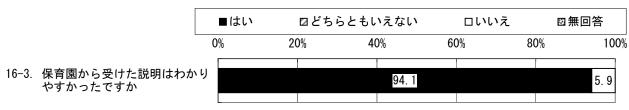
## 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

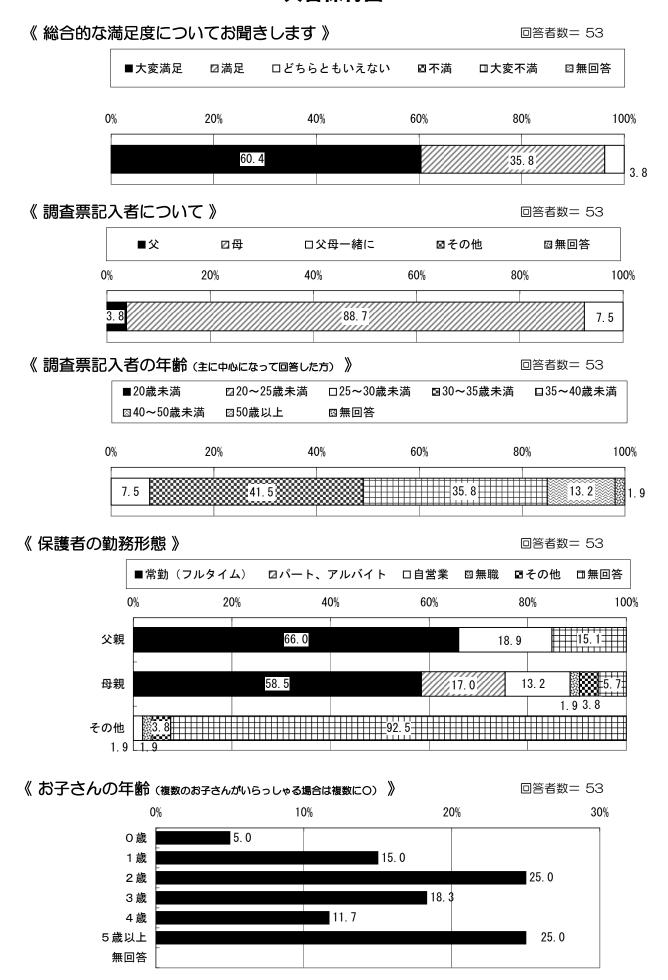
回答者数= 17



16-2. 利用を始める前に保育内容などの 説明がありましたか

### 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》



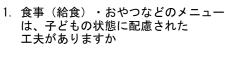


保 育 園 流

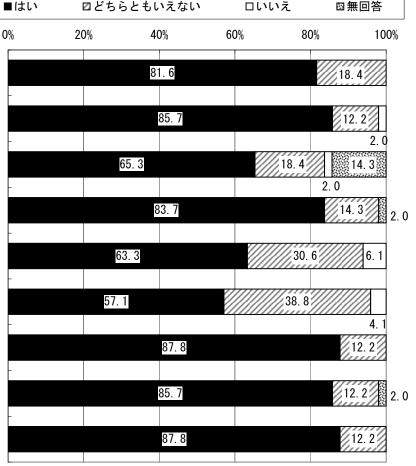
#### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

■はい

回答者数= 49



- 2. 戸外遊びの機会は十分ですか
- 3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか
- 4. 保育中の発熱やケガなどの処置、 保護者への連絡等の体調変化への対応 は十分ですか
- 5. 安全対策が十分取られていると思いま
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについ て、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 9. 友達とのふれあいなど、人との関わり方の基礎が育てられていると思います



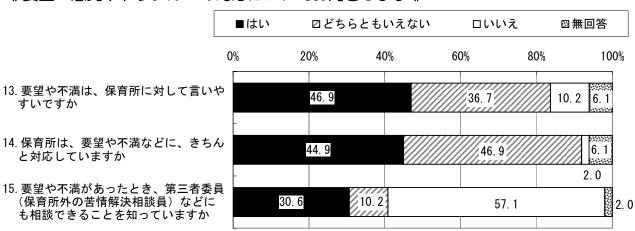
## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

回答者数二 49

	■はい	∅どちらともいえない		□いいえ		⊠無回答
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
10. 職員はあなたやあなたの子どもに関るプライバシー(秘密)を守っていますか	ま		79. 6			18. 4 2. 0
11. お子さんは保育所で大切にされてい と思いますか	ි බ		89. 8			10.2
12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していすか	ま		83. 7			16.3

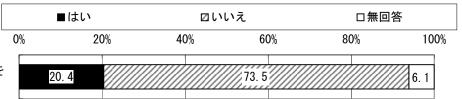
### 《要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします》

回答者数= 49



## 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

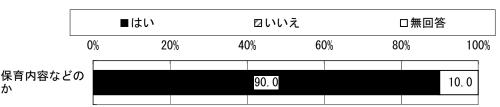
回答者数= 49



16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

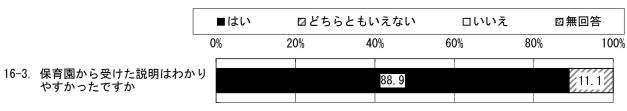
### 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

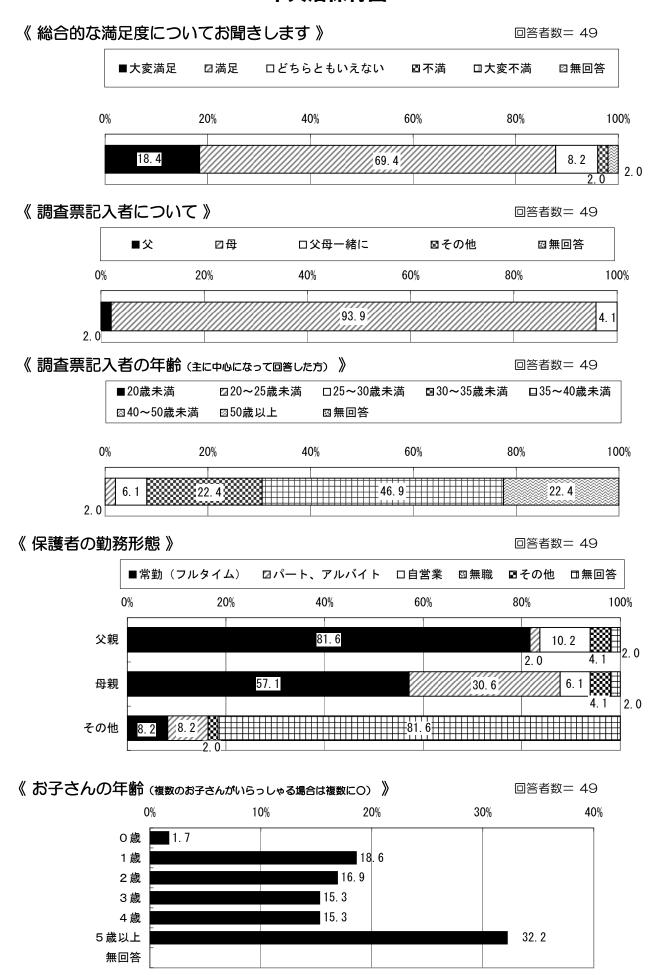
回答者数= 10



16-2. 利用を始める前に保育内容などの 説明がありましたか

#### 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

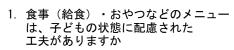




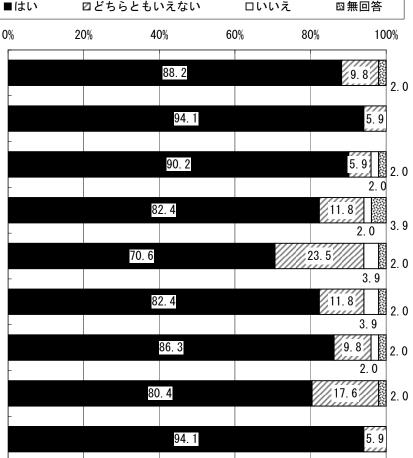
#### 《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

■はい

回答者数= 51



- 2. 戸外遊びの機会は十分ですか
- 3. 保護者の急な残業などであらかじめ取 り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか
- 4. 保育中の発熱やケガなどの処置、 保護者への連絡等の体調変化への対応 は十分ですか
- 5. 安全対策が十分取られていると思いま
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについ て、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 9. 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思います



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

回答者数= 51

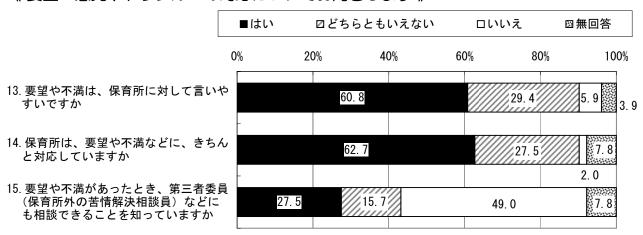
■はい	ハ		いえ 🛭	₩無回答		
0%	20%	40%	60%	80%	100%	
		78. 4		11.8	7.8	
_					2. 0	
		94. 1			2.0	
=					3. 9	
		88. 2			11.8	

10. 職員はあなたやあなたの子どもに関す るプライバシー(秘密)を守っていま すか

- 11. お子さんは保育所で大切にされている と思いますか
- 12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していま すか

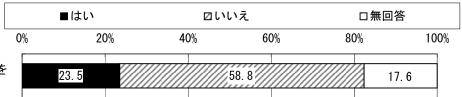
### 《要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします》

回答者数= 51



## 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

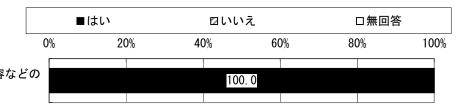
回答者数= 51



16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

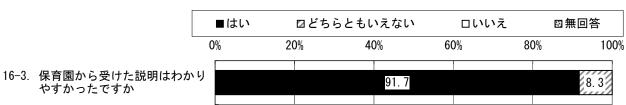
### 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

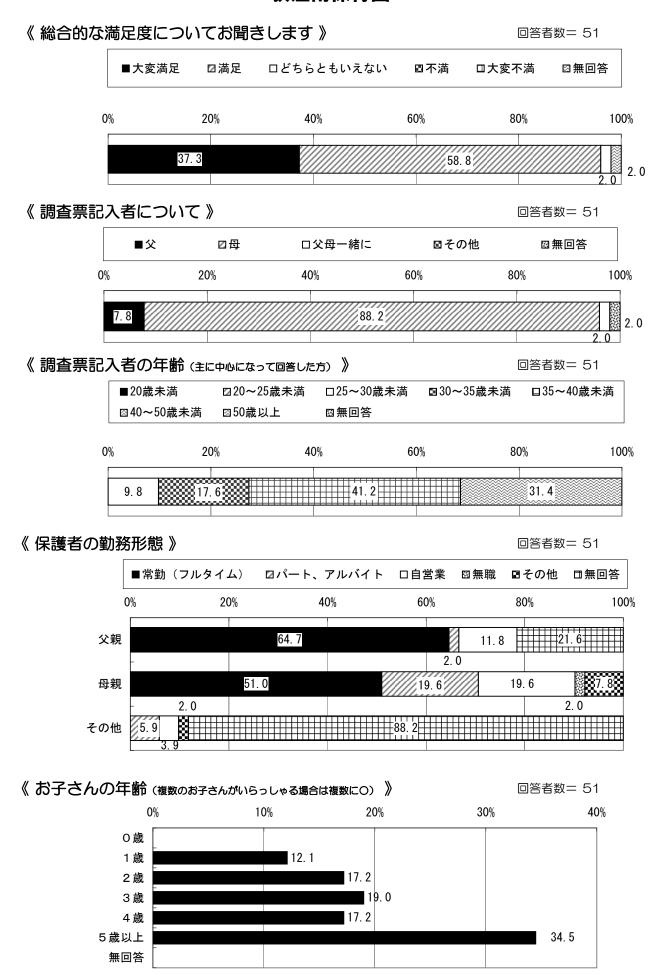
回答者数= 12



16-2. 利用を始める前に保育内容などの 説明がありましたか

#### 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

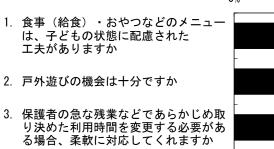


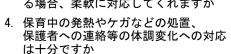


保育 夏

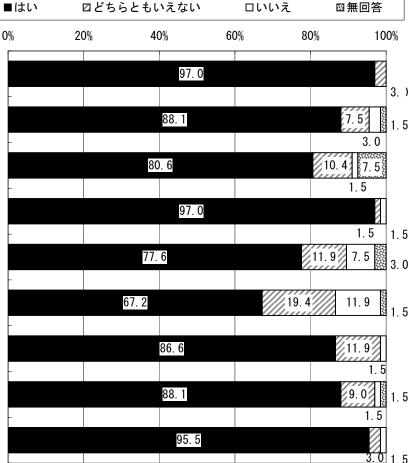
#### 《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数= 67



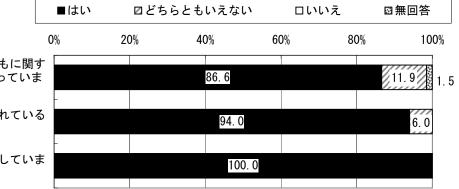


- 5. 安全対策が十分取られていると思いますか
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思います か



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

回答者数= 67

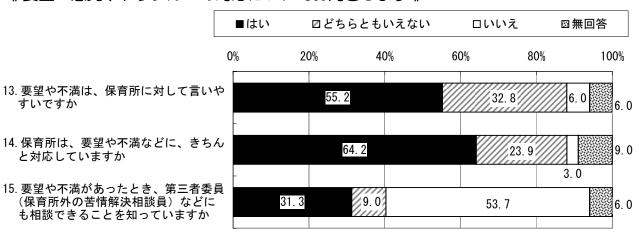


10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか

- 11. お子さんは保育所で大切にされている と思いますか
- 12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか

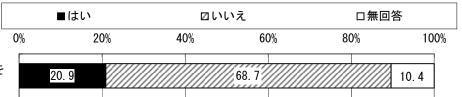
### 《要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします》

回答者数= 67



#### 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

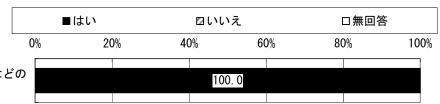
回答者数= 67



16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

## 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

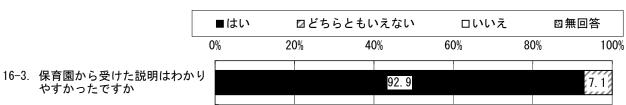
回答者数= 14

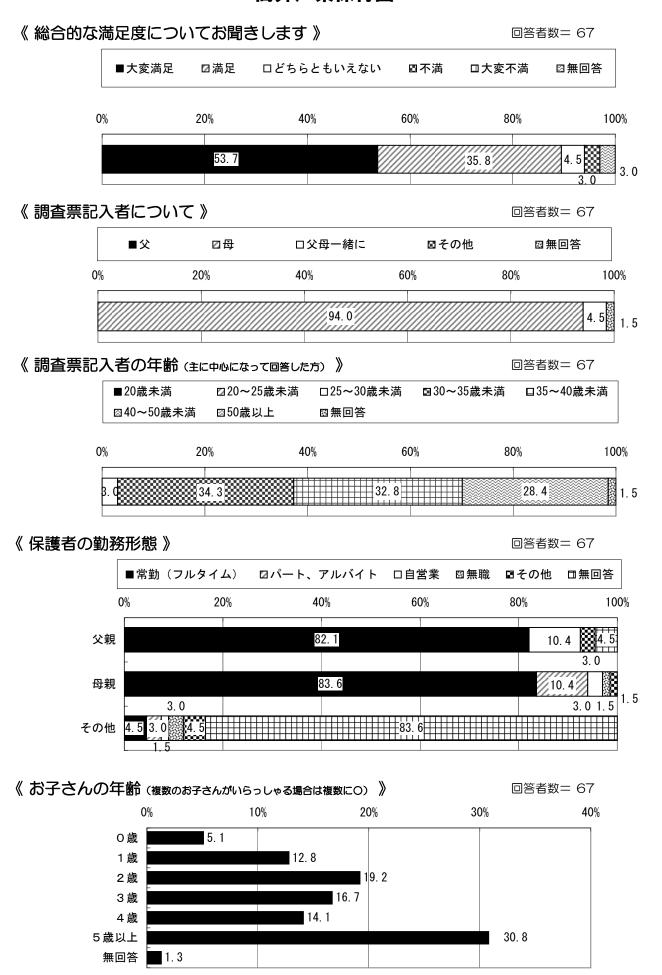


16-2. 利用を始める前に保育内容などの 説明がありましたか

#### 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

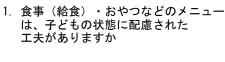
回答者数二 14



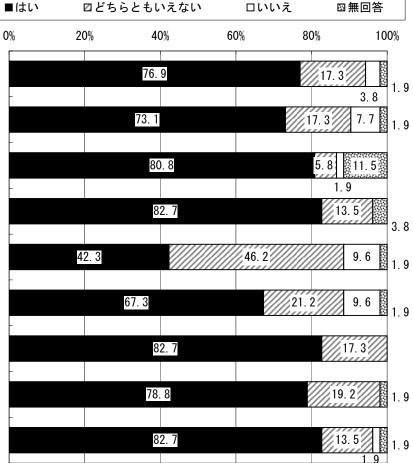


#### 《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数= 52

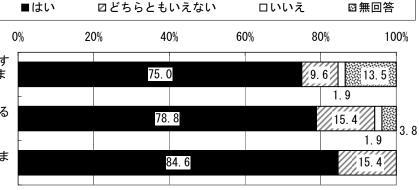


- 2. 戸外遊びの機会は十分ですか
- 3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか
- 4. 保育中の発熱やケガなどの処置、 保護者への連絡等の体調変化への対応 は十分ですか
- 5. 安全対策が十分取られていると思いますか
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思います か



#### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

回答者数= 52

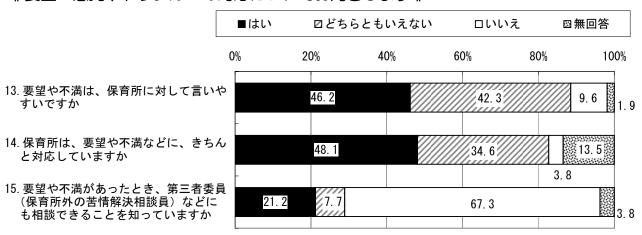


10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか

- 11. お子さんは保育所で大切にされている と思いますか
- 12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか

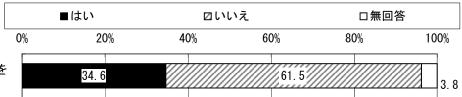
#### 《要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします》

回答者数= 52



#### 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

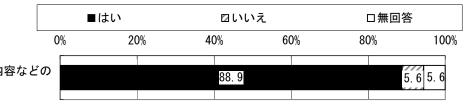
回答者数= 52



16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

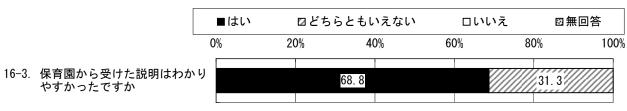
### 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

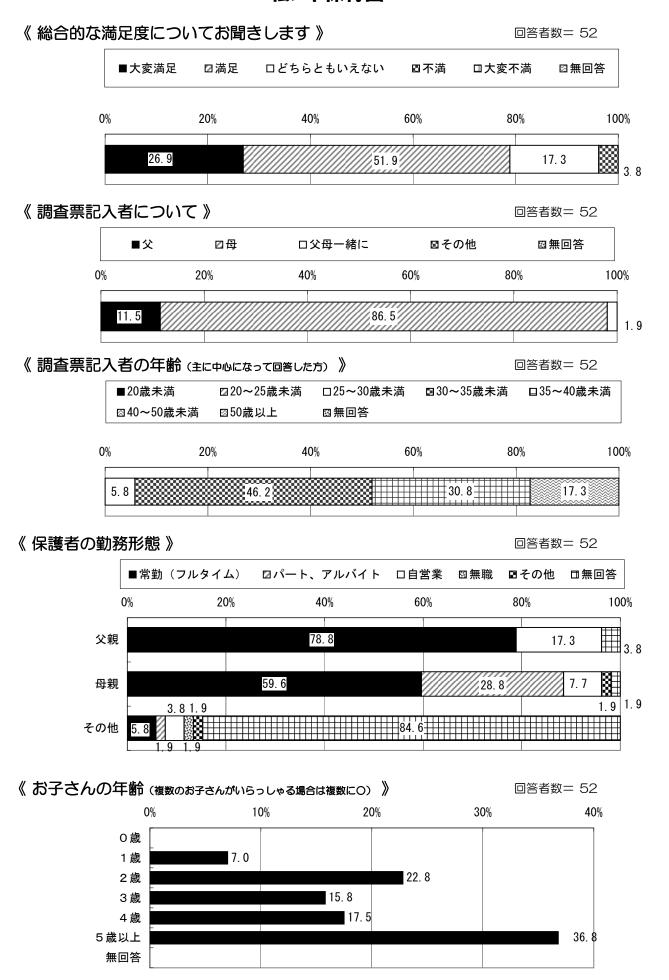
回答者数= 18



16-2. 利用を始める前に保育内容などの 説明がありましたか

#### 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》





#### 《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数= 53



#### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

8. 保護者が大切に考えていることについ

9. 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思います

と思いますか

すか

て、職員は話を聞く姿勢がありますか

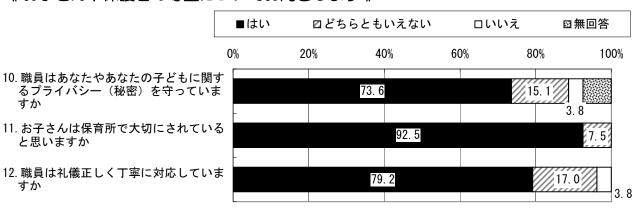
回答者数= 53

11.3

3.8

3.8

1.9

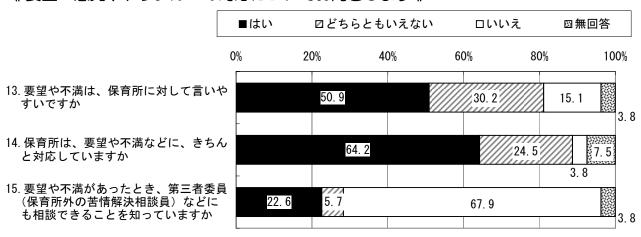


81. 1

98. 1

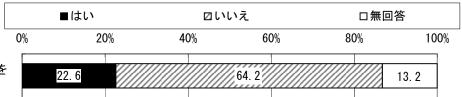
### 《要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします》

回答者数= 53



#### 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

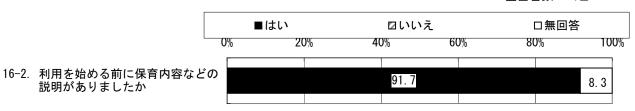
回答者数= 53



16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

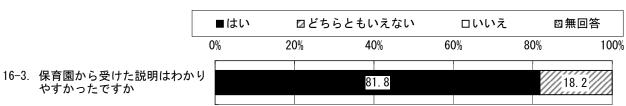
## 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

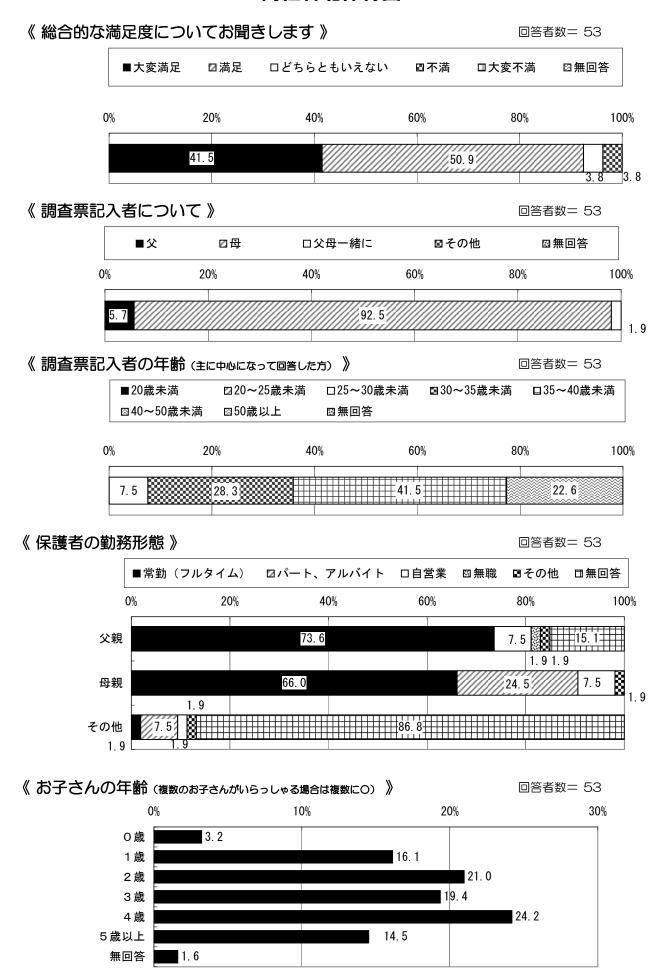
回答者数= 12



### 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

回答者数二 11

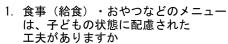




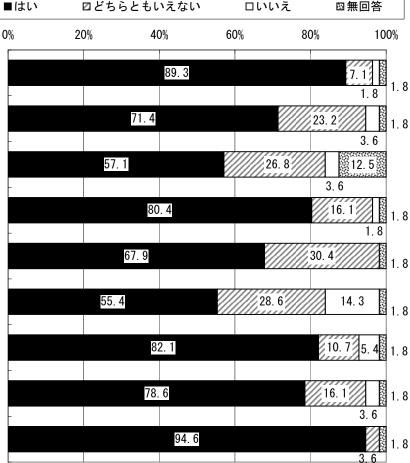
#### 《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

■はい

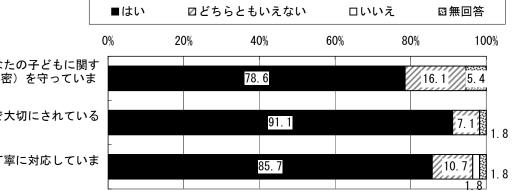
回答者数= 56



- 2. 戸外遊びの機会は十分ですか
- 3. 保護者の急な残業などであらかじめ取 り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか
- 4. 保育中の発熱やケガなどの処置、 保護者への連絡等の体調変化への対応 は十分ですか
- 5. 安全対策が十分取られていると思いま
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについ て、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 9. 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思います



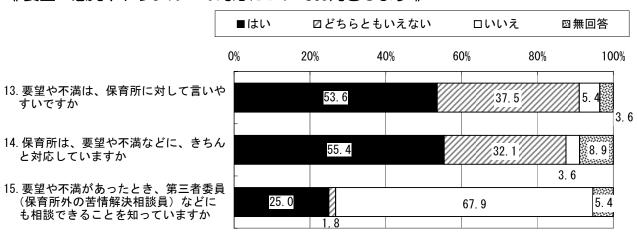
#### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》



- 11. お子さんは保育所で大切にされている と思いますか
- 12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していま すか

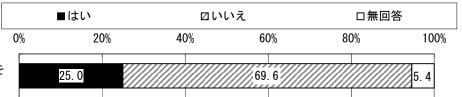
### 《要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします》

回答者数= 56



#### 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

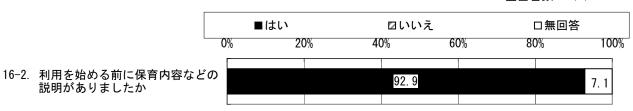
回答者数= 56



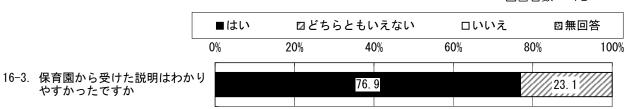
16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

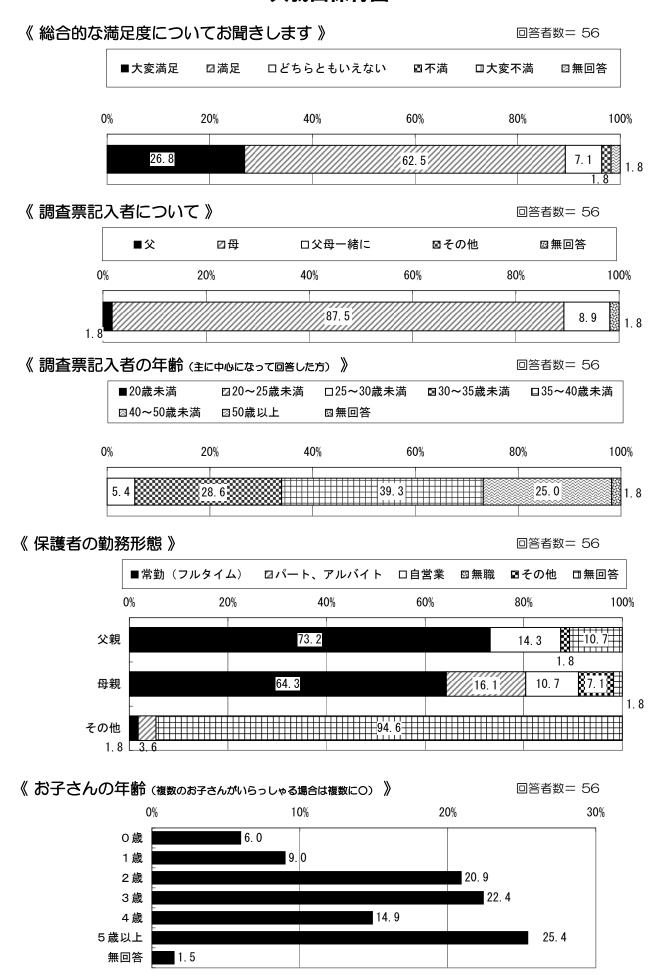
### 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

回答者数= 14



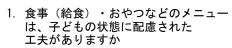
### 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》



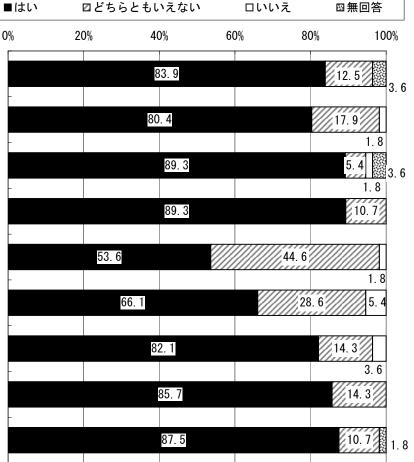


#### 《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数= 56



- 2. 戸外遊びの機会は十分ですか
- 3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか
- 4. 保育中の発熱やケガなどの処置、 保護者への連絡等の体調変化への対応 は十分ですか
- 5. 安全対策が十分取られていると思いますか
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思います か



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

回答者数= 56

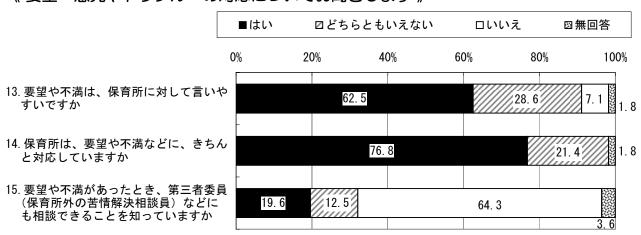
	■はい	∅どち	らともいえない	しい	いえ 🛭	無回答
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
する			67. 9		32.1	
いる	-		85. 7			14.3
ヽま	- -		80. 4		1	7. 9
						1. 8

10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか

- 11. お子さんは保育所で大切にされている と思いますか
- 12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか

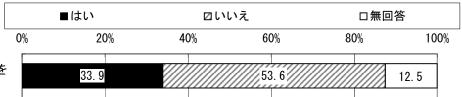
### 《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数= 56



#### 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

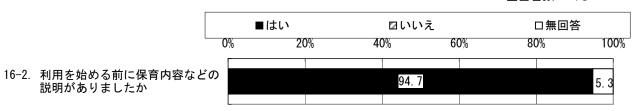
回答者数= 56



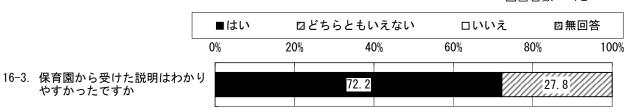
16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

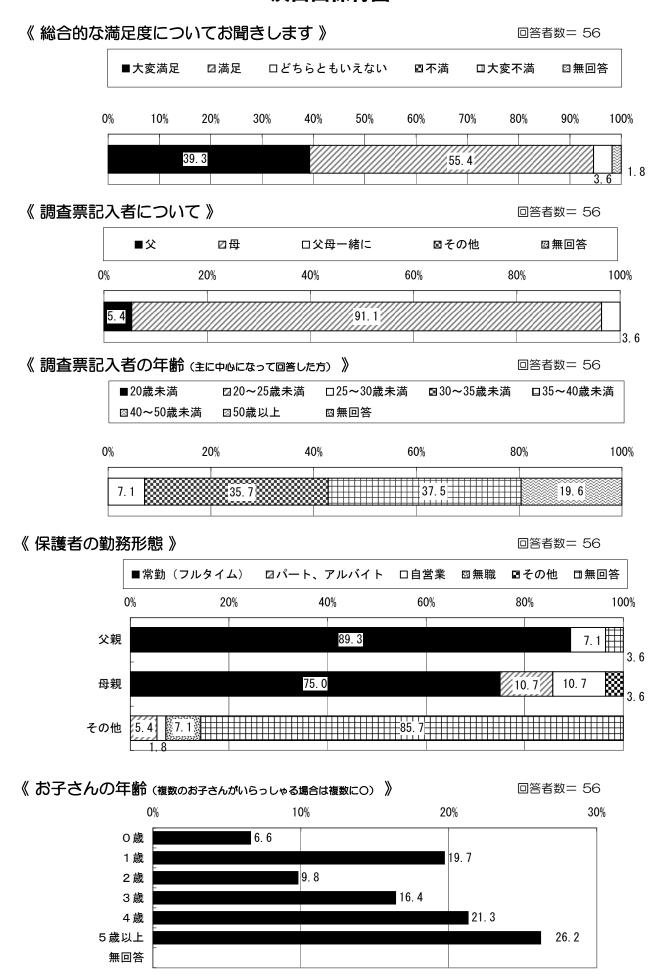
#### 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

回答者数= 19



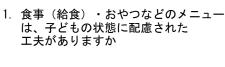
### 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》



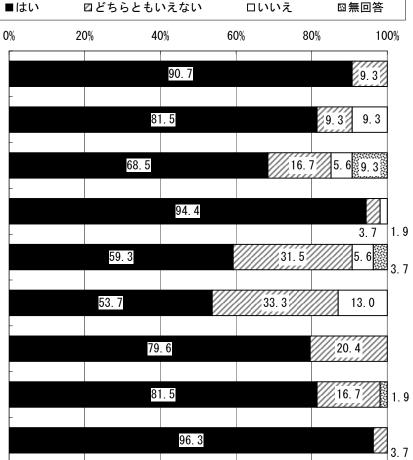


### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 54

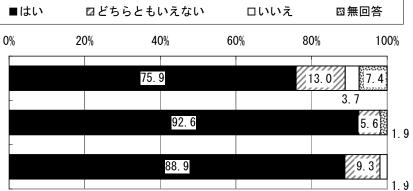


- 2. 戸外遊びの機会は十分ですか
- 3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか
- 4. 保育中の発熱やケガなどの処置、 保護者への連絡等の体調変化への対応 は十分ですか
- 5. 安全対策が十分取られていると思いますか
- 6. 保護者が参加しやすいように行事日程 の配慮は十分ですか
- 7. お子さんの気持ちや様子・子育てなど について職員と話したり相談すること ができますか
- 8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか
- 友達とのふれあいなど、人との関わり 方の基礎が育てられていると思います か



# 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

回答者数= 54

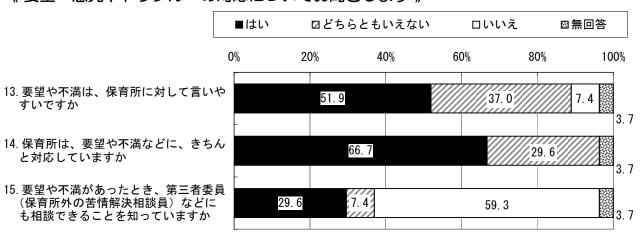


10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか

- 11. お子さんは保育所で大切にされている と思いますか
- 12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか

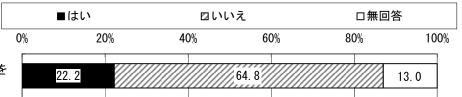
## 《要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします》

回答者数= 54



# 《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

回答者数= 54



16-1. 過去1年以内にこの施設を 利用し始めましたか

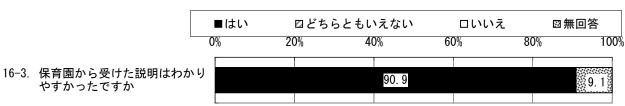
# 《利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

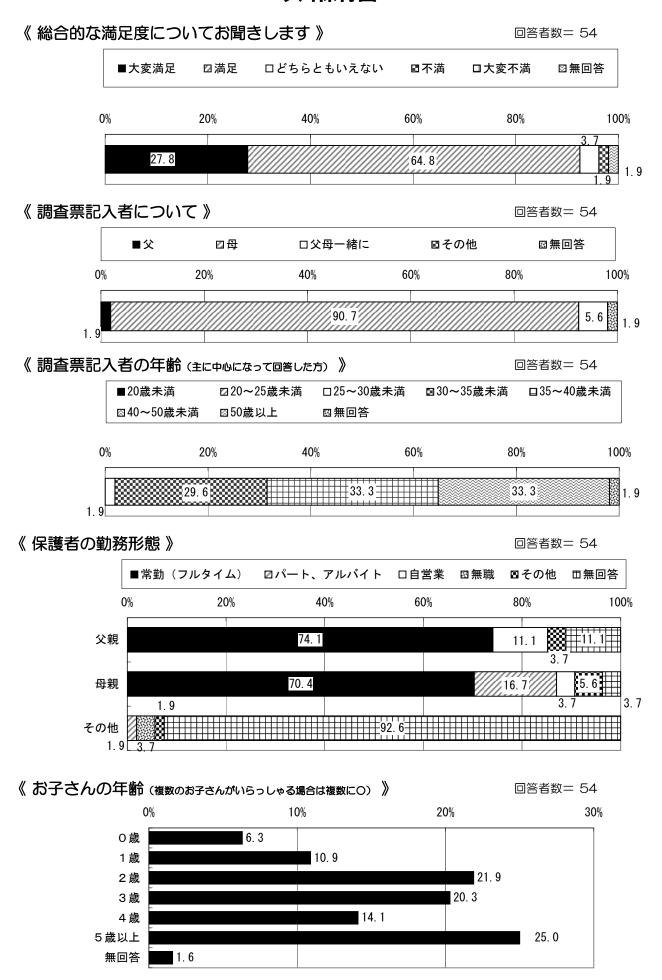
回答者数= 12



## 《説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問》

回答者数二 11





# 第2部 事業評価

# 評価の概要

#### 1 評価の概要

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また現在提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施したうえで合議により評価を決定した。( 巻末の付属資料 2、巻末の付属資料 3)

主な評価項目は以下の通りである。

カテゴリー1:リーダーシップと意思決定

カテゴリー2:経営における社会的責任

カテゴリー3:利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

カテゴリー4:計画の策定と着実な実行

カテゴリー5:職員と組織の能力向上

カテゴリー6:サービス提供のプロセス

カテゴリー7:情報の保護・共有

カテゴリー8:カテゴリー1~7に関する活動成果(前年度比)

### 2 評点のつけ方

上記カテゴリー1~7(活動状況:今年度)の評点は評価項目ごとに4段階でつける。

A+:標準項目をすべて満たしたうえで、A+の取り組みがある状態

A:標準項目をすべて満たした状態

B:標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態

C:標準項目をひとつも満たしていない状態

「標準項目」を満たしていると確認するための要件は、次の~~すべてを満たした場合である。

保育園が当該事項を実施していること

その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること

その根拠が示せること

「A+」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みである。

ア 当該評価項目のねらいに合致していること

イ 事業所の理念・方針に合致していること

ウ 事業所の独自性または現状を改善するプロセスが認められること

なお、カテゴリー8(活動成果:前年度比)の評点は評価項目ごとに4段階でつける。

A+:計画的な取り組みによる改善傾向が確認できる状態

A:改善傾向が確認できる状態

B:取り組んでいるが改善結果は確認できない状態

C:取り組んでいない状態

# 3 訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、以下の日程で行った。

	保育園名	訪問調査日	フィードバック訪問日
1	杉並保育園	平成 20 年 12 月 5 日	平成 21 年 2 月 4 日
2	上高井戸保育園	平成 20 年 12 月 17 日	平成 21 年 2 月 9 日
3	高井戸保育園	平成 20 年 12 月 10 日	平成 21 年 2 月 10 日
4	大宮前保育園	平成 20 年 11 月 26 日	平成 21 年 2 月 16 日
5	大宮保育園	平成 20 年 11 月 28 日	平成 21 年 2 月 6 日
6	本天沼保育園	平成 20 年 12 月 16 日	平成 21 年 2 月 4 日
7	荻窪南保育園	平成 20 年 12 月 22 日	平成 21 年 2 月 4 日
8	高井戸東保育園	平成 20 年 12 月 15 日	平成 21 年 2 月 9 日
9	松ノ木保育園	平成 20 年 12 月 2 日	平成 21 年 2 月 20 日
10	阿佐谷北保育園	平成 20 年 11 月 19 日	平成 21 年 2 月 10 日
11	久我山保育園	平成 20 年 12 月 3 日	平成 21 年 2 月 6 日
12	浜田山保育園	平成 20 年 12 月 17 日	平成 21 年 2 月 9 日
13	今川保育園	平成 20 年 11 月 27 日	平成 21 年 2 月 3 日

# 各保育園の評価結果報告書

園ごとの評価結果報告書は、それぞれ次の通りである。

1	杉 並 保 育 園 75
2	上高井戸保育園 105
3	高井戸保育園135
4	大宮前保育園 165
5	大宮保育園195
6	本 天 沼 保 育 園 225
7	荻窪南保育園255
8	高井戸東保育園 285
9	松 ノ 木 保 育 園 315
10	阿佐谷北保育園 345
11	久 我 山 保 育 園 375
12	浜田山保育園 … 405
13	今 川 保 育 園 … 435

浜田山

Ш

# 杉並保育園

#### 〔利用者調査:認可保育所〕

(事業所名: 杉並区立杉並保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯74世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数74共通評価項目による調査対象者数74共通評価項目による調査の有効回答者数54利用者総数に対する回答者割合(%)73.0

### 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の約8割という結果になりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が77.8%)。個別にみると、「戸外遊びの機会」、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が約9割を占める他、「体調変化への対応」、「職員と相談できる」、「プライバシーの守秘」、「職員は礼儀正しく丁寧」などについても肯定的回答が8割を大き〈超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。 一方、「要望や不満の言いやすさ」をはじめ、「行事日程の設定」「要望や不満などへの対応」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

## 利用者調査結果

<b>书者調査結果</b>				
共通評価項目		実	数	
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	43	8	3	0
食事やおやつへの満足度は約8割を占めています。自由意見についても概ね肯定的な意の低下」を指摘する声も寄せられています。	見が寄せら	れています	「が、少数で	ですが「質
	<u> </u>	<u> </u>		
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	49	4	0	1
肯定的な回答は9割を超えており、否定的な回答も見られず、保護者が大変満足している 満足とする意見とともに、午後も外遊びをさせて欲しいという、意見も寄せられています。	様子がうか	がえます。	自由意見で	では、概ね
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	39	9	0	6
肯定的な回答は約7割ほどですが、否定的な回答は見られず、また、無回答の割合も1割いことから不満があるわけではないようですが、無回答の割合が高いことから、このような				

い設問であったことが予想されます。なお、自由意見では、柔軟に対応してくださり助かっていますという意見が寄せられています。

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	46	6	2	0
肯定的な回答は8割を大き〈超え、満足する人が多い項目です。しかし、自由意見においてては「早い」「おそい」など様々な意見が寄せられているとともに、ケガに対する対応や説明ます。				
5.安全対策が十分取られていると思うか	40	9	3	2
肯定的な回答は7割を超える程度ですが、否定的な回答が多いというわけではないことかていないことも要因のひとつと考えられます。年齢別では、乳児に比べ幼児で肯定的な率は険、不安を感じる保護者が増える傾向もみられます。	ら、園の安は低く、行動	L 全対策が仍 加範囲が広	! 保護者に十分 がることに、	ト 分伝わっ よって、危
6.行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	35	14	4	1
肯定的な回答は6割を超えるほどで、否定的な回答も1割弱見られるなど満足する人が少談に関する不満が大多数を占めています。	ない項目で	です。自由意	気見では、係	*護会と面
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	8	2	0
肯定的な回答は約8割で、保護者の方々が概ね満足している様子がうかがえます。ただし、は、相談がしづらいという意見が大半を占めていますが、先生によって異なるとする意見も			一方で、自	自由回答で
8.保護者の考えを聞〈姿勢があるか	42	12	0	0
肯定的な回答は約8割ほどです。自由回答では、相談しやすい、職員による、相談してもい 寄せられています。	い回答がか	かえってこな	い等様々	な意見が
9.サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	46	4	1	3
肯定的な意見は8割を大きく超えており、否定的な回答も少ない結果となっており、保護者でます。"どちらともいえない"、"無回答"との回答があわせて1割を超えていますが、この理しか」というご意見もあることから、質問が答えにくいことも予想されます。	の方々が根 由について	れ満足して は「何をプ	こいる様子; ライバシー	がうかがえ とするの
10.一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか				
	49	5	0	0

11.職員の対応は丁寧か	46	8	0	0
肯定的な回答は8割を大きく超えており、職員の礼儀正しさや丁寧さは概ね認められているは、先生によって対応が異なる、と言う意見も複数見られます。	5様子がう7	<u> </u>	、なお、自由	自意見で
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	24	22	7	1
肯定的な回答は5割に届かず、否定的な回答も1割を超えており、他の設問に比べ満足度いづらい」とする意見が多数を占めています。	が低い項目	<b>目です。目</b> 日	日意見につ	いても'言
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	35	16	2	1
肯定的な回答は6割を超えるにとどまっており、前問に引き続き満足度が低い項目です。しれないことから、数字ほど満足率が低いことはないと予想されます。なお、自由意見では、前い」とする否定的な意見も寄せられています。				
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	13	3	38	0
否定的な回答(知らない)が7割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられま		<b>ヨとなりまし</b>	,た。園全体	などの満足
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	15	4	2	0
1年以内に利用を開始した21人中15人が肯定的な回答をしています。ただし、自由意見では「時間に余裕がない」など否定的な意見も寄せられています。	ま、「保育時	間の説明	がわからな	かった」

(事業所名: 杉並区立杉並保育園)

組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)

		共通評価項目	
		カテゴリー1	
	リーダーシップと意	意思決定	
		サブカテゴリー1	
	事業所が目指して	こいることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1		
	事業所か日指し(	ていること(理念、基本方針)を明確化・周知している <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	○非該当
	<b>*</b> + 12	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<b>○ 45++1/</b>
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	● あり ○ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を 思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	○非該当
	【A+の取り組み】		
	評価項目2 経営層(運営管理	型者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
			)
	評価	標準項目	
	_	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	_
	● あり ○ なし		○非該当
	0 + n	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	O - 315-44-14
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	
ı			

評価項目 重要な案件 係者に周知	牛につい	)て、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関 る <b>評点( A</b>	)
評価	ī l	標準項目	
		1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
		2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
● あり	○なし		○非該当
		3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて	
● あり	○なし	113	○非該当
【A+の取り	り組み】	○ あり ・ ● なし	
		カニゴリー4の注意で	
I		カテゴリー1の講評	

#### 保育目標やチャレンジ目標を明示しています

園の保育目標「心身ともに豊かな子どもを育てよう よ〈遊ぶ子~自分で考える・自分でやってみる・力を合わせる・感動し表現する」は、区の保育園紹介のホームページに掲載しているほか、事務所の外側に掲示し、職員や保護者がいつでも確認できるようにしています。保育目標は、毎月の指導計画の反省の中で職員全体で確認を行っているほか、新保育指針プロジェクトにおいて見直しを進めており、今後の整理・再構築が期待されます。また、今年度のチャレンジプランには、園の目標として「保護者と情報を共有して、ともに子育てをする」を掲げています。

#### 園長は、自らの役割と責任に基づいて行動しています

園長は、子どもの事故や保護者対応については、自分が最終的に全責任を持つことを職員会議等で表明しているほか、子どもがまた明日も行きたいと思える園を目指し、子どもの姿を肯定的に捉えながら保護者とともに子育てができるように、日常的に職員に対して指導や働きかけを行っています。また、職員会議や打ち合わせにおいて区の方針や地域の情報を伝達したり、保護者からの苦情には主軸となって対応したり、毎月の園だよりには主任と交代でメッセージを掲載したりと、自らの役割と責任に基づいて行動しています。

#### 各種定例会議により、意思決定過程の透明性を確保しています

重要な案件については、リーダー会議やフリー会議で方向性を話し合った上で、毎週の定例打ち合わせや毎月の職員会議に提案し、検討・決定しています。新たに乳児・幼児のフリー職員を置いたことで、柔軟な保育が可能となり、クラス間の情報共有の面でも向上が見られました。職員調査では、「何か問題があったときには皆で考えていくことができる」、「園長・主査のチームワークが良く、意思決定が分かりやすい」等の肯定的な意見が多く見られました。保護者には、年2回の保護者会で説明を行っているほか、随時お知らせを配布して伝えています。

	カテコリー2		
経営における社会	<b>除的責任</b>		
	サブカテゴリー1		
社会人·福祉サー	ビス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
- /			
評価項目1 叶会人・福祉サー	ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
	<b>評点</b> (	Α	)
 評価	標準項目		
н г град	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		
◉ あり ○ なし			○非該
	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでい	る	
◉ あり ○ なし			○非該
A+の取り組み)			-
平価項目2	Fottenta 보고마드하셨다면 National Authority Control		
号二百による評価 いている	iの結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織と <b>評点</b> (	Α	)
	·		,
評価	標準項目 標準項目   「「大きなできない」   「大きなできます。	14日 /	Т
<b>a</b> + 11	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取りでいる	ノ紐ん	
● あり ○ なし		- = 20	○非該
	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に 所に関する情報を開示している	事業	
● あり ○ なし	がに対する情報を開かっている		○非該
A+の取り組み	○ あり ● なし		
-			
	サブカテゴリー2		
bt域の福祉に役っ	立つ取り組みを行っている		
评価項目1			
事業所の機能や神	<b>冨祉の専門性をいかした取り組みがある</b>	<b>D</b>	,
	) <b>点</b> 罕	В	)
評価	標準項目		
	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等	の開	
◉ あり ○ なし	放、個別相談など)		○非該
	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開	]催、講	1
○あり ●なし	師派遣など)を行っている		○非該
			<u>.I</u>
(A+の取り組み)	○ あり		
-			-

評価項目2				
ボランティア受け <i>。</i>	入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している <b>評</b>	点(	Α	)
		, in		
評価	標準項目			•
	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
● あり ○ なし				○非該当
	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み	] ○ あり ● なし			
<u>₩</u> /#15 D 0				
評価項目3 地域の関係機関の	との連携を図っている <b>評</b>	点(	A	)
地域の関係機関の	評	点(	A	)
評価項目3 地域の関係機関の 評価		点(	A	)
地域の関係機関の	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	:点(	A	)
地域の関係機関の 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	<u> </u>
地域の関係機関の 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		A	<u> </u>
地域の関係機関の 評価 ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		A	○非該当
地域の関係機関の 評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		A	○非該当
地域の関係機関の 評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		A	○非該当
地域の関係機関の 評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		A	○非該当
地域の関係機関の 評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		A	○非該当

#### 遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

子どもの権利条約や児童憲章が掲載されたマニュアルや保育所保育指針、区の例規集等を事務所に常備しているほか、社会福祉法や 児童福祉法の規定を職員用の掲示コーナーに掲示し、職員が公務員倫理や服務規律、関係法令の規定を確認できるようにしています。 これら法・規範・倫理については、職員の入職時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられていま す。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、定例打ち合わせで周知を行っています。

#### 園庭開放や保育所体験を実施し、園の機能や専門性を地域に還元しています

園庭開放(一緒に遊ぼう会)を毎月実施しているほか、地域の親子の保育所体験(ふれあい保育)や中学生の体験学習を受け入れたり、 来園者からの相談にも都度対応するなど、園の機能や専門性を地域に還元しています。相談の記録は見学や問い合わせの記録に一緒 に記録していますが、内容を抽出しやすいようにする工夫が望まれます。また、他の区立園職員にも参加を呼びかけ、保育指針に関する 園内研修等を実施しており、今後、地域の人々も対象とした企画・啓発活動に発展させていくことが期待されます。

#### 小学校地域の子育てネットワークに参画しています

小学校地域の子どもに関わる施設・関係者(小・中学校の校長、PTA、保育園、児童館、民生委員、住民代表等)で組織された地域子育て ネットワークに参画しています。毎年、餅つきや昔遊び、おもちゃの展示などを行う児童館主催のフェスティバルの運営にも参加・協力して います。連絡協議会には園長と主査が出席していますが、園長は今後、職員にも順番に出席してもらい、積極的に関わってもらいたいと考 えています。民生委員が毎月1回、ボランティアで園の子ども達に絵本の読み聞かせを行ってくれるなど、良好な関係が築かれています。

	カテゴリー3	
利用者意向や地域	或·事業環境の把握と活用	
	サプカテゴリー1	
利用者意向や地域	或·事業環境に関する情報を収集·活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	•
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目2		
	的·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目3		
	関する情報を収集し、状況を把握・分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目  1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>	

#### カテゴリー3の講評

#### 保護者一人ひとりの意向を把握し、解決を図っています

区の苦情調整委員制度があり、毎月、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口について認識している保護者は3割未満となっており、周知方法の再検討が望まれます。把握した苦情や意見については、園長を主軸に園全体で検討し、ケースに応じて区の担当課に相談して対応しており、保護者の行事内容に対する不満や食品添加物に対する不安の声に対し、解決を図っている事例も確認することができました。新たに投書用の意見箱も事務所脇に設置し、園だよりでお知らせしています。

## 保護者の意向を把握・集約し、サービス向上につなげています

運動会の後には感想アンケートを取っているほか、親子ピクニック後の保護者会では感想や意見を聞き取ったり、保護者会では事前アンケートを実施したりするなど、保護者意向を把握することに努めています。集約結果は定例打ち合わせで検討したり、期末の反省で取り上げ、次回の取り組みの参考にしています。運動会の感想については、結果を取りまとめて保護者にも配布しました。日誌やお知らせの掲示方法を見やすく変えたり、蚊取り線香を部分的に導入したり、ベランダの蛍光灯を入れ替えたりするなど、保護者の意向をサービス向上につなげています。

#### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワークの連絡協議会や区立保育園の園長会、外部研修等への参加により収集・把握しています。 園では専門誌の購読等は行っていませんが、区の保健福祉計画等の資料や通知を掲示板や休憩室に設置したり、回覧を行ったりして、職員への情報の周知を図っています。 地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、今後、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

画の策定と着家	<b>《</b> 《关1】	
	サブカテゴリー1	
『践的な課題・計	ランカテコッー   -画策定に取り組んでいる	
C22773 0-12777.22 14		
平価項目1		
(リ組の期间に)	いた課題·計画を策定している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	
可工川川	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
◉ あり ○ なし		○非該
	2. 年度単位の計画を策定している	
● あり ○ なし		○非該
	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
◉ あり ○ なし		○非該
A . O BU 12/0 7.		
	] ○あり ●なし	
平価項目2	ら課題を把握し、計画を策定している	)
平価項目2 :角的な視点か	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
平価項目2	ら課題を把握し、計画を策定して <b>い</b> る	)
平価項目2 角的な視点かり 評価	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	
平価項目2 ・角的な視点から 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該
平価項目2 ・角的な視点から 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6課題を把握し、計画を策定している	○非該
呼価項目2 :角的な視点から 評価 ● あり ○ なし	日本には、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
呼価項目2 6角的な視点から 評価 ● あり ○ なし	を課題を把握し、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
平価項目2 5角的な視点から 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	6課題を把握し、計画を策定している	<ul><li>非該</li><li>非該</li><li>非該</li></ul>
平価項目2 を角的な視点から 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし ● あり ○ なし	日本の表別である。	) () 非該: () 非該: () 非該:
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	日本の表別である。	<ul><li>○ 非該:</li><li>○ 非該:</li></ul>
呼価項目2 ・角的な視点から 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし ● あり ○ なし	日本の表別である。	<ul><li>非該</li><li>非該</li><li>非該</li></ul>

評価項目3	=1-9711/40 /	
看美な計画の夫任	テに取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>B</b>	)
評価	標準項目	
д і іщ	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例·失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	○非該当
○あり ●なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
● あり ○ なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし	
	サブカテゴリー2	
利用者の安全の領	確保·向上に計画的に取り組んでいる	
		)
評価	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	
● あり ○ なし	1. 利用者の女主の帷徐・问上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
● あり ○ なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
● あり ○ なし	3. 再発防止·予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし	
	カテゴリー4の講評	

#### チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます

区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションブランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジブランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに園の複数年度に渡る取組みを方向付ける中期計画に発展していくことが期待されます。

#### 各種の年間計画や行事計画を作成し、計画的に園運営を進めています

園では、年度の当番、会議の体制等を明確にした「園運営及び保育に関する確認事項」や、行事担当、係分担、保護者会・個人面談予定、避難訓練予定等を記載した「年間計画」、「年間散歩計画」を作成しているほか、行事や外出等の短期の活動についても、プログラムや配置、準備物を記載した「行事計画書」、ルートや留意事項を記載した「園外保育計画書」を作成しています。これらは、打ち合わせの中で検討を重ねて作成しており、現場の意向や保護者の意向を踏まえて、計画的に園運営を進めていることが理解できます。

#### 子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいます

子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルに基づき、定期的に安全点検を実施しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に実施しています。防犯訓練では、警察官を招いて子どもに対する教育等も実施しています。地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も行われています。事故が発生した場合は、その状況や原因、経過を「事故報告書」に記録し、全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。現場でのひやりとした事例を日々収集し、予防対策につなげる取り組みが望まれます。

		カテゴリー5		
職員と組約	織の能力	7向上		
		サブカテゴリー1		
事業所が	日指して	こいる経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		
評価項目		<b>本かしまままでにしている</b>		
事業所にとって必要な人材構成にしている <b>評点</b> ( <b>A</b> )				
		m.w.( \(\frac{1}{\triangle}\)	,	
評信	西	標準項目		
		1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している		
● あり	○なし		○非該当	
		2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている		
● あり	○なし		○非該当	
		L 3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる		
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当	
© 00'7	<u> </u>			
【A+の取	り組み	○ あり ・ ● なし		
		こ取り組んでいる <b>評点( A</b>	)	
	の向上に	<b>評点( A</b>	)	
	の向上に		)	
職員の質 評価	の向上に	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	)	
職員の質	の向上に	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>	
職員の質・ <u>評値</u> ● あり	の向上I <u>西</u> ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当	
職員の質 評価	の向上に	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<u> </u>	
職員の質・ 評価  ● あり  ● あり	<b>の向上I</b>	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当	
職員の質・ <u>評値</u> ● あり	の向上I <u>西</u> ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当	
職員の質・ 評価  ● あり  ● あり	<b>の向上I</b>	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当	
職員の質・ 評価      あり      あり	<b>の向上I</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>	
職員の質 評価 ● あり ● あり	<b>の向上I</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>	
職員の質・ 評価  あり  あり  あり  あり	の向上!	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを  7. でいる	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>	
職員の質  評価  あり  あり  あり  あり  あり  あり  あり	の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! のの向上!	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>	
職員の質  評価  あり  あり  あり  あり	の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! のの向上!	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>	
職員の質  評価  あり  あり  あり  あり  あり  あり  あり	の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! のの向上!	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>	
職員の質・評価      あり     あり     あり     あり     あり     あり	の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! のの向上!	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当	
戦員の質・ 評価  あり  あり  あり  あり  あり  あり  あり  あり  あり	の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! の向上! のの向上!	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>	

	サブカテゴリー2						
職員一人ひとりと	組織力の発揮に取り組んでいる						
評価項目1 職員一人ひとりの	・主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)				
評価	標準項目						
● あり ○ なし		_	○非該当				
● あり ○ なし			○非該当				
◉ あり ○ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		○非該当				
【A+の取り組み】	ე ಹಳ О ಹಳ						
		職員のやる気向上に取り組んでいる					
評価項目2 職員のやる気向」	上に取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)				
	<b>評点</b> (						
職員のやる気向」 評価	<b>評点</b> (						
職員のやる気向」 評価	<b>評点(</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる						
職員のやる気向」 <u>評価</u> あり なし  あり なし  あり なし	評点( 標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人メントを行っている 2.就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3.職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる		ジー・非該当				
職員のやる気向」 <u>評価</u> あり なし  あり なし  あり なし	評点( 標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		ジー・非該当ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
職員のやる気向」  評価      あり    なし      あり    なし      あり    なし	評点( 標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		ジーの非該当の非該当の非該当の非該当				
職員のやる気向」  評価      あり    なし     あり    なし     あり    なし     あり    なし	評点( 標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		ジーの非該当の非該当の非該当の非該当				

#### 園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、バランスを考慮して園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係分担についても、各職員から希望を出してもらい、クラスや業務負担が偏らないように調整して決定しています。

#### 個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が半期ごとに個人面談を行う中で把握しています。研修は、勤務時間中の受講が保障されており、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて受講を進めています。研修受講後は、個人の研修歴カードや研修実績簿に実績を記録するとともに、レポートを作成して、園長が確認した上で区に提出しています。園では、毎月研修報告会を設けたり、資料の回覧を行って、研修成果を職員間で共有化しています。園内研修も今年度2回実施しています。

#### 就業状況を把握し、職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

就業状況に関しては、時間外労働は多い月でも平均10時間程度、有給休暇の取得は年平均13日程度となっており、職員調査では労働環境に対する不満等は特に挙げられていません。園長は、職員にやる気と働きがいを持ってもらえるよう、個人用チャレンジブランに自ら設定した目標に地道に取り組んでほしいことを伝え、アドバイスを行うとともに、そのための環境づくりに努めています。今後は、非常勤職員のやる気と働きがいの向上に向けた取り組みも進め、情報の共有や研修の制度が確立されることを期待したいと思います。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	すに取り組んでいる	
「価項目1 「業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
未川川田恨しい		)
評価	標準項目	
	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	
● あり ○ なし		○非該
	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	
りあり ○ なし		○非該
` -	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	
りあり ○ なし		○非該
価項目2		
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u> 動あり ○なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 のあり ○なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u> ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
で価項目2  人情報は、「個       評価   あり ○ なし   あり ○ なし   あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

#### カテゴリー7の講評

#### 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるファイリングキャビネットやロッカーに保管しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

#### 個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得る取り組みが望まれます

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類に一部記載は見られますが、園においても、園のしおりに具体的に利用目的を明示したり、写真やビデオの撮影や他機関への情報提供が必要な場合には保護者から書面で同意を得るなどの取り組みが望まれます。

#### 個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、入職時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も実施されています。園内では、何か問題があった場合に打ち合わせ等で職員に注意を喚起しています。 実習生やボランティアに対しては、文書を配布して個人情報保護等の留意事項を伝えています。個人情報の取り扱いについては、保管場所や掲示の仕方、配布物の配り方、園外保育時の名札、パソコンの保管方法などに細心の注意を払って対応しています。

	カテゴリー8				
8	カテゴリー1~7に関する活動成果				
ĺ					
	サブカテゴリー1				
	前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してい	າຈ 			
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている				
	C、	$\bigcap \Lambda$	<b>Α</b>	Ов	$\bigcirc$ c
	・カテゴリー2:「経営における社会的責任」	∪ A+	● A	ОВ	$\bigcirc$ C
	・カテゴリー 4 : 「計画の策定と着実な実行」 				
	改善の成果				
	リーダー会議への参加を通して新たなリーダーが育成されています				
	・区立保育園全体の取り組みとして、「保育の向上を目指すリーダー会議」を継続的に開催しました。 ダーが、毎回の会議に積極的に参加して学んできたことで、園内のリーダー会議も活性化し、メンバー リーダーを中心に企画した園内研修「職員会議の在り方」では、3つのグループに分かれてブレーンス の明示と解決策に向けた検討を行うことができました。リーダー層の意識が高まり、仕事に対する意翁	・の発言も増 、ト <b>ー</b> ミングの	えてきる )手法で	ました。 話し合い	ŧた、情報 √、課題
	与えているようです。 ・新保育指針プロジェクトを中心に、指導計画の見直しと保育課程の作成について検討を進めました。 ・地域の親子に向けて、園庭開放(一緒に遊ぼう会)を毎月実施しました。参加者が増加しているほか 問い合わせも昨年度より大幅に増えています。	、園に対する	3関心も	高まり、	見学や
	#75-7U 0				
	サブカテゴリー2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している				
	<b>削牛及こに、\・恥貝こ組織の能力の面で向上している</b>				
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている				
	·カテゴリー5: 「職員と組織の能力向上」	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	$\bigcirc$ c
		07.11	O A	0.5	00
	チャレンジプランへの取り組みにより、職員の意欲が高まっています ・「保護者と情報を共有して、ともに子育てをする」、「職員一人ひとりがお互いの立場を理解し、協力しる」を園のチャレンジブランの年度の目標として設定し、これに沿って個人のチャレンジブランを作成し組んだことで、園としての一体感が高まるとともに、職員一人ひとりの意欲が高まってきています。外部間にも保育について話合う職員の姿が見られるようになりました。	ました。この	目標に	職員全体	本で取り
	サブカテゴリー3				
	前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している				
	AT (TOTAL )				
	評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	削牛度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテコリーで評価される部分につい    て、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」	A+	$\bigcirc$ A	Ов	Ос
	·カテゴリー7:「情報の保護·共有」 				
	保護者と保育情報を共有するため、日々、写真入りの掲示を行いました				
	・保護者と保育情報を共有するため、日々の子どもの姿や行事の様子などを写真入りで掲示して、リンしました。 ・新規事業として、延長保育や延長スポット保育を順次開始し、保護者のニーズに応えました。	アルタイムで	保護者	に紹介す	するように
	がIが、ず未こして、 たはか月 「たはヘハツ」 かけで原人的なし、不暖有ツー 一人に心みも Uに。				

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
評価項目1				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている	<b>●</b> A+	ОА	Ов	Ос
改善の成果				
行財政改革を着実に実行するとともに、経費の節減を引き続き行いました・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げていま託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」「育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。・経費節減のため、ペーパータオルの使い方について無駄に使わないよう注意する張り紙を行ったほペーパータオルを使用しないことを徹底するなど、ケースごとに使い方を見直しました。また、区の環境ネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使用量を把握するとともに、毎年度の実績の推移す。今年度前期の実績では、昨年同時期に比べて、経費を2万3,000円の削減することができています。	す。この中で という3つが か、職員はん 意マネジメン をグラフ化し	で、区立 掲げられ ハンカチ ト活動の	【保育園( れており、 ・を必ず! )一環と	の事業委 区の保 特参して して、省エ
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	○ A+	<b>●</b> A	Ов	Ос
改善の成果				
保護者の意向を把握・集約し、サービス向上につなげました・保護者からの要望や意見を受けて、園庭の樹木の消毒を行ったほか、保育日誌やお知らせの掲示: 蛍光灯を入れ替えたりするなど、保護者の意向をサービス向上につなげました。 問題発覚時より早期を分かりやすく伝えることに努めました。 新たに投書用の意見箱も設置して、園だよりで保護者に伝えす。	解決に向け	て取り約	且み、内	容や結果

(事業所名: 杉並区立杉並保育園)

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

	A CVIEW	<u>のプロセス頃目 (ガナコリー 6 - 1 ~ 3、6 - 5 ~ 6 )</u> 共通評価項目	
		サブカテゴリー1	
1	サービス情報の	提供	
	評価項目1		
		ってサービスの情報を提供している	
		<b>評点</b> ( A	)
	評価	標準項目	
	_	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	
	● あり ○ な		○非該当
		2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	
	● あり ○ な		○非該当
		3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	
	● あり ○ な		○非該当
	【A+の取り組る	╊】 ○あり ●なし	
		サブカテゴリー1の講評	
	見学等は、個	別の状況に応じて対応しています	
		「は、次年度の入園申し込みに向けた見学をはじめ、定期的に身長や体重を量りに来る身体測定、毎週水間会、毎週水間で、毎週水間では、カスコは、カスコは、カスコは、カスコはます。日常の際に	
		会」等、年間を通じて受け入れており、H20年12月まででのべ64名の方々を受け入れています。見学の際に けではなく、見学者の目的に応じた時間設定(園児の活動しているところを見たいのであれば午前中がよいて	
	するなど、「より	よい見学」につながるような配慮も行われています。	·
	国の桂起け	さまざまな形で提供されています	
		さまさまな形と症状されたいます  で独自に作成されたリーフレットを配付(来園者のほか保健センターや園医さんのところに設置)しているほ	まか 区のホーム
	ページ上でも提	供されています。このホームページは、杉並区区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の	D概要」「保育目
	標」「年間行事」  う工夫されてい	などのほか、「園内の見取り図や写真」「地域向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が「	伝わりやすいよ
		o. 7 .	

		サブカテゴリー2				
2	サービスの開始:	終了時の対応				
	AT /T-T					
	評価項目1 サービスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている				
			)			
	評価	標準項目				
	青十1四	惊牛項目  1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している				
	● あり ○ なし		○非該当			
		   2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている				
	● あり ○ なし		○非該当			
		  3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している				
	● あり ○ なし		○非該当			
	<i>- 37 - 380</i>		O 1FBX II			
	【A+の取り組み】	○ あり ・				
	評価項目2					
	サービスの開始及	とび終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <b>評点</b> ( <b>人</b>	)			
		#T.M.( /\	,			
	評価	標準項目				
		1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	O # *> **			
	● あり ○ なし		○非該当			
	_	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している				
	● あり ○ なし		○非該当			
		3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている				
	◉ あり ○ なし		○非該当			
		4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援				
	● あり ○ なし	をしている	○非該当			
	IA . O HU1140 7.1					
	【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし				
		サブカテゴリー2の講評				
	入園時の各種	説明は、わかりやすいよう配慮しています				
		入園説明会では、園での基本的なルール、園生活で必要なもの、園生活の様子等が、「保育園のしおり」や「				
		,た写真等を用いて丁寧に説明されており、利用者調査において多くの保護者の方からわかりやすかったと 1ます。しかし、利用者調査より「説明時間が短い」といったご意見があるとともに、「保育園のしおり」以外の				
		に1枚もののプリントで配付しているなど、まだまだ改善の余地があると思われるため、今後の取組みが期待				
	The state of the s					
	入園直後は子	どもへの影響を考えた保育を保護者とともにすすめています				
		を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、少人数の集団での保育や特				
		計員の人員配置を手厚くする体制で臨んでいます。また、保護者の方々にも、初日から数日は短時間保育を 協力してもらっています。なお、これまでの保育経験(初日から1日預かるような保育をすると子どもによってⅠ				
	の後体調を崩し、	調力してもろうといるす。なめ、これなどの休育起歌(MDIから「口頂がある)な休育をすると「こもによりと「 結果何日も休むようになる事もある)等も交えながら話すなど、柔軟な対応をしながらも、保護者の方々の理	関解を得るよう			
	に努めています。					

	サブカテゴリー3	
個別状況に応じた	=計画策定·記録 	
評価項目1 必要に応じて、定 面ごとに明示して	められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 いる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	•
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
【A+の取り組み	○ あり	•
評価項目2 必要に応じて、子	どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計	
画を作成している	***************************************	)
評価	標準項目	ſ
● あり ○ なし		○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやす〈説明し、同意を得るようにしている	○非該当
● あり ○ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当
● あり ○ なし	4. 計画を緊急に変更する場合のし〈みを整備している	○非該当
A+の取り組み	) ಕು (೨ ಕು	
評価項目3		
	どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	│    標準項目 ┃1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	1
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
【A+の取り組み	್ರಹು (೨) ಕು	

	評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
١		
١	評価標準項目	
	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している  ・ あり こなし	○非該当
	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している <ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	
	サブカテゴリー3の講評	
_		
Ī	保育に関する計画については、3段階で作成され、状況に応じて変更も行われます	
	保育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大きく3段階り、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画のは日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要にが行われることもあります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月の園だよりで、週案は園内掲示にれています。	D作成の際に 応じて、改定
	子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記され、大事に管理されています	. १ टा <del>डॉ</del> ड सम
	子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。このは、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けず。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成譲者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われています。	けされていま
	子ども一人ひとりの状況は保育にあたる職員間で共有されています 各クラスでの情報共有は、主に各クラスを担当する正職員の間で行われており、クラスごとに定期的に開かれるカリキュラムを 週案・日誌・連絡ノート等の書類を通じて共有されています。また、日々の情報共有については、毎日行われる昼のミーティン体のことは「体制表ノート」で、クラス毎子ども毎のことは「当番引継ノートで、朝夕の連絡事項については「朝夕連絡ノート」で、われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。	グのほか、全
٦	サブカテゴリー5	
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
	評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
Ī	評価標準項目	
ı	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにし	
	● あり O なし ている	○非該当
	② まり ○ なし 2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	

	評価項目2 サービスの実施に	あたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	評点(	Α	)
	評価	標準項目			
	<b>●</b> あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している			○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることの 相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	ないよう、1	職員が	○非該当
	● あり ○ なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている			○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
		サブカテゴリー5の講評			
		バシーに配慮するとともに、「恥ずかしい」と思う気持ちを育てています			
	は、外では着替えシャワーを浴びる	慮としては、オムツ換えはついたてを立てその中で行うようにしています。また、幼児クラない、パンツをはくときは隅の方で見えないように履くように教える等の配慮が行われる場所は外からの視線をさえぎるすだれをかける、タオルの巻き方を教えるなど、子どものた、こうした活動を通じて子どもたちに「恥ずかしい」と思う気持ちを育ませることにも取り続	とともに、 プライバシ	夏季のプ ノーに配!	ール時には、
	子どもたちに対	する日頃の言動について振りかえりを行いやすい環境を整えています			
	るよう、子どもの権	ども達に対する日常の言葉遣いに対して適切かどうか(名前を呼び捨てにしないなど)、	見定を職員	が必ず	確認する職員
		サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準	<b>港化</b>			
		、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	評点(	Α	)
	評価	標準項目 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事	頂や手順	笙た明	ı
	●めり ○なし	1. 子引音(巻年音、子順音、マニュアル)寺で、事業所が提供しているり一と人の基本事確にしている 2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	サログ ピナ 順	<del>च</del> Œ M	○非該当
	● あり ○ なし	2. 子引音寺は、喊貝の共通達解が得られるような表現にしている 3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検	.7112		○非該当
	● あり ○ なし	3. 提供しているサービスが足められた基本事項や子順等に沿っているがごうがを無検 4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活		z	○非該当
	● あり ○ なし		3/13 O C 6 1	آن 	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり			

一年15日2			
評価項目2	めざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		
りに入の向工を	<b>評点</b> (	Α	)
÷17./7E	<u>↓₩,₹₩</u> ,₩		
評価	<u>標準項目</u> 1.提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		
●あり ○なし	1. たいしている。 これの主中学は「自然は160人文の時間」とは200年中はためられている		○非該当
	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や技	日安 乙	○ 1FBX ⊐
(a) # 11 (b) # 1	2. 提供しているサービスの基本事項で子順等の発量しためたり、 職員で保護者等からの意見であ どもの様子を反映するようにしている	<b>正<del>宋</del>、丁</b>	O 4F≠*//
● あり ○ なし			○非該当
_	3. 職員一人ひとりが工夫·改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り給る	且んでい	
● あり ○ なし	a a constant of the constant o		○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし		
TATE OF THE OFFI			
評価項目3	みにより、業務の一定水準を確保している		
こみこみな扱り組む	かにより、未初の た小牛を唯休している <b>評点</b> (	Α	)
評価	<u>標準項目</u> 1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るよ	シニして	
(a) + 12 (b) + 13	1.175日からには戦争の機会を使って、カーに人の奉本事項で子順寺が戦員主体に175度である。	JICUC	○ 4b++1/
● あり ○ なし			○非該当
_	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		_
● あり ○ なし			○非該当
	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		
● あり ○ なし			○非該当
	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		
● あり ○ なし			○非該当
	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		
● あり ○ なし	の、意思になっていることでは、このでは、これは日本のでは、これは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これは、これは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、		○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし		
	かたマニュアルを含め3種のマニュアルを活用しています		
毎年全園に配付さ	ぇれる「子育て託児サービス職員手引き」や区で定めた「危機管理マニュアル」に加え、会議の持ち、 バイトへの作業指示方法などを取りまとめた園独自のマニュアルを作成し、場面に応じて使い分けな	方、園庭	の遊び方ルー
	、イトへの作業指示方法などを取りまとめた園畑目のマニュアルを作成し、場面に応じて使い方)で ュアルについては、日々の保育の際に適用されるルール等がまとめられているため、職員の身近に		
	とができるよう、各クラスに1冊ずつ配付されています。		1111111111
マニュアルの内	9容は定期的に見直しが行われています		
	は、年に2回(半期に1回)、手順の検証とともに見直しが行われています。この見直しの際には、間		
	例などを出し合って行われており、組織として保育水準の底上げにつながる取り組みとして評価で  場の職員がわかりやすいよう配慮されており、職員自己評価においても「転勤者にもわかりやすし		
	ある。一般は、これでは、これであり、一般は自己計画においても、独動自にもわかりですがある。	14-17	がが、以直で
I			

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

			3項日(ガノコツ 0-4)				
	評価項目		ますための保育を行っている				
1		元圧では		)			
評価			標準項目				
	н	іш	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している				
	<b>●</b> あり	○なし		○非該当			
			2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている				
	● あり	○なし		○非該当			
			3. 多様な表現活動や園外活動を計画している				
	● あり	○なし		○非該当			
			4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている				
	● あり	○なし		○非該当			
			5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配				
	● あり	○なし	慮している	○非該当			
	【A+の取	(り組み)					
			評価項目1の講評				
	「個の尊	重」を	重視した保育が展開されています 				
			などをつかった活動を行う際は、子どもたちが納得するまで遊びこめるよう、時間がきたら片付けるのではな				
			食事などどうしても別の活動に移らなければならない場合においても「続き」ができるようブロックや積み木の				
			こし保存しておくなど、子ども一人ひとりの気持ちを尊重した取り組みが行われています。なお、完成した作品 ことができるものについては、飾っておくなどの配慮も行われています。	についても伽			
	自主性	·自発性	生を育む活動に取り組んでいます				
			遊びの延長線上で子どもが自らお片付けができるようになるような工夫がされているとともに(例えば、ミニカ				
			真と駐車線を引き、駐車場に車を入れる遊びを行うような気持ちでお片付けができるよう配慮)、幼児クラスに :運ぶなどの給食のお手伝いがステータスになっており、率先して手伝いに名乗りを上げるなど、子どもたち7				
			動に取り組めるような雰囲気づくり、環境づくりが行われています。	- H-FF H			
	卑午龄:	<b>☆油</b>	3園交流、各種行事など、多様な保育活動に取り組んでいます				
			)因又加、ロ性11 尹はこ、夕休は休月/12期に取り組化しいより ・ 男生物は充済なはじぬ 男芸の教徒 しなみ祭りなじのに体に東 早生を呈えて祭典はのさんにの充法	たたじが見明			

園内活動としては、異年齢児交流をはじめ、野菜の栽培、七夕や節分などの伝統行事、民生委員さん等地域の方々との交流などが展開されているとともに、園外活動では、散歩のほか、親子ピクニック、プラネタリウム見学、芋ほり、近隣の公立3園の年長児が主に交流する「3園交流」も年に数回行われており、様々な経験をつむことができる多様なプログラムに取り組んでいます。

評価項目							
栄養バラ	栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している <b>評点( A+</b>						
	/ж	標準項目	)				
R I	1Щ	標準項目  1.メニューや味付けなどに工夫を凝らしている					
<b>●</b> あり	○なし		○非該当				
			+				
<b>●</b> あり	○なし		○非該当				
		3. 食物アレルギーや文化·習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	+				
<b>●</b> あり	○なし		○非該当				
		4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている					
<b>●</b> あり	○なし		○非該当				
		5.[0歳児を受け入れている保育所のみ]					
○ あり	○なし	乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	● 非該当				
7 · ① EV	71760 July		<u> </u>				
【A+の取			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
		立てクラス毎に取り組みを行っています。取り組み内容としては、年長児を中心とした子どもたちが栽培活動 る食事ができるまでの流れを体験しながら学ぶという活動も行われていますが、日常の保育活動においても					
際のモチーフにミニトマトを選び、絵を描きながら「食」に対する興味や関心を育むなど、様々な角度から「食」に対してアプローチ							
取り組み	も行われ	いています。					
		評価項目2の講評					
–		<b>■楽し〈なる環境整備を行っています</b>					
年に数回	ある行事	事食の際には、園庭の桜を見ながら食事を行う花見会食など、会食形式で行ったり、異年齢での会食にする	など、特別な				
		ニューだけではなく、環境設定も変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。また、普 ラスでは遊びのときに机にかけているキルティングカバーを、食事をするときには外すなど、遊びと食事の区					
		食事ができるよう配慮しています。	1/JJ C				
·	ـــ . ـــ						
	個別に対応した食事を提供しています						
アレルギーを持つ子どもの場合や食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供さ   す。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起							
いよう、様々な工夫が凝らされています。							
   	食事がしやすい環境を整えています						
2 1 3 10	₹事かっとすい場場を歪んでいるす 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を						
利用していますが、1歳児までは座面の調整がき⟨イスも採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上に							
		さのイスやテーブルを用意するとともに、必要に応じて足マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての 全事ができるよう配慮されています	り子どもが食				
べやすい体制で食事ができるよう配慮されています。							
	評価項目3						
子どもが	心身の傾	建康を回復·維持するための支援を行っている <b>評点( A</b>	)				
			,				
評	価	標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<del>-</del>				
♠ ± 11			○非該当				
<ul><li>● あり</li></ul>	○なし		○非該ヨ				
<u> </u>	<u> </u>	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	Q " + F.V/				
<b>●</b> あり	○なし		○非該当				
_	_	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している					
● あり	○なし		○非該当				
		4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている					
● あり	○なし		○非該当				
【A+の取	加組み)		<u>,.l.</u>				
1/// 102-7/	( ) WITO !						

#### 評価項目3の講評

#### 看護師が常駐していなくても質を落とさないよう体制を整えています

園には常駐の看護師がいないため、近隣の保育園より月に1~2回、応援の看護師が園を訪問し業務を行っています。この応援の看護師 とは、必要に応じて連絡も取れるため、相談等がある場合は園から連絡し、適切な指示や助言をもらっています。また、園独自の保健マ ニュアルも作成し、これを元に全職員が怪我等の対応について学んでおり、簡単な処置については自らが対応できるよう備えています。

#### 子どもの健康状態は定期的に確認し、把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時に状況を確認しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い、記録しています。また、園医が定期健診(年2回)に加え、厚意で毎月来園してチェックして〈れるほか、耳鼻科・歯科など各診療科の医師が年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いた対応なども行っています

#### 保健だよりや園内の掲示により、情報提供を行っています

保健分野に関する保護者への情報提供は、月1回発行の保健だよりを通じて行っているほか、特に感染症に注意が必要な時期は、おたよりのほかに園内掲示をして注意を喚起するなど、予防対策に取り組んでいます。

#### 評価項目4 園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている 評点( Α ) 評価 標準項目 1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など) あり ○なし 非該当 2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている あり ○なし ○非該当 3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている あり ○なし ○ 非該当 ○あり 【A+の取り組み】 ● なし

## 評価項目4の講評

#### 室内は落ち着いて過ごせるよう環境設定を行っています

建物の天井が高いため、開放感がある反面、天井が高すぎて落ち着いて活動を行うことが難しい場面も見られることから、押入れを利用して狭い空間を作り、落ち着いて活動できる場所を確保したり、天井から布を吊り下げ、天井の高さを和らげた空間を作るなど、天井の高さが気にならないような環境設定について研究し、実践しています。また、コーナー設定なども工夫されており、棚などを活用しながら、狭い室内を効率的に分割し、利用することができています。

#### 子どもたちが楽しめる工夫をしています

七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、地域の方などとの交流も活発に行われており、3園交流をはじめ、敬老行事や民生 委員さんとの交流や園児の祖父母との交流なども行われており、子どもたちが保育所の生活を楽しめるような工夫がされています。

#### 午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

食事、睡眠、運動、排泄などは子どものリズムにできるだけあわせる配慮を行い、午睡については、早く寝たい子、目が覚めてしまう子がそれぞれ快適に過ごせる場所を確保して対応しています。また、年長児については、就学前には午睡をやめ、学校生活にすぐになじめるよう配慮しています。

評価項目 保育所と3		交流·連携を緊密に行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評値	<b></b>	標準項目	
● あり	<u> </u>	1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある	○非該当
<b>O 0</b> 00	<u> </u>	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	
● あり	○なし		○非該当
<b>●</b> あり	○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
(A) ± 10	O 1:-1	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	
● あり	○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	● 非該当
● あり	○なし		○非該当
A+の取	り組み	○ あり ● なし	
<u></u>	ほかE	評価項目5の講評 日誌なども活用し、情報提供を行っています	
	の園から	らの情報は、クラスの週の活動が記録されている週案やその日の出来事をお知らせしている日誌をクラスこ	ごとの掲示
呆護者へ ペースに打 す。この各	曷示し、 <i>^</i> 6種たよ	呆護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを りについては、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行	発行して
保護者へ ペースに持 す。この各 司作業をi	喝示し、 <sup>^</sup> 6種たよ 通じて保	呆護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを りについては、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行 育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。	発行して
保護者へいる。 ペースに対す。この各司作業を対 保護者会	場示し、ゲ を種たよ 通じて保 会 <b>や</b> 面談 I	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを別については、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行済者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。 談は他の行事とセットで行うよう設定しています。 こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせること	E発行して「 するという
保護者へいる。 ペースに対す。この各司作業を対 保護者会	場示し、ゲ を種たよ 通じて保 会 <b>や</b> 面談 I	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを りについては、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行 育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。 談は他の行事とセットで行うよう設定しています	E発行して fするという
保護者へいた。この名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名	場示し、ゲ を種たよ 通じて保 会 <b>や</b> 面談 I	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを別については、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行済者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。 談は他の行事とセットで行うよう設定しています。 こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせること	E発行して 「するという
保護者へいた。この名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名	場示し、ゲ を種たよ 通じて保 会 <b>や</b> 面談 I	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを別については、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行済者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。 談は他の行事とセットで行うよう設定しています。 こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせること	E発行して 「するという
保護者へいた。この名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名	場示し、ゲ を種たよ 通じて保 会 <b>や</b> 面談 I	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを別については、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行済者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。 談は他の行事とセットで行うよう設定しています。 こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせること	E発行して fするという
保護者へいた。この名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名	場示し、ゲ を種たよ 通じて保 会 <b>や</b> 面談 I	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを別については、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行済者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。 談は他の行事とセットで行うよう設定しています。 こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせること	E発行して fするという
保護者へは名では、本語では、大きのでは、そのでは、大きのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そ	場示し、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを発行していては、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。  談は他の行事とセットで行うよう設定しています  こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせることでいる姿を直接実感できるように配慮されています。	E発行して fするという
保護者へは という はい	場示し、 発種だて 面 で で 面 談 し の 取 り	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを発行したでいては、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。  談は他の行事とセットで行うよう設定しています  こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせることでいる姿を直接実感できるように配慮されています。   部本や育児困難家庭への支援を行っている  「おいては、おいては、まます。」  「おいては、おいては、おいては、おいては、まます。」  「おいては、おいては、おいては、おいては、これでは、これでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、まます。  「おいては、いっとでは、いっといいは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっといいは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっといいは、いっといいでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっといいは、いっといいは、いっとでは、いっとでは、いっといいないないないないないないないるでは、いっとでは、いっとでは、いっといいでは、いっといいでは、いっといいないないないいいは、いっといいでは、いっといいないないないないないないないないないないないないないないないないないな	E発行してい するという
Riter Action Rit	場示し、 発種だて 面 で で 面 談 し の 取 り	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを別については、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。  談は他の行事とセットで行うよう設定しています こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせることでいる姿を直接実感できるように配慮されています。  部本等児困難家庭への支援を行っている  「おいます」  「おいます」  「おいます」  「おいます」  「おいます。  「おいます」  「おいます。  「おいます」  「おいます」  「おいます」  「おいます。  「おいます」  「おいまする」  「おいます」  「おいます」  「おいまする」  「おいます」  「おいます」  「おいます」  「おいまする」  「おいます」  「おいまする」  「おいま	を発行して するという によって、
Ried Alexander Ried Ried Ried Ried Ried Ried Ried Ried	場示し、 発種だて 面 で で 面 談 し の 取 り	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを発行したでいては、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。  談は他の行事とセットで行うよう設定しています  こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせることでいる姿を直接実感できるように配慮されています。   部本や育児困難家庭への支援を行っている  「おいては、おいては、まます。」  「おいては、おいては、おいては、おいては、まます。」  「おいては、おいては、おいては、おいては、これでは、これでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、まます。  「おいては、いっとでは、いっといいは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっといいは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっといいは、いっといいでは、いっとでは、いっとでは、いっとでは、いっといいは、いっといいは、いっとでは、いっとでは、いっといいないないないないないないないるでは、いっとでは、いっとでは、いっといいでは、いっといいでは、いっといいないないないいいは、いっといいでは、いっといいないないないないないないないないないないないないないないないないないな	を発行して するという によって、
保護者へは まず司 保護者と では、 できます。 できませる できません アイド・アイド アイド・アイド アイド・アイド アイド・アイド アイド・アイド アイド・アイド アイド・アイド アイド・アイド アイド・アイド・アイド アイド・アイド・アイド・アイド・アイド・アイド・アイド・アイド・アイド・アイド・	号種 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを別については、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。  談は他の行事とセットで行うよう設定しています こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせることでいる姿を直接実感できるように配慮されています。  部本等児困難家庭への支援を行っている  「おいます」  「おいます」  「おいます」  「おいます」  「おいます。  「おいます」  「おいます。  「おいます」  「おいます」  「おいます」  「おいます。  「おいます」  「おいまする」  「おいます」  「おいます」  「おいまする」  「おいます」  「おいます」  「おいます」  「おいまする」  「おいます」  「おいまする」  「おいま	を発行して、 でするという
RC まされて では では では では では では では では では では	場所 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを別については、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。  談は他の行事とセットで行うよう設定しています こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせることでいる姿を直接実感できるように配慮されています。  神点( A 標準項目 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている 2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組	<ul><li>・ 非該:</li></ul>
R(す) R に と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	場所通 会 やの	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・圏・保健・延長等の各種たよりを別については、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。  談は他の行事とセットで行うよう設定しています こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせることでいる姿を直接実感できるように配慮されています。  「標準項目 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている。  「ないます。」  「農作を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている。  「ないますると、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている。」  「ないますると、といる。」  「ないますると、といる。」  「ないまするないでは、足量相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている。  「ないまするといる。」  「ないまするなどについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを	<ul><li>・ 非該:</li><li> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>
R に	場所通 (c) や)成 (c) の (c)	保護者に毎日の活動を伝えています。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを別については、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。  談は他の行事とセットで行うよう設定しています こついては、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせることでいる姿を直接実感できるように配慮されています。  「標準項目 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている 2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている 3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている 4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	ご発行して、

#### 評価項目6の講評

#### 区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、「虐待防止マニュアル」の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、 児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応な どが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

#### 研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています

区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表 し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるような取り組みをしています。継続的な園 全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

#### 保護者との発達に関する共通理解を深める取り組みを行っています

個人面談の際には、保護者の方に児童票のコピーしたものを配布し、記入を行っていただいています。この内容については、保育者として 記録した児童票の内容と突合せを行うことによって、発達に関する認識をお互いに理解し合うことにつながっており、大変評価できます。

	評価項目7 地域との連携のも	とに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
ı	評価	標準項目	
ı		1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	
	◉ あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし	

# 評価項目7の講評

# 地域の情報を保護者に提供しています

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域施設や機関から依頼があった場合 は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。

## 地域の方々との交流を積極的に行っています

地域との交流については、園においても非常に大事にしているところであり、職場体験や実習生の受け入れのほか、月に1回行われる民 生委員さんとのお話会を通じた交流や敬老の集い、ボランティアの美容師さんに来ていただいて開催される手品会など、子どもたちがたく さんの地域の方と触れ合える機会が確保されています。

(事業所名: 杉並区立杉並保育園)

1		(事業所名: 杉亚区立杉亚保育園) 
	特に良い	1と思う点
	タイトル	室内は落ち着いて過ごせるよう環境設定を行っています
1	内容	園舎の天井は非常に高く、開放感がある反面、高過ぎて落ち着いて活動を行うことが難しい場面も見られることから、押入れを利用して狭い空間を作り、落ち着いて活動できる場所を確保したり、天井から布を吊り下げ、高さを和らげた空間を作るなど、天井の高さが気にならないような環境設定について研究し、実践しています。また、各クラスのコーナー設定なども工夫されており、棚などを活用しながら、狭い室内を効率的に分割し、それぞれ異なる活動ができる「場」を生み出すことができています。
	タイトル	職員が協力し合える体制、職場づくりに取り組んでいます
2	内容	園のチャレンジブランの目標として、「職員一人ひとりがお互いの立場を理解し、協力し合い話し合える職場づくりを進める」を掲げ、担当や職種の枠にとらわれない意見交換の場を多く持つことに取り組んでいます。年間の会議や打ち合わせの計画を明確にしているほか、乳児・幼児のフリー職員を配置し、情報共有やフォローがしやすい体制も作っています。また、新たに選任した情報リーダーを中心に、園内研修を企画し、小グループに分かれて課題の討議を行うことも試みました。職員の自己評価でも、チームワークの良さを挙げる声が多く寄せられています。
	タイトル	わかりやすい園独自のマニュアルが作成されています
3	内容	会議の持ち方、園庭の遊び方ルール、パート・アルバイトへの作業指示方法などを取りまとめた園独自のマニュアルが作成されており、各クラスに1冊ずつ配付され活用されています。このマニュアルの内容については、年に2回、手順の検証とともに見直しが行われ、職員一人ひとりが自ら行っている改善事例などを出し合いながら必要に応じて改定されています。なお、マニュアルの記述は、現場の職員がわかりやすいよう配慮されており、職員自己評価においても「転勤者にもわかりやすいマニュアルが設置されている」と評価する声が寄せられています。
	さらなる	改善が望まれる点
	タイトル	入園時に配付する説明資料については、もう一段の工夫が望まれます
1	内容	入園前の面接や入園説明会では、園での基本的なルール、園生活で必要なもの、園生活の様子等が、「保育園のしおり」や前年度の保育の様子を撮影した写真等を用いて丁寧に説明されており、利用者調査において9割を越える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついています。しかし、「保育園のしおり」以外の配付資料については、項目ごとに1枚もののプリントで配付しているなど、ここで配付されるプリントが後の園生活におけるルールブックになることを考慮すれば、改善の余地があると思われます。
1	内容 タイトル	園のしおり」や前年度の保育の様子を撮影した写真等を用いて丁寧に説明されており、利用者調査において9割を越える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついています。しかし、「保育園のしおり」以外の配付資料については、項目ごとに1枚もののプリントで配付しているなど、ここで配付されるプリントが後
2		園のしおり」や前年度の保育の様子を撮影した写真等を用いて丁寧に説明されており、利用者調査において9割を越える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついています。しかし、「保育園のしおり」以外の配付資料については、項目ごとに1枚もののプリントで配付しているなど、ここで配付されるプリントが後の園生活におけるルールブックになることを考慮すれば、改善の余地があると思われます。
	タイトル	園のしおり」や前年度の保育の様子を撮影した写真等を用いて丁寧に説明されており、利用者調査において9割を越える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついています。しかし、「保育園のしおり」以外の配付資料については、項目ごとに1枚もののプリントで配付しているなど、ここで配付されるプリントが後の園生活におけるルールブックになることを考慮すれば、改善の余地があると思われます。 保護者の意見や要望に対する対応方法の工夫が望まれます  「事の後や保護者会の前にアンケートを実施し、保護者の意向の把握に努めています。集約結果は打ち合わせや期末の反省で取り上げて改善に活かしており、日誌やお知らせの掲示方法を見やすく変えたり、ベランダの蛍光灯を入れ替えたりするなど、サービス向上につなげています。しかし、利用者調査では、不満や要望への対応に関する設問の満足率はやや低く、自由意見にも、園や職員に対する不満や要望が複数寄せられています。アンケートの取り方や保護者への回答の仕方、納得してもらえるような説明方法など、対応方法の工夫が望
	タイトル内容	園のしおり」や前年度の保育の様子を撮影した写真等を用いて丁寧に説明されており、利用者調査において9割を越える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついています。しかし、「保育園のしおり」以外の配付資料については、項目ごとに1枚もののプリントで配付しているなど、ここで配付されるプリントが後の園生活におけるルールブックになることを考慮すれば、改善の余地があると思われます。  保護者の意見や要望に対する対応方法の工夫が望まれます  行事の後や保護者会の前にアンケートを実施し、保護者の意向の把握に努めています。集約結果は打ち合わせや期末の反省で取り上げて改善に活かしており、日誌やお知らせの掲示方法を見やすく変えたり、ベランダの蛍光灯を入れ替えたりするなど、サービス向上につなげています。しかし、利用者調査では、不満や要望への対応に関する設問の満足率はやや低く、自由意見にも、園や職員に対する不満や要望が複数寄せられています。アンケートの取り方や保護者への回答の仕方、納得してもらえるような説明方法など、対応方法の工夫が望まれます。

# 上高井戸保育園

#### [利用者調査:認可保育所]

(事業所名: 杉並区立 上高井戸保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯36世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数36共通評価項目による調査対象者数36共通評価項目による調査の有効回答者数26利用者総数に対する回答者割合(%)72.2

# 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を大きく超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が96.2%)。個別にみると、「戸外遊びの機会」、「一人ひとりの子どもは大切にされていると思う」についてはすべて肯定的な回答で占められているほか、「提供される食事への配慮」、「家庭と園との信頼関係」、「保護者の意見を聞く姿勢」についても肯定的回答が9割を超える結果となっています。 一方、「要望や不満の言いやすさ」、「要望や不満への対応」、「安全対策」については7割を下回っています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

# 利用者調査結果

用者調査結果				
共通評価項目		実	数	
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	24	1	0	1
食事やおやつへの満足度は高く、栄養面に関することや好き嫌いがなくなったなど概ね肯「魚メニューを増やしてほしい」、「無添加の食品を使ってほしい」などの意見もみられます。	定的な意見	が寄せられ	<b>さいます</b> 。	一方で、
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	26	0	0	0
自由回答も含め、すべての回答が肯定的な回答で占められており、保護者が大変満足して保護者にもしっかりと伝わっていることが、本評価につながったものと推察されます。	こいる様子だ	がうかがえ	ます。園では	の活動が
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	22	4	0	0
肯定的な回答は8割を大き〈超えています。自由意見についても「暖か〈対応して〈れる」「ゑ めますが、少数ながら「延長保育を導入してほしい」との意見も見られます。	を軟に対応	して〈れる」	との意見が	大半を占

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	21	4	1	0
肯定的な意見は約8割を占めており、1~2歳児の保護者よりも3歳以上児の保護者の方が 由意見では「配慮されている」「感謝している」との意見がある一方、看護師がいないことに 等の意見もあげられています。				
5.安全対策が十分取られていると思うか	18	7	1	0
肯定的な回答は約7割を占めています。肯定的な回答の率は3歳以上児の保護者でも1~的な回答が1~2歳児の保護者にのみ見られます。自由意見では、外部からの進入に対すそれぞれ複数みられます。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	20	5	1	0
肯定的な回答は3 / 4を占めており、否定的な回答もほとんどみられません。また、年齢別ルが多様化している中、すべての保護者の都合に配慮することは難しいことですが、そのよ満足している様子がうかがえ、評価できます。				
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	25	1	0	0
肯定的な回答でほぼ占められており、否定的な回答もみられず、ほとんどの保護者が満足意見では、「話しやすい」等肯定的な意見が大半を占めていますが、「先生によって異なる」				た、目由
				た、目由
意見では、「話しやすい」等肯定的な意見が大半を占めていますが、「先生によって異なる」 8.保護者の考えを聞く姿勢があるか	とする意見 25 している様	きも複数みを 1 ころがうかか	られます。 0 パえます。ま	0
意見では、「話しやすい」等肯定的な意見が大半を占めていますが、「先生によって異なる」 8.保護者の考えを聞く姿勢があるか 肯定的な回答でほぼ占められており、否定的な回答もみられず、ほとんどの保護者が満足	とする意見 25 している様	きも複数みを 1 ころがうかか	られます。 0 パえます。ま	0
意見では、「話しやすい」等肯定的な意見が大半を占めていますが、「先生によって異なる」 8.保護者の考えを聞く姿勢があるか 肯定的な回答でほぼ占められており、否定的な回答もみられず、ほとんどの保護者が満足意見では、「親身になって聞いてくれる」とする肯定的な意見と「先生によって異なる」とする	とする意見 25 している様 意見の両す 22 1~2歳児の つ多くが満足	きも複数みを 1 1 子がみられ 4 ことしていると	られます。 0 ます。 0 以記されま	0 た、自由 0 上児の保 ます。ま
意見では、「話しやすい」等肯定的な意見が大半を占めていますが、「先生によって異なる」 8.保護者の考えを聞く姿勢があるか 肯定的な回答でほぼ占められており、否定的な回答もみられず、ほとんどの保護者が満足意見では、「親身になって聞いてくれる」とする肯定的な意見と「先生によって異なる」とする 9.サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか 肯定的な回答が8割を大きく超えており、否定的な回答もみられません。年齢別でみると、護者の方が肯定的な率が低い傾向が見られるため注意が必要ですが、おおむね保護者のた、自由意見では、「親同士の中がよいので問題ない」とする意見がある一方「個人情報だ	とする意見 25 している様 意見の両す 22 1~2歳児の つ多くが満足	きも複数みを 1 1 子がみられ 4 ことしていると	られます。 0 ます。 0 以記されま	0 た、自由 0 上児の保 ます。ま

11.職員の対応は丁寧か	23	2	0	1
肯定的な回答が約9割を占めており、否定的な回答もみられず、保護者の多くが満足していては、「わからない」「笑顔で明るい」等様々な意見が寄せられています。	<u>ハる様子が</u> 	うかがえま	す。また、自	自由意見
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	14	9	2	1
肯定的な回答は約5割にとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。本設問 〈設問のため、寄せられた意見の中には「不満はない」等の意見がみられることからも、保 えます。しかし、一方で否定的な意見も約1割を占めているため、何らかの対応をとることが	護者にとっ <sup>-</sup>	て答えずら		
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	17	7	1	1
肯定的な回答は7割を下回り、前問に引き続き満足度が低い項目です。しかしながら、本限とどまっています。本設問も、きちんと対応しているかを一律でき〈設問のため、答えずらい	引では否定 設問である	的な回答の らといえます	)割合はご〈 -	<u>、わずか</u> に
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	10	2	13	1
否定的な回答(知らない)が5割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答率との相関があまり高くないことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるともずかった」「連絡先がわからない」等ある一定数のコメントが寄せられていることから、何らから	考えられま	すが、自由	意見におい	
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	9	0	0	0
1年以内に利用を開始した9人すべてが肯定的な回答をしており、また、自由意見でも、「安きました」との意見も寄せられており、保護者が大変満足している様子がうかがえます。	心して子ど	もを預けら	れる場所だ	きと判断で

[組織マネジメント:認可保育所]

(事業所名: 杉並区立 上高井戸保育園)

組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)

		共通評価項目	
		カテゴリー1	
1	リーダーシップと意	意思決定	
		サブカテゴリー1	
	事業所が目指して	いることの実現に向けて一丸となっている	
	<b>並供表口</b> 4		
	評価項目1 事業所が目指して	こいること(理念、基本方針)を明確化・周知している	
		デ点( A	)
	評価	標準項目	
		1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	
	● あり ○ なし		○非該当
	_	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	
	● あり ○ なし		○非該当
		3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	0
	● あり ○ なし		○非該当
		4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を 思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	O 11 43 414
	● あり ○ なし	750 Rec 7 CC 3 TX 7 MEG 7 C 1 J 7 C V 1 3 ( 24 Mg 1 1 C ME MG C C 3 G C )	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ・	
	評価項目2		
	経召僧(建召官理	者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <b>評点( A</b>	)
	 評価	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	<u>青半1叫</u>		
	● あり ○ なし		○非該当
		2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし	

		1て、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関 る <b>評点( A</b>	)
評	価	標準項目	
		1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
● あり	○なし		○非該当
		2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
● あり	○なし		○非該当
		3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
● あり	○なし	V1.9	○非該当
【A+の耳	図り組み!	○ あり ● なし	
	·	カテゴリー1の講評	

# 園目標やクラス目標を明示しています

園目標「生きる力、大きな心を持ったこども 〜自分を愛せるこども〜友だちを大切にできるこども〜意欲のあるこども〜心もからだも元気なこども〜」は、園のしおりや区の園紹介のホームページに掲載され、事務所内にも掲示されています。また、園目標やクラス目標に沿って、年間指導計画が展開されています。保護者に対しては、入園説明会や年度初めの全体保護者会で園目標や園運営のコンセプトについて説明を行っているほか、4月の園だよりに園目標を掲載して伝えています。

### 園長は、職員の自主性を尊重しつつ、自らの責任を自覚して行動しています

園長は、自らに全ての最終決定権、責任の一切があること、保護者に対する説明責任があることを自覚して行動しています。率先して保護者対応にあたっているほか、自ら事務所だよりを発行したり、毎月の園だよりにメッセージを掲載したりしています。「すぐに結論や答えが出なくても良いから、まずは職員一人ひとりに自ら考えてもらうこと」を指導方針としているためか、職員調査では、経営層やリーダー層の指導力不足を指摘する意見がいくつか挙げられています。職員の自主性を大切にしている意図をもう少し職員に伝えていく必要があるかもしれません。

#### 職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園の重要な案件については、各クラスからの提案や検討を経て、園長や主査、リーダー層で検討し、職員会議で討議して決定しています。 また、重要な意思決定についても、職員会議で全体に説明・周知しています。毎日の朝の打ち合わせを廃止し、昼の打ち合わせを徹底したことで、クラスの代表者だけでなく正規職員全員が出席できるようになり、話し合いや情報の共有がスムーズとなったほか、保護者とのコミュニケーションに力を注ぐことができるようになりました。職員調査では、小集団のため会議で発言しやすい等の肯定的な意見が多く寄せられています。

カテコリー2		
的責任		
サブカテゴリー1		
	Α	)
標準項目		
1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		○非該当
	<u></u> వ	○非該当
		0 11 20-1-1
		)
· ·		
	1組ん	T
でいる		○非該当
6.に関する情報を関ラしている	事業	○非該当
サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている		
	Α	)
標準項目	- 70	
放、個別相談など)		○非該当
師派遣かど)を行っている	催、講	〇非該当
<b>○ あり                                   </b>		
	ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	サブカテゴリー1 ・ビス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる ・ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している ・ 標準頂目 ・ 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している ・ 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる ・ まり ② なし ・ まり ③ なし ・ 「無準頂目 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

評価項目2				
ボランティア受けん	入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	評点(	Α	)
		H1 //// (		,
評価	標準項目			
	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
● あり ○ なし				○非該当
	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み	<b>○</b> あり <b>●</b> なし			
評価項目3				
評価項目3 地域の関係機関の	との連携を図っている	÷== /	Δ	
評価項目3 地域の関係機関の	との連携を図っている	評点(	A	)
評価項目3 地域の関係機関の 評価	標準項目	評点(	Α	)
地域の関係機関の		評点(	A	)
地域の関係機関の	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	評点(	A	)
地域の関係機関の 	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	
地域の関係機関の 	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	<u> </u>
地域の関係機関の 評価 ・ あり くなし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関の評価 おり なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関の評価 おり なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関の評価 おり なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関の評価 おり なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当

#### 遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、保育所保育指針等が事務所に常備されているほか、全職員が所持する公務員倫理に関す る区のハンドブックには、子どもの人権尊重や個人情報保護をはじめ、守るべき事項が明示されています。今年度、園内・園外で新保育所 保育指針に関する研修を数多〈実施・受講しており、職員が倫理法令遵守について再確認する良い機会になっています。制度や社会、 人々の関心のもち方の変化も激しいことを意識し、今後も定期的に確認し合うことが期待されます。

# 園の機能や専門性を活かし、地域に開かれた園づくりを行っています

毎日、広い園庭を開放しているほか、ふれあい保育を実施し、園の子ども達の日常活動に地域の親子が参加し、体験できる機会を設けています。また、近隣の児童館の子育て支援行事に保育士を派遣して、出し物に協力したり、育児相談にも応じたりするなど、園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています。現在は希望者を受け入れるにとどまっていますが、今後は地域の親子が保育園に何を望んでいるのかを探り、地域密着の保育園としてのさらなる取り組みが期待されます。

# 小学校地区の地域子育てネットワークに参画しています

小学校地区の地域子育てネットワーク会議に参画しており、勉強会や地域の子どもに関する課題について話合う機会を定期的に持っています。地域の小学校とは、年長児が招かれてゲームをして遊んだり、1・2年生が園の運動会や夏祭りに遊びに来たりしているほか、入学式や卒業式には職員が出席するなど、年に数回の交流があり、良好な関係が築かれています。地域のネットワークや関係機関との会合に参加するのは、園長や主査に限られてしまうことから、今後、他の職員も参加しやすい環境づくりが課題となっています。

	カテゴリー3	
利用者意向や地	域・事業環境の把握と活用	
	サブカテゴリー1	
利用者意向や地流	域・事業環境に関する情報を収集・活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見·要望·苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
	2. 利用者一人ひとりの意見·要望·苦情に対する解決に取り組んでいる	O TRIAD
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み	] ○ あり <b>⑥</b> なし	
評価項目2 利用者意向の集	約·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	
13/11日201300米		)
評価	標準項目	I
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み	] ⊙ ಹು0	
評価項目3		
地域・事業境境に	:関する情報を収集し、状況を把握·分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・ 分析している	○非該当
【A+の取り組み		

#### カテゴリー3の講評

# 保護者の苦情等を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口についての認識度は4割未満となっており、周知方法の再検討が望まれます。保護者会や個人面談で出た要望等については、全員で話し合って解決を図っています。投書用の意見箱も、通用門の外に設置されていますが、特に保護者には案内しておらず、活用されていないようです。長い間に箱も傷んできており、再整備が必要と思われます。

# アンケートを活用して保護者の意向を集約し、サービス向上につなげています

運動会の後に感想アンケートを実施しているほか、年度末には保護者アンケートを実施して、保護者の意向を把握することに努めています。保護者アンケート結果は、職員会議で取り上げ、反省を行うとともに、園としての回答をまとめ、保護者全体に改善案や対策を配布しており、評価できます。保護者からの意見を受け、保護者とのティータイムの時間の変更や生活発表会の内容の見直し等を行っていることも確認できました。また、個人面談では保護者の要望を丁寧に聞き出すことに努めており、要望の多い園の設備改修に関する区の方針等も伝えています。

#### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワークの連絡会や区立保育園の園長会・主査会に参加して収集しており、職員会議で職員に報告・周知しています。また、区からの通知や冊子などの資料は職員間で回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

画の策定と着	<u>カテゴリー4</u> 実な実行	
	# <b>*</b> + = <b>*</b> 11	
3践的か課題, 計	サブカテゴリー1 †画策定に取り組んでいる	
に成りる 小成 日	四束足に取り組/0 (いる	
平価項目1		
り組み期間にん	応じた課題·計画を策定している <b>評点( A</b>	)
<u>÷</u> 亚/≖		
評価	標準項目  1.理念·ビジョンの実現に向けた中·長期計画を策定している	
● あり ○ なし	,	○非該
	2. 年度単位の計画を策定している	
● あり ○ なし		○非該
	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし	,	│ ○ 非該
A+の取り組み 平価項目2		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・]	)
平価項目2 角的な視点か	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b>	)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ら課題を把握し、計画を策定している	)
<sup>2</sup> 価項目2 角的な視点か 評価	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<u> </u>
で価項目2 角的な視点かい 評価 ・ あり ○ なし	6課題を把握し、計画を策定している	○非該
平価項目2 ・角的な視点か 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている ,	○非該
☑価項目2 角的な視点か 評価 ● あり ○ なし	6課題を把握し、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
平価項目2 :角的な視点か :評価 ② あり ○ なし	ら課題を把握し、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
呼価項目2 :角的な視点から 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	ら課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目2 ・角的な視点か 評価 ● あり	6課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
呼価項目2 6角的な視点から 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	6課題を把握し、計画を策定している	)
平価項目2 5角的な視点か 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし ● あり ○ なし	6課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該

評価項目3		
	行に取り組んでいる	
目天は口口 ツヘ		)
	Hrom, D	,
評価	標準項目	
	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
●あり ○なし		○非該当
0 0, 0 0.5		0 11 12.3
	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例·失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	
● あり ○ なし	の取り組のを11つでいる	○ 非該当
	  3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	
		O 4F≠*//
○ あり		○非該当
	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで	
● あり ○ なし	เาอ	○非該当
		O 11 kg
【A+の取り組み】	] あり ●なし	
	•	
		ĺ
Γ	サブカテゴリー2	
利用者の安全の研	確保・向上に計画的に取り組んでいる	
評価項目1		
	確保·向上に計画的に取り組んでいる	
		)
利用者の安全の研	<b>評点( A</b>	)
	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	)
利用者の安全の研	<b>評点( A</b>	)
利用者の安全の研	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	) ○ 非該当
利用者の安全の研究を	標本項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	
利用者の安全の研究を	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	
利用者の安全の研究を	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	
利用者の安全の研算を表現します。 評価 おり ○ なし	標準項目  1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している  2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
利用者の安全ので 評価 ・ あり くなし	標準項目  1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している  2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の安全の研算を表現します。 評価 おり ○ なし	標準項目  1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している  2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の安全のでいます。 評価 の あり の なし の あり の なし の あり の なし	標準項目  1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している  2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の安全ので 評価 ・ あり くなし	標準項目  1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している  2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の安全のでいます。 評価 の あり の なし の あり の なし の あり の なし	標準項目  1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している  2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の安全のでいます。 評価 の あり の なし の あり の なし の あり の なし	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の安全のでいます。 評価 の あり の なし の あり の なし の あり の なし	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の安全のでいます。 評価 の あり の なし の あり の なし の あり の なし	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の安全のでいます。 評価 の あり の なし の あり の なし の あり の なし	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の安全のでいます。 評価 の あり の なし の あり の なし の あり の なし	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

#### チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます

区では中・長期計画として、杉並区基本計画や保健福祉計画などを策定しています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門 (園)においてチャレンジブランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。さらに、室内や遊具等の環境改善など、単年度では取り組みにくい課題を複数年度に渡る目標として設定することで、より大きな成果が期待できるため、分かりやすい目標や指標を設定した取り組みが期待されます。

#### 複数のプロジェクトを組織し、チャレンジプランの実行に取り組んでいます

園では、区の意向や園の課題に沿って年度始めに複数のプロジェクトを組み、全職員参加で園のチャレンジブランの推進に取り組んでいます。チャレンジプランの目標(保護者と共有できる、安心で安全な心地良い保育の実施等)に沿って、園内研修の企画やデジカメ保育速報、園のPR活動、みどりの推進、環境設定・危機管理マニュアル作り等の9つのプロジェクトを設置し、半期ごとに活動状況の確認、見直しを行いながら、取り組みを進めています。様々に成果は見られますが、プロジェクトの活動計画を作成することで、より着実な取り組みが期待できます。

# 危機管理プロジェクトを中心に、園内の安全確保に努めています

子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練が計画的に実施されています。地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も行われています。また、危機管理プロジェクトを中心に、園内の危険箇所の点検と改善を行っているほか、事故が発生した場合は、その経緯や内容を「事故報告書」に記録し、全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。さらに、現場でのひやりとした事例を日々収集・記録し、予防対策につなげる取り組みが望まれます。

		カテゴリー5	
職員と組織	戦の能力	D向上	
		サブカテゴリー1	
事業所が目	目指して	こいる経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
評価項目		- 西かし +++株ポート ブルス	
争美別にと	とって必	・要な人材構成にしている <b>評点( A</b>	)
		m.w./ \(\frac{1}{\sqrt{1}}\)	,
評価	<b>T</b>	標準項目	_
		1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	
● あり	○なし		○非該当
		2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
		  3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	
(A) ± 11	O 401		<u> </u>
● あり	○なし		○非該当
【A+の取り	り組み)	] ○ あり ● なし	
評価項目	2		
評価項目 職員の質の		に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
職員の質の	の向上に	<b>評点( A</b>	)
	の向上に	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	)
職員の質の	の向上に	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>
職員の質の	の向上に	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>
職員の質の 評価 ● あり	の向上I <u>面</u> 〇 なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
職員の質の 評価 ● あり	の向上に	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
職員の質の 評価 ● あり	の向上I <u>面</u> 〇 なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
職員の質の 評価 ・ あり ・ あり	の向上I <u>面</u> 〇 なし	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当
職員の質の 評価 ● あり	の向上I	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当
職員の質の 評価 ● あり ● あり	の向上I	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質の 評価 ● あり ● あり	の向上I	<b>評点( A</b>	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質の 評価 ● あり ● あり	の向上I	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかをで記している	○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当
職員の質の 評価 ● あり ● あり	の向上I	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかをで記している	○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当
職員の質の 評価  あり  あり  あり  あり  あり  あり  あり	の向上I	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当
職員の質の 評価      あり     あり     あり     あり	の向上I	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	) ② 非該当 ③ 非該当 ③ 非該当 ③ 非該当
職員の質の 評価      あり     あり     あり     あり     あり	の向上I	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質の 評価      あり     あり     あり     あり     あり	の向上I	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質の 評価      あり     あり     あり     あり     あり	の向上I	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当

	サブカテゴリー2				
職員一人ひとりと	職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる				
評価項目1 職員一人ひとりの	主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	評点(	A	)	
 評価	標準項目				
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している			○非該当	
● あり ○ なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる			○非該当	
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる			○非該当	
【A+の取り組み】	○ あり 🌘 なし				
職員のやる気向上に取り組んでいる					
評価項目2 職員のやる気向」	上に取り組んでいる	評点(		)	
職員のやる気向」		評点(	A	)	
評価項目2 職員のやる気向」 評価	上に取り組んでいる 標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連 メントを行っている				
職員のやる気向」  評価	標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでい	動した人		;	
職員のやる気向」  評価	標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでい 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	動した人		7 計該当	
職員のやる気向」  評価  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでい	動した人		○ 非該当 ○ 非該当	
職員のやる気向」  評価  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでい  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	動した人		○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当	
職員のやる気向」  評価  ● あり	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでい  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	動した人		○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当	
職員のやる気向」  評価  ● あり	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでい  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	動した人		○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当	

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、職員から希望をとり、園長・主査の案を職員会議に提案して理由を説明した上で話し合って決定しています。プ ロジェクトや係については、職員の経験やスキル、バランスを考慮して選任しています。

#### 個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、園長が個人面談を行う中で把握していま す。研修については、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて受講を進めており、個人の研修歴カードや実務研修参加 名簿に記録し、実績を把握・確認できるようにしています。研修受講後は、レポートを作成して研修成果を自己評価し、園長が確認した上 で区に提出しているほか、職員会議での研修報告を徹底しています。職員が1人1回は講師になり、園内研修を実施するという取り組みも 実施しています。

# 就業状況を把握し、職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

就業状況に関しては、休憩時間は協力し合って確保できているほか、時間外労働は月平均2~3時間程度、有給休暇は1人年平均16日 程度取得できており、職員調査では大きな不満は見られません。園長は、職員にやりがいを持ってもらえるよう、パソコンや草花・野菜の 栽培、劇遊びの指導など個々の得意分野を活かした役割分担を行うようにしており、職員が教え合ったり、助け合ったりしています。一方で、苦手なことをそのままにしないようにすることが課題となっています。職員調査でも、仕事の配分や負担が偏っているとの意見もあり、 注意が必要です。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	すに取り組んでいる	
「価項目1 「業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
未川川田恨しい		)
評価	標準項目	
	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	
● あり ○ なし		○非該
	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	
りあり ○ なし		○非該
` -	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	
りあり ○ なし		○非該
価項目2		
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u> 動あり ○なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 のあり ○なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
で価項目2  人情報は、「個       評価   あり ○ なし   あり ○ なし   あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

#### カテゴリー7の講評

# 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に 従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使 いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、退出時に は事務所自体も施錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を 徹底しています。

# 個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得る取り組みが望まれます

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類に一部記載は見られますが、園においても、園のしおりに具体的に利用目的を明示したり、写真やビデオの撮影や他機関への情報提供が必要な場合には保護者から書面で同意を得るなどの取り組みが望まれます。

#### 職員が個人情報保護を理解し行動するための取り組みの充実が期待されます

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、入職時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、個人情報保護等の留意事項を伝えていますが、口頭での説明にとどまっています。個人情報の保護について、パートやアルバイトも含めた全職員、ボランティアや実習生が理解し、具体的に行動できるよう、配布資料を作成したり、園内研修等の機会を設けるなどの取り組みが期待されます。

	カテゴリー8				
8	カテゴリー1~7に関する活動成果				
	サブカテゴリー1				
I	リフカデコリート 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してい	13			
ı					
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」	● A+	ОА	Ов	Ос
	・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」				
	改善の成果				
	各種プロジェクトを設置し、チャレンジプランに取り組みました	<b>"~ ." 国由</b> 打	- W - A	=-t-	n
	・年度初めにプロジェクト(デジカメ保育速報、園のPR活動、みどりの推進、声を吸い上げるシステム・機管理マニュアル作り等)を設置し、園のチャレンジプランに位置付けた年度の目標や課題に取り組み保育の共有、今年度は新保育所保育指針への対応と、その時々のテーマに合わせて、職員が一体とみが定着しています。	みました。特	に、昨年	度は情	報共有·
	サブカテゴリー2				
	前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している				
Ì	±□/≖τō□ ₄				
	評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
Ì	て、改善を行い成果が上がっている	_			
	·カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+	A	Ов	Ос
Ì	改善の成果				
	新保育所保育指針について全職員で学び、意欲と能力を高めています				
	・新保育所保育指針に関する園内・園外の研修に全職員が参加しました。全員が同じ書籍を購入して ど、新保育所保育指針の内容を学ぶとともに、来年度からの保育の計画について検討を行っています に所属し、園のチャレンジプランに取り組むことで、職員が意欲と能力を高め、園の組織力の向上にご	す。全職員が	いずれ		
	サブカテゴリー3				
	前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	て、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」	<b>Ω</b> Δ.	$\bigcap$ $\Lambda$	Ов	$\bigcirc$ c
	・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	● A+	O A	ОВ	$\bigcirc$ C
	改善の成果				
	保護者との情報の共有を目指し、保育日誌を公開するようにしました				
	・保護者との情報の共有、保育の共有を目指し、保育日誌の公開を行っています。以前はその日の代度書いていましたが、保育日誌をそのままファイルに入れて各クラスの園庭側のテラスに展示し、迎え形式に変更しました。日々の活動がなぜ行われているのか明確になるよう、週案も同時にファイリングれる活動の意味も保護者と共有できるように心がけています。保護者に公開することで丁寧な文章を徐々に統一されてきました。また、デジカメ保育速報と題し、即日、子ども達の様子を写真で掲示する	えに来た保護 ブレて公開し :意識し、バラ	者が自 ており、 うつきの	由に閲覧 その時ぐ あった書	覧できる ₹に行わ

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
評価項目1				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている	<b>●</b> A+	ОА	Ов	Ос
行財政改革を着実に実行するとともに、省エネ活動を推進しています ・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げていま託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」を育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。 ・区の環境マネジメント活動の一環として、省エネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使見額の推移をグラフ化して園内に掲示しています。平成11年度の使用量を100%とすると、平成19年度でガス118.1%、用紙は13.8%となっています。	きす。この中 <sup>-</sup> という3つが3 用量を把握す	で、区立 掲げられ よるととも	:保育園( いており、 もに、毎 <sup>1</sup>	の事業委 区の保 年度の実
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	○ A+	<b>●</b> A	Ов	Ос
改善の成果				
保護者アンケート結果を受け、改善に取り組みました ・昨年度末に「安心して預けられる保育園を目指して」とする保護者アンケートを園独自に実施し、アンて園としての回答をまとめ、保護者全体に改善案や対策を配布しました。蚊の対策の実施や登降園時護者会や保護者とのティータイム時間の変更など、様々な改善・解決を行っています。初の試みにより者の要望に応えながら、保育等の見直しを行うことができました。	寺のヘルメッ	トの置き	場所の	確保、保

(事業所名: 杉並区立 上高井戸保育園)

	特に良い	1と思う点
	タイトル	小規模園の特性を生かした家庭的な保育が行われています
1	内容	杉並区立保育園の中でも最も児童数が少ない小規模園であり、家庭的な保育が行われています。1クラスの人数も少ないため、子どもが室内遊びを継続したい場合も庭に出たいときも、隣のクラスの担任と連携し合い、他のクラスと一緒に活動することができるなど、1歳児から5歳児まで自然な異年齢交流が行われています。乳児クラスだけでなく、幼児クラスでも、子ども全員の個別配慮を検討し合い、全職員が他のクラスの子どもや保護者について熟知しています。園庭も広く、芝生のある環境の中で、子どもが伸び伸びとゆったり過ごしています。
	タイトル	複雑な問題への対応能力を高めるための取り組みに力を入れています
2	内容	近年、児童虐待や育児困難家庭の問題がクローズアップされており、当園でもコミニュケーション能力やカウンセリング能力を高めることが大切であると考えています。職員の多くが専門家の講義を受講し、複雑な家庭や子どもの支援について学んだり、非常勤も含めた全職員が子どもや保護者に対して不適切な対応を行っていないか、独自のチェックリスト(職員が気を付けていくこと)を用いて自らの言動を自己評価し、職員間に結果を公表しています。毎月の実施状況と全体の傾向を踏まえて項目の見直しにもつなげており、高く評価できます。
	タイトル	地域交流を意欲的に行い、子どもに豊かな経験をもたらしています
3	内容	園では、中学生の職場体験や保育実習生などを受け入れているほか、老人保健施設を訪問しての高齢者との交流や毎日の園庭開放に参加する親子との交流、近隣の公立保育園4園(上高井戸·久我山·久我山東·高井戸)で行う交流、発達センターの子ども達との交流、地域の小学校への訪問など、子ども達と様々な世代の方々との交流が意欲的に行われ、子ども達に豊かな経験をもたらしています。職員の事務所は、保護者や地域の親子など、園を訪れる様々な人々が声をかけやすいように、寒い日でもドアを開けているなど、開放的な姿勢で対応しています。
	さらなる	改善が望まれる点
	タイトル	マニュアルの作成・管理や設置方法の検討が望まれます
1	内容	園の基本的なルールや事件・事故等に対する対応方法などについては、区のマニュアルがあり、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要に応じて、改訂作業も行われています。また、園独自のマニュアルとしても、「散歩マニュアル」や「パート職員の仕事内容」等を作成し、事務所内に吊り下げ、すぐに確認できるようにしています。さらに、最新版の把握や改訂管理がしやすいような作成方法の検討や、園の方針や体制、計画等も含めた全体を1つにまとめて分かりやすい場所に設置するなどの工夫が望まれます。
	タイトル	トイレ環境を始めとした施設・設備の改修等、さらなる安全対策が望まれます
2	内容	園舎は日当たりが良く、各クラスも心地よい空間が作られています。しかし、建物が古いため、トイレが全年齢同じ場所にあり、ベランダを通って行かなければならないなど使いにくく、死角となる場所もあるなど、施設・設備の構造上の問題も抱えています。利用者調査の自由意見には、建物の耐震性チェックを望む声やトイレ付近の安全性に疑問を持つ声も寄せられています。トイレには、職員が常に子どもに付いて注意を払うようにしたり、子どもが怖がらないようにする工夫も見られますが、設備の改修や職員の動きの確認等、さらなる安全対策が望まれます。
	タイトル	個別配慮をさらに充実させるための工夫が期待されます
3	内容	全職員が他のクラスの子も含めた一人ひとりの子どもを把握して保育を行っている当園ですが、個別の記録を残すという点では必ずしも十分ではないように思われます。子ども全員の個別配慮を検討、記録することにも取り組んでいますが、幼児の日常の一人ひとりの様子や活動は、週案及び保育日誌に気になった点を特記事項として一部記載するほかは、保護者との連絡ノートに記載するのみとなっています。個々のケースを共有するために、保育日誌や職員間の打ち合わせノートを見直し、業務負担とならないような記録の工夫を行っていくことが期待されます。

〔サービス分析:認可保育所〕

(事業所名: 杉並区立 上高井戸保育園)

サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

		共通評価項目	
		サブカテゴリー1	
1	サービス情報の打	是供	
	評価項目1		
	保護者等に対して	てサービスの情報を提供している <b>評点( A</b>	)
	 評価	標準項目	
	H111M	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	
	● あり ○ なし		○非該当
		3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	
	● あり ○ なし	,	○非該当
	【A+の取り組み	○ あり ● なし	
		サブカテゴリー1の講評	
		々な形で発信しています	
	園の情報は、区役	殳所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームペ− ♪トで作成されており、「所在地」、「園の概要」、「保育目標」、「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写	-ジは、区立園   直、「地域向
	けのサービス」、	「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。また、年4回、地域版の園だ し、地域の方々への周知を図っています。	どよりを児童館
	や小子校に配布	ひ、地域の方々への同和を図っています。	

		サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・	終了時の対応	
	評価項目1		
		こあたり保護者に説明し、同意を得ている	
		デ点( A	)
	評価	標準項目	
		1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	
	● あり ○ なし		○非該当
		2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み		
	評価項目2		
		及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	
		<b>評点</b> ( A	)
	評価	標準項目	
		1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	
	● あり ○ なし		○非該当
		2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	
	● あり ○ なし		○非該当
		3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		  4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援	
	● あり ○ なし	をしている	○非該当
	/ A BEI 12 / C 3 .		<u> </u>
	【A+の取り組み	】	
		サブカテゴリー2の講評	
	入園時の各種	説明は、わかりやすいよう配慮しています	
		入園説明会では、園の概要や園からのお願いを記載した入園のしおりを用いて保護者に丁寧に説明してい	
		用者調査において1年以内に入園したと回答した保護者全員から分かりやすかったと支持される結果に結: ごもを預けられる場所だと判断できました」との自由意見もみられました。 入園のしおりにはさらに、イラストや	
		こもを頂けられる場所にと判断できまりに、その自由息見もめられました。 八園のしのりにはきらに、イフストや、、より充実した内容としていく工夫が期待されます。	凶を多く取り
	入園直後は子	どもへの影響を考えた保育を実施しています	
		D生活状況を正確に聞き取って把握し、記録に残しています。初めての園生活を迎える子ども達にとっては、	
		が大きいことから、個別保育を行う(別保育で芝生で遊んでもらうなど)とともに、職員の配置を手厚くしてじっ うにしています。 面談時に保護者に確認し、可能であれば、初日から1~2日、親子保育をしてもらっていま?	
	い、女心ととるよ	プにしているり。国政時に休暖省に確認し、可能でのれる、例口が5~~2日、税丁休月をして5万でいる。	9 0
	1		

	サブカテゴリー3	
固別状況に応じた	計画策定·記録	
評価項目1 必要に応じて、定 面ごとに明示して	められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 いる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	•
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該計
A+の取り組み	<b>○ あり                                   </b>	•
	どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計	
画を作成している	<b>評</b> 点( A	)
評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該
● あり ○ なし	2. 計画を保護者にわかりやす〈説明し、同意を得るようにしている	○非該
● あり ○ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該
● あり ○ なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該
A+の取り組み)	<b>○ あり ◎ なし</b>	•
平価項目3 ダ要に応じて、子	どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している ************************************	
		)
評価	標準項目  1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	1
◉ あり ○ なし		○非該
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該
A+の取り組み	○ あり ● なし	

,		
1	評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	ļ
ļ		)
ı		<u> </u>
1	評価 標準項目 標準項目 1 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する際員すべてがせたし、活用している	
ı	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	~ ###\//
ļ		○非該当
ļ	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	
-	◉ ಹり ○ なし	○非該当
ļ	( ± 1) ← 1	
ļ	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	
ļ		,
		,
		!
7	サブカテゴリー3の講評	
-	The state of the s	
	保育に関する計画については、3段階で作成しています	
1	保育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大きく3段階り、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の	の計画かの へ作成の際に
1	は、日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮され、計画途中の段階であっても必要に応じて、	改定が行わ
1	れることもあります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月のクラスだよりで、週案は園内掲示によっ	
1	ています。	ļ
1	子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録しています	ļ
1	子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この	「児童票」
1	は、区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされ	ιています。 保
1	護者との面談の記録などもしっかりとファイリングされています。次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改成である。 次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改成である。 次年度の新達の日本について話し合い確認し合うための新たな	
1	区全体で取り組んでいるほか、園では、個人面談で保護者と子どもの発達の目安について話し合い確認し合うための新たな  作成を進めています。	<b>着</b> 式の快部。
1		!
1	口頭と記録をセットにして情報の伝達や共有を行っています	·· ****
1	各クラスでの情報共有は、月案や毎月の検討会議を通じて行われており、特に配慮を行わなければならない子どもについて   でケーススタディーとして指導の検討と子どもの変化など継続的な話合いを行っており、その結果については、細かく記録され	
	でケース人タティーとして指導の検討と子ともの変化なと継続的な話言いを行っており、その結果については、細かく記録され  されています。また、日々の情報共有については、定例職員会議や毎日の昼打合せや昼打合せノート、連絡体制表や全体連	
	じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが生じないよう配慮されています。 パートやアルバイトにも必	
	伝えられています。	
	サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
ļ		
ļ	評価項目1	
	子どものプライバシー保護を徹底している <b>知点</b> ( 人	<b>\</b>
		)
ļ	評価標準項目	
-	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにし	
-	● あり ○ なし <sup>ている</sup>	○非該当
-	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	
-	<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	○非該当
-		
ļ	【A+の取り組み】 ○ あり · <b>●</b> なし	
-	TO THE STATE OF TH	
-		
-		ĺ
-		

	評価項目2 サービスの実施に	こあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	_	
Ì			Α	)
	評価	標準項目		
	● あり ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、 相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	戦員が	○非該当
	● あり ○ なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり : ● なし		
	5	サブカテゴリー5の講評		
-	→ u ⇔+			
	園では、プールのにおいても子ども	や排泄時等におけるプライバシーへの配慮 着替えは屋内で行い、シャワーを浴びる際も外からの視線をさえぎるなどの配慮を行うとともに、排 のプライバシーに配慮した活動を行っています。 子どもの写真掲載に関しては、全体保護者会で説に 面により同意を得ることについて検討が望まれます。		
	園では、園独自に 非常勤も含めた全 集計して報告する	:用いた振り返りを実施しています 作成したチェックリスト(職員が気を付けていくこと)を用いて、子どもや保護者に対して不適切な対所 :職員が自らの言動を自己チェックし、職員間に結果を公表しています。担当者が毎月の実施状況と とともに、次年度の項目の見直しにつなげています。この成果は、利用者調査において、全ての保 と、また、9割に近い保護者から「職員は礼儀正しく丁寧」と、肯定的な回答が得られる結果となって記	と全体の 護者から	傾向を把握・
6	事業所業務の標準	サブカテゴリー6 <sup>集化</sup>		
<b>ٽ</b>	<b>事来///来</b> /// 07/ix-			
	評価項目1 手引書等を整備し	、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <b>評点</b> (	Α	)
	評価	標準項目		
	● あり ○ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等確にしている	筝を明	○非該当
	● あり ○ なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている		○非該当
	● あり ○ なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している		○非該当
	● あり ○ なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	5	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし		-

·····/프·프 ·□ ·			
評価項目2 サービスの向上	をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	٨	
	) 点	Α	)
評価	標準項目		
● あり ○ な	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や どもの様子を反映するようにしている	提案、子	○非該当
	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り	組んでい	
● あり ○ な	<u>"</u>		○非該当
【A+の取り組a	サト】      ○ あり <b>●</b> なし		
一一			
評価項目3 さまざまな取り約	且みにより、業務の一定水準を確保している <b>評点</b> (	Α	)
÷π/≖			,
評価	標準項目 ■ 1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡る。	うにして	T
಄ あり ○ な	นไ	C)ICO C	○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		○非該当
⊕ ಹり 🔾 ಭ			○非該当
⊚ ಹು) ○ ಜ	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		○非該当
【A+の取り組み	<b>(</b> か) <b>(</b> あり <b>(</b> ) なし		
	サブカテゴリー6の講評		
 圏の甘木的 <i>t</i>	ジルールや各種対応方法をマニュアルにまとめています		
		<del></del>	医床フェーフ
ル」にとりまとめ	レールや事件・事故等に対する対応方法などについては、それぞれ、区で作成した「危機管理マニュ られており、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要に「 独自のマニュアルとしては、「散歩マニュアル」や「パート職員の仕事内容」等を作成し、事務所内に「	むじて、改	訂作業も行わ
	います。さらに、全体を1つにまとめて分かりやすい場所に設置するなどの工夫が望まれます。		, , , , , , ,
	を設置し、危機管理の強化を行っています。		
だりと、危機管理 識した園内環境	理に関するプロジェクトを設置し、危機管理マニュアルを見直したり、散歩中の防犯訓練や散歩中の 里に力を入れて取り組んでいます。園庭通路にスノコを敷いたり、雨の日にはテラスにシートを敷くよ 『の工夫・改善も実施しています。他の園で事故が起きた場合には、職員会議や打ち合わせで、自園 P合いを行っています。	うにしたり	と、安全を意
~ ~> FEWO 1- BM C			

	サービス	(の実施	<b>甌項目(カテゴリー6-4)</b>	
1			Eすための保育を行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	評	価	標準項目	
	ூ தர	○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
			  2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	0 11 42/-
	● あり	○なし		○非該当
			3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	
	● あり	○なし		○非該当
			4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	
	● あり	○なし		○非該当
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
	【A+の取	り組み	] ○ あり ● なし	l
			評価項目1の講評	
	自然な	異年齢:	交流により、子どもの自主性・自発性が育まれています	
	ラスと一糸 スでも子	緒に活動 ども全員	の人数が少ないため、子どもが室内遊びを継続したい場合も、庭に出たいときも、隣のクラスの担任と連携し することができ、1歳児から5歳児まで自然な異年齢交流が行われています。前期反省では、乳児だけでな の個別配慮を検討し合って職員が全園児を把握しています。特に、子ども一人ひとりのサインを覚えたり、ク から借りてくるなどの工夫も見られました。	く、幼児クラ
			ども達は伸び伸びと遊んでいます	
	やすべり 利用者調	台、太鼓  査では、	とべて園庭が広く、芝生が広がっているほか、大きな桜の木もあり、四季を通して遊びを広げてくれます。ジャ 標などの遊具も設置されており、子ども達は、散歩で遠くに出かけなくても、日々園庭で伸び伸びと遊ぶこと 回答した保護者全てが「戸外遊びは十分ですか」の問いに、「はい」と答えており、「緑豊かな園庭でどろん。 どの肯定的な自由意見も寄せられています。園では、さらに園庭遊具の工夫と整備を行っていきたいとしてに	だができます。 こになって遊
	関係機	関と連打	携して障害児保育に取り組んでいます	
			5の保育については、担任保育士と障害児担当の非常勤職員が連携して行っています。また、区としては、乳 投資を行い、ビデオなども活用しながら、保育士が自分自身の子どもとの接し方を実知的に見るなど、現場の	

|の専門家が巡回指導を行い、ビデオなども活用しながら、保育士が自分自身の子どもとの接し方を客観的に見るなど、現場の事例から学ぶ機会を用意するなど、障害がある子ともの保育の充実に取り組んでいます。

評価 標準項目  1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている  ● あり ○ なし  2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している  ● あり ○ なし  3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している  ● あり ○ なし  4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている  ● あり ○ なし  5. [①歳児を受け入れている保育所のみ] 到 児の経到 や食事に関しては、到 児 ― 人 ひとりの状況 やりずん に合わせて行っている		評価項目2 栄養バランスを考	慮したうえで、おいしい食事を出している ************************************	
● あり ○ なし	● あり ○ なし		<b>評点</b> ( A+	)
● あり ○ なし 2 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<ul> <li>● あり なし</li> <li>○ なし</li> <li>○ まり なしを持ちなでもから食 ない ない</li></ul>	評価		
● あり	● あり		1.メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	
● あり ○ なし	● あり ○ なし			○非該当
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>5. [10歳児を受け入れている保育所のみ]</li> <li>現児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている</li> <li>● まま:</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>回びは、保護者や子どもたちに「食」についての間のを持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、固庭の間では、保護者で子どもたちに「食」についての間のを持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、固庭の間では、子ども達に「食」についての間のを持ってもらうための様々な取り組みが行われています。またきりづくりやクッキーづくりを行ったりでと、様々な体験ができるブログラムを用意しています。</li> <li>前では、子ども達に「食」についての間のを持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて関庭のでで野菜(サツマイモやナス、トマト、シャガイモ・ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているはか、おにきづづくのヤッキーブのようでするは、様々な体験ができるブログラムを用急しています。</li> <li>園別に対応した食事を提供しています。</li> <li>園別に対応した食事を提供しています</li> <li>園別に対応した食事を提供しています。</li> <li>園別に対応した食事を提供しています</li> <li>園別に対応した食事を提供しています。</li> <li>はばれずるため、前の面談時に詳しては、調整に連絡を取り合い、情悪に食べさせています。昼食時には、調助で買食を含べています。</li> <li>はの際に子どもたが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。母母は下といます。母母時には、調用が収食するため、前ので異ななため、特別で食事を含むよるに、足管合せることができるこれでいますが、適宜声がけをしては野型になべるべ合う高に関係するといれます。</li> <li>事の際に子どもたが食みですずいますが、適宜声がけをしては野型になべくのでみでがよりななり、一般のでとびとしていますが、適宜声がけをしては野型にないできるよびないますが、適宜声がけをしては野型にないできるといますが、適宜声がけをしては野型にないできるといますが、適宜声がけをしては野型にないできるといますが、適宜声がけをしては野型にないできるといますが、適宜を行っている。</li> <li>● あり ○ なし、年間はアンドを育りまれ、ままままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>5. [10歳児を受け入れている保育所のみ]</li></ul>		2.子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	
● あり ○ なし 4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	● あり ○ なし 4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	● あり ○ なし		○非該当
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>○ 本し</li> <li>○ まり ○ なし</li> <li>※評価項目2の講評</li> <li>食) について考えてもらう食育活動を行っています。</li> <li>※評価項目2の講評</li> <li>食) について考えてもらう食育活動を行っています。</li> <li>※評価項目2の講評</li> <li>食) について考えてもらう食育活動を行っています。</li> <li>※学が、この以紹みを行っているほか、おにぎりづいやクッキーづいを行ったりするなど、様々な体験ができるブログラムを用意しています。</li> <li>※でき数に、アども違は野菜の名的をよく知っている様子がうかがえました。</li> <li>別別に対応した食事を提供しています</li> <li>即別に対応した食事を提供しています。</li> <li>即りたがした食事を提供しています。</li> <li>即りたがした食事を提供しています。</li> <li>中の際に子どもや戦争食の子ども、食事に限し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、情想に食べきせています。今年度はアレルギーの子ともは、場所で達を行っている情報を行っている時間が許す限り合うスに入り、子とも達と会話をしています。</li> <li>(事を) いすし、中の高さについても関係がなされています。イスやテーブルについては関型を含めらいは、対のでは、イスを採用しています。 は関係をを整備しています。</li> <li>(事がしやすい環境を整備しています。</li> <li>(事がしやすい環境を整備しています。</li> <li>(事の) のより、おとさいより、この高さについても関係がなされています。のようにはいなが、適宜声がけるいます。</li> <li>(事がしやすいよう、イスやテーブルを用きするとともに、足置き台を工夫して微調をされていますが、適宜声がけるいは新りで食事をもように適宜をといますが、適宜声がけるいは新りで食事をといますが、適宜声がけるいは新りで食事をといますが、適宜声がけるいは新りで食事をといるのできるとのできるといますが、適宜声がけるいは新りで食事をといるのできるとのできるとのできるといますが、適宜を必要があるのでは、日本のできるといのできるとのできるといのでき</li></ul>	<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>○ 本し</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ なり</li> <li>○ なり</li> <li>○ なり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ なり</li> <li>○ なり</li> <li>○ なり ○ なし</li> <li>○ なり ○ なし</li> <li>○ なり</li> <li>○ なり ○ なし</li> <l< td=""><td></td><td>3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している</td><td></td></l<></ul>		3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>○ 本し</li> <li>○ まり ○ なし</li> <li>※評価項目2の講評</li> <li>食) について考えてもらう食育活動を行っています。</li> <li>※評価項目2の講評</li> <li>食) について考えてもらう食育活動を行っています。</li> <li>※評価項目2の講評</li> <li>食) について考えてもらう食育活動を行っています。</li> <li>※学が、この以紹みを行っているほか、おにぎりづいやクッキーづいを行ったりするなど、様々な体験ができるブログラムを用意しています。</li> <li>※でき数に、アども違は野菜の名的をよく知っている様子がうかがえました。</li> <li>別別に対応した食事を提供しています</li> <li>即別に対応した食事を提供しています。</li> <li>即りたがした食事を提供しています。</li> <li>即りたがした食事を提供しています。</li> <li>中の際に子どもや戦争食の子ども、食事に限し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、情想に食べきせています。今年度はアレルギーの子ともは、場所で達を行っている情報を行っている時間が許す限り合うスに入り、子とも達と会話をしています。</li> <li>(事を) いすし、中の高さについても関係がなされています。イスやテーブルについては関型を含めらいは、対のでは、イスを採用しています。 は関係をを整備しています。</li> <li>(事がしやすい環境を整備しています。</li> <li>(事がしやすい環境を整備しています。</li> <li>(事の) のより、おとさいより、この高さについても関係がなされています。のようにはいなが、適宜声がけるいます。</li> <li>(事がしやすいよう、イスやテーブルを用きするとともに、足置き台を工夫して微調をされていますが、適宜声がけるいは新りで食事をもように適宜をといますが、適宜声がけるいは新りで食事をといますが、適宜声がけるいは新りで食事をといますが、適宜声がけるいは新りで食事をといるのできるとのできるといますが、適宜声がけるいは新りで食事をといるのできるとのできるとのできるといますが、適宜を必要があるのでは、日本のできるといのできるとのできるといのでき</li></ul>	<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>○ 本し</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ なり</li> <li>○ なり</li> <li>○ なり ○ なし</li> <li>○ まま</li> <li>○ なり</li> <li>○ なり</li> <li>○ なり ○ なし</li> <li>○ なり ○ なし</li> <li>○ なり</li> <li>○ なり ○ なし</li> <l< td=""><td>◉ あり ○ なし</td><td></td><td>○非該当</td></l<></ul>	◉ あり ○ なし		○非該当
● あ) ○ なし	● あ) ○ なし		/ -	<u> </u>
● あり ○ なし   ① 歳以の授乳や資事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている   ② 非該!   私+の取り組み   ② あり ○ なし   ② まり ○ なし   ※ 「	● あり ○ なし   ① 成し   ② また   ② また   ③ 表別   ② なし   ② また   ③ 表別   ② また   ③ また   ④	<b>-</b> 0 + 11	4.  大炮に反手が 5.0 でありに添えている。	○北該当
● お助 ○ なし 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	● あり ○ なし 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	DOU CAU		U ∃⊦¤x=
(+の取り組み)	● あり ○ なし  (+の取り組み)  ● あり ○ なし  では、保護者や子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、園庭の畑様した野菜で調理体験(焼き芋など)につなげ、給食で食べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったり、と、様々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評  賞」について考えてもらう食育活動を行っています  では、子ども達に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、シャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、シャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給の調助を行っているほか、おにざいづくりやウッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意していま「問調査で米園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。  「別に対応した食事を提供しています  レルギーを持つ子どもや雑乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を促進性が、もとしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、「歳児の保護者には、入園前の面談時に詳しく間書を行っている目か、初めて口にするような食物等については、類繁に連絡を取り合い、情量に食べさせています。昼食時には、調が突食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。イスやテーブルについては既製品が突食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子とも達を表話をしています。イスやテーブルについては既製品が次食食材に入ますが、「歳児までは高さの調整が含くイスを採用し、子ども達を会話をしていますが、適宜声が付をしては野型していますが、「歳児までは高さの調整が含くイスを採用し、子ともたので、「様準項目  「特点( A )  「事体	<u> </u>		
では、保護者や子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、園庭の畑橋した野菜で調理体験(焼き芋など)につなげ、給食で食べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりで食、核々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評 食」について考えてもらう食育活動を行っています では、子ども違に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマ、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづりを行ったりまな民様とな体験ができるプログラムを用意しています。で野菜(サツマイモやナス、トマ、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているほか、あにぎりづくりやクッキーづりを行ったり。取得した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給助で果園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。 間別に対応した食事を提供しています レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個差を行っているほか、切の口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合いほか、別園に食べさせています。量食時には、調が喫食材況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 事の際に子どもたちが食べやすいよう。イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事さなよの信息されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声がけをして指導しているべ(合う高さの食用を固復・維持するための支援を行っている  「神滅日3 ともが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている 「本漢項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本漢項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本漢項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本漢項目 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	では、保護者や子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、園庭の畑 権した野菜で調理体験(焼き芋など)につなげ、給食で食べる取り組みを行っているほか、おにぎりづ(リやクッキーづくりを行ったりと、様々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評 食」について考えてもらう食育活動を行っています では、子ども達に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているはか、おにぎりづ(りやケッキーづ(りを行ったりするなと、様々な体験ができるプログラムを用意していま、給取の場合を行っているは、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。 間別に対応した食事を提供しています レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、傷々の内容に応じた食事を促提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないまうですが、簡別の保護者とは、人間前の面談時に詳しく間含するとで行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合いには、傾重に食べさせています。昼食時には、調が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 事の際に子どもたちが食べやすいよう。イスをデーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品が喫食が沢を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしていますが、1歳児よどについますが、1歳児としたことるべ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事さなよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声がけをして指導していますが、適宜声がけをして指導している。 「神臓日日」 ・おり、なし ・おり、なし ・おり、なし ・おり、なし ・おり、なし ・おり、なし ・「非該なり、なし ・「・「株式では、「株式できる体制を確保している。) ・おり、なし ・「・「株式では、「株式では	)あり <u>()</u> なし	孔元の技化で良事に図りては、れルーハウとラック///////ドラハムにロッとでは、ことであっている。 	● 非該当
では、保護者や子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、園庭の畑様した野菜で調理体験(焼き芋など)につなげ、給食で食べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりでき、様々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評 食」について考えてもらう食育活動を行っています では、子ども違に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマ、シッガイモ、ダイコン、ニンシシ等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているほか、おにぎりづり、ウッキーづくりを行ったり、・	では、保護者や子どもたちに、食。についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、園庭の畑様した野菜で調理体験(焼き芋など)につなげ、給食で食べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったり、ど、様々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評 食」について考えてもらう食育活動を行っています では、子ども違に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス・トマ、シャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意していま、給取自成を行っているほか、かまで、リウンターを開ましています。中庭した際は、子ども違は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。 別に対応した食事を提供しています レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を促促体のよよいののこのにするような食物等については、頻繁に連絡を取り合し、「歯型に食べさせています。昼食時には、調が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 事がしやすい環境を整備しています 事の際に子どもたちが食べやすいよう。イスを押し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事をよる記慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声がけをして指導しているべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事をよら記慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声がけをして指導しています。 「種類目 「標準項目 「標準項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・の取り組み	<b>⋒</b> ±n	
様した野菜で調理体験(焼き芋など)につなげ、給食で食べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりまと、様々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評 食」について考えでもらう食育活動を行っています では、子とも達に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意しています。問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。   別に対応した食事を提供しています レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、「意児の保護者とは、入園前の面談時に詳じく関告すると、行きないではおが、初め口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、信息に食べさせています。昼食時には、調が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。  事がしやすい環境を整備しています 事の際に子どもたちが食べやすいよう。イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルと口は大きなく人名を開したとりに合わせた高さに調整な行りなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事を含まる記慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声がけをして指導しているべ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足量合きエ夫して観響を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事さるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声がけをして指導している。  「事項目  「標準項目  「標準項目  「標準項目  「標準項目  「標準項目  「標準項目  「標準項目  「標準項目  「標準項目  「根準項目  「根準項目  「根準項目  「根準項目  「根準項目  「根準項目  「根準項目  「根準項目  「根準項目  「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している。  「・非談:  「・非談:  「・非談:  「・非談:  「・非談:  「・非談:  「・非談:  「・おびに発いている  「・非談:  「・おびに発いている  「・非談:  「・非談:  「・おびに発いている  「・非談:  「・非談:  「・非談:  「・おびに発いている  「・非談:  「・非談:  「・おびに発いている  「・非談:  「・非談:  「・おびに発いている  「・非談:  「・おびに発いている  「・非談:  「・非談:  「・おびに発いできる体制を提供し、・予防に努めている  「・非談:  「・非談:  「・おびに発いするに表している  「・非談:  「・おびに発いするに表している  「・非談:  「・おびに発いするに表している  「・非談:  「・おびに発いするに表している。  「・おびに発いするに表している。  「・おびに発いするに表している。  「・おびに表しているに表しています。  「・おびに表しています。  「・おびに表しています。  「・おびに表しています。  「・おびに表しています。  「・おびに表しています。  「・おびに表しています。  「・おびに表していませばればればればればればればればればればればればればればればればればればればれ	様した野菜で調理体験(焼き芋など)につなげ、給食で食べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったり、 と、様々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評 食」について考えでもらう食育活動を行っています では、子とも達に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、悠べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意していまで野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、悠くる町の食物を行っている様子がつかがえました。 問間で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がつかがえました。  「別に対応した食事を提供しています レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を促促します。シを持つているほか、初めて口にするような物等については、類繁に連絡を取り合いますが、自動自の面談時に詳しく関きを持つていますが、時間に含まるといます。昼食時には、調が嗅食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。それできまでは、対していますが、1歳児よく上でいますが、1歳児よく上でいますが、1歳児よと上でいますが、1歳児以上についるべく合う高さのイスやテーブルを用きるとともに、足置合きを工夫して効理を行うなど、全ての子どもが食べやすい味がで食事を含まる配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声がけをして指導していますが、0分の健康を回復・維持するための支援を行っている  「標準項目 「標準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している いなし ・非該 ・おり なし ・「本稿を存むなりであるを存むといいである。」 ・非該 ・「本稿を存むなりて感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている ・「非該の」なし ・「本稿を存むしている。」・「本稿を存している。)・「本稿を存している。)・「本稿を存している。)・「本稿を存むなりないないないないないないないないないないないないないないないないないないな			bm/s/
食」について考えてもらう食育活動を行っています   では、子ども達に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給でる取り組みを行っているほか、おにぎりブ(リやツ・キーづ()を行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意しています。問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。    国別に対応した食事を提供しています   ロルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞きり、直査を行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調め「吹食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 ②事がしやすい環境を整備しています  事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品用していますが、1歳児までは高さの調整がさイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置を台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事を含よう配慮されています。 職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「仲頃自3」 「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「中域日3」 「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「中域日3」 「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「申値」 「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「中域日3」 「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「・非該!  「・非該!  「・非該!	食」について考えてもらう食育活動を行っています   では、子ども達に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているほか、おにぎりブ(リやツ・キーづく)を行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意していまだ。問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。    日別に対応した食事を提供しています   ロルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を促提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞きる査をでしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞きる査をでしています。日本のでは、一般で食べえたでは、中間が野食り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。    事がしやすい環境を整備しています	(穫した野菜で調	理体験(焼き芋など)につなげ、給食で食べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを	
では、子ども達に「食。についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているほか、おにきりづくりかりゃキーづけの考など、様々な体験ができるプログラムを用意していまで、問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。  別川に対応した食事を提供しています ・レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞き取遺査を行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 ②事がしやすい環境を整備しています ・「職の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品用していますが、1歳児までは高さの調整が含くイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して復調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「種類自  「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	では、子ども達に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているほか、おにきりづくりやクッキーづりのまなど、様々な体験ができるプログラムを用意していまだ。問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。  別川に対応した食事を提供しています ・レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を促集供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞きまるを含まっているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 ②事がしやすい環境を整備しています ・選事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品用していますが、1歳児までは高さの調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「神頂目3 ・どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている 標準項目 ・「まどもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本準項目 ・「までの場合と、発展している 「本本項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価項目2の講評	
では、子ども達に「食。についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているほか、おにきりづくりかりゃキーづけの考など、様々な体験ができるプログラムを用意していまで、問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。  別川に対応した食事を提供しています ・レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞き取遺査を行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 ②事がしやすい環境を整備しています ・「職の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品用していますが、1歳児までは高さの調整が含くイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して復調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「種類自  「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	では、子ども達に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭ので野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給べる取り組みを行っているほか、おにきりづくりやクッキーづりのまなど、様々な体験ができるプログラムを用意していまだ。問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。  別川に対応した食事を提供しています ・レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を促集供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞きまるを含まっているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 ②事がしやすい環境を整備しています ・選事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品用していますが、1歳児までは高さの調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「神頂目3 ・どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている 標準項目 ・「まどもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本準項目 ・「までの場合と、発展している 「本本項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u></u> 食 について <sup>え</sup>		
で野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給にでも取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意しています。問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。  割別に対応した食事を提供しています レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞き取済を行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調が呼噴状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども選と会話をしています。  事がしやすい環境を整備しています 「事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品用していますが、「歳児までは高さの調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべく合う高さのイスやテーブルを用きするとともに、足置き合を工夫して微調整を行うなど、全での子ともが食べやすいが制で食事きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。 「価項目3 ・どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている 標準項目 「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 標準項目	で野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、絵(ペる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるブログラムを用意していまで問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。  園別に対応した食事を提供しています レルギーを持つ子を特型乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を促集使するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳いく関き目査を行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調が喋食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。  事がしやすい環境を整備しています 「事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品用していますが、「歳児までは高さの調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上につし、高べく合う高のイスやテーブルを用きするとともに、足置き合を工夫して微調整を行うなどもで高さに調整するほか、2歳児以上につした。 「番項目 標準項目 「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「標準項目 「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「無準項目 「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「非該」 ○ なし 「・4、保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている 「非該」 ○ なし 「・4、保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている 「・非該 ○ まむ ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ まむ ○ まむ ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ まむ ○ なし ○ なし ○ なし ○ まむ ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ まむ ○ なし ○ な			て園庭の
べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやケッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意しています問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。	べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意していまで問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。	で野菜(サツマ	イモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につ	なげ、給1
ID   に対応した食事を提供しています	ID   ID   ID   ID   ID   ID   ID   ID	べる取り組みを	行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意	
レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞きするを行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。  (事がしやすい環境を整備しています 事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品用していますが「歳児までは高さの調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置も合を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「価項目3」ともが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「評価 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「事価 クリカリーのなし のまし のまして、全に関する情報を提供し、予防に努めている のまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を修 提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく間含ま 査を行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調 が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 (事がしやすい環境を整備しています 事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品 用していますが、1歳児までは高さの調整が含くイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上につし のべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事 きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。 「価項目3」 どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	問調査で米園し	た際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。	
レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞き取るを行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調め、映食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 ②事がしやすい環境を整備しています ■の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品用していますが、1歳児までは高さの調整がきイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についまっとべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置も含を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。 ●価項目3 -どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている   「神価	レルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を修 提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく間き見 国金を行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調 が映食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 事がしやすい環境を整備しています 事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品 用していますが、1歳児までは高さの調整がきイクスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上につし でるべ合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事 きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。 呼価項目3 ・どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	<u></u>		
提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞きれているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調食が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。 ②事がしやすい環境を整備しています ②事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品別用していますが、1歳児までは高さの調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべ合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「神仙」 標準項目  「・子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞きまいでしていますが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞きまいでしていますが、1歳児ではなっています。昼食時には、調けが喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。  事がしやすい環境を整備しています  事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品用していますが、1歳児までは高さの調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるへ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事きるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「個項目3 ・どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「無準項目  「、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「非該」  「ます は、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「非該」  「なし なし 「非該」  「4、保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「非該」」なし 「非該」  「4、保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「非該」」  「非該」  「・非該」  「・非該」  「・非該」  「・非該」・「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			ID
資本行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。   連事がしやすい環境を整備しています	資本行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。   連事がしやすい環境を整備しています			
<ul> <li>(事がしやすい環境を整備しています。</li> <li>(事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品は用していますが、1歳児までは高さの調整がきイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか。2歳児以上についるよう高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事できるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。</li> <li>評価</li> <li>(事本項目</li> <li>(1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</li> <li>(1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</li> <li>(1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</li> <li>(2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある</li> <li>(3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</li> <li>(4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている</li> <li>(事ま)</li> </ul>	は事がしやすい環境を整備しています。 は事がしやすい環境を整備しています。 は事がしやすい環境を整備しています。 「は事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品に関していますが、1歳児までは高さの調整がきイスを採用し、子ども一人ひといに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべ合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事できるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。 「中価項目3 「とどもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている 標準項目 「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 事務 「2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 事務 「3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している 事務 「4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている 事該 「4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている 事該			
<ul> <li>事がしやすい環境を整備しています</li> <li>(事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品)用していますが、1歳児までは高さの調整がきイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるさべ合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事さるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。</li> <li>評価項目3</li> <li>どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている</li> <li>評価 標準項目</li> <li>1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</li> <li>事がしなし</li> <li>② ま数:</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>③ ま数:</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ ま数:</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ ま数:</li> <li>④ ま数:</li> <li>④ ま数:</li> <li>④ ま数:</li> <li>④ まり ○ なし</li> <li>④ ま数:</li> <li>④ また:</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>○ なし</li> <li>○ また:</li> <li>○ なし</li> <li>○ また:</li> <li>○ また:</li></ul>	<ul> <li>事がしやすい環境を整備しています</li> <li>(事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品 J用していますが、1歳児までは高さの調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるさべ合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事さるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。</li> <li>評価項目3</li> <li>どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている</li> <li>評価 標準項目</li> <li>1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</li> <li>事該</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② ま該</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● より ○ なり ○</li></ul>			1010v ===
電事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品別用していますが、1歳児までは高さの調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるる〈合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事できるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。 平価項目3 そどもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価  「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品 関用していますが、1歳児までは高さの調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべ〈合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事を含まら配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。 呼価項目3 そどもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている			
電事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品別用していますが、1歳児までは高さの調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事できるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「中価項目3  「とどもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「中価 標準項目  「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「・非該・2・乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  「・非該・3・ます。」  「・非該・3・医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している  「・非該・4・保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「・非該・4・保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「・非該・4・保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「・非該・4・保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「・非該・4・保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「・非該・4・保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	(事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品 関用していますが、1歳児までは高さの調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべ〈合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事を含まら配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。 呼価項目3 そどもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	食事がしやすい	1環境を整備しています	
I用していますが、1歳児までは高さの調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべ合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置さ台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事できるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。   I	J用していますが、1歳児までは高さの調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についるべ〈合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事できるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「価項目3 - とどもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	-		は既製品
は るべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事できるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「神価項目3  「本本の健康を回復・維持するための支援を行っている  「中点( A )   「中点( A )	まるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事できるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していた。  「神価項目3 「おおいし身の健康を回復・維持するための支援を行っている	川用していますが	、1歳児までは高さの調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以	上につい
た。   下価項目3	た。   P価項目3   P価項目3   P価項目3   P価項	るべく合う高さの	Dイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体	制で食事
平価項目3 - どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	呼価項目3 - どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		1ています。職員は、子どもに無理強いをせす、食べられる分たけ食べさせていますか、週旦戸かけをしてま	旨導してい
<ul> <li>ごともが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている</li> <li>評価</li> <li>標準項目</li> <li>1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</li> <li>事該</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ おり ○ なし</li> <li>③ おり ○ なし</li> <li>③ おり ○ なし</li> <li>③ おり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ ま談:</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ ま談:</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	<ul> <li>ごともが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている</li> <li>評価</li> <li>標準項目         <ul> <li>1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</li> <li>事該</li> </ul> </li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ② なし</li> <li>② あり ② なし</li> <li>③ あり ② なし</li> <li>③ あり ② なし</li> <li>③ おり ② なし</li> <li>③ おり ② なし</li> <li>④ あり ② なし</li> <li>④ あり ② なし</li> <li>④ あり ② なし</li> <li>④ あり ② なし</li> <li>④ おり ② なし</li> <li>④ あり ② なし</li> <li>④ あり ② なし</li> <li>○ 非該</li> <li>○ 非該</li> <li>○ 非該</li> </ul>			
評価	評価			
<ul> <li>① まままままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	<ul> <li>① まま</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ を療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ まま</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ まま</li> <li>④ まま</li> <li>④ あり ○ なし</li> </ul>		デ点( A	)
<ul> <li>1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している         <ul> <li>● あり ○ なし</li> </ul> </li> <li>2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある         <ul> <li>○ ま該</li> </ul> </li> <li>3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している             <ul> <li>○ ま該</li> <li>4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている</li></ul></li></ul>	<ul> <li>① まま</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ を療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</li> <li>○ まま</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ まま</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ まま</li> <li>④ まま</li> <li>○ まま</li> <li>○ まま</li> <li>○ まま</li> <li>○ まま</li> <li>○ まま</li> <li>○ まま</li> </ul>			
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>② ま該!</li> <li>② まがり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ ま変育的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</li> <li>③ ま該!</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ ま該!</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ ま該!</li> <li>④ まず</li> <li>④ まず</li> <li>○ 非該!</li> <li>○ 非該!</li> <li>○ 申該!</li> </ul>	<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ を療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</li> <li>③ ま該</li> <li>④ あり ○ なし</li> </ul>	н і ін		
<ul> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② ま数:</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>④ ま数:</li> <li>④ ま数:</li> <li>④ ま数:</li> <li>○ 非該:</li> <li>○ 非該:</li> <li>○ 申該:</li> </ul>	<ul> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> </ul>	<ul><li>ああり ()なし</li></ul>		○ 非該
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul> 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている ① 非該		○ □ 1.1.10克姆亚克伊姆(ODO)   南边底位于又叶大子2   / 1.1 松玉2	<b>○</b> 11 Hz.
<ul> <li>③ a. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ まり ○ なし</li> <li>④ まり ○ なし</li> <li>④ まり ○ なし</li> </ul> 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている ○ まき	<ul> <li>3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している         <ul> <li>○ まり</li> <li>○ なし</li> </ul> </li> <li>4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている         <ul> <li>○ ま該</li> </ul> </li> </ul>		2. 乳纫児关然死征候群(SIUS)、感栄征寺を下防を98∪\かかの8	
● あり	まり         なし           4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている           のあり         なし	<b>⑨ あり</b> なし		○ 非該:
4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ あり ○ なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ● あり ○ なし  ・ ます		3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	
4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ あり ○ なし	● あり ○ なし 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている ○ 非該	● あり ○ なし		○ 非該計
● あり ○ なし	<ul><li>あり () なし</li><li>手該</li></ul>		 	
		⊕ +n	4. 体設日に対して恋味にも例がしたがいした。	○北誠
A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	A+の取り組み] ○ あり ● なし	●あり ∪なぃ		
		 A+の取り組み】		_
		/ 1027/ / ···		

#### 評価項目3の講評

# 子どもの健康状態をきめ細かく把握しています

日々の子どもの健康状態は、登園時に状況を確認しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い、記録しています。また、月1回、近隣の区立園から看護師が定期的に来園して健康状態を確認しているほか、園医による定期健診をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。

#### 感染症予防と感染症発生時の対応について

感染症予防に関しては、月1回発行の保健だよりを通じて情報提供を行っているほか、園内掲示をして注意を喚起するなどの取り組みが行われています。また、感染症に関する外部研修には、年1回以上、必ずいずれかの職員が受講するようにしています。なお、感染症が発生した場合は、お知らせの掲示や配布を行って、感染の拡大が起こらないよう取り組んでいます。看護師が常駐していないため、細やかな保健指導が行えないことが課題となっており、園内研修等、全職員が知識や対応方法を再確認する機会を定期的に設けていくことが期待されます。

	・ どもたちにとって楽し〈快適なものになる工夫を行っている	評点(	Α	)
評価	標準項目			
	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)			1
● あり ○ なし				○非該当
	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている			
● あり ○ なし				○非該当
	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし			_

#### 評価項目4の講評

#### 一人ひとりの子どもが誕生会を楽しめる工夫をしています

誕生会は、その子の誕生日当日に実施しています。数日前から誕生写真を掲示することで、子どもや保護者、職員が皆、お祝いの言葉をかけたり、気持ちを持ったりすることができるように配慮しています。4、5歳児は、事務所で、ピンクのテーブルクロスをかけたテーブルで 園長と一緒に昼食を食べ、事務所にしかないおもちゃで遊ぶことができる楽しみな日となっています。

### 落ち着いて遊べる環境・空間をつくっています

園内は、4歳児と5歳児の部屋がつながっており、合同で食事を行っていますが、遊びや活動の内容に応じてアコーディオンカーテンで仕切れるようになっています。各クラスの遊具はマークやシールなどで位置が子ども達に分かりやすく表示されているほか、木製の衝立やマットで空間を区切り、ママごとやお絵描き、絵本等のコーナーをうまく作り出しています。クラス内の装飾やコーナー設定は各クラスの担任に任せており、設定の見直し・変更や模様替えは、年2、3回行っていますが、今後、季節に応じてなど、早めに替えていきたいと考えています。

# 午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

食事、睡眠、運動、排泄などは、子どものリズムにできるだけ合わせる配慮を行っています。午睡については、乳児は目覚めたらベランダ や3歳児クラスで遊んだりと、早〈寝たい子、目が覚めてしまう子がそれぞれ快適に過ごせるよう場所の確保に努めています。

評価項目5 保育所と家庭の 5	この交流・連携を緊密に行っている <b>評点</b> ( <b>人</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ カ	1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある	○非該当
<b>●</b> あり ○ か	4-	○非該当
<b>⊚</b> あり ○ か	4-	○非該当
<b>●</b> あり		○非該当
<b>●</b> あり ○ か	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
【A+の取り組	<b>み</b> ] ○ あり <b>⑥</b> なし	
	評価項目5の講評	
保 に は に に で の に で の の で に で の の の の の の の の の の の の の	の様子や園の活動をわかりやすく伝えていますからの情報提供については、定期的かつ目的別に発行される、園・事務所・クラス・保健等の各種のおたよりが、関での子どもたちの様子をより分かりやすく伝える配慮を行っており、特にクラスだよりでは、パソコンを使っ、年12回以上発行しています。また、給食についても、日々の食事・おやつを展示しています。建物の構造上という課題があり、さらなる工夫が期待されます。 をタイムリーに伝えるため、日誌を公開しています は、展示し、迎えに来た保護者が自由に閲覧できるようにしています。日々の活動がなぜ行われているのか明にファイリングして公開しており、その時々に行われる活動の意味も保護者と共有できるように心がけています。題し、即日、子ども達の様子を写真で掲示する取り組みも行っています。 望や事情に応じて柔軟に対応しています 保護者が参観したい日に自由に来園するのを原則としていますが、具体的に日程を決めてほしい保護者には、案内するようにしています。個人面談も土曜日も含め、保護者の希望する時間に設定しています。また、登降間の分までの間は自由としており、利用者調査では、「急な残業等にも柔軟に対応してくれる」との回答が8割をお施に対する保護者の要望が強く、今後の検討が期待されます。	って写真を積 た、掲示場所が れて各クラスの Raceにな、デジ 個人の時間は、7 個の時間は、7
評価	標準項目	
・ まず1回 ・ あり ○ かり	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
⊚ ಹು ೦ ಚ	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
಄ ಹು ೦ ಗ		○非該当
಄ ಹ) ೧ ೧ ೧	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組	み] のあり のなし	

		評価項目6の講評	
	区、関係機関と	:の連携により、虐待防止等に取り組んでいます	
	ター、児童館等の	:は、区全体として取り組んでいます。具体的には、虐待防止マニュアルの実践をはじめ、区の保育課、家庭 関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか アニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。	望支援セン ♪、発見時の
	虐待防止ネットワー た職員能力の向上 もの支援などにつ	こより、 園全体の対応能力を向上させていくことが期待されます ークの事例検討会に参加しているほか、区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への こを図るとともに、研修で得た情報を職員間で共有しています。職員の多くが専門家の講義を受講し、複雑な いて学んでいます。継続的な取り組みにより個々の職員のスキルを高め、多様化・深刻化するケースに組結 いくことが期待されます。	な家庭や子ど
7		とに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	評価	標準項目	1
		標準項目 1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
	● あり ○ なし		○非該当
	<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している 2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	_
	<ul><li>● あり ○ なし</li><li>● あり ○ なし</li></ul>	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している 2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	_
	<ul><li>● あり ○ なし</li><li>● あり ○ なし</li></ul>	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している 2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	_
	<ul><li>あり ○ なし</li><li>あり ○ なし</li><li>【A+の取り組み】</li></ul>	<ol> <li>保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</li> <li>保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</li> <li>○ あり ● なし</li> </ol>	_
	<ul> <li>あり (なし)</li> <li>(A+の取り組み)</li> <li>保護者の希望</li> <li>区の子育て応援券は、ポスターの掲え</li> </ul>	<ol> <li>保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</li> <li>保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</li> <li>あり ● なし</li> <li>評価項目7の講評</li> </ol>	○ 非該当 ○ 非該当 あった場合 或の医療機関
	<ul> <li>あり なし</li> <li>(A+の取り組み)</li> <li>(A#の取り組み)</li> <li>(保護者の希望区の応援者は、ボスターの掲えの情報を配付するます。</li> </ul>	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している  2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している  ③ あり ● なし  評価項目7の講評 する地域情報を提供しています 等に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依頼が示やチラシを配布するなど、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の情報の提供を行っています。	○ 非該当 ○ 非該当 あった場合 或の医療機関

地域の小学校への訪問など、子ども達と様々な世代の方々との交流が意欲的に行われています。

# 高井戸保育園



(事業所名: 杉並区立高井戸保育園)

調查対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯80世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数80共通評価項目による調査対象者数80共通評価項目による調査の有効回答者数50利用者総数に対する回答者割合(%)62.5

# 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が92.0%)。個別にみると、「提供される食事への配慮」、「戸外遊びの機会」、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が約9割を占める他、「体調変化への対応」、「お子さんについて職員と相談できる」、「職員の聞〈姿勢」についても肯定的回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。 一方、「要望や不満の言いやすさ」をはじめ、「要望や不満に対する対応」などについては肯定的な回答が低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

#### 利用者調査結果

用有祠直和未				
共通評価項目		実数		
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	48	2	0	0
肯定的な回答は約9割を占めているとともに否定的な回答がない結果となっており、大きな目といえます。自由回答については「おいしい」等の肯定的な意見が寄せられているほか、た意見もみられます。				
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	49	1	0	0
肯定的な回答は9割を大きく超えるとともに否定的な回答がない結果となっており、大きなといえます。しかし、自由回答では、肯定的な意見もある一方で、小数ですが、「散歩が少っられます。				
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	30	13	4	3
肯定的な回答は6割です。自由意見において、「変更したことがないのでわからない」との意答えられない保護者もいたと推測されます。また、対応が良くないとする意見も複数見られ		いることから	、利用した	ことがなく

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	40	7	2	1
肯定的な回答は8割を占め、満足する人が多い項目です。自由意見では、肯定的な意見が満(何時でも知らせてほしい)など様々な意見が寄せられています。	ある一方、	体調に関す	する連絡に	対する不
5.安全対策が十分取られていると思うか	33	14	2	1
肯定的な回答は6割強にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由回答では 指摘する声も上げられていますが、「わからない」とする意見も寄せられています。	、防犯面で	'の不安や	園内外の危	;険箇所を
6.行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	34	13	1	2
肯定的な意見は7割を下回っていますが、否定的な意見もほとんどありません。自由意見1 多〈寄せられている状況です。	ま、平日の^	保護者会を	不満に感し	<b></b> うものが
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	5	2	0
肯定的な意見は9割に迫っており、他の設問に比べ満足度が高い項目です。自由意見では見られますが、その他は肯定的な意見が占めており、自由意見からも保護者が満足してい				·る意見も
8. 保護者の考えを聞〈姿勢があるか	38	10	2	0
I i	1			ことがあ
肯定的な回答は7割を大き〈超えています。自由意見は少ないですが、「話は聞いてもらえる」「もう少しお話しする時間があればと思います」のほか「先生によるが現在の担任は良好	るが行動に ア」などの意	反映されな 見が寄せ! 	いと感じる られていま <sup>っ</sup>	<b>す</b> 。
肯定的な回答は7割を大きく超えています。自由意見は少ないですが、「話は聞いてもらえる」「もう少しお話しする時間があればと思います」のほか「先生によるが現在の担任は良好ないですが、「話は聞いてもらえる」「もう少しお話しする時間があればと思います」のほか「先生によるが現在の担任は良好ない。」  9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	るが行動に 子, などの意 33	反映され <i>な</i> 見が寄せり 14	いと感じる られていま <sup>-</sup> 0	す。 3
る」「もう少しお話しする時間があればと思います」のほか「先生によるが現在の担任は良好	子」などの意 33 定的な意見	(見が寄せ) 14 14 15 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	られていま <sup>っ</sup> 0 ! <b>:</b> すが、「よく	す。 3
る」「もう少しお話しする時間があればと思います」のほか「先生によるが現在の担任は良好 9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか 肯定的な意見は7割を下回っていますが、否定的な意見もありません。自由意見には、否定 せん」という意見に代表されるように"どちらともいえない" 無回答"とする理由としては、「と	子」などの意 33 定的な意見	(見が寄せ) 14 14 15 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	られていま <sup>っ</sup> 0 ! <b>:</b> すが、「よく	す。 3

11.職員の対応は丁寧か	36	14	0	0
肯定的な回答は7割を超える程度ですが、否定的な意見もありません。自由意見では、肯定すが、先生によって対応が異なる、と言う意見が多く見られます。	定的な意見	も否定的な	:意見も両方	う見られま
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	16	27	7	0
肯定的な回答は3割にとどまっており、他の設問に比べ満足度が非常に低い項目です。年し、3歳以上では2割強と、その率にはかなりの開きがみられます。本設問は、言いやすいる寄せられた意見の中には「特にない」等の意見も見られ、答えづらい設問であるともいえま超えているため、何らかの対応をとることが望まれます。	かいいづら	いかを一律	できく設問	のため、
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	19	22	5	4
肯定的な回答は4割を下回り、前問に引き続き満足度が非常に低い項目です。本設問も、ため、答えづらい設問であるといえますが、一方で否定的な意見も1割を占めているため、				
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	15	5	30	0
否定的な回答(知らない)が6割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答られていない状況や園全体との満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって問	が低い項[ 関心が薄い	ヨとなりまし 項目である	た。自由意とも考えら	見も寄せ れます。
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	8	2	1	0
1年以内に利用を開始した11人中8人が肯定的な回答をしています。全般として保護者が清	<b></b> を足している	る様子がうた	かがえます。	

(事業所名: 杉並区立高井戸保育園)

# <u>組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)</u>

	共通評価項目	
	カテゴリー1	
リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1	
事業所が目指し	ていることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <b>評点( A )</b>		)
評価	標準項目	
HIIM	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組	
● あり ○ なし	みを行っている	○非該当
	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深	
● あり ○ なし	まるような取り組みを行っている	○非該当
<del></del>	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を	
● あり ○ なし	思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	○非該当
【A+の取り組み		
評価項目2		
	里者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評点( A	)
評価	標準項目	
	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	
● あり ○ なし	,	○非該当
	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	
● あり ○ なし	,	○非該当
【A+の取り組み		
<u> </u>		
İ		

評価項目3 重要な案件につい 係者に周知してい	1て、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関 る <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・	
	カテゴリー1の講評	

# 園目標や保育目標を明示しています

園目標「頭と体を使って遊ぶ子ども」「友だちを大切にし、仲間と一緒にいることの大切さがわかる子ども」は、園のしおりや園のホームページに掲載され、事務所前廊下にも掲示されています。また、園目標に沿って保育目標が設定され、保育計画が展開されています。保護者に対しては、入園説明会や年度初めの保護者会で園のしおりを用いて園目標の説明を行っています。

#### 指揮命令系統を、分かりやす〈明文化しています

園長や主査をはじめ、それぞれの職員の役割と責任は、指揮命令系統図で明示しています。一方、職員自己評価では、「経営層の役割と 責任」に対する肯定的な評価が、他の項目と比較して低いことから、さらなる充実が期待されます。

## 職員ハンドブックは、毎年更新し、年度初めに読み合わせをしています

法人の理念や基本方針、日常の業務等に関することは、職員ハンドブックにまとめられています。職員ハンドブックは、毎年更新され、年 度初めに職員同士で読み合わせをすることにより、再確認を行っています。また、職員ハンドブックの他、各種マニュアルを揃え、職務マ ニュアル(保育士編)では、乳児、幼児別に1日の流れ、保育士の動き、具体的な関わり方について、詳細に分かりやす〈記載されており、 新任保育士等でもイメージしやす〈、理解しやすい内容となっています。これらのマニュアルについても定期的な見直しを行っています。

圣営における社 <i>会</i>	、 <i>66 主 1</i>		
	<b>张的真性</b>		
	サブカテゴリー1		
社会人・福祉サー	ビス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
平価項目1	パットグラナフネレー・アウァ がも汁 相笠   夕田かじを用加して  12		
I会人 ' 個仙ッー	ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <b>評点</b> (	Α	)
AT /T			
評価	標準項目 1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		T
<b>●</b> あり ○ なし			○非該
	  2.全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでし	١Ζ	O HEBS
<b>● あり</b> (○ なし		10	○非該
<b>●</b> あり ()なし			U ∃F #X
A+の取り組み】	○ あり		
7価項目2 三者による評価	「の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織と		
いている	神点(	Α	)
評価	標準項目		
青十1四	惊牛項日  1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取	り組ん	T
● あり ○ なし	でいる		○非該
	  2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会	に車業	+
		心于未	
● あり ○ なし	所に関する情報を開示している	10 尹未	○非該
		C <del>T</del> *	○非該
		<b>心</b>	○非該
		LTX	○非該
		LTX	○非該
		L Ŧ 未	○非該
	<b>○</b> あり <b>●</b> なし	L FX	○非該
A+の取り組み	● なし ・ あり ・ ● なし サブカテゴリー2	L FX	○ 非該
A+の取り組み	<b>○</b> あり <b>●</b> なし	IL FF	○非該
A+の取り組み) 地域の福祉に役3	○ あり <b>・●</b> なし サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	IL FF	○非該
A+の取り組み) 也域の福祉に役3	● なり ● なし サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている		
A+の取り組み」 也域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や複	● なり ● なし サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている		) 非該
A+の取り組み) 也域の福祉に役3	● なり ● なし サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	A	
A+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神		A	)
A+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)
A+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神 評価	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)
A+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)
本+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神 評価	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	○非該
<ul> <li>A+の取り組み)</li> <li>世域の福祉に役ぶ</li> <li>平価項目1</li> <li>事業所の機能や神</li> <li>評価</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)
A+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神 評価 ● あり ○ なし	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)
<ul> <li>A+の取り組み)</li> <li>世域の福祉に役ぶ</li> <li>平価項目1</li> <li>事業所の機能や神</li> <li>評価</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)

A /				
評価項目2 ボランティア受け <i>。</i>	へれに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	評点(	Α	)
評価	標準項目			
н іш	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
● あり ○ なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			○非該当
● あり ○ なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			○非該当
【A+の取り組み】				
<u>`</u>				
評価項目3 地域の関係機関と	この連携を図っている	評点(	Α	)
評価	標準項目			
● あり ○ なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している			○非該当
● あり ○ なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて	113		○非該当
【A+の取り組み】	○ あり			
	カテゴリー2の講評			
「職務にあたってのでも確認できるよ	規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます D心得」を廊下に掲示している他、就業規則、職員ハンドブック、マニュアル等に掲載し、 bになっています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、法人本部や区役所からのよわせで周知を行っています。	T > -		
お餅つき会には組 す。ボランティアの	ティアを積極的に受け入れています 3土会の協力、竹馬ボランティア(修理)や、ボランティア協会からの依頼など、積極的に 9受け入れに関しては、事前オリエンテーションでボランティア受け入れマニュアルにもと 尊重など留意点を伝えています。また、終了後には、感想を書いてもらい、ふり返りも行	づいた説	明を行っ	
児童館の秋祭りて	をはじめ、地域の関係機関との連携を図っています な、園の保育士が1つのゲームコーナを担当するなど、地域の児童館の行事への参加 協力に加え、私立保育園園長会、保育部会等のネットワークにも積極的に参加している。		テってい	ます。また、地

	カテゴリー3	
利用者意向や地域	或・事業環境の把握と活用	
	サブカテゴリー1	
利用者意向や地域	或・事業環境に関する情報を収集・活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見·要望·苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		0 11 11/14
	約·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <b>評点( A+</b>	)
評価	標準項目	ı
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】	<b>●</b> あり ○ なし	
	7 な意見を聞く環境の充実に取り組むとともに、迅速に対応することにより、 信頼関係の構築に努めています	<b>.</b>
	関する情報を収集し、状況を把握・分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目  1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>	

## カテゴリー3の講評

## 行事ごとにアンケートを実施し、保護者の意見を反映するしくみがあります

秋祭り、運動会、お楽しみ会などの行事ごと感想アンケートを実施、出された意見を集約し、園だよりの号外に掲載したり、園内に掲示する など、保護者へフィードバックしているほか、行事総括を行い、次回や次年度の取り組みに反映させるようにしています。

## 意見箱を設置し、保護者からの意見を大切にしています

行事のアンケートの他、入り口横に常時意見箱を設置し、保護者からの意見を積極的に収集しています。また、寄せられた苦情に対して は、迅速に書面で対応し、保護者意見要望記録簿に記載しています。一方、利用者調査では、要望や苦情の言いやすさやその対応等に ついて、保護者からの肯定的な割合が他の項目に比べて低いことから、さらなる改善が望まれます。

#### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、法人本部、地域教育連絡会議や私立保育園の園長会、東京都社会福祉協議会等のネット ワーク、外部研修等への参加により収集・把握しています。

計画の策定と着っ		
	実な実行	
	サブカテゴリー1	
実践的な課題・計	一面策定に取り組んでいる	
評価項目1		
以り組の期间に		)
÷亚/ <del>亚</del>		
評価	標準項目  1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
● あり ○ なし		○非該当
	2.年度単位の計画を策定している	
● あり ○ なし		○非該当
	  3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
		○ 1F#A⊐
【A+の取り組み	〕 あり ● なし	
亚価百日2		
評価項目2 多角的な視点か	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b>	)
多角的な視点か	デ点( A デー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	)
	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	)
多角的な視点か	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	)
多角的な視点か 評価	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<u> </u>
多角的な視点か 評価	標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<u> </u>
多角的な視点か <u>評価</u>	標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
多角的な視点か <u>評価</u>	標準項目  1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている  2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている  3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○ 非該当
多角的な視点か 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	標準項目  1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている  2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている  3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
多角的な視点か 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	#点( A 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該当
<ul><li>多角的な視点か</li><li>評価</li><li>あり なし</li><li>あり なし</li><li>あり なし</li><li>あり なし</li></ul>	標準項目  1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている  2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている  3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している  4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
多角的な視点か 評価 あり ○ なし あり ○ なし あり ○ なし	標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
多角的な視点か 評価 あり なし あり なし あり なし あり なし あり なし	標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
多角的な視点か 評価 あり なし あり なし あり なし あり なし あり なし	標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>

評価項目3		
看実な計画の実行	テに取り組んでいる ヤスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	<b>評点( A</b>	)
 評価	標準項目	
計川		
		¬□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
● あり ○ なし		○非該当
	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど	
● あり ○ なし	の取り組みを行っている	○非該当
	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	
● あり ○ なし		〇 非該当
	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで	
● あり ○ なし	เาอ	○ 非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし	
	11 <del>- 1</del> 1 11 - 1	
	サブカテゴリー2	
利用者の安全の確	確保·向上に計画的に取り組んでいる	
評価項目1		
	確保·向上に計画的に取り組んでNる	
州のロッスエー・・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	)
	mirmit , ,	)
評価	標準項目	
HIID	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	
<b>○</b> ± 11		<u></u> ч⊦≠⊁ч
● あり ○ なし		○非該当
	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	
● あり ○ なし		○非該当
		· / ¬r==// ¬
=		○非該ヨ
	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わってい	
<b>●</b> あり ○ なし	2	○非該当
● あり ○ なし	2	
	ర్	
<ul><li>● あり ○ なし</li><li>【A+の取り組み】</li></ul>	ర్	
	<b>ි</b> කり <b>ම</b> なし	
【A+の取り組み)	る ○ あり ● なし カテゴリー4の講評	
【A+の取り組み)	<b>ි</b> කり <b>ම</b> なし	
【A+の取り組み 園の事業計画	る ○ あり ● なし カテゴリー4の講評	○非該当
【A+の取り組み 園の事業計画 各年度の事業計画	る	○ 非該当 保育目標、
園の事業計画 各年度の事業計画 クラス別編成方針	る	○ 非該当 保育目標、
園の事業計画 各年度の事業計画 クラス別編成方針	る ○ あり ● なし   カテゴリー4の講評 は、園独自のホームページで確認することができます 画は、園独自のホームページから計画書をダウンロードできる様になっています。事業計画には、保育方針、、、、年間行事、健康管理、食事などの他、職員会議、職員の健康管理、研修、備品購入や改修等、保護者になっています。	○ 非該当 保育目標、
園の事業計画 各年度の事業計画 クラス別編成方針	る ○ あり ● なし   カテゴリー4の講評 は、園独自のホームページで確認することができます 画は、園独自のホームページから計画書をダウンロードできる様になっています。事業計画には、保育方針、、、、年間行事、健康管理、食事などの他、職員会議、職員の健康管理、研修、備品購入や改修等、保護者になっています。	○ 非該当 保育目標、
園の事業計画 各年度の事業計画 クラス別編成方針 みなど、多岐にわ	のあり ●なし カテゴリー4の講評 は、園独自のホームページで確認することができます 国は、園独自のホームページから計画書をダウンロードできる様になっています。事業計画には、保育方針、、年間行事、健康管理、食事などの他、職員会議、職員の健康管理、研修、備品購入や改修等、保護者に対しています。	○ 非該当 保育目標、
園の事業計画 各年度の事業計画 クラス別編成方針 みなど、多岐にわ	る ○ あり ● なし   カテゴリー4の講評 は、園独自のホームページで確認することができます 画は、園独自のホームページから計画書をダウンロードできる様になっています。事業計画には、保育方針、、、、年間行事、健康管理、食事などの他、職員会議、職員の健康管理、研修、備品購入や改修等、保護者になっています。	○ 非該当 保育目標、
園の事業計画 各年度の事業計画 各年度の事業計 クラス別編成方針 みなど、多岐にわ 保護者や現場 法人全体で取り組	カテゴリー4の講評 は、園独自のホームページで確認することができます 画は、園独自のホームページで確認することができます。 画は、園独自のホームページから計画書をダウンロードできる様になっています。事業計画には、保育方針、、年間行事、健康管理、食事などの他、職員会議、職員の健康管理、研修、備品購入や改修等、保護者に対たって記載されています。 の声をいかしながら、計画的に策定・見直しを行っています。 記む計画やマニュアルについては、現場の声をいかしながら策定・見直しを行っています。また、園の行事予	○ 非該当 保育目標、 対する取り組 定作成等に
園の事業計画 各年度の事業計画 クラス別編成方針 みなど、多岐にわ 保護者や現場 法人全体で取り組 あたっては、アング	のまり ●なし  カテゴリー4の講評  は、園独自のホームページで確認することができます 国は、園独自のホームページで確認することができます 国は、園独自のホームページから計画書をダウンロードできる様になっています。事業計画には、保育方針、、年間行事、健康管理、食事などの他、職員会議、職員の健康管理、研修、備品購入や改修等、保護者に対たって記載されています。  の声をいかしながら、計画的に策定・見直しを行っています 記む計画やマニュアルについては、現場の声をいかしながら策定・見直しを行っています。また、園の行事予なアート等で寄せられた意見を次年度の計画づくりにいかしています。一方、職員自己評価によると、計画の策	○ 非該当 保育目標、 対する取り組 定作成等に 設定と実行に
園の事業計画 各年度の事業計画 クラス別編成方針 みなど、多岐にわ 保護者や現場 法人全体で取り組 あたっては、アング	カテゴリー4の講評 は、園独自のホームページで確認することができます 画は、園独自のホームページで確認することができます。 画は、園独自のホームページから計画書をダウンロードできる様になっています。事業計画には、保育方針、、年間行事、健康管理、食事などの他、職員会議、職員の健康管理、研修、備品購入や改修等、保護者に対たって記載されています。 の声をいかしながら、計画的に策定・見直しを行っています。 記む計画やマニュアルについては、現場の声をいかしながら策定・見直しを行っています。また、園の行事予	○ 非該当 保育目標、 対する取り組 定作成等に 設定と実行に
園の事業計画 各年度の事業計画 クラス別編成方針 みなど、多岐にわ 保護者や現場 法人全体で取り組 あたっては、アング	のまり ●なし  カテゴリー4の講評  は、園独自のホームページで確認することができます 国は、園独自のホームページで確認することができます 国は、園独自のホームページから計画書をダウンロードできる様になっています。事業計画には、保育方針、、年間行事、健康管理、食事などの他、職員会議、職員の健康管理、研修、備品購入や改修等、保護者に対たって記載されています。  の声をいかしながら、計画的に策定・見直しを行っています 記む計画やマニュアルについては、現場の声をいかしながら策定・見直しを行っています。また、園の行事予なアート等で寄せられた意見を次年度の計画づくりにいかしています。一方、職員自己評価によると、計画の策	○ 非該当 保育目標、 対する取り組 定作成等に 設定と実行に

子どもの安全確保に関して、ハード・ソフトの両面で充実を図っています

子どもの安全確保に関しては、防犯カメラ、地震速報装置、AEDなどの設置を段階的に進めてきました。これらのハード面での充実に加え、ソフト面では、危機管理マニュアルに基づき、避難訓練等の役割分担と明確化するとともに、日常の安全・予防対策については、会議等を通じて職員に伝達しています。また、本園は都営住宅の1階部分にあることから、自治会等の連携を図りながら、子どもの安全確保に取り組んでいます。

		カテゴリー5	
職員と組	織の能力	力向上	
		サブカテゴリー1	
事業所が	で目指して	ている経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
評価項目 事業所に		が要な人材構成にしている <b>評点( A</b>	)
評	価	標準項目	
<ul><li>あり</li></ul>	 ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取			<u> </u>
評価項目 職員の質		に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>B</b>	)
職員の質	便の向上!	評点(B	)
	便の向上!	<b>評点( B</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	)
職員の質	価	#点( B 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<u></u>
職員の質評 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	価の向上	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
部員の質 評 あり あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○ 非該当
職員の質 部 ● あり ● あり	極の向上に 価 ()なし ()なし	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを  「おおまます」と	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>

	サプカテゴリー2	
職員一人ひとりと	組織力の発揮に取り組んでいる	
評価項目1		
	D主体的な判断·行動と組織としての学びに取り組んでいる **** ►	
	<b>評点</b> ( A	)
評価	標準項目	
	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<u> </u>
● あり ○ なし		○非該当
	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	,
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	
<u> </u>		
評価項目2	-	
職員のかる式回」	上に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
<u>÷</u> π/π		
評価	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジ	1
● あり ○ なし	くいんた行っている	○非該当
0 00 0 10.0	  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
	  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	- 11 #2.
● あり ○ なし		○非該当
	  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	- II #/
● あり ○ なし		○非該当
		O 11 HZ.
【A+の取り組み】	○ あり ● なし	
	カテゴリー5の講評	
	材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています	
常勤職員は法人では、気は、気に、気に、気に、気に、気に、気に、	で採用し、本園で必要とする人材と他園とのバランスを考慮しながら、配置をしています。 また、園内のクラス   瞬員 から 美頃をとり、経験や終れ、パランスを考慮して周長が検討し、注入で油宝されます。 なお、本園は	く担任につい 区で選供して
	職員から希望をとり、経験や能力、バランスを考慮して園長が検討し、法人で決定されます。なお、本園は、 きち上がりの担任制を基本としています。一方、職員自己評価においては、人材構成に関する評価は、他のエ	
	ら、改善が求められます。	XA
・・・		
	修環境の充実に取り組んでいます。	*****! <b>ブ</b> ルき
	ては、職務に応じて、法人内研修、園内研修を行っている他、外部の研修の受講に際しては、シフトを調整し 果は、報告書を作成するとともに、職員会議の場で報告を行い、職員同士の情報共有を図っています。一方	
	)質の向上に対する評価は、他の項目と比べて低いことから、さらなる充実が期待されます。	11 17727.

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	すに取り組んでいる	
「価項目1 「業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
未川川田恨しい		)
評価	標準項目	
	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	
● あり ○ なし		○非該
	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	
りあり ○ なし		○非該
` -	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	
りあり ○ なし		○非該
価項目2		
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u> 動が ○なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 のあり ○なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
で価項目2  人情報は、「個       評価   あり ○ なし   あり ○ なし   あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

#### カテゴリー7の講評

## 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理されています。児童票や保育日誌等の個人情報・ 機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管されています。また、電子データの場合も、パソコンにパスワードを設定 し、管理を徹底しています。

## 個人情報の取り扱いについては、規則・要綱で明確にしています

個人情報については、園各種規則及び要綱で明確にしています。また、実習生やボランティアに対しては、個人情報保護等の留意事項を 伝えています。個人情報の取り扱いについては、保管場所や掲示の仕方、写真データの保管方法などに細心の注意を払って対応してい ます。

#### 運用要綱にもとづき、園独自のホームページを公開しています

園独自のホームページの公開については、公開目的を明確にするとともに、公開する情報に対しての基本的な考えとして、「公開しない情報」「保護者の了解を得る必要がある情報」「掲載に際しての留意点」を明示するなど、個人情報に対する十分な配慮がなされています。

	カテゴリー8			•		
8	カテゴリー1~7に関する活動成果					
	サブカテゴリー1					
	前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してい	1る				
	評価項目1					
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を行い成果が上がっている					
	・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」	♠ A+	$\bigcirc$ A	Ов	$\bigcirc$ c	
	・カテゴリー 2 : 「経営における社会的責任」 ・カテゴリー 4 : 「計画の策定と着実な実行」	07	<i>O</i>	0 2	<b>0</b>	
	カノコノ ・・ 町田の永足で自天後天门!					
	改善の成果					
	行事や日常保育の充実に向けて、計画的に取り組んでいます					
	本年度においては、世代間交流や食育の推進など、積極的に取り組んでいます。世代間交流につい					
	る方式でしたが、今年度からは高齢者施設等に訪問する様になりました。また、食育については、米食を見学するなどの活動もはじめています。これらの取り組みに対しては、保護者からの感謝の声もきれ					
	でいる体育指導の積み重ねにより、落ち着いた保育に取り組めるようになっています。毎年の計画的					
	いることがうかがえます。					
	<u> т</u> -т> х					
	サブカテゴリー2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している					
	刊十度とは、、職員と組織の能力の国で国土している					
	評価項目1					
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい					
	て、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	$\bigcap \Lambda_1$	Δ	Ов	$\bigcirc$ c	
		○ A+	<b>●</b> A	ОВ	$\bigcirc$ C	
	 改善の成果					
	研修等により、質の向上に取り組んでいます					
	一昨年度までは、全クラスが複数担任制でしたが、平成19年度からは、4、5歳児クラスを1人担任制					
	当初は、戸惑う場面も見られましたが、1年が経過し、1人担任制の効果も現れています。こうした職員 員の資質の向上を図るために、各種研修や参考図書の紹介を行うなど、日常の取り組みが重ねられ		いかす取	り組みの	D他、職	
	サブカテゴリー3					
	前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している					
	評価項目1					
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい					
	て、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」					
	・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	Ос	
	「食」に関する取り組みの強化を行っています					
	↑良」に対する私り組のの短れで1jつといます。 食育については、栄養士が各クラスを巡回し、イラストを使って食材の解説を日常行っておりますが、	本年度から	ナ 米 飯	中心の	献立かど	
	園独自の取り組みを行ったほか、魚の解体を見学するなど、子どもたちがより食に関心をもちやすくな				ッハ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
÷=/=====				
評価項目1 財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がって	1			
的以外感や収支バランスの以番へ同じた計画的がフ土体的な取り組みにより放表が上がっている				
	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	Ос
改善の成果				
収支のバランスの向上が図られています				
定員の変更や職員配置、職員の異動等を通じて、収支のバランスが向上しています。				
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している				
・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	_ Δ±	Δ	Ов	$\bigcirc$ c
	O Ar	© A	<b>○ b</b>	00
改善の成果	1			
保護者の意向を積極に把握し、改善に努めています				
おたのしみ会の公開をはじめとした保育参観や個人面談等、意見箱、行事のアンケート等を通じて、	積極的に保証	護者の意	意見を聞	〈体制を
整えています。しかしながら、利用者調査の評価からは、改善の余地が残されていることから、さらな				

(事業所名: 杉並区立高井戸保育園)

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

		/WE N /	共通評価項目	
			サブカテゴリー1	
1	サービス	情報の扱	<b>是供</b>	
	評価項目	<b>⊐</b> 1		
			サービスの情報を提供している	
			評点( 人	)
	評	価	標準項目	
			1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	
	⊚ あり	○なし		○非該当
			2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	
	● あり	○なし		○非該当
			3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	
	● あり	○なし		○非該当
	【A+の取	以組み】	<b>○</b> あり <b>⑥</b> なし	•
			サブカテゴリー1の講評	
	掲示物	を積極的	的に活用し、情報提供を行っています	
			6の情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その他各	種情報は、入り
	口付近に	・掲示し、	全ての保護者に伝わるように工夫をしています。	
	<b>3</b> 70	<del>-</del> 154 a	ト <del>サフナー+ / - / </del>	
			D様子を、たくさんの写真で伝えています SBスのスポナの様スな数名/写真に始め、伊護者に次便で提供しています。 Bがたいかばの様報に知る	- 写古はフゖ+
			腎園での子どもの様子を数多く写真に納め、保護者に安価で提供しています。 園だよりなどの情報に加え 様子を伝える情報伝達のツールのひとつとなっています。	1、与具は十८も
	園独自	のホー	ムページで情報を公開しています	
			ー・・・ク くほれと ろから くい・30 ァ 『での園紹介のページについては、公立園が統一された情報が提供されています。また、園独自のホール	ムページを作成
			況、各種マニュアル等、広く情報を発信する取り組みが行われています。	

		サプカテゴリー2	ŀ			
2	サービスの開始・	終了時の対応				
	評価項目1					
	サービスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている <b>評点( A</b>	)			
	/TF		,			
	評価	標準項目  1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<u> </u>			
	● あり ○ なし		○非該当			
		´	J 1			
	● あり ○ なし	1,1,2,1,1	○非該当			
		3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している				
	● あり ○ なし		○非該当			
	【A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし	_			
			-			
	≐亚/無1百口?					
	評価項目2 サービスの開始及	及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している				
		評点( A	)			
	 評価	標準項目				
		1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している				
	● あり ○ なし	.  	○非該当			
		2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している				
	● あり ○ なし	.  	○非該当			
		3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている				
	● あり ○ なし		○非該当			
		4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援 をしている				
	● あり ○ なし	& U C ( 1 8	○非該当			
	【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>				
	<del> </del>					
	İ					
	İ					
	<u></u>					
		サブカテゴリー2の講評				
	入園説明会を	実施し、園での生活について詳し〈説明しています				
	入園前には、入園	。 園児説明会の実施、入園児面接等の場で、「園のしおり」等を活用し、園での生活や入園までに準備をするも	うのなどについ			
	て、詳しく説明する	る機会を設けています。				
	ĺ					
	<u>_</u>					
		でも一人ひとりの状況を把握しています				
		査票、家庭での生活状況票、家庭連絡票及び入園前の面接において、家庭での入園前の生活リズムをはじ 握されており、面談結果については、「児童票」等に記録されています。この「児童票」は、入園後の児童の発				
		候されてのり、 面談結末については、 『光星景』寺に記録されています。 との 『光星景』は、 八園後の光星の光 系列で整理され記録が追加できるように配慮されており、 保育の最重要書類として活用されています。	注に下下 日			
	ĺ					
	) 国古么什牌	かの名を中体しています。				
		【れ保育を実施しています まの不安やストレスを軽減するため、一定期間「慣れ保育」を行っています、「慣れ保育」期間中は可能な範囲	<b>甲で促雑老</b> と			
		もの不安やストレスを軽減するため、一定期間「慣れ保育」を行っています。「慣れ保育」期間中は可能な範匿 呆育園で過ごし、子どもが園での生活に慣れ、保護者も保育の様子を知ることで、安心して子どもを預けられ				
		こいます。そのため、職員も休暇を控え、子どもと慣れる時間を多く持てるようにしています。				

サブカテゴリー3						
個別状況に応じた	=計画策定·記録 					
評価項目1 必要に応じて、定 面ごとに明示して	められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 いる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)				
評価	標準項目	•				
● あり ○ なし		○非該当				
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当				
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当				
A+の取り組み	○ あり	•				
評価項目2 必要に応じて、子	どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計					
画を作成している	***************************************	)				
評価	標準項目	ſ				
● あり ○ なし		○非該当				
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやす〈説明し、同意を得るようにしている	○非該当				
● あり ○ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当				
● あり ○ なし	4. 計画を緊急に変更する場合のし〈みを整備している	○非該当				
A+の取り組み	) ಕು (೨ ಕು					
評価項目3						
	どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)				
評価	│    標準項目 ┃1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	1				
● あり ○ なし		○非該当				
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当				
【A+の取り組み	೦ ಕು ರಿ					

	評価項目4	
	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	
	<b>評点</b> ( A	)
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	
	● ಹ೪ ○ なし	○非該当
	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	
	● あり ○ なし	○非該当
	L TDW/D-1	
	【A+の取り組み】 ○ あり · ⑥ なし	
	サブカテゴリー3の講評	
	保育日誌、連絡帳等で子どもの情報を共有しています	
	子どもの記録は、保育日誌に記載し、情報共有・把握を行っています。また、保育日誌は、それぞれの年齢に適した記録をし	
	年齢ごとに異なる様式となっています。また、職員の勤務シフトの違いに対応するために、遅番早番連絡表を活用し、情報を持ちます。	共有していま
	<b>す。</b> 	
	半期毎に保育総括を行い、見直しを行っています	
	定期的な計画の見直しは、前期・半期ごとに、保育総括、行事総括、全体総括を、クラス会議、保育会議、幼児会議、職員会	議等、それぞ
	れ役職に応じた職員の出席のもと会議を行い、必要に応じて見直し・改善を行っています。	
	保護者会の場で、計画や子どもの発達について詳し〈伝えています	
	毎年4月に行われる保護者会では、運動会、お楽しみ会、秋祭り等に関する年間計画を伝えている他、子どもの発達のポイン	<b>小を伝えてい</b>
	ます。2回目の保護者会では、保育参観を行い、子どもの成長の様子を伝えています。	
_	サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
	評価項目1	
	子どものプライバシー保護を徹底している	
	評点( A	)
	1. 子どもに関する情報 (事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにし	
	● あり ○ なし ている	○非該当
	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	
	◉ ಹು ೦ ಭು	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり · ⑥ なし	

	評価項目2 サービスの実施に	あたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	評点(	Α	)
Ì	評価	標準項目			
	<b>●</b> あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している			○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることの相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	)ないよう、 	職員が	○非該当
	● あり ○ なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている			○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
		サブカテゴリー5の講評			
	園独自のホームへ	、の写真の掲載など、保護者の同意を得ています ページの公開については、公開する情報に対しての基本的な考えとして「公開しない情幸 :際しての留意点」を明示するなど、個人情報に対する十分な配慮がなされています。	<b>报</b> 」「保護者	竹の了解を	得る必要が
	子どもの羞恥心や 心がけています。	泉の遮断の他、毎日の着替えなどで、子どもの羞恥心に配慮しています。プライバシーへの配慮としては、失敗を責めない言葉かけや、トイレの失敗の際の目ざまた、プールやシャワーの際に目隠しをつけることにより外部から見えない様にするととしています。 また、子どもに対して羞恥心を養うことにも取り組んでいます。			
	日常の子どもや保 認しあっています。	の配慮については、個々の状況に合わせた対応が求められています 議議者とのコミュニケーションについては、職員会議やミーティングの中で常に振り返り、 一方、利用者調査及び職員自己評価においては、プライバシーに関する評価に差がる 対応については、個々のケース、環境や時代にあわせて柔軟に方法を考えていく必要	みられるこ	とから、ブ	
		サブカテゴリー6			
ô	事業所業務の標準	* * * * * *			
		、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	評点(	Α	)
	評価	標準項目	サマチャ	生生中	
		1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本 確にしている 2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	事項プラール	寺を呪	○非該当
	● あり ○ なし	2. 子引書寺は、職員の共通理解が得られるような表現にしている。 3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検	リアハス		○非該当
	● あり ○ なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているがどうがを点検 4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を		7	○非該当
	● あり ○ なし		活用してい	୍ଚ	○非該当
Ì	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			

AT /T-T-D-		
評価項目2 サービスの向上を	きめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	
y <u> </u>	評点( A	)
評価	標準項目	
	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子 どもの様子を反映するようにしている	
● あり ○ なし		○非該当
	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	_
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし	
評価項目3	みにより、業務の一定水準を確保している	
こみこみな扱う組む	デ点( A	)
 評価	標準項目	
дТІЩ	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにして	
● あり ○ なし	l13	○非該当
	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	
● あり ○ なし		○非該当
	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	
● あり ○ なし		○非該当
	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	
● あり ○ なし		○非該当
	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み】	◯ あり ● なし	
	サブカテゴリー6の講評	
職員ハンドブッ	クの内容は定期的に見直しが行われています	
	手引き書となる職員ハンドブックは、職員個人に配布されるもので、毎年更新しています。見直しの検討は、	
	会議を行い、理事会を経て、最終的な決定が行われます。年度初めには、職員同士で読み合わせをし、変 曜を深めています。	<b>里点の催認も</b>
国力なのが複	により 職員の顔の点を開いれたでいます	
	により、職員の質の向上に取り組んでいます 、内研修、専門研修などにより、保育の質の向上に取り組んでいます。園外研修では、同法人の姉妹園で	カ斑修物生活
事例の見学など、	見学や体験型の研修にも取り組んでいます。研修成果は、研修報告書にまとめるほか、職員会議で概要	
ど、他の職員との	情報共有にも取り組んでいます。	
情報共有による	る子どもの安全性のさらなる充実が期待されます	
	もの安全性確保に関して様々な取り組みを行っていますが、一方で、利用者調査によると、肯定的な評価	
	៸て低く、改善の余地が残されています。 今後は、引き続きハード面の対策を充実させていくとともに、職員・ プリハット事例等で蓄積し、安全性確保の改善に反映させていくことが期待されます。	一人ひとりの日

	サーヒス	(の実施	現目(カテゴリー6-4)	
1			ますための保育を行っている <b>評点( A+</b>	)
	評·	価	標準項目	
			1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	
	⊚ ಹು	○なし		○非該当
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
	【A+の取			
	行い、家人	庭におい	もたちの発達を促すため、毎年200冊程度絵本を購入し、園内の絵本の充実を図っているだけでなく、絵本 ても絵本にふれる機会を増やす支援をしています。絵本の貸し出しについては、年間2000冊前後の実績が ]に実を結んでいるといえます。	の貸し出しを 「あり、家庭に
			評価項目1の講評	
	外部から	の体育語 露してい	3体育指導を実施しています 場師を招き、毎週水曜日に4・5歳児を対象に体育指導を実施しています。また、運動会においては、その成 ます。昨年から取り入れられたこのプログラムにより、子どもたちが落ち着いて物事に取り組めるようになっ )ます。	
	各クラス	こ設置し し、職員	登出など、子どもの発達を促すための環境を充実しています ている絵本の充実に加え、貸し出しを行うなど、子どもの発達を促すための環境の充実に取り組んでいます 自己評価では、9割が肯定的な評価をしており、園長をはじめ、職員一人ひとりが意識的・積極的に取り組	
	障害があ	る子ども	重携により、障害がある子どもの保育に取り組んでいます 、や気になる行動がみられる子どもの保育については、専門機関と連携を密に図りながら対応しています。 🤄 特別な保育指導により、保育士が現場の事例から学ぶ機会を用意し、子どもの特性に配慮した保育の提供	

ています。

評価項目 栄養バラ		:慮したうえで、おいしい食事を出している <b>評点( A+</b>	)
	<del></del>		, 
<u>評</u>	[曲	標準項目 1.メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	
<b>●</b> あり	○なし		○非該当
<b>⊚</b> あり	○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
		3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	
● あり	○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
⊚ ಹり	○なし		○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5. [0歳児を受け入れている保育所のみ] 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当
【A+の取	(り組み)	<b>●</b> あり ○ なし	l
		ビ園独自の取り組みを行っている他、栄養士が各クラスを巡回し、イラストを使って食材の解説を日常行って するなど、子どもたちがより食に関心をもちやすい様な取り組みを行っています。	おり、また、
無切解件	· E Æ 开;	ク るなと、」ともにもいまり戻にはいいともも トゥ V H級は4Xリ版DVと[] フ C V i みょ。	
		評価項目2の講評	
		の取り組みを進めています	
		t、米飯中心の献立を取り入れるなど、園独自の取り組みも行われています。なお、アレルギーを持つ子ど; し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。	もや離乳食の
		し刻か寺村別の配慮が必要な場合などは、個々の内谷に心した民事が個別に提供されています。 食事に対する評価は、ほぼ全員が肯定的な評価をしていることからも、取り組みを確認することができます	•
桜の木	の下で	の食事、バイキングなど、楽しみながら食事ができる環境を提供しています	
楽しみな	がら食事	ができる様に、5歳児のバイキング、桜の木の下やテラスでの食事などを取り入れています。また、食事の	際に子どもた
ちが食べ	やすいよ	こう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。	
栄養十	による値	<b>食育の充実が図られています</b>	
	-	マロックレスカロコカッといってァ する子どもの評価を確認するため、栄養士が各クラスを巡回し、反応を把握しています。その際、その日のメ	ニューについ
て、イラス	トを使っ	て解説を行っています。また、イラストだけでなく、本物を体験する為、本年度においては、プロを呼び魚の	
行っなと、	宋袞士	による食育の取り組みが、毎年の様にひろがっています。	
評価項目	<b>1</b> 2		
子どもが		健康を回復・維持するための支援を行っている	
		<b>評点</b> ( A	)
評·	価	標準項目	T
♠ ± 11	O #31	1.子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	  2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	○ 非該当
© <b>6</b> 00	<u> </u>	  3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○ 4FBX =
<b>●</b> あり	○なし		○非該当
		  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
【A+の取	(り組み)	○ あり ・ ● なし	

#### 評価項目3の講評

#### 子どもの健康状態は、看護師が毎日把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、尿検査を取り入れた定期健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬表を用い対応を行っています。

#### 手洗いの指導、歯磨き指導を積極的に行っています

3歳以上を中心に、外から帰った後や給食前の手洗い指導やパネルシアターをみながらの歯磨き、区の歯科衛生士の協力を得ながら行う歯磨き指導など、保健指導に積極的に取り組んでいます。

#### 法人3園の看護師が連携を図り、健康づくりに取り組んでいます

保健指導については、法人の3つの保育園の看護師で構成される看護師会で検討されたことをもとに、園の実践活動をおこなっています。看護師会では、東京都社会福祉協議会・保健部会など、他機関との連携を図り、積極的に情報収集を行い、感染予防を含めた様々な情報を保護者に提供しています。

#### 評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

評価 標準項目		
	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	
● あり ○ なし		○非該当
	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	
● あり ○ なし		○非該当

【A+の取り組み】

○ あり ● なし

#### 評価項目4の講評

#### 異年齢児交流、各種催し物など、多様な保育活動に取り組んでいます

誕生会は、一人ひとりの日にあわせて実施している他、園内活動として、お散歩時などの異年齢児交流をはじめ、「みんなであそぼう」「秋まつり」「お楽しみ会」など、子どもの発達を促す活動や催し物が取り入れられています。また、公開をしている「お楽しみ会」は、保護者が 子どもの成長を確認する場ともなっています。

#### 手作りの木製玩具等により、暖かさ、落ち着きを感じさせる園内環境となっています

ママゴト遊びなどで使う手作りの木製キッチンをはじめ、手作りで室内環境を整えている箇所が数多くみられ、既製品にはない暖かさを感じるともに、安全性に対する工夫もされています。

# 午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

食事、睡眠、運動、排泄などは子どものリズムにできるだけあわせる配慮を行い、午睡については、早〈寝たい子、目が覚めてしまう子が それぞれ快適に過ごせる場所を確保して対応しています。また、年長児については、就学前には午睡をやめ、学校生活にすぐになじめる よう配慮しています。

	評価項目			
5	保育所と家	尿庭との	)交流・連携を緊密に行っている <b>評点( A</b>	)
	評値	FF.	標準項目	
	R I IP	Щ	1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある	
	⊚ あり	○なし		○非該当
			2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	
	⊚ あり	○なし		○非該当
			3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	
	● あり	○なし		○非該当
			4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	0
	● あり	○なし		○非該当
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5.保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取	リ組み	○ あり : ● なし	
_				
			評価項目5の講評	
	行事ごと	にアン	·ケートを実施し、保護者の意見を反映しています	
			D開催、秋まつりは夕方から開催するなど、一人でも多くの保護者が参加しやすい様に日程を調整していま	
	劉云、の第	さいの云	などの行事ごとに感想アンケートを実施し、出された意見を集約して、次年度の開催日程等を検討していま	9 。
	/m   <del></del> +	v <del></del> 1-1-1	** /D****	
			じめ、保護者からの意見を大切にしています かま見るの35mgなど、保護者とのき見な地に持格的に取り組んでいます。これらの取り組みは、利用者調査	木の 「啦品し
			や意見箱の設置など、保護者との意見交換に積極的に取り組んでいます。これらの取り組みは、利用者調資評価でも9割弱が肯定的な評価をしていることからも、成果を確認することができます。一方、「保護者の考	
	については	<b>t</b> 、3 / 4	4が肯定的な評価をしており、他の項目と比べて低くはないものの、改善の余地が残されていることから、継	
	みを行って	いくこと	により、さらなる成果が期待されます。	
	クラフだ	F17 TE	写真等を活用し、子どもの生活の様子を伝えています 	
			ョ兵寺を冶所し、」ともの主角の候」を囚えています。 え、園では、行事や日常の生活をた〈さんの写真で伝えています。園での自然な姿を写す写真が多〈、子ども	たちのいき
			て、歯には、丁事や口市の生活をたくさんの与真で伝えています。歯での自然な姿を与すう真が多く、丁ででアルに伝わる情報源ともなっています。	31230716
	評価項目			
6	虐待防止(	の取り紅	目みや育児困難家庭への支援を行っている <b>評点( A</b>	)
	AT /2			,
	評价	Щ	標準項目  1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○非該当
		<u></u>	  2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組	0 11 10 1
	<b>⊙</b> ສ ງ	○なし	は、	○非該当
	(C) (D) (1	<i>∪ ₲</i> ∪	  3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関	U +FØ∃
	<b>ම</b>	○なし	3. 雇付を受けている疑いののるすともと味識者の情報は、児童相談所、すとも家庭支援センダーなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	<b>●</b> Øリ	U UU	  4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	4. すともの発達や育児などにプロで、懲談会や勉強会を開催し、休護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
		<u> </u>		○非該ヨ
	【A+の取	リ組み	○ あり ・ ● なし	

#### 評価項目6の講評

#### 区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区と連携を図りながら取り組んでいます。具体的には、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネット ワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが職員ハンドブックに明示 されており、また、必要に応じてケース会議を開催し、対応しています。

#### 研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています

新人研修をはじめとして積極的に各種研修へ参加しており、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図っています。また、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組まれています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

#### 保護者会で講演会を開催し、保護者と共通理解を深める取り組みを行っています

子どもの発達等に関しては、現在、虐待防止のポスターなどの情報提供をしていますが、さらに、全体保護者会で講演会を開催し、子ども の発達や虐待防止について保護者と共通理解を深めています。

評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <b>評点</b> ( <b>A</b> )						
評価	標準項目					
	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している					
● あり ○ なし		○非該当				
●あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当				
【A+の取り組み】	○ あり ・					

#### 評価項目7の講評

## 地域の就園前の親子を支援しています

地域の子育ての拠点となるよう、就学前の親子を対象に、園庭開放、ふれあい保育の実施、見学の受け入れを行っています。一方、在園 児に対する保育の質の向上に力を入れている中で、地域の子育て支援については、積極的とは言えないことから、さらなる充実が期待さ れます。

#### 世代間交流や地域交流の取り組みが広がっています

本園は都営住宅の1階に位置している特性をいかし、園の催し物に居住者に声かけをするなど、取り組みが広がっています。また、従来、世代間交流は、来園形式で待ちの姿勢でしたが、高齢者デイサービスとの訪問交流をはじめています。現在は、やや遠方の施設との交流ですが、近隣の施設との交流に広がっていくことが期待されます。

#### 地域のボランティアや児童館と連携をすすめています

お餅つき会には郷土会の協力、竹馬ボランティア(修理)等のボランティアや、実習生や職場体験を受け入れています。また、地域の児童 館の地域行事へ参加するなど、地域連携を進めています。

(事業所名: 杉並区立高井戸保育園)

	特に良い	1と思う点
	タイトル	保護者の声をいかし、積極的に改善、質の向上に取り組んでいます
1	内容	各行事後はアンケート調査を実施し、寄せられた声や反省点を園だより等でフィードバックするとともに、次回以降の行事の改善に活かしています。また、常設の意見箱をはじめ、保護者からの意見については、迅速に対応することを心がけることにより、保護者とのコミュニケーションの充実を図るとともに、日常の保育の質の向上に取り組んでいます。生活スタイルや価値観が多様化する中で、全ての保護者が満足できる対応は困難ですが、積極的に保護者の声を聞き、改善につなげていく取り組み等を常に行っていることは高く評価できます。
	タイトル	地域交流・世代間交流を積極的に広げています
2	内容	ボランティアの受け入れ、児童館との連携、高齢者施設への訪問など、地域交流・世代間交流を積極的に進めています。特に、世代間交流については、従来は来園による交流を図っていましたが、施設に訪問する交流もはじめています。また、本園は、都営住宅の1階に位置していることから、上層階の方に園行事の毎に声をかけるなど、ご近所づきあいにも取り組んでいることは高〈評価できます。さらに地域での交流を広げるために、近隣の高齢者施設との交流も模索しており、地域の輪が広がってい〈ことが期待されます。
	タイトル	保育環境等を充実するため、計画にもとづき毎年着実に実行しています
3	内容	園では、子どもたちの発達を促すための新たな取り組みを計画にもとづき実行し、毎年成果を重ねています。平成16年度から取り組んでいる絵本活動の充実については、毎年200冊の絵本を増やすなど計画的に取り組んできた結果、年間の貸し出し数がのべ2,000冊になるなど成果が現れています。また、本年度は、新たに世代間交流、米飯中心の食事、魚の解体の見学(食育)、園庭の固定遊具の設置などを行いました。さらに、これらの新たな取り組みに対する効果を検証し、改善や次の取り組みへつなげることも行われており、高く評価できます。
	さらなる	改善が望まれる点
	タイトル	各専門職としての質の向上や職員一人ひとりの力が発揮できるしくみづくり
1	内容	利用者調査では、「子どもの発達を促すための保育」「栄養を考慮した美味しい食事」「健康を維持回復するための支援」「園内が快適になるための工夫」になどの保育の基本となる項目について9割が肯定的な評価をしている一方で、職員自己評価では、「職員のやる気」「職員の質の向上」など、人材育成等に関する項目は、他の項目と比較して評価が低いことから、各専門職として質の向上や、職員一人ひとりの力を組織で発揮できるような環境をさらに充実していくことが望まれます。
	タイトル	地域の子育て支援や地域の福祉ニーズの把握
2	内容	ボランティアの受け入れ、世代間交流など、地域に向けた活動を広げている一方で、地域の子育て支援については、就学前の親子を対象に、園庭開放、ふれあい保育の実施、見学の受け入れを行っているものの、さらなる充実が期待されます。同時に、地域の福祉ニーズや福祉事業の情報に関しては、職員自己評価においても、他の項目と比較して、評価が低いことから、一層の充実が期待されます。
	タイトル	情報共有による子どもの安全性のさらなる充実が期待されます
3	内容	現在園では、子どもの安全性確保に関して様々な取り組みを行っていますが、一方で、利用者調査によると、肯定的な評価が7割程度と、他の項目と比較して低く、改善の余地が残されています。今後は、引き続きハード面の対策を充実させていくとともに、職員一人ひとりの日常の気づきをヒヤリハット事例等で蓄積し、安全性確保の改善に反映させていくことが期待されます。

# 大宮前保育園

呆 大 育 宮 貳 前

(事業所名: 杉並区立 大宮前保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯65世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数65共通評価項目による調査対象者数65共通評価項目による調査の有効回答者数47利用者総数に対する回答者割合(%)72.3

# 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の約9割を占める結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が89.3%)。個別にみると、「お子さんについて職員と相談できる」について肯定的な回答が約9割を占める他、「提供される食事への配慮」、「戸外遊びの機会」、「保育時間変更の柔軟な対応」、「体調変化への対応」、「職員の聞〈姿勢」、「子どもは大切にされている」、「職員は礼儀正しい」についても肯定的回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。 一方、「安全対策が十分とられているか」をはじめ、「要望や不満の言いやすさ」、「行事日程への配慮」などについては肯定的な回答が低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

# 利用者調査結果

用者調宜結果					
共通評価項目		実	数		
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当	
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	40	6	0	1	
肯定的な回答は8割を大きく超える結果となっており、安定的な評価を受けている項目と 見が大半を占めていますが、食事のメニューに関する要望も寄せられています。	えます。自	由回答につ	いては肯定	定的な意	
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	42	3	2	0	
肯定的な回答は約9割を占めるとともに否定的な回答もほとんどみられない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。しかし、自由回答では、肯定的な意見が多い一方で、「園庭を広くしてほしい」「公園へもっと連れて行ってほしい」とする意見などもみられます。					
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	38	3	3	3	
肯定的な回答は8割を超えており未回答も若干見られます。自由意見においては、肯定的ないことに対する意見が見られます。	な意見のほ	まか、延長の	<b>そ育が実施</b>	されてい	

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	39	3	3	2
肯定的な回答は8割を超えているとともに否定的な回答もあまりみられず、満足する人が多に対する連絡が不十分であるとの意見が複数寄せられています。	い項目です	す。ただし、	自由意見で	ごは、けが
5.安全対策が十分取られていると思うか	15	26	6	0
肯定的な回答は約3割と非常に満足度が低い結果となっています。自由回答では、防犯対ます。園では、本年度よりさらなる改善を行っているところでもあり、それらの活動や今後のについてもさらに深く知ってもらうことも必要ではないでしょうか。				
6.行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	28	15	3	1
肯定的な回答が約6割を占めているほか、否定的な回答も多くありません。自由意見では、 を不満に感じるものが複数寄せられている状況です。	平日に行	われる行事	(保護者会	:・夏祭り)
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	3	0	0
肯定的な回答は9割を超えており、他の設問に比べ満足度が高い項目です。自由意見ではい」とする意見も見られますが、その他は肯定的な意見が占めており、自由意見からも保証				
8.保護者の考えを聞〈姿勢があるか	42	5	0	0
肯定的な回答は9割に迫っているとともに、否定的な回答もみられない結果となっており、える項目といえます。	大きな不満	はなく安定	的な評価を	受けてい
9.サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	36	7	0	4
肯定的な回答は8割に迫っているとともに、否定的な回答もみられない結果となっており、3 す。	安定的な評	価を受けて	いる項目と	こいえま
10.一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	41	6	0	0
肯定的な回答は9割に迫っているとともに、否定的な回答もみられない結果となっています 定的に捉える意見が半数を占めるほか、先生によって異なるとの意見も複数寄せられてい		では、「大	切にされて	いる」と肯

11.職員の対応は丁寧か	41	6	0	0
肯定的な回答は9割に迫っているとともに、否定的な回答もみられない結果となっています 複数寄せられています。	。自由意見	では、「職	員による」と	の意見が
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	27	14	3	3
肯定的な回答は6割弱にとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由意見が複数見られますが、「父母会を通していえるのでよい」とする意見が多数寄せられてい		園には直接	言いづらい	り。とする意
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	34	9	1	3
肯定的な回答は7割を超えており、否定的な回答も少数にとどまっています。自由意見ではして〈れている」とする肯定的な意見や「小さなことは対応して〈れるが大々的な改善はやっ寄せられています。				
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	9	8	29	1
否定的な回答(知らない)が6割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられま		ヨとなりまし	,た。 園全体	<b>\$との満足</b>
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	12	2	0	0
1年以内に利用を開始した14人中12人が肯定的な回答をしており、否定的な回答もありましまり再度質問しました」との意見も寄せられておりますが、全般として保護者が満足している				(い部分が

(事業所名: 杉並区立 大宮前保育園)

# <u>組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)</u>

共通評価項目	
カテゴリー1	
リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリー1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1	
事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <b>評点( A</b>	)
評価標準項目	
1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	
● あり ○ なし	○非該当
2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組	
● あり ○なし みを行っている	○非該当
3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深	1
● あり ○ なし まるような取り組みを行っている	○非該当
4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を	
● あり ○ なし 思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	○非該当
【A+の取り組み】 ○ あり <b>●</b> なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	)
評価操準項目	
1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	
಄ ಹು ರಿ ರಾಜ್ಯ ರಾಜ	○非該当
2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	
● あり ○なし	○非該当
	0 11 11/1
【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	
$\mathbf{I}$	

評価項目3 重要な案件につい 係者に周知してい	Nて、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関 Nる	評点(	Α	)
評価	標準項目			
R	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている			
● あり ○ なし				○非該当
	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している			
● あり ○ なし				○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容といる	:決定経緯	を伝えて	○非該当
@ Ø 0 0 7 L 0				
【A+の取り組み	◯ あり ● なし			
	カテゴリー1の講評			
<u> </u>				
保育目標の浸	透を図っています			
標「健康でたくまし	)保育園(保育)の考え方を受け、園目標を定めるとともに、この園目標に沿って、保育目ル1子ども,「意欲的に遊ぶ子ども,「思いやりの気持ちを持つ子ども」は、園で作成した「 ドに掲載され、事務所内にも掲示されています。また、保護者に対しては、入園説明会や 等目標の説明を行うとともにクラスだよりなどでも触れ、理解してもらうように心がけてい	ほいくえん P保護者会	のしおり	や区の園紹
神呂 今議を由	心に意思決定と周知を行っています			
		* m \+ *		THE
会議や定例打ち	こついては、定例打ち合わせや夜の職員会議で検討して決定しています。また、重要な 合わせの場で全体に説明・周知しています。また、保護者に対しては、保護者会や園だ、 R定事項や経緯を伝えています。			

	カテコリー2		
経営における社会	的責任		
	サブカテゴリー1		
社会人·福祉サー	ビス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1			
‡会人·福祉サー	ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <b>評点</b> (	Α	)
評価	標準項目		
	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		
● あり ○ なし			○非該当
	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでい	13	
● あり ○ なし			○非該当
A+の取り組み】			
平価項目2			
第三者による評価	「の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織と	-	
なっている	<b>評点</b> (	Α	)
評価	標準項目		_
HIIM	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取	り組ん	
● あり ○ なし	でいる		○非該当
	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に	こ事業	
● あり ○ なし	所に関する情報を開示している		○非該当
A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし		.1
7,102-17,210-12,1			
	サブカテゴリー2		
也域の福祉に役立	立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能やは	<b>冨祉の専門性をいかした取り組みがある</b>		
尹未川い汲ばい	#他の寺门注をいかした取り組みかめる <b>評点</b> (	Α	)
÷π /≖			
評価	標準項目 1.事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等	ミの開	
● あり ○ なし	放、個別相談など)	102111	○非該当
	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の関	组件 講	○ ¬¬¬
_	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や等门性をいかした正画・音光活動(新形芸の原師派遣など)を行っている	刊准、時	○非該当
● あり ○ なし			
【A+の取り組み】	○ あり <b>⑥</b> なし		

評価項目2 ボランティア受け <i>)</i>				
7,777 T X 177	(10に対する金本女子で月曜にの、仲間で唯立のでする)	)点鸭	Α	)
評価	標準項目			
	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
● あり ○ なし				○非該当
	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
評価項目3				
評価項目3 地域の関係機関と	この連携を図っている	- 一		
評価項目3 地域の関係機関と	この連携を図っている	評点(	A	)
地域の関係機関と 評価	標準項目	評点(	A	)
地域の関係機関と 評価		評点(	A	)
地域の関係機関と <u>評価</u> ● あり ○ なし	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	)
地域の関係機関と <u>評価</u> ● あり ○ なし	標準項目		A	<u> </u>
地域の関係機関と <u>評価</u> ● あり ○ なし	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	<u> </u>
地域の関係機関と 評価 ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> <ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> <ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> <ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> <ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> <ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当

# 遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、都や区の職員ハンドブック、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、保育所保育指針等が事務所に常備され、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員採用時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議や打ち合わせで周知を行っています。

## 園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています

施設見学や学生の保育体験を積極的に受け入れているほか、毎月2回開催される「いっしょにあそぼ!!」、ふれあい保育、園庭開放などを通じ、地域の親子が参加できる機会を設けるなど、地域の子育て支援活動を行っています。しかしながら、ふれあい保育については参加者が少ないことから、園においても宣伝方法や内容について再検討する必要があると認識しているため、より有効な取り組みとなるよう今後の改善が期待されます。

# 地域の関係機関との連携を行っています

行政連絡会をはじめ、地域子育てネットワーク連絡会等のメンバーとして、地域の子育てや教育の課題などについて情報・意見交換を 行っています。また、1歳児~2歳児の担任が、児童館の乳児グループに派遣されており、育児相談に対応するなど、園長だけではな〈職 員も育児支援者として地域に出向いています。このような取り組みにより、職員も地域との連携について「行っている」と認識している割合 が高く、園として一丸となって取り組んでいる姿勢がうかがえます。

	カテゴリー3	
利用者意向や地	域・事業環境の把握と活用	
	サブカテゴリー1	
利用者意向や地	域・事業環境に関する情報を収集・活用している	
評価項目1 利用者一人ひと! 解決制度を含む)	の意向(意見·要望·苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
	2. 利用者一人ひとりの意見·要望·苦情に対する解決に取り組んでいる	O TRIAD
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み	] ○ あり <b>⑥</b> なし	
評価項目2 利用者意向の集	約·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	
17711日心门00米		)
評価	標準項目	I
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み	] ⊙ ಹು0	
評価項目3		
地域・事業境境に	:関する情報を収集し、状況を把握·分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・ 分析している	○非該当
【A+の取り組み		

## カテゴリー3の講評

## 保護者の苦情等を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用 者調査では、外部の苦情相談窓口についての認識度は2割程度となっており、周知方法の再検討が望まれます。

## 保護者の意向を把握・検討しサービス向上につなげています

保護者の意向については、保護者会や個人面談、連絡帳、普段のコミュニケーションのほか、父母会が行うアンケートなどを通じて把握 し、職員会議等で報告、検討しています。検討結果については、すぐ出来ることはすぐに取り組み、サービス向上につなげています。しかし ながら、現在、園が主体的に行うアンケート実施されていません。園独自にアンケートに取り組むことは、園が考えていることを保護者の 方々に伝える効果もあることから、このような点についても検討する余地があるのではないでしょうか。

#### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワーク会議や区立保育園の園長会等への参加、新聞・雑誌の保育や子育てに関する記事から収集・把握しています。 新聞や保育雑誌等は園で購読していませんが、園長が個人的に記事を収集し、区からの通知などとともに職員に回覧を行っています。 地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

計画の策	定と着す	<b>ミな実行</b>	
		++ ¬+ = ¬11 4	
≧践的な	課題·計	サブカテゴリー1 画策定に取り組んでいる	
『価項目		Sじた課題·計画を策定している	
( ) MAC ) )		<b>評点</b> ( A	)
評值	西	標準項目	ı
<b>●</b> あり	○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該
9 00 0	<u> </u>	  2. 年度単位の計画を策定している	
● あり	○なし		○非該
		3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
<b>●</b> あり	○なし		○非該
7 4 4 4 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1	り組み	○ あり ● なし	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	)
「価項目 角的な	]2 視点から	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b>	)
硒項目	]2 視点から	ら課題を把握し、計画を策定して <b>い</b> る	<u> </u>
通項目 角的な 評価	]2 視点から	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<u> </u>
価項目 角的な 評価 かあり	12 視点から <u></u> ○ なし	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該
・価項目角的なご 角的なご 評価 ・ あり	∃2 視点か∮ 西	高課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該
平価項目 角的な 評価 ● あり	12 視点から <u></u> ○ なし	を課題を把握し、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
平価項目 角的な 評価 ● あり	12 視点から のなし	新点( A 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目 角的な 評価 ● あり  ● あり	12 視点から 面 ○ なし	新点( A 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目 角的なる 評価 ● あり ● あり	12 視点から のなし なななし ななし	回ります。	)
呼価項目	12 視点から のなし なななし ななし	回ります。	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
『価項目 角的な 評価 ● あり ● あり	12 視点から のなし なななし ななし	回ります。	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該

評価項目3					
着実な計	ロリ 十画の実行	テに取り組んでいる			
	. – .		)		
=====================================	<b>P</b> 価	標準項目			
B1					
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当		
<u> </u>					
		2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例·失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	<u> </u>		
<b>●</b> あり	○なし		○非該当		
		3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している			
○ あり	● なし	[ ·	○非該当		
		  4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで			
<ul><li>あり</li></ul>		113	○非該当		
<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			
【A+の耳	取り組み】	] ○ あり ● なし			
		.,			
	• • •	サブカテゴリー2			
利用者の	の安全の	確保・向上に計画的に取り組んでいる			
+= /= ==	<del></del>				
評価項目		確保・向上に計画的に取り組んでいる			
利用白い	)女王い』	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	)		
評	<b>P</b> 価	標準項目	<del></del>		
		1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している			
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	[ ·	○非該当		
		2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している			
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	[ ·	○非該当		
		  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わってい	·		
		13. 再架切り、ブ切りを吹いまだに回けて、脳中、心中も、ほの物ははないに最かいなりまかっていっとってい			
<b>⊕</b> ± 10		Z	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
<b>●</b> あり		Z	○非該当		
	○なし	<u> వ</u>	○非該当		
		<u> వ</u>	○非該当		
	○なし	<u> వ</u>	○非該当		
	○なし	<u> వ</u>	○非該当		
	○なし	<u> వ</u>	○非該当		
	○なし	<u> వ</u>	○非該当		
	○なし	ວ ] ○ ສ໗ • ຊປ	○非該当		
【A+の取	○なし	る ○ あり ● なし カテゴリー4の講評	○非該当		
【A+の取 チャレン	○ なし 取り組み] ンジプラ	ວ ] ○ ສ໗ • ຊປ			

区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに達成度を確認するための指標の設定や複数年度に渡る取組みの計画が期待されます。

#### 行事計画書を作成し、計画的に行事運営を行っています

園では、年度の係・担当や確認事項を明確にした一覧表や、個々の行事のねらいや実施内容、感想等を明確にした「行事計画書」、年間の園外行事予定をまとめた「園外保育実施計画書」を作成した上で取り組んでいます。これらは、係の担当やプロジェクトを中心に、定例打ち合わせや夜の職員会議の中で検討を重ねて計画しており、実施後には「行事実施報告書」を作成して反省を職員間で共有化しています。

## 子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいます

子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルに基づき、定期的に安全点検を実施しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に行っています。地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も密に行われています。事故が発生した場合は、その状況や原因、経過を「事故報告書」に記録し、全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。しかし、利用者調査では、肯定的に捉えている保護者が3割程度と非常に低いことから、今後のさらなる取り組みと改善が強く望まれます。

		カテゴリー5	
職員と組	織の能力	的向上 	
		サブカテゴリー1	
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる			
評価項目 事業所に		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	)
評·	価	標準項目	
RI	<u>ІЩ</u>	15   15   15   15   15   15   15   15	
● あり	○なし		○非該当
		2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	
● あり	○なし		○非該当
		3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	
⊚ ಹ)	○なし		○非該当
【A+の取	以組み	] ○ あり <b>③</b> なし	l
評価項 職員の質		に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
職員の質	の向上	<b>評点</b> ( A	)
	の向上	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	)
職員の質 <u>評</u>	価	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>
職員の質	の向上	<b>評点( A</b>	)
職員の質 <u>評</u>	価	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<u> </u>
職員の質評・	<b>価</b> ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○ 非該当
職員の質評・	<b>価</b> ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当
職員の質 評・ ● あり	<b>価</b>	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当
職員の質 評 ● あり  ● あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 評・ ● あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、0」Tや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○ 非該当
職員の質 評 ● あり  ● あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを アデジストでして	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>非該当</li><li>非該当</li><li>非該当</li><li>非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>

サブカテゴリー2							
職員一人ひとりと	職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる						
評価項目1 職員一人ひとりの	・主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)				
評価	標準項目						
● あり ○ なし		_	○非該当				
● あり ○ なし			○非該当				
◉ あり ○ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		○非該当				
【A+の取り組み】	ე ಹಳ О ಹಳ						
	職員のやる気向上に取り組んでいる						
評価項目2 職員のやる気向」	上に取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)				
	<b>評点</b> (						
職員のやる気向」 評価	<b>評点</b> (						
職員のやる気向」 評価	<b>評点(</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる						
職員のやる気向」 <u>評価</u> あり なし  あり なし  あり なし	評点( 標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人メントを行っている 2.就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3.職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる		ジー・非該当				
職員のやる気向」 <u>評価</u> あり なし  あり なし  あり なし	評点( 標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		ジー・非該当ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
職員のやる気向」  評価      あり    なし      あり    なし      あり    なし	評点( 標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		ジーの非該当の非該当の非該当の非該当				
職員のやる気向」  評価      あり    なし     あり    なし     あり    なし     あり    なし	評点( 標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		ジーの非該当の非該当の非該当の非該当				

## |園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、バランスを考慮して園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係分担についても、各職員から希望を出してもらい、クラスや業務負担が偏らないように調整して決定しています。

## 様々な研修を通じて職員の質の向上や意欲の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が個人面談を行う中で把握しています。また、研修については、区で実施している実務研修などのほか、自主的な活動として学習会や勉強会にも参加しています。実務研修などの公的な研修受講後は、個人の研修歴カードに実績を記録するとともに、研修の理解度や満足度、仕事にどのように活かすか等について研修報告書を作成し、園長が確認した上で区に提出しています。また、研修成果を共有するため、会議での研修報告にも取り組んでいます。

## 職員の働き甲斐を大事に考えて、仕事の指示を出しています

園長は、職員のレベルアップとモチベーションの向上のためには、職員が示した仕事に対するやる気を尊重し、仕事を任せることが重要で あると考えています。特に仕事の成功体験は、非常に成長を促す効果があるため、園全体での協力体制を整えた上でバックアップを行 い、任せた仕事が成功しやすいように取り計らうとともに、気持ちよ〈仕事が出来るように配慮もされています。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	這に取り組んでいる	
<sup>7</sup> 価項目1 「業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
	評点( A	)
評価	標準項目 1.情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	1
<b>●</b> あり ○ なし		○非該
	  2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	0 11 112
● あり ○ なし		○非該
	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	1
● あり ○ なし		○非該
	] <b>⊙</b> ສປ <b>⊙</b> ຊປ	
A+の取り組み 平価項目2 引人情報は、「個	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	
通項目2		)
· · · · · · · · · · · · · ·	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
福項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u>	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○ 非該
で価項目2  人情報は、「個  評価 ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
☑価項目2  人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
☑価項目2  人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
☑価項目2  人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

#### \_\_\_\_ カテゴリー7の講評

## 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に 従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使 いやす〈更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、園長が施 錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

## 個人情報の取り扱いを明示しています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。写真撮影などに関しては、「ほいくえんのしおり」でも文章で説明されており、説明会の際に説明されています。園で取扱う個人情報の利用目的は、区の入園申込関係書類に一部記載が見られますが、さらに全般的な個人情報の利用目的についても明示することが期待されます。

#### 職員が個人情報保護を理解し行動できるための取り組みを行っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、職員採用時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修 の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。 実習生やボランティアに対しては、個人情報保護等の留意事項を伝えています。

	カテゴリー8				
8	カテゴリー1~7に関する活動成果				
	サブカニブリー4				
	サブカテゴリー1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してい	17			
		10			
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている				
Ì	・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」	○ A+	ОА	<b>⊚</b> B	Ос
	・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」		•	0 -	
	77 17 17 HOVALCOXOXIII				
	改善の成果				
	防犯対策の改善に取り組んでいますがより一層の取り組みが求められます				
	園では、防犯対策の改善に取り組んでおり、門扉への鍵の導入などのハード面での対策のほか、近降の対策も行っております。しかしながら、利用者調査では、肯定的な回答が約3割に留まる等、保護者ん。完璧な防犯対策、保護者が100%納得する対策は難しいといわざるを得ないものの、多くの保護者いては、今後とも引き続き検討し、この課題について取り組まれることが必要であると思われます。	が理解を得	るまでに	は至っ	ていませ
	サブカテゴリー2				
	前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している				
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	$\bigcirc$ c
	7. ¥ 0. ¢ B				
	改善の成果				
	リーダーが研修で持ち帰った成果や情報が園を変える職員の機運を高めました 園において2名のリーダーを任命し、区の研修に参加することによって、会議等の進め方などを学ぶと 聞き、園に持ち帰って報告しました。これによって、園でこれまで行っていた保育等と他園で行われているところとなり、結果として園の保育全体を見直す機運が高まったことは、大変評価できます。				
	サブカテゴリー3				
	前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している				
	評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	て、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー 6 : 「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー 7 : 「情報の保護・共有」	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	$\bigcirc$ c
	   改善の成果				
	保育環境の見直しを行いました				
	休日 環境の見直 0を1] いました  園長は今年度異動で当園に赴任してきましたが、園長のこれまでの赴任先での経験と前述のリーダ-	一による他債	の状況	を認識す	することに
	よって生まれた園の保育等を見直す機運の高まり等が原動力となり、保育環境の見直しを行ったこと	は評価できる	ます。具	体的に	は、雑然
	としていた園内の清掃・片付け、機械警備となったことで生まれた空き部屋などを通じて、園の環境設 や照明などを変更することによって、明るい雰囲気を醸成するなどが行われました。 園長は、次年度も				
	しを図ることを考えており、次年度以降の活動にも期待されます。	5 51 C 100 C C	0,000		~~~

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
評価項目1				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がって いる	<b>⊚</b> A+	ОА	Ов	Ос
改善の成果				
行財政改革を着実に実行しました 区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度 同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています				
等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」として計画通りに進んでいることが確認できました。				
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	○ A+	<b>●</b> A	Ов	Ос
改善の成果				
保護者の声を積極的に拾い上げるとともにその声を元にした改善を行っています				
一昨年から父母会アンケートの結果を受け入れることとなったことなどもあり、保護者からの意見を聞たが、今年度は、園長が変わったことによって、職員が保護者の声により耳を傾けるようになり、保護に改善するようになりました。その結果、利用者調査の自由回答において、「園長(主査)が変わってずれており、日々の小さな積み重ねが、結果となって現れており評価できます。	者からの意	見や要望	望に対し	て積極的

(事業所名: 杉並区立 大宮前保育園)

## サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

	共通評価項目						
		サブカテゴリー1					
1	サービス情報の摂	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
	評価項目1						
	保護者等に対して	・サービスの情報を提供している <b>評点( A</b>	)				
	評価	標準項目					
		1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている					
	● あり ○ なし		○非該当				
		2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している					
	● あり ○ なし		○非該当				
		3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している					
	● あり ○ なし		○非該当				
	【A+の取り組み】	○ あり ・	ı				
		サブカテゴリー1の講評					
	園の情報をさま	<b>ぎまな形で発信しています</b>					
		と所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームペー					
		・ーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や 「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。	写真」「地域				
		因の行己」の対象でもにくのが、国のが、」が「囚もだいをすいるフェスでもにているす。					
		別の状況に応じて対応しています					
		t、次年度の入園申し込みに向けた見学をはじめ、地域の親子を対象とした毎月2回開催される「いっしょに 開放等、年間を通じて受け入れています。見学の際は、見学者の時間的な都合だけではなく、見学者の目					
		:用放き、中间を通して受け入れています。兄子の除は、兄子有の時间的な郁音だけではな\、兄子有の自 動しているところを見たいのであれば午前中がよいです等)を提案するなど、「よりよい見学」につながるよ・					
	われています。						

		サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・	終了時の対応	
	는		
	評価項目1 サービスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている	
	J 27,07,032.		)
	評価	標準項目	
	百千1四		
	●あり ○なし		○非該当
		  2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○ ¬1 н∧ ¬
	● あり ○ なし		○非該当
		3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み】	] () ສາງ (	
	[ATOJAN J MLOV		
	評価項目2		
	サービスの開始が	及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
		而不 <i>人</i>	)
	評価	標準項目	
		1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	
	● あり ○ なし		○非該当
		  2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	
	● あり ○ なし		○非該当
	<b>9</b> 000 0 000		
		3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている  	~
	● あり ○ なし		○非該当
		4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援	
	● あり ○ なし	をしている	○非該当
		·	
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	
	l		
	i		
_	<del>                                     </del>	サブカテゴリー2の講評	
	<del></del>		
		説明はわかりやすいよう配慮しています	
		園で独自に作成した「ほいくえんのしおり」を用いて、園での基本的なルール、園生活で必要なもの等が丁野	
		まいくえんのしおり」は、イラストや表、図などが使われ、わかりやすい内容となっています。このような取り組え  を超える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついていると考えられます。これに満足	
		」を超える休護者の万からわかりやすかったと文持される結果に結びついていると考えられます。これに両定 3容となるような継続的に取り組むことが望まれます。	19 acca
	1 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5		
	λ 園直後は子	どもへの影響を考えた保育や保護者の不安軽減の取り組みを行っています	
		を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、小グループでの保育を行うと	レ±.にパート
		を遅んすってもたちにとりては、環境支化に伴り心身の貴重が入されてとから、ホケルーノとの休育を行った。 「の人員配置を手厚くして対応しています。また、保育開始初日から1週間程度を目処として短時間保育を行	
	を保護者の都合も	も勘案しながら実施しています。 こうした子どもへの対応のほか、 保護者に対しても、 連絡帳や送迎時の会話	
	丁寧に子どもの様	<b>養子を伝えることを心がけており、保護者の不安が軽減されるように努めています。</b>	
	ı		
	ı		
	ı		
	1		
	1		

	サブカテゴリー3	
個別状況に応じ	た計画策定・記録	
面ごとに明示し		)
評価	標準項目	
● あり ○ な		○非該当
● あり ○ な	2.子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
● あり ○ な	3.アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
【A+の取り組 <i>み</i>	♪] ○ あり ● なし	
	子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計	
画を作成してい	る <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	Ţ
● あり ○ な		○非該当
● あり ○ な		○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当
【A+の取り組み	<b>♪</b> ] ○あり <b>⑤</b> なし	
評価項目3 必要に応じて、-	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	
 評価	<b>評点</b> ( A 標準項目	)
<ul><li>あり ○ な</li></ul>	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
【A+の取り組 <i>み</i>	<u></u>	
		_

	評価項目4 子どもの状況等1	こ関する情報を職員間で共有化している <b>評点</b>	i(	Α	)
	評価	標準項目			
	рі іщ	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している			
	● あり ○ なし	,			○非該当
	● あり ○ なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している			○非該当
	【A+の取り組み				1
		サブカテゴリー3の講評			
	保育に関する	計画については3段階で作成し、より良い保育を計画的に実施しています			
	り、それぞれの計 は日々の子ども(	画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)  画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されま D状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であ 5ります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月のクラスだよりで、週	す。こ あって	の計画も必要し	の作成の際に こ応じて、改定
		とりの記録は統一様式の「児童票」に記録しています	<b>-114</b>		o.[旧 <del>本</del> 亜
	は、杉並区立保育 す。また、次年度	記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理され 育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやす の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、。 えるような内容とするべく検討が行われております。	いよう	項目分	けされていま
	各クラスでの情報	セットにした情報の伝達や共有を行っています 3共有は乳児や幼児での打ち合わせや月案を通じて行われています。また、日々の情報共有 ち合わせノートや朝夕当番表等を通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することに。			
	慮されています。	しかしながら、このような仕組みがあっても連絡・報告漏れは起こることも考えられるため、職 とが重要であると園長は考えています。今後の改善に向けた活動が期待されます。			
		サブカテゴリー5			
5	プライバシーの係	R護等個人の尊厳の尊重 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	評価項目1 子どものプライバ	・シー保護を徹底している <b>評点</b>	i(	Α	)
	評価	標準項目			
		1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を	- 得る	ようにし	,
	● あり ○ なし				○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている			○非該当
	【A+の取り組み	○ あり ● なし			

	評価項目2 サービスの実施に	こあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	評点(	Α	)
		標準項目			
	<b>● あり</b> ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している			○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることの相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	つないよう、	職員が	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている			○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
		サブカテゴリー5の講評			
		むつ交換時等におけるプライバシーへの配慮を行っています			
		をたて、視線がさえぎられたなかで着替えが行えるよう配慮を行うとともに、おむつ交換「バシーに配慮した活動を行っています。なお、園で行っているこうした活動は、子どもたきます。			
	園では、チャレンシ 果は利用者調査に 成果に結びついて	ンで子どもの尊厳の尊重について触れ、意識の向上を図っています ジブランにおいて子ども一人ひとりの個性や価値観を尊重して丁寧に対応していくことを こおいて約9割の保護者から「子どもは大切にされている」と肯定的に捉える回答となっ こいる活動と評価できます。しかしながら、パート職員等を含む園全体として考えるとまた 今後の改善に向けた取り組みが期待されます。	て現れてい	1ると考え	られ、着実に
		サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準				
		、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	評点(	Α	)
	評価	<u>標準項目</u> 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本!	= 12 か 千順	5年太明	T
	●あり しなし	1. 手引書(基準書、手順書、イニュアル)寺で、事業所が提供しているサービスの基本 確にしている 2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	事頃ですが	見寺を 凹	○非該当
	● あり ○ なし	2. 子引音寺は、喊貝の共通達解が得られるような表現にしている 3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検	コフハる		○非該当
	● あり ○ なし	3. 提供しているサービスが定められに基本事項や手順等に沿っているがとうがを息材 4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を		1 7	○非該当
	● あり ○ なし		泊州して	10	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			

☆/표급 □ ○			
評価項目2 サービスの向上を	をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		
	<b>評点</b> (	Α	)
評価	標準項目		
	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		
● あり ○ なし	,		○非該当
	  2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や	是案、子	
● あり ○ なし	ドキの様子を反映する とうにしている	~~	○非該当
		·	
	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り約	且ん じい	
● あり ○ なし	/   ~		○非該当
【A+の取り組み			
【ハキ∪ノ4人リ ☆ユック			
評価項目3			
さまざまな取り組	みにより、業務の一定水準を確保している	٨	١
I	<b>評点</b> (	Α	)
評価	標準項目		
	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るよ	うにして	
● あり ○ なし	แง		○非該当
	  2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		<del>                                     </del>
● あり ○ なし			○非該当
			○非該ヨ
	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		
● あり ○ なし	,		○非該当
	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		
● あり ○ なし			○非該当
	  5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		
00			
● あり ○ なし	,		○非該当
【A+の取り組み	.] ○ あり . ● なし		
【ハーリン・・ス・ファニュン・	1		
	サブカテゴリー6の講評		
囲の甘土ぬれ			
	ルールや各種対応方法はマニュアルを定めて明確化しています		
	ールや事件・事故等に対する対応方法などについては、それぞれ、区で作成した「危機管理マニュ] かられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要に		
	かられてあり、午旬反省や干期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要にかしながら、園内の活動に対する細かいルール等については、体系的にまとめたマニュアルなどが		
	ルを明確にする意味でも、園独自のマニュアルの整備が望まれます。	正開し1	0012270
職員一人ひと	りの学びを組織として共有し、業務水準の確保を行っています		
	区で実施している実務研修などのほか、園内研修や自主的に取り組む勉強会等も行われており、	職員の≉	≨望に沿った.
そして、組織として	て必要な研修メニューの確保が出来ています。また、研修に参加しやすい体制作りが行われている	とともに、	研修で学ん
	よ、打ち合わせにおいて確認されており、職員一人ひとりの学びが組織として共有され、 園として一次 ************************************	定水準の	保育レベル
か維持できる場場	竟が整っています。		

	サーヒス	、の実施	<b>4月日(カテゴリー6-4)</b>	
1	評価項目子どもの		ますための保育を行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	評·	価	標準項目	
			1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	
	<b>●</b> あり	○なし		〇 非該当
	<b>●</b> あり	○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	〇 非該当
	O 677	<u> </u>		O AFIA
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
			4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	
	⊚ ಹು	○なし		〇 非該当
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
	【A+の取	り組み)	] ○ あり ● なし	
			評価項目1の講評	
			動が屋内外で展開されています っては、自然物を使った制作活動や絵の具を作った絵画制作、積み木を使った遊び、絵本活動、わらべ歌な。	は光氷空の以
	などが行	われてい	たは、日然物を使うた間下沿動で磁の異を下うた磁画間下、積めれを使うた極い、磁や沿動、わらへ駅はいます。また、屋外での活動では、時には異年齢(幼児クラス)で行うこともある園外に出る散歩活動のほか、そどもたちがいつでも新鮮な気持ちに、そして、楽しい気持ちになれるように様々な取り組みが行われています。	野菜などの
	子どもの	)発達を	を促すための保育の充実が期待されます	
	て、保育I が低く、ま	こ取り組 た、園長	R庭での生活状況については、保護者との面談・連絡帳のやりとり・送迎時の会話などにより把握し、保育計んでいます。しかし、職員自己評価の結果においては、子どもの発達を促すための保育に関して、他の項目 長としても、散歩活動やリズム遊びの採用など、積極的に体を動かす活動のさらなる充実が必要であると考えた取り組みが期待されます。	1に比し評価
	障害があ	る子ども	連携により、障害がある子どもの保育に取り組んでいます。や気になる行動がみられる子どもの保育については、専門機関と連携を密に図りながら対応しています。 2 まや気になる行動がみられる子どもの保育については、専門機関と連携を密に図りながら対応しています。 2 まなが、特別な保育指導が行われています。巡回指導では、現場の事例から学ぶ機会を用意し、子どもの特	

た保育の提供の体制を整えています。

	<b>評点( A+</b>	)
評価	標準項目	
	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	
<ul><li>あり ○</li></ul>		○非該当
(a) ± 11 (		○ 4F <del>±</del> **
<b>●</b> あり ○		○非該当
	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	
		○非該当
		0 11 40/-
	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	
● あり 🔾	⊋U .	○非該当
	5.[0歳児を受け入れている保育所のみ]	
O # 11 O	到 田の摂到 や食車に関してけ、到 旧一 人 ひとりの状況やリブムに合わせて行っている	∃+±+√√
○ あり ○	\$6	● 非該当
Λ . Φ HΠ 114E	7.1	
A+の取り組	み】 ○ あり ○ なし	
食育について	は年間指導計画の中で検討され、計画的に取り組まれています。 具体的には、区民農園や園庭(ブランター)を	利用した栽
き活動に取り	且んでいるとともに、年長児では、調理士作成のレシピによるクッキー作りやおにぎり作りが行われているほか、	栽培からり
	する一連の食事が出来るまでの流れを体験することが出来るプログラムが用意されています。これらの取り組ん	
	りょう ほの食事が出来るよくの流れを呼吸するととが出来るショックスが利息とれています。とれらの歌り温い りすることによって実現しており、大変評価できます。	がは視点が
	」。 むここになり (天が) このり、八文印画 ここちょ。	
	評価項目2の講評	
今事がとい	<b>屋</b>   アントンの 古世   アントン の 一 で アントン アントン アントン アントン アントン アントン アントン アン	
	- 層楽しくなるような食事環境への配慮を行っています	
₹節の行事の	際には、メニューが行事用の特別食が用意されるとともに、幼児クラス3クラスで会食する、ランチョンマットをほ	使用する、花
テーブルに飾	5等、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工	.夫されてい
Γ.		
田田山土社広	した食事を提供しています	
	<b>寺つ子どもや障害などで食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、 個々の内容に応じた食事が個別</b>	
	配膳に関しても名前入りの個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかり	けるなど、間
建いが起きな!	Nよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされてNます。	
食事がしや	すい環境を整備しています	
	すい環境を整備しています	
食事の際に子	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。 イスやテーブルについて	
食事の際に子 利用しています	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて 「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全て	
食事の際に子 利用していま?	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。 イスやテーブルについて	
食事の際に子 利用していま?	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて 「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全て	
食事の際に子 利用しています べやすい姿勢	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて 「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全て	
食事の際に子 利用しています べやすい姿勢 評価項目3	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。 イスやテーブルについて「が、 なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、 マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。	
食事の際に子 利用しています べやすい姿勢 評価項目3	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  D健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子 可用しています 、やすい姿勢 平価項目3	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  D健康を回復・維持するための支援を行っている	
食事の際に子 利用しています 、やすい姿勢 評価項目3 子どもが心身の	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  D健康を回復・維持するための支援を行っている <b>評点( A</b>	の子どもが
食事の際に子 利用しています べやすい姿勢 評価項目3	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  D健康を回復・維持するための支援を行っている  デ点( A 標準項目	の子どもが
食事の際に子 利用しています 、やすい姿勢 評価項目3 子どもが心身の	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  D健康を回復・維持するための支援を行っている <b>評点( A</b>	の子どもが
食事の際に子利用しています。 でいます いっぱい でいます いっぱい でいます でいます でいます でいます でいます でいます できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  D健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子 利用しています 、やすい姿勢 評価項目3 子どもが心身の	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  D健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子削用しています。 でではいる勢 ではまが心身の ではまが心身の ではまが心身の	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  D健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子 利用しています いやすい姿勢 平価項目3 子どもが心身の 評価	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  D健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子削用しています。 でいる 対象 ではまかい ではまから でいます でいます でいます でいます できまかい できまかい できまかい できまかい かいしゅう できまかい できまかい かいしゅう できまかい できまかい しゅうしゅう アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子 利用しています いですい姿勢 平価項目3 子どもが心身の 評価	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  D健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子 利用しています (* やすい姿勢) 平価項目3 子どもが心身( 評価 ● あり ○	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子 利用しています ドやすい姿勢 評価項目3 子どもが心身 評価 ● あり ○	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。    D健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子 利用しています ドやすい姿勢 評価項目3 子どもが心身 評価 ● あり ○	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「が、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子 利用しています ドやすい姿勢 評価項目3 子どもが心身 評価 ● あり ○	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについてでが、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子がいます。 部のでいます。 でいますい。 平価項目3 子どもがでする。 平価面のでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについてでが、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている	の子どもが
食事の際に子がいます。	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについてでが、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	の子どもが
食事の際に子がいます。	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについてでが、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	の子どもが
食事の際に子がいます。	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについてでが、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	の子どもが
食事の際に子がいます。	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについてでが、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	の子どもが
食事の際に子 利用しています いやすい姿勢 評価項目3 子どもが正価 のあり ()	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについてでが、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	の子どもが
食事の際に子がいます。	どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについてでが、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全てで食事ができるよう配慮されています。  「健康を回復・維持するための支援を行っている 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	の子どもかり

#### 評価項目3の講評

## 子どもの健康状態をきめ細かく把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いて対応しています。

#### 感染症予防と感染症発生時の対応を効果的に行っています

感染症予防に関しては、月1回発行の保健だよりを通じて情報提供を行っているほか、園内掲示をして注意を喚起するなどの活動が行われています。また、感染症の発生時には、決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。なお、感染症が発生した該当クラスにおいては、注意喚起の掲示を行って、感染の拡大が起こらないよう取り組まれています。

#### きめ細かいマニュアルを用いた対応等により園の活動が支持されています

園には常駐の看護師が配置されていませんが、保健衛生面での細かな対応について記された詳細なマニュアルを常備しており、保育士がこのマニュアルを元に日々の保健衛生面での対応を行っているほか、いざというときには近隣園の応援看護師や園医とも連携しながら対応を行っています。このような活動は、利用者調査において8割を超える保護者から「発熱やけがの際の対応」について肯定的な意見が寄せられており、保護者からも支持されている様子がうかがえます。

評価項目 園内の生活 4		どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている	評点(	В	)
評价	<b>E</b>	標準項目			
		1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)			
● あり	○なし				○非該当
		2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている			
○ あり	● なし				○非該当
		3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている			
● あり	○なし				○非該当
【A+の取	り組み	○ あり ● なし			

#### 評価項目4の講評

#### |落ち着いて過ごせる環境設定に力を入れて取り組んでいます

園が最も力を入れて取り組んでいる環境設定については、子どもが落ち着いて過ごすことができる環境を目指しており、今年度は、雑然としていた園内の清掃・片付け、照明を変更するなどが行われました。また、ホールと兼用の4・5歳児の保育室は、1日の中でも数回、机やついたてを移動するなど設定を変更しており、それぞれのクラス活動(遊び、食事、午睡等)が保障されるよう配慮されています。現在はまだ改善途中という段階ではありますが、園長は次年度も引き続き環境設定の見直しを図ることを考えており、継続的な改善が期待されます。

## 手作りおもちゃや木のおもちゃなどのぬくもりを感じるおもちゃが充実しています

園では、発達に応じて子ども一人ひとりが楽しめるおもちゃを用意しており、既製品ではカバーできない部分は、職員が手作りにより対応しています。また、その他のおもちゃについても、ぬ〈もりを感じ楽しめることを大事にして、木製のおもちゃを中心として充実させています。さらに、子どもたちがこれらのおもちゃを納得がゆ〈まで遊びこめるよう、コーナー設定についても配慮しており、少人数での活動が行いやすい小さな場の設定を基本としながら、その時々の場合に応じて、設定を変えるなど柔軟に取り組まれています。

## 子どもたちが園生活を楽しめるよう行事や交流などに取り組んでいます

誕生日は子ども一人ひとりが特別な気持ちなれるよう、誕生日当日にクラスでお祝いを行う形式となっています。また、行事については、 七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、わくわくデー(運動会)や定期的に行われている地域のお年寄りの施設との交流な ど、子どもたちが保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。なお、わくわくデー(運動会)については、開催方法を変更し、雨天で も小学校の体育館で開くようにするなど、行事などについて子どもたちが楽しみにしている気持ちを大事にするよう配慮されています。

	評価項目			
5	保育所と	家庭との	·交流·連携を緊密に行っている <b>評点</b> ( <b>人</b>	)
ŀ	評価	/픎	標準項目	
ŀ	<u> </u>	<u>ІЩ</u>	1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある	
	● あり	○なし		○非該当
I			2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	
l	● あり	○なし		○非該当
			3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	
l	● あり	○なし	, /D 株々 (*/D なび の / - 吉も ) */- 台 - D   1   - 白 - D   1   - D   1   - D	○非該当
	0		4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	O
ļ	● あり	○なし		○非該当
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5. 保護者からの相談に応しる体制を整えている	○非該当
Ì	【A+の取	川組み)	<u> </u>   ○ あり	
ŀ	1/// 024/	( ) WITO).		
1			評価項目5の講評	
1	周だ上げ	たどの	たよりで子どもたちの様子や園の活動をわかりやす〈伝えています	
			パにより C 丁ともにらい(家丁 と園の)占勤をわかり やす NAA C いよす 園からの情報提供については、毎月発行される園だよりや保健だより等のたよりがあります。また、クラスだ。	トリについて
			まからの情報を決にしてては、毎月光17される園だよりと休嗟だより寺のだよりがありより。よだ、ケノスだ。 5一人ひとりが主役となった内容となるよう配慮されているとともに、幼児クラスで月に2回以上、乳児クラス・	
			おり、園だより等よりもタイムリーに活動内容が伝わるよう、発行回数にも配慮がなされています。	
	ロ註の	ハ閂を	<b>通じて日々の保育の様子をタイムリーに伝えています</b>	
			囲してロマの休月の候子をタイムリーに伝護者へ伝える取り組みとして、日誌の公開が行われています。 「に加え、日々の園での様子をタイムリーに保護者へ伝える取り組みとして、日誌の公開が行われています。	<b>促護</b> 妻に問
			もらえるようなわかりやすい文章表現が心がけられているとともに写真なども織り交ぜながら日々の活動が	
			ています。	
	保謹孝:	수笙(+)	園内で行うことが出来るよう取り組まれることが期待されます	
			図す。CTJ クロこか、ロイベンスク4人の記るすじることが、新聞できてします。 であるため、ホールと4・5歳児のクラスが兼用であったり、職員室内に保健室スペースがあるなど、非常に阝	見らわたマ
	ペースで	保育等の	2000にの、ホールとす「成光のアンスが採用とのフたり、職員主門に体歴主人、「スかのでなど、非常にアン活動を行わなければならない状況にあります。こうした中、今年度は機械警備導入に伴って宿直室のスペ	ースが空き、
	保護者と	の面談や	¤相談を行うための部屋を確保することが出来ましたが、保護者会については近隣の会議室で行われている	ます。 園内開
			『日程調整なども容易になることを考慮すれば、このような行事についても園内開催出来るよう、スペース活 待します。	用の改善か
Ī	評価項目	<b></b> 6		
6	虐待防止	の取り糾	目みや育児困難家庭への支援を行っている <b>評点( A</b>	)
Ĭ			RIMI( /\frac{1}{\triangle}	,
ŀ	評	価	標準項目	
	@ ± ··		1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会·研修会を実施し理解を深めている 	<u> </u>
	● あり	○なし		○非該当
	_	_	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組 織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	
	● あり	○なし	調にしてい体 アルダメルで大圧する1平型で置んでいる	○非該当
ľ			3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係が関係を関する。1844年によるの後も連携できるような体制を整っている。	
	● あり	○なし	係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
ľ			4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを	
	● あり	○なし	行っている	○非該当
ŀ	【A+の取	(り組み)		
ŀ				

	区、関係機関との連携して虐待防止、育児困難家庭を支援できるよう取り組んでいます	
	虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支	
	児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見 どが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。	見時の対応な
	この Mig (ーェックをこうに正確に10とのう、系心は1にロットでは Mix 下足型のいるこの 計画に入りられるといる。	
	研修内容の職員間での情報共有と園全体の対応能力の底上げを図っています	
	該当するケースがない場合でも区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の	
	とともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされ 組みを行っています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待され	
	MENOR OF THE MANAGE OF THE MAN	
	·拉/东西中文	
	評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	
7	<b></b>	)
	◉ ಹり ○ なし	○非該当
	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を	
	● あり ○ なし 確保している	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり · ⑥ なし	
	評価項目7の講評	
	地域の情報を保護者へ提供しています	
	杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依頼	頼があった場
	合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。	
	地域の様々な人たちとの交流は子どもたちに豊かな経験をもたらしています	
	地域との交流は、学生の職場体験などの受け入れや実習生などとの交流のほか、地域の方も参加できる運動会等の行事、	毎月2回開催
	される「いっしょにあそぼ!!」、ふれあい保育、園庭開放などを通じた地域の親子との交流、老人施設との世代間交流、図書	
	社会体験など、様々な年代の方々との交流が意欲的に行われています。	

評価項目6の講評

	特に良い	1と思う点
	タイトル	入園直後は子どもへの影響を考えた保育や保護者の不安を軽減する取り組みを実践しています
1	内容	初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、小グループでの保育を行うとともにパートやアルバイト職員の人員配置を手厚〈して対応しています。また、保育開始初日から1週間程度を目処として短時間保育を行う「なれ保育」を保護者の都合も勘案しながら実施しています。こうした子どもへの対応のほか、保護者に対しても、連絡帳や送迎時の会話などを通じて丁寧に子どもの様子を伝えることを心がけており、保護者の不安が軽減されるように努めています。
	タイトル	手作りおもちゃや木のおもちゃなどのぬくもりを感じるおもちゃが充実しています
2	内容	園では、発達に応じて子ども一人ひとりが楽しめるおもちゃを用意しており、既製品ではカバーできない部分は、職員が手作りにより対応しています。また、その他のおもちゃについても、ぬくもりを感じ楽しめることを大事にして、木製のおもちゃを中心として充実させています。さらに、子どもたちがこれらのおもちゃを納得がゆくまで遊びこめるよう、コーナー設定についても配慮しており、少人数での活動が行いやすい小さな場の設定を基本としながら、その時々の場合に応じて、設定を変えるなど柔軟に取り組まれています。
	タイトル	食育について計画的に取り組むとともにそれを支える職員の連携も図られています
3	内容	食育については年間指導計画の中で検討され、計画的に取り組まれています。具体的には、区民農園や園庭(プランター)を利用した栽培活動に取り組んでいるとともに、年長児では、調理士作成のレシビによるクッキー作りやおにぎり作りが行われているほか、栽培から収穫を経て調理する一連の食事が出来るまでの流れを体験することが出来るプログラムが用意されています。これらの取り組みは職員が職種を超えて協力することによって実現しており、大変評価できます。
	さらなる	改善が望まれる点
	タイトル	チャレンジプランに対する理解をより深め、使いこなすことが期待されます
1	内容	区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジブランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに達成度を確認するための指標の設定や複数年度に渡る取組みの計画が期待されます。
	タイトル	環境設定の改善を今後も継続的に行うことが望まれます
2	内容	環境設定については、園長が就任以来自ら先頭に立ち、子どもが落ち着いて過ごすことができる環境を目指して取り組まれています。今年度は、雑然としていた園内の清掃・片付けや掲示物、照明などの変更によって明るい雰囲気を作り出すとともに、管理人室や事務所の畳スペースなども活用することによって、子どもたちの居場所となる空間も増やすことができました。現在は、まだ改善途中という段階ではありますが、園長は、次年度も引き続きこのような環境設定の見直しを図ることを考えていることから、継続的な改善活動が期待されます。
	タイトル	「園のルール」を明確にする園独自マニュアル作成に向けた取り組みが期待されます
3	内容	園の基本的なルールや事件・事故等に対する対応方法などについては、それぞれ、区で作成した「危機管理マニュアル」「保健マニュアル」等にとりまとめられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要に応じて、改訂作業も行われています。しかしながら、園内の活動に対する細かいルール等については、体系的にまとめたマニュアルなどが整備されていません。園の様々なルールを明確にする意味でも、園独自のマニュアルの整備が望まれます。

# 大宮保育園

保育園

(事業所名: 杉並区立大宮保育園)

調查対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯78世帯を調査対象としました。 (複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数78共通評価項目による調査対象者数78共通評価項目による調査の有効回答者数53利用者総数に対する回答者割合(%)67.9

## 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を大きく超える結果となっています(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が96.2%)。個別にみると、「戸外遊びの機会」、「体調変化への対応」、「家庭と保育園との信頼関係」、「子どもは大切にされている」「職員は礼儀正しく丁寧」の5項目について肯定的な回答が9割を超えている他、「提供される食事への配慮」、「急な変更への柔軟な対応」、「職員の聞く姿勢」、「プライバシーの守秘」の4項目についても肯定的回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は大変満足している様子がうかがえます。 一方、「安全対策が十分とられている」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「要望や不満などへの対応」、「行事日程の設定」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となりました。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

## 利用者調査結果

用者調宜結果						
共通評価項目	実数					
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当		
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	45	8	0	0		
肯定的な回答は約8割を占めているとともに否定的な回答がない結果となっており、大きな目といえます。自由回答については、本項目が最も多くの回答が寄せられており、保護者です。また、回答内容については、「メニューが単調」等の否定的な意見も一部見られますが食事メニューに関するもののほか、「刻み具合や硬さが参考になる」「レシビを教えてくれる価する意見もみられます。	の関心が高 、「手作りて	い分野でa ですごい」「ノ	ることがう バランスが。	かがえま はい」等の		
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	48	4	1	0		
肯定的な回答は9割を超え、否定的な意見もほとんどみられない大変評価される結果となっています。しかし、自由回答では肯定的な意見もある一方で、(子どもの体力があるので)もっと散歩に連れて行って欲しい、とする意見も見られます。						
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	4	0	5		
肯定的な回答は8割強ですが、無回答の比率が高いとともに否定的な回答がなく、また、自でわからない」との意見も見られることから、利用したことがなく答えられない保護者も相当				がないの		

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	51	2	0	0
肯定的な回答は9割を大き〈超えており、満足する人が大変多〈保護者から評価されているのみが寄せられています。	項目です。	自由意見	でも、肯定的	分な意見
5.安全対策が十分取られていると思うか	32	18	3	0
肯定的な回答は6割にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由回答では、 に関することなど様々な意見が寄せられています。	園舎の老村	5化や門の	鍵、入り口i	前の道路
6.行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	36	15	2	0
肯定的な意見は7割弱にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い項目です。特に0~2歳肯定的な意見が少なくなる傾向が見られます。自由意見は、非常に少ないですが、面談が方に設定して欲しいとの要望が寄せられています。				
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	50	3	0	0
肯定的な意見は9割を超えるとともに否定的な意見は寄せられておらず、他の設問に比べは、数が少ないものの「相談にのってもらっている」「アドバイスをいただける」と肯定的に意者が満足している様子がうかがえます。				
8.保護者の考えを聞〈姿勢があるか	47	6	0	0
肯定的な回答は9割弱を占めるとともに、否定的な回答は寄せられていません。職員の姿態ることがうかがえます。	勢について	は、安定し	た評価が得	られてい
9.サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	47	3	0	3
肯定的な回答は9割弱を占めるとともに、否定的な回答は寄せられていません。また、無回るわけではないため、"どちらともいえない"と回答する理由としては、「どのように守っていると考えられます。				
10.一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	49	3	0	1
肯定的な回答は9割を超え、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。子どもした評価が得られていることがうかがえます。	が大切にる	れている	とについて	は、安定

11. 職員の対応は丁寧か	48	5	0	0
肯定的な回答は9割を超えるとともに、否定的な回答は寄せられておらず、職員の礼儀正しらかがえます。なお、自由意見では、非常勤職員の対応に関する意見が複数見られます。	さや丁寧さ	は概ね認	められてい	る様子が
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	35	15	1	2
肯定的な回答は7割弱にとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目ですが、否定は、言いやすいかいいづらいかを一律できく設問のため、寄せられた意見の中には「要望、等の意見も見られ、答えずらい設問であったことがうかがえます。				
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	35	13	0	5
肯定的な回答は7割強にとどまっており、前問に引き続き満足度が低い項目です。本設問問のため、答えずらい設問であるといえますが、否定的な意見はほとんど見られないことが想されます。	5、きちんと ^ら、数字に	対応してい まど満足率が	るかを一律 が低いこと	⊉できく設 はないと予
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	12	2	39	0
否定的な回答(知らない)が7割以上を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えら		ハ項目とな	りました。 園	<b></b> 1全体との
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	16	0	1	0
1年以内に利用を開始した17人中16人が肯定的な回答をしており、否定的な回答はわずかよかった」との意見も寄せられており、全般として保護者が満足している様子がうかがえます。		3意見では、	「わかりや	᠈すくとても

(事業所名: 杉並区立大宮保育園)

組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)

	共通評価項目			
	カテゴリー1			
リーダーシップと	意思決定			
	###=###			
東娄氏が日比して	サブカテゴリー1 ていることの実現に向けて一丸となっている			
争未例 从日祖 0	これでことの美境に同じて 光となりとれて			
評価項目1				
事業所が目指して	ていること(理念、基本方針)を明確化・周知している <b>評点( A</b>	)		
	π <i>m(</i>	,		
評価	標準項目			
	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	<u> </u>		
● あり ○ なし		○非該当		
	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組			
● あり ○ なし	2. 事業所が自治していること(理念・ピンョン、基本列頭など)について、職員の理解が深まるような取り記し   みを行っている	○非該当		
	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深			
● あり ○ なし	まるような取り組みを行っている	○非該当		
	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を			
● あり ○ なし	思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	○非該当		
【A+の取り組み	○ あり ● なし			
評価項目2				
経官僧(連宮官均	理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <b>評点( A</b>	)		
		<u>,                                      </u>		
評価	標準項目 1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている			
<b>a</b> + n		□ 4++ 1/2     □ 4++ 1/2     □ 4+++ 1/2     □ 4+++ 1/2     □ 4+++ 1/2     □ 4+++ 1/2     □ 4+++ 1/2     □ 4++++ 1/2     □ 4++++ 1/2     □ 4++++ 1/2     □ 4++++++++++++++++++++++++++++++++		
● あり ○ なし		○非該当		
_	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している			
● あり ○ なし	<u>'</u>	○非該当		
【A+の取り組み	.] ○ あり <b>●</b> なし			
1 05-tv 2 write).				

評価項目3 重要な案件につい 係者に周知してい	Nて、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関いる。	)
評価	標準項目	
	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
● あり ○ なし		○非該当
	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて	<u> </u>
● あり ○ なし	เาอ	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし	
	カテゴリー1の講評	

## 園の目指しているもの(園目標等)は周知されています

園目標「こころもからだもすこやかに」は、区の保育園紹介のホームページや入園時に保護者に配付される「入園のしおり」などに掲載しているほか、事務所への掲示などを通じて、職員や保護者がいつでも確認できるようになっています。また、区では新保育指針施行に向けたプロジェクトの中で杉並区区立保育園全体の保育目標について現在検討しており、来年度、これを受けて園の保育目標についても改定することが期待されます。

## 園長は、職員の士気が高く明るい職場であることを大事にしています

園長は、子どもと保護者に寄り添い、あたたかい対応ができる園でありたいと考えています。そのためには、職員一人ひとりが組織の一員 であることを自覚し、自らの役割を果たすとともに、多様なスタッフが協力し、保育のチームワークをよくしていくことが必要であると認識して おり、職員の士気が高く、明るい職場をつくることが自らの役割と責任であると考えています。その成果は、職員自己評価において「職員の チームワークがよい」「職場の雰囲気がよい」との意見が多数寄せられていることからも着実にあらわれてるといえます。

## 職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園の重要な案件については、毎週水曜日に開催される職員会議で検討して決定していますが、検討に際しては、前半の1時間でグループ 討議を行い、後半の1時間で全体討議を行う手法を採用しており、限られた時間の中で検討をより効果的に行うための工夫を行っていま す。また、重要な意思決定についても、職員会議の場で全体に説明・周知しています。保護者に対しては、保護者懇談会や事務所だよりを 通じて、重要な案件に関する決定事項や経緯を伝えています。

	カテコリー2		
経営における社会	<b>除的責任</b>		
	サブカテゴリー1		
社会人・福祉サー	ビス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 け会人・福祉サー	・ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
		Α	)
 評価	標準項目		
HIIM	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		
● あり ○ なし			○非該
	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでい	る	
◉ あり ○ なし			○非該
A+の取り組み)			
- IX y Marcy			
平価項目2			
第三者による評価 いている	面の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織と <b>評点(</b>	Α	)
CVIS	ят <i>т</i> м (	^	,
評価	標準項目		
_	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取りでいる	)組ん	
◉ あり ○ なし			○非該
	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に	事業	
● あり ○ なし	所に関する情報を開示している		○非該
A+の取り組み)			-
, , , os an small			
	サブカテゴリー2		
也域の福祉に役っ	立つ取り組みを行っている		
平価項目1			
	<b>冨祉の専門性をいかした取り組みがある</b>		
		Α	)
=□/邢	標準項目		
評価	1 東業所の機能や東門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に潰っしている(嫉訟・倦具等	の開	Ī
● あり ○ なし	放、個別相談など)	- 1/13	○非該
		北 = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	
(A) #1/2 (C) 1	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開師派遣など)を行っている	順、補	
● あり ○ なし			○非該
【A+の取り組み】	○ あり		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

評価項目2				
	入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	評点(	Α	<b>\</b>
	·	) 从行	A	)
評価	標準項目			
	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
● あり ○ なし				○非該当
	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】				-
評価項目3				
評価項目3 地域の関係機関の	との連携を図っている	±en ⊨ /	Δ.	
評価項目3 地域の関係機関の		評点(	A	)
評価項目3 地域の関係機関の 評価	標準項目	評点(	A	)
地域の関係機関の	1	評点(	A	)
地域の関係機関の	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	評点(	Α	)
地域の関係機関の	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	
地域の関係機関の	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	
地域の関係機関の評価 ② あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関の 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関の 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関の 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関の 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関の 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当

## |遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、都や区の職員ハンドブック、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、保育所保育指針 等が事務所に常備され、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員 の入職時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する 通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議や打ち合わせで周知を行っています。

## 園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています

園では「地域の子育ての支援」することを大切に考えており、地域子育てネットワーク事業の一環として松ノ木小学校で行われる「あかちゃんとのふれあい授業」に協力しているほか、園で開催する離乳食講習会に地域の方々も参加できるようにするなど、地域の子育て支援活動を行っています。その他、すぎなみ地域大学に医療面についての講師として看護師を派遣する、児童館まつりへの協力を行うなど、園の機能や専門性を地域に活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています。

## ボランティアや体験授業・インターンシップなど積極的に受け入れています

園では、園の子どもたちが色々な人と交流し、豊かな経験を積むことも大事であると考え、中学生の体験授業や高校生のインターンシップ を積極的に受け入れています。これらボランティアの受け入れに際しては、園で作成したボランティアの受入れ手順書に基づき行われてお り、オリエンテーションでは、「ボランティアに参加する皆さんへ」を用いて留意事項などの説明を行っています。

	カテゴリー3	
利用者意向や地域	或·事業環境の把握と活用	
	サプカテゴリー1	
利用者意向や地域	或·事業環境に関する情報を収集·活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見·要望·苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目2		
	的·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	I
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>	•
評価項目3		
	関する情報を収集し、状況を把握・分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目  1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>	

## カテゴリー3の講評

## 保護者の苦情を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用 者調査では、外部の苦情相談窓口についての認識度は2割強にとどまっており、周知方法の再検討が望まれます。保護者懇談会や個人 面談、日々の保護者とのコミュニケーションで出た苦情については、内容によっては、園長・主査も入って迅速に話合いを行い解決策を検 討するとともに、結論についても内容に応じて園長が対応するなど、苦情や要望に応じた適切な対応がなされています。

## 保護者の意向を把握するために、保護者との「会話」を大切にしています

園では、保護者に寄り添うことを大切に考えておりますが、この実現のために様々な形での保護者とのコミュニケーションを図ることに力を入れて取り組んでいます。日々の送り迎えの際の会話を大事にしていることはもちろんのこと、保育室の一部を開放し、保護者の方にお茶を飲んでゆっくりしていただ〈「ティータイムサービス」も10年前から継続的に実施しており、保護者が「ほっと」する機会をつくり、子どものことや園のことについて気軽に話すことができる雰囲気づくりができています。

#### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワーク連絡会や行政連絡会、区立保育園の園長会、保育部会等に参加することで、収集・把握しています。区からの通知のほか新聞や雑誌などからも情報を集め、職員間で回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

計画の策	定と着ま	<b>実な実行</b>	
		+	
≧践的な	課題·計	サブカテゴリー1 画策定に取り組んでいる	
呼価項目		Sじた課題·計画を策定している	
(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		<b>評点</b> ( A	)
評(	西	標準項目	1
<b>●</b> あり	○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該
9 00 0	<u> </u>	  2. 年度単位の計画を策定している	
● あり	○なし		○非該
		3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
<b>●</b> あり	○なし		○非該
∆±V⊞	り組み	○ あり ● なし	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	12	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	)
で 価項目 角的な	12 視点から	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b>	)
硒項目	12 視点から	ら課題を把握し、計画を策定している	<u>.                                    </u>
子価項目 角的なご 評価	12 視点から	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<u>.                                    </u>
価項目 角的な 評値 あり	12 視点か∮ <u></u> 面	ら課題を把握し、計画を策定している	○非該
・価項目 角的な 評値 あり	∃2 視点か∮ 西	ら課題を把握し、計画を策定している	○非該
平価項目 角的な 評価 ● あり	12 視点か∮ <u></u> 面	お課題を把握し、計画を策定している	) ・非該 ・非該
平価項目: A 的な: 評価	12 視点から のなし	会課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目 角的な: 評価 ● あり  ● あり	32 視点から のなし	会課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目 ・角的な ・評値 ・あり ・あり ・あり	<b>12</b> 視点から のなし なし	会課題を把握し、計画を策定している	)
呼価項目 第角的な	<b>12</b> 視点から のなし なし	会課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
『価項目 角的な』 評価 ● あり ● あり	<b>12</b> 視点から のなし なし	会課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該

評価項目3		
着実な計画の実行	テに取り組んでいる 柳上 (	`
	評点(B	)
評価	標準項目	
	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど	
● あり ○ なし	の取り組みを行っている	○非該当
	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	
○あり ●なし		○非該当
	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで	
● あり ○ なし	NS .	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし	
	サブカテゴリー2	
利用者の安全の研	霍保·向上に計画的に取り組んでいる	
評価項目1		
	+10 + 1 - +1 - 44 - 10 (AD ) - 1 - 2	
利用者の安全の研	確保·向上に計画的に取り組んでいる <b>突占</b> ( Δ	١
利用者の安全のほ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	)
評価	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	)
評価	<b>評</b> 点( A	,
評価 <b>●</b> あり ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	) 非該当
評価 <b>●</b> あり ○ なし	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	,
評価 <b>●</b> あり ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	,
評価 <ul> <li>ぎあり ○ なし</li> <li>あり ○ なし</li> </ul>	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わってい	○非該当
評価 <ul> <li>ぎあり ○ なし</li> <li>あり ○ なし</li> </ul>	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
評価      あり	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
評価      あり	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<ul><li>↑</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
評価      あり	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<ul><li>↑</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
評価      あり	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
評価      あり	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○ 非該当 ○ 非該当
評価      あり	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている  ○ あり ● なし	<ul><li>↑</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
評価      あり	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<ul><li>↑</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>

区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。ただし、取り組み成果を判断する指標の設定に改善の余地が見られます。今後はわかりやすい指標の設定のための検討が期待されます。

## 災害等から子どもを守る各種訓練を計画的に行っています

災害等が発生した場合に子どもを守るための取り組みについては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練が年間を通じて計画的に実施されています。特に毎月実施している避難訓練については、保護者も参加する訓練を実施する、併設している児童館と合同で行う、職員が救命救急の訓練を行うなど、より現実的、実践的な訓練にも取り組んでおり、いざというときに確実に対応できるよう備えられています。

## 子どもの安全確保に努めています

子どもの安全確保に向けた取り組みについては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、万が一、事故が発生した場合には、その経緯や内容を「事故報告書」に記録し、職員全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも設けられています。こうした取り組みは、利用者調査で「病気やけがに対する対応」について9割を大きく超える保護者から肯定的な回答が寄せられる結果にもつながっており、保護者に園の取り組みが伝わるとともに取り組み内容についても認められている様子がうかがえます。

		カテゴリー5	
職員と組	織の能力	D向上	
		サブカテゴリー1	
事業所が	「目指して	ている経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
A /	_		
評価項目 事業所に		・ ・要な人材構成にしている	
于未门门		デスト A Proceeding Transfer A Proceding Transfer A Proceeding Transfer A Proceding Transfer A	)
評	価	標準項目	
RI.	ІЩ	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成·評価の考え方)を明示している	
● あり	○なし		○非該当
		2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	
● あり	○なし		○非該当
		3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
【A+の取	のが出み		<u>l</u>
174,	入りが丘のた		
<b>並価</b> で	32		
評価項目 職員の質		に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
職員の質	重の向上	評点( A	)
	重の向上		)
職員の質	重の向上	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	)
職員の質	価	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>
職員の質	価	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<u> </u>
職員の質評 の あり	価の向上	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
職員の質評 の あり	価の向上	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
歌員の質	<b>価</b>	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当
歌員の質	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 部 ● あり ● あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 部 ● あり ● あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを  7. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>

		サブカテゴリー2			
職員一人	、ひとりと	組織力の発揮に取り組んでいる			_
評価項目 職員一人		主体的な判断·行動と組織としての学びに取り組んでいる 1	評点(	Α	)
評	価	標準項目			
		1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している			
● あり	○なし				○非該当
		2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる			
● あり	○なし				○非該当
		3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる			
⊚ ಹು	○なし				○非該当
【A+の取	【り組み】				<u>. I</u>
÷亚/無T百日	30				
評価項目 職員のや		上に取り組んでいる			
			評点(	A	)
	る気向」	標準項目			
職員のや	ら気向」 価	標準項目			
職員のや	ら気向」 価	標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている	動した人を		
職員のや 評 ・ あり	でる気向」 <u>価</u> ○ なし	標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	動した人を		○非該当
職員のや	<b>価</b> ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連盟メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	動した人を		
職員のや 評	<b>価</b> ○ なし ○ なし	標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	動した人を		○非該当
職員のや 評 ・ あり	<b>価</b> ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連盟メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	動した人を		○非該当
職員のや 評	<b>価</b> ○ なし ○ なし	標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	動した人を		○非該当
職員のや 評	<b>価</b> ○ なし ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連盟メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	動した人を		○非該当
職員のや 評      あり     あり     あり     あり	<b>価</b> ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連盟メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	動した人を		○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当
職員のや 評      あり     あり     あり     あり	<b>価</b> ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連盟メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	動した人を		○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当
職員のや 評      あり     あり     あり	<b>価</b> ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連盟メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	動した人を		○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当
職員のや 評      あり     あり     あり	<b>価</b> ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連盟メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	動した人を		○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当
職員のや 評      あり     あり     あり	<b>価</b> ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連盟メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる  ○ あり ● なし	動した人を		○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当
職員のや  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のる気向上 価	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連盟メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	動した人を		○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、ペテランや新人などの配置、クラスや業務負担のバランスを考慮した上で園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。

## 個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、園長が個人面談を行う中で把握しています。研修については、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて派遣を決めており、個人の研修歴カードや研修実施状況一覧に記録し、実績を把握・確認できるようにしています。研修受講後は、レポートを作成して研修成果を自己評価し、園長が確認した上で区に提出しているほか、1人5~10分程度の報告の機会を設けて、研修成果を職員間で共有しています。

## 職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

休暇等については、職員間の応援体制がしっかりとしているため比較的取得がしやすい状況となっています。職員の就業状況は、園長が 把握しており、必要に応じて声かけを行ったり、休暇取得を促すなど、職員のモチベーションを下げないよう心がけられています。職員自己 評価においても、自由記述欄に数多くの意見が寄せられているほか、「改善が必要な点」でも、待遇に関する不満は見られないことから、 仕事に対して非常に前向きに取り組む職員の姿が感じられます。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	ずに取り組んでいる	
/平式口4		
7価項目1 業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
	評点( A	)
評価	標準項目 1.情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	1
<b>●</b> あり ○ なし		○非該
	  2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	VI 112
● あり ○ なし		○非該
	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	1
● あり ○ なし		○非該
価項目2		
価項目2	】 ○ あり <b>●</b> なし 人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
価項目2 人情報は、「個	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u> ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
評価 ● あり	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
で価項目2  人情報は、「個   	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
で価項目2  人情報は、「個   	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

#### \_\_\_\_ カテゴリー7の講評

# 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に 従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使 いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、退出時に は事務所自体も施錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を 徹底しています。

# 個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得る取り組みが行われています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類に一部記載は見られるとともに、園においても、写真やビデオの撮影に関しては、書類を作成、配付して説明するなど、保護者の理解を得るための取り組みが行われています。

### 職員が個人情報保護を理解し行動するための取り組みを行っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、採用時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、文書を配布して個人情報保護等の留意事項を伝えています。

	カテゴリー8		
8	カテゴリー1~7に関する活動成果		
	<b></b> →		
	サブカテゴリー1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してし	17	
	即十及CU: V, ず未がのがではいいではいけいがいけん。 TA VOREVE CTITO CV		
	評価項目1		
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を行い成果が上がっている		
	・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」	○A+ ●A ○B ○C	
	·カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ·カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」		
			4
	改善の成果		_
	地域の子育て支援に対する取り組みをより一層充実させました ・園では、離乳食に悩みを抱えている保護者がいたことから離乳食に関する保護者向けの研修等を行域の子育て世代にも同様の悩みを抱えている方々がいることがわかったことから、地域の方々も参加 ンな取り組みとして実施し、よい評価を得ることができました。		
	サブカテゴリー2		
	前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している		
			_
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい		
	て、改善を行い成果が上がっている ·カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	OA+ OA OB OC	
	改善の成果 		
	用務業務の委託化や延長保育を混乱な〈開始することができました ・本年度より用務業務の委託がはじまりましたが、業務の引継ぎの際に用務業務の中身について他のり、委託に出すことによって従来業務とのギャップが出ることも同時にわかったことから、職員が協力しよって、これまでと同様の水準を維持することができました。 ・延長保育やスポット保育を実施するにあたって、職員シフトの複雑化や業務伝達の複雑化が想定さある職員がリードすることによって、未経験の職員の不安を軽減するとともに、大きな不都合もな〈延fができています。	し合い、みんなでカバーすることに されましたが、他園で延長保育経験	が
	サブカテゴリー3		
	前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している		
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている		
	・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」	● A+ ○ A ○ B ○ C	
	·カテゴリー7:「情報の保護·共有」		
	延長保育等を本年度より開始するとともに、わかりやすい情報提供に努めました ・新規事業として、4月から延長保育を、6月よりスポット保育を開始し、保護者のニーズに応えました。 ・保護者と保育情報を共有するため、日々の子どもの姿や行事の様子などを写真入りで紹介する「保 どもたちの姿を保護者に紹介するようにしました。 ・幼児クラスでは父親による保育参加を通じて、母親だけではな〈父親に対しても園での子どもの様子 できました。	R育速報」を通じて、活き活きとした <del>「</del>	

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
評価項目1				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている	<b>⊚</b> A+	ОА	Ов	ОС
改善の成果				
行財政改革を着実に実行しています ・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年原協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げていま託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」有分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。	きす。この中 <sup>・</sup>	で、区立	保育園	の事業委
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	○ A+	<b>●</b> A	○в	Ос
改善の成果				
保護者の要望に沿って、運動会を例年どおりケヤキ広場で行いました ・年度当初は、ケヤキ広場の指定管理者制度導入に伴い、これまで継続して行ってきたケヤキ広場をでしたが、保護者からの要望を受け、父母会と園とが協力して働きかけを行った結果、例年どおり、ケなりました。				

(事業所名: 杉並区立大宮保育園)

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

_	サービ	人提供の	7/11七人項目(ガナコリー6-1~3、6-5~6)		
			共通評価項目		
	サブカテゴリー1				
1	サービス	情報の提	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	評価項		- - サービスの情報を提供している		
	休暖白豆			)	
			игм/ //	,	
	評	価	標準項目	•	
			1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている		
	● あり	○なし		○非該当	
			2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当	
			  3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		
	<b>●</b> あり	○なし		○非該当	
	( o 00 )	<u> </u>		○非該ヨ	
	【A+の耳	双り組み】	○ あり ・ ● なし		
			サブカテゴリー1の講評		
	to to 12.	<b>₩</b> <del>+</del> / :			
			読みたくなる、園だより・クラスだよりを発行しています	==	
			護者や保育士のリレーコラムを設けるなど参加型の園だよりの発行に取り組んでいます。また、各クラスだ。 ・散歩コース・おもちゃ・行事の紹介など、わかりやすく、読みたくなる、様々な取り組みをしています。	よりでは、与具	
	1-1800	L 以 7/C ()	放シュースのもりを打事の紹介など、わかりとうへ、他のだくなる、様々な扱う温のでしている。		
	地域に	も情報を	発信をしています		
			<sup>デ</sup> での園紹介のページについては、公立園で統一された情報が提供されています。また、園独自の取り組み		
	隣の小う	を校、児童・その他	〖館、私立保育園、園医等に、地域版の園だよりである「オレンジ通信」を発行し、広〈情報を発信する取り紙 、同じ建物内にある児童館を利用している親子に対しては、ふれあい保育の案内なども行われています。	みが行われ	
	CNES	。ての他	,回し建物内にのる光里能を利用している親士に対しては、かれのい休 <b>月の条内な</b> とも行われています。		
	見学系	望者に	対しては、いつでも対応しています		
			ス∫ひては、ヾヾって ひスファルコ゚゚とヾ・&ゞ 『を希望する親子ともに、いつでも見学希望者を受け入れられる体制を整えています。 入園希望者に対して	け 園長・士	
			aを布呈する祝うともに、いうとも光子布呈音を支け入れられる体制を呈えています。 八箇布呈音に対して 対応し、施設案内や園での生活体験などは、見学者の状況や要望に合わせてきめ細かく対応しています。		

	1	サプカテゴリー2	
2	サービスの開始・	終了時の対応	
	評価項目1		
	サービスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている <b>評点( A</b>	)
	<u>+</u> -π /≖		,
	評価	標準項目  1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	
	● あり ○ なし		○非該当
		2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
	● あり ○ なし	. !	○非該当
	【A+の取り組み】		
	111.00-10.0		
	1		
	1		
	評価項目2	^/ L - ¬ - nho	
	サーヒスの用炻ル	及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	<u>÷⊽/∓</u>		
	評価	│ 標準項目 ┃1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している ┃	
	<b>●</b> あり ○ なし		○非該当
		/  2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○ ¬Г₩¬
	● あり ○ なし		○非該当
	0000	/  3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○ 1FB> -
	● あり ○ なし		○非該当
		'   4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援	○ ¬Г₩¬
	● あり ○ なし	たして1.1.7	○非該当
	【A+の取り組み】	.] ○ あり ● なし	
	1		ĺ
	1		
	1		
4		サブカテゴリー2の講評	
_	ハかりやす(ま	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		ことのに風のしありを活用し、八風説明芸を美施していまり 園説明会を実施し、区の資料のほかに、園独自の「園のしおり」を活用し、詳しく説明する機会を設けています	ト 周のしおり
	は、区の資料と重	直複∪ないようにまとめられ、 園での生活や入園までに準備をするものなどについて、イラストや表でわかりや	
	います。利用者調	間査において9割を越える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついています。	
	1		
	入園前の面接	により、子どもや家庭の状況を把握しています	
		行い、家庭での入園前の生活リズム、保護者の仕事の状況を把握しています。面談結果については、区で紡	
	童票」及び「家庭」  用されています。	連絡票」に記録するとともに、入園後の児童の発達や保護者の意向などを時系列に記録し、保育の最重要書	<b></b>
	HC16CVIA 7.		
	1		
		状況に合わせた慣れ保育を実施しています。 	
		もの不安やストレスを軽減するため、乳児については、一人ひとりの子どもの状況に応じて「慣れ保育」を行っ 乳児クラス担任の持ち上がり制や、進級児と新入児を分けて保育をするなど、子どもが園や保育士に慣れる	
	ています。	がプラスが12世の1ず911が12時で、延改ルC列入ルでカラでするで、」COが図では日本に使われる	7丁人で11~

サブカテゴリー3						
固別状況に応じた	計画策定·記録					
評価項目1 必要に応じて、定 面ごとに明示して	められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 いる <b>評点( A</b>	)				
評価	標準項目	•				
● あり ○ なし		○非該当				
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当				
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該計				
A+の取り組み	<b>○ あり                                   </b>	•				
	どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計					
画を作成している	<b>評</b> 点( A	)				
評価	標準項目					
◉ あり ○ なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該				
● あり ○ なし	2. 計画を保護者にわかりやす〈説明し、同意を得るようにしている	○非該				
● あり ○ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該				
● あり ○ なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該				
A+の取り組み)	<b>○ あり ◎ なし</b>	•				
平価項目3 ダ要に応じて、子	どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している ************************************					
		)				
評価	標準項目  1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	1				
● あり ○ なし		○非該				
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該				
A+の取り組み	○ あり ● なし					

_		
	評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
ļ		<u></u> !
ļ	評価標準項目	
	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している  ● あり ○ なし	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>●</b> なし	
4	サブカテゴリー3の講評	
	勤務時間が異なる職員間の情報共有の充実に取り組んでいます	
	職員間での子どもの情報の共有に関しては、毎週の定例会議やグループ討議、複数担任制のクラスにおいてはクラスでの記通じ、口頭で伝え合っている他、各クラスノート、朝夕保育ノート等の書類を活用し、職員間での情報共有が行われています。育のサービス開始にともない、勤務時間が異なる職員間での情報共有がますます重要になってきています。このような保育の関する課題については、情報リーダーを中心に検討を行い、その充実に向けて取り組んでいます。	また、延長保
	保育に関する計画については、3段階で作成され、状況に応じて変更も行われます 保育に関する計画については、クラスごとに年間指導計画・月の指導計画・週案の大き〈3段階の計画があり、それぞれの計終了時に反省をおこない、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。なお、保護者に対しては、年間指導計会等の場で伝えており、保護者が保育について理解する場も設けています。	
	子ども一人ひとりの記録は区統一様式の「児童票」に記され、大事に管理されています 子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。このは、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けす。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成け護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われています。	ナされていま
7	サブカテゴリー5	
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
	評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
Ī	評価標準項目	
Ī	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにし	
ļ	● あり ○ なし ている 2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当
	● あり ○ なし	○非該当
Ĭ	【A+の取り組み】 ○ あり · <b>⑥</b> なし	

	評価項目2 サービスの実施に	こあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している <b>評点( A</b>	)
	AT /T	, ,,	, 
	評価	標準項目  1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり	
		サブカテゴリー5の講評	
	子どもの羞恥心や き他の子どもから	などで、子どもの羞恥心に配慮しています bブライバシーへの配慮については、オムツ替えを視線が遮られる場所で行う、また、トイレの失敗の際に 着替えているところを見えないようにするなどといった形で実践されています。また、プールに入った後に「 子どものプライバシーへ配慮すると同時に羞恥心を育む配慮も行われています。	はついたてを置 は、タオルをまく
	卒園児が入学した	、の配慮については、保護者の同意を基本としています と小学校をはじめ、他機関等との子どもや家庭に関する情報のやり取りについては、保護者の同意を基本 プライバシーに関しては約9割が肯定的な意見であることから、日常の取り組みをうかがうことができます	
6	事業所業務の標 <sup>2</sup>	サブカテゴリー6	
Ū		두만	
		ン、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
	【A+の取り組み】		

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている ************************************					
· — 1999	評点( A	)			
評価 標準項目 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている					
● あり ○ なし	1. 旋床がているが、これの整本事項で予照もは以及が時期で発達が必要率が定められている	○非該当			
● あり ○ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子 どもの様子を反映するようにしている	○非該当			
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる。	○非該当			
【A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし				
評価項目3	みにより、業務の一定水準を確保している				
A-7- (77-	<b>評点</b> ( A	)			
評価	標準項目 1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにして	ı			
● あり ○ なし	いる	○非該当			
● あり ○ なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当			
● あり ○ なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当			
● あり ○ なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当			
● あり ○ なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当			
		O TENA			
	サブカテゴリー6の講評				
子どもとの接し方 士による助言、園 の研修の他、保育	等を通じて、保育水準の向上に取り組んでいます や声かけ、保護者との接し方、クラスだよりの作成等、職員同士で気づいたことを伝えあう様にしている他、 長・主査による個別指導により充実が図られています。また、各保育士の知識や技術の向上を図るために、 賃士の専門研修等を通じて、保育水準の向上に取り組んでいます。一方、職員自己評価によると、業務水準 比較すると、評価が低いことから、さらに積極的な取り組みが期待されます。	区職員として			
マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています マニュアルの内容は、年に1回、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度、話合いが行われ、必要に応じ、 内容の見直しが行われています。					
区では公立園共道ます。共通マニュ なども作成してい	票準化のさらなる充実が望まれます 通の『危機管理マニュアル』の中で、緊急避難、防犯対策、園外活動の注意等基本的な対応についての手順 アルで不十分な点については、園が独自に作成したマニュアルで補足しています。 園マニュアルには、非常 ます。 共通マニュアルは、各クラスに置かれており、 いつでも確認できるようにしています。 一方、 職員自己語 する評価は十分とは言えないことから、 さらなる取組みが望まれます。	勤や用務用			

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

	評価項目			
	子どもの	発達を促	すための保育を行っている	
1			評点( A	)
	評	/ <del>////////////////////////////////////</del>	標準項目	
	ATI	Щ	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	Ī
	@ + #	O		O
	● あり	○なし		○非該当
			2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
		_	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○ 非該当
			4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
	O 437			0 11 11/2
	_		5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	
	● あり	○なし	<b>慮している</b>	○ 非該当
	/			I.
	【A+の取	リ組み	○ あり ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
			評価項目1の講評	

# 恵まれた自然環境をいかし、散歩や外遊びを充実させています

恵まれた自然環境をいかし、散歩の機会を充実させています。時には、異年齢で散歩に行く機会を設け、いつもとは違う子どもたちとの活動や保育士の違いによる新鮮さを体験する様な工夫もしています。また、散歩組と園庭組をお互いに調整するなど、園庭の使い方にも工夫し、外遊びの機会を充実させています。散歩に関する情報は、地図を使ってわかりやすく保護者に伝えています。こうした取り組みは、利用者調査においても肯定的な回答が9割以上を占めるなど、保護者からも高く評価されています。

# リズム体操や造形活動に取り組んでいます

楽器を使ったリズム体操では、自然と異年齢が集まり出すこともあり、園内の交流にもなっています。これらの取り組みの成果は保護者会 等で発表しています。また、散歩の際に集めたドングリをはじめ、様々な素材を使った造形活動が行われています。自然素材を使った作品 は、クラスに飾られ、それらがクラスの表情となり、落ち着きを感じさせています。

# 関係機関との連携により、障害がある子どもの保育に取り組んでいます

障害がある子どもの保育については、担任保育士が中心となり、障害児担当の非常勤職員などを含む園の職員全体が連携して行っています。また、区としては、発達センターの専門家が巡回指導を行い、保育士が自分自身の子どもとの接し方を客観的に見るなど、現場の事例から学ぶ機会を用意しています。巡回指導に際しては、非常勤職員も参加するなど、障害がある子どもの保育の充実に取り組んでいます。

		が慮したうえで、おいしい食事を出している		
2			)	
評	'価	標準項目	Т	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当	
		  3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している		
<b>●</b> あり	○なし		○非該当	
⊚ ಹり	○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5. [0歳児を受け入れている保育所のみ] 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当	
【A+の耳	以り組み	I 】   ● あり		
スを体験 (今年度	する取り はスイー	ちに「食」についての関心を持ってもらうために、食べ物を育て、収穫し、調理するという食事ができるまでで組みを行っています。 幼児クラスでは、夏野菜を栽培、収穫し、味わうとともに年長児は、サツマイモの収積トポテトづくり)を行っています。 また、おにぎりづくりやさんまの塩焼き、えだまめもぎ、トウモロコシの皮むをと多彩な体験ができるプログラムを用意しています。	蒦と調理体験	
		評価項目2の講評		
野菜の	栽培な	ど、体験型の食育に取り組んでいます		
スを体験 (今年度	する取り はスイー	ちに「食」についての関心を持ってもらうために、食べ物を育て、収穫し、調理するという食事ができるまでの組みを行っています。 幼児クラスでは、夏野菜を栽培、収穫し、味わうとともに年長児は、サツマイモの収積トポテトづくり)を行っています。 また、 おにぎりづくりやさんまの塩焼き、 えだまめもぎ、 トウモロコシの皮むまち多彩な体験ができるプログラムを用意しています。	<b>蒦と調理体験</b>	
食事の際	祭に子ども	ハ環境を整えています きたちが食べやすいよう、0~2歳児クラスでは、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。 ? れを使用するなど、子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。	また、①歳児に	
献立は区	☑で統一( ~どもにつ	と献立により食事を提供し、アレルギー等は個別に対応しています のメニューとなっています。調理員による食事量や子どもの嗜好のチェックが行われています。なお、アレル いいては、保護者との打ち合わせのもと、除去食、代替食で対応しています。また、保護者の食品に関する。		
評価項  子どもが		建康を回復・維持するための支援を行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)	
評	価	標準項目		
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当	
ூ க்ர	○なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該当	
ூ あり	○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当	
【A+の耳	以り組み		. 1	

### 評価項目3の講評

# 子どもの健康状態は、看護師が毎日把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は週1回、以後は年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の健診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いた対応等を行っています。

### 保健だよりや園内の掲示により、情報提供を行っています

保健分野に関する保護者への情報提供は、月1回発行の保健だよりを通じて行っているほか、近隣医療機関リストにより情報提供をおこなっています。また、特に感染症に注意が必要な時期は、おたよりの他に園内の掲示板を利用して注意を喚起するなど、予防対策に取り組んでいます。

### 保育中の発熱や怪我の対応については、ほぼ全ての保護者が肯定的な評価をしています

保育中の発熱や怪我の対応は、常駐の看護師が対応し、必要に応じて医務室で安静にしながら、保護者のお迎えを待つ体制を整えています。これらは、利用者調査において、「保育中の発熱や怪我」に対する対応は、ほぼ全員( $0 \sim 2$ 歳では全員、3歳以上では<math>9割強)が肯定的な意見であることからも、その取り組みを確認することができます。

4		どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている	評点(	Α	)
	評価	標準項目			
	● あり ○ なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)			○非該当
	● あり ○ なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている			○非該当
	● あり ○ なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている			○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
		評価項目4の講評			

### 落ち着きのある環境づくりに取り組んでいます

園では、優しさや温もりを大切にした子ども達が落ち着ける環境・空間づくりに取り組んでいます。具体的には、木製遊具や木製の棚から 生まれる木の温もりや布カバーなど布が醸し出す柔らかさを積極的に取り入れるとともに、季節ごとの模様替えやコーナー設定の変更、ク ラスや園内の所々に手作りの小物や装飾を施すといった取り組みが実践されています。

# 様々な交流を通じて、子どもたちが楽しめる工夫をしています

各種交流の機会を通じて楽しめる工夫として、異年齢の散歩、リトミックなどをはじめとした日常保育の中での様々な取り組み、行事等では、七夕会食、縁日ごっこをはじめとした季節行事などを行っています。また、お誕生会を個別に実施しているなど、一人ひとりの子どもが主役となれる様な工夫をしています。

# 一人ひとりのリズムに合わせ、睡眠をとっています

睡眠は、0歳児クラスでは一人ひとりの子どものリズムに合わせて、また、1歳児クラスでは、必要な子どもは午睡のほか午前中にも睡眠 をとるなど、子ども一人ひとりのリズムに合わせた対応をしています。

評価項目5 保育所と家庭との 5	D交流·連携を緊密に行っている <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
● あり ○ なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
● あり ○ なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
● あり ○ なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み	] ○ あり	L
	評価項目5の講評	
を設けています。での生活の様子す。 公開しているに従来のクラスだよやったのかっまであるが少しずつまでは、これらの項目とはなど、これらの評価では、これらの取り組織をしていません。	の機会の特徴のひとつとして、隔月で「ティータイムサービス」を実施し、お茶を飲みながら、一緒におしゃべいまた、園だよりでは、保護者の感想欄を設けるなど参加型の園だよりの発行、各クラスだよりでは、写真を活き、分かりやすく伝えています。また、行事等では、写真入りの保育速報を発行するなど、新鮮な情報伝達を記しません。「今日は何をやったのか」読みたくなるような工夫を重ねています。このことにより、保護者が、たいなるような要点を絞った記載にするなど、工夫を重ねています。保護者とのコミュニケーションのひとつとな話んでいくことが期待されます。  「を汲み取り、反映する取り組みが望まれますは、アンケートの声をいかし、日程を設定しています。一方、利用者調査においては、「行事等の日程の配慮なべて評価が低いことから、全ての保護者の意向を反映した設定は難しいものの、意見交換の場や機会を組価を改善させるための取り組みが期待されます。	所用し、保育園:心がけていま 「今日は何を こして、この試」 」について *続的にもつ
÷=/=	評点( A	)
評価	標準項目 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み	] ○あり ●なし	

### 評価項目6の講評

# 区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、 児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応な どが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

# 研修等に参加することによって、職員能力の向上を図っています

該当する子どもがいない場合であっても、区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組まれています。継続的な園全体のスキルアップによって、様々なケースに対応できる体制づくりが期待されます。

### 発達に関する保護者との情報共有を図っています

子どもの発達等に関しては、現在、虐待防止のポスターなどの情報提供をしていますが、さらに、保護者会の場を利用し、離乳食相談会などを実施し、子どもの発達についての保護者と共通理解を深めています。

	とに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	
	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を	
● あり ○ なし	確保している	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし	

### 評価項目7の講評

# 子育てに役立つ地域の情報を保護者に提供しています

子育て応援券利用可能な行事ファイル、口コミお医者さん情報等、子育てに役立つ情報をファイルにまとめ、入り口に設置し、いつでも見られるようにしています。これらの情報の中には、父母会の力でとりまとめているもあり、地域の生きた子育て情報となっているのも特徴です。この他、児童館などの地域施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供を行っています。

# 近隣の保育園同士も交流を行っています

近隣の区立保育園とは、合同で鬼ごっこなど、子ども達同士の交流を行っています。また、私立保育園とは、オレンジ通信(地域版園だより)などの情報提供を行う一方で、催し物に招かれるなどの交流が行われているとともに、大宮児童館の「トトロの会」との交流、松の木小学校の「赤ちゃんふれあい事業」への協力など、様々な地域交流を行っています。

# 地域における交流の充実が望まれます

地域の横の連携が充実している一方で、世代間交流は少ない状況です。特に、職員自己評価においても、地域交流に関する評価は、低い状況です。こうしたことから、保育園や児童館との交流に加え、様々な地域交流をさらに広げていくことが望まれます。

(事業所名: 杉並区立大宮保育園)

1	1	
	特に良い	1と思う点
	タイトル	恵まれた環境をいかした保育に取り組んでいます
1	内容	恵まれた自然環境をいかし、お散歩の機会を充実させています。時には、異年齢でお散歩に行く機会を設け、いつもとは違う子どもたちとの活動や保育士の違いによる新鮮さを体験する様な工夫もしています。また、お散歩組と園庭組をお互いに調整するなど、園庭の使い方にも工夫し、外遊びの機会を充実させています。お散歩に関する情報は、地図を使ってわかりやすく保護者に伝えています。こうした取り組みは、利用者調査においても肯定的な回答が9割以上を占めるなど、保護者からも高く評価されています。
	タイトル	保護者とのコミュニケーションと情報共有を大切にしています
2	内容	保護者との交流の機会の特徴のひとつとして、隔月で「ティータイムサービス」を実施し、お茶を飲みながら、一緒におしゃべりをする機会を設けています。また、園だよりでは、保護者の感想欄を設けるなど参加型の園だよりの発行、各クラスだよりでは、写真を活用し、保育園での生活の様子を、分かりやすく伝えています。また、行事等では、写真入りの保育速報を発行するなど、新鮮な情報伝達に心がけています。
	タイトル	保育は、士気が高く、チームワークのよい職員によって支えられています
3	内容	園長は、保育のチームワークをよくすることが必要であると認識しており、職員の士気が高く、明るい職場をつくることが必要と考え実践しています。また、職員自己評価において「職員のチームワークがよい」との意見が多数寄せられていることから職員もチームワークの良さを肯定的に受け止めているとともに、会議における話合い、職員間での情報共有に見られる伝えあい、延長保育開始に伴い経験者が未経験者をリードし不安を軽減させている等、様々な形で保育の実践においてもチームワークの良さがが良い形となってあらわれており、大変評価できます。
	さらなる	改善が望まれる点
	タイトル	非常勤職員や業務委託先の職員を含めた職員チームワークの充実に期待します
1	内容	園には、正規職員のほか、一般嘱託員やアルバイト・朝夕の短時間パートの職員、用務委託に伴い派遣されている職員など、様々な雇用形態、勤務形態の職員が集まって、大宮保育園の保育を支えています。特に用務委託などは本年度から実施されており、これらの職員との関係作りはこれから徐々に構築されていくものと推察されます。今現在の保護者からの高い評価に満足することなく、より充実した大宮保育園の保育に向けて、全ての関係者を巻き込んだチームワークの確立を期待します。
	タイトル	チャレンジプランをより有効に機能させるためにわかりやすい指標の設定が望まれます
	עלו ויכ	ファレンフラフラをより自然に機能とせるために17かりですい自信が成成だが、主よればよす
2	内容	園では、区の行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。これらの取り組みは、大変評価できますが、取り組み成果を判断する園が設定する指標に改善の余地が見られます。今後は誰もが取り組み内容を評価しやすく、わかりやすい指標の設定に向けた検討が期待されます。
2		園では、区の行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。これらの取り組みは、大変評価できますが、取り組み成果を判断する園が設定する指標に改善の余地が見られます。今後は誰もが取り組み内容を評価しやすく、わかりやすい指標
3	内容	園では、区の行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。これらの取り組みは、大変評価できますが、取り組み成果を判断する園が設定する指標に改善の余地が見られます。今後は誰もが取り組み内容を評価しやすく、わかりやすい指標の設定に向けた検討が期待されます。

# 本天沼保育園

保 育 園 流

(事業所名: 杉並区立本天沼保育園)

調查対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯78世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数78共通評価項目による調査対象者数78共通評価項目による調査の有効回答者数49利用者総数に対する回答者割合(%)62.8

# 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割に迫る結果となっています(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が87.8%)。個別にみると、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が約9割を占める他、「提供される食事への配慮」、「戸外遊びの機会」、「体調変化への対応」、「家庭と保育園との信頼関係」、「職員の聞〈姿勢」、「職員は礼儀正し〈丁寧」などについても肯定的回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。 一方、「要望や不満などへの対応」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「行事日程の設定」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となりました。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

# 利用者調査結果

用有調宜結果				
共通評価項目		実	数	
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	40	9	0	0
肯定的な回答は約8割を占めているとともに否定的な回答がない結果となっており、大きな目といえます。自由回答については、「野菜が入っていて助かる」、「サンプルを見るとおいる一方で、「変化に乏しい」、「土曜日のメニュがいまいち」といった意見もみられます。				
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	42	6	1	0
肯定的な回答は8割を大き〈超えています。しかし、自由回答では肯定的な意見もある一方す。	で、散歩が	少ないとす	る意見も多	い状況で
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	32	9	1	7
肯定的な回答は7割弱ほどですが、無回答の比率が高いとともに否定的な回答がほとんとことがないのでわからない」との意見も見られることから、利用したことがなく答えられない				

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	41	7	0	1
肯定的な回答は8割を占め、満足する人が多い項目です。自由意見では、「とても丁寧」とすけ医が休診日時の対策」、「建屋が狭く別室看護ができない」、「担任がいないときには不十れています。				
5.安全対策が十分取られていると思うか	31	15	3	0
肯定的な回答は6割強にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由回答ではとする意見のほか、「親川の認識がバラバラなため、園で十分と判断しても不十分と感じる				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	28	19	2	0
肯定的な意見は6割を下回り、他の設問に比べ満足度が低い項目です。特に3歳以上の子行事等が増えるにつれて「配慮が十分である」とする保護者が減る傾向が見られます。自日が多いほか、「アンケートをとってほしい」「掲示板ではなく手紙で知らせて欲しい」などの意がなくなったのは残念」とするものもあり、多種多様な意見が寄せられている状況です。	由意見は、	平日の行事	事を不満に 原	感じるもの
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	6	0	0
肯定的な意見は9割に迫っており、他の設問に比べ満足度が高い項目です。自由意見では見られますが、その他は肯定的な意見が占めており、自由意見からも保護者が満足してい				る意見も
8.保護者の考えを聞〈姿勢があるか	42	6	0	1
肯定的な回答は8割を大き〈超え、否定的な回答は寄せられていません。職員の姿勢についがうかがえます。	いては、安	定した評価	が得られて	เกระช
9.サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	39	9	0	1
肯定的な意見は約8割を占めています。年齢別で見ると、0〜2歳では6割強、3歳以上ではれます。否定的な回答があるわけではないため、"どちらともいえない"と回答する理由としい」ということが主な理由であると考えられます。				
10.一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	44	5	0	0
肯定的な回答は約9割を占め、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。子と 定した評価が得られていることがうかがえます。	ごもが大切し	こされてい	ることについ	ては、安

11. 職員の対応は丁寧か	41	8	0	0
肯定的な回答は約8割を占め、職員の礼儀正しさや丁寧さは概ね認められている様子がうよって対応が異なる、と言う意見も複数見られます。	かがえます	。なお、自	由意見では	は、先生に
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	23	18	5	3
肯定的な回答は5割弱にとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。年齢別歳以上では4強弱と、その率にはかなりの開きがみられます。本設問は、言いやすいかいられた意見の中には「特にない」等の意見も見られ、答えずらい設問であるともいえますが、こともあるため、何らかの対応をとることが望まれます。	ハづらいか	を一律でき	〈設問のた	め、寄せ
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	22	23	1	3
肯定的な回答は7割強にとどまっており、前問に引き続き満足度が低い項目です。本設問問のため、答えずらい設問であるといえますが、否定的な意見はほとんど見られないことが想されます。なお、自由意見では、「直接討論を行いたい」とする意見も寄せられています。	ら、数字は			
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	15	5	28	1
否定的な回答(知らない)が6割弱を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回せられていない状況や園全体との満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとっす。				
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	8	1	0	0
1年以内に利用を開始した9人中8人が肯定的な回答をしており、否定的な回答もありませんかった」との意見も寄せられており、全般として保護者が満足している様子がうかがえます。		見では、「区	【役所より記	説明がよ

[組織マネジメント:認可保育所]

(事業所名: 杉並区立本天沼保育園)

# **組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)**

		共通評価項目	
		カテゴリー1	
	リーダーシップと意	意思決定	
1		サブカテゴリー1	
	 事業所が日指して	こいることの実現に向けて一丸となっている	
		いっとこの大利に同じている。	
	評価項目1	こいること(理念、基本方針)を明確化・周知している	
	<del>事</del> 未加加·日1100		)
	評価	標準項目	
	81.10	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	
	● あり ○ なし		○非該当
		2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組	
	● あり ○ なし	みを行っている	○非該当
		3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深	
	● あり ○ なし	まるような取り組みを行っている	○非該当
		4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を	
	◉ あり ○ なし	思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ・● なし	
	IV. CO - A D MILEON		
	評価項目2		
		· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
			)
	 評価	標準項目	
		1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	
	● あり ○ なし		○非該当
		2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし	
п			

評価項目3 重要な案件につ 係者に周知して(	いて、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関いる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ,	○非該当
	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み	.] ○ あり ● なし	
	カテゴリー1の講評	

# 園目標や保育目標を明示しています

園目標「元気いっぱい 笑顔いっぱい 輝く明日へ」、「大切にしようひとりひとりの育ち 大切にしよう仲間の育ち 大切にしよう協力の輪」は、園のしおりや区の園紹介のホームページに掲載され、事務所内にも掲示されています。また、園目標に沿って保育目標が設定され、保育計画が展開されています。これらは現在、保育所保育指針の改定に伴い、プロジェクトや職員会議において見直しを進めており、今後の整理・再構築が期待されます。保護者に対しては、入園説明会や年度初めの保護者会で園のしおりを用いて園目標の説明を行っています。

# 園長は、明るい職場づくりに努めています

園長は、子どもが楽しいと思って来てくれる園、保護者が安心して子どもを預けられる園でありたいと考えています。そのためには、職員一人ひとりが個性と能力を発揮し、生き生きと仕事ができることが必要であり、職員同士が何でも言い合える、明るい職場をつくることが自ら の役割と責任であると考えています。 園長は、各プロジェクトの活動に率先して参加し、アドバイスや軌道修正を行う中で、職員間の調和と コミュニケーションを深めることに努めています。 職員自己評価では、「職場の雰囲気が明るい」との意見が数多く寄せられています。

### 職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園の重要な案件については、クラス討議を経て、打ち合わせや職員会議で検討して決定しています。また、重要な意思決定についても、 職員会議や打ち合わせの場で全体に説明・周知しています。園では、会議の時間には制約があり、十分に話し合うゆとりがないことが課 題となっており、有意義な話し合いが効率良〈進められるよう、職員が理解しやすい資料を準備するなどの工夫を行っていきたいと考えて います。保護者に対しては、保護者会や園だよりを通じて、重要な案件に関する決定事項や経緯を伝えています。

圣営における社 <i>会</i>	、 <i>66 主 1</i>		
	我的真性 		
	サブカテゴリー1		
社会人・福祉サー	ビス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
平価項目1	パューグ東ナフネレー・マウァ がも汁 相笠   夕田かじを用加して  12		
I会人 ' 個仙ッー	ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <b>評点</b> (	Α	)
AT /T			
評価	標準項目 1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		T
<b>●</b> あり ○ なし			○非該
	  2.全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでし	١Ζ	O HEBS
<b>● あり</b> (○ なし		10	○非該
<b>●</b> あり ()なし			U ∃F #X
A+の取り組み】	○ あり		
7価項目2 三者による評価	「の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織と		
いている	神点(	Α	)
評価	標準項目		
青十1四	惊牛項日  1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取	り組ん	T
● あり ○ なし	でいる		○非該
	  2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会	に車業	+
		心事未	
● あり ○ なし	所に関する情報を開示している	10 尹未	○非該
		C <del>T</del> *	○非該
		<b>に</b> ず未	○非該
		LTX	○非該
		LTX	○非該
		L FX	○非該
	<b>○</b> あり <b>●</b> なし	L FX	○非該
A+の取り組み	● なし ・ あり ・ ● なし サブカテゴリー2	L FX	○ 非該
A+の取り組み	<b>○</b> あり <b>●</b> なし	IL FF	○非該
A+の取り組み) 地域の福祉に役3	○ あり <b>・●</b> なし サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	IL FF	○非該
A+の取り組み) 也域の福祉に役3	● なり ● なし サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている		
A+の取り組み」 也域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や複	● なり ● なし サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている		) 非該
A+の取り組み) 也域の福祉に役3	● なり ● なし サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	A	
A+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神		A	)
A+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)
A+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神 評価	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)
A+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)
本+の取り組み 地域の福祉に役立 平価項目1 事業所の機能や神 評価	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	○非該
<ul> <li>A+の取り組み)</li> <li>世域の福祉に役ぶ</li> <li>平価項目1</li> <li>事業所の機能や神</li> <li>評価</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)
A+の取り組み 地域の福祉に役式 平価項目1 事業所の機能や神 評価 ● あり ○ なし	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)
<ul> <li>A+の取り組み)</li> <li>世域の福祉に役ぶ</li> <li>平価項目1</li> <li>事業所の機能や神</li> <li>評価</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている	<b>A</b>	)

評価項目2				
ホランティア受け <i>。</i> 	入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	評点(	Α	)
評価	標準項目			_
● あり ○ なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			○非該当
● あり ○ なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			○非該当
● あり ○ なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
評価項目3 地域の関係機関の	との連携を図っている	評点(	Α	)
評価	標準項目			
● あり ○ なし	1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している			○非該当
<b>●</b> あり ○ なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて	いる		
				○非該当
【A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし			○非該当
【A+の取り組み】	○ あり <b>③</b> なし			○非該当

# 遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、都や区の職員ハンドブック、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、保育所保育指針 等が事務所に常備され、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員 の入職時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する 通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議や打ち合わせで周知を行っています。

# 園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています

施設見学や小・中・高校生の保育体験を積極的に受け入れているほか、毎月2回、「あそぼう会」として、園の子ども達の日常活動に地域の親子が参加できる機会を設けるなど、地域の子育て支援活動を行っています。昨年度から地域版の園だよりを作成・配布したり、ポスターや掲示を増やして、園の活動や行事をお知らせしてきたことで、「あそぼう会」の参加者も増えてきているようです。その他、児童館の子育て支援行事に看護師を派遣し、身長体重測定や健康相談に応じるなど、園の機能や専門性を地域に活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています。

# 一番身近な存在である児童館との交流・連携を深めていきたいと考えています

地域子育てネットワーク会議に参画しており、情報交換を行いながら地域の子どもに関する課題について話合っています。 しかし、 どちらかと言うと、 学童の話題が中心となっているため、 保育に関わる内容を取り上げてもらえるよう要望しています。 また、 児童館が園に隣接しており、 合同の避難訓練等は実施していますが、 現在は職員・子どもともに日常的な交流はあまり行われていません。 園では、 地域の子育ての実態を把握する上でも、 今後、 一番身近な関係機関である児童館との交流・ 連携をさらに深めていきたいと考えています。

	カテゴリー3	
利用者意向や地域	或·事業環境の把握と活用	
	サプカテゴリー1	
利用者意向や地域	或·事業環境に関する情報を収集·活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見·要望·苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり	
評価項目2		
	的·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	ı
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目3		
	関する情報を収集し、状況を把握・分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目  1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>	

### カテゴリー3の講評

# 保護者の苦情等を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口についての認識度は3割程度となっており、周知方法の再検討が望まれます。保護者会や個人面談で出た要望等については、その場で話し合い、解決できない場合は改めて個別に対応しており、受け付けた内容や対応経過を「意見・要望等の受付書」に記録しています。子どもの受け入れに対する園側の対応の不備について謝罪し、解決を図った事例も確認することができました。

# アンケートを活用して保護者の意向を集約し、サービス向上につなげています

夏祭りや運動会、「大きくなったね会」などの行事の後に保護者アンケートを実施したり、父母の会が実施したアンケート結果について意見 交換を行ったりして、保護者の意向を把握することに努めています。保護者アンケートの結果は、園だよりで保護者全体にお知らせしてい るほか、職員会議で問題点を整理し、反省を行っています。反省点については、次回の行事プロジェクトの際に取り上げ、改善するように しています。保護者からの意見を受けて、保護者会の内容の工夫に取り組んでおり、今後、開催時間の見直しについても検討したいとして います。

### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワークや地域懇談会、町会、区立保育園の園長会等に参加したり、毎月 の「あそぼう会」に参加してくれた地域の親子にアンケートを実施することで、収集・把握しています。保育や子育てに関する新聞・雑誌等 の記事も小まめに集め、区からの通知とともに職員間で回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行 い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

画の策定と着	<u>カテゴリー4</u> 実な実行	
	# <b>*</b> + = <b>*</b> 11	
3践的か課題, 計	サブカテゴリー1 †画策定に取り組んでいる	
に成りる 小成 日	四束足に取り組/0 (いる	
平価項目1		
り組み期間にん	応じた課題·計画を策定している <b>評点( A</b>	)
<u>÷</u> 亚/≖		
評価	標準項目  1.理念·ビジョンの実現に向けた中·長期計画を策定している	
◉ あり ○ なし	,	○非該
	2. 年度単位の計画を策定している	
● あり ○ なし		○非該
	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし	,	○ 非該
A+の取り組み 平価項目2		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・]	)
平価項目2 角的な視点か	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b>	)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ら課題を把握し、計画を策定している	)
<sup>2</sup> 価項目2 角的な視点か 評価	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<u> </u>
で価項目2 角的な視点かい 評価 ・ あり ○ なし	6課題を把握し、計画を策定している	○非該
平価項目2 ・角的な視点か 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている ,	○非該
☑価項目2 角的な視点か 評価 ② あり ○ なし	6課題を把握し、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
平価項目2 :角的な視点か :評価 ② あり ○ なし	ら課題を把握し、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
呼価項目2 :角的な視点から 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	ら課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目2 ・角的な視点か 評価 ● あり	6課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
呼価項目2 6角的な視点から 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	6課題を把握し、計画を策定している	)
平価項目2 5角的な視点か 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし ● あり ○ なし	6課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該

■=117/11年1日日2		
評価項目3	テに取り組んでいる	
有夫は川凹い大!		)
	HI ATT (	,
評価	標準項目	
HILE	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
● あり ○ なし	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O	○非該当
● のリ · しょ∪		─────
	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど	
● あり ○ なし	の取り組みを行っている	○非該当
	·····································	○ ¬r н^ ¬
	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	
○ あり ● なし		○非該当
	   4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで	
	4. 計画推進にのたり、進抄外流を確認り(十期・万半世など)、必要に応じて見直りをしなから取り組んで  113	~
● あり ○ なし	( ) তি বিভাগ কৰিব কৰিব কৰিব কৰিব কৰিব কৰিব কৰিব কৰিব	○ 非該当
【A+の取り組み】	○ あり  ● なし	
		ĺ
		ļ
	ユーデュー・ブロー・ヘ	
	サブカテゴリー2	
利田者の安全のも	家保, 点 Lin 計画的に取り組入るい?	
何の日の文工のは	雀保·向上に計画的に取り組んでいる	Í
	作体・PD上に計画的に取り組んでいる 	
評価項目1		
評価項目1	確保·向上に計画的に取り組んでいる	
評価項目1	確保·向上に計画的に取り組んでいる	)
評価項目1 利用者の安全の研	確保·向上に計画的に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価項目1	確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	)
評価項目1 利用者の安全の研	確保·向上に計画的に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	
評価項目1 利用者の安全の研	確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点( A</b> 標準項目 1.利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<b>)</b> ○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点( A</b> 標準項目 1.利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり くなし ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり くなし ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○ 非該当 ○ 非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり くなし ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり くなし ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり くなし ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり くなし ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の面 評価 ・ あり くなし ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている  ○ あり ● なし	○非該当
評価項目1 利用者の安全の面 評価 ・ あり くなし ・ あり くなし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当

### チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます

区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションブランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジブランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに園の複数年度に渡る取組みを方向付ける中期計画に発展していくことが期待されます。

# 複数のプロジェクトを組織し、チャレンジプランの実行に取り組んでいます

園では、区の意向や園の課題に沿って年度始めにプロジェクトを組み、園のチャレンジプランの推進に取り組んでいます。プロジェクトには 行事や情報共有、危機管理、保育計画、保育環境等があり、構成メンバーは、職員各層の意向が反映できるよう、クラスや経験年数を考慮して選出しています。各プロジェクトでは、半期ごとに活動状況を確認し、見直しを行いながら積極的に課題の改善に取り組んでいますが、事前にプロジェクト活動の方針や計画を明確にし、達成度合いを測りやすいようにした上で、取り組んでいくことが望まれます。

# 危機管理プロジェクトを中心に、園内の安全確保に努めています

子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練が計画的に実施されています。地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も行われています。また、危機管理プロジェクトを中心に園内の安全チェックや危険箇所の改善を行っているほか、事故が発生した場合は、その経緯や内容を「事故報告書」に記録し、職員全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。さらに、現場でのひやりとした事例を日々収集し、予防対策につなげる取り組みが望まれます。

		カテゴリー5			
職員と組織の能力向上					
		サブカテゴリー1			
事業所が	目指して	ている経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる			
AT /T-T-	_				
評価項目		う要な人材構成にしている。 			
于来///に		デススペク 情報 に で こくい る アム に アス に アス に アス に アス に アス に アス に アス に	)		
評	価	標準項目			
A I	ІЩ	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成·評価の考え方)を明示している			
● あり	○なし		○非該当		
		2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている			
● あり	○なし		○非該当		
		3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる			
<b>●</b> あり	○なし		○非該当		
【A+の取	711紀み	】 ○ あり ● なし			
174074	くりが丘のた				
<b>並価値</b>	32				
評価項目 職員の質		に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)		
職員の質	の向上	評点( A	)		
	の向上		)		
職員の質	の向上	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	)		
職員の質	価	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>		
職員の質	価	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<u> </u>		
職員の質評 かけい	価の向上	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当		
職員の質評 かけい	価の向上	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当		
部員の質 評 あり あり	<b>価</b>	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当 ○ 非該当		
部員の質 評 あり あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○ 非該当 ○ 非該当		
職員の質 部 ● あり ● あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>		
職員の質 部 ● あり ● あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを  「お記している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>		
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当		
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当		
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当		
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当 ○ 非該当		

サブカテゴリー2		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる <b>評点(</b>	Α	)
評価標準項目		
1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		○ 4F <del>5 ¥</del> 3 ¥
● あり ○ なし 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる		○非該当
⊕ ಹり ○ なし		○非該当
3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		○非該当
【A+の取り組み】 ○ あり <b>③</b> なし		_1
1		
評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる <b>評点(</b>	A	)
職員のやる気向上に取り組んでいる <b>評点(</b> 評価 標準項目		
職員のやる気向上に取り組んでいる <b>評点</b> (		•
職員のやる気向上に取り組んでいる <b>評点(</b> 評価 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人		, , ,
職員のやる気向上に取り組んでいる		· ○ 非該当
職員のやる気向上に取り組んでいる <b>評価</b> 「評価 標準項目  「・事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人 メントを行っている  「・記事業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  「・おり」 なし  「・おり」 なし  「・おり」 なし  「・おり」 なし  「・おり」 なし  「・おり」 なし  「・おり」 なし  「・おり」 なし  「・おり」 なし  「・おり」 なし  「・おり」 なし  「・おり、おり」 なし  「・おり」 なし		7 ○ 非該当
職員のやる気向上に取り組んでいる		ブ ○ 非該当
職員のやる気向上に取り組んでいる		デ ○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向上に取り組んでいる <b>評価</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人 メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  ● あり ○ なし  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  ● あり ○ なし  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる  ● あり ○ なし		デ ○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向上に取り組んでいる <b>評価</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人 メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  ● あり ○ なし  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  ● あり ○ なし  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる  ● あり ○ なし		デ ○ 非該当 ○ 非該当

# |園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、ベテランや新人などの配置のバランスを考慮した上で園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係分担についても、各職員から希望を出してもらい、クラスや業務負担が偏らないように調整して決定しています。

# 個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、園長が個人面談を行う中で把握しています。研修については、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて受講を進めており、個人の研修歴カードや研修実施状況一覧に記録し、実績を把握・確認できるようにしています。研修受講後は、レポートを作成して研修成果を自己評価し、園長が確認した上で区に提出しているほか、毎月第3週の昼の打ち合わせを研修報告の日と決め、1人5~10分程度の報告の機会を設けて、研修成果を職員間で共有しています。

# 就業状況を把握し、職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

時間外労働は、土曜の午後等に生じることがあるものの、あまり発生していません。 有給休暇の取得については、不公平が生じないよう職場全体で話し合って取得するようにしていますが、クラスや職員間で差が出ているのが実情です。 園長は、職員にやりがいを持ってもらえるよう個々の目標や成果に対して、どんな小さなことでも声をかけて応援・評価する姿勢で臨んでおり、 終業後の自主勉強会にも多くの職員が参加するなど、職員の仕事への意欲は高いようです。 職員自己評価では、保育に関する話し合いの時間を多く持ちたいとの声も数多く挙がっています。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	すに取り組んでいる	
「価項目1 「業所が蓄積した	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
未川川田恨しい		)
評価	標準項目	
	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	
● あり ○ なし		○非該
_	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	
りあり ○ なし		○非該
<b></b> 0	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	
)あり ○ なし		○非該
価項目2		
価項目2	】 ○ あり ● なし  人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
で価項目2  人情報は、「個   	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
評価  ● あり	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
で価項目2  人情報は、「個   	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

### カテゴリー7の講評

# 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に 従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使 いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、退出時に は事務所自体も施錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を 徹底しています。

# 個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得る取り組みが望まれます

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類に一部記載は見られますが、園においても、園のしおりに具体的に利用目的を明示したり、写真やビデオの撮影や他機関への情報提供が必要な場合には保護者から書面で同意を得るなどの取り組みが望まれます。

### 職員が個人情報保護を理解し行動するための取り組みの充実が期待されます

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、入職時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、文書を配布して個人情報保護等の留意事項を伝えています。さらに、園内においても、プライバシー保護を含めた個人情報の保護について職員が具体的に行動できるよう、園内研修で取り上げたり、職員間で定期的に確認を行う機会を設けるなどの取り組みが期待されます。

	カテゴリー8				
8	カテゴリー1~7に関する活動成果				
	サブカテゴリー1	٠ 7			
	前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してい	າວ 			
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」	<ul><li>A+</li></ul>	$\bigcap A$	∩B	$\bigcirc$ c
	・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	07	0 /.	02	0 0
	「ガノコリー4. 計画の東定と自実体実1」」				
	改善の成果				
	プロジェクトを中心にチャレンジプランの実現に向けて取り組みました				
	・年度初めにプロジェクト(情報共有、危機管理、保育計画、保育環境、チャレンジプラン等)を設置し、園のチャレンジプランに位 年度の目標や課題に取り組みました。特に、保育所保育指針の改定に伴う保育計画の見直しに関しては、保育計画プロジェクト に、職員会議や園内研修、勉強会で学び話し合いながら、保育課程の作成や指導計画の見直し・改善を進めており、園目標の見野に入れて取り組んでいます。				
	・危機管理プロジェクトを中心に、園内の危険箇所の改善を進めました。保護者の出入口を一本化した。	たことで、危機	と きゅうとう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう しゅう しゅうしゅう しゅう	がしやす	くなって
	います。 I·昨年度から地域版の園だよりを作成し、小学校や児童館、園の嘱託医等に配布しています。今年度	は裏面に保備	律だより	を印刷っ	するなど
	内容を拡充し、配布部数も増やしました。地域子育て支援の活動「あそぼう会」も毎月2回に増やし、 の掲示もお願いするなど、地域への情報発信に力を入れて取り組んだことで、「あそぼう会」の参加者 います。	也域版園だよ	りの配	布先に加	ポスター
	サブカテゴリー2				
	前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している				
	計画項目   前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	て、改善を行い成果が上がっている				
	·カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	A+	$\bigcirc$ A	Ов	$\bigcirc$ c
	**************************************				
	改善の成果				
	プロジェクト活動や自主勉強会への参加により、職員の意欲と能力が高まっています		17 66 1-	+= >1/ /> =	77 A +8 8E
	・全職員がいずれかのプロジェクト(情報共有、危機管理、保育計画、保育環境、チャレンジプラン等)解決に取り組みました。職員が活発に意見交換を行い、工夫することで、各プロジェクトともに成果を 応じて園内研修を実施したり、ベテラン職員を講師とした自主勉強会を終業後に定期的に開催したり を持ち、多くの職員が参加しています。職員個々の意欲と能力が高まってきている様子がうかがえま	学げることが <sup>っ</sup> するなど、職員	できまし	た。また	、必要に
	サブカテゴリー3				
	前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	て、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー 6 : 「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー 7 : 「情報の保護・共有」	<ul><li>A+</li></ul>	$\bigcirc$ A	Ов	$\bigcirc$ c
	NO TO THE TAX OF THE PARTY OF T				
	 改善の成果				
	情報公開、保護者との情報共有に向けて改善に取り組みました し、保育の情報公開と情報せる方面のチャレンジブランの目標に提ば、情報せるプロジェクトを中心に覚	単旦百  一 日7 11 4戸・	ı±ı+	上国の「	しおいに
	・・保育の情報公開と情報共有を園のチャレンジブランの目標に掲げ、情報共有プロジェクトを中心に設 イラストを入れたり、レイアウトを変更したりして、より見やすく分かりやすい内容にしたほか、「わくわく	*起に拟り紐( 「ニュース」を(	かました	こ。園の「 易示して国	uのリに 園の行事
	や子ども達の様子を写真でタイムリーに提供しました。その他、クラスだよりや園だより、保健だよりの	掲示を一区	画に整3	理したり、	子育て
	支援関係の掲示版を設置し、区からの情報や新聞・雑誌等の記事を掲示したり、ホワイトボードを活月  計画を公開したりするなど、積極的に情報を公開し、保護者との情報共有に向けて様々な改善に取り		ラスの係	* 肖日誌	や指導
		570			

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
評価項目1				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がって				
lia -	(●) A+		Ов	$\bigcirc$ c
		<i>.</i>	O 2	<b>0 0</b>
改善の成果				
行財政改革を着実に実行するとともに、省エネ活動を推進しています				
・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年」				
協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げている 託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」				
育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。				
・区の環境マネジメント活動の一環として、省エネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使績の推移をグラフ化して園内に掲示しています。平成11年度を利用量を100%とすると、平成19年度				
顧の推移をグラブ化して園内に掲示しています。平成11年度を利用重を100%とすると、平成19年度 ガス98.1%、用紙は55.3%となっております。	の美線は、甲	≣ंद्रा । । उ	%、小炟	,103.9%
757(0011 76) 713 mpg 1636016 76 2 61 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価さ	1			
則年度(に較困難な場合は可能な期間で)とにへて、利用者満定や以下のカテコリーで評価される部分において改善傾向を示している				
・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	O A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	Ос
		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
改善の成果				
保護者アンケートを実施し、結果を保護者全体に知らせました				
・夏祭りや運動会、「大きくなった会」などの行事の後に保護者アンケートを実施したり、父母の会が写	≧施したアン・	ケート結	果につい	ハて意見
交換を行ったりして、保護者の意向を把握することに努めました。保護者アンケートの結果は、園だよ	いで保護者:	全体にも	お知らせ	したほ
か、職員会議で問題点を整理し、反省を行いました。反省点については、次回の行事プロジェクトのM す。保護者からの意見を受けて、保護者会の内容の工夫に取り組んだほか、今後、開催時間の見直				
9。 休護台が500息兄を支げて、 休護台云の内台の上大に取り組んにはが、ラ後、 用推時  同の兄直    す。	.UIC	ט נים אלול	/_1 1 _ 0	CVIA
・毎月の「あそぼう会」に参加して〈れた地域の親子にアンケートを実施し、地域ニーズの収集・把握に	こ努めました	0		

(事業所名: 杉並区立本天沼保育園)

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3.6-5~6)

	リーレク症状の	ルノロゼス項目(ルテコリー 6 - 1 ~ 3、6 - 5 ~ 6) 共通評価項目	
		サブカテゴリー1	
1	サービス情報の技		
	評価項目1 保護者等に対して	てサービスの情報を提供している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	【A+の取り組み	<b>♪</b> 】 ○あり <b>⑥</b> なし	
		サブカテゴリー1の講評	
	2154±10±15		
	園だより、保健便の情報提供がされ 山の情報の中で、 については、限ら	内に工夫をして掲示しています 更りなど園の情報、区からの情報に加え、子育てに関する新聞記事等を入り口や廊下、階段の踊り場等の壁・れています。入り口の一番目立つところには、園の催し物等を模造紙にまとめたわくわくニュースが掲示された、優先順位を考慮しながら掲示するとともに、常に情報更新に意識的に取り組んでいます。また、子育てに関いた場所の中で、情報が埋もれてしまわないように、置き方にも工夫がされています。	ている他、沢
	区のホームペー	*なく、地域にも情報発信をしています ジでの園紹介のページについては、公立園が統一された情報が提供されています。また、園独自の取組とし どの地域の関係者に対して、「地域版園便り」を発行し、広く情報を発信する取り組みが行われています。	,ては、学校、
	園の見学は、園り	こ対しては、 いつでも対応しています 児の保護者、 入園を希望する親子ともに、 いつでも見学希望者を受け入れられる体制を整えています。 入園: 蚤が中心となって対応し、施設案内や園での生活体験など、 見学者の状況や要望に合わせてきめ細か〈対応	

	<del>サ</del> フカテコリー2	
サービスの開始:	終了時の対応	
評価項目1 サービスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている <b>評点( A</b>	)
 評価	標準項目	
□Т  Щ	伝子項目  1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	
● あり ○ なし		○非該当
	L 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	
● あり ○ なし		○非該当
	  3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
● あり ○ なし		○非該当
A+の取り組み】	] ○ あり : ⑥ なし	
評価項目2 サービスの開始及	ひ終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	_
● あり ○ なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
● あり ○ なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
● あり ○ なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
[A+の取り組み]		•
	サブカテゴリー2の講評	
入園前の面接	により、子ども一人ひとりの状況を把握しています	
入園説明会の開催 保護者以外の養養	催前に個別に園長・栄養士・看護師等と面接を行い、家庭での入園前の生活リズムをはじめとする子どもの 育の協力者など必要に応じて家庭の状況を把握しています。面談結果については、区で統一された「児童勇 るとともに、入園後の児童の発達や保護者の意向などを時系列に記録し、保育の最重要書類として活用し	裏」及び「家庭
入園前には、入園 こついて、詳し〈訪	実施し、園での生活について詳し〈説明しています 聞説明会を実施し、区の資料のほかに園独自の「園のしおり」等を活用し、園での生活や入園までに準備をす 説明する機会を設けています。また、入園説明会等で活用している「園のしおり」を、より分かりやす〈するたる の取り組みもみられます。	するものなと めの見直し <sup>,</sup>
入園直後の子ども な範囲で保護者と	れ保育を実施しています らの不安やストレスを軽減するため、乳児については、一定期間「慣れ保育」を行っています。「慣れ保育」期に子どもが一緒に保育園で過ごし、子どもが園での生活に慣れ、保護者も保育の様子を知ることで、安心して るための配慮をしています。また、新年度には、進級する子どもと、新たに入園してくる子どもとの間において をしています。	て子どもを預

サブカテゴリー3						
個別状況に応じた	=計画策定·記録					
評価項目1 必要に応じて、定 面ごとに明示して	められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 いる <b>評点( A</b>	)				
評価	標準項目					
● あり ○ なし		○非該当				
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当				
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当				
【A+の取り組み】		•				
評価項目2 必要に応じて、子	どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計					
画を作成している	**************************************	)				
評価	標準項目					
● あり ○ なし		〇非該当				
● あり ○ なし		○非該当				
● あり ○ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当				
● あり ○ なし	4. 計画を緊急に変更する場合のし〈みを整備している	○非該当				
【A+の取り組み】	◯ あり : ● なし					
評価項目3						
	どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している <b>評点( A</b>	)				
評価	│    標準項目 ┃1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある					
● あり ○ なし		○非該当				
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当				
【A+の取り組み】	○ ಹು ರಿ					

	評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
Ì	1# W++# F7	
	評価 標準項目	
	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している  ③ あり ○ なし	○非該当
	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している <ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	
	サブカテゴリー3の講評	
	会議やクラスノートを活用して情報共有に取り組んでいます	
	職員間での子どもの情報の共有に関しては、毎週の定例会議の他、グループ討議、複数担任制のクラスにおいてはクラスでど、口頭で伝え合っている他、各クラスノート、朝夕児童ノート等の書類を活用し、非常勤職員等のシフトが異なる職員間での行われています。延長保育等の実施により、職員のシフトが多様化する中で、さらに効率的で効果的な情報共有の仕組みを記されます。	情報共有が
	入園から現在までの状況は、児童票等に記録され、厳重に管理されています 子ども及び保護者の情報は、区で共通様式の児童票等に、入園から現在に至るまでの子どもの発達・健康の状況、保護者の 点等が記録されています。児童票には、入園後の子どもの発達や健康状態の情報が追加されるほか、保護者とのコミュニケー 頭・連絡帳等)や個人面談で話し合われた内容についても追加される仕組みとなっています。	
	指導計画を計画的に作成し、保育の充実を図っています 指導計画は、年間と月間、さらに週単位で作成されています。年間指導計画の作成にあたっては、保護者会を通じて保育の作 ています。また、月間指導計画の策定にあたっては、子どもの発達段階や精神的な状況に応じた対応や、保護者からの日頃 含め、取り組みをふり返りながら、職員間で話し合いを行い作成する仕組みとなっています。	
	サブカテゴリー5	
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
	評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	評価標準項目	
	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている ● あり ○ なし	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり ● なし	

	評価項目2 サービスの実施に	こあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	評点(	Α	)
Ì	評価	標準項目			
	<u>評1</u> Щ <b>●</b> あり ○ なし	伝学場日 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している			○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることの 相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	ないよう、	職員が	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている			○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
		サブカテゴリー5の講評			
	家庭での生活習慣 パターンに合致し	習慣に配慮し、 園での生活を支援しています 貫等に充分配慮し、 一人ひとりを尊重した保育を実施していますが、 近年では家庭での食 ないケースも見られるようになっています。 こうした状況の中で、 対応が難しい部分もあり 続して行っていくことを基本姿勢としています。			
	子どもの羞恥心や 心がけています。	線の遮断の他、毎日の着替えなどで、子どもの羞恥心に配慮しています。プライバシーへの配慮としては、失敗を責めない言葉かけや、トイレの失敗の際の目立また、プールやシャワーの際に目隠しをつけることにより外部から見えない様にするとと 同士の間でも、羞恥心を養うことにも取り組んでいます。			
	日常の子どもや係 認しあっています。 透しているとは言	、の配慮については、保護者の理解を得る取り組みが望まれます 民護者とのコミュニケーションについては、職員会議やミーティングの中で常に振り返り、ネ 。一方、利用者調査や職員自己評価においては、プライバシーに関する評価では、プライリカーに関する評価では、プライリカーの配慮の具体的な対応については、個 と考えていく必要があります。	イバシーに	二対する配	記慮が十分浸
		サブカテゴリー6			
3	事業所業務の標準 評価項目1	<b>集化</b>			
	手引書等を整備し		評点(	Α	)
Ì	評価	標準項目  1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事	頭や手順	5等を明	1
	● あり ○ なし	は、1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(***	4t7 C-13	○非該当
	● あり ○ なし	2. 子引音もは、職員の共通理解が得られるような表現にしている。 3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検	「アハス		○非該当
	●あり ○なし			17	○非該当
	● あり ○ なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を消	5円してい	15	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			

評価項目2 サービスの向上を	めざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	評点(	Α	)
評価	標準項目			
● あり ○ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定めら			○非該当
● あり ○ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等かどもの様子を反映するようにしている	らの意見や	提案、子	○非該当
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等のる。	改善に取り約	組んでい	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし			
評価項目3				
	みにより、業務の一定水準を確保している	評点(	Α	)
評価	標準項目 1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に	- 仁主油2ト	SEL T	I
● あり ○ なし	NS .	-1Jで <i>i</i> 及るよ	.7EUC	○非該当
● あり ○ なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している			○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている			○非該当
● あり ○ なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している			○非該当
● あり ○ なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けてい	<u></u> వ		○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・			
	サブカテゴリー6の講評			
会議等を通じて日な勉強会を就業後す。また、園内研研修や勉強会を組子どもの安全性で記されています。	3園内研修や職員の自主的な勉強会が行われています 常業務の改善や、定期的に研修報告が行われている他、経験豊かな職員が、経験の をに行っています。自主的な勉強会ではあるものの、年間計画を作成し、獲得目標等を 多では、外部講師を迎えて行った際には、他園にも参加を呼びかけるなど、積極的に研 継続していくことにより、保育水準のさらなる向上が期待できます。 生に配慮した支援の充実策が望まれます ・配慮した支援については、職員会議やプロジェクト会議等で話し合い、環境改善等が ・全対策」に対する評価は十分とは言えないことから、ヒヤリハット等により、日常の気気	:明確にし、作 肝修に取り組 行われてい:	体系的に行 見んでいま ます。しか	行われていま ぎす。 こうした いし、 利用者
業務に対する材 区では公立園共道 ます。共通マニュ	さどの仕組みの充実が望まれます。 票準化の充実が望まれます 通の『危機管理マニュアル』の中で、緊急避難、防犯対策、園外活動の注意等基本的なアルで不十分な点については、園独自のマニュアルで補足するとともに、会議を通じて ほんでいます。一方、職員自己評価では、「業務の標準化」に対する評価は十分とは言:	基本事項の	確認や、	問題が生じた

	サーヒス	の実施	現目(カテゴリー6-4)	
1		発達を促		)
	評値	西	標準項目	
	ூ ಹり	○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	⊚ ಹり	○なし		○非該当
	⊚ ಹり	○なし		○非該当
	⊚ ಹり	○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
	⊚ ಹり	○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
	【A+の取	り組み】	○ あり ・	
			評価項目1の講評	
	園内活動し物が取り	として、』 )入れら	各種催し物など、多様な保育活動に取り組んでいます 異年齢児交流をはじめ、野菜の栽培、お店やさんごっこ、キャンプごっこ、もちつき会など、子どもの発達を促れています。また、成長を表現する機会として、おおき〈なった会(発表会)などがあります。 園外活動では、この交流など、子どもの保育を促すための様々な保育活動に取り組んでいます。	
	子どもの乳計画に反同	発達や家 映し、保	を促すための保育の充実が期待されます R庭での生活状況については、保護者との面談・連絡帳のやりとり・登降園時のコミュニケーションなどにより 育に取り組んでいます。 職員自己評価の結果においては、子どもの発達を促すための保育に関しては、他 とからも、一層の充実が期待されます。	)把握し、保育 の項目に比し
	障害があ	。 る子ども	車携により、障害がある子どもの保育に取り組んでいます。や気になる行動がみられる子どもの保育については、専門機関と連携を密に図りながら対応しています。『  家による、特別な保育指導が行われています。巡回指導では、ビデオを活用し、保育士が自分自身の子ど	

| 達センターの専門家による、特別な保育指導が行われています。巡回指導では、ヒテオを活用し、保育工が自分自身の手 | を客観的に見るなど、現場の事例から学ぶ機会を用意し、子どもの特性に配慮した保育の提供の体制を整えています。

評価項目 栄養バラ		:慮したうえで、おいしい食事を出している <b>評点( A+</b>	)
	/ <del></del>	,	
評	Щ	標準項目 1.メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	
⊚ ಹು	○なし		○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
<b>©</b> 80')	<u> </u>	  3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	
<b>●</b> あり	○なし		〇 非該当
(A) # 11	O to l	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
<b>●</b> あり	○なし	  5. [0歳児を受け入れている保育所のみ]	○非該ヨ
⊚ ಹり	○なし	到田の摂到め合東に閉しては、到田二人ひと1の状況やリブルに合わせて行っている	○非該当
【A+の取	り組み	◉ ಹ೮ ○ なし	
伝い(トウ	モロコシ	こによる食事の話、子ども達自身の栽培活動(にんじん、なす、トマト、米、その他)、献立の中から参加が可かの皮むきなど)を行っています。また、年度行事としては、年長を中心に、クッキーやカレー作り、もちつき会い出しから包丁を使った調理も行うなど、食育に関する取り組みを積極的に行っています。	
		評価項目2の講評	
参加、位	は異様	こよる食育が行われています	
伝い(トウ	モロコシ	こによる食事の話、子ども達自身の栽培活動(にんじん、なす、トマト、米、その他)、献立の中から参加が可での皮むきなど)を行っています。また、年度行事としては、年長を中心に、クッキーやカレー作り、もちつき会い出しから包丁を使った調理も行うなど、食育に関する取り組みを積極的に行っています。	
毎週金曜	日の4・	おいしく食事をできる工夫をしています 5歳児(年度後半からは3歳児も参加)が一緒になって食事をする「わくわくランチ」、自分で選べる「お好みとこが行われています。また、食事環境については、いすの高さを子どもの体に合わせて微調整をしています。	
献立は区 必要な子 慮した食	で統一の どもにつ 事が提供	た献立により食事を提供し、アレルギー等は個別に対応しています カメニューとなっています。 調理員による食事量や子どもの嗜好のチェックが行われています。 なお、アレルいては、保護者との打ち合わせのもと、除去食、代替食で対応しています。 また、保護者の食品に関するき されています。 一方、 改善点として、 調理員と保育士等の連携の強化を課題にあげていることから、 これら さらなる充実が期待できます。	え方にも配
評価項目子どもが		健康を回復・維持するための支援を行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	<b>/</b> 而	標準項目	
<ul><li>あり</li></ul>	<u> </u>	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当
<b>3</b> 60 7	<u> </u>	  2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするし〈みがある	○ 4FBØ =1
⊚ ಹು	○なし		○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
【A+の取	り組み		1

#### 評価項目3の講評

#### 子どもの健康状態は、看護師が毎日把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、保育士が登園時の状況確認、看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は週1回、以後は年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いた対応や医療機関に関する情報提供等を行っています。

#### 保健だよりや園内の掲示により、情報提供を行っています

保健分野に関する保護者への情報提供は、月1回発行の保健だよりを通じて行っているほか、特に感染症に注意が必要な時期は、おたよりのほかに園内の掲示板(ホワイトボード)を利用して注意を喚起するなど、予防対策に取り組んでいます。

#### 病児の保育体制のさらなる充実が望まれます

保育中の発熱や怪我の対応は、常駐の看護師が対応し、必要に応じて医務室で安静にしながら、保護者のお迎えを待つ体制を整えてい ます。これらは、利用者調査においては、「保育中の発熱や怪我」に対する対応については、8割強が肯定的な意見であることからも、そ の取り組みを確認することができますが、一方で、改善を求める声も聞かれることから、病児の保育体制のさらなる充実が望まれます。

# 評価項目4 園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている 4

評	価	標準項目	
		1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	
● あり	○なし		○非該当
		2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	
● あり	○なし		○非該当
		3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	
● あり	○なし		○非該当

評点(

Α

)

•	۱ ـ	7 I I			%Н	₩,	1
	۱т	v	ДX	٠,	≅H	UT	

$\sim$		_	
( )	あり	( <b>)</b>	<b>+</b> >∣
\ /	נינעט	(-)	ΛL.

#### 評価項目4の講評

#### 様々な交流を通じて、子どもたちが楽しめる工夫をしています

各種交流の機会を通じて楽しめる工夫として、異年齢で一緒にランチやお散歩を楽しむ機会を設けています。また、地域交流としては、ボ ランティアによる手品やピアノの披露を行っています。お誕生会を個別に実施しているなど、一人ひとりの子どもが主役となれる様な工夫を しています。

# プロジェクトチームによる園内の環境改善に取り組んでいます

0歳、1歳児のクラスには、子どもたちが落ち着いて過ごせる様に家庭的な雰囲気が感じられる畳コーナーを設けるなど、限られた空間の中での工夫が見られます。さらに、現場の視点を活かして、職員で構成する環境プロジェクトチームで話し合いを行いながら、園庭や教室の改善を積極的に推進しています。なお、利用者調査では、子どもたちの安全対策に対する評価が他の項目と比べて低いことから、安全性と快適性の両立した環境の整備が望まれます。

# 午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

食事、睡眠、運動、排泄などは子どものリズムにできるだけあわせる配慮を行い、午睡については、早く寝たい子、目が覚めてしまう子が それぞれ快適に過ごせる場所の確保に努めています。

	評価項目5			
5	保育所と家庭	≣との	交流·連携を緊密に行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
ŀ	評価		標準項目	
Ì	RI IM		1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある	
	<b>●</b> あり ○	なし		○非該当
			2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	
	<ul><li>あり ○</li></ul>	なし		○非該当
			3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	
	<b>●</b> あり ○	) なし		○非該当
			4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	
	<b>●</b> あり ○	) なし		○非該当
	♠ ± n		5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
		なし		○非該ヨ
	【A+の取り組み】 ○ あり · ⑥ なし			
I				
4			評価項目5の講評	
-	+8 二 4/11 + 13	主+元 ŕ		
			りに活用し、情報提供を行っています。	田の牡ルエ
			らの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりを発行しています。 情報提供に関する いわくわくニュース」は、園全体の行事等の様子をタイムリーにまとめ、入り口に掲示し、全ての保護者に伝:	
			- わくわくニュース」は、園主体の行事等の稼りをソイムケーによどめ、パリロに掲示し、主ての休暖省に伝え- −方、掲示の方法を工夫しているものの、保護者に伝わっていない情報も少なくないことから、さらに掲示の	
			への情報提供やコミュニケーションの充実が期待されます。	
	/D +# +/	<b>- 44</b> .	5 () BB	
			を公開し、情報を伝えています	
	従来のクラス	だよ	り等に加え、保護者に情報を伝える方法として、日誌の公開が行われています。このことにより、保護者に伝 と記載にするなど、工夫を重ねています。保護者からの反応はまだ少ない状況ですが、保護者とのコミュニ・	云わりやすい ケーションの
			こ記載にするなど、工犬を重ねているす。休護者からの反心はよたシない状況ですが、休護者とのコミュー・ 試みが少しずつ実を結んでいくことが期待されます。	7-93200
	十分年中	- つ1	)てはマンケー L 細木を字体しています	
			Nてはアンケート調査を実施しています 東については、アンケート調査を実施し、5.22よを整理するとともに、次回の関係に公立で7.22.12年7月2日	- <b>て</b> いまま
	建勤云寺、土 一方、利用者	こな行 新調査	・事については、アンケート調査を実施し、反省点を整理するとともに、次回の開催に役立てる取り組みを行 [においては、「行事等の日程の配慮」については、他の項目と比べて評価が低いことから、全ての保護者の	っていまり。 D意向を反映
			ものの、意見交換の場や機会を充実していくことにより、これらの評価が改善することが期待できます。	7.0.11 3 (2.7.1.7.1
	評価項目6			
	虐待防止の耳	取り組	引みや育児困難家庭への支援を行っている ************************************	,
6			評点( A	)
ı	評価		標準項目	
	_		1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	
ı	● あり ○	)なし		○非該当
ĺ			2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織しての活動がある。	
		なし	織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
İ			3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係が関係である。 アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	
	<b>●</b> あり ○	なし	係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
ŀ			4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを	
	<b>●</b> あり ○	なし	行っている	○非該当
	 【A+の取り糺	狙み)		
	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	/1		
- 1				

#### 評価項目6の講評

# 区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、 児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応な どが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

# 研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています

区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表 し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組まれています。継続的な園全体 のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

#### 保護者と共通理解を深めるための情報提供・交換の充実が望まれます

子どもの発達等に関しては、現在、虐待防止のポスターなどの情報提供をしていますが、さらに、保護者会の場を利用し、栄養指導や年齢にあった発達・育児の目安など、子どもの発達についての保護者と共通理解を深めるための情報提供・交換の充実が望まれます。

評価項目7 地域との連携の	もとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している 	○非該当
●あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
【A+の取り組み	] ○ あり ● なし	

#### 評価項目7の講評

# チラシ等で地域の情報を保護者に提供しています

児童館などの地域施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。 一方、園からの地域への情報については、地域版園だよりを発行し、関係機関(児童館、小学校、園医など)に配布をしています。

# 近隣の高齢者デイサービス等との地域交流を行っています

地域の交流は、4、5歳児の高齢者デイサービスの訪問し、歌や踊りを披露したり、小学校の展示会等の訪問・見学等を行っています。一方、地域からは、実習生やボランティア等の受け入れを積極的に行っている他、毎月第1・3水曜日には「遊ぼう会」を実施、地域の親子が各クラスで直接交流を持てる機会を設けたり、夏まつりには、地域の子どもたちも参加をすることができるなど、様々な地域交流を行っています。

# 小学校との連携の強化が期待されます

地域交流については、前述のように積極的に行われているものの、職員自己評価の結果においては、他の項目に比し評価が低かったことからも、地域交流のより一層の発展が期待できます。特に、併設されている児童館との連携や、小一問題への対応が求められる中で、 年長児にとってはもっとも関係が深い小学校との連携を強化していくことが期待されます。

(事業所名: 杉並区立本天沼保育園)

	<b>\と思う点</b> プロジェクトを中心にチャレンジプランの実現に取り組み、多くの成果を挙げています
A / L II	ロル・ファン・ファクロット・エクレフ・ファン・ファン・ロー・BYLALA、多くいは、単々全日(しまり
タイトル	プログェクトを中心にグドレンググランの失死に取り温が、シへの成果を事けている。
内容	年度初めにプロジェクト(情報共有、危機管理、保育計画、保育環境等)を設置し、園の重点目標と実行計画であるチャレンジプランの実現に向けて取り組んできました。全職員がいずれかのプロジェクトに参加して、積極的に担当分野の課題解決に取り組み、活発な意見交換と工夫により、各プロジェクトとも具体的な成果を挙げています。時には園内研修を実施したり、ベテラン職員を講師とした自主勉強会を開催したりするなど、職員がともに学び合う機会を持ち、職員個々の意欲と能力を活かし、高めながら、改善を行ってきた点は、高〈評価できます。
タイトル	保護者への情報伝達の工夫に取り組んでいます
内容	模造紙版の「わくわくニュース」の発行をはじめ、子育てに関する情報を優先順位を配慮し、園内の廊下や階段等の壁を利用し掲示しています。園や区からの情報だけでなく、子育てに関する新聞記事等を紹介しているのは、園の特徴であり、職員の思いが感じられます。さらに、地域の関係機関等のチラシの置き方ひとつをとっても、情報が埋もれてしまわない様、工夫と配慮がされています。情報が保護者に十分に伝わっているとは言えませんが、こうした取り組みの積み重ね、常に改善に取り組んでいる点は、高く評価できます。
タイトル	子ども一人ひとりの主体性を活かした保育について、工夫を重ねています
内容	園目標のひとつに「大切にしよう一人ひとりの育ち」を掲げています。その実践の一例として、野菜の栽培、給食調理のお手伝い、キャンプごっこなどの年間行事における調理などの食育では、一人ひとりの主体性を活かすために参加する機会を多く設けていることなどがあげられます。また、月単位で実施していたお誕生会を、個別の誕生会に見直すなど、一人ひとりの育ちを大切にした保育を充実するために、大小を問わず、できることから工夫を積み重ね、常にふり返り、見直し・改善を行っていることは、高く評価できます。
さらなる	
タイトル	職員一人ひとりの気付きを活かし、さらなる安全対策の充実が望まれます
内容	延長保育の開始にあたり、防犯性を向上するため、出入り口の一本化を図り、外部からの訪問者を把握しやすくするなど、危機管理の強化に取り組んでいます。一方、利用者アンケートでは、子どもの安全対策については、他の項目と比較すると、評価が低くなっています。建物などハード面で課題に対する抜本的な改善は困難であるものの、ソフト面で安全対策が可能なことは残されています。プロジェクトチーム等で検討を行うだけでなく、職員一人ひとりの日常の気付きを、ヒヤリハット等で蓄積し、安全性確保の改善に反映させていくことが期待されます。
タイトル	保護者の要望や意見を把握し、対応する仕組みを充実させることが望まれます
内容	保育の情報公開と情報共有をチャレンジプランの目標に掲げ、プロジェクトを中心に、見やす〈分かりやすい掲示方法や紙面等の工夫、保育日誌や指導計画の公開など、様々な改善を行いました。一方で、利用者調査では、職員とのコミュニケーションや行事内容の変更に対する不満や意見が多〈寄せられ、保護者との関係にまだ多〈の課題を残していることもうかがえます。 園の取り組みの意図や理由を丁寧に説明する、意見箱を設置する、保護者に対応策や回答を示す等、保護者の要望や意見を日常的に把握し、対応する仕組みを充実させてい〈ことが望まれます。
タイトル	会議運営を工夫し、さらなる職員間の情報共有に取り組むことが期待されます
内容	園では「職員間の情報共有により丁寧な保育を行うこと」をチャレンジプランに掲げ、職員会議やカリキュラム会議、昼の打ち合わせ、各プロジェクト会議など、様々な話し合いの場を設けて実践しています。 職員自己評価では、職員間のコミュニケーションが良く、お互いの保育を話し合える関係ができていることがうかがえる一方、保育に関する話し合いの時間が少ないとの声や会議の進め方を課題とする意見も数多く寄せられています。 有意義な会議を効率的に進めていくための工夫を実践するとともに非常勤職員との情報共有にも着手することが期
	タイトル タイト 容 な ル タイト 容 な ル タイト 容 トル

# 荻窪南保育園

(事業所名: 杉並区立荻窪南保育園)

調查対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯71世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数71共通評価項目による調査対象者数71共通評価項目による調査の有効回答者数51利用者総数に対する回答者割合(%)71.8

# 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を大きく超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が96.1%)。個別にみると、「戸外遊びの機会」、「急な変更への柔軟な対応」、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が9割を超えている他、「提供される食事への配慮」、「体調変化への対応」、「参加しやすい行事日程」、「家庭と保育所との信頼関係」、「職員の聞く姿勢」、「職員は礼儀正しく丁寧」などについても肯定的な回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。 一方、「要望や不満の言いやすさ」をはじめ、「要望や不満への対応」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

# 利用者調査結果

用有調宜結果							
共通評価項目		実数					
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当			
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	45	5	0	1			
肯定的な回答は約9割を占めているとともに否定的な回答がない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。ただし、1 ~ 2歳児の保護者の肯定的な回答は、3歳以上児の保護者よりも2割ほど低い結果となっているため、注意が必要です。また、自由回答については、アレルギー対策に感謝する意見が複数寄せられています。							
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	48	3	0	0			
肯定的な回答は9割を大き〈超え、否定的な回答もまった〈みられません。また、自由回答でも肯定的な意見のみで占められており、 保護者から大変評価される結果となっています。							
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	46	3	1	1			
肯定的な回答は約9割を占めており、保護者もおおむね満足している様子がうかがえますされていないことに対する不満の声が複数寄せられています。	が、自由回	答において	は、延長保	育が実施			

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	42	6	1	2
肯定的な回答は8割を超えており、否定的な回答もほとんど見られません。保護者もおおむ保護者への連絡については伝え忘れを指摘する声など否定的な意見がある一方で、「すく告して〈れます」との肯定的な意見も寄せられています。				
5.安全対策が十分取られていると思うか	36	12	2	1
肯定的な回答は約7割と他の項目に比べると比較的満足とする率が低い結果となっていま 肯定的な回答は、1~2歳児の保護者よりも約2割ほど低い結果となっているため、子ども 職員体制の変化に伴って、危険、不安を感じる保護者が増える傾向がみられます。自由意 安の声が寄せられています。	の行動範囲	目が広がる	ことによって	こ、また、
6.行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	42	6	2	1
肯定的な回答は8割を超えており、多くの保護者から支持されている結果となっています。な回答は、3歳以上児の保護者よりも約1割ほど低い結果となっているため、注意が必要で曜日対応を求める声が複数寄せられています。				
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	5	1	1
肯定的な回答は9割に迫っており、多〈の保護者から支持されている結果となっています。  見もありますが、先生によって異なるとの意見も複数寄せられています。	自由意見で	は、肯定的	- 内な意見も3	5定的な意
8.保護者の考えを聞〈姿勢があるか	41	9	0	1
肯定的な回答は約8割を占めており、保護者はおおむね満足している姿がうかがえます。 見もありますが、先生によって異なるとの意見も複数寄せられており、前問と同様の傾向か	自由意見で 「見られます	は、肯定的 す。	な意見も召	定的な意
9.サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	40	6	1	4
肯定的な回答は8割に迫っており、保護者はおおむね満足している姿がうかがえますが、5な回答は、3歳以上児の保護者よりも1割以上低く、また、少数ながら3歳以上児の保護者年齢別で異なる傾向が見られます。自由意見では、プライベートな内容の話に対する職員せられています。	では見られ	ない否定的	的な回答が	あるなど、
10.一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	48	2	0	1
肯定的な回答は9割を大き〈超え、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。 は、安定した評価が得られていることがうかがえます。	子どもが大	切にされて	เกอะとเ	ついて

11.職員の対応は丁寧か	45	6	0	0
肯定的な回答は約9割を占めるとともに、否定的な回答は寄せられておらず、職員の礼儀I 様子がうかがえます。なお、自由意見でも、職員の対応に関する肯定的な意見が寄せられ		寧さが保護	者に認めら	れている
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	31	15	3	2
肯定的な回答は6割ほどにとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。本設けきく設問のため、寄せられた意見の中には「特に不満はない」等の意見も見られ、答えずらし、自由意見では、職員による差や言いやすくはないといった否定的な意見も寄せられてい	い設問であ			
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	32	14	1	4
前問同様、肯定的な回答は6割ほどにとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目 ど見られません。本設問は、対応しているか否かを一律でき〈設問のため、寄せられた意見 数見られ、答えずらい設問であったことがうかがえます。ただし、自由意見では、職員によるが、いったん受け止めて〈れる対応への感謝や言ったことはないがきちんと対応して〈れるます。	の中には 差を指摘	「特に不満  する否定的	はない」等のな意見もあ	D意見も多 iります
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	14	8	25	4
否定的な回答(知らない)が約半数を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な区 足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられ 性を感じないとする意見のほか、「知っているが、「どこへ、誰に?」があいまい」とする意見 にくさも指摘されています。	ます。自由	回答では、	知らなかっ	た、必要
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	11	1	0	0
1年以内に利用を開始した12人中11人が肯定的な回答をしており、否定的な回答はありまけた」「園の方針から設備、おもちゃの説明まで大変丁寧でした」との意見も寄せられておりうかがえます。				

[組織マネジメント:認可保育所]

(事業所名: 杉並区立荻窪南保育園)

# <u>組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)</u>

	共通評価項目	
	カテゴリー1	
リーダーシップと	意思決定	
	サブカテゴリー1	
事業所が目指し	ていることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指し	ていること(理念、基本方針)を明確化・周知している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
HIIM	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組	
● あり ○ なし	みを行っている	○非該当
	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深	
● あり ○ なし	まるような取り組みを行っている	○非該当
<del></del>	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を	
● あり ○ なし	思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	○非該当
【A+の取り組み		
評価項目2		
	里者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評点( A	)
評価	標準項目	
	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	
● あり ○ なし	,	○非該当
	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	
● あり ○ なし	,	○非該当
【A+の取り組み		
<u> </u>		
İ		

		1て、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関 る <b>評点( A</b>	)
評	価	標準項目	
		1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
● あり	○なし		○非該当
		2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
● あり	○なし		○非該当
		3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
● あり	○なし	V1.9	○非該当
【A+の耳	図り組み!	○ あり ● なし	
	·	カテゴリー1の講評	

# 保育目標やチャレンジ目標を明示しています

園のチャレンジ目標「受けとめよう、手わたそう、気持ちと言葉のキャッチボール」や保育目標は、園のしおりや区の保育園紹介のホームページに掲載しているほか、玄関に掲示し、職員や保護者がいつでも確認できるようにしています。保育目標は、年間保育計画や指導計画に展開され、毎月の職員会議の中で職員全体で反省・確認を行っています。現在、新保育指針の改定に伴うプロジェクトにおいて保育課程も含めた保育の計画の見直しを進めており、今後の整理・再構築が期待されます。

#### 園長は、自らの役割と責任に基づいて行動しています

園長や主任の役割と責任は、区のマニュアルに規定されているほか、年度の事務分担表に全職員の役割分担を記載しています。園長は、園の総括を行う中で、子どもにはゆったりと温かい見守りを行うことを心がけ、保護者が安心できるよう、職員間のチームワークを大切にしています。 特に、職員が他のクラスの状況も知り、一緒に考え、他のクラスにも意見・提案できるような関係作りに努めています。 打ち合わせでは、園長会の報告を行い、職員に区の方針を周知しているほか、毎月、事務室だより「あんず」を自ら作成し、保護者にメッセージを伝えています。

# 打ち合わせと職員会議を中心に、意思決定と周知を行っています

重要な案件については、園長・主査で方向性を話し合った上で、毎週の打ち合わせや毎月の職員会議に提案し、検討・決定しています。 打ち合わせで指導計画の検討を行う際は、事前に全員が資料を読んだ上で課題を出してもらい、1日目は個人の様子を話し、2日目は質問と提案を行うようにするなど工夫していますが、職員調査結果では会議の在り方を改善点に上げる意見が複数見られ、引き続き効率的な運営に取り組むことが期待されます。保護者には、年2回の保護者会で園の方針や決定事項を説明しているほか、随時お知らせを配布して伝えています。

]責任		
サブカテゴリー1		
スに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
<b>評点</b> (	Α	)
		○非該
全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでに	13	
		○非該
		•
	Δ	)
) mx i p		,
標準項目 標準項目 (第二十年) は、1000年   1000年   10	7114 <sup>[]</sup> ,	
	り組ん	٠٠ . د د
		○非該
・透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会・ に関する情報を開示している	に事業	
		○非該
○ あり ● なし		
○ あり ● なし		
<b>○</b> あり <b>◎</b> なし		<u> </u>
○ あり		1
<b>○ あり ● なし</b>		1
サブカテゴリー2		
サブカテゴリー2		
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている 止の専門性をいかした取り組みがある		
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている	A	)
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている 止の専門性をいかした取り組みがある <b>評点</b> (	A	)
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある <b>評点(</b> 標準項目  東業版の機能や東門性は、利用者に支際のなり範囲で地域の人に漫元している(施設・供品)		)
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある <b>評点(</b> 標準項目  東業版の機能や東門性は、利用者に支際のなり範囲で地域の人に漫元している(施設・供品)		<u> </u>
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある  評点( 標準項目 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品領人)	等の開	○非該
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある <b>評点(</b> 標準項目  東業版の機能や東門性は、利用者に支際のなり範囲で地域の人に漫元している(施設・供品)	等の開	○非該
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある  評点( 標準項目 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等は、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の	等の開	○非該
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある  評点( 標準項目 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等は、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の	等の開	○非該
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  ##項目  事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等)、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の)  「派遣など」を行っている	等の開	○非該
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  ##項目  事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等)、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の)  「派遣など」を行っている	等の開	○非該
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  ##項目  事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等)、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の)  「派遣など」を行っている	等の開	○非該
	標準項目 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでい  ○ あり ⑥ なし  ○ あり ⑥ なし  評点( 標準項目 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取りにいる	ス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる    探集項目

ボランティア受けん	<b>へれに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している</b>	評点(	В	)
評価	標準項目			
8116	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
● あり ○ なし				○非該当
	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			
○あり ◎なし				○非該当
【A+の取り組み】	○ あり			
評価項目3				
15  3  15  15  15  15  15  15  15  15	の声性を図っている			
	この連携を図っている	評点(	Α	)
評価	標準項目	評点(	A	)
評価		評点(	A	
評価 <b>●</b> あり ○ なし	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	•	A	○ 非該当
評価 ● あり ○ なし	標準項目	•	A	○非該当
評価 <b>●</b> あり ○ なし	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	•	A	
評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて	•	A	○非該当
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて	•	A	○非該当
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて	•	A	○非該当
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて	•	A	○非該当
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて	•	A	○非該当

# 遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

区の例規集やマニュアル、保育所保育指針等の書籍を事務所に常備し、職員が公務員倫理や服務規律、関係法令の規定を確認できる ようにしています。これら法・規範・倫理については、職員の入職時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中で取り 上げられています。保育指針の改定に関する研修が実務研修で実施されていることも確認できました。また、職員の綱紀の保持に関する 通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、打ち合わせで周知を行っています。

# 保育所体験を実施し、園の機能や専門性を地域に還元しています

地域の親子の保育所体験(ふれあい保育)や中学生の体験学習を受け入れたり、来園者からの相談にも都度対応するなど、園の機能や専門性を地域に還元しています。ふれあい保育は、今年度2件の受け入れ実績がありますが、園ではさらに、育児相談に力を入れるとともに、子育て情報誌の発行等にも取り組んでいきたいとしています。また、他の区立園職員にも参加を呼びかけ、「運動機能を高める保育」について園内研修を実施したり、地域子育てネットワークの主催する子ども祭りに園の保育士を派遣し、小麦粉粘土遊びの企画を担当したりしています。

# 小学校地域の子育てネットワークに参画しています

小学校地域の子どもに関わる施設・関係者(小・中学校の校長、PTA、保育園、児童館、幼稚園、民生委員、住民代表等)で組織された地域子育てネットワークに参画し、行政も交えた連絡会に参加するなど、地域の情報交換を行っています。毎年、ネットワークの主催する子ども祭りやウォークラリーの運営にも参加・協力しています。親の会とも、会場を提供したり、プレゼント(貸出文庫)をいただいたりと、良好な関係が築かれています。園では今後、地域の幼稚園や小学校との連携を強めていく必要があると考えています。

	カテゴリー3	
利用者意向や地域	或·事業環境の把握と活用	
	サプカテゴリー1	
利用者意向や地域	或·事業環境に関する情報を収集·活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	•
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目2		
	的·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目3		
	関する情報を収集し、状況を把握・分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目  1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>	

#### カテゴリー3の講評

# 保護者一人ひとりの意向を把握し、解決を図っています

区の苦情調整委員制度があり、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知するようにしています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口について認識している保護者は3割未満となっており、周知方法の再検討が望まれます。把握した苦情や意見については、園長を中心に園全体で検討し、電話相談や個人面談で解決を図っています。ケースに応じて区の担当課に相談して対応しており、児童票の開示請求やかみつきに関する問い合わせに対応した事例も確認することができました。

# 保護者の意向を把握・集約し、サービス向上につなげています

夏祭りや「みんなで遊ぼう会」の後には感想アンケートを取っています。 収集した結果は、園だよりの号外に掲載したり、園内に掲示したり して保護者に伝えているほか、各行事プロジェクトで検討し、次回や次年度の取り組みに反映させるようにしています。 親子で一日体を動 かして遊ぼうというコンセプトの「みんなで遊ぼう会」では、子どもの走る姿が見たいとの保護者の意向を受けて、年齢ごとの発達の姿を見 せられるよう工夫したり、狭い園庭でもタッチリレーを取り入れたりするなど、サービスの向上につなげ、好評を得ているようです。

#### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワークの連絡協議会や区立保育園の園長会、外部研修等への参加により収集・把握しています。また、ふれあい保育での感想アンケートや、民生・児童委員との話し合い、区や他機関の広報等からも情報収集を行って、回覧や報告により職員に周知しています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、今後、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

は悪み祭堂し	. <del>*</del> =	2.5 DC	
計画の策定と	有夫	4.美行	
		サブカテゴリー1	
実践的な課題	夏·計	画策定に取り組んでいる	
評価項目1			
	記に応	じた課題・計画を策定している	
		<b>評点</b> ( A	)
評価		標準項目	
		1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
	なし		○非該
		2. 年度単位の計画を策定している	
● あり ○	なし		○非該
_		3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
	なし		○非該
A+の取り約	<b>目み</b> 】	<b>○ あり                                   </b>	
評価項目2	= <b>.</b>	毎時を加根し、共画を空中して1.1.2	
	気から	課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b>	)
多角的な視点	気から	評点( A	)
	気から		)
多角的な視点 評価	<b>気から</b> ) なし	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	
多角的な視点 評価	) なし	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	
多角的な視点 評価	) なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該
事価 評価 ○ あり ○	) なし ) なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該
<ul><li>多角的な視点</li><li>評価</li><li>● あり</li><li>○ あり</li></ul>	) なし ) なし		○非該
<ul><li>多角的な視点</li><li>評価</li><li>● あり</li><li>○ あり</li></ul>	) なし ) なし ) なし	振準項目  1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている  2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている  3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している  4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策	○非該
<ul><li>多角的な視点</li><li>評価</li><li>あり</li><li>あり</li><li>あり</li><li>あり</li></ul>	) なし ) なし ) なし	振準項目  1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている  2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている  3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
<ul><li>多角的な視点</li><li>評価</li><li>あり</li><li>あり</li><li>あり</li><li>あり</li></ul>	) なし ) なし ) なし ) なし	標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
<ul><li>多角的な視点</li><li>評価</li><li>● あり</li><li>● あり</li><li>● あり</li><li>● あり</li></ul>	) なし ) なし ) なし ) なし	標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
<ul><li>多角的な視点</li><li>評価</li><li>● あり</li><li>● あり</li><li>● あり</li><li>● あり</li></ul>	) なし ) なし ) なし ) なし	標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
<ul><li>多角的な視点</li><li>評価</li><li>● あり</li><li>● あり</li><li>● あり</li><li>● あり</li></ul>	) なし ) なし ) なし ) なし	標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	) 非該 非該 非該

着実な計画の実行に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>B</b> )	
評価標準項目	
	○非該当
② 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例·失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	○非該当
3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している  ○ あり ② なし	〇 非該当
● あり ○ なし 4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで いる (1)3	○非該当
【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	
サブカテゴリー2	
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	
評価項目1	
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点</b> ( A )	
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点( A )</b>	○非該当
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点( A )</b> <u>評価 標準項目</u> 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している ( )  ② あり ( ) なし ( )  2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる  評価 標準項目  1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している  ⑤ あり 〇 なし  2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している  ⑥ あり 〇 なし  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている  ⑥ あり 〇 なし	○非該当

#### チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます

区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションブランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジブランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに達成度を確認するための指標の設定や複数年度に渡る取組みの計画が期待されます。

#### 年度の行事計画や行事計画書を作成し、計画的に行事運営を行っています

園では、年度の係・担当や確認事項を明確にした一覧表や、年度の保育行事を記載した「平成20年度行事計画」、年間の園外行事予定をまとめた「園外保育実施計画書」を作成しています。個々の行事についても、ねらいや実施内容、感想等を明確にした「行事計画書」を作成した上で取り組んでいます。これらは、係の担当やプロジェクトを中心に、打ち合わせや職員会議の中で検討を重ねて計画しており、実施後には「行事実施報告書」を作成して反省を職員間で共有化しています。園運営全体の計画や係・プロジェクトの活動計画の作成が期待されます。

# 子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいます

子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルに基づき、定期的に安全点検を実施しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に行ったり、交通安全教育のため、企業の交通安全キャラバンを受け入れたりしています。地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も密に行われています。事故が発生した場合は、その状況や原因、経過を「事故報告書」に記録し、全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。現場でのひやりとした事例を日々収集し、予防対策につなげる取り組みが望まれます。

		カテゴリー5	
職員と組	織の能力	为向上 ————————————————————————————————————	
		サブカテゴリー1	
事業所が	を 目指して	ている経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
AT /T-T-			
評価項目		う要な人材構成にしている。 	
于未门门		デススペク 情報 に で こくい る アム に アス に アス に アス に アス に アス に アス に アス に	)
評	価	標準項目	
RI.	ІЩ	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成·評価の考え方)を明示している	
● あり	○なし		○非該当
		2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	
● あり	○なし		○非該当
		3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	
⊚ あり	○なし		○非該当
【A+の取	7118日 ユ		
174074	くり ボロック		
☆/無百	<b>3</b> 0		
評価項目 職員の質		に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
職員の質	の向上	評点( A	)
	の向上		)
職員の質	の向上	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	)
職員の質	価	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>
職員の質	価	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<u> </u>
職員の質評 の関います。	<b>価</b> ○ なし	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
職員の質評 の関います。	<b>価</b> ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
部員の質 評 あり あり	である。 (の向上 (のなし) (のなし)	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当 ○ 非該当
部員の質 評 あり あり	である。 (の向上 (のなし) (のなし)	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 部 ● あり ● あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 部 ● あり ● あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを  「お記している	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>

	サブカテゴリー2		
職員一人ひとりと	組織力の発揮に取り組んでいる		
評価項目1 職員一人ひとりの	主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)
評価	標準項目		
● あり ○ なし			○非該当
● あり ○ なし			○非該当
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		○非該当
【A+の取り組み】			
評価項目2 職員のやる気向」	上に取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)
職員のやる気向」	<b>評点</b> (		)
職員のやる気向」 評価 ● あり ○ なし	<b>評点(</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材・メントを行っている		) 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	<b>評点(</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材でメントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる		<u> </u>
職員のやる気向」  評価	評点( 標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で メントを行っている 2.就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3.職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる		○非該当
職員のやる気向」  評価	#点( 標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で対したでいる 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	#点( 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で対したでいる  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	#点( 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で対したでいる  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○ 非該当 ○ 非該当

# 園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、全体のバランスを考慮して園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係やプロジェクトについては、各クラスから1名という制約はありますが、本人の希望を重視して決定しています。

# 個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が半期ごとに個人面談を行う中で把握しています。研修は、勤務時間中の受講が保障されており、個人用チャレンジプランや各自の職種や経験年数に応じて受講を進めています。研修受講後は、個人の研修歴カードに実績を記録するとともに、研修の理解度や満足度、仕事にどのように活かすか等について研修報告書を作成し、園長が確認した上で区に提出しています。研修成果を共有するため、職員会議での研修報告の徹底に取り組んでいます。

# 就業状況を把握し、職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

就業状況に関しては、時間外労働は夜の職員会議や行事開催前に少し発生する程度であるほか、有給休暇も年平均15日程度取得できており、就業状況は比較的良好であると言えます。職員調査でも労働環境に対する不満等は特に挙げられていません。 園長は、職員にやる気と働きがいを持ってもらえるよう、職員が実務研修に満遍な〈参加できるようにしたり、チャレンジプランに設定した個々の目標の実現を応援・協力したりしています。 時には、プロジェクトやリーダーに推薦して、その人の持ち味が発揮されるような環境を作ることにも努めています。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	這に取り組んでいる	
<sup>7</sup> 価項目1 「業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
	評点( A	)
評価	標準項目 1.情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	1
<b>●</b> あり ○ なし		○非該
	  2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	0 11 112
● あり ○ なし		○非該
	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	1
● あり ○ なし		○非該
	] <b>⊙</b> ສປ <b>⊙</b> ຊປ	
A+の取り組み 平価項目2 引人情報は、「個	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	
通項目2		)
· · · · · · · · · · · · · ·	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
福項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u>	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○ 非該
☑価項目2  人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
☑価項目2  人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
☑価項目2  人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
☑価項目2  人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

#### カテゴリー7の講評

# 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に 従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使 いやす〈更新しています。 児童票等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるファイリングキャビネットや引き出しにに保管 しています。 電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

# 区の個人情報保護条例に基づいて保護・共有しています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園では、個人情報の開示方法を保護者に伝えているほか、写真やビデオの撮影についても保護者から同意書面を得て意向を確認する等の配慮を行っています。個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類に一部記載は見られますが、園においても、園のしおりに具体的に明示するなどの取り組みが望まれます。

#### 職員が個人情報保護を理解し、行動できるよう取り組んでいます

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、入職時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も実施されています。園内では、何か問題があった場合には打ち合わせや職員会議等で職員に注意を喚起するようにしており、パート・アルバイトの職員にも中間ヒヤリング時に再確認を行っています。実習生やボランティアに対しては、オリエンテーション時に口頭で留意事項を説明していますが、配布文書に個人情報保護の内容も明記するなど、対応方法の再検討が望まれます。

П	カテゴリー8				
3	カテゴリー1~7に関する活動成果				
ļ	サブカテゴリー1				
ŀ	リフカテコリー) 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してい	13			
l					
L	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を行い成果が上がっている				
ı	・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	Ос
	·カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ·カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」				
l					
ŀ	改善の成果				
ı	チャレンジプランを人材育成に活用しています		1 447	÷ \ \	·m
	・園長は、チャレンジブランに設定した職員個々の目標の実現に応援・協力し、個人のやる気や能力を ます。パソコンの苦手な職員がクラスだよりをパソコンで作成・発行できるようになった事例や、職員の				
ı	リーダーに推薦し、都度アドバイスしながら会議運営を進めてきた事例がありました。				
	区立保育園全体の取り組みとして、「保育の向上を目指すリーダー会議」を継続的に開催しました。 園 が中心となって、保護者と情報共有を行うための工夫について検討を行いました。	としく選出し	ルに右手	一の情報	リーター
	新保育指針プロジェクトを中心に、指導計画の見直しと保育課程の作成について検討を進めていま	<del>र्</del> ग ,			
ł	サブカテゴリー2				
ŀ	前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している				
ļ					
ш	評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	前午後(比較困難な場合は可能な期间で)と比べて、以下のカナゴリーで計画される部分につい て、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	<ul><li>A+</li></ul>	$\bigcircA$	Ов	Ос
ı					
ŀ	7. <del>* 0. * 0</del>				
ŀ	改善の成果				
	職員間で十分な意見交換ができるよう、職員会議の運営方法を改善しました ・職員会議では、事前にレジュメやまとめの資料を作成・配布するようにしたほか、小グループでの話 員がそれぞれ司会や記録の担当を受け持ち、全員が意識を持って話し合いに参加できるようにするな 夫・改善を行いました。				
ļ	±				
ŀ	サブカテゴリー3 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している				
	的十及と比べ、個位 9 一 ころ延戻プロピス 7 情報体後・六 青の面にのいて向上のでいる				
ŀ	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	て、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」	<b>Ω</b> Λ.	$\bigcirc$ $\land$	○ B	$\bigcirc$ c
	・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	<b>●</b> A+	O A	○в	OC
I	改善の成果				
I	保護者と保育情報を共有するため、保育日誌等の改良・工夫を行いました				
	・保護者と保育情報を共有するため、保護者が読みやすく分かりやすいように、幼児クラスの保育日記				
ı	いを入れるなどの改良・工夫を行いました。また、クラスだよりにも月のねらいを入れ、何を大切に進め	りているかか	が分かる	ようにし	ました。
1					

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
評価項目1				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がって				
เาอ		$\sim$ .	$\sim$ -	<u> </u>
	● A+	ΟA	Ов	$\bigcirc$ c
 改善の成果				
行財政改革を着実に実行するとともに、省エネ活動を推進しています				
1]  別  以  X   早を看美に美1] 9 るとこでに、   日エネ/山町を推進していま 9  ・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年	ヰヰブに 6 宝	の車業	左禾红 .!	<b>中学</b> 心,
「区では、「人くートタさなの計画」という第4次行射政改革美施フラフが美行されてあり、「平成22年」  協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げている				
託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」				
育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。  ・区の環境マネジメント活動の一環として、省エネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使	円号を切据す	ナスレレ:	+ 1- 年	生産の宝
・区の環境マネンメント活動の一環として、育エネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使 績の推移をグラフ化して園内に掲示しています。平成11年度を100%とすると、平成19年度の実績は	円里で151/年: 、電気86.8%	fl るここ 6、水道9	51c、毋- 37.7%、;	午反い <del>人</del> ガス
109.4%となっており、平成18年度と比べると、ガスは幼児クラスにガス式冷暖房機を増設したために				
低下しており、経費削減効果は、31,649円と算定されています。				
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
			_	
評価項目1	<u> </u>			
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している				
れる部分において改善傾向を示している  ·カテゴリー3:「利用者意向や地域·事業環境などの把握と活用」		$\bigcirc$ $\wedge$	$\bigcirc$ n	$\bigcirc$ c
11) 1 1 11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<b>●</b> A+	ΟA	○в	$\bigcirc$ $\cup$
保護者の意向を把握・集約し、サービス向上につなげました				
休護省の息回を1522年、朱約6、ケーヒス回土にフなけました  ・夏祭りやみんなで遊ぼう会等の行事について、子ども達の行事実施に向けての準備や練習の様子	≠ 明た罟+	ヾ゙゚゚゚゚゠゙゙゙゙゙゙゚゚	₹ 1. II <u>—</u>	ー 唐だ
よりや掲示で保護者に伝えました。何回かに渡って取り上げ、一連の流れが分かるように工夫してい	る様子がうた	かがえま	した。ま	
終了後には、アンケートで保護者の感想・意見を収集し、締切の2、3日後には結果を園だよりの号を				, , , , ,

(事業所名: 杉並区立荻窪南保育園)

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

		共通評価項目	
		サブカテゴリー1	
1	サービス情報の扱	<b>是供</b>	
	評価項目1		
	保護者等に対して	- サービスの情報を提供している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	評価	標準項目	
		1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	
	● あり ○ なし		○非該当
		3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり	
		サブカテゴリー1の講評	
	見学等は、個別	別の状況に応じて対応しています	
		は、次年度の入園申し込みに向けた見学をはじめ、ふれあい保育等、年間を通じて受け入れております。 見	
		『いいではな〈、見学者の目的に応じた時間設定(園児の活動しているところを見たいのであれば午前中 ど、「よりよい見学」につながるような配慮も行われています。	がよいです
	2, 2222		
	園の情報は さ	きまざまな形で提供されています	
		・独自に作成されたリーフレットを配付しているほか、区のホームページ上でも提供されています。このホーム	ハページは
	杉並区区立園共社	<b>通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見</b> 取	
	「地域向けのサー 」	ビス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。	

		サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・	終了時の対応	
	++:/=-== <u>/</u>		
	評価項目1 サービスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている	
	2 CAOMAL		)
	±π. /π.		<u> </u>
	評価	標準項目  1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	
	● あり ○ なし		○非該当
	_	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	
	<del> </del>		
	ı		
	i		
	i		
	· = /=		
	評価項目2	ファ゚ムタ フ へ吹 (- 「理接赤ルに計庁でネット2 生物」 テリフ	
	サーヒ人の用始っ	及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	<u></u>	HIM! /1	,
	評価	標準項目	
		1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	
	● あり ○ なし		○非該当
	<del></del>	  2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	
			○非該当
	● あり ○ なし		○非該ョ
	Ī	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援	
	● あり ○ なし	たして1.1ス	○非該当
			○ 1FHA-1
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	
	<del></del>	·	
	l		
	l		
	ı		
		サブカテゴリー2の講評	
_	λ 周直後ける	どもへの影響を考えた保育を保護者とともにすすめています	
		とも、このお音で与えたは、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、少人数の集団での保育や特に	空の母育士
		を迎える子ともたらにとっては、境境変化に行う心身の負担か入さいことから、少人数の集団での保育や行法員の人員配置を手厚くする体制で臨んでいます。また、保護者の方々にも、初日から数日は短時間保育を	
	育」にご協力いた	だいております。なお、これまでの保育経験(初日から1日預かるような保育をすると子どもによっては疲れれ	からその後体
	調を崩し、結果何	日も休むようになる事もある)等も交えながらをお話しし、保護者の方々も納得し、ご協力いただけるように多	
	す。		
	早めに面談を行	行い、保護者の不安を解消するよう努めています。	
		いては、早めに面談を行うとともに面談日には保育参加も行ってもらい、園でのお子さんの様子を確認してい	
		を行って、保育士から見たお子さんの様子をお伝えし、安心して園に預けていただけるよう支援を行っている	
	ı		
	ı		
	ı		
	l		
	I		
	ı		
	1		

	サブカテゴリー3	
個別状況に応じ	た計画策定・記録	
面ごとに明示し	定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 ている <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	1
● あり ○ な		○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	2.子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
● あり ○ な	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
【A+の取り組a		-
	子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計	
画を作成してい	중 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ な		○非該当
● あり ○ な		○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当
● あり ○ な	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している し	○非該当
【A+の取り組 <i>ā</i>	<b>◇ あり ● なし</b>	
評価項目3 必要に応じて、 <sup>-</sup>	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	
評価	<b>評点</b> ( A	)
<b>● あり</b> ○ な	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
【A+の取り組a	<b>◇ あり ● なし</b>	

	評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
ı	145 V± + ± □	
1	評価 標準項目	!
	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している  ③ あり ○ なし	○非該当
	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している <ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	
	サブカテゴリー3の講評	
$\dashv$	**************************************	
	保育に関する計画については、3段階で作成され、状況に応じて変更も行われます 保育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大き〈3段階(り、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画のは日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要にが行われることあります。	の作成の際に
	子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記され、大事に管理されています 子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。このは、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けす。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われております。	ナされていま
	子ども一人ひとりの状況は保育にあたる職員間で共有されています 各クラスでの情報共有は、主に各クラスを担当する正職員の間で行われており、クラスごとに定期的に開かれるカリキュラムを 週案・日誌・連絡ノート等の書類を通じて共有されています。また、、日々の情報共有については、毎日行われる昼のミーティン ノートと用いて行われ、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。	
٦	サブカテゴリー5	
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
	評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
1	· 評価 標準項目	
1	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにし	i
	● あり ○ なし ここと でいる 2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当
	● あり ○ なし	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	

	評価項目2 サービスの実施に	こあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している 	評点(	Α	)
	評価	標準項目			
	<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している			○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることの 相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	ないよう、	職員が	○非該当
	● あり ○ なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている			○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
		サブカテゴリー5の講評			
	園では、オムツ換 コーナーに対する	5心身ともに一人ひとりを尊重する気持ちを育てています えは特定の先生が目隠しのある所定の位置で行うようにしており、また、トイレにおける酢配慮など、子どものプライバシーに配慮した取り組みを行っています。また、こうした取り約りを尊重する気持ちが育まれるよう、配慮しています。			
	園では、言葉遣いは、園独自のマナおいて9割を超え	方について、不適切なことが無い様、定期的に振りかえりを行っています等に関してカリキュラム会議や職員会議において話合いを行い、不適切な対応について一に関するチェックリストを作成しており、完成し次第、活用される予定となっています。なる保護者から「子どもは大切にされている」と、また、8割を超える保護者から「礼儀正しくって現れていると考えられ、着実に成果に結びついている活動と評価できます。	ぱお、この	成果は利	用者調査に
		サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準	<b>基化</b>			
		、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 	評点(	A	)
	評価	標準項目	マルギ語	· ^/- + no	
		1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事確にしている 2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	頃や子順	寺を明	○非該当
	● あり ○ なし	2. 子引書寺は、職員の共通理解が得られるような表現にしている 3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検し	ている		○非該当
	● あり ○ なし	3. 提供しているサービスが足められた基本事項や子順等に泊りているがとりがを点換で 4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活		Z	○非該当
	● あり ○ なし		тто си	ຈ	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	
<b>評点</b> ( A ) <u>評価 標準項目</u> 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている ○ まま  2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子	
評価 標準項目  1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている  ③ あり ○ なし  2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子	
1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている  ③ あり ○ なし  2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子	
<ul><li>● あり ○ なし</li><li>② 非語</li><li>2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子</li></ul>	
	<del>⊁</del> 717
	ダヨ
~ - 12毛の様子を以降する13にしている   ~	
	亥当
3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでい	
● あり      ○ なし <sup>る</sup>	亥当
A+の取り組み】 ○ あり <b>●</b> なし	
A+の取り組み】	
まざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <b>評点</b> ( <b>A</b> )	
評価 標準項目 標準項目 1. 「大きなおもめ会議等の機会を通じて、サービスの基本専項的手順等が離場会体に行き渡るようにしてし	
1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにして   ・	,
	<b>亥当</b>
2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	
● あり ○ なし	亥当
3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	
● あり ○ なし	亥当
4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	
● あり ○ なし	亥当
5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	^_
	÷ \/
● あり ○ なし	※ヨ
A+の取り組み] ○ あり · <b>⑥</b> なし	
サブカニブリーでの誰が	
サブカテゴリー6の講評	
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています	
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています 園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職	<b>員も活</b>
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています 園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職目できるものとして作成されており、パート職員も含めた全職員が1つのマニュアルを通じて、共通理解の下に保育が進められる素料	員も活 りを作
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています 園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職	員も活 りを作
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています 園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職目できるものとして作成されており、パート職員も含めた全職員が1つのマニュアルを通じて、共通理解の下に保育が進められる素料	員も活 りを作
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています 園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職目できるものとして作成されており、パート職員も含めた全職員が1つのマニュアルを通じて、共通理解の下に保育が進められる素料	 員も活 bを作
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています。 園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職員できるものとして作成されており、パート職員も含めた全職員が1つのマニュアルを通じて、共通理解の下に保育が進められる素料がものとして、大変評価できます。 マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています。マニュアルの内容は、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度、話合いが行われ、必要に	応じ、
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています。 園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職員できるものとして作成されており、パート職員も含めた全職員が1つのマニュアルを通じて、共通理解の下に保育が進められる素料がものとして、大変評価できます。 マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています。マニュアルの内容は、年に1回、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度、話合いが行われ、必要に国容の見直しが行われています。見直しを行った際には、マニュアルへ最終確認日を入れるルールとなっているため、どのマニュアル	応じ、
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています。 園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職員できるものとして作成されており、パート職員も含めた全職員が1つのマニュアルを通じて、共通理解の下に保育が進められる素料がものとして、大変評価できます。 マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています。マニュアルの内容は、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度、話合いが行われ、必要に	応じ、
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています。 園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職員できるものとして作成されており、パート職員も含めた全職員が1つのマニュアルを通じて、共通理解の下に保育が進められる素料がものとして、大変評価できます。 マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています。マニュアルの内容は、年に1回、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度、話合いが行われ、必要に国容の見直しが行われています。見直しを行った際には、マニュアルへ最終確認日を入れるルールとなっているため、どのマニュアル	応じ、
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています。 園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職員できるものとして作成されており、パート職員も含めた全職員が1つのマニュアルを通じて、共通理解の下に保育が進められる素料がものとして、大変評価できます。 マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています。マニュアルの内容は、年に1回、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度、話合いが行われ、必要に国容の見直しが行われています。見直しを行った際には、マニュアルへ最終確認日を入れるルールとなっているため、どのマニュアル	応じ、
園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています。このマニュアルはパート職員で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職員できるものとして作成されており、パート職員も含めた全職員が1つのマニュアルを通じて、共通理解の下に保育が進められる素料がものとして、大変評価できます。 マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています マニュアルの内容は、年に1回、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度、話合いが行われ、必要にお容の見直しが行われています。見直しを行った際には、マニュアルへ最終確認日を入れるルールとなっているため、どのマニュアが1つ検討され、見直しされたかが一目でわかるよう工夫されています。	也を作 応じ、 ルが

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

	<u> </u>	、い天旭	項目 (ガナコリー 0 - 4 <i>)</i>	
	評価項目			
	子どもの	発達を促	さななの保育を行っている	
1			<b>評点</b> ( ★ A	)
	<u>÷π</u>	/ <b>I</b>	一番準元ロ	
	評	Щ	┃    標準項目 ┃1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している     ┃	
		_		
	● あり	○なし		〇 非該当
			2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
	( W	<u> </u>		
			3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	
	● あり	○なし		○非該当
			  4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	
	● あり	○なし		○非該当
			5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	慮している	○非該当
	© 00 0	<u> </u>		
	【A+の取	川組み	( あり	
	1/1/02/4/	( ) WITO).		
			AT 177-7 A#AT	
			評価項目1の講評	
	多様な値	保育活	動に取り組んでいます	
			まがこうスプルロンでです。 、マンダラぬりえや年賀状製作などの制作活動のほか、わらべうたや体力の向上などにも貢献するリズム、	さらに七々笙
			、、マンテンぬりたド午員が装下などの間下冶勤のはか、わらべったド体力の同工などにも貢献するり入立、 いいちゃんおばあちゃんと遊ぼう会といった異世代交流も行っております。また、 園外活動では、日々活発に行	
			でも行われる)散歩活動をはじめ、芋ほりや遠足などイベント的なものも行われており、様々な経験をつむこと	
			用意されています。	
	暗宝 児	の 妥 λ :	れ体制が整えられており、状況に応じた保育が展開されています	
			す。	異され ブリフ
			りることから、他設的にも障害だ休育用の「特別至」があり、また、障害の内谷により補助者となる人員も配真 竟としては他園に比べ恵まれた状況といえます。また、専門家による定期的な巡回指導を受けることができ、	
			現としては他国には、へぶよりにかんといたよう。 また、守门家による定期的な巡回指導を支げるととができ、 じた対応方法を学ぶ機会も用意されており、これらを有効に活用した充実した保育が展開されています。	100 1
	0 0 7001	///bic/ic/	いたが、 できる は、	

木食ハフノスをそ	「慮したうえで、おいしい食事を出している <b>評点( A+</b>	)			
		,			
評価	標準項目				
	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	1			
● あり ○ なし	1	○非該当			
	  2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<del>                                     </del>			
9 + m O + l		<u></u>			
● あり ○ なし	<u></u> !	○非該当			
	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している				
● あり ○ なし		┃ ○ 非該当			
<b>●</b> Øリ ∪ ಢ∪					
	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている				
● あり ○ なし	1	○非該当			
		○ · II			
	5. [0歳児を受け入れている保育所のみ]	1			
○あり ○なし	乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	● 非該当			
	<u> </u>	U			
A+の取り組み	<b>● あり ○ なし</b>				
	」 ○ のり ○ なり や芋ほりなどの収穫活動、掘った芋を調理する活動など、栽培から調理に至る流れを食育としてとらえ、子ど				
長を促す活動と位	2置づけて展開されています。特に栽培活動については、2歳児より取り組んでおり、今年は、トマトやゴーヤ うちから土や野菜に触れる機会が設けられており、大変評価できます。				
	評価項目2の講評				
	■楽し〈なる環境整備を行っています				
		/			
	事食の際には、ランチ皿を使用してバイキング形式での会食とするなど、特別な日には、食事のメニューだけ				
	より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。また、普段の食事においても、テーブルに花を飾り				
、切にし、落ち着	いて食事ができるよう配慮するとともに、食事の量を予め調整したり、場合によっては食事を残してもよいこと				
	とに主眼が置かれた取り組みが行われています。				
ㅁ미ㄴ쇘땨()	た食事を提供しています				
アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供した。					
	た、配膳に関しても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるな	よど、間遅い			
が起こらなないょ	う、様々な工夫が凝らされています。				
҈車がⅠ,やす′	ハ環境を整えています				
	らたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて「				
	、なるべく高さの合うイスやテーブルを用意するとともに、必要に応じて足マットを使って足の高さの微調整を	を行うなと			
ての子どもが食へ	、やすい体制で食事ができるよう配慮されています。				
評価項目3					
	建康を回復・維持するための支援を行っている				
, = .		)			
評価	標準項目				
	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している				
● あり ○ なし	, · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1			
● Øy U へ	·	○非該計			
		○非該			
	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該			
<b>→</b> +n	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	① 非該			
● あり ○ なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○ 非該			
● あり ○ なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある				
	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	〇 非該:			
<ul><li>● あり ○ なし</li><li>● あり ○ なし</li></ul>	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該			
	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該			
● あり ○ なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○ 非該			
_	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<ul><li>非該</li><li>非該</li></ul>			
<ul><li>あり ○ なし</li><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○ 非該 ○ 非該			
<ul><li>あり ○ なし</li><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<ul><li>非該</li><li>非該</li></ul>			
<ul><li>あり ○ なし</li><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○ 非該 ○ 非該			
<ul><li>あり ○ なし</li><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○ 非該 ○ 非該			
<ul><li>あり ○ なし</li><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○ 非該			
<ul><li>あり ○ なし</li><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○ 非該			
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている				

#### 評価項目3の講評

#### 子どもの健康状態は、看護師が毎日把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用い対応しています。

#### 保健だよりや園内の掲示により、情報提供を行っています

保健分野に関する保護者への情報提供は、月1回発行の保健だよりを通じて行っているほか、特に感染症に注意が必要な時期は、おたよりのほかに園内掲示をして注意を喚起するなど、予防対策に取り組んでいます。また、保護者からの相談にも応じており、担任を介しての相談のほか、連絡ノートを用いた相談や直接相談を受けるなど、様々な形で対応を行っています。

# 健康教育に取り組んでいます

月に1回以上の頻度で、年長児を中心として健康教育を実施しています。テーマは、「かぜ」や「ばいきん」といった病気に関するものから、 4歳児から参加する「かんで食べる」などがあり、成長の度合いや季節なども考慮しながら何を行うか、決定しています。

Α

)

非該当

○非該当

# 

3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている ● あり ○ なし ○ 非該当

【A+の取り組み】

○なし

あり

○ あり 🏽 むし

#### 評価項目4の講評

#### プロジェクトチームを組んで環境設定に取り組んでいます

園では、環境設定の改善に力を入れており、環境プロジェクトを中心として取り組まれています。室内については、園全体で取り組むような 大掛かりな環境改善はひと段落ついている状態です。各クラスでは、乳児が落ち着いた環境の中でじっくりと活動を展開できるよう、小集 団で活動する小さい環境の設定を行い、遊びを引き出している事例などもあり、現在の室内環境は保育の狙いに沿う環境設定が行いや すい素地ができあがった状態であるといえます。今後は、園庭の環境改善を行う予定となっており、その取り組み成果が期待されます。

# 子どもたちが楽しめる工夫をしています

園では、個別配慮を細かく行うことによって、子どもたちが楽しめる場を提供したいと考えており、誕生祝については子ども一人ひとりの気 持ちを大切にして誕生日の日にお祝いを行うようにしています。

# 午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

午睡については、子どものリズムにできるだけあわせる配慮を行っています。乳児クラスについては、食事前に布団を敷き、食事が終わったらすぐに眠ることができる体制作りを行っているとともに、食事する場所や寝る場所を固定とし、落ち着いて休めるように配慮されています。また、幼児クラスについても、早く寝たい子、目が覚めてしまう子がそれぞれ快適に過ごせる場所を確保して対応しています。

評価	評価		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1
● あり ○ なし	● あり		評点( A	)
● あり ○ なし ② を	● あり ○ なし ② と 使り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している ② 申録当 ③ 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている ③ 申録当 ③ なし 4 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている ③ 申録当 5 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている ③ 申録当 5 保護者が各育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている ③ 申録当 5 保護者が各育所の行事などに参加しやすい工夫を行っていま 5 保護者が各有所の行事などに参加しやすい工夫を行っていま 5 保護者の自動的 ○ なし ○ あり ② なし ○ あり ② なし ○ おり ○ な ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ おり ○ なし ○ まは ○ まは ○ まは ○ なし ○ なし ○ なし ○ まは ○ なし ○ まは ○ なし ○ なし ○ まは ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ まは ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ なし ○ な	<u>評価</u>		1
● あり	● あり	<b>a</b> ±11		○非業业
● あり ○ なし  ③ あり ○ なし  ③ あり ○ なし  4 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている  ③ 本該当  ⑤ あり ○ なし  5 保護者からの相談に応じる体制を整えている  ② 本該当  ⑥ あり ○ なし  ※ おり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なり ○ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なし  ※ 表表 ・ なり ○ なり ○ なり ○ なり ○ なり ○ なり ○ なり ○ なり	● あり ○ なし			U ∓FRX∃
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている</li> <li>○ ままままます。</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている</li> <li>○ ままままます。</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ 本書 (保護者がらの相談に応じる体制を整えている)</li> <li>○ 本書 (保護者がらの相談に応じる体制を整えている)</li> <li>○ 本書 (保護者がらの相談に応じる体制を整えている)</li> <li>○ 本書 (保護者がらの相談に応じる体制を整えている)</li> <li>○ 本書 (保護者がらの相談に応じる体制を整えています。</li> <li>○ 本書 (保護者のと利用して、情報提供を行っています。</li> <li>○ 本書 (保護者のと目の)</li> <li>○ 本書 (保護者のと目の)</li> <li>○ 本書 (保護者のとしています。)</li> <li>○ 本書 (保護者の発達や育児などについて、整該会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを得るままは、(保護者の発達や育児などについて、整該会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを得るままは、(保護者の発達できるような体制を整えている)</li> <li>○ 本書 (保護)</li> <li>○ 本書 (保護)</li> <li>○ 本書 (日本)</li> /ul>	<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている</li> <li>○ ままき</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>○ 本 (保護者がらの相談に応じる体制を整えている)</li> <li>○ ままりや日誌、写真なども活用して、情報提供を行っています</li> <li>建者への関からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・圏・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その日の出来事をお終したして目話などもクラスでとのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されており、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子がは常に伝わるように工夫をしています。</li> <li>課業者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています</li> <li>製入面談については、保育参製(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにしまり、後半の保護者会会では、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。また、後半の保護者会をよりたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。</li> <li>・申録に関目6</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>● 本の (保護者会後にアレビスを受けている疑いのある子どもの情報を得たときや患待の事実を把握をした際には、組 (事業計画をして) なない (本を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや患待の事実を把握をした際には、組 (本ま計画のより) なし (保護剤に関金・通告を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや患待の事実を把握をした際には、組 (本ま計画のより) なな (保護剤に関金・通告を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや患待の事実を把握をした際には、組 (本ま計画のより) なな (保護剤に関金・通告を受けている疑いのある子どもの情報を得なととや患待の事実を把握をした際には、組 (本ま計画のより) なな (保護剤に関金・通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている (保護剤に関金・通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている (保護剤に関金・通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている (保護剤に関金・通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている (保護剤に関金・通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている (保護剤に関金・通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている (保護剤に関金・通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている (保護剤に関金・通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている (保護剤に関金・通告を受けている疑いのある子どもと保護をの情報は、保護者との表述を行る取り組みを得る取り組みを得る取り組みを得る取り組みをできるようにない。 (本語のより) などのないのは、 (本語のより) はないのは、 (本語のより) などのは、 (本語のより) などのは、 (本語のより) などのは、 (本語のより) などのは、 (本語のより) などのないのは、 (本語のより) などのは、</li></ul>	<b>a</b> + 11		O 45**
● あり ○ なし	● あり ○ なし	シぁリ ()なし		○非該当
● あり	● あり			
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>○ ま飲き</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ まり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ おり ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なし</li> <li>○ より ○ なり ○ なり ○ なり ○ なり ○ なり ○ なり ○ なり</li></ul>	<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>○ ままき</li> <li>○ まり ○ なし</li> <li>○ まり ○ なし&lt;</li></ul>	● あり ○ なし		○ 非該当
● あり ○ なし	● あり ○ なし		4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	
● あり	● あり ○ なし	◉ あり ○ なし		○非該当
辞価項目5の講評  よりや日誌、写真なども活用して、情報提供を行っています 譲著への園からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種あたよりを発行しています。また、その日の出来事をおえしている日誌などもクラスごとのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されてあり、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子が活者に伝わるように工夫をしています。  R護者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています  A人面談に同じては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにして関での当段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにしては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。また、後半の保護者会をもしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「評価」 標準項目  「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	## ( A )     評価		5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	
評価項目5の講評  はりや日誌、写真なども活用して、情報提供を行っています 譲者への園からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その日の出来事をおましている日誌などもクラスごとのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されており、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子が著言に伝わるように工夫をしています。  R護者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています  別面談については、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにし、後半の保護者会をこいには、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保護者会をよしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「標準項目 標準項目 標準項目 「虚待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている 事務としたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「本語学校の表現しての速やかな対応を決定する体制を整えている 「本語学校としての速やかな対応を決定する体制を整えている 「本語学校としての速やかな対応を決定する体制を整えている 「本語学校としての速やかな対応を決定する体制を整えている 「本語学校としての速やかな対応を決定する体制を整えている 「本語学校としての速やかな対応を決定する体制を整えている 「本語学校としての速やかな対応を決定する体制を整えている 「本語学校としての速やがな対応を決定する体制を整えている 「本語学校としての速やがな対応を決定する体制を整えている 「本語学校としての速やがな対応を決定する体制を整えている 「本語学校としての速やが変している機能の表現である。 「本語学校を関係を表現である。 「本語学校を表現でいる」 「本語学校を表現である。 「本語学校を表現でいる」 「本語学校を表現でいる」 「本語学校を表現でいる」 「本語学校を表現を表現でいる。 「本語学校を表現でいる」 「本語学校を表現でいる」 「本語学校としている。 「本語学校を表現でいる」 「本語学校としている。 「本語学校を表現では、「本語学校と表現でいる」 「本語学校と表現でいる」 いる。 「本語学校と表現でいる」 「本語学校と表現で、表現でいる。 「本語学校と表現で、表現で、表現では、まれている。 「本語学校と表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、	評価項目5の講評  はりや日誌、写真なども活用して、情報提供を行っています 譲者への園からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その日の出来事をお失している日誌などもクラスことのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されており、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子が「者に伝わるように工夫をしています。  R護者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています  別面談については、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにしり、後半の保護者会については、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保護者会をもしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「標準項目 標準項目 標準項目 「虚待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	● あり ○ なし		○非該当
評価項目5の講評  はよりや日誌、写真なども活用して、情報提供を行っています 譲着への園からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その日の出来事をおましている日誌などもクラスごとのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されており、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子が著言に伝わるように工夫をしています。  R護者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています  J 面談については、保育参観(参加)と組み合わせるようにして圏での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようには、後年の保護者会をについては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保護者会をおしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「標準項目 標準項目 「虚待防止や育児困難家庭への支援を行っている 標準項目 「本海」の勉強会・研修会を実施し理解を深めている ・ 非該当	評価項目5の講評  はりや日誌、写真なども活用して、情報提供を行っています  譲者への園からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その日の出来事をお失している日はなどもクラスごとのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されており、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子が著官に伝わるように工夫をしています。  R護者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています  別人面談については、保育参観(参加)と組み合わせるようにして圏での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにし、後年の保護者会については、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保護者会をおしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「標準項目 標準項目 は一様準項目 は一様準項目 は一様では は は は は は は は は は は は は は は は は は は			1
よりや日誌、写真なども活用して、情報提供を行っています  護者への圏からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・圏・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その日の出来事をおたしている日誌などもクラスごとのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されており、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子が著に伝わるように工夫をしています。  「経護者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています  「人面談については、保育参観(参加)と組み合わせるようにして圏での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにり、後半の保護者会については、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保護者会をしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「神師」 標準項目  「およどもの表現の表現を行っている 標準項目  「本語の知知のなし、と、「本語の表現を行っている は、一番において、「本語の知知会・研修会を実施し理解を深めている ・	よりや日誌、写真なども活用して、情報提供を行っています  護者への圏からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・圏・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その日の出来事をおたしている日誌などもクラスごとのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されており、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子が著に伝わるように工夫をしています。  経護者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています  人面談については、保育参観(参加)と組み合わせるようにして圏での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにり、後半の保護者会については、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保護者会をもしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「神病( A )   「評価 標準項目	キ+の取り組み	] ○ あり ● なし	
保護者への働からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・圏・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その日の出来事をお発せしている日誌などもクラスごとのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されており、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子が優者に伝わるように工夫をしています。  保護者会 や面談 は他の行事とセットで行うよう設定しています  園人面談については、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにしおり、後半の保護者会については、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保護者会をおりしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「神価	保護者への園からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その日の出来事をお失せしている日誌などもグラスごとのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されており、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子が養者に伝わるように工夫をしています。  保護者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています  園人面談については、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにしたり、後半の保護者会については、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保護者会をおりしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「神仏			
<ul> <li>① あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</li> <li>② 非該当</li> <li>② 1. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている</li> <li>③ 1. 虚待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>③ 非該当</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ おり ○ なし</li> </ul>	<ul> <li>1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>② おり ○ なし</li> <li>2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている</li> <li>③ まさきを受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</li> <li>● まききないまする</li> </ul>		談け他の行事とセットで行うよう設定しています	
<ul> <li>① あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② は職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている</li> <li>③ ま該当</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ 虚待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> </ul>	<ul> <li>1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>② おり ○ なし</li> <li>2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている</li> <li>③ まさきを受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</li> <li>● まききないまする</li> </ul>	り、後半の保護・したときは、個. ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ で で で で で で で で で で で で	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができる。とができるについては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  山みや育児困難家庭への支援を行っている	護者会をお
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>② お該当</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている</li> <li>③ まに待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>④ ま該当</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</li> <li>○ 非該当</li> </ul>	<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>② お該当</li> <li>② お談当</li> <li>② おり ○ なし</li> <li>② ままとしての速やかな対応を決定する体制を整えている</li> <li>③ まきを受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>③ 非該当</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ よ子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</li> <li>① 非該当</li> </ul>	り、後半の保護・したときは、個 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	では、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるといっては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。	護者会をお
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>③ 非該当</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>● まま当</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</li> <li>● まま当</li> </ul>	<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>③ よ信待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	り、後半の保護・したときは、個 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるといっては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。	護者会をお
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>織としての速やかな対応を決定する体制を整えている</li> <li>○ 非該当</li> <li>③ 息待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>○ 非該当</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</li> <li>○ 非該当</li> </ul>	<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>織としての速やかな対応を決定する体制を整えている</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>③ 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>● まま当</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</li> <li>● まま当</li> </ul>	り、後半の保憩・したときは、個。 で価項目6 は待防止の取り約 評価	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるとのいては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  神点( A 標準項目 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	護者会をお
<ul> <li>● あり しなし</li> <li>③ a. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>● あり しなし</li> <li>④ まま当</li> <li>● あり しなし</li> </ul>	<ul> <li>● あり しなし</li> <li>③ . 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている</li> <li>● まり しなし</li> <li>④ まま当</li> <li>④ まままり</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(お) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(お) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(お) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(お) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(お) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) なし</li> <li>(本) ない</li> /ul>	り、後半の保憩・したときは、個。 で価項目6 は待防止の取り約 評価	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるとのいては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「おおおいでは、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「神人( A 標準項目 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	護者会をお
<ul> <li>● あり ○ なし 「係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている ○ 非該当</li> <li>● あり ○ なし 「</li></ul>	<ul> <li>● あり ○ なし 「係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている ○ 非該当</li> <li>● あり ○ なし 「イランでいる ○ 非該当</li> <li>● あり ○ なし 「イランでいる ○ 非該当</li> </ul>	り、後半の保憩・したときは、個。 で価項目6 は待防止の取り約 評価	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるといったは、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。	)
<ul> <li>● あり ○ なし 係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている ○ 非該当</li> <li>● あり ○ なし 「行っている ○ 非該当</li> </ul>	<ul> <li>● あり ○ なし 係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている ○ 非該当</li> <li>● あり ○ なし 「</li></ul>	り、後半の保憩 したときは、個。 で価項目6 持防止の取り結 評価 のあり のなし	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるといっては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「おおおいでは、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」  「「「「「「「	) 非該当
● あり ○ なし 4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを	● あり ○ なし 4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを 行っている ○ 非該当	り、後半の保憩 したときは、個。 で価項目6 持防止の取り結 評価 のあり のなし	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるといっては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。 <b>評点( A</b> 「標準項目 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている  2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	) 非該当
● あり ○ なし 行っている	● あり ○ なし 行っている ○ 非該当	り、後半の保護したときは、個点ではできます。 ででは、個点では、個点では、個点では、個点ではできます。 では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるとについては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  おおり、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  おおり、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  おおり、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  おおり、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  おおり、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  おおり、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  「標準項目  1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている  2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている  3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係が関いている。  「は、経費用に紹会・通生を行い」その後まも構できるような体制を整えている。	) 非該当
		り、後半の保護したときは、個点ではできます。 ででは、個点では、個点では、個点では、個点ではできます。 では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができる会については、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。  神点( A 標準項目 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている 2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている 3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	) 非該当
A+の取り組み] ○ あり <b>②</b> なし	A+の取り組み】 ○ あり ● なし	り、後半の保憩したときは、個点 ではでは、個点 ではでは、個点 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではいると ではいる ではな ではいる ではな ではな ではな ではな ではな ではな ではな ではな	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができる会については、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。	) 非該当 非該当
		り、後半の保憩したときは、個点 ではでは、個点 ではでは、個点 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではいると ではいる ではな ではいる ではな ではな ではな ではな ではな ではな ではな ではな	ては、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができる会については、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。	) 非該当 非該当
		では、後半の保護したときは、個点では、 では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点	では、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるとについては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。	護者会をお
		では、後半の保護したときは、個点では、 では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点では、個点	では、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるとについては、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。	) ・ 非該当 ・ 非該当

	評価項目6の講評	
	区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます	
	虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭式児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発足が統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。	を援センター、 見時の対応な
	研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています 区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組みを行っています。全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。	
	評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	
7	評点( A	)
	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している ● あり ○ なし	○非該当
	②. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	[A+の取り組み] <b>()</b> あり <b>()</b> なし	
	評価項目7の講評	
	地域の情報を保護者に提供しています 杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域施設や機関から依頼 は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。	があった場合
	夏祭りや運動会等の行事を通じて、地域との交流を図っています 職員以外との交流については、職場体験や実習生との交流のほか、園で開催される夏祭りや運動会の際には、多〈の家族ヤ域の方々の参加があり、交流を図るよいチャンスとなっている。	⊅卒園児、地

(事業所名: 杉並区立荻窪南保育園)

	特に良い	1と思う点
	101000	  入園直後は子どもへの影響を考えた保育を保護者とともにすすめています
	タイトル	八国直後は丁とも、の影響を与えた休月を休暖自こともにすずめています
1	内容	初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、少人数の集団での保育や特定の保育士による保育など職員の人員配置を手厚くする体制で臨んでいます。また、保護者にも、初日から数日は短時間保育を行う「なれ保育」にご協力いただいております。1歳児クラスについては、早めに面談を行うとともに面談日には保育参加も行ってもらい、園でのお子さんの様子を確認していただいています。その後面談を行って、保育士から見たお子さんの様子をお伝えし、安心して園に預けていただけるよう支援を行っています。
	タイトル	プロジェクトチームを組んで環境設定に取り組んでいます
2	内容	園では、環境設定の改善に力を入れており、環境プロジェクトを中心として取り組まれています。室内については、園全体で取り組むような大掛かりな環境改善はひと段落ついている状態です。各クラスでは、乳児が落ち着いた環境の中でじっくりと活動を展開できるよう、小集団で活動する小さい環境の設定を行い、遊びを引き出している事例などもあり、現在の室内環境は保育の狙いに沿う環境設定が行いやすい素地ができあがった状態であるといえます。今後は、園庭の環境改善を行う予定となっており、その取り組み成果が期待されます。
	タイトル	チャレンジプランの仕組みが定着し、人材育成に活かされています
3	内容	毎年度、園の重点目標と実行計画であるチャレンジプランを作成し、これに基づいて職員が個人用チャレンジプランを作成して、半期ごとに取り組み状況や成果の評価、見直しを行う仕組みが定着化しています。今年度は、「受けとめよう、手わたそう、気持ちと言葉のキャッチボール」を園のチャレンジプランの名称に掲げ、保育環境の見直しや保護者との情報の共有、互いに助け合う職場環境づくりに取り組みました。園長は、チャレンジプランに設定した職員の目標の実現を応援・協力し、個々のやる気や能力を引き出して、人材育成に積極的に活用しています。
	さらなる	
	タイトル	地域に向けた情報発信と地域との交流の充実が望まれます
1	内容	現在のところ、園と地域との交流については、夏祭りや運動会の際に地域の方々が園を訪れるということが中心となっており、園の方から地域に出て行〈活動については小学校訪問等にとどまっている。学校区や自治会の境界付近に立地している等、地理的に不利な部分はあるものの、公立保育園としては、地域に根ざした活動が求
		めれていることから、地域との結びつきを強固にする様々な取り組みが今後展開されることに期待したい。
	タイトル	めれていることから、地域との結びつきを強固にする様々な取り組みが今後展開されることに期待したい。 園全体の目標実現に向けた取り組みと成果が見えるように
2	タイトル内容	
2		園全体の目標実現に向けた取り組みと成果が見えるように 職員個々の目標実現を応援し、自主的な取り組みを促進している当園ですが、園全体での組織的な取り組みや 成果がやや見えにくいように思われます。保育面でのクラス間の連携に力を入れているものの、利用者調査で は、職員の対応のパラツキを指摘する意見も見られました。園のチャレンジブランと個人のチャレンジブランとの 連動性を高めるとともに、園の目標の達成度をより具体的に確認できることが望まれます。現在、新保育指針の 改定に伴い、保育課程も含めた計画の見直しを進めており、園の理念・方針の整理・再構築に期待したいと思

# 高井戸東保育園

保育 夏

(事業所名: 杉並区立高井戸東保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯81世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数81共通評価項目による調査対象者数81共通評価項目による調査の有効回答者数67利用者総数に対する回答者割合(%)82.7

# 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の約9割を占める結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が89.5%)。個別にみると、「職員の対応は丁寧」についてはすべて肯定的な意見で占められている他、「提供される食事への配慮」、「体調変化への対応」、「子どもは大切にされている」などについても肯定的回答が9割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。 一方、「行事日程の設定」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「要望や不満への対応」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

# 利用者調査結果

用有調宜結果				
共通評価項目		実	数	
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	65	2	0	0
食事やおやつへの満足度は非常に高く、栄養バランスを考えたメニューや子どもに合わせれており、否定的な意見は見られませんでした。	た調理方法	<b>まなど、肯定</b>	三的な意見:	が寄せら
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	59	5	2	1
肯定的な回答は約9割を占めており、保護者の大多数が満足している姿がうかがえます。 する意見が見られるほか、「昨年度より少な〈なった」「園庭が狭い」などの否定的な意見も			いては、概	ね満足と
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	54	7	1	5
肯定的な回答は約8割を占め、満足する人が多い項目です。延長利用(スポット保育)が導などが満足度を高める要因となっていると予想されます。自由回答でも、柔軟な対応に満り				可能なこと

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	65	1	1	0
肯定的な回答は9割を大き〈超えており、ほとんどの保護者が満足している項目です。園でいる状況がうかがえます。	の活動が低	<b>呆護者に伝</b>	わり、よく理	目解されて
5.安全対策が十分取られていると思うか	52	8	5	2
肯定的な回答は8割弱で、特に0~2歳児の保護者の満足率が2割近く低い結果となってい面での不安を訴える意見が多くみられるとともに、子ども同士のけがに対する意見も複数署			人の出入り	りなど防犯
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	45	13	8	1
肯定的な意見は7割を下回っており、特に0~2歳児の保護者の満足率が3歳以上の保護者ます。自由意見では、平日の行事を不満に感じるもの、さらに早い予定の周知を望むものが				
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	58	8	1	0
肯定的な意見は8割を大きく超えています。自由回答では、相談のしやすさを評価するものわない、相談できる保育士が少ない、という意見も少数ながらみられます。	が多数を占	うめていま <sup>っ</sup>	すが、タイミ	ングが会
8. 保護者の考えを聞〈姿勢があるか	59	6	1	1
肯定的な回答は約9割を占め、否定的な回答はほとんどありません。職員の姿勢についてかがえます。	は、安定し	た評価が得	られている	らことがう
9.サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	58	8	0	1
肯定的な意見は8割を大きく超えており、否定的な回答はみられません。"どちらともいえな守っているかわからない」ということが主なものと考えられます。	い"と回答	する理由と	しては、「ど	のように
10.一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	63	4	0	0
肯定的な回答は9割を大き〈超え、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。 ていると感じます、といった肯定的な意見が寄せられています。	とてもかわい	ハがっても	5い大切に	してもらえ

11.職員の対応は丁寧か	67	0	0	0
すべて肯定的な回答で占められており、否定的な回答はありません。職員の丁寧さについうかがえます。	ては、安定	した評価が	得られてい	いることが
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	37	22	4	4
対応については、肯定的な回答は5割を超えた程度ですが、否定的な回答は少数です。自見の他、不満がないといった意見も寄せられています。	目由意見で	ま、不満は	言いづらい	といった意
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	43	16	2	6
対応については、肯定的な回答は6割を大きく超え、否定的な回答は少数です。自由意見 具体的な対応が示されないとする意見も寄せられています。	は少ないで	すが、要望	は受け付1	けているが
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	21	6	36	4
知らない人が多勢で、全体の5割強を占めており、ポスター等が園内や公共施設に掲示しれていない状況が結果となって現れています。	てあるにも	かかわらず	、関心を持	って見ら
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	13	1	0	0
1年以内に利用を開始した14人中13人が肯定的な回答をしています。否定的な回答はなくはおおむね満足している状況がうかがわれます。	、自由意見	.もな <u>いた</u> め	、園の説明	また対して

[組織マネジメント:認可保育所]

(事業所名: 杉並区立高井戸東保育園)

組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)

	共通評価項目	
II # > → l.x	カテゴリー1	
リーダーシップと意	<b>息总决定</b>	
	サブカテゴリー1	
事業所が目指して	こいることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1		
事業所か目指して	こいること(理念、基本方針)を明確化・周知している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	O 11 43 414
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	  4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を	
●あり ○なし	田八記こすことができる取り組みた行っている(会議内に確認できるなど)	○非該当
【A+の取り組み】	<u> </u>   ○ あり	
「A+リカスリ組み」		
評価項目2	マネクセント・ロング ののでは、またないというできます。 マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マ	
	習者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点( A	)
 評価	標準項目	
нт іш	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	

評価項目3 重要な案件につい 係者に周知してい	1て、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
● あり ○ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし	
	カテゴリー1の講評	

# 園の保育理念、保育基本方針、園目標を周知しています

保育の理念や保育ビジョン、保育基本方針「私たちは子どもの育ちを支えます / 保護者の子育てを支えます / 子どもと子育てにやさしい社会を作ります」や、園目標「心身ともに健康で元気に遊べる子ども」を作成し、体系的に整理した上で職員会議で全体に周知するとともに、玄関に掲示しています。 園のしおりや区の園紹介のホームページには、園目標が掲載されています。 保護者に対しては、入園説明会や年度初めの保護者会で園目標や各クラスの目標について説明を行っているほか、保育理念や保育基本方針については、園だよりに掲載して伝えています。

# 園長は、自らの方針、役割と責任を職員に伝えています

園長は、園の代表として、子どもの安全確保(受け入れ時と同じ状況で返すこと)、職員の管理(民意を反映すること)、保護者に対する説明責任、が自らの役割と責任であると考えています。職員会議において、これらの役割と責任について言及し、園の保育理念や基本方針を全体に周知するとともに「保育園と家庭と地域の中で、子どもを真ん中にして協力して子育てをする」という自らの方針も強く示しています。また、園長としての年間計画と半期ごとの反省を職員に公開することで、現在の園の課題の解決に自ら率先して取り組む意思を伝えています。

### 職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園会議の決定手順書が作成され、園の会議体(リーダー会議、職員会議、乳児打ち合わせ、幼児打ち合わせ、係・プロジェクト担当者会議)が明確になっています。重要な案件は、クラスごとの討議を経て、職員会議で全体に報告し、検討・決定しています。また、重要な意思決定についても、職員会議の場で全体に説明・周知しています。特に、年度未及び年度始めの職員会議では、一年間の園運営や保育の反省・総括と新年度の計画の確認を行っています。保護者に対しては、保護者会や園だより等を通じて、重要な案件に関する決定事項や経緯を伝えています。

10 24 1 - A 1 L 2 A 1 A	カナコリーと	
経営における社会	的頁位	
	サブカテゴリー1	
計会人・福祉サー	ビス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	
工公八 旧正)		
評価項目1		
社会人∙福祉サー	ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	
	評点( /	<b>4</b> )
評価	標準項目	
81.10	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	
● あり ○ なし		〇非
●あり ○なし		,   〇非
● あり ○ なし		U ∃Fi
A+の取り組み)	○ あり ・ ● なし	
平価項目2 ミニ老による証明	「の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織と	
三百による計画		<b>A</b> )
2 (7.0	HI (M) ( )	• ,
評価	標準項目	
<u></u>	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り網	組ん
● あり ○ なし	でいる	〇非
	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に馴	事業
●あり ○なし	所に関する情報を開示している	
● あり ○ なし		
A+の取り組み)	○ あり <b>●</b> なし	
- 15. 5 Harr - 5 I		
	サブカテゴリー2	
は成の短がに怨っ		
3.73(0.7) 田川 に収り	2つ取り組みを行っている	
7/ボゼロ 4		
平価項目1 3業所の機能や2	<b>冨祉の専門性をいかした取り組みがある</b>	
		<b>A</b> )
評価	標準項目	
	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の	)開
● あり ○ なし	放、個別相談など)	○非
	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催	
0	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした正画・各発活動(研修会の開修 師派遣など)を行っている	_
● あり ○ なし	HP///以足・み ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	○非
A . O = 11 / C = 1	O + 10	
A+の取り組み)	○ あり ● なし	

		評点(	Α	)
評価	標準項目			
H I IM	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
● あり ○ なし				○非該当
	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
評価項目3 地域の関係機関と	との連携を図っている	評点(	Δ	)
地域の関係機関と		評点(	Α	)
評価項目3 地域の関係機関と 評価	標準項目	評点(	Α	)
地域の関係機関と		評点(	Α	) 計該当
地域の関係機関と 評価 ○ なし	標準項目		A	<u> </u>
地域の関係機関と 評価 ○ なし	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	<u> </u>
地域の関係機関と	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u>	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u>	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当

# |遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、都や区の職員ハンドブック、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、新保育所保育指針等を事務所に常備し、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員の入職時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議で周知しています。個人情報保護や職員の服務に関するプリント等の配布も行っています。

# 園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています

園庭開放(毎週火~金曜)や身体計測(毎月第3水曜)、ふれあい保育(保育所体験)を実施し、園の子ども達の日常活動に地域の親子が参加できる機会を設けています。近隣の児童館や医院に園の概要や案内リーフレットを設置しているほか、区の子育て支援の広報誌やインターネットサイトに掲載してお知らせしています。このサイトには、園長によるリサイクルおもちゃや手作りおもちゃの紹介も掲載しています。また、児童館の地域向けイベントに職員を派遣し、子どもの発達について懇談を行うなど、園の機能や専門性を活かした取り組みを行っています。

# 小学校区を中心とした地域子育てネットワークに参画しています

園は、児童館など小学校区を中心とした地域子育てネットワーク会議に積極的に参画しており、関係機関と情報交換を行いながら、地域 の子どもに関する課題について話合いを行っています。職員をネットワークの講習会に派遣しているほか、防犯や行事の開催についても 協働体制がとられており、相談や連絡調整等もスムーズに展開することができています。

	カテゴリー3	
利用者意向や地	域・事業環境の把握と活用	
	サブカテゴリー1	
利用者意向や地流	域・事業環境に関する情報を収集・活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見·要望·苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
	2. 利用者一人ひとりの意見·要望·苦情に対する解決に取り組んでいる	O TRIAD
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み	] ○ あり <b>⑥</b> なし	
評価項目2 利用者意向の集	約·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	
13/11日201300米		)
評価	標準項目	I
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み	] ⊙ ಹು0	
評価項目3		
地域・事業境境に	:関する情報を収集し、状況を把握·分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・ 分析している	○非該当
【A+の取り組み		

# カテゴリー3の講評

# 保護者の苦情等を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口についての認識度は3割程度となっており、周知方法の再検討が望まれます。日々の連絡帳で出されたクレームや意見については、保育検討委員会で都度話し合いを行っています。土曜日の受け入れ対応に関する苦情に対し、職員会議や園内研修で取り上げ、解決を図った事例を確認することができました。一言カードと意見箱を設置し、保護者が投書できる仕組みも導入しています。

# アンケート等を活用して保護者の意向を集約・分析することが望まれます

保護者の意向は、連絡ノートや一言カード、保護者会等で把握し、リーダー会議やチャレンジプラン検討会、職員会議等で報告、検討して保護者に回答するようにしています。遠足に関する意見や園生活のビデオ撮影・上映の要望に対し、園だよりに改善策を掲載して保護者に回答している事例も確認できました。しかし、利用者全体から見た園のサービスの傾向や課題を集約・分析するためには必ずしも十分な仕組みとは言えません。行事ごとや年度始めに保護者アンケートを実施することも検討しているとのことなので、今後の取り組みに期待したいと思います。

#### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワーク会議や区立保育園の園長会等への参加、新聞・雑誌の保育や子育てに関する記事から収集・把握しています。新聞や保育雑誌等は園で購読していませんが、園長が個人的に記事を収集し、区からの通知などとともに職員に回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

		サブカテゴリー1	
€践的な課	題·計	画策定に取り組んでいる	
平価項目1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
(リ組み期)	間に心	「じた課題·計画を策定している <b>評点( A</b>	)
<u>÷</u> π /#	<del></del>		
評価		標準項目 1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	1
<b>●</b> あり (	○なし	1. 注心 しノコノの大がに同けた」 区別に同じ水たらでいる	○非該計
		2. 年度単位の計画を策定している	<u> </u>
<ul><li>あり (</li></ul>	○なし	2. 千尺千世の中国で水足りです。	○非該
	_	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	O 11 Av.
<b>●</b> あり (	○なし		○非該
	- •		
4+の取り	組み】	○ あり ・ ● なし	
平価項目2			
平価項目2		課題を把握し、計画を策定している	)
平価項目2 3角的な視	点から	課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b>	)
平価項目2	!点から 	課題を把握し、計画を策定している	)
平価項目2 6角的な視。 評価	!点から 	課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目	
平価項目2 8角的な視。 評価	<b>!</b> ○ なし	課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目	
平価項目2 3角的な視 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>!</b> ○ なし	課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	) 非該
平価項目2 5角的な視。 評価 ・ あり (	i なし なし	課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該
平価項目2 8角的な視 評価 ® あり (	i なし なし	課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
平価項目2 8角的な視 評価 ® あり (	<ul><li>は</li><li>なし</li><li>なし</li><li>なし</li></ul>	課題を把握し、計画を策定している	○非該
平価項目2 3角的な視: 評価	<ul><li>は</li><li>なし</li><li>なし</li><li>なし</li></ul>	課題を把握し、計画を策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目2 3角的な視 評価	<ul><li>はいまします。</li><li>なりままります。</li><li>なりままります。</li><li>なりままります。</li><li>なりままります。</li></ul>	課題を把握し、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

≐교/표7품 □ 0			
評価項目3	行に取り組んでいる		
有夫は前回の天1	<u> </u>	)	
	ΠIAM ( /\	,	
評価	標準項目		
MI IO	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している		
● あり ○ なし		○非該当	
	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど		
● あり ○ なし	の取り組みを行っている	○非該当	
	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している		
● あり ○ なし	l	○非該当	
	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで		
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	1112	○北莽北	
● あり ○ なし		○非該当	
【A+の取り組み】			
	サブカテゴリー2		
利用者の安全の	・ ウラカテコッー2 確保・向上に計画的に取り組んでいる		
利用者の安全のは			
評価項目1	確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1	確保・向上に計画的に取り組んでいる 確保・向上に計画的に取り組んでいる	)	
評価項目1 利用者の安全ので	確保・向上に計画的に取り組んでいる 確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)	
評価項目1	確保・向上に計画的に取り組んでいる	)	
評価項目1 利用者の安全ので	確保・向上に計画的に取り組んでいる 確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)	
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全ので	確保・向上に計画的に取り組んでいる  確保・向上に計画的に取り組んでいる  評点( A  標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	) ○ 非該当	
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点( A</b> 標準項目  1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している  2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている  ○ あり ● なし	○非該当	
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当	

区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着していま す。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに園の複数年度に渡る取組みを方向付ける中期計画に発展していくことが期 待されます。

# 五つ星推進プロジェクトを組織し、チャレンジプランの実行に取り組んでいます

園では、区の意向や園の課題に沿って年度始めに五つ星推進プロジェクトチームを組み、園のチャレンジプランの推進に取り組んでいま す。プロジェクトメンバーは、職員各層の意向が反映できるよう、クラスや経験年数を考慮して選出しています。プロジェクトでは、情報共有 や環境整備、危機管理等、設定した目標について、さらに具体的な目標やスケジュール、責任の所在を明確にして活動を進め、毎月、チャ レンジプラン検討会で活動状況の確認と見直しを行いながら、目標の達成に取り組んでいます。各種園行事も、プロジェクトを選出して実 施しています。

# 子どもの安全確保に計画的に取り組んでいます

子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、園独自の防犯マニュアルや安全マニュアルを作成しています。災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に実施するとともに、地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連 携、保護者向けに危機管理情報の掲示も行っています。事故が発生した場合は、その経緯や内容を「事故報告書」に記録し、職員全体に 周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。さらに、現場でのひやりとした事例を日々収集し、予防対策につなげる 取り組みが望まれます。

		カテゴリー5	
職員と組	織の能力	为向上 ————————————————————————————————————	
		サブカテゴリー1	
事業所が	を 目指して	ている経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
AT /T-T-			
評価項目		う要な人材構成にしている。 	
于未门门		デススペク 情報 に で こくい る アム に アス に アス に アス に アス に アス に アス に アス に	)
評	価	標準項目	
RI.	ІЩ	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成·評価の考え方)を明示している	
● あり	○なし		○非該当
		2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	
● あり	○なし		○非該当
		3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	
⊚ あり	○なし		○非該当
【A+の取	7118日ユ		
174074	くり ボロック		
☆/無百	<b>3</b> 0		
評価項目 職員の質		に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
職員の質	の向上	評点( A	)
	の向上		)
職員の質	の向上	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	)
職員の質	価	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>
職員の質	価	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<u> </u>
職員の質評	<b>価</b> ○ なし	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
職員の質評	<b>価</b> ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
部員の質 評 あり あり	である。 (の向上) (のなし) (のなし)	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当 ○ 非該当
部員の質 評 あり あり	である。 (の向上) (のなし) (のなし)	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 部 ● あり ● あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 部 ● あり ● あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを  「お記している	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>

サプカテゴリー2					
職員一人ひとりと	職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる				
評価項目1 職員一人ひとりの	主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)		
評価	標準項目				
● あり ○ なし			○非該当		
● あり ○ なし			○非該当		
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		○非該当		
【A+の取り組み】					
評価項目2 職員のやる気向」	上に取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)		
職員のやる気向」	<b>評点</b> (		)		
職員のやる気向」 評価 ● あり ○ なし	<b>評点(</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材・メントを行っている		) 非該当		
職員のやる気向」  評価  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	<b>評点(</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材でメントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる		<u> </u>		
職員のやる気向」  評価	評点( 標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で メントを行っている 2.就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3.職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる		○非該当		
職員のやる気向」  評価	#点( 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で対したでいる  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○非該当		
職員のやる気向」  評価  ● あり	#点( 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で対したでいる  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○ 非該当 ○ 非該当		
職員のやる気向」  評価  ● あり	#点( 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で対したでいる  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○ 非該当 ○ 非該当		

# 園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から異動希望のヒヤリングを行い、クラスのバランスや業務負担を考慮した上で園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係や担当についても、各職員の希望や家庭状況等を考慮して調整して決定しています。

# 個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成(年度の目標を設定)してもらい、園長が個人面談を行う中で把握しています。研修については、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて個人別の研修予定表を作成して受講を進めており、個人の研修歴カードに記録し、実績を把握・確認できるようにしています。研修受講後は、レポートを作成して研修成果を自己評価し、園長が確認した上で区に提出しているほか、職員会議で1人10~15分程度の研修報告を行い、研修成果を職員間で共有しています。

# 就業状況を把握し、職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

就業状況に関しては、個々にパソコンに入力した内容を園長が把握・確認しています。時間外労働は月平均4時間程度、有給休暇は1人 年平均11日程度取得することができていますが、職員調査では、休暇が気持よく取れるようになったとの意見がある一方で、休憩が取りに くいという意見も一部見られました。園長は、チャレンジプランの面談では、職員にやりがいを持ってもらえるよう個々の目標を応援すること に努めています。職員調査では、「働きやすい、気持ち良い人間関係」や「職員間で自分の思いを述べられる良い環境」等の意見が上がっ ています。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	すに取り組んでいる	
「価項目1 「業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
未川川田恨しい		)
評価	標準項目	
	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	
● あり ○ なし		○非該
	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	
りあり ○ なし		○非該
` -	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	
りあり ○ なし		○非該
価項目2		
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護·共有している <b>評点( A</b>	)
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u> 動あり ○なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 のあり ○なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u> ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
で価項目2  人情報は、「個       評価   あり ○ なし   あり ○ なし   あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

#### カテゴリー7の講評

# 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に 従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使 いやす〈更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、園長が施 錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

# 個人情報の取り扱いを園のしおりに明記しています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。 園の入園のしおりに園の個人情報の取り扱いに関する基本方針や写真等の取り扱い方法を明示し、入園説明会等で保護者に説明した上で、同意書の提出を求めています。 園で取扱う個人情報の利用目的は、区の入園申込関係書類や園のしおりに一部記載が見られますが、 さらに全般的な個人情報の利用目的についても明示することが期待されます。

#### 職員が個人情報保護を理解し行動できるための取り組みを行っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、入職時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、文書を配布して個人情報保護等の留意事項を伝えています。園内においても、職員が具体的に理解し行動できるよう、園独自のマニュアルを作成しているほか、個人情報保護に関する雑誌の記事等を職員に配布しています。パートやアルバイト職員に対する指導・教育の徹底が今後の課題となっています。

	カテゴリー8					
8	カテゴリー1~7に関する活動成果					
	サブカテゴリー1					
	前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している 評価項目1					
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている					
	・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」	A+	$\bigcirc$ A	Ов	$\bigcirc$ c	
	・カテゴリー 4: 「計画の策定と着実な実行」					
	改善の成果					
	園の理念やビジョン、基本方針を明示しました			. <b>_</b>		
	・職員会議で園の理念、ビジョン、基本方針を職員に明示し、事務室内に掲示するとともに、園だよりに・区の五つ星運動によるチャレンジブランを実施し、職員間の情報共有、環境整備(園舎・園庭)、安心底、地域や保護者に向けた情報の提供や発信を目標に掲げ、プロジェクトチームを中心に職員全体でました。「みんなの掲示板」を作り、園の行事や日常の保育の姿を伝えるようにしたほか、各クラスにも分かりやすく情報を提供することに取り組みました。また、電灯やミラーを設置するなど、安全を意識しに投書するための一言カードと意見箱を設置し、保護者の意見や要望を把握し、取り入れることに努め	安全の保育 で取り組み、 掲示版を設 た環境整備	配表でである。 ではまでする。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 であ	機管理意 とげるこ。 青報を区	意識の徹 とができ 分けし、	
	サブカテゴリー2					
	前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している					
	評価項目1					
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい					
	て、改善を行い成果が上がっている  -カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	<b>•</b> •	$\bigcirc$ $^{\wedge}$	$\bigcirc$ 5	$\bigcirc$ o	
		● A+	O A	Ов	$\bigcirc$ C	
	」 改善の成果					
	スロンでスペー チャレンジプラン検討会と保育向上検討会により、職員と組織の能力向上が図られま	:   . <i>t</i> -				
	・個人のチャレンジプラン作成に伴い、年2回の園長面接を実施したことにより、職員との意思疎通が関ができています。また、任意の職員提案制度を導入し、個人の日常の保育の気付きを全体に活かすこンジプラン検討会を開催して、チャレンジプランに設定した目標や課題に対する活動を実施するとともはあなど、PDCAを意識しながら取り組みを進めました。また、月1回、保育向上検討会を開催し、委員したことにより、保育の向上が見られました。	図られ、職員 ことに取り組 に、全体で近	みました き捗を確	:。月1回 認する機	l、チャレ 幾会を設	
	サブカテゴリー3					
	前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している -					
	拉伍百日1					
	評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている					
	・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	● A+	ОА	Ов	Ос	
	地域や保護者に向けた情報の提供や発信に取り組みました					
	・情報リーダーを中心に、地域や保護者に対する情報の提供や発信に取り組みました。「みんなの掲え					
	育の姿を写真等で素早く見やすく伝えるようにしたほか、各クラスにも掲示版を設置して情報を区分け  に取り組みました。また、入園案内の冊子を新たに作成しました。	し、分かりも	9~情	敢を提供	りること	
	・食教育に取り組み、年長児を中心とした幼児がおにぎり作りやクッキー作りを行いました。					
	・隣接する高齢者の娯楽施設との交流に計画的に取り組み、子どもと高齢者とのつながりが深まりまし	した。				

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
評価項目1				<del></del> _
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がって				
113		$\sim$ $^{4}$	$\bigcirc$ 5	$\bigcirc$ 2
	● A+	∪ A	○в	$\bigcirc c$
行財政改革を着実に実行するとともに、省エネ活動を推進しています				
「月前成以手で看来に来り」することでは、自エイン自動で見返しているす。  ・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年	産までに6割	の事業;	を季託・	<b>足</b> 堂化。
協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げている	ます。この中 <sup>っ</sup>	で、区立	保育園の	の事業委
託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」	という3つが	掲げられ	いており、	区の保
育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。  ・区の環境マネジメント活動の一環として、省エネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使	田量を把握で	するととす	もに、毎分	年度の実
績の推移をグラフ化して園内に掲示しています。また、使用後のペットボトルや紙コップをリサイクルし				
でいます。				
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
上 評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価さ	1			
れる部分において改善傾向を示している				
·カテゴリー3:「利用者意向や地域·事業環境などの把握と活用」 	● A+	$\bigcirc$ A	Ов	$\bigcirc$ c
ー言カードと意見箱の仕組みを設置・導入しました	- :			
・チャレンジプラン検討会で検討して、保護者が園に投書するための一言カードと意見箱を導入・設置 り入れることに努めました。保護者からの遠足に関する意見や園生活のビデオ撮影・上映の要望に対				
護者に回答するとともに、実行に移すなど、保護者の声が反映されるようになっています。	.]U∖ E⊠≀co.	/ICIA EI	火に」りょ	込して 戸へ

(事業所名: 杉並区立高井戸東保育園)

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

	J LAMERO	<u>フノロゼス頃目(ガテコリー 6 - 1 ~ 3、6 - 5 ~ 6)</u> 共通評価項目			
	サブカテゴリー1				
1	サービス情報の扱	是供			
	評価項目1				
		[サービスの情報を提供している			
		評点( A	)		
	評価	標準項目			
		1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている			
	● あり ○ なし		○非該当		
		2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している			
	● あり ○ なし		○非該当		
		3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している			
	● あり ○ なし		○非該当		
	【A+の取り組み】	○ あり			
		サブカテゴリー1の講評			
	園の情報をさ	<b>まざまな形で発信しています</b>			
		と所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームペ・			
		rーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図ヤ 「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。 また、園においてもコンパ			
		井戸東保育園に遊びに来ませんか」を作成し、配付しています。	)    C		
	<b>国一/</b> 2 1 1 4 1				
		ハる様々な活動を見学・体験できるメニューを用意しています	×+0++++ 1%1-		
	園では、見字や保  対して、一人7)と	R育相談、身体測定、園庭開放、ふれあい保育、各種行事(運動会、夏祭り)等、地域の子育て世代や入園 りのニーズにあわせた内容で園を見学・体験等行うことができる様々なメニューを用意しています。園では、	希望者なとに    これら見学者		
		祭しては、体制を工夫するなどスムーズに行われるよう配慮されています。	C103767 E		

		サブカテゴリー2	
2	サービスの開始:	終了時の対応	
	±=: /====		
Ì	評価項目1 サービスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている	
Ì	, CV00mvrv		)
Ì	÷= /=		
ŀ	評価	標準項目  1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	
Ì	<b>2</b> + 12		
l	● あり ○ なし		○非該当
Ì		2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	
Ì	● あり ○ なし		○非該当
Ì		3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
١	● あり ○ なし		○非該当
١			O
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	
I			
١			ļ
Ì			
١			
l	<del></del>		
	評価項目2	ひび終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	
1	サービ人の囲れる		)
Ì			,
ļ	評価	標準項目	
		1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	
1	● あり ○ なし		○非該当
I		   2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	
I	● あり ○ なし		○非該当
ļ	♥ Øリ ∪ へ		U ∃Fixi⊐
1	_	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	
1	● あり ○ なし		○非該当
Ì		4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援	
Ì	● あり ○ なし	たして1.1ス	○非該当
١			O
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし	
I			
١			
١			
١			
_			
1		サブカテゴリー2の講評	
7	知めて保育園:	を利用する保護者も安心できる入園説明会を実施しています	
		を利用する床設有も女心できる八國武明云を美加しているす 3ことが初めての保護者の不安を軽減するため、入園説明会は保育開始前に行うよう日程を組んでいます。	) 周顗阳会
		sことが例めての休護者の个女を軽減するため、八園説明会は休育開始制に行づより口程を組んでけます。 s的なルール、園生活で必要なもの、園での保育の様子等について、「高井戸東保育園のしおり」等を用いて	
	されています。利力	用者調査においても入園時の説明はわかりやすかったと支持する意見がタ割を超えており、 園の取り組みた	が保護者に指
	示されている様子	がうかがえます。なお、園では次年度の説明会ではよりわかりやすい説明となるようPCを使った説明なども	
	ます。		
I	入園前の面接	により、子どもや家庭の状況を把握しています	
		<u> テい、家庭での入園前の生活リズム、保護者の仕事の状況等を把握しています。また、食事面については栄</u>	
	康面については看	5護師が、それぞれ対応し聞き取りや説明等を行うなどの配慮も行われています。 面談結果については、区	で統一された
		『庭連絡票』に記録するとともに、入園後の子どもの発達や保護者の意向などを時系列に記録し、保育の最』 ・オ	重要書類とし
	て活用されていま	.9 .	
Ì			

サブカテゴリー3					
個別状況に応じた	国別状況に応じた計画策定·記録 				
評価項目1 必要に応じて、定 面ごとに明示して	められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 いる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)			
評価	標準項目	•			
● あり ○ なし		○非該当			
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当			
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当			
A+の取り組み	○ あり	•			
評価項目2 必要に応じて、子	どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計				
画を作成している	***************************************	)			
評価	標準項目	ſ			
● あり ○ なし		○非該当			
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやす〈説明し、同意を得るようにしている	○非該当			
● あり ○ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当			
● あり ○ なし	4. 計画を緊急に変更する場合のし〈みを整備している	○非該当			
A+の取り組み	) ಕು (೨ ಕು				
評価項目3					
	どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)			
評価	│    標準項目 ┃1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	1			
● あり ○ なし		○非該当			
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当			
【A+の取り組み	೦ ಕು ರಿ				

F		
	評価項目4	!
Ì	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している <b>評点( A</b>	)
l		'!
I	評価標準項目	
Ĭ	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	
I	あり ○ なし	○非該当
I	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	
1	◉ ಹり ○ なし	○非該当
ŀ		
1	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	1
ľ	- I	
١		ļ
1		1
Ì		ļ
+	サブカテゴリー3の講評	
+	The state of the s	
	保育に関する計画については3段階で作成しています	ļ
	保育に関する計画については、クラスごとに年間カリキュラム・月間カリキュラム・週案の大きく3段階の計画があり、それぞれ	
į	計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々の子  を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われる	~どもの状況
	を踏まえるはか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画述中の段階であっても必要に応して、改定か行われる  す。なお、カリキュラムは園内に掲示すること等により、保護者に内容を伝えています。	りことのりょ
١		!
	子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録しています	ĺ
	」とも へいとうの記録はが、 様式の 元皇宗」に記録しています。  子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この	11日帝西,
	ナともの成長の記録や発達の様子については、光里景」に記入され、他転でさる棚にあいて入事に管理されています。この  は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分に	
ŀ	す。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成り	
l	護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われております。	!
		ļ
	口頭と記録をセットにした情報の伝達や共有を行っています	
	各クラスでの情報共有は月のカリキュラムや毎月のクラス会議を通じて行われているとともに、必要なケースでは職員会議を活動しています。また、日々の情報せたについては、毎日の朝の打ち合わせのほか朝々ノートを通じて行われており	
	情報を共有しています。また、日々の情報共有については、毎日の朝の打ち合わせのほか朝夕!ートを通じて行われており、 のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。	」 関と記録
_		
֓֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֡֡	サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
ļ		
	評価項目1	<u></u>
ľ	子どものプライバシー保護を徹底している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
l	HI <i>M</i> ( /3	
Ţ	評価標準項目	
1	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにし	
1	● あり ○ なし ている	○非該当
ŀ	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	
1	● あり ○ なし	○非該当
ŀ		
1	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	
ŀ		
1		
1		ļ

	評価項目2 サービスの実施に	こあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	
		<b>評点</b> ( A	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし	
		サブカテゴリー5の講評	
	<i>→</i> .u.⇔+==+		
	園では、プールで においてもトイレを	や排泄時等におけるプライバシーへの配慮を徹底しています の活動を行う際は、水着になった際にバスタオルで巻〈など外からの視線をさえぎるなどの配慮を行うととも E失敗してしまった際などは、目立たないところで着替えを行うなど、プライバシーに配慮した活動を行ってい うした活動は、子どもたちの羞恥心を育むことにもつながっており評価できます。	に、排泄時時 ます。なお、
	園では、職員の会会を設けています	マニュアル」を用いた振りかえりを実施しています。 議の場において、園独自に作成した「子どもの権利マニュアル」を取り上げることによって、日常の言動を振っまた、パート・アルバイト等の職員に対しても年2回園長ミーティングを実施しており、この中で守秘義務にシーの尊重についても指導しています。	りかえる機 関することや
6	事状に状みの挿	サブカテゴリー6	
O	事業所業務の標準	<b>羊化</b>	
	評価項目1 手引書等を整備し	、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	○非該当
	● あり ○ なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし	

·		
評価項目2	さみずして、東米にの標準的も光変も進む日本土型10423.41.71.7	
サーヒ人の同上を	をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	HIM! \(\tau\)	,
評価	標準項目	
	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	
● あり ○ なし		○ 非該当
	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子	
● あり ○ なし	どもの様子を反映するようにしている	○非該当
	  3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでい	
(	la la la la la la la la la la la la la l	_
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み】	】 ○ あり ● なし	
	-	
1		
İ		
評価項目3		
さまざまな取り組む	みにより、業務の一定水準を確保している <b>物</b> 上(	,
	<b>評点</b> ( A	)
評価	標準項目	
	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにして	
● あり ○ なし	118	○非該当
	  2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	
● あり ○ なし		○非該当
		○非該ヨ
	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	
● あり ○ なし		○ 非該当
	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	
● あり ○ なし		○非該当
	  5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	0
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み】	】 ○ あり ● なし	
The contract of the contract o		
	サブカテゴリー6の講評	
周でのルール	はマニュアルを通じて明示されています	
		旧たましめ てわ
	通の『危機管理マニュアル』の中で、緊急避難、防犯対策、園外活動の注意等基本的な対応についての手  え方を踏襲しています。また、マニュアルは必要に応じて見直しや新規追加等が行われており、マニュアル;	
	よう、配慮されています。	) TC/Cr3H
業務改善につ	ながる提案等を職員や保護者から収集しています	
園では、園長をは	はじめとした経営層や区からの通知だけではなく、職員の気づきや保護者からの要望や提案も重要であると	認識しており、
	たの改善提案」を通じて、保護者からは「一言カード」を通じて、それぞれ提案等を受け付けています。この「	
	「あなたの改善提案」が1件提出されたにとどまっておりますが、取り組み自体は非常に評価できるため、今 Nらも意見を出しやすい方法について検討し、より多くの声を業務に反映できるよう改善していくことが期待さ	
貝がりで体礎日が	いらも思えを山りとすい方法について快割り、より多くの声を未物に反映できるよう以告していくことが期待で	11649.
字分件に 記声	した支援を可能とするためヒヤリハット事例の収集に取り組んでいます	
		\ <b>-</b>
園では、園庭に係る時日を開発して	系る様々な活動について、ヒヤリハット事例を収集することに取り組んでいます。 事例は、発生した都度書き 忍を行っており、 事故を未然に防ぐことが取り組みとして評価できます。 なお、このヒヤリハット事例について	△み、関係 9 け - ◆後 - 周
宮帆貝土貝(唯説	&で1」フしのり、争政を不然に防へことが取り組みとして計画できまり。 なの、このことりハット争例について 別えば勘告等についても拡大 発展させ 周で行う名(の分野をカバーする取り組みとかることが期待されま	は、ブ後、困

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

			項目(カナコリー 0 - 4 )	
1	評価項目子どもの		ますための保育を行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	評価	面	標準項目	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している   	○非該当
			2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	
	● あり	○なし		○非該当
			3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	
	● あり	○なし		○非該当
			4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	
	● あり	○なし		○非該当
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
	【A+の取	り組み	○ あり ・	
			評価項目1の講評	
	自然に	恵まれた		
	園周辺の	恵まれた	に環境を活かし、戸外での活動を大事にして保育を展開しています。天気の穏やかな日は0歳から戸外に出 門グラスでは、柏の宮公園において3~5歳児合同でウォーグラリー(異年齢混合のチームに設問が配られこ	

園周辺の恵まれた環境を活かし、戸外での活動を大事にして保育を展開しています。天気の穏やかな日は0歳から戸外に出て散歩に親しむとともに、幼児クラスでは、柏の宮公園において3~5歳児合同でウォークラリー(異年齢混合のチームに設問が配られゴールを目指すもの)を行うなどイベントも取り入れており、年齢に応じて、様々な活動が行われるよう配慮されています。こうした取り組みは、利用者調査において約9割の保護者から戸外遊びが十分に行われているという評価されており、園の活動が支持されていることがうかがえます。

# 外国語での読み聞かせなど、多様な取り組みを行っています

園では、豊かな心と身体をつくることを大切に考えており、前述の戸外での活動のほかリズム遊びなど音楽や身体を使った活動も取り入れているほか、豊かな心につながる活動として絵本に親しむ活動も保護者を巻き込んで行っています。園の絵本コーナーからの貸し出しを通じて家庭でも絵本に親しむことを進めているほか、外国人の保護者に協力していただき、それぞれの母国語での絵本の読み聞かせを行っていただく機会を予定しているなど、絵本という題材を使いながら、異なる文化を体験する機会につなげるなど幅の広い活動が展開されています。

# 関係機関と連携しながら展開される障害児保育への取り組んでいます

障害や特別な配慮が必要な子どもを保育する際は、区の制度として定期的に専門家による巡回指導を受けることができる制度が用意されており、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を保育士が専門家から直接学ぶことができる機会が保障されています。また、障害のある子どもに対しては、1対1での保育も取り入れ、お昼寝にも個別に対応するなど一人ひとりの障害の特性に応じた保育も展開されています。

		/ N.C.5	慮したうえで、おいしい食事を出している <b>評点</b> ( <b>A</b> +	)
● あ)	評価	価	標準項目	
● あり ○ なし 3。 食物アレルギーや文化・習信の連いなど、個別に配慮した食事を提供している ・ 非該当 ・ ない ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			1.メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	
● あ) ○ なし	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
● あ) ○ なし			2 子どもの状能にあった椅子・テーブル等を田音している	
● あり ○ なし 4 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている ● あり ○ なし 4 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている ● あり ○ なし 5 「の意児を受け入れている傑育所のみ」 9 見の授乳や食事に関しては、乳児―人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている 事該当 5 「の意児を受け入れている傑育所のみ」 9 見の授乳や食事に関しては、乳児―人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている 申該当 「本該当 5 」の意力 ○ なり 9 見の が 1 と で 2 で 2 で 3 意児 2 で 3 意児 2 で 3 意児 2 で 3 恵屋 2 で 3 売屋 2 で	(A) + 12	O 15.1	2. 1 C 007((版)にの 5)に同 1	○ db++>\/
● あり ○ なし	<b>⊕</b> &∪	○なし		○非該当
● あり ○ なし			3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	
● あり ○ なし	(இ த்ர	○なし		○非該当
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>5. [10歳児を受け入れている保育所のみ]</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>別児の授契・食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている</li> <li>○ 事態当</li> <li>○ 本し</li> <li>可なし</li> <li>(A+の取り組み)</li> <li>○ 本し</li> <li>(A+の取り組み)</li> <li>(A+の取り組み)</li> <li>(A+の取り組みであり、計画を立てで担いをはっきりとぎせた上で、3歳児クラスより様々な活動を展開しています。野子(トマトきゅう)・なす・ピーマン等)の栽培などは3歳児から取り組んであり、年長児では、栽培 - 高理までの食事ができるまでの一連のイタルを体験できるようにプログラムが組まれています。また、サツマイモの関連体験などは実年的で取り組む(3 ~ 4歳児はがい作業担当、5歳児はブルシホイル包みを担当)所をとっており、食育においてもクスにとらわれない活動が展開されています。</li> <li>(本職人はゴルンホイル包みを担当)所をとっており、食育においてもクスにとらわれない活動が展開されています。</li> <li>(事事がより一層楽しくなるような食事要現境への配慮を行っています</li> <li>(事事の行事の際には、異年齢で食事を行うこともあるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た目を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。</li> <li>(毎月) の内容に応じた食事が周別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう。様々な工夫が凝らされています。</li> <li>(事事がしやすい)環境を整備しています</li> <li>(食事がしやすい)環境を整備しています</li> <li>(食事がしやすい)環境を整備しています</li> <li>(食事が上ですい)を開催がなされています。イスやテーブルを同意は、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子ともが食べやすい姿勢で食事ができるよう配居されています。</li> <li>(事まの) ○ なし</li> <li>(事まの) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(事まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ なし</li> <li>(本まは) ○ ない</li> <li>(本まれています。) ○ ない</li> <li>(本まな) ○ ない</li> <li>(本まな) ○ ない<td></td><td><u> </u></td><td>4. は立に入事 パマとう L 2. に理点 エマと 取得をしている</td><td>O TRIAD</td></li></ul>		<u> </u>	4. は立に入事 パマとう L 2. に理点 エマと 取得をしている	O TRIAD
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>目 (1 販児を受け入れている保育所のみ)</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>国 (2 に</li></ul>			4. 快週に良事かでさるように坂項囬でも配慮をしている	
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>【A+の取り組み】</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>園では、食育に積極的に取り組んであり、計画を立てて狙いをはっきりとさせた上で、3歳児クラスより様々な活動を展開しています。野がしています。といてイン等)の栽培などは3歳児から取り組んであり、年長児では、栽培 - 調理までの食事ができるまでの一連のクルを体験できるようにプログラムが指まれています。また、サッマイモの調理体験などは異年齢で取り組合、3 - 4歳別は流い作業担当、5歳児はアルミホイル包みを担当、形をとっており、食育においてもクラスにとちわれない活動が展開されています。</li> <li>第価項目2の講評令事がより一層楽しくなるような食事環境への配慮を行っています。学師の行事の際には、異年齢で食事を行うこともあるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た目を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。</li> <li>個別に対応した食事を提供しています</li> <li>個別に対応した食事を提供しています</li> <li>「個別に対応した食事を提供しています」</li> <li>(個別に対応した食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。</li> <li>(事がしやすい)環境を整備しています。</li> <li>(事がしやすい)環境を整備しています。</li> <li>(事がしの中すい環境を整備しています)の高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては試験組合を事ができるよう記慮されています。の過程分でよびは仮画の理解を包括して入れを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでよ子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢でき事ができるよう記慮されています。</li> <li>(事がしるの健康を回復・維持するための支援を行っている</li> <li>「非該当」</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>「非該当」</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>「非該当」</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>「非該当」</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま当) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま当) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま当) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ なし</li> <li>(事ま) ○ ないまれていまがますがますがますがますがますがますがますがますがますがますがますがますがます</li></ul>	● あり	○なし		○ 非該当
● あり ○ なし    (A+の取り組み			5【①歳児を受け入れている保育所のみ】	
(A+の取り組み)	(A) ± 10	O 1-1		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
型では、食育に積極的に取り組んでおり、計画を立てて狙いをはっきりとさせた上で、3歳児クラスより様々な活動を展開しています。野孫 「マイトきゅうり・なす・ピーマン等」の栽培などは3歳児から取り組んでおり、年長児では、栽培・調理主での食事ができるまでの一連の当、5歳児はアルミホイル包みを担当)形をとっており、食育においてもクラスにとらわれない活動が展開されています。たりかくインルを体験できるようにプログラムが組まれています。また、サツマイモの関理体験などは異年齢で取り組む(3~4歳児は洗い作業担当、5歳児はアルミホイル包みを担当)形をとっており、食育においてもクラスにとらわれない活動が展開されています。  評価項目2の講評 食事がより一層楽しくなるような食事環境への配慮を行っています 季節の行事の際には、異年齢で食事を行うこともあるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た日を変えて、より一層食事を楽しむことができるようエ大されています。  園別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、関連のの内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、り歳児クラスでに定価の調整が含くイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラマもそどもあ高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で含事ができるよう配慮されています。  「評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	⊕ あり	∪なし		□○非該当
製では、食育に積極的に取り組んでおり、計画を立てて狙いをはっきりとさせた上で、3歳児クラスより様々な活動を展開しています。野珍トマトきゅうり、なす・ピーマン等)の栽培などは3歳児から取り組んでおり、年長児では、栽培・調理主での食事ができるまでの一連の人がと体験できるようにプログラムが組まれています。また、サツマイモの側理体験などは異年齢で取り組む(3 ~ 4歳児は洗い作業担当、5歳児はアルミホイル包みを担当)形をとっており、食育においてもクラスにとらわれない活動が展開されています。  評価項目2の講評  ②事がより一層楽しくなるような食事環境への配慮を行っています 季節の行事の際には、異年齢で食事を行うこともあるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た日を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。  固別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子ともや離乳食の子とも等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、動産の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境を整備しています  食事が優に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、1歳児クラスでは座面の調整が含くイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラをよどもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で含事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② まり ○ なし  ② まり ○ なし  ③ まり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ ま数当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  □ 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  □ 非該当	/ A . O ET	11140 7.1	0.11	•
トマト・きゅうリ・なす・ピーマン等)の栽培などはは渡児から取り組んでおり、年長児では、栽培・調理までの含事者ができるまでの一連のイクルを体験できるようにプログラムが組まれています。また、サツマイモの調理体験などは異年齢で取り知む(3 - 4歳児は洗い作業担当、5歳児はアルミホイル包みを担当)形をとっており、食育においてもクラスにとらわれない活動が展開されています。  評価項目2の講評 食事がより一層楽しくなるような食事環境への配慮を行っています 季節の行事の際には、異年齢で食事を行うこともあるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た目を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。  固別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、固々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、①歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  「単価項目3 「・子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「標準項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(A+O) 與X	リ組み	● あり ○なし	
(トマト・きゅう)・なす・ビーマン等)の栽培などは3歳児から取り組んでおり、年長児では、栽培・鶏理までの食事ができるまでの一連のイクルを体験できるようにフログラムが組まれています。また、サツマイモの調理体験などは異年齢で取り組む(3 - 4歳児は洗い作業担当、5歳児はアルミホイル包みを担当)形をとっており、食育においてもクラスにとらわれない活動が展開されています。  評価項目2の講評 食事がより一層楽しくなるような食事環境への配慮を行っています 季節の行事の際には、異年齢で食事を行うこともあるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た目を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。 個別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養土、保育土との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルを開し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「標準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「標準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「非該当 2、乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  「非該当 3、医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している  「非該当 4、保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「非該当 4、保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「非該当	園では、1	食育に積	「極的に取り組んでおり、計画を立てて狙いをはっきりとさせた上で、3歳児クラスより様々な活動を展開して	こいます。野菜
食事がより一層楽しくなるような食事環境への配慮を行っています 季節の行事の際には、異年齢で食事を行うこともあるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た目を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。  個別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、り意児クラスでは座面の調整がきイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもある話に合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価	イクルを存	本験でき	るようにプログラムが組まれています。また、サツマイモの調理体験などは異年齢で取り組む(3~4歳児に	での一連の <sup>-</sup> は洗い作業担
季節の行事の際には、異年齢で食事を行うこともあるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た目を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。  個別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境を整備しています。 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「本準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様単項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様単項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様単項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様当			評価項目2の講評	
季節の行事の際には、異年齢で食事を行うこともあるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た目を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。  個別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境を整備しています。 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「本準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様単項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様単項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様単項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「本様当	含重が.	上11—屆	■坐しくかるようか食事環境への配慮を行っています	
変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。  個別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境を整備しています。 食事がしやすい環境を整備しています。  の事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、の歳のクラスでは国面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② 非該当  ② まり ② なし  ③ まり ③ なし  ④ あり ③ なし  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  ④ あり ③ なし				1 + 8 + 0 +
個別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				しに兄に日を
アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ② なし  ② 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ② 非該当  ② まり ③ なし  ③ あり ③ なし  ④ あり ③ なし  ④ あり ③ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし	友んし、d	トリー僧(	<b>ま争で栄しむことが じさるよう上大されていま</b> す。	
アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② 事がしなし  ② 事がしなし  ② 非該当  ② まま当  ② まま当  ③ あり 〇 なし  ③ あり 〇 なし  ③ おり 〇 なし  ④ あり 〇 なし  ④ あり 〇 なし  ④ あり 〇 なし  ④ あり 〇 なし  ④ あり 〇 なし  ④ あり 〇 なし  ④ あり 〇 なし  ④ まま当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ② 非該当  ② 非該当				
アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ※点( A )  評価  ② あり ② なし  ② 非該当  ② ま該当  ② まは者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  ③ あり ③ なし				
アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ※点( A )  評価  ② あり ② なし  ② 非該当  ② ま該当  ② まは者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  ③ あり ③ なし	個別にも	対応した	ー 食事を提供しています	
個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がき(イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さらの高さらの高さらの高さらの高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さられています。  事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ※点( A )  評価  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② ま該当  ② あり ② なし  ② ま該当  ③ あり ③ なし  ③ あり ③ なし  ④ あり ③ なし  ④ あり ③ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ ま該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  ④ あり ③ なし  ④ あり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし  ④ まり ○ なし				
間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ②あり ○なし  ②ま数型のできる体制を確保している  ③あり ○なし  ②ま数型のできる体制を確保している  ③ま数型のできる体制を確保している   ③ま数型のできる体制を確保している  ③ま数型のできる体制を確保している  ③ま数型のできる体制を確保している  ③ま数型のできる体制を確保している  ③ま数型のできる体制を使用している  ③ま数型のできるを使用している  ③ま数型のできるを使用している  ③まるを使用している  ③まるを使用している  ③まるを使用している  ③まるを使用している  ③まるを使用している  ③まるを使用している  ③まるを使用している  ③まるを使用している   ③まるを使用している  ③まるを使用している   ③まるを使用している  ③まるを使用している  ③まるを使用している   ③まるを使用している   ③まるを使用している   ③まるを使用している   ③まるを使用している   ③まるを使用している   ③まるを使用している   ③まるを使用している   ③まるを使用している   ③まるを使用している   ③まるを使用し				・サケニュア
食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を 利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラ でも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食 事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② ま数当  ② まり ○ なし  ③ あり ○ なし  ③ ま数当  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ おり ○ なし		家に 広し		
食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ○ なし  ② 取幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ② ま該当  ③ あり ○ なし  ③ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当			<sup>)</sup> た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック	
食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ② なし  ② 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ③ ま該当  ③ あり ③ なし  ③ あり ③ なし  ④ あり ③ なし  ④ あり ③ なし  ④ あり ○ なし  ④ ま該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ○ 非該当			<sup>)</sup> た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック	
食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ○ なし  ② 取幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ② ま該当  ③ あり ○ なし  ③ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当			<sup>)</sup> た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック	
利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ② なし  ② まり ② なし  ② まり ② なし  ③ ま数当  ③ なし  ③ まり ③ なし  ③ ま数当  ④ あり ③ なし  ④ あり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ③ なし  ④ まり ⑤ なし  ④ まり ⑤ なし  ④ まり ④ なし  ④ まり ⑤ なし  ④ まり ⑤ なし  ④ まり ⑤ なし  ④ まり ⑤ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑤ なし  ④ まり ⑤ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑤ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑥ なし  ④ まり ⑥ なし	間違いが	無いよう	゛た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック 、様々な工夫が凝らされています。	
でも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	間違いが	無いよう	゛た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック 、様々な工夫が凝らされています。	
事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ⑤ あり ○ なし  2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ⑥ あり ○ なし  3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している  ⑥ あり ○ なし  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ○ 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ○ 非該当	間違いが 食事が 食事の際	無いよう しやすい に子ども	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  「環境を整備しています。 「なおからでもない。」  「なおからでもないです。  「なおからでもないです。  「なおからでもないです。  「なおからでもないです。  「なおからでもないです。  「なれれないです。  「なれれないです。  「なれれないです。  「なれれないです。  「なれれないです。  「なれれないです。  「なれれないです。  「なれれないではないです。  「なれれないです。  「なれれないではないです。  「なれれないではないです。  「なれれないではないです。  「なれれないではないです。  「なれれないではないです。  「なれれないではないです。  「なれれないではないです。  「なれれないではないではないです。  「なれれないではないです。  「なれれないではないではないではないです。  「なれれないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	をかけるなど
評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている    評価	間違いが 食事がし 食事の際 利用してし	無いよう し <b>やす</b> し に子ども いますが	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  「環境を整備しています。 「なちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで	をかけるなど、 ては既製品を れ以外のクラブ
子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている       評価       標準項目         ・ 新り ○ なし       1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している       ・非該当         ● あり ○ なし       ・ 2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある       ・非該当         ● あり ○ なし       ・ 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している       ・ 非該当         ● あり ○ なし       ・ 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている       ・ 非該当	間違いが 食事が 食事の際 利用してい でも子ども	無いよう し <b>やすい</b> に子ども いますが もの高さ	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  「環境を整備しています。 「なちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、「0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで含むせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや	をかけるなど、 ては既製品を れ以外のクラブ
子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている       評価       標準項目         ・ 新り ○ なし       1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している       ・非該当         ● あり ○ なし       ・ 2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある       ・非該当         ● あり ○ なし       ・ 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している       ・ 非該当         ● あり ○ なし       ・ 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている       ・ 非該当	間違いが 食事がり 食事の際 利用してい でも子ども	無いよう し <b>やすい</b> に子ども いますが もの高さ	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  「環境を整備しています。 「なちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、「0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで含むせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや	をかけるなど、 ては既製品を れ以外のクラブ
評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ● あり	間違いが 食事が 食事の際している でもかでき	無いよう し <b>やす</b> い に子ども いま高さ るよう配。	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  「環境を整備しています。 「なちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、「0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで含むせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや	をかけるなど、 ては既製品を れ以外のクラブ
評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ● あり	間違いが 食事が 食事の際している でもかでき	無いよう し <b>やす</b> い に子ども いま高さ るよう配。	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  「環境を整備しています。 「なちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、「0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで含むせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや	をかけるなど、 ては既製品を れ以外のクラブ
	間違いが食事がほうの際でもできず価項目	無いよう し <b>やす</b> し に子ども いますぎ もの高さ るよう配	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  「環境を整備しています  「たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、の歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやではされています。	をかけるなど、 ては既製品を れ以外のクラブ
	間違いが食事が同様を表すの際である。	無いよう し <b>やす</b> し に子ども いますぎ もの高さ るよう配	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  「環境を整備しています  「たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、の歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやではされています。	をかけるなど ては既製品を れ以外のクラ すい姿勢で食
● あり         ○なし           2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある         ○非該当           ● あり         ○なし           ● あり         ○なし           4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている         ○非該当           ● あり         ○なし	間違いが食事が際のできずいですがいますがいますがいますが、これではまずがいますが、できまずがいますが、これではまがいますが、これではまずが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	無いよう し <b>やすい</b> に子どもいまできいま ものよう配 るよう配 ひ身の優	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。 い環境を整備しています がたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、「0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや遺されています。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をかけるなど ては既製品を れ以外のクラ すい姿勢で食
② あり       2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある       ○ 非該当         ③ あり       3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している       ○ 非該当         ④ あり       ○ なし         ④ あり       ○ なし         ● あり       ○ なし	間違いが食事が際のできずいですがいますがいますがいますが、これではまずがいますが、できまずがいますが、これではまがいますが、これではまずが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	無いよう し <b>やすい</b> に子どもいまできいま ものよう配 るよう配 ひ身の優	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。 い環境を整備しています がたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、、の歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや遺されています。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をかけるなど ては既製品を れ以外のクラ すい姿勢で食
② あり       2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある       ○ 非該当         ③ あり       3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している       ○ 非該当         ④ あり       ○ なし         ④ あり       ○ なし         ● あり       ○ なし	間違いが食事が際のです。 一般である。 「はまれる」では、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はい	無いよう し <b>やすい</b> に子どもいまできいま ものよう配 るよう配 ひ身の優	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。 い環境を整備しています がたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、、の歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや遺されています。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をかけるなど ては既製品を れ以外のクラ すい姿勢で食
● あり       ○ なし         3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している       ○ 非該当         ● あり       ○ なし         4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている       ○ 非該当	間違いが食事が際事のときる。 頭目子で 頭目が 頭目が 評価	無いよう しやすい にに子すが ものよう まるよう まる まる まる まる まる	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。 い環境を整備しています がたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、、の歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや遺されています。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をかけるなど は既製品を いい姿勢で食
<ul> <li>③ a. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</li> <li>⑥ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> </ul> 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている ○ 非該当	間違いが食事が際事のときる。 頭目子で 頭目が 頭目が 評価	無いよう しやすい にに子すが ものよう まるよう まる まる まる まる まる	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  い環境を整備しています  たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、の歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやではされています。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をかけるなど は既製品を いい姿勢で食
● あり ○なし         ○ 非該当           4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている         ○ 非該当	間違いが食事が除事のとざる事が際にきずが際にきずがいる。	無いよう しやすい にに子すが ものよう まるよう まる まる まる まる まる	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  い環境を整備しています  たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、の歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやではされています。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をかけるなど は既製品を いい姿勢で食
● あり ○なし         ○ 非該当           4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている         ○ 非該当	間違いが 食事のしてきます。 で事でである。 であり でもがでいる。 でもあり でもあり。 でもあり。 でもあり。	無いよう した子すらにいまのよう にいまのよう 13 身の 個 のなし	がた食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  い環境を整備しています  たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、の歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやではされています。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をかけるなど には既製品を れ以外のクラ すい姿勢で食 ) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている <ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	間違いが 食事のしてきます。 で事でである。 であり でもがでいる。 でもあり でもあり。 でもあり。 でもあり。	無いよう した子すらにいまのよう にいまのよう 13 身の 個 のなし	た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  い環境を整備しています  なたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて 、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや過されています。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をかけるなど には既製品を れ以外のクラ すい姿勢で食 ) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
● あり ○ なし	間違いが 食食利で事 事のし子で で 項が を あり を あり を あり を あり のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし	無いよう しにはまる 13 身の ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  い環境を整備しています  なたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて 、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや過されています。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をかけるなど には既製品を たいい姿勢で食 ) ・非該当
● あり ○ なし	間違いが 食食利で事 事のし子で で 項が を あり を あり を あり を あり のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし	無いよう しにはまる 13 身の ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  い環境を整備しています  なたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて 、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや過されています。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をかけるなど には既製品を たいい姿勢で食 ) ・非該当
	間違いが 食食利で事 事のし子で で 項が を あり を あり を あり を あり のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし のし	無いよう しにはまる 13 身の ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  1環境を整備しています  たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、の歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで含むせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや過されています。  即本( 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	をかけるなど には既製品を たいい姿勢で食 ) ・非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし	間違いが 食事が 事のし子で 項が のし子で で 項が のしまが で のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが	無いよう しにいまのよう いよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう にいまのよう いまのよう にいまのよう た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  1環境を整備しています  たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、の歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで含むせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや過されています。  即本( 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	をかけるなど には既製品を見い は既外のかで食 かい姿勢で食 ) ・非該当 ・非該当	
[A+の取り組み] ○あり ●なし	間違いが 食事が 事のし子で 項が のし子で で 項が のしまが で のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが	無いよう しにいまのよう いよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう いまのよう にいまのよう いまのよう にいまのよう た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  1環境を整備しています  たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、の歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それで含むせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや過されています。  即本( 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	をかけるなど には既製品を見 は以外の勢で食 ) ・非該当 ・非該当	
	間違いが 食食利で事 事のし子で 項が で 事のし子で 項が で 事のし子で 項が で 事のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが のしまが	無 したいもの	た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  1環境を整備しています  たちで食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、そった合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや点されています。  「中点( A 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	をかけるなど、 には既製品をラス は以外の勢で食 ) ・非該当 ・非該当
	間違いが 食食利で事 事のし子で 項が で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	無 したいもの	た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  1環境を整備しています  たちで食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、そった合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや点されています。  「中点( A 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	をかけるなど、 には既製品をラス は以外の勢で食 ) ・非該当 ・非該当
	間違いが 食食利で事 事のし子で 項が 価ももが の の の の の の の の の の の の の の の の の の	無 したいもの	た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  1環境を整備しています  たちで食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、そった合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや点されています。  「中点( A 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	をかけるなど には既製品を見 は以外の勢で食 ) ・非該当 ・非該当
	間違いが 食食利で事 事のし子で 項が 価ももが の の の の の の の の の の の の の の の の の の	無 したいもの	た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  1環境を整備しています  たちで食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、そった合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや点されています。  「中点( A 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	をかけるなど には既製品を は以外の勢で かすい姿勢で )  ・ 非該当  ・ 非該当  ・ 非該当
	間違いが 食食利で事 事のし子で 項が 価ももが あ あ あ あ あ あ あ り あ り あ り あ り の り の り の り	無 したいもの	た食事が個別に提供されるようになっています。また、配膳に関しても調理と保育の両者でクロスチェック、様々な工夫が凝らされています。  1環境を整備しています  たちで食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、そった合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べや点されています。  「中点( A 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	をかけるなど には既製品を は以外の勢で かすい姿勢で )  ・ 非該当  ・ 非該当  ・ 非該当

#### 評価項目3の講評

# 子どもの健康状態をきめ細かく把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申請書を用いて対応しています。

# 感染症予防と感染症発生時の対応を効果的に行うための取り組んでいます

感染症予防に関しては、月1回発行の保健だよりを通じて感染症が発生しやすい時期に情報提供を行っているほか、園内掲示をして注意を喚起するなどの活動が行われています。また、感染症の発生時には、決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。なお、感染症が発生した際は、台紙の色を変えて注意喚起の掲示を行い、より人目を引くような工夫のもと、感染の拡大が起こらないよう取り組まれています。

#### 子どもたちが自らの体や健康について学ぶ健康教育を取り入れています

園では、看護師が子どもたちに自らの体のことや健康について学ぶ「健康教育」を定期的に実施しています。手洗いやうがい、歯磨きなどの日々の生活で実践してもらいたいことは、3歳児において学びます。説明の際は3歳児でも理解できるわかりやすさに配慮しており、模造紙にからだの絵を描きそれを使って説明するなど子どもたちの心に残るよう工夫されています。

4		どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている	評点(	Α	)
	評価	標準項目			
	● あり ○ なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)			○非該当
	●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている			○非該当
	●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている			○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
		評価項目4の講評			

# 子どもたちの満足を引き出す環境設定を心がけています

園では、年齢や集団の発達の度合いに合わせて環境設定を行うよう心がけており、乳児クラスでは、小集団でじっくりと遊びこめるコーナー設定を行う、幼児クラスでは、遊びこめるだけでなく、積み木遊び等で製作した「作品」を金曜日まではそのまま飾っておけるようにするなど、遊び終えた後も子どもたちが満足できるようなコーナー設定が行われています。また、おもちゃについても積み木などの想像性を育むもののほか、乳児クラスでは、布やペットボトルなどを使った手作りおもちゃを採用するなど年齢や発達に応じた適切なおもちゃが用意されています。

# 子どもたちが園生活を楽しめるよう行事や交流に取り組んでいます

行事については、七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、柏の宮公園で行われるウォーキングラリー、抹茶をいただくお茶 会のほか、近隣の保育園の子どもたちと一緒に人形劇などを鑑賞するミニシアター、発達センターの「たんぽぽ園」との交流や保護者や地 域の住民も参加する運動会や夏祭りなど、子どもたちが行事や様々な人々との交流を通じて保育園の生活を楽しめるような工夫がされて います。

評価項 保育所 <b>5</b>		   交流・連携を緊密に行っている   <b>評点</b> ( <b>人</b>	)
<u> </u>	 评価	標準項目	
<b>③</b> あり	_	1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある	○非該当
<b>●</b> あり	) ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
⊚ ಹ೮	○ なし		○非該当
⊚ ಹ೮	) ○なし		○非該当
⊚ ಹ೮	) ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
[A+の	取り組み	ე ಹು ರಿ	
		評価項目5の講評	
日わし 行行はう方れ 保 園対員い 事、かがま 護 で応のる 価待 で応のる で高 で高 である である である である である である である である である である	保育すが 年程別え割か 手程別え割か を保まるにが 日配44.8%、 てによば利 では、 日配44.8%、 では、 日配44.8%、 では、 日間44.8% では、 日間44.8% では、 日間44.8% では、 日間44.8% では、 日間48.8% では、 日間48.8% では、 日間48.8% では、 日間48.8% 日は48.8% 日は48.8% 日は48.8% 日は48.8% 日は48.8% 日は48.8% 日は48.8% 日は48.8% 日は48.8% 日は48.8%	園からの情報提供については、定期的かつ目的別に発行される、クラス・園・保健等の各種おたよりがありま子については、日誌の公開を通じて行うとともに写真も撮影し同時に公開することにより、園での子どもたちることができています。また、子ども一人ひとりの様子については、朝夕の送迎時に保護者との会話の中で夕の送迎時に保護者と担任が会えない場合は、連絡ノート作成し、このノートを通じて子どもの様子などを行へのさらなる配慮が望まれます  に関する利用者調査の結果は、他の設問に比べ満足率が低い結果が出ており(67.2%)、特に0~2歳児の付めの満足率しか獲得できていない状況です。運動会は土曜日に開催しており、園側でも保護者に対して配慮自由意見をみると特に平日に開催される保護者会の日時の設定に不満が多く、また、父母ともにフルタイムいる状況を鑑みれば、保護者の意見にも耳を傾けながら保護者会の日程等について検討するなどの取り終明関係を大切に考え、会話を大事にしていますの信頼関係を構築することを大事に考えており、日頃の送り迎えの際の会話も、職員一人ひとりが丁寧に受けられています。こういった姿勢は、利用者調査において「家庭と保育園との信頼関係」「保護者の考えを関か」について肯定的な回答がいずれも8割を大きく超えており、日頃の職員の保護者に接する際の姿勢が受調査にも現れています。	の様子をよりに表えています。 保してもいます。 とは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では
6		<b>評点( A</b>	)
	评価	標準項目  1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	
<b>●</b> あり	○なし		○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
<b>●</b> あり	) ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	〇 非該当
⊚ ಹ೮	○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	〇非該当
[A+の	取り組み	○ あり	

	評価項目6の講評	
	区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます	
	虐待については、区全体としで取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭室児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発送が統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。	
	研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています 該当するケースがない場合でも区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力な とともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなさ をしています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。	
L	評価項目7	
7	MI WOOL ALL	)
	評価 標準項目 1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	I
	●あり ○なし	○非該当
	② all 公 なし 2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	
	評価項目7の講評	
	地域に関する情報の提供を行っています 杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。	頼があった場
	豊かな経験をもたらす地域の人たちとの交流に取り組んでいます 地域との交流は、実習生などの学生の受け入れのほか、園庭開放やふれあい保育に参加する親子との交流、近隣の保育園 ちと一緒に人形劇などを鑑賞するミニシアター、発達センターの「たんぽぽ園」との交流や保護者や地域の住民も参加する運 など、様々な交流が意欲的に行われています。今後は一つのひとつの交流について多くの方に参加していただけるようより別いくとともに、より様々な人たちとの交流(世代間交流等)についても検討し、取り組まれることに期待します。	動会や夏祭り

	特に良い	1と思う点
	タイトル	子どもたちの様子や園の活動をわかりやす〈伝える取り組みが行われています
1	内容	保護者に対する情報提供については、従来から行われている園だより等のほか、日誌の公開及び写真の公開を行うことによって、園での日々の子どもたちの様子をよりわかりやす〈伝えることができています。また、日頃の保育の様子はビデオカメラにも収められ、保護者会においてこの収録内容は披露されており、保護者からも好評を得ています。これら昼間の保育の様子をわかりやす〈保護者に伝えることは、子どもの成長を実感できるとともに園に対する信頼の獲得にも一役買っていることが予想されます。今後も同様に取り組まれることが期待されます。
	タイトル	チャレンジプランの目標達成に向けて着実に取り組みました
2	内容	五つ星推進プロジェクトを中心に、園の重点目標と実行計画であるチャレンジプランに取り組んでいます。職員間の情報共有や環境整備、安心安全、危機管理意識の徹底、地域や保護者に向けた情報の提供や発信を目標に掲げ、プロジェクトでさらに具体的な目標やスケジュール、責任の所在を明確にした上で、毎月のチャレンジプラン検討会で全体で活動状況を確認、半期ごとに評価・見直しを行っています。PDCAサイクルを意識した取り組みにより、職員個々の意欲と能力を活かし高めながら、各目標において着実に成果を上げてきた点は高く評価できます。
	タイトル	計画的かつ積極的に食育に取り組んでいます
3	内容	園では、食育に積極的に取り組んでおり、計画を立てて狙いをはっきりとさせた上で、様々な活動を展開しています。野菜(トマト・きゅうり等)の栽培などは3歳児から取り組んでおり、年長児では、栽培~調理までの食事ができるまでの一連のサイクルを体験できるようにプログラムが組まれています。また、サツマイモの調理体験は異年齢で取り組む(3~4歳児は洗い作業担当、5歳児はアルミホイル包みを担当)など他園ではあまり見られない取り組みにもチャレンジしています。職種を超えた職員の連携が食育を通じて図られている点も高〈評価できます。
	さらなる	改善が望まれる点
	タイトル	定期的な意向調査等により、保護者の意向を集約・分析していくことが望まれます
1	内容	保護者の意向は、連絡ノートや保護者会で把握して個々に対応しているほか、新たに一言カードと意見箱の仕組みも導入し、保護者からの意見や要望に対する改善策を園だよりに掲載して保護者に回答を行っています。しかし、保護者から見た園のサービスの傾向や課題を集約・分析するという点では、必ずしも十分な仕組みとは言えず、保護者全世帯を対象にした意向調査を定期的に実施するなどの取り組みが望まれます。 行事ごとや年度始めに保護者アンケートを実施することも検討しているとのことなので、今後の取り組みに期待したいと思います。
	タイトル	行事等の日程へのさらなる配慮が望まれます
2	内容	行事日程の配慮に関する利用者調査の結果は、他の設問に比べ満足率が低い結果が出ており(67.2%)、特に0~2歳児の保護者からは、4割強(44.8%)の満足率しか獲得できていない状況です。運動会は土曜日に開催しており、園側でも保護者に対して配慮している姿がうかがえますが、自由意見をみると特に平日に開催される保護者会の日時の設定に不満が多く、また、父母ともにフルタイムで働いている方が8割を超えている状況を鑑みれば、保護者の意見にも耳を傾けながら保護者会の日程等について検討するなどの取り組みが期待されます。
	タイトル	地域子育て支援のさらなる充実が期待されます
3		園では、園庭開放(毎週火~金曜)や身体計測(毎月第3水曜)、ふれあい保育(保育所体験)を実施し、園の子ども達の日常活動に地域の親子が参加できる機会を設けています。これらの催しは、区の子育て支援の広報誌やインターネットサイトに掲載しているほか、近隣の児童館や医院に園の概要や案内リーフレットを設置してお知らせしています。さらに、園を訪れた地域の親子から意見や感想を聞いて地域のニーズを掘り起こすととも
	内容	に、子育て支援の情報誌を発行したり、育児相談を充実させるなどの取り組みが期待されます。

# 松ノ木保育園

(事業所名: 杉並区立松/木保育園)

調查対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯74世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数74共通評価項目による調査対象者数74共通評価項目による調査の有効回答者数52利用者総数に対する回答者割合(%)70.3

# 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の約8割を占める結果となっています(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が78.8%)。個別にみると、「急な変更への柔軟な対応」、「体調変化への対応」、「家庭と保育園との信頼関係」、「職員は礼儀正しく丁寧」の4項目について、肯定的回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者はおおむね満足している様子がうかがえます。一方、「安全対策が十分とられている」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「要望や不満などへの対応」などについては肯定的な回答が5割に届かず、低い結果となりました。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

# 利用者調査結果

· 甘者調査結果				
共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	40	9	2	1
肯定的な回答は3/4を占めているとともに否定的な回答がほとんどみられない結果となる 受けている項目といえます。自由回答については、食事の量に対する不満とする意見があ 謝の意見や家で食べないものも食べるようになったなど肯定的に評価する意見が多くみら	られるもの			
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	38	9	4	1
肯定的な回答は3/4を占めています。年齢別では、1~2歳児の保護者の方が3歳児以高い傾向が見られます。自由回答では異年齢での活動や公園へのお散歩など肯定的に打びを行って欲しい、とする意見も見られます。				
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	42	3	1	6
肯定的な回答は8割強ですが、無回答の比率が高いとともに否定的な回答がほとんどなくがないのでわからない」との意見も見られることから、利用したことがなく答えられない保護				

では、柔軟に対応しており感謝しているとする意見が多数を占めています。

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	43	7	0	2
肯定的な回答は8割を超えており、否定的な回答もなく、満足する人が多く保護者から評価に対応してくれているという意見と先生からけがについての説明がないなどの意見の両者:			I 自由意見 <sup>7</sup>	では十分
5.安全対策が十分取られていると思うか	22	24	5	1
肯定的な回答は約4割にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由回答では 様々な意見が寄せられています。	、門の鍵、	外階段に対	寸する関す	ることなど
6.行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	35	11	5	1
肯定的な意見は約2/3を占めています。自由意見では、行事は土曜日開催がよい、土曜 調整してほしい、十分に調整してもらっている等様々な意見が寄せられています。	日ははず	してほしい、	運動会は	丘隣の園と
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	9	0	0
肯定的な意見は8割を超えるとともに否定的な意見は寄せられておらず、他の設問に比べ 2歳児の保護者よりも3歳児以上の保護者の方が肯定的な割合が約3割ほど高い傾向が らっている」「連絡帳が楽しみ」と肯定的な意見が寄せられている一方、先生によるとの意見	見られます	。自由意見	しは、「相談	では、1 ~ にのっても
2歳児の保護者よりも3歳児以上の保護者の方が肯定的な割合が約3割ほど高い傾向が	見られます	。自由意見	しは、「相談	では、1~にのっても
2歳児の保護者よりも3歳児以上の保護者の方が肯定的な割合が約3割ほど高い傾向が らっている」「連絡帳が楽しみ」と肯定的な意見が寄せられている一方、先生によるとの意見	見られます 見も複数寄 41 41 こ、1~2歳	。自由意見 せられてい 10 児の保護者	!は、「相談 ます。 0 aよりも3歳	にのっても
2歳児の保護者よりも3歳児以上の保護者の方が肯定的な割合が約3割ほど高い傾向が らっている」「連絡帳が楽しみ」と肯定的な意見が寄せられている一方、先生によるとの意見 8.保護者の考えを聞く姿勢があるか 肯定的な意見は約8割を占めるとともに否定的な意見は寄せられていません。年齢別では 保護者の方が肯定的な割合が約2割ほど高い傾向が見られます。自由意見は、と肯定的	見られます 見も複数寄 41 41 こ、1~2歳	。自由意見 せられてい 10 児の保護者	!は、「相談 ます。 0 aよりも3歳	にのっても
2歳児の保護者よりも3歳児以上の保護者の方が肯定的な割合が約3割ほど高い傾向がらっている」「連絡帳が楽しみ」と肯定的な意見が寄せられている一方、先生によるとの意見 8.保護者の考えを聞く姿勢があるか 肯定的な意見は約8割を占めるとともに否定的な意見は寄せられていません。年齢別では保護者の方が肯定的な割合が約2割ほど高い傾向が見られます。自由意見は、と肯定的との意見も複数寄せられています。	見られます寄 見も複数 見も複数 も 41 1 で 意見が ま 39 られない 経	。自由意見せられてい 10 に できませられてい 10 に できませられてい ままま 10 に できまま 10 に できまま 10 に できままま 10 に できままま 10 に できままま 10 に できままま 10 に できままま 10 に できままま 10 に できまままま 10 に できままままます。	には、「相談 目 0 ます。	にのっても 1 日以上の 1 日本による 7
2歳児の保護者よりも3歳児以上の保護者の方が肯定的な割合が約3割ほど高い傾向がらっている」「連絡帳が楽しみ」と肯定的な意見が寄せられている一方、先生によるとの意見 8.保護者の考えを聞く姿勢があるか 肯定的な意見は約8割を占めるとともに否定的な意見は寄せられていません。年齢別では保護者の方が肯定的な割合が約2割ほど高い傾向が見られます。自由意見は、と肯定的との意見も複数寄せられています。	見られます寄 見も複数 見も複数 も 41 1 で 意見が ま 39 られない 経	。自由意見せられてい 10 に できませられてい 10 に できませられてい ままま 10 に できまま 10 に できまま 10 に できままま 10 に できままま 10 に できままま 10 に できままま 10 に できままま 10 に できままま 10 に できまままま 10 に できままままます。	には、「相談 目 0 ます。	にのっても 1 日以上の 1 日本による 7

11.職員の対応は丁寧か	44	8	0	0
肯定的な回答は8割を大き〈超えるとともに、否定的な回答は寄せられておらず、職員の礼様子がうかがえます。なお、自由意見では、先生によって対応が異なるという意見が複数署			まね認められ	htiis
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	24	22	5	1
肯定的な回答は5割にとどいておらず、他の設問に比べ満足度が低い項目です。本設問は設問のため、寄せられた意見の中には「要望、不満を持ったことがないのでわからない」等ことがうかがえます。また、「預かってもらっているのでいえない」とする意見も複数寄せられ	の意見も見	見られ、答え		
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	25	18	2	7
肯定的な回答は5割にとどいておらず、前問に引き続き満足度が低い項目です。本設問ものため、答えずらい設問であるといえますが、否定的な回答はほとんど見られず、無回答の低いことはないと予想されます。				
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	11	4	35	2
否定的な回答(知らない)が約7割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられ		真目となりま	きした。 園全	≧体との満
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	11	5	0	0
1年以内に利用を開始した16人中11人が肯定的な回答をしており、否定的な回答はありまよかった」との意見も寄せられており、全般として保護者が満足している様子がうかがえます。		意見では、	'わかりや <sup>-</sup>	すくとても

(事業所名: 杉並区立松 / 木保育園)

組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)

	共通評価項目	
	カテゴリー1	
リーダーシップと	意思決定	
	サブカテゴリー1	
事業所が目指し	ていることの実現に向けて一丸となっている	
· □ / □ / □ /		
評価項目1 事業所が目指し	ていること(理念、基本方針)を明確化・周知している	
	評点( A	)
評価	標準項目	
_	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	O 11 +1 -1
● あり ○ なし		○非該当
<b>A</b> + 10	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
● あり ○ なし	/   4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を	○非該当
● あり ○ なし	田いわっすっとができる取り組みた行っている(会議中に疎初できるかど)	○非該当
		○ 4FBX=
【A+の取り組み	.] ○ あり ● なし	
評価項目2		
	里者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	デ点( A	)
評価	標準項目	
0 0	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	
● あり ○ なし		○非該当
0 0	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<u> </u>
● あり ○ なし	,	○非該当
【A+の取り組み	∵] ○ あり ● なし	

評価項目3 重要な案件につい 係者に周知してい	1て、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関 いる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み		
	カテゴリー1の講評	

# 園の目指しているもの(保育目標等)は周知されています

保育目標「健康な身体の子ども」「情緒豊かな子ども」「意欲的に遊べる子ども」「自分で考えて行動できる子ども」は、区の保育園紹介のホームページや入園時に保護者に配付される「まつのきほい〈えんのしおり」などに掲載しているほか、園内への掲示などを通じて、職員や保護者がいつでも確認できるようになっています。また、経営層である園長及び主査は本年度赴任したばかりであることや区の公立園全体で区立保育園全体の保育ビジョンについて検討していることを踏まえ、来年度、園の保育目標についても再検討することが期待されます。

## 園長は、「保護者と一緒に子育てできる」職員であって欲しいと考えています

園長は、子どもと保護者に寄り添いながら「保護者と一緒に子育てできる」職員になってほしいと考えています。そのためには、職員一人ひとりが、組織としてのねらいを踏まえた自らの役割を果たすとともに、現在のような多様なスタッフが協力しあい、保育のチームワークがよい状態を維持することが自らの役割と責任であると考えています。この成果は、職員自己評価において「職員間で意見交換ができている」「職員の雰囲気がよい」との意見が多数寄せられていることからも着実にあらわれてるといえます。

## 職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園の重要な案件については、職員会議で検討して決定するとともに重要な意思決定の説明・周知についても職員会議で行っています。しかしながら、職員会議は、職員の参加が代表者による参加になるため、クラスに持ち帰っての口頭による伝え合いのほか、会議レジュメを工夫して作成し、全職員に会議の内容が伝わりやすいよう取り組まれています。また、保護者に対しては、園だよりや事務所だより等を通じて、重要な案件に関する決定事項や経緯を伝えるよう心がけられています。

カテコリー2		
的責任		
サブカテゴリー1		
	Α	)
標準項目		
1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		○非該当
	<u></u> వ	○非該当
		0 11 20-1-1
		)
· ·		
	1組ん	T
でいる		○非該当
6.に関する情報を関ラしている	事業	○非該当
サブカテゴリー2 立つ取り組みを行っている		
	Α	)
標準項目	- 70	
放、個別相談など)		○非該当
師派遣かど)を行っている	催、講	○非該当
<b>○ あり                                   </b>		
	ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	サブカテゴリー1 ・ビス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる ・ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している ・ 標準頂目 ・ 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している ・ 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる ・ まり ② なし ・ まり ③ なし ・ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

評価項目2				
ホランティア受け <i>。</i> 	入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	評点(	Α	)
評価	標準項目			_
● あり ○ なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			○非該当
● あり ○ なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			○非該当
● あり ○ なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
評価項目3 地域の関係機関の	との連携を図っている	評点(	Α	)
評価	標準項目			
● あり ○ なし	1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している			○非該当
<b>●</b> あり ○ なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて	いる		
				○非該当
【A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし			○非該当
【A+の取り組み】	○ あり <b>③</b> なし			○非該当

## 遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル等が事務所に常備され、公務員倫理や関係法 令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員採用時に行われる研修の場で学ぶほか、経験 や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回 覧したり、職員会議等で周知を行っています。

# 園の機能や専門性を活かし、地域の子育てを支援する取り組みを行っています

園では「地域との交流」を図ることを大切に考えており、ふれあい保育や園庭開放、身体測定を定期的に行うとともに、来園した地域の親子の育児相談にも積極的に応じるなど、育児の専門機関として地域の親子をサポートする活動が展開されています。また、地域子育てネットワークに参画し、こどもフェスティバルの乳幼児コーナーを担当するなど、地域の関係機関とも連携して子育ての支援を行っています。園長は、今後も地域に向けての情報発信の強化や児童館との連携強化を行い、地域に向けた取り組みを充実させていきたいと考えています。

# ボランティアなどを積極的に受け入れています

園では、中学生の職場体験や大学・短大等からのボランティアを積極的に受け入れています。これらボランティアを受け入れ前には、学校・本人の希望やねらいを会議等で確認し、より効果的な受け入れについて検討を行っています。また、実際に受け入れる際も、園で作成した事業マニュアルに定められた受け入れ手順に基づき行われており、オリエンテーションを通じて留意事項などの説明を行い、園での基本的なルールなどをもれな〈伝えています。

評価	) 非該当
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している  評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)  評価	○ 非該当 ○ 非該当 )
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)  部価	○ 非該当 ○ 非該当 )
利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	○ 非該当 ○ 非該当 )
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる</li> <li>評価項目2</li> <li>利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる</li> <li>評価 標準項目</li> <li>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> </ul>	) 非該当
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>※ 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握しているのまか。</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる</li> </ul>	) 非該当
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる</li> <li>評価項目2</li> <li>利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる</li> <li>評価</li> <li>標準項目</li> <li>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している。</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	) 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	)
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	○非該当
利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	○非該当
<ul> <li>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している</li> <li>③ る</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ おり ○ なし</li> </ul>	
<ul> <li>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している</li> <li>③ る</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> </ul>	
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② 3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる</li> </ul>	
<ul><li>● あり ○ なし</li><li>る</li><li>3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる</li><li>● あり ○ なし</li></ul>	○非該当
● ಹು ○ ಬ	
14 OFFICE OF THE OFFI	○非該当
【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	
地域・事業環境に関する情報を収集し、私流を指揮・方析している 評点( 人 )	)
·····································	
1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる  ③ あり ○ なし	○非該当
3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・ ・ 分析している	○非該当
【A+の取り組み】	

## カテゴリー3の講評

# 園に寄せられた苦情や要望は、園全体で検討・情報共有した上で解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用 者調査では、外部の苦情相談窓口についての認識度は2割強にとどまっており、周知方法の再検討が望まれます。また、保護者会や個 人面談、日々の保護者とのコミュニケーションで出た苦情や要望については、園全体で情報共有し、検討するとともに、結論についても内 容に応じて園長が対応するなど、苦情や要望に応じた適切な対応がなされています。

# 保護者ニーズを把握する取り組みのより一層の充実を目指しています

園では、保護者と一緒に子育てを共有することを大切に考えておりますが、この実現のために、現在、行事後にアンケートを行うとともに、アンケート結果については必ず保護者に報告し、保護者のニーズ把握と保護者との信頼関係構築につなげています。利用者調査では、「要望や不満のいいやすさ」など保護者とのコミュニケーションに関する項目はあまり良い評価を受けていませんが、園としては、今後、要望箱の設置や父母会との交流強化などを通じて、保護者ニーズを把握するための取り組みを充実させていくことを考えており、今後の活動が期待されます。

## 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワーク連絡会や行政連絡会、区立保育園の園長会、保育部会等に参加することで、収集・把握しています。区からの通知のほか新聞や雑誌などからも情報を集め、職員間で回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

画の策定と着家	<b>《</b> 《关1】	
	サブカテゴリー1	
『践的な課題・計	ランカテコッー   -画策定に取り組んでいる	
C22773 0-12777.22 14		
平価項目1		
(リ組の期间に)	いた課題·計画を策定している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	
可工川川	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
◉ あり ○ なし		○非該
	2. 年度単位の計画を策定している	
● あり ○ なし		○非該
	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
◉ あり ○ なし		○非該
A . O BU 12/0 7.		
	] ○あり ●なし	
平価項目2	ら課題を把握し、計画を策定している	)
平価項目2 :角的な視点か	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
平価項目2	ら課題を把握し、計画を策定して <b>い</b> る	)
平価項目2 角的な視点かり 評価	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	
平価項目2 ・角的な視点から 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該
平価項目2 ・角的な視点から 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6課題を把握し、計画を策定している	○非該
呼価項目2 :角的な視点から 評価 ● あり ○ なし	日本には、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
呼価項目2 6角的な視点から 評価 ● あり ○ なし	を課題を把握し、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
平価項目2 5角的な視点から 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	6課題を把握し、計画を策定している	<ul><li>非該</li><li>非該</li><li>非該</li></ul>
平価項目2 を角的な視点から 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし ● あり ○ なし	日本の表別である。	) () 非該: () 非該: () 非該:
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	日本の表別である。	<ul><li>○ 非該:</li><li>○ 非該:</li></ul>
呼価項目2 ・角的な視点から 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし ● あり ○ なし	日本の表別である。	<ul><li>非該</li><li>非該</li><li>非該</li></ul>

A /		
評価項目3 着実な計画の実行	行に取り組んでいる	
		)
 評価	標準項目	
青十1川		
● あり ○ なし		○非該当
0 37 0 40	  2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど	
● あり ○ なし	の取り組みを行っている	○非該当
@ Ø		○非該ヨ
	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している  	O
○あり ●なし		○非該当
	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで	
● あり ○ なし	l 13	○非該当
【A+の取り組み		
「ハーリカスリルログ		
	サブカテゴリー2	
利用者の安全の	確保・向上に計画的に取り組んでいる	
評価項目1		
利用者の安全の	確保·向上に計画的に取り組んでいる	1
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	)
評価	標準項目	
	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	
● あり ○ なし		○ 非該当
	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	
● あり ○ なし		○非該当
- 3 37	  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わってい	0 11 #2.1
(a) ± 11 (b) ± 1	2	O 4F≑#.\/
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	
5 	カテゴリー4の講評	

## チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます

区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションブランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジブランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。ただし、取り組み成果を判断する指標の設定に改善の余地が見られます。今後はわかりやすい指標の設定のための検討が期待されます。

## 災害等から子どもを守る各種訓練を計画的に行っています

災害等が発生した場合に子どもを守るための取り組みについては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練が年間を通じて計画的に実施されています。特に毎月実施している避難訓練については、併設している児童館と合同で行うなど、より現実的、実践的な訓練にも取り組んでおり、いざというときに確実に対応できるよう備えられています。また、近隣の住民との付き合いを深めていくことで「地域の見守り」が自然に行ってもらえるようにも取り組んでいます。

# 子どもの安全確保に努めています

園では、子どもの安全確保に向けて、病気や事故の際に行った対応についてとりまとめた「病気事故一覧表」を作成したり、ヒヤリハット事例や子どものかみつきに関する話し合いを定例会議で話し合うなど、看護師が常駐しない体制の中で病気や事故に対して最善の行動が行えるよう、取り組まれています。こうした取り組みは、利用者調査で「病気やけがに対する対応」について8割を超える保護者から肯定的な回答が寄せられる結果にもつながっていると推測されますが、今後はヒヤリハット事例の効果的な記録方法についても検討していくことが望まれます。

		カテゴリー5	
職員と組	織の能力	力向上	
		サブカテゴリー1	
事業所が	目指して	ている経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
AT /T-T-	_		
評価項目		が要な人材構成にしている	
于来///に		デムへの情報にしている <b>評点( A</b>	)
評	価	標準項目	
A I	ІЩ	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	
● あり	○なし		○非該当
		2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	
● あり	○なし		○非該当
		3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	†
<b>●</b> あり	○なし		○非該当
【A+の取	711织み	】 ○ あり <b>③</b> なし	
171074	くりがロック		
評価頂 :	∃2		
評価項目 職員の質		に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
職員の質	の向上	評点( A	)
	の向上		)
職員の質	の向上	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	)
職員の質	価	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>
職員の質	価	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<u> </u>
職員の質評 かけい	価の向上	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
職員の質評 かけい	価の向上	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
部員の質 評 あり あり	<b>価</b>	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当 ○ 非該当
部員の質 評 あり あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 部 ● あり ● あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 部 ● あり ● あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを  「ない」といる	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>

	サブカテゴリー2			
職員一人ひとりと	組織力の発揮に取り組んでいる			
≟ਕੁ/≖ਰਤ ⊏ ₄				
評価項目1 職員一人ひとりの	主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる			
		<b>平点</b> (	Α	)
評価	標準項目			
	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している			
◎ あり ○ なし				○非該当
	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる			O
● あり ○ なし				○非該当
	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる			○北≭址
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
並価項目2				
評価項目2 職員のやる気向」	ニに取り組んでいる	,	_	
		<b>平点</b> (	A	)
	標準項目	•		•
職員のやる気向」	標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動	•		,
職員のやる気向」	標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動 メントを行っている	かした人材		•
職員のやる気向」 <u>評価</u> ② あり ○ なし	標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動	かした人材		· 〇 非該当
職員のやる気向」	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	かした人材		,
職員のやる気向」  評価  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動 メントを行っている	かした人材		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」 <u>評価</u> ② あり ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	かした人材		· 〇 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	かした人材		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	かした人材		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	かした人材		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	かした人材		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	かした人材		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	かした人材		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる  ○ あり ● なし	かした人材		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる  ○ あり ● なし  カテゴリー5の講評	かした人材		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動メントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる  ○ あり ● なし	かした人材	オマネシ	*************************************

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。

## マイチャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初にマイチャレンジプランを作成してもらい、園長が個人面談を行う中で把握しています。研修については、マイチャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて派遣を決めており、個人の研修歴カードに記録し、実績を把握・確認できるようにしています。研修受講後は、レポートを作成して研修成果を自己評価し、園長が確認した上で区に提出しているほか、研修報告の機会を設けたり、研修のレジュメについては、必要に応じてコピーして配付するなど、研修成果を職員間で共有できるよう取り組まれています。

# 園に関わる職員全体が「学び」に取り組めるよう改善が望まれます

各クラスでの打ち合わせなど、比較的少人数での打ち合わせの機会が多く設けられており、職員間での話し合いを通じて日頃の気づきや工夫などが自然に情報交換できるようになっています。しかしながら、こうした取り組みは主に正規職員間で行われていることであり、園に多数在籍しているパート職員まで含めた全園的な取り組みとはなっていません。園長は、今後、園に関わる職員すべてが今行っている保育の「ねらい」を再確認するとともにクラス担任とパート職員との情報共有の機会も設けたいと考えており、「学び」の機会の充実が期待されます。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	すに取り組んでいる	
「価項目1 「業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
未川川田恨しい		)
評価	標準項目	
	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	
● あり ○ なし		○非該
	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	
りあり ○ なし		○非該
` -	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	
りあり ○ なし		○非該
価項目2		
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
価項目2	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u> 動あり ○なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 のあり ○なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u> ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
で価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
で価項目2  人情報は、「個       評価   あり ○ なし   あり ○ なし   あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
評価 ● あり ○ なし  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

#### \_\_\_\_ カテゴリー7の講評

# 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に 従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使 いやす〈更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管しています。 電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

# 個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得る取り組みが行われています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類に一部記載は見られるとともに、園においても、写真やビデオの撮影に関しては、書類を作成、配付して説明するなど、保護者の理解を得るための取り組みが行われています。

## 職員が個人情報保護を理解し行動するための取り組みを行っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、採用時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、オリエンテーションの中で事業マニュアルに沿った個人情報保護等の留意事項を伝えています。

	カテゴリー8				
8	カテゴリー 1 ~ 7 に関する活動成果				
	サブカテゴリー1	17			
	前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してい	16			
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」	○ A+	A	Ов	Ос
	・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」				
	改善の成果				
	園長は園の取り組みをリードする役割を担って、行動しています ・園長は今年度赴任したばかりですが、自らが園の改善活動の先頭に立ち、職員をリードしていく姿だ力を入れている環境設定の改善については、他園の環境設定の写真を用いて指導・助言することに、判りやすく伝え、共有する等の活動が行われました。 ・また、会議の持ち方や位置づけ、職員の会議における発言のしやすさなどについても重要であるとで行うとともに、事業マニュアルを改訂し、会議の情報の充実に努めました。	より、自らが、	思い描く	イメーシ	)を職員に
	サブカテゴリー2				
	前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している				
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている				
	·カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	$\bigcirc$ c
		07	0 //	0 2	00
	<sup>    </sup>				
	・職員が作成する「マイチャレンジプラン」を効果的に実行するため、ヒアリングを行い、職員一人ひとにすることで、職員が「学び」に対して積極的に考えられるサポートを行いました。 ・来年度より施行される新保育所保育指針に関する勉強会など、園で定められた研修だけではなく、「勉強会に積極的に参加することによって、職員能力の向上につながりました。特に、他の公立園で行時に行って、保育室の環境設定などを学ぶ機会ともなっていることから、大変効果的な取り組みとして	自主的に行う われる勉強	が研修や 会の際I	他園で	行われる
	サブカテゴリー3				
	前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している				
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」	♠ A+	O A	Ов	$\bigcirc$ c
	・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	<i>\(\tau_{11}\)</i>	$\circ \kappa$	<b>O B</b>	00
	改善の成果				
	保護者に対する情報提供と食育の充実を図りました ・保護者と保育情報を共有するため、日誌(A3に拡大した公開用のもの)の公開のほか、行事の様子保育のねらいを明確に理解していただけるよう、閲覧用の指導計画(年間・月間)を作成し、公開する・食育については、これまでは主に5歳児を対象として展開されていましたが、より低い年齢の子どもせるとともに、調理活動についても、その機会を増やし、子どもたちがより「食」に対して関心が高まる具体的には、栄養に関しては3歳児から取り組むとともに、大豆から出来る食品(豆腐や納豆など)をする活動を行いました。また、調理活動は、4歳児から取り組み始めるとともに、ご飯をお米から炊く活れ、従来から行われていた活動をより充実させました。	ようにしまし; (3歳児〜)も よう取り組み 実物を使って	た。 対象に ました。 てその関	した活動	かに発展さ いて説明

####=#U4				
サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
評価項目1				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がって				
เาอ	<u> </u>	<u> </u>	O -	O -
	● A+	$\bigcirc$ A	Ов	$\bigcirc$ C
改善の成果				
行財政改革を着実に実行しています	_			_
・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年原	きまでに6割	の事業	を委託・	民営化·
協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げている				
託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」	という3つが	掲げられ	1ており	、区の保
育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。				
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価さ				
れる部分において改善傾向を示している ・カテゴリー 3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」				
「カナコリー3」、利用有息回で地域、争業環境などの危難と活用」	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	$\bigcirc$ c
改善の成果				
保護者の芋鳥や亜切に対して組織全体で対応し、鳥胡せ右の御底を図りました。				

保護者の苦情や要望に対して組織全体で対応し、情報共有の徹底を図りました

・従来より保護者の苦情や要望を把握し、対応することは行われておりましたが、場合によって職員間での情報共有がうまくいかず対応にバラツキがみられることがありました。今年度は、職員会議などで行われる苦情や要望に対する検討や検討結果について組織全体で情報を共有することを徹底するとともに、特に組織としての統一的な見解が求められる場合には、園長自らが保護者会などで説明しており、組織としてブレがない対応ができるよう取り組みました。利用者調査でも「園長が変わってからよくなった」との意見も寄せられており、着実に成果が上がっていると思われます。しかし、大掛かりな改善についての要望等は園として把握していますが、区の関係機関との調整段階でとどまっている案件もあり、その点を不満に思う保護者の自由意見も寄せられています。また、全体で話し合う会議の時間についても、より多くの時間を割きたいとの園長の意向もあることから、今後の改善に向けた継続的な取り組みが期待されます。

(事業所名: 杉並区立松 / 木保育園)

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

	2 CAMERIO	共通評価項目	
		サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提		
	評価項目1		
	保護者等に対して	てサービスの情報を提供している <b>評点</b> ( <b>人</b>	)
	評価	標準項目	
		1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	
	● あり ○ なし		○非該当
	,	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み】		
		サブカテゴリー1の講評	
	地域にも情報系	発信をしています	
		<b>殳所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームペー</b>	
		ォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要,「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や 「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。また、今後、地域に向けて「	
		一國の行色」も掲載されてあり、國の様子が伝わりやりいより工夫されています。また、ラ後、地域に向けては考えており、今後の地域に向けた情報発信の取り組みの更なる充実が期待されます。	「困により」で
	見学希望者に	対しては、いつでも対応しています	
		えょう とは、 v・2 ともん, nつでも見学希望者を受け入れられる体制を整えています。 入園希望者に対して	け、関長・主
	査を中心に全職員	員で対応し、施設案内や園での生活体験などについて園紹介のプリントなども使いながら説明しています。 a	また、ふれあ
	い保育や身体測況	定なども定期的に受け入れており、来園者の状況や要望に合わせて、様々な形できめ細かく対応しています	<b>5</b> 。
			ļ
	l		
	1		ļ.

	サフカテコリー2	
サービスの開始・	終了時の対応	
評価項目1 サービスの開始に		)
評価	標準項目	
市工1四	探手場目  1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	
● あり ○ なし		○非該当
	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	
● あり ○ なし		○非該当
	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
● あり ○ なし		○非該当
A+の取り組み	] あり ● なし	
評価項目2 サービスの開始及	ひ終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している 	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
● あり ○ なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
【A+の取り組み)	] ○ あり <b>⑥</b> なし	
	サブカテゴリー2の講評	
	とめた園のしおりを活用し、入園説明会を実施しています	
ます。「まつのきほいるとともに、お いるとともに、お のしおり」について 入園前の面接 入園時に面接を行 重票」及び「家庭)	副説明会を実施し、区の資料のほかに、園独自の「まつのきほいくえんのしおり」を活用し、詳しく説明する機まいくえんのしおり」には、園での生活や入園までに準備をするものなどについて、イラストや表でわかりやすめまつ。プロでは、園での生活や入園までに準備をするものなどについても掲載されています。「まつらなは次年度以降も保護者からの要望等を取り入れ改訂することとなっており、さらなる充実が期待されます。 こは次年度以降も保護者からの要望等を取り入れ改訂することとなっており、さらなる充実が期待されます。 により、子どもや家庭の状況を把握しています 「い、家庭での入園前の生活リズム、保護者の仕事の状況を把握しています。面談結果については、区で終重絡票」に記録するとともに、入園後の児童の発達や保護者の意向などを時系列に記録し、保育の最重要	すく解説され のきほいくえ 統一された「
入園時に面接を行 董票」及び「家庭) 用されています。 人園直後は子 入園直後配置を や保育士になれ	¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬	書類とし うとともに 、子ども;

	サブカテゴリー3	
個別状況に応じた	=計画策定·記録 	
評価項目1 必要に応じて、定 面ごとに明示して	められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 いる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	•
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
(A+の取り組み)	○ あり	•
評価項目2 必要に応じて、子	どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計	
画を作成している	***************************************	)
評価	標準項目	ſ
● あり ○ なし		○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやす〈説明し、同意を得るようにしている	○非該当
● あり ○ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当
● あり ○ なし	4. 計画を緊急に変更する場合のし〈みを整備している	○非該当
A+の取り組み	) ಕು (೨ ಕು	
評価項目3		
	どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	│    標準項目 ┃1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	1
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
【A+の取り組み	೦ ಕು ರಿ	

	評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	ļ
1		)
1		,
1	評価 標準項目	
1	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	1 !
1		○非該当
1	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	7
1	೨ ಕು ೦ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ ರ	○非該当
1		
1	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	,
1		
1		!
1		!
1		ļ
4	ユーナー ゴロ この 生生物	
_	サブカテゴリー3の講評	
1	保育に関する計画については、3段階で作成され、状況に応じて変更も行われます	ļ
1	保育に関する計画については、クラスごとに年間指導計画・月案・週案の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画に	
,	反省をおこない、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。なお、保護者に対しては、年間指導計画を保護	
1	「で伝えるとともに、閲覧用の年間指導計画や月案もファイルにて用意されており、保護者が保育のねらい等について理解する いいます。	,場も設けて
1		!
1	  子ども一人ひとりの記録は区統一様式の「児童票」に記され、大事に管理されています	ļ
1	丁とも一人ひとりの記録は区が一様式の「元皇宗」に記され、人争に自珪されています  子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この	11日辛酉.
ļ	は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分	ナされていま
ļ	す。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成り	長について保
1	護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われています。	
•		ĺ
•	子ども一人ひとりの状況は職員間で共有されています	ĺ
•	各クラスでは月案やクラス会議を通じて子ども一人ひとりの状況を把握しており、園全体では、職員会議を通じて各クラスの子が、大きによっては、「大きな、このでは、「大きな」といって、「大きな」というでは、「大きな」といって、「大きな」というでは、「大きな」といって、「大きな」というでは、「いきな」というでは、「いきな」というな」というでは、「いきな」というない。」というでは、「いきな」というでは、「いきな」というでは、「いきな」というでは、「いきな」というでは、「いきな」というでは、「いきな」というでは、「いきな」というない。」というでは、「いきな」というでは、「いきな」」というでは、「いきな」というでは、「いきな」というでは、「いきな」というでは、「いきな」」というでは、「いきな」というでは、「いきな」というでは、「いきな」」というでは、「いきな」」というでは、「いきな」というな」というでは、「いきな」というな」というない。「いきな」というない。」というない。「いきな」というない。」というない。「いきなり、「いきな」」というない。「いきな」というない。」というない。「いきなり、これらなり、「いきなり、「いきなり、「いきなり、こんなり、「いきなり、こんなり、「いきなり、これらなり、「いきなり、こんなり、「いきなり、こんないり、これらなり、「いきなり、これらなり、これらなり、「いきなり	
•	を共有しているほか、気になる子の保育について事例検証の形で話し合いながら、一人ひとりの現在の状況や保育方法についます。また、日々の情報共有については、朝の打ち合わせのほか朝夕保育ノートを通じて行われており、口頭と記録のセッ	
•	います。また、日々の情報共有については、朝の打ち合わせのはか朝夕保育ノートを通して行われており、口頭と記録のセッ  ことにより漏れが発生しないよう配慮されています。今後は、パート職員を含めた情報共有についての取り組みが期待されま。	
-	- CCICもり順10/170王 0/64 iも 7回版に10 CV iの 70 7 反iの( / ) 「 inwx e ロッパing ik/ (injection ik/ injection i	·
	サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
•		
1	評価項目1	
1	子どものプライバシー保護を徹底している 増えて 人	
1	<b>評点</b> ( A	)
1	評価標準項目	
1	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにし	
1	್ರಾ ರಾಗ್ರ ರಾಗ್ಟ ರಾಗ್ರ ರಾಗ್ಟ ರಾಗ್ರ ರ	○非該当
1	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	
1		○ ₁⊦÷÷уч
1	<b>●</b> あり ○ なし	○非該当
1	【A+の取り組み】 ○ あり <b>●</b> なし	
1	1/1004V Autoli	
1		
1	1	
1	1	
-	4	

	評価項目2 サービスの実施に	こあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している <b>評点</b> (	Α	)
	±π/ <del>π</del>	·		,
	評価	標準項目  1.日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		
	● あり ○ なし			○非該当
	● あり ○ なし		う、職員が 	○非該当
	● あり ○ なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		○非該当
	【A+の取り組み】			•
		サブカテゴリー5の講評		
$\dashv$	ケロの美味 き			
		などで、子どものプライバシーに配慮しています。 シーへの配慮については、またツ琴さなついたてを立てた視線が渡られる場所で行う。また、ブ	゜リへ欧	ニューラットを
		シーへの配慮については、オムツ替えをついたてを立てた視線が遮られる場所で行う、また、プ 線をさえぎるなど、の活動が行われています。 子どものプライバシーへ配慮すると同時に羞恥心		
	園では、OJTにより切な対応を行って されている」と肯定	、方等について、振りかえりを行っています る職員の子どもに対する接し方の指導のほか、昼寝中の時間を利用してクラスでの話し合いを いないか、職員間での伝え合いを行っています。この成果は利用者調査において約8割の保護 官的に捉える回答となって現れていると考えられ、着実に成果に結びついている活動と評価でき に本日の自らの保育を振りかえりながら記録する「5分間振りかえりノート」を導入したいと考えて	養者から「fi ますが、園	子どもは大切に 園では、さらに毎
		·· • ·		
۲	事業代表数の種類	サプカテゴリー6 <sub>集化</sub>		
6	事業所業務の標準	<b>羊化</b>		
Ţ			Α	)
	評価	標準項目 標準項目 1 手引き(其進ま) 手順き マニュアルギで 東業所が提供しているサービスの基本東項や手	「畑竿た阳	<del></del>
	● あり ○ なし		-順寺で吻	○非該当
	● あり ○ なし			○非該当
	● あり ○ なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	ó	○非該当
	●あり ○なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用して	113	○非該当
	【A+の取り組み】	] ○あり ●なし		

AT /T-T III a			
評価項目2	めざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		
サービスの向上で	:のさして、事業所の信仰的な業務が存を見且9取り組みをしている <b>評点</b> (	Α	)
AT /T			,
評価	<u>標準項目</u> 1.提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		1
<b>A</b> +11	1. 旋供しているサーモ人の奉本事項でナ順守は以友の时期で光直のの奉午がためっれている   		
● あり ○ なし			○非該当
	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や どもの様子を反映するようにしている	提案、子	
● あり ○ なし	ともの様子を反映するようにしている 		○非該当
	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り	組んでい	
● あり ○ なし	ठ		○非該当
7 · • • • • • • • • • • • • • • • • • •			
【A+の取り組み】	○ あり ・		
評価項目3			
	みにより、業務の一定水準を確保している		-
	<b>評点</b> (	Α	)
評価	標準項目		
81110	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るよ	うにして	
● あり ○ なし	เาอ		○非該当
	  2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	-	
●あり ○なし	E. HWELL TO THE STATE OF THE ST		○非該当
	호 빠르스모차 그냥+亦호스싸니파호! + ナゼ차경キフト: IT I ブロフ		
	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		O # ** ***
● あり ○ なし			○非該当
	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		
● あり ○ なし			○非該当
	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		
● あり ○ なし			○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
	サブカテゴリー6の講評		
<b>国の甘木的か</b>	ルールや各種対応方法をマニュアルにまとめています		
		休白云町	ハキしめた [声
	-ルや事件・事故等に対する対応方法などについては、区で作成した「危機管理マニュアル」や園タ ヒリまとめられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振りかえりの際にも活用されていま゙		
ル」については3年	₹前に職員全員が参加して作成されたもので、実用度の高い内容に仕上がっていますが、毎年、阝	内容の見	直しも行われ
	化する子どもや保護者、そして職員体制を踏まえながら、最適な園運営が行えるよう繰り返し改訂	を行って	いることは評
価できます。			
	での助言・指導、研修への参加を通じて、保育水準の向上を図っています		
	の接し方や声かけ、日誌や指導計画の作成等、職員同士で気づいたことを伝えあう様にしている。		
	E査による個別指導や会議での指導等が行われているとともに、マイチャレンジプランを通じて職員 仕組みが設けられており、職員を指導する体制の充実が図られています。また、各保育士の知識		
	ての研修の他、保育士の専門研修、自主的な勉強会への参加等を通じて、保育水準の向上に取り		
1			

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

	<u> </u>		· 現日 (カナコケー 0 - 4 )			
1	評価項目子どもの	•	ますための保育を行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)		
	評	<b>T</b>	標準項目			
			1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している			
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当		
			2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている			
	● あり	○なし		○非該当		
			3. 多様な表現活動や園外活動を計画している			
	● あり	○なし		○非該当		
			4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている			
	● あり	○なし		○非該当		
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当		
	【A+の取	り組み】	○ あり ● なし			
			評価項目1の講評			
	子どもの自主性・自発性を育む環境設定を行っています 子どもの自主性や自発性を育むためには、発達の段階に応じたコーナー設定が重要であると考え、環境設定の充実に取り組んでいます。乳児クラスでは小集団での保育を行っていることから、コーナー設定についても小集団での活動を前提とした小さな環境設定を行い、 天がいなども用いて落ち着いてじっくりと活動できる場を作り出しています。また、幼児クラスでは、積み木活動について継続的に行えるようまた、完成した作品を飾っておけるよう積み本コーナーを設定しており、創作活動を音楽的に展開できる配慮がなされています。					

# 多様な表現活動が屋内外で展開されています

屋内での活動としては、絵画などの創作活動や積み木を使った遊び、絵本活動、リズム遊びや民舞に取り組むなど、音楽や踊りなどの活動も行われています。また、屋外での活動では、園外に出る散歩活動のほか、野菜などの栽培活動、近隣の公立園3園との交流など、子どもたちがいつでも新鮮な気持ちに、そして、楽しい気持ちになれるように様々な取り組みが行われています。

# 関係機関との連携により、障害がある子ども等の保育に取り組んでいます

障害がある子ども等の保育については、担任保育士が中心となり、園の職員全体が連携して行っています。また、区としては、発達センターの専門家が巡回指導を行い、保育士が自分自身の子どもとの接し方を客観的に見るなど、現場の事例から学ぶ機会を用意しています。巡回指導に際しては、より多くの職員が参加し、指導方法を共有するなど、さらに充実した保育が展開されるよう改善する計画もあり、今後の活動が期待されます。

評価項目栄養バラ	•	慮したうえで、おいしい食事を出している	
2		評点( A+	)
評价	西	標準項目	
<b>●</b> あり	○なし	1.メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
<b>⊚</b> ສリ	○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	<u> </u>	  3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	
⊚ ಹり	○なし		○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
<b>්</b> あり	○なし	5. [0歳児を受け入れている保育所のみ] 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	● 非該当
【A+の取	り組み】	● あり ○ なし	
うなど栄養 体験する	きに関し 取り組み	ちに「食」についての関心を持ってもらうために、食べ物をその働きで赤・黄・緑の三つの色に分けられるこ。 て理解を深める活動を行っています。また、食べ物を育て、収穫し、調理するという食事ができるまでの一選 ・も行われています。幼児クラスでは、野菜を栽培、収穫し、味わうとともに、調理活動としては、4歳児では こぎり作りやおまんじゅう作りを行うなど年齢に合わせた多彩な体験ができるプログラムを用意しています。	車のプロセスを ピクルス作り
		評価項目2の講評	
季でるて 食食行かナ 節食よい 事事な対を で立に必膳 価ど でも では基要や 頂が では基要や 頂が でも ではままで ではまたで ではままで ではまたで ではな ではな ではな ではな ではな ではな ではな では	事すさ しに全です ーで〈子理 13 心に全です さ 統反どと 3 身のとれ す どうよん れてがもにな のがもにな のがしまん れてがもになる しょうしょん かんしがしている しょうしゃ しょうしゃ しょうしゃ しょうしゃ しょうしゃ しゅうしゃ しょうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しょうしゃく しょく しょく しょく しょく しょうしゃく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょ		むことができての配慮も行っていません。 での配慮を行っていません でいまい はいまい かいまい かいまい かいまい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい
	西	標準項目	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該当
<ul><li>● あり</li></ul>	○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当
ூ த்ர	○なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
【A+の取	り組み】	<b>○ あり                                   </b>	

## 評価項目3の講評

## 子どもの健康状態をきめ細かく把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、1歳児クラスの昼寝時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いて対応しています。

## 感染症予防と感染症発生時の対応を効果的に行っています

感染症予防に関しては、保健だよりを通じて情報提供を行っているほか、園内掲示をして注意を喚起するなどの活動が行われています。 また、感染症の発生時には、決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。なお、 感染症が発生した場合は、注意喚起の掲示を行って、感染の拡大が起こらないよう取り組まれています。

## きめ細かいマニュアルを用いた対応等により園の活動が支持されています

園には常駐の看護師が配置されていませんが、保健衛生面での細かな対応について記された詳細なマニュアルを常備しており、保育士がこのマニュアルを元に日々の保健衛生面での対応を行っているほか、いざというときには近隣園の応援看護師や園医とも連携しながら対応を行っています。このような活動は、利用者調査において8割を超える保護者から「発熱やけがの際の対応」について肯定的な意見が寄せられており、保護者からも支持されている様子がうかがえます。

か命ぜられており	、保護者からも文持されている様子かつかかえます。			
	どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている	評点(	Α	)
評価	標準項目 1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)			T
● あり ○ なし	1. 」といい、休月川の土石を来りのる土人をりている(晩土五、子前の刊事など)			○非該当
● あり ○ なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている			○非該当
● あり ○ なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている			○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>			

# 評価項目4の講評

## 様々な交流や行事を通じて、子どもたちが楽しめる工夫をしています

他園との3園交流や地域の高齢者との交流、職場体験や小学生・短大生との交流など日常保育の中での様々な地域交流の取り組みが 行われているとともに、七夕や節分などの伝統行事や運動会や夏まつりなどの保護者も参加する行事、おたのしみ会や焼いもなどの行事 など、多様な行事を開催しており、子どもたちが保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。また、お誕生会をクラスで個別に実 施しているなど、一人ひとりの子どもが主役となれる様な工夫も行われています。

## 落ち着きのある環境づくりに取り組んでいます

園では、子どもたち一人ひとりが落ち着いて過ごすことができる環境設定を目指し、取り組んでいます。 乳児クラスでは、小集団での保育を行っているため環境も小さく設定しているほか、クラスや園内の所々に手作りの装飾が施されるとともに、植物を配置するなどの取り組みが実践されており、優しさや温もりを大切にした子ども達が落ち着ける環境となるよう工夫されています。

# 一人ひとりのリズムに合わせ、安心して昼寝ができるよう配慮しています

昼寝は、疲れている子どもは先に寝かせる等、子ども一人ひとりの当日の体調に応じた対応が行われています。また、布団の位置は子ども一人ひとりの場所が決められており、「自分の場所」で安心して眠ることができるよう配慮されています。

評価項目 保育所と 5		· 交流·連携を緊密に行っている <b>評点( A</b>	)
評"	価	標準項目	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある	○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
【A+の取	り組み)	○ あり ● なし	
	0 do 18 do	評価項目5の講評	
保護者に	対する園 身に応し	通じて園の活動を伝えています 園からの情報提供については、毎月発行される園だよりやクラスだより、保健だより、食育だより、事務所だ。 じて発行されるおたよりを通じて行われています。また、保護者会では給食の試食を行うなど舌を使った情報	
日々の保 ひとりでしまた で 事 等ので き で は で は で は で は で は で は で は で は で は	育の様子での様子での様子での様子での様子での様子でいる。 はいのの後にはいる はいのの はいの 選目でいる はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり	様子がタイムリーに伝わるよう配慮しています 子については、乳児クラスでは、子どもたち一人ひとりに用意されている「連絡帳」を通じて行われており、保 様子を毎日記録して、保護者に伝えています。また、幼児クラスでは、クラスごとに毎日更新される日誌を掲 を伝えています。この日誌については、読みやすさを考慮してA3版に拡大して掲示されるとともに、園で行 を写真を用いて伝えており、タイムリーに、そして、わかりやす〈活動内容が伝わるよう配慮がなされていま 養者が参加してよかったと感じられるよう取り組まれています は、保護者が参加してよかったと感じられるよう、そして、参加しやすいように配慮を行っています。運動会に 動会日程についてもリサーチし、開催日が重ならないよう日程の設定を行っています。また、保護者会につい 日土が交流する機会を、幼児クラスでは親子が一緒に遊ぶ機会や子どもたちの発表会に保護者が参加する トで設定しており、保護者がきてよかったと感じられるよう配慮しています。	ままることに 事などがあっ す。 ついては、近 いても、乳児ク
評価項目 虐待防止		]みや育児困難家庭への支援を行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評	価	標準項目	
<b>●</b> あり	○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
● あり	○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
<b>●</b> あり	○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを 行っている	○非該当
【A+の取	 (り組み)	○ あり	

	評価項目6の講評	
	区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます	
	虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭式児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見どが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。	
	研修等に参加することによって、職員能力の向上を図っています 該当する子どもがいない場合であっても、区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた場上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上によう取り組まれています。継続的な園全体のスキルアップによって、様々なケースに対応できる体制づくりが期待されます。	
	評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
		<u>,                                    </u>
	評価 標準項目	<del></del>
	● あり ○ なし	○非該当
	② は 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	
	±5 /7 - ₹ - □ = △ ±±±5	
_	評価項目7の講評	
	子育てに役立つ地域の情報を保護者に提供しています 杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依 合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供を行っています。また、園が利用する散歩先についてコメン て作成されている「お散歩マップ」や地域の医療機関を地図とともに一覧にまとめた「近隣医療機関マップ」など保護者からの 高い情報については、入園時に配付される「まつのきほいくえんのしおり」に掲載しており、情報の重要度に応じた情報提供が ます。 地域の様々な人たちとの交流は子どもたちに豊かな経験をもたらしています 地域との交流は、中学生の職場体験や小学生・短大生などとの交流のほか、地域の方も参加できる運動会や焼いも会等の い保育、園庭開放などを通じた地域の親子との交流、3園交流などの同世代との交流や高齢者との世代間交流など、様々な との交流が意欲的に行われています。	トを一言添え )要望が特に が行われてい 行事、ふれあ

	特に良い	1と思う点
	タイトル	栄養士を中心として「食」に関する取り組みを行っています
1	内容	園では、子どもたちに「食」に対する関心を高めるため、食育パネルを使った栄養教育を行うとともに、食べ物を育て、収穫し、調理するという食事ができるまでの一連のプロセスを体験する取り組みを行っています。幼児クラスでは、野菜を栽培、収穫し、味わうとともに、調理活動として4歳ではピクルス作り、5歳ではおまんじゅう作りを行うなど年齢に応じた多彩な体験ができるプログラムを用意しています。また、保護者に対しても保護者会で行われる試食会やレシピの公開、食育だよりの発行などを通じて「食」に対する関心を高める活動を行っています。
	タイトル	子どもの自主性・自発性を育む環境設定を行っています
2	内容	園では、子どもの自主性や自発性を育むためには、発達の段階に応じたコーナー設定が重要であると考え、環境設定の充実に取り組んでいます。乳児クラスでは小集団での保育を行っていることから、コーナー設定についても小集団での活動を前提とした小さな環境設定を行い、天がいなども用いて落ち着いてじっくりと活動できる場を作り出しています。また、幼児クラスでは、積み木活動について継続的に行えるよう、また、完成した作品を飾っておけるよう積み木コーナーを設定しており、創作活動を意欲的に展開できる配慮がなされています。
	タイトル	日常及び会議での助言・指導、研修への参加を通じて、保育水準の向上を図っています
3	内容	子どもや保護者との接し方や声かけ、日誌や指導計画の作成等、職員同士で気づいたことを伝えあう様にしている他、ベテラン保育士による助言、園長・主査による個別指導や会議での指導等が行われているとともに、マイチャレンジプラン等を通じて職員一人ひとりの課題なども把握しやすい仕組みが設けられており、職員を指導する体制の充実が図られています。また、各保育士の知識や技術の向上を図るために、区職員としての研修の他、保育士の専門研修、自主的な勉強会への参加等を通じて、保育水準の向上に取り組んでいます。
	さらなる	 改善が望まれる点
	タイトル	保護者ニーズを把握する取り組みのより一層の充実が期待されます
1	内容	園では、保護者と一緒に子育てを共有することを大切に考えており、行事後にアンケートを行われています、利用者調査では、「要望や不満のいいやすさ」など保護者とのコミュニケーションに関する項目はあまり良い評価を受けていません。園としては、今後、要望箱の設置や父母会との交流強化などを通じて、保護者ニーズを把握するための取り組みを充実させていくこと考えていますが、特に父母会との交流の強化は、園には言いづらい不満を父母会を通じ間接的に得ることも期待できるなど効果が大きいと考えられるため、今後の活動が期待されます。
	タイトル	子どもの安全確保に向けた記録方法の改善が望まれます
2	内容	子どもの安全確保に向けては、病気や事故の際に行った対応について「病気事故一覧表」としてとりまとめたり、ヒヤリハット事例や子どものかみつきに関する話し合いを会議で検討する形で取り組まれており、利用者調査で「病気やけがに対する対応」について8割を超える保護者から肯定的に捉えられる結果にもつながっていると推測されます。しかし、これらの検討結果は、口頭のみであったり会議録の中に埋もれているなどこれからも活用しやすい情報として記録されるには至っていません。情報活用を意識した効果的な記録方法についての検討が望まれます。
	タイトル	園の目指しているもの(保育目標等)の再検討が望まれます
3	内容	園の保育目標「健康な身体の子ども」「情緒豊かな子ども」「意欲的に遊べる子ども」「自分で考えて行動できる子ども」については、様々な方法で、職員や保護者へ周知されています。しかし、現在、区立保育園全体が保育を通じて目指すものを「保育ビジョン」として定めるべく検討していること、また、新保育所保育指針が施行され、保育課程の導入や児童票の様式が変更されるなど、来年度は保育をめぐる環境が大きく変化する年となっています。この来年度の変化をよい機会と捉え、園が保育を通じて目指すものについても再検討することが望まれます。

# 阿佐谷北保育園

### [利用者調査:認可保育所]

(事業所名: 杉並区立 阿佐谷北保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯89世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数89共通評価項目による調査対象者数89共通評価項目による調査の有効回答者数53利用者総数に対する回答者割合(%)59.6

# 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が92.4%)。個別にみると、「戸外遊びの機会」、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が約9割を占める他、「提供される食事への配慮」、「体調変化への対応」、「お子さんについて職員と相談できる」、「職員の聞〈姿勢」についても肯定的回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。 一方、「要望や不満の言いやすさ」をはじめ、「要望や不満に対する対応」などについては肯定的な回答が低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

# 利用者調査結果

ます。

· 古調査結果				
共通評価項目		実	数	
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	45	5	3	0
肯定的な回答は8割を大き〈超える結果となっており、安定的な評価を受けている項目とい ニューに関する要望が寄せられているほか、体調不良時に体調に合わせた調理をしてほ				事のメ
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	48	3	2	0
肯定的な回答は9割を超えるとともに否定的な回答もほとんどみられない結果となっておりいる項目といえます。しかし、自由回答では、肯定的な意見もある一方で、小数ですが、「もると良い」とする意見などもみられます。				
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	38	12	0	3
肯定的な回答は7割を超えており、否定的な回答は見られないとともに、未回答も若干見 意見のほか、延長保育が実施されていないことに対する意見が複数見られます。また、言				

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	46	6	0	1
肯定的な回答は8割を大きく超えているとともに否定的な回答もみられず、満足する人が多がでもきちんと対応していただいています」等、肯定的な意見が寄せられているほか、保護い」、「遅い」、「どの程度で連絡をとるのか統一されていない」など様々な意見が寄せられて	者へ連絡を	す。自由意 をとるタイミ	見では、「さ ングについ	さいなけ ては「早
5.安全対策が十分取られていると思うか	40	10	2	1
肯定的な回答は7割を大きく超えています。自由回答では、肯定的な意見のほか、防犯面でいますが、不明とする意見も寄せられています。	での不安を	指摘する意	意見が複数	寄せられ
6.行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	42	10	0	1
肯定的な回答が約8割を占めているほか、否定的な回答はありません。自由意見は、平日るものが複数寄せられている状況です。	に行われる	6行事(保護	養者会)を不	満に感じ
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	47	5	1	0
肯定的な意見は9割に迫っており、他の設問に比べ満足度が高い項目です。自由意見では も見られますが、その他は肯定的な意見が占めており、自由意見からも保護者が満足して				する意見
8.保護者の考えを聞〈姿勢があるか	43	6	2	2
肯定的な回答は8割を超えており、他の設問に比べ満足度が高い項目です。自由意見ではせられている一方、「先生による」とする意見も複数見られます。また、「匿名で伝えられるはは匿名で意見を投書することができる「意見箱」が設置されていることから、園の取り組みがかがえます。	易が無い」と	この意見も!	見られました	こが、園に
9.サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	39	8	2	4
肯定的な回答は全体で7割を超えていますが、年齢別に見ると、3歳児以上の保護者から一方で、0~2歳児の保護者からは肯定的な回答が6割に届いていません。自由意見ではことに対しての不満や正規職員とパート職員との対応の差を指摘する意見も寄せられてい				
10.一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	49	4	0	0
肯定的な回答は9割を超えており、否定的な回答もみられない結果となっています。自由意える意見で占められており、保護者が満足している様子がうかがえます。	意見でも、「;	大切にされ	ている」と甘	- 肯定的に捉

11. 職員の対応は丁寧か	42	9	2	0
肯定的な回答は8割に迫る結果となっています。自由意見では、敬語を使わないことに対すに先生によるとする意見も複数寄せられています。	する否定的	な意見が多	多数寄せられ	<b>1</b> るととも
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	27	16	8	2
肯定的な回答は5割にとどまっており、他の設問に比べ満足度が非常に低い項目です。本律でき〈設問のため、寄せられた意見の中には「不満はない」等の意見も見られ、答えずら的な意見も1割を大き〈超えているため、何らかの対応をとることが望まれます。	設問は、言い設問であ	ミロやすいだ さるともいえ	かいいづらし ますが、一	ハかを一 方で否定
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	34	13	2	4
肯定的な回答は7割を下回り、前問に引き続き満足度が低い項目です。本設問も、きちんと答えずらい設問であるといえますが、何らかの対応をとることが望まれます。	と対応してい	八るかを一名	聿でき〈設师	問のため、
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	12	3	36	2
否定的な回答(知らない)が約7割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回 足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられ		項目となりま	もした。 園全	体との満
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	9	2	0	0
1年以内に利用を開始した11人中9人が肯定的な回答をしており、否定的な回答もありませては手探りの状態だった」との意見も寄せられておりますが、全般として保護者が満足して				・ルについ

[組織マネジメント:認可保育所]

(事業所名: 杉並区立 阿佐谷北保育園)

<u>組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)</u>

		共通評価項目	
I		カテゴリー1	
	リーダーシップと頽	意思決定	
İ		サブカテゴリー1	
	事業所が目指して	ていることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指して	ていること(理念、基本方針)を明確化・周知している <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	<b>●</b> あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	○非該当
	● あり ○ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	● あり ○ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	● あり ○ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	○非該当
	【A+の取り組み】	] ○あり ●なし	•
	評価項目2 経営層(運営管理	理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	● あり ○ なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	○非該当
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	

係者に周知し	ついて、経営層(運営管理者: ている	含む) は実情を踏まえて意思		)点辖	Α	)
評価			標準項目			
<b>●</b> あり ○	なし	夬定する手順があらかじめ決				○非該当
<b>●</b> あり ○	2. 重要な意思決定に関し なし	、その内容と決定経緯につい	ハて職員に周知している			○非該当
<b>●</b> あり C	3. 利用者等に対し、重要 なし いる	な案件に関する決定事項に	ついて、必要に応じてその	の内容と決定経緯を	を伝えて	○非該当
【A+の取り糸	 lみ]	○ あり ● なし				
	カテニ	ゴリー1の講評				
大事にして	カテニ ハる「楽し〈笑顔ですごせ		見のできる子」の浸透			
園では、杉並標「楽しく笑彦 れ、事務所内		る子」、「自分らしい表現 受け、園目標を定めるととも 長現のできる子」は、園作成し 保護者に対しては、入園説明	らに、この園目標に沿って した「ほいくえんのしおり」 月会や年度初めの保護者	、保育目標を定め や区の園紹介のホ i会で「ほいくえんの	iームペー oしおり」を	・ジに掲載さ を用いて保育
園では、杉並彦れ、事等の説明 職員会議を 関の重要で全体 ようとしている	ハる「楽し〈笑顔ですごせ 区の保育園(保育)の考え方を ですごせる子」、「自分らしいる にも掲示されています。また、	る子」、「自分らしい表現 受け、園目標を定めるととも 長現のできる子」は、園作成し 保護者に対しては、入園説明 〈えんのしおり」については毎 行っています 職員会議で検討して決定して では、会議の時間や出席者に 合などもあるため、確認の徹	らに、この園目標に沿って した「ほいくえんのしおり」 月会や年度初めの保護者 日年度更新を行うとともに ています。また、重要な意 には制約があり、各クラス 底が必要であると考えて	、保育目標を定め、 や区の園紹介のホ る会で「ほいくえんの 全保護者への配付 意思決定についても での報告や会議録	:-ムペ- )しおり」で  を行って 、職員覧で の回覧で	-ジに掲載さ を用いて保育 います。 議や打ち合わ *全体に周知し

	カテコリー2		
経営における社会	的責任		
	サブカテゴリー1		
社会人·福祉サー	ビス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
‡会人·福祉サー	ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <b>評点</b> (	Α	)
評価	標準項目		
	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		
● あり ○ なし			○非該当
	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでい	13	
● あり ○ なし			○非該当
A+の取り組み】			
平価項目2			
第三者による評価	「の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織と	-	
なっている	<b>評点</b> (	Α	)
評価	標準項目		_
HIIM	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取	り組ん	
● あり ○ なし	でいる		○非該当
	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に	こ事業	
● あり ○ なし	所に関する情報を開示している		○非該当
A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし		.1
7,102-17,210-12,1			
	サブカテゴリー2		
也域の福祉に役立	立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能やは	<b>冨祉の専門性をいかした取り組みがある</b>		
尹未川い汲ばい	#他の寺门注をいかした取り組みかめる <b>評点</b> (	Α	)
÷π /≖			
評価	標準項目 1.事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等	ミの開	
● あり ○ なし	放、個別相談など)	102111	○非該当
	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の関	组件 講	○ ¬¬¬
_	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や等门性をいかした正画・音光活動(新形芸の原師派遣など)を行っている	刊准、時	○非該当
● あり ○ なし			
【A+の取り組み】	○ あり ・		

小フンティア安け/	入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		_	
		評点(	Α	)
評価	標準項目			
	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
● あり ○ なし				○非該当
	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
評価項目3				
地域の関係機関と	との連携を図っている	評点(	Α	)
地域の関係機関と 評価	標準項目	評点(	Α	)
地域の関係機関と		評点(	A	<u> </u>
地域の関係機関と 評価	標準項目	評点(	A	○非該当
地域の関係機関と 評価 ○ なり	標準項目		A	<u> </u>
地域の関係機関と 評価 ○ なり	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	<u> </u>
地域の関係機関と 評価 のあり なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> あり	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> あり	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> あり	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当

## 遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、都や区の職員ハンドブック、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、保育所保育指針 等が事務所に常備され、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員 の採用時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する 通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議や打ち合わせで周知を行っています。

# 園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています

施設見学や学生の保育体験を積極的に受け入れているほか、毎月2回開催される「いっしょにあそぼ」、ふれあい保育、園庭開放などを通じ、地域の親子が参加できる機会を設けるなど、地域の子育て支援活動を行っています。しかしながら、「いっしょにあそぼ」は参加者が少ないことから、園においても宣伝方法や内容について再検討する必要があると認識しているため、より有効な取り組みとなるよう今後の改善が期待されます。

# 積極的にボランティアを受け入れています

園では区内で統一的に行われているボランティアセンターを通じた受け入れも行っていますが、地域の団体等とのつながりを活かし、ボランティアセンターを通さない独自のボランティア受け入れについても積極的に行っています。本年度は、地域の弦楽合奏団を受け入れましたが、こうした専門技能を持った地域団体をボランティアとして受け入れる取り組みは、子どもに豊かな経験をもたらす有意義な取り組みとして、大変評価できます。

	カテゴリー3	
利用者意向や地域	或·事業環境の把握と活用	
	サプカテゴリー1	
利用者意向や地域	或·事業環境に関する情報を収集·活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見·要望·苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目2		
	的·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	I
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>	•
評価項目3		
	関する情報を収集し、状況を把握・分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目  1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>	

#### カテゴリー3の講評

# 保護者の苦情等を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口についての認識度は3割程度となっており、周知方法の再検討が望まれます。また、保護者会や個人面談、行事後の感想文などで把握したクレームや要望については、都度話し合いを持ち、前向きに検討されています。

#### 保護者の意向を把握・検討するとともにフィードバックを丁寧に行っています

保護者の意向については、保護者会や個人面談のほか、行事後に書いていただく感想文や父母会などを通じて把握し、職員会議等で報告、検討しています。検討結果については、「出来ること」「出来ないこと」をしっかりと分け、丁寧に保護者に回答するように心がけています。直近では、保護者から「子育て情報を園だよりに載せてほしい」という要望を受けた事例がありますが、園だよりにてお勧めの本を紹介したり、園医さんに執筆していただいた医療に関する文章を掲載するなど、受け入れた要望に関しては全力で取り組む姿勢がみられます。

#### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワーク会議や区立保育園の園長会等への参加、新聞・雑誌の保育や子育てに関する記事から収集・把握しています。 新聞や保育雑誌等は園で購読していませんが、園長が個人的に記事を収集し、区からの通知などとともに職員に回覧を行っています。 地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

計画の策	定と着す	<b>ミな実行</b>	
		++ ¬+ = ¬11 4	
≧践的な	課題·計	サブカテゴリー1 画策定に取り組んでいる	
F価項目 ひ組み		Sじた課題·計画を策定している	
( ) MAC ) )		<b>評点</b> ( A	)
評值	西	標準項目	ı
<b>●</b> あり	○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該
9 00 0	<u> </u>	  2. 年度単位の計画を策定している	
● あり	○なし		○非該
		3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
<b>●</b> あり	○なし		○非該
7 4 4 4 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1	り組み	○ あり ● なし	
4価項目	2	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	)
「価項目 角的な	]2 視点から	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b>	)
硒項目	]2 視点から	ら課題を把握し、計画を策定して <b>い</b> る	<u> </u>
通項目 角的な 評価	]2 視点から	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<u> </u>
価項目 角的な 評価 かあり	32 視点から <u></u> ○ なし	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該
・価項目角的なご 角的なご 評価 ・ あり	∃2 視点か∮ 西	高課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該
平価項目 角的な 評価 ● あり	32 視点から <u></u> ○ なし	を課題を把握し、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
平価項目 角的な 評価 ● あり	12 視点から のなし	新点( A 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目 角的な 評価 ● あり  ● あり	12 視点から 面 ○ なし	新点( A 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目 角的な 評価 の あり の あり	12 視点から のなし なななし	回ります。	)
呼価項目	12 視点から のなし なななし	回ります。	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
『価項目 角的な 評価 ● あり ● あり	12 視点から のなし なななし	回ります。	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該

評価項目3	-I- H7 1140 / 751 \ 7	
看美な計画の夫1	テに取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1.計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
● あり ○ なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	○非該当
● あり ○ なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
● あり ○ なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし	
	サブカテゴリー2	
利用者の安全の研	<b>雀保・向上に計画的に取り組んでいる</b>	
☆/無1百口 4		
評価項目1 利用者の安全の研	確保·向上に計画的に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
● あり ○ なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
● あり ○ なし	3. 再発防止·予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・	
	カテゴリー4の講評	
区では中・長期計行っています。まが 人材育成の3分野す。園では、22年 非常に高い意記 子どもの安全確保 犯訓練を計画的に場合は、その経緯	ンを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます 画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ所 た、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善 所に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が 度までをにらんだ目標の設定等を意識して行っており、今後も継続的に取り組まれることが期待されます。 識で子どもの安全確保に取り組んでいます 民に関しては、区の危機管理マニュアルや園独自の事業マニュアルを活用しているほか、災害・緊急時の避 に実施するとともに、地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も行っています。事 はや内容を「事故報告書」に記録し、職員全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能してい りとした事例も日々収集し、予防対策につなげており、非常に高い意識で安全確保を行っている点は大変診	、接遇向上、 定着していま 難訓練や防 故が発生した います。さら

		カテゴリー5	
職員と組	織の能力	D向上	_
		サブカテゴリー1	
事業所が	目指して	いる経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
評価項目	1 7.0	- 本	
事業所に	とっ (火	要な人材構成にしている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
			,
評	(曲	標準項目  1.事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	1
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
9 00 7	<u> </u>	  2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○ 4FBX=
<ul><li>あり</li></ul>	○なし	2. 事業がかが安とする人物を組みただ体用を行うといる	○非該当
<u> </u>	<u> </u>	  3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○ 4FBX =
♠ ± 11	O #\!	3. 週70週71の人見印重に取り組んでいる	O 4⊦±⊁\I
● あり	○なし		○非該当
【A+の取	り組み	◯ あり : ◎ なし	
平価項目	12 (0句 b)	- HD 134B & 751 N Z	
評価項目 職員の質	目2 (の向上)	こ取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価項目 職員の質 評・	の向上		)
職員の質	の向上	<b>評</b> 点( A	)
職員の質	の向上	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>
戦員の質 <u>評</u> ′ ● あり	iの向上  <u>価</u> ○なし	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	○非該当
戦員の質 評価	面 一	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
職員の質 <u>評</u> ′ ● あり	<b>価</b> ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
職員の質 <u>評</u> ′ ● あり	iの向上  <u>価</u> ○なし	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
職員の質 評( ・ あり  ・ あり	<b>価</b> ○ なし	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
職員の質 評( ・ あり  ・ あり	<b>価</b> ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質	<b>(の向上</b>     <b>(価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質	<b>(の向上</b>     <b>(価</b>	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
部( のあり のあり のあり のあり のあり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>
職員の質	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>↓ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
戦員の質  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li><li>○非該当</li></ul>

	サブカテゴリー2	
職員一人ひとりる	と組織力の発揮に取り組んでいる	
評価項目1		
	の主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	
	<b>評点</b> ( A	)
評価	標準項目	
	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	Γ.
● あり ○ なり	·	○非該当
	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	
● あり ○ なり		○非該当
	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	Γ
		○非該当
【A+の取り組み	<b>♪</b> ] ○ あり	
評価項目2		
職員のやる気冋	上に取り組んでいる  <b>評点( A</b>	)
· - /		, 
評価		Ī
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	リントを行っている	○非該当
	▽┃	○ ¬F#^¬
<b>⊚</b> ಹ) ⊖ ಭ!		○非該当
	~    3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 71 H/\-
<b>⊚</b> ಹು! ⊖ ಭ!		○非該当
	~    4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○ ¬F#^-
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>		○非該当
		○ 4F#A →
【A+の取り組み	<b>♪</b> ] ○ あり ● なし	
	カテゴリー5の講評	
	、材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています	
常勤職員は配置  いますが	『基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で正 こは園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように	面接採用して マタカていま
す。クラス担任に	こついては、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、バランスを考慮して園長が決定しており、概ね職員	員の希望に
沿った配置ができ ます。	きています。係分担についても、各職員から希望を出してもらい、クラスや業務負担が偏らないように調整して	て決定してい
	性化する研修等を通じて職員の質の向上や意欲の向上に取り組んでいます	
	1生10g る姉116号を通して職員の員の向上で息級の向上に取り組んでいまり 1向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が個人面談を	行う中で把握
しています。また	:、研修については、区で実施している実務研修などのほか、今年で3年目を迎える自主研修についてもリー・	ダーを中心と
	図り組んでいます。 この自主研修の定期的な開催は、職員の学ぶ意欲のより一層の高まりをもたらし、この意 員(アルバイトやパート職員、他園の保育士等)を巻き込んだ「勉強会」開催に発展しており、今後も継続的な〕	
待されます。	4(////////////////////////////////////	

		サブカテゴリー1	
<b>青報の保護</b>	·共有	に取り組んでいる	
平価項目1 3業所が蓄		いる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
·朱///// 田·	1900	デ点( A	)
評価		標準項目	
<b>●</b> あり (	⊃なし	1.情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
<b>●</b> あり (	⊃なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該論
		3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	
<b>●</b> あり (	⊃なし		○非該語
			1
		<b>○</b> あり <b>●</b> なし	
平価項目2		<ul><li>○ あり ● なし</li><li>人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している</li><li>評点( A</li></ul>	)
A+の取り祭 平価項目2 国人情報は、 評価	:、「個ノ	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
平価項目2 3人情報は、	:、「個ノ	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
平価項目2 3人情報は、 評価	: :、「個ノ ) なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	 T
平価項目2 i人情報は、 評価	: :、「個ノ ) なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	○ 非該
呼価項目2 3人情報は、 評価 ● あり (	: :、「個ノ ) なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該
平価項目2 個人情報は、 評価	こ、「個ノ	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○ 非該:
平価項目2 個人情報は、 評価 ● あり (	:「個ノ ) なし ) なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該:
平価項目2 引人情報は、 評価	こ、「個ノンなし ) なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	<ul><li>○ 非該</li><li>○ 非該</li></ul>
平価項目2 引人情報は、 評価	こ、「個ノ コープ なし し ひ なし し	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

#### カテゴリー7の講評

# 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に 従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使 いやす〈更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、園長が施 錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

# 個人情報の取り扱いを園のしおりに明記しています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。 園で取扱う個人情報の利用目的は、区の入園申込関係書類に一部記載が見られますが、 さらに全般的な個人情報の利用目的についても明示することが期待されます。

#### 職員が個人情報保護を理解し行動できるための取り組みを行っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、職員採用時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修 の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、文書を配布して個人情報保護等の留意事項を 伝えています。

	カテゴリー8				
8	カテゴリー1~7に関する活動成果				
	サブカテゴリー1	17			
	前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してい	15			
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	て、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」	○ A :	<b>Ω</b> Λ	$\bigcirc$ D	$\bigcirc$ c
	·カテゴリー2:「経営における社会的責任」	○ A+	O A	Ов	$\bigcirc$ C
	・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」				
	改善の成果				
	事故やけがの要望ためヒヤリハット事例の収集と活用に取り組んでいます				
	昨年度より試験的に導入していたヒヤリハット事例の収集と活用の取り組みを本年度から本格的に導発防止の取り組み(事故発生時の職員全体に周知して改善策を話し合う)とともに機能させることによ策が充実させることが出来た点は、大変評価できます。	i入し、これま :って、子ども	で行っ の安全	ていた事 確保に	野故の再 関する対
	# <b>7</b> 1= <b>7</b> 11_0				
	サブカテゴリー2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している				
	中茂と比べ、喊真と組織の能力の画で同土している 				
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	て、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	$\bigcap \Lambda_{i}$	<b>Ω</b> Λ	Ов	$\bigcirc$ c
		○ A+	● A	ОВ	$\bigcirc$ C
	改善の成果				
	係活動をより効果的に行うため、係り分担の再編成を行いました				
	これまで細かく分けていた係りを、「外環境」「内環境」「地域関係」「えんだより」等の大きな組織に再終たせるかたちに変更しました。成果としては、地域関係では、夏祭りの開催方法を父母会との共催(役父母会との話し合いの場の増加につながり、職員と保護者との相互理解を深めることに寄与する結果がうかがえます。	来は父母会	主催)に	変更す	ることが
	H-74711 0				
	サブカテゴリー3				
	前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護·共有の面において向上している 				
	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	て、改善を行い成果が上がっている  ·カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」	<u> </u>	<b>Ω</b> Λ	$\bigcirc$ D	$\bigcirc$ o
	・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+	● A	Ов	$\bigcirc$ C
	改善の成果				
	情報の提供内容や表現方法を変更しました				
	毎月発行する園だよりについては、カラー刷りで発行するように変更するとともに、写真やイラストなと				
	保育の様子をお伝えする、保護者の要望により追加したお勧めの本、園医さん執筆による医療に関す の「思い」を伝える自主研修の研修資料なども追加され、従来からある保護者の声を伝えるコーナー・				
	の、ぶい」を伝える自主所形の所修員科なとも追加され、促木がらのる保護者の声を伝えるコーナー・ 人が等し〈情報を発信し、共有する媒体に園だよりが成長したことは、大変評価できます。	ひ中め、わか	., 1-91	リング	こうがしつ

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
事業的の対対ないではよりでいる				
評価項目1				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がって				
เาอ		$\sim$	$\bigcirc$ 5	$\bigcirc$ o
	● A+	O A	Ов	$\bigcirc$ C
 改善の成果				
行財政改革を着実に実行しました				
区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年原	までに6割の	の事業を	委託 長	R営化·協
同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げていま	す。この中で、	区立保	育園の	事業委託
等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」と 分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。	いう3つが掲	げられて	「おり、L	どの保育
グガエ かこってい 日起 バーににん ていっこう にぬ てこめ こに。				
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している				
toamがにのいて以普順回を示している  ·カテゴリー3:「利用者意向や地域·事業環境などの把握と活用」		<b>Ω</b> Λ	Ов	$\bigcirc$ c
	O A+	● A	ОВ	$\bigcirc$ C
改善の成果				
幼児通用門や幼児用トイレの環境改善を行いました				
幼児用通用門(園庭側の門)や幼児用トイレについては、その危険性やあまり良くない環境であるこ	とが職員間で	話し合っ	bれて <sub>に</sub>	ました
が、ペンキを塗ったり、ウサギやシャボン玉・鉛筆などのデザインを施すことなどにより、環境が改善				
<i>t</i> c.				

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

			共通評価項目			
			サブカテゴリー1			
1	サービス情報の提供					
	評価項目1					
	保護者等に	対して	サービスの情報を提供している <b>評点</b> (	Α	)	
	L		HT/M/	^	,	
	評価		標準項目			
		_	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている			
	<b>●</b> あり (	○なし			○非該当	
	l		2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している			
	<b>●</b> あり (	○なし			○非該当	
			3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している			
	<b>●</b> あり (	○なし	<u></u>		○非該当	
	【A+の取り	組み】	○ あり ● なし			
	l					
	i					
	l					
			サブカテゴリー1の講評			
	園の情報	をさま	ざまな形で発信しています	<u> </u>		
			所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホ			
			ーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見 園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。	、取り図や	'写真」「地域	
	و ره ر اراوا		園の付出」も1句単に11にのり、園の1株丁ルコカリッとすりはフェヘに11にいるす。			
	ĺ					
	見学等は	、個別	の状況に応じて対応しています			
			、次年度の入園申し込みに向けた見学をはじめ、地域の親子を対象とした毎月2回開催される「レ			
			開放等、年間を通じて受け入れています。見学の際は、見学者の時間的な都合だけではなく、見雪動しているところを見たいのであれば午前中がよいです等)を提案するなど、「よりよい見学」につっ			
	われていま		<b>勤りているこころを光たいのでめい</b> は一則すかあいてする/で旋来するなこ、 あっあい元子/につっ	タハ.タマ	ノは印息でリ	
	1					
	İ					
	İ					
	İ					
	İ					
	1					

	サブカテゴリー2	
2 サービスの開始	終了時の対応	
÷亚/英元 □ 4		
評価項目1 サービスの開始	にあたり保護者に説明し、同意を得ている	
2 27 32 2022		)
評価	標準項目	
<u>青竹1叫</u>	伝字項目  1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>		○非該当
	´    2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	O JERO-I
● あり ○ なし		○非該当
	3.サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	_
● あり ○ なし	$\gamma$	○非該当
【A+の取り組み	<u>.</u>	
【ハキリノ4人リポロリ		
1		
1		
評価項目2		
	及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	
	<b>評点</b> ( A	)
評価	標準項目	
HIII	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	
● あり ○ なし		○非該当
	'   2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	O JEWA
		~ " <del></del> //
● あり ○ なし		○非該当
	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	
● あり ○ なし	,	○非該当
	■ 4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援	
● あり ○ なし	たしている	○非該当
		○ ¬r н/,
【A+の取り組み		
1		
1		
1		
	サブカテゴリー2の講評	
入園時の各種	- 説明はわかりやすいよう配慮しています	
	、園で独自に作成した「ほいくえんのしおり」を用いて、園での基本的なルール、園生活で必要なもの等が丁!	寧に説明され
ています。この「	まい〈えんのしおり」は、イラストや表、図、写真などがふんだんに使われ、説明文もポイントなどをおさえた形	で記述されて
おり、非常にわれ	いりやすい内容となっています。このような取り組みは利用者調査において8割を超える保護者の方からわか	りやすかった
と支持される結果 れます。	Rに結びついていると考えられます。これに満足することなく、より充実した内容となるような継続的に取り組む	ごことか望ま
	パンスの砂郷をおうた伊女を守いしています	
	子どもへの影響を考えた保育を実践しています。 まで3.3.3.2.2.2.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.	· · · - = = 10 (= )
	を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、小グループでの保育を行うと を採用するとともにパートやアルバイト職員の人員配置を手厚くして対応しています。また、保育開始初日か	
	を採用することもにハートマアルバイト職員の人員配置を手厚くして対応しています。また、1休月用知が口が - 特間保育を行う「なれ保育」も保護者の都合も勘案しながら実施しています。この「なれ保育」に関しては「ほい	
	理由や実施内容、ポイントなどを記載しており、保護者の方々に理解いただけるよう努めています。	

サブカテゴリー3							
固別状況に応じた計画策定·記録							
評価項目1 必要に応じて、定 面ごとに明示して	められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 いる <b>評点( A</b>	)					
評価	標準項目	•					
● あり ○ なし		○非該当					
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当					
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該計					
A+の取り組み	<b>○ あり                                   </b>	•					
	どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計						
画を作成している	<b>評</b> 点( A	)					
評価	標準項目						
◉ あり ○ なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該					
● あり ○ なし	2. 計画を保護者にわかりやす〈説明し、同意を得るようにしている	○非該					
● あり ○ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該					
● あり ○ なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該					
A+の取り組み)	<b>○ あり ◎ なし</b>	•					
平価項目3 ダ要に応じて、子	どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している ************************************						
		)					
評価	標準項目  1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	1					
● あり ○ なし		○非該					
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該					
A+の取り組み	○ あり ● なし						

	評価項目4	
	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
Ì		,
I	評価 標準項目	
Ì	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	~
I	<b>●</b> あり ○ なし	○非該当
	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	,
1	● あり ○ なし	○非該当
Ì	(	
	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	
I	1	ļ
	1	ļ
	<b>.</b>	!
٦	サブカテゴリー3の講評	
Ħ		
	休育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大き〈3段階・	の計画があ
	り、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月·翌週)の計画が作成されます。この計画の	の作成の際に
	は日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に	応じて、改定
	が行われることあります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月のクラスだよりで、週案は園内掲示 られています。	によって伝え
		ļ
	子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録しています	· - <u>-</u>
	子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この   は、杉並区立保育園は通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しめまいよう項目分に	
	は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分にす。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成も	げされていま <sub>し</sub> 馬について保
	19 。また、八年度の新株育指針の施行に向けて、「光量宗」の様式の反定について医生体で取り組んであり、より子ともの成れ   護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われております。	又にフィーン
Ì		!
Ì	口頭と記録をセットにした情報の伝達や共有を行っています	!
	各クラスでの情報共有は月案会議や月案を通じて行われています。また、日々の情報共有については、ミーティングのほか朝	月夕保育ノー
	ト等を通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。	
1	l e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	ļ
1	l e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	
٦	サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	-
	評価項目1	
Ì	子どものプライバシー保護を徹底している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	MITATAL CA	
Ì	評価標準項目	
Ì	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにし	<u> </u>
	● all CINS	○非該当
Ì	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	i
	⊚ ಹ∪ ದಿ	○非該当
Ì		-
1	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	
	Γ	-
	1	ĺ
	1	ĺ
	1	ļ

	評価項目2 サービスの実施に	こあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	
		記念と、「COOREMES VALUE SEE CONTROL PRINTER CONT	)
	評価	標準項目	1
	● あり ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
	● あり ○ なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
	【A+の取り組み	○ ಹು ರಿ	
	9	サブカテゴリー5の講評	
	プール宝施時	ックガアコッ=500調査 やおむつ交換時等におけるプライバシーへの配慮を徹底しています	
	園では、プールで 時は決められた場	の活動を行う際は、水着になった際にバスタオルで巻く、外からの視線をさえぎるなどの配慮を行うとともに 場所で行うなど、プライバシーに配慮した活動を行っています。なお、園で行っているこうした活動は、子ども ながっており評価できます。	
	園では、園独自に や保護者に対して 調査において9割	引いた振りかえりを実施しています 作成したマニュアルを用いて定期的に振りかえりを行うとともに、必要に応じて、緊急に話し合いの場を持 不適切な対応を行っていないか、自らを見つめ直す機会やその対応を検討する場を設けています。この反 を超える保護者から「子どもは大切にされている」と、また、約8割の保護者から「職員は礼儀正しく丁寧」と れていると考えられ、着実に成果に結びついている活動と評価できます。	は果は利用者 しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しん
		サブカテゴリー6	
6	事業所業務の標準	<b>集化</b>	
	評価項目1 手引書等を整備し	、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明	1
	◉ あり ○ なし	確にしている	○非該当
	● あり ○ なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	○非該当
	● あり ○ なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	○非該当
	● あり ○ なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
	【A+の取り組み	<b>○ あり                                   </b>	-

評価項目2 サービスの向上を	そめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをして <b>いる</b>	評点(	Α	)
評価	標準項目			
● あり ○ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定めら	られている		○非該当
● あり ○ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等かどもの様子を反映するようにしている	らの意見や	提案、子	○非該当
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等のる	<b>没善に取り</b>	組んでい	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり			
評価項目3				
さまざまな取り組る	みにより、業務の一定水準を確保している	評点(	Α	)
評価	標準項目 1.打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に	- 仁土油フト	シニー	ı
● あり ○ なし	เาอ	- 仃さ波るよ	JE00	○非該当
● あり ○ なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している			○非該当
● あり ○ なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている			○非該当
● あり ○ なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している			○非該当
● あり ○ なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けてい	<u></u> వ		○非該当
【A+の取り組み】	○ あり . ● なし			
	サブカテゴリー6の講評			
園の基本的なル- 「事業マニュアル」	ルールや各種対応方法はマニュアルを定めて明確化しています -ルや事件・事故等に対する対応方法などについては、それぞれ、区で作成した「危機 「保育マニュアル」にとりまとめられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振 、改訂作業も行われています。			
研修については、 修メニューの確保	)の学びを組織として共有し、業務水準の確保を行っています 区で実施している実務研修などのほか、自主研修等も行われており、職員の希望に沿が出来ています。また、研修に参加しやすい体制作りが行われているとともに、研修でれており、職員一人ひとりの学びが組織として共有され、園として一定水準の保育レベ	学んだ内容	<b>ドについて</b>	は、打ち合わ
今年度より指名さ 与しています。特によう、会議の進め	リーダーが中心となり活発に行われています れた2名のリーダーは、園の会議や研修などで主導的な役割を果たし、議論の活性化に会議の運営については、区のリーダー会議で学んだことを積極的に取り入れたほか、 方などにも配慮した結果、ベテランから若手まで意見を出し合えるようになり、すべての 、大変評価できます。	経験の浅し	ハ職員が	発言しやすい

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

_			<b>次口(3)コン <sup>()</sup> </b>	
	評価項目	∄1		
			けための保育を行っている	
_	1 C 007			`
1			評点( A	)
	評	価	標準項目	
			1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	
		_		
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○ 非該当
			2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		〇 非該当
	(i (a)	U 40		
			3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	
	_	_		_
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○ 非該当
			4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	
	⊚ あり			○非該当
	(a)	○なし		
			5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配	
	_		慮している	_
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	IBU CVIS	○ 非該当
	1 A . O HT	71148 211	○ あり <b>●</b> なし	
	【A+の取	い組み		
			評価項目1の講評	•

#### 異年齢保育などによって子どもの自主性・自発性を育んでいます

異年齢保育などの活動については、泥団子作りを異年齢で一緒に行う活動からはじめ、最終的には幼児クラス(5・4・3歳児)や障害児等が一緒にリズム体操を行うところまで発展させています。この活動を行う際は、職員がリズム対応の指導研修を受ける等、より効果的に活動が展開できるよう配慮されています。また、ブロックや積み木を用いた活動については、その作品を週末までは壊さずに飾っておくことができるルールを作り、意欲的に活動ができるような配慮も行われています。

## 多様な表現活動が屋内外で展開されています

屋内での活動としては、芋ほりの際に採取した芋づるを利用したリース作りなどの製作活動やブロックや積み木を使った遊び、絵本活動、 からだを使ったものでは、リズム体操や側転の練習などが行われています。また、屋外での活動では、園外に出る散歩活動のほか、野菜 などの栽培活動など、子どもたちがいつでも新鮮な気持ちに、そして、楽しい気持ちになれるように様々な取り組みが行われています。

# 障害児の受け入れ体制が整えられており、状況に応じた保育が展開されています

障害児指定園であることから、施設的にも障害児保育用の「特別室」があり、また、障害の内容により補助者となる人員も配置されていることから、保育環境としては他園に比べ恵まれた状況といえます。また、専門家による定期的な巡回指導を定期的に受けることができ、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を学ぶ機会も用意されているとともに、障害児指定園の園長のみで構成される園長会での情報交換などもあることから、これらを有効に活用した充実した保育が展開されています。

栄養バラ 2	ンスを考	慮したうえで、おいしい食事を出している <b>評点( A+</b>	)
評	<b>T</b>	標準項目	
		1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
		  2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	1
<u> </u>			
● あり	○なし		○非該当
		3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	
<b>●</b> あり	○なし		○非該当
© 00°7	<u></u>		
		4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		〇 非該当
ļ		  5.【0歳児を受け入れている保育所のみ】	+
	_	3. で成元を支げ入れている体質が00% 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	
● あり	○なし		○ 非該当
【A+の取	り組み	● あり ○ なし	
園では.	栄養士の	・食育教室が開かれているほか、3歳児クラスからミニトマトを育てるなど栽培活動に取り組んでいるとともに	こ 年長児で
では、図書	書館で本	を経て調理する一連の食事が出来るまでの流れを体験することが出来るプログラムが用意されています。 を借りてきてスイートポテト作りに取り組んだり、クッキーづくりで作ったクッキーをお茶会で食べるなど、食 取り組みも行われています。これらの取り組みは職員が職種を超えて協力することによって実現しており、メ	育と他の活動
		評価項目2の講評	
		計1111111111111111111111111111111111111	
食事が	より一層	<b>■楽し〈なるような食事環境への配慮を行っています</b>	
季節の行	事の際に	こは、ビュッフェスタイルで会食したり、ビュッフェスタイルでの会食を異年齢で行う等、特別な日には食事の	メニューだけ
		こと、とコンコスノールで召及した。〈 ニュンコスノール この召及と呉 一訳 とりつら、 けかは日には及すり 定を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。 また、 異年齢で取り組む際などは、 !	
		心がけられており、ビュッフェで並んでいる食べ物を年長児が年少時のために取り分けてあげるなど、年下	
		三上を敬う気持ちがそれぞれ育まれることにもつながっています。	
/FI Dil 1— :	<del>-</del>	この声を担併しています	
		<b>と食事を提供しています</b>	
		子どもや離乳食の子ども、障害などで食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に	
		います。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェッ	りをかけるな
と、間遅り	いか起さ	ないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。	
食事が	しやすい	1環境を整備しています	
食事の際	に子どキ	。 たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。 イスやテーブルについて	は既製品を
利用して	ハますが	、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、1歳	見以上のクラ
スについ	てもなる	べく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子の	どもが食べや
		ができるよう配慮されています。	
評価項目	13		
		健康を回復·維持するための支援を行っている	
3		評点( 人	)
評	価	標準項目	
		1.子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
007	<i>○ ね</i> 0		O 1FBX II
		2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするし〈みがある	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
O 137	<u> </u>		0 11 11/2
		3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		〇 非該当
		  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<u> </u>
		4. 体護有に対して燃栄症で乳効だ犬然が症候符(3D3)寺に関する情報を提供し、ず内に劣めている	
● あり	○なし		○ 非該当
【A+の取	り組み	○ あり  ● なし	

#### 評価項目3の講評

# 子どもの健康状態をきめ細かく把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は週1回、以後は年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申請書を用いて対応しています

#### 感染症予防と感染症発生時の対応を効果的に行っています

感染症予防に関しては、月1回発行の保健だよりを通じて情報提供を行っているほか、園内掲示をして注意を喚起するなどの活動が行われています。また、感染症の発生時には、決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。 なお、感染症が発生した該当クラスにおいては、注意喚起の掲示を行って、感染の拡大が起こらないよう取り組まれています。

#### 園医さんも積極的に園の活動へ参加しています

園と園医さんとの関係は、非常に良好であり、園で行う保育や保護者に対する支援について積極的に関わっていただいています。園医としての本来業務である定期健診などへの対応のほか、園だよりに病気やけがに対する対応方法等について執筆し、家庭での病気等に対する対応方法の支援を行うとともに、毎年保護者会等で子育てに関する講演を行っており、保育士や看護師とはまた違う角度から様々なお話をうかがうことが出来る機会が用意されています。

評価項目4 園内の生活が、子	子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている	評点(	Α	)
評価	標準項目			
	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)			
● あり ○ なし				○非該当
	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている			T
● あり ○ なし				○非該当
	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】	○ あり   ⑥ なし			
	評価項目4の講評			

# 落ち着いて過ごせる環境設定に力を入れて取り組んでいます

環境設定については、特に園が力を入れている分野であり、園長が先頭に立ち、子どもが落ち着いて過ごすことが出来る家庭的な雰囲気 を目指して取り組まれています。この取り組みでもっとも大き〈寄与している活動は期間や場所を限定して毎年少しづつ行われている壁な どのペンキ塗りであり、ある期間、職員総出で取り掛かることによって園の雰囲気を大き〈変えることに成功しています。さらに、床に近い 場所への観葉植物の配置や階段の踊り場を飾るテーマ展示なども少ない予算をやり〈りしながら行っており、大変評価できます。

#### 子どもたちが園生活を楽しめるよう行事や交流などに取り組んでいます

誕生日は子ども一人ひとりが特別な気持ちなれるよう、誕生日当日にクラスでお祝いを行う形式となっています。また、行事については、 七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、ルンルン秋祭り(運動会)や幼児集会、地域のお年寄りとの敬老交流会や学校訪 問、弦楽合奏団の音楽鑑賞など、子どもたちが保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。

評価項目5 保育所と家庭との 5	D交流·連携を緊密に行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある	○非該当
● あり ○ なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している ,	○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている ,	○非該当
【A+の取り組み	○ あり ● なし	
	評価項目5の講評	
保護ーの資料をおりまする。 日本の 関係などの 関係などの 関係などの 関係などの 関係などの 関係のは同 と できる といっている は は ままままままままままままままままままままままままままままままままま	のたよりで子どもたちの様子や園の活動をわかりやすく伝えています 園からの情報提供については、毎月発行されるクラスだよりや園だより等のたよりがあります。特に園だよりでれており、園長の言葉のほか、子どもたちの保育の様子、保護者の声を伝えるコーナー、職員が取り組ん々な子育で情報などが、写真やイラストなどでわかりやすく紹介されています。また、クラスだよりでは、園だいりやすい表現のほか、特にクラスの子ども一人ひとりを大切にして活動を伝えるよう配慮されています。 通じて日々の保育の様子をタイムリーに伝えています等に加え、日々の園での様子をタイムリーに伝えています。 等に加え、日々の園での様子をタイムリーに保護者へ伝える取り組みとして、日誌の公開が行われています。かたのか、読みたくなるような文章表現が心がけられているとともに日々の活動がなぜ行われているのか明確閉しており、その時々に行われる活動の意味も保護者と共有できるように配慮しています。 報交換をより密に行うことができる取り組みが期待されますが、その時々に行われる活動の意味も保護者と共有できるように配慮しています。 はる各設問の満足率はほとんどの項目が7割を超えており、園で行っている活動が保護者に大変支持されているより、園では、保護者の意見や要望、苦情に真摯に耳を傾け、対応してきた結果が今の評価につなず、「要望や不満の言いやすさ」という設問については約5割の満足率にとどまっています。この結果を見れたら不満があることも想定されることから、保護者との情報交換をより密に行うことができるように取り組むことが	でいる自主 よりと同様写 保護者が、 になるよう、 でいることがうこ がまだ顕されま が期待されま
6	評点(A	)
評価	標準項目 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<u> </u>
<ul><li>● あり ○ なし</li><li>● あり ○ なし</li></ul>	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての連れなかが広を決定する体制を整えている。	① 非該当 ○ 非該当
● あり ○ なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
● あり ○ なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み	○ あり	

	区、関係機関との連携して虐待防止、育児困難家庭を支援できるよう取り組んでいます	
	虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭で	援センター、
	児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見 どが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。	見時の対心な
	研修内容の職員間での情報共有と園全体の対応能力の底上げを図っています	
	該当するケースがない場合でも区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の  とともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなさ	)向上を図る
	祖まれています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されま、	
	評価項目7	
	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	
7	<b>評点</b> ( A	)
	·····································	
	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	
		○非該当
	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を	
	● あり ○ なし 確保している	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	
	÷T/T▼T □ = 0 ÷# ÷T	
	評価項目7の講評	
	地域の情報を保護者へ提供しています	
	杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。	頼があった場
	一口は、小人グーの拘小でデブンを配作するなど、地域の情報提供をのとなっています。	
	地域の様々な人たちとの交流は子どもたちに豊かな経験をもたらしています	
	地域との交流は、学生の職場体験などの受け入れや実習生などのほか、地域の方も参加できる運動会等の行事、毎月2回   「いっしょにあそぼ」、ふれあい保育、園庭開放などを通じ、地域の親子との交流、敬老館との世代間交流や弦楽団等のボラ	用催される ソティアかど
	様々な年代の方々との交流が意欲的に行われています。	)

評価項目6の講評

(事業所名: 杉並区立 阿佐谷北保育園)

	桂に白い	1と思う点
<u> </u>	古に区り	
	タイトル	落ち着いて過ごせる環境設定に力を入れて取り組んでいます
1	内容	環境設定については、特に園が力を入れている分野であり、園長が先頭に立ち、子どもが落ち着いて過ごすことが出来る家庭的な雰囲気を目指して取り組まれています。この取り組みでもっとも大き〈寄与している活動は期間や場所を限定して毎年少しづつ行われている壁などのペンキ塗りであり、ある期間、職員総出で取り掛かることによって園の雰囲気を大き〈変えることに成功しています。さらに、床に近い場所への観葉植物の配置や階段の踊り場を飾るテーマ展示なども少ない予算をやり〈りしながら行っており、大変評価できます。
	タイトル	園だよりなどのたよりで子どもたちの様子や園の活動をわかりやす〈伝えています
2	内容	保護者に対する園からの情報提供については、毎月発行されるクラスだよりや園だより等のたよりがあります。 特に園だよりについては、カラー刷りで発行されており、園長の言葉のほか、子どもたちの保育の様子、保護者 の声を伝えるコーナー、職員が取り組んでいる自主研修の資料や様々な子育で情報などが、写真やイラストな どでわかりやす〈紹介されています。また、クラスだよりでは、園だよりと同様写真など使ったわかりやすい表現 のほか、特にクラスの子ども一人ひとりを大切にして活動を伝えるよう配慮されています。
	タイトル	リーダーが活性化する研修等を通じて職員の質の向上や意欲の向上に取り組んでいます
3	内容	職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が個人面談を行う中で把握しています。また、研修については、区で実施している実務研修などのほか、今年で3年目を迎える自主研修についてもリーダーを中心として力をいれて取り組んでいます。この自主研修の定期的な開催は、職員の学ぶ意欲のより一層の高まりをもたらし、この意欲の高まりがさらに広範な職員(アルパイトやパート職員、他園の保育士等)を巻き込んだ「勉強会」開催に発展しており、今後も継続的な取り組みが期待されます。
	さらなる	改善が望まれる点
	タイトル	チャレンジプランに対する理解をより深め、使いこなすことが期待されます
1	内容	園では、行政改革の一環として、年度ごとチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。園では、22年度までをにらんだ目標の設定等を意識して行っておりますが、目標や指標の設定については、改善の余地があります。よりわかりやす〈誰もが理解できるような設定をできるよう、スキルアップしたうえで継続的に取り組まれることが期待されます。
	タイトル	園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています
2	内容	施設見学や学生の保育体験を積極的に受け入れているほか、毎月2回開催される「いっしょにあそぼ」、ふれあい保育、園庭開放などを通じ、地域の親子が参加できる機会を設けるなど、地域の子育て支援活動を行っています。しかしながら、「いっしょにあそぼ」は参加者が少ないことから、園においても宣伝方法や内容について再検討する必要があると認識しているため、より有効な取り組みとなるよう今後の改善が期待されます。
	タイトル	不満についても気軽に言える保護者との関係構築に向けた取り組みが期待されます
3	内容	利用者調査における各設問の満足率はほとんどの項目が7割を超えており、園で行っている活動が保護者に大変支持されていることがうかがえる結果となっています。園では、保護者の意見や要望、苦情に真摯に耳を傾け、対応してきた結果が今の評価につながっていることがわかりますが、「要望や不満の言いやすさ」という設問については約5割の満足率にとどまっています。この結果を見ればまだ顕在化していない要望や不満があることも想定されることから、不満についても気軽に言える保護者との関係構築に向けた取り組みが期待されます。

# 久我山保育園

(事業所名: 杉並区立 久我山保育園)

調查対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯86世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数86共通評価項目による調査対象者数86共通評価項目による調査の有効回答者数56利用者総数に対する回答者割合(%)65.1

#### 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の約9割を占める結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が89.3%)。個別にみると、「一人ひとりの子どもは大切にされていると思う」について肯定的な回答は9割を超えている他、「提供される食事への配慮」、「職員の対応は丁寧」についても肯定的回答が多い結果となっています。 一方、「要望や不満の言いやすさ」、「要望や不満への対応」、「行事日程の設定」、「保育時間の変更への柔軟な対応」については6割を下回っています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

#### 利用者調査結果

用有祠直和未					
共通評価項目		実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当	
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	50	4	1	1	
食事やおやつへの満足度は高く、メニューや子どもに合わせた調理方法の調整などに概れて、「和食中心がよい」、「離乳食のペースが速いのではないか」などの意見もみられます。	3肯定的な	意見が寄せ	ะธกับเล	きす。一方	
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	40	13	2	1	
肯定的な回答は7割ほどで、幼児クラスではより「外で遊んでほしい」という要望が強くみらの公園などで遊ぶといった機会を望む意見が、複数みられます。	れます。園	庭遊びだけ	ではなく、	散歩や外	
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	32	15	2	7	
肯定的な回答は6割を下回っています。変更の経験がない利用者には回答しづらい設問でポット延長について、「利用しづらい(受付時間)」、「柔軟に対応してくれる」など様々なもの			。意見の中	には、ス	

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	45	9	1	1
肯定的な回答は約8割を占めています。何かあったときに、看護師のアドバイスがあることで者へ連絡をとるタイミングについては「早い」、「遅い」など両方の意見があげられています。		意見がみら	られます。 ま	∶た、保護
5.安全対策が十分取られていると思うか	38	17	0	1
肯定的な回答は7割を下回っています。乳児に比べ幼児で肯定的な率は低く、行動範囲が護者が増える傾向がみられます。園の対策について「十分(神経質)すぎるほどだ」、「頻繁方、耐震や不審者、ベランダのつくりなどを不安に感じるという意見も寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	31	16	8	1
肯定的な回答は6割を下回っています。日程の配慮について不満を持つ保護者は、幼児ケれます。保護者の勤務日程により、平日の行事を不満に感じる人、満足な人がおり、様々な				多くみら
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	46	6	3	1
肯定的な回答は8割を超えています。乳児クラスにおいて、職員に相談しやすいと感じる保からも、幼児クラスでは話づらさを感じる保護者が増える傾向がみられます。	護者の割合	含が多くみら	られます。体	*制の面
8.保護者の考えを聞〈姿勢があるか	44	9	2	1
肯定的な回答は8割ほどですが、話す機会や、内容について不満を感じる意見もみられます。 言及するものもみられます。	す。中には、	保育士の	意見の強さ	ะเวกร
9.サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	44	9	0	3
肯定的な回答は8割ほどです。乳児クラスでは9割を超え、幼児クラスでは7割を超える程度な回答があるわけではなく、"どちらともいえない"と回答する理由としては、「どのように守っのと考えられます。				
10.一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	51	4	0	1
肯定的な回答は9割を超え、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。「とてもれています。	良くしても	らっている」	という意見	が寄せら

11. 職員の対応は丁寧か	48	6	1	1
8割を大きく超える人が、職員の礼儀正しさや丁寧さを認めています。意見の中には「笑顔でか、「保育士によって異なる」などもみられます。	であいさつ	がある」、「	礼儀正しす	ぎる」のほ
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	30	21	3	2
肯定的な回答は5割強にとどまり、言いやすいとは感じていない保護者も多数みられます。 問なので、寄せられた意見の中には「保育士によっては・・・」、「不満の内容によっては」な			らいかを─{ 	律できく設
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	31	18	2	5
対応についても前問同様で、肯定的な回答は5割強にとどまります。否定的な回答が多いえ 園がするであろう対応に確信がもてない、という要素が反映されている様子がうかがえます		〈、要望や〉	不満があっ	た場合に
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	14	1	38	3
知らない人が多勢で、全体の3分の2を占めています。 園内や公共施設に掲示してあるポスいます。	ター等での	)周知率は	4分の1にと -	:どまって
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	10	3	0	43
1年以内に利用を開始した13人中10人が肯定的な回答を寄せています。否定的な回答はあ方を別途聞いた」、「説明会の時間が限定されている(仕方ないと理解しているが)」などもみ			見には「持っ	ち物の作り

(事業所名: 杉並区立 久我山保育園)

# <u>組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)</u>

		共通評価項目	
I		カテゴリー1	
	リーダーシップと頽	急思決定	
İ		サブカテゴリー1	
	事業所が目指して	ていることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指して	ていること(理念、基本方針)を明確化・周知している <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	○非該当
	● あり ○ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	● あり ○ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	● あり ○ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	○非該当
	【A+の取り組み】	] ○あり ●なし	
	評価項目2 経営層(運営管理	理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	● あり ○ なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	○非該当
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	

評価項目3 重要な案件 係者に周知	につい	Nて、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関る <b>評点( 人</b>	)
評価	İ	標準項目	
		1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
● あり (	○なし		○非該当
		2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
● あり (	○なし		○非該当
		3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて	
● あり (	○なし	เาอ	○非該当
【A+の取り	(組み)	○ あり ・ ● なし	
		カテゴリー1の講評	

# 大事にしている「心身の健全」、「情緒の安定」、「信頼関係の構築」の浸透

園の目標及び保育で大事にしていることは、園内掲示や入園のしおりを通じて職員も保護者も確認できるようになっています。保育指針の 改定を受け、今年度はこれらの見直しを図っていますが「心身の健全」「情緒の安定」「信頼関係(子ど同士・大人同士・子どもと大人)の構築」の視点は変わらず大事にしていきたいと考えています。利用者調査では「人との関わり方の基礎が育てられている」(区の独自項目)ことを肯定的に捉えている人が9割を大き〈超え、園が大事に考えていることが子どもの発達を通じて保護者にも伝わっている様子がうかがえます。

## 園運営業務の重要性の高さを考慮してまとめられた「事業マニュアル」

経営層は自ら「事業マニュアル」をまとめ、職員に配布しています。アレルギー除去食の対応、防犯対策、散歩時の注意点など子どもの安全に関わるもの、係分担表や開錠・施錠、掃除当番など園運営に関する確認頻度の高いもの、個人情報管理、保健衛生管理など、一定の対応を求められるものが網羅されています。いずれもすべての職員が熟知すべきことで、今後は職員の手による継続的な改訂、使いやすさの工夫なども期待されます。

#### 経営層の求心力、チームワークのよさを活かした組織づくり

園長をはじめ職員の異動による入れ替わりが続いています。園運営に関わる確認や見直し業務が多くを占めますが、これを機会と捉えて 職員間の意思疎通や情報共有に積極的に取り組んでいます。今年度の始めに掲げた業務改善点のひとつである「チームワークの向上」 が職員の中に浸透するとともに、職員自己評価では職員全員が「経営層は役割と責任を実践している」ことを認めているなど、着実な組織 づくりも進んでいるといえます。

	カテコリー2		
経営における社会	<b>除的責任</b>		
	サブカテゴリー1		
社会人・福祉サー	ビス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 け会人・福祉サー	・ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
		Α	)
 評価	標準項目		
HIIM	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		
● あり ○ なし			○非該
	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでい	る	
◉ あり ○ なし			○非該
A+の取り組み)			
- IX y Marcy			
平価項目2			
第三者による評価 いている	面の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織と <b>評点(</b>	Α	)
CVIS	ят <i>т</i> м (	^	,
評価	標準項目		
_	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取りでいる	)組ん	
● あり ○ なし			○非該
	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に	事業	
● あり ○ なし	所に関する情報を開示している		○非該
A+の取り組み)			-
, , , os an small			
	サブカテゴリー2		
也域の福祉に役っ	立つ取り組みを行っている		
平価項目1			
	<b>冨祉の専門性をいかした取り組みがある</b>		
		Α	)
=□/邢	標準項目		
評価	1 東業所の機能や東門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に潰っしている(嫉訟・倦具等	の開	Ī
● あり ○ なし	放、個別相談など)	- 1/13	○非該
		北 = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	
(A) #1/2 (C) 1	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開師派遣など)を行っている	順、補	
● あり ○ なし			○非該
【A+の取り組み】	○ あり		

評価項目2 ボランティア受けん	入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	)点鸭	Α	)
評価	標準項目			
B	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
● あり ○ なし				○非該当
	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】	೦ ಹು ೦ ರು			
評価項目3 地域の関係機関と	との連携を図っている	<b>超占</b> (	Δ	)
地域の関係機関と		評点(	A	)
地域の関係機関と 評価	標準項目	)点辖	A	)
地域の関係機関と 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	評点(	A	)
地域の関係機関と 評価 ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	<u> </u>
地域の関係機関と 評価 ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	<u> </u>
地域の関係機関と 評価 ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> <ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> <ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と <u>評価</u> <ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当

#### 職員の法・規範・倫理に対する意識の高さ

全職員が所持する公務員倫理に関する区のハンドブックには、子どもの人権尊重や個人情報保護をはじめ、福祉サービス従事者として守るべきことが明示されています。また、平成21年度より施行される新保育所保育指針の検討は、倫理法令等の遵守について再確認する機会にもなっています。職員自己評価では職員全員が「法・規範・倫理について周知している」と回答するなど、意識の高さがみられ頼もしさを感じます。制度や社会、人々の関心のもち方の変化も激しいことを意識し、今後も定期的に確認しあうことが望まれます。

# 地域に開かれた園づくりを目指し、遊びに来た子どもが楽しめる工夫

"いつでも遊びにきてね"の看板を掲げ、園庭開放は土曜・休日を除く毎日、身体測定も随時実施しています。遊びに来た子どもには、園のシンボルマークでもあるひまわりをかたどった名札を用意するなど、仲間意識の醸成や楽しい気分の演出に努めています。 現在は希望者を受け入れるにとどまっていますが、今後は地域の親子が保育園に何を望んでいるのかを探るとともに、地域密着の保育園としてのさらなる取り組みが期待されます。

# 実習生やボランティアの保育園への円滑な受け入れ態勢

実習生の受け入れは、区が受付けて園へ割振り、実習時のオリエンテーションから園で行うという役割分担となっています。今年度は1名の実習生のほか、5名の中学生の職場体験を受け入れています。次世代育成の観点もあり、乳幼児と触れ合う際の中学生の新鮮な驚きや感動といった反応は、子どもたちだけでな〈保育士にもよい刺激となっていることがうかがえます。

ボランティアについては、土曜のみや夏期のみなど不定期の希望者も受け入れており、短期間であっても園生活を理解してもらうため、わかりやすいオリエンテーションに努めています。

	カテゴリー3	
利用者意向や地域	√・事業環境の把握と活用	
	サプカテゴリー1	
利用者意向や地均	或・事業環境に関する情報を収集・活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見·要望·苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・	
評価項目2		
	か·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	-
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2.事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・	
評価項目3	関 <b>ナ</b> 7 (底却を177年) 74年 177年 1772 1872 1873 1873 1873 1873 1873 1873 1873 1873	
心域・事業環境に	関する情報を収集し、状況を把握・分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	3.事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・ 分析している	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし	

#### カテゴリー3の講評

# 望まれる利用者意向の効果的なフィードバック

保護者会、面談のほか、連絡帳や日常的な保護者とのコミュニケーションからの意向把握を重視しています。また、意向については全職員での共有や改善策の話し合いを定期的に行っています。一方で、利用者調査では「要望等の言いやすさ」「要望等への対応」について肯定的な回答はそれぞれ6割を下回り、園として検討すべき余地が残されている状況がうかがえます。園でも、要望や不満に対してできる限り保護者の立場に立った検討や対応の必要性を感じていることから、把握した意向の効果的なフィードバックの方法についてはさらなる工夫が望まれます。

#### 関係機関と連携した利用者意向への対応

利用者の意向のうち、園独自の判断での対応が困難なことについては、区の担当課や併設する施設等との意見交換を行い、利用者への 説明責任を果たしています。区の決定に従わざるを得ないことについても、園は利用者の意向や不満の窓口となることから、園として継続 的な対応が必要であると考えられます。利用者により近い立場ということを意識し、利用者が納得できる議論、対応が期待されます。

#### 苦情解決制度の周知

区の保健福祉サービス全般を対象に行われている「保健福祉サービス苦情調整委員制度」については、その概要と委員の氏名を記載したポスターを掲示して、利用者に周知を行っています。

評価 標準項目  1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している  ② あり ○ なし  2. 年度単位の計画を策定している  3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	)
平価項目1 双り組み期間に応じた課題・計画を策定している  評価	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
###	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
評価 標準項目  1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している  ② あり ○ なし  ② あり ○ なし  3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる  ③ あり ○ なし  A+の取り組み	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>② 本度単位の計画を策定している</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>③ おり ○ なし</li> <li>③ おり ○ なし</li> <li>③ おり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> </ul>	○非該
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>2. 年度単位の計画を策定している</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる</li> <li>▲ +の取り組み】</li> <li>○ あり ● なし</li> <li>ご あり ● なし</li> <li>単価項目2 角的な視点から課題を把握し、計画を策定している</li> </ul>	○非該
② あり ○ なし 2. 年度単位の計画を策定している 3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる ③ あり ○ なし ○ あり ⑥ なし ② なし ② あり ⑥ なし ② あり ⑥ なし	○非該
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>○ あり ● なし</li> <li>● なし</li> <li>● 体質目2</li> <li>角的な視点から課題を把握し、計画を策定している</li> </ul>	_
<ul> <li>③ . 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる</li> <li>③ まり ○ なし</li> <li>○ まり ○ なし</li> <li>② なし</li> <li>② 体項目2</li> <li>角的な視点から課題を把握し、計画を策定している</li> </ul>	_
● あり ○ なし A+の取り組み】	○非該
A+の取り組み] ○ あり ● なし  「価項目2 「角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	
平価項目2 治的な視点から課題を把握し、計画を策定している	
:角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	
	)
信子項目	
◉ ಹು ○ ಜು	○非該
2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	
	○非該
3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	Q    41
	○非該
4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策 ● あり ○ なし	_
	`
A+の取り組み】 ○ あり ● なし	○非該
	○非該
	( ) 非該
	一 非部

評価項目		ニュー 田口 1 4 1 1 7 1 1 7 1 1 7 1 1 7 1 1 1 1 1 1	
看美は前	一凹の夫1	テに取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>B</b>	)
		· -	,
評	<u>価</u>	標準項目	
<b>.</b>	<u>-</u>	1.計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<u> </u>
● あり	○なし		○非該当
		2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど	
● あり	○なし	の取り組みを行っている	○非該当
		  3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	
<b>○</b> あり	⊚ なし	A HIMITAGONIA A HIM A HIMITAGONIA A HIMITAGO	○非該当
<u> </u>	ن جن	・ ショッチにっちょう とははつちためし (半地・日光はかじ) 必要に広じて目古したしかがた取り組んで	O 154∧ 1
(a) + 11	<u> </u>	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	O 3544.07
● あり	○なし		○非該当
「A+の取	(り組み)	○ あり : ● なし	
1711-02	<b>^ → n==</b> .		
		サプカテゴリー2	
利用者の	安全の	確保·向上に計画的に取り組んでいる	<del></del> -
			ļ
評価項目		本也 - 上	
		確保·向上に計画的に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
利用者の	安全ので	<b>謂点( A</b>	)
	安全ので	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	)
利用者の 評	安全の研	<b>謂点( A</b>	•
利用者の	安全ので	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	○ 非該当
利用者の 評	安全の研	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	<u> </u>
利用者の 評	安全の研	評点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	<u> </u>
利用者の 評 ・ あり	の安全ので <u>価</u> ○ なし		○非該当
利用者の 評 ・ あり ・ あり	安全ので 価 ○ なし	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の 評 ・ あり	の安全ので <u>価</u> ○ なし	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の 評 ・ あり ・ あり	安全のf 価	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の 部 ・ あり ・ あり	安全のf 価	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の 部 ・ あり ・ あり	安全のf 価	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の 部 ・ あり ・ あり	安全のf 価	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の 部 ・ あり ・ あり	安全のf 価	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の 評	安全のf 価	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている  ○ あり ● なし	○非該当
利用者の 部 ・ あり ・ あり	安全のf 価	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の 評 ・ あり ・ あり ・ あり 【A+の取	安全のf	標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている  ○ あり ② なし  カテゴリー4の講評	○非該当
利用者の 部 ・ あり ・ あり ・ あり 【A+の取	respective (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
利用者の ・ あり ・ あり ・ あり ・ まり ・ A+の取 子どもに示	response (Table 1) Table 1 T	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている  ② あり ● なし  かテゴリー4の講評  すべての人が共有する保育の指導計画 ・動については、保育目標を定めた保育計画に基づき、年・月・週ごとの指導計画を作成しています。毎月のではなく園だよりにも掲載し、園と家庭で子どもの育ちの共有に取り組んでいます。また、パートタイムの保	・ ・ 非該当 ・ 非該当 ・ 非該当 ・ 計画は各クラ
利用者の ・ あり ・ あり ・ あり ・ まり ・ A+の取 子どもに示	response (Table 1) Table 1 T	#点( A 標準項目 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している 2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している 3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている  ○ あり ● なし  カテゴリー4の講評  3 すべての人が共有する保育の指導計画 動については、保育目標を定めた保育計画に基づき、年・月・週ごとの指導計画を作成しています。毎月の	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

#### 安全対策のさらなる充実と、利用者への周知

安全については、園独自のヒヤリハットマップや散歩、園庭遊びマニュアルを完備するなど対策に取り組んでいます。また、職員が行う防犯訓練や避難訓練などの実施については家庭にもお知らせし、保護者の不安軽減にも努めています。一方、安全対策についての利用者調査では、肯定的な意見は幼児クラスで6割強にとどまるなど、園の取り組みが十分伝わっていない様子もうかがえます。また、子どもや保育士の移動が多い夕保育中のアクシデントについては、保育室の使い方を工夫するなどの対策を立てており、今後はその効果を見極めることがが望まれます。

# 区のチャレンジプランに則った計画的な業務改善・接客向上・人材育成

杉並区役所が区民満足度向上のために実施しているチャレンジブランでは、前年度を振り返り、今年度取り組む改善点を組織全体で確認・実行する仕組みができています。園ではケーススタディを継続して実施することなどを決め、保育内容をはじめ様々な課題を職員全体で話し合い、理解を深める取り組みを行っています。また、室内や遊具などの環境改善や幼児クラスの縦割り保育など、単年度では取り組みづらいものも計画的・継続的に扱うことでより大きな成果が期待できるため、わかりやすい目標や指標設定した取り組みが期待されます。

		カテゴリー5	
職員と組	組織の能力	<b>力向上</b>	
		サブカテゴリー1	
事業所力	が目指して	ている経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
評価項目		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
Ŧ*///K		デュー・ディスト ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・	)
評	価	標準項目	
(a) ± 14	O	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	O 41.44.14
● あり	○なし		○非該当
<ul><li>あり</li></ul>	O #31	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
<b>●</b> 801	○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	
<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当
[A+0]4	以り組み	] ○ あり ● なし	
≐亚/莱↑古	<b>□</b> 2		
評価項  職員の質	目2 質の向上	に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
職員の質	質の向上	<b>評点( A</b>	)
職員の質	目2 質の向上 <sup>2</sup> 価		)
職員の質	質の向上	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	) 非該当
職員の質評 の あり	⑤ なし	#点( A 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
職員の質	での向上	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<u> </u>
職員の質 評 あり     あり	<b>賃の向上</b>	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
職員の質評 の あり	⑤ なし	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
職員の質 ・ あり  ・ あり  ・ あり  ・ あり  ・ あり	<b>質の向上</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 評 あり     あり	<b>賃の向上</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり  ・ あり  ・ あり  ・ あり  ・ あり	<b>質の向上</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ● あり ● あり ● あり	<b>質の向上</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかな確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ● あり ● あり ● あり	<b>愛の向上</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかな確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ● あり ● あり ● あり	<b>愛の向上</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかな確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ● あり ● あり ● あり	<b>愛の向上</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかな確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>

	サブカテゴリー2		
職員一人ひとりと	組織力の発揮に取り組んでいる		
評価項目1 職員一人ひとりの	D主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる <b>評点</b> (	Α	)
評価	標準項目		
●あり ○なし			○非該当
● あり ○ なし			○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		○非該当
【A+の取り組み】	」 ○ あり ● なし		
評価項目2 職員のやる気向」	上に取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人 メントを行っている	、材マネシ	ジ 日 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日
● あり ○ なし			○非該当
● あり ○ なし			○非該当
● あり ○ なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○非該当
【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし		
	カテゴリー5の講評		
	実な職員の育成 る気の向上については、区の研修制度や個人のチャレンジプランなどによってサポートする仕組;		
		ューバモロ	キオ はでけた

職員の質及びやる気の向上については、区の研修制度や個人のチャレンジプランなどによってサポートする仕組みがあります。園ではさらに独自の「CSチェックシート(自己振り返りシート)」の活用を模索しています。実際の意識や行動を細かく自己評価することで、潜在的な問題に気づき、改善のための主体的な思考・実行につなげる狙いがあります。今後は、CSチェックについての職員の理解をさらに深めることやチェック項目の見直しなどを継続的に行うことで個人及び組織の能力向上を自ら実感できる取り組みに発展させることが期待されます。

#### きめ細かい組織のケア

区が行った「保育チームワーク等検討会」の調査や、園独自のアンケートをもとに、園長はパートタイム保育士の面接を実施しています。 勤務時間や業務に制約はあるものの、子どもの成長や園全体の課題などを共有することは、個人のやる気の向上につながると共に、円 滑な園運営にとても大事なことであると考えています。このような組織のケアは、間接的ではありますが利用者への影響も大きいと考えられるので、継続的な取り組みが期待されます。

# 実践的なケーススタディの実施

これまでも行っていたケーススタディの実施方法を見直し、毎月1回の開催とすることで、職員は取り上げた内容を保育の実践の場で活かす、という意識を強く持つようになりました。新たな意識で取り組むことで、OJTとしての効果が大きくなったこともうかがえます。今後はモチベーションを維持するためにも、この取り組みが形骸化しないような工夫が求められます。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	ずに取り組んでいる	
·/= •= • • •		
7価項目1 業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
	評点( A	)
評価	標準項目 1.情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	1
<b>●</b> あり ○ なし		○非該
	  2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	VI 112
● あり ○ なし		○非該
	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	1
● あり ○ なし		○非該
価項目2		
価項目2	】 ○ あり <b>●</b> なし 人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
価項目2 人情報は、「個	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
評価 ● あり	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
で価項目2  人情報は、「個                                     	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
で価項目2  人情報は、「個                                     	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

# カテゴリー7の講評

# 徹底した管理・運用

個人情報については、園長・主査がリーダーとなり、パソコンの管理をはじめ書庫の鍵の管理などを徹底しています。個人情報管理マニュアルでは個人情報の種類と管理方法が明記され、アンケートからも職員の理解度は高いことがうかがえます。また、利用者に対しては、園内のビデオや写真撮影等について、個人情報保護の観点から、園の方針を周知し理解を求める取り組みを行っています。利用者からは撮影やデータに関する要望があげられることもあるので、画一的ではない対応に向けた検討も望まれます。

	カテゴリー8				
В	カテゴリー1~7に関する活動成果				
	サヴャニゴロ				
ŀ	サブカテゴリー1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してレ	١٦			
Ì	即十及こに、大事未がひかではいい。「本本のでは、」」」」」」」	10			
I	評価項目1				
ľ	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	$\bigcirc$ c
ı	・カテゴリー 2 : 「経営における社会的責任」 ・カテゴリー 4 : 「計画の策定と着実な実行」	07	O A	0 5	<b>0</b>
ı	カプコグ 4. 町岡の永たに省交後大门				
	改善の成果				
ı	チームワーク向上を意識した組織づくり				
	H19年度からH20年度にかけて職員の大幅な異動があり、園運営について確認しあう機会が頻発しま 様々なことを職員間で協働、共有する、という意識の高まりがみられます。 今年度の始めに掲げた業績 クの向上」が職員の中に浸透するとともに、アンケートでは職員全員が「経営層は役割と責任を実践し	務改善点の	ひとつて	゙゙ある「チ	ームワー
ı	な組織づくりが進んできたといえます。				
	職員自己評価で「昨年と比べてよ〈なったと思う点」についての記述には、16意見のうち10意見中に情 ることがあげられています。 経営層の掛け声だけではな〈、職員一人ひとりに浸透している様子も十分			に取り約	組んでい
I			- 0		
I					
ŀ	#				
ŀ	サブカテゴリー2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している				
	門牛皮とは、人物食と紅色の形力の田で円上している				
ľ	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている				
I	・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	Ос
I		07	O A	0 5	<b>0</b>
I	改善の成果				
ı	実践的なケーススタディの実施				
ı	これまでも行っていたケーススタディについて、不定期だった実施方法を見直し、毎月1回の開催としまの実践の場で活かす、という積極的な姿勢が以前にも増して定着し、職員調査からはOJTとしての効保育課題を職員間で相談・検討しあう時間が定期的にあるだけではなく、その後の積極的な実践につは、職員の経験値を上げる確実な方法といえます。	果が表れて	いること	がうかれ	がえます。
I					
ľ	サブカテゴリー3				
İ	前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している				
L	評価項目1				
	前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を行い成果が上がっている				
	・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」	<ul><li>A+</li></ul>	ОА	Ов	Ос
	·カテゴリー7:「情報の保護·共有」 				
ŀ	多様なサービスの提供				
ı	ラ 1845 フェービスの 1867)。 昨年度は試行段階であった延長スポット保育(1回500円、8回まで有料)を本年度より本格実施し、 た。	利用者の利 <sup>の</sup>	便性のに	句上を図	図りまし
ĺ					
ĺ					
I					

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がって				
113				
	● A+	$\bigcirc$ A	ОВ	ОС
・ 改善の成果				
行財政改革の着実な実行				
区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度	までに6割の	の事業を	委託 長	Z営化·協
同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています	す。この中で、	区立保	育園の	事業委託
等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」とし 分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。	ハう3つが掲	げられて	「おり、L	どの保育
カジュードでして、日度とにたいでいることが、 にじてこめらた。				
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している				
■1.10部分にのいて以普傾向を示している ■・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」		<ul><li>A</li></ul>	ОВ	$\bigcirc$ c
	OA+	● A	ОВ	$\bigcirc$ C
改善の成果				
園と保護者、保護者同士の交流				
通常保育の後に、子どもを預けたまま保護者がお茶を飲みながら情報・意見交換できる場となってい	る、保護者	支援事業	€(ほっと	ほっとタ
イム)を開催しています。保護者の要望を取り入れる形で、開催回数の増加と開催時間の延長を行い				

〔サービス分析:認可保育所〕

(事業所名: 杉並区立 久我山保育園)

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

		共通評価項目		
		サブカテゴリー1		
1	サービス情報の扱	是供		
	評価項目1			
	保護者等に対して	てサービスの情報を提供している <b>評点</b> (	Α	)
		) m ir	<u> </u>	,
	評価	標準項目		1
		1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている		O # 43.44
	● あり ○ なし			○非該当
		2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		
	● あり ○ なし			○非該当
		3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		
	● あり ○ なし			○非該当
	【A+の取り組み	】 ○ あり <b>⑥</b> なし		
		サブカテゴリー1の講評		
	園の情報をさる	まざまな形で発信		
	園の情報は、区径	受所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホ <b>-</b>	-ムペー	ジは、杉並区
		ォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見耳 「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。また、園庭開放の「		
		園の前と近隣の2つの公園に設置して地域の方々への周知を図っています。	V1.2 C	0000000

		サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・	終了時の対応	
	÷= /= -=		
	評価項目1 サービスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている	
	2 C7 (37)(1)		)
	÷π/ <del>π</del>	梅淮市口	
	評価	標準項目  1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	
	● あり ○ なし		○非該当
	0 W) 0 %0	  2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	O HEIMA
	● あり ○ なし	2. ターに入り合について、休暖自の问点を持るようにしている	○非該当
		3.サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	O # 43.44
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ・	
	一一 一 一 つ		
	評価項目2 サービスの開始及	ひび終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	)
	÷亚/≖		
	評価	標準項目  1.サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	
	●あり ○なし		○非該当
		2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	O # 43.44
	● あり ○ なし		○非該当
		3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援	
	● あり ○ なし	<b>をしている</b>	○非該当
	IA . O HU1140 7.1		l .
	【A+の取り組み】	○ あり	
		サブカテゴリー2の講評	
	入園時の各種	説明はわかりやすいよう配慮	
		入園説明会では、園での基本的なルール、園生活で必要なもの等が、イラストや表、地図などでわかりやす	〈解説されて
	いる「久我山保育	園のしおり」を用いて丁寧に説明されています。このような取り組みは利用者調査において8割弱の保護者	の方からわか
		持される結果に結びついており、否定的な回答もありませんが、自由意見には「持ち物の作り方を別途聞い	
	の时间が限定され	1ている(仕方ないと理解しているが)」などもみられるため、より充実した内容となるような検討も望まれます	0
	 入園百後けヱ	どもへの影響を考えた保育を実施	
		こも、いのお音で与えたは休育で美心 €迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、小グループでの保育を行うと	ともに パート
		遅んる」ともたらにとうでは、環境支化に伴う心身の質症が入されてとから、ホラルーラとの体質を行うと  置を増やし、フリー保育士や主査・園長も応援できる体制を組むことで職員の人員配置を手厚くして対応し	
	た、一人ひとりの	子どもの状態を把握し、保護者との連絡をより密にして子どもの情報を共有し、少しでも早く環境になれるよ	
	す。		

	サブカテゴリー3	
個別状況に応じ	た計画策定・記録	
面ごとに明示し		)
評価	標準項目	
● あり ○ な		○非該当
● あり ○ な	2.子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
● あり ○ な	3.アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
【A+の取り組 <i>み</i>	♪] ○ あり ● なし	
	子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計	
画を作成してい	る <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	Ţ
● あり ○ な		○非該当
● あり ○ な		○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当
【A+の取り組み	<b>♪</b> ] ○あり <b>⑤</b> なし	
評価項目3 必要に応じて、-	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	
 評価	<b>評点</b> ( A 標準項目	)
<ul><li>あり ○ な</li></ul>	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	○非該当
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
【A+の取り組 <i>み</i>	<u></u>	
		_

,		
	評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	
		)
	評価標準項目	
	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○ 11-44-V/
	● あり ○ なし	○非該当
	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している ● あり ○ なし	○非該当
		U ∃F#X⊐
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	
		ļ
7	サブカテゴリー3の講評	
$\dashv$	保育に関する計画については3段階で作成	
-	保育に関する計画については、クラスごとに年間指導計画・月の指導計画・週案の大き〈3段階の計画があり、それぞれの計	画は、計画の
	終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々の子どもの えるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われることあ	状況を踏ま
	お、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月の園だよりで、週案は園内掲示によって伝えられています。	リみり。ゆ
		ļ
	子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録  子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この	「旧帝亜,
	は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分に	ナされていま
	す。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成↓   護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われております。	長について保
-		ĺ
	口頭と記録をセットにした情報の伝達や共有	
	子どもの情報については、月の指導計画やクラス会議での議論、さらに園全体でのカリキュラム会議を通じて共有されるととも 慮を行わなければならない子どもについては、ケーススタディーとして個別に指導の検討と子どもの変化などについて話合わ	
	ており、全園で情報共有できる仕組みとなっています。また、日々の情報共有については、昼礼や夕礼のほかパート・アルバイ	イトも確認で
	きる連絡体制表やクラスの朝夕!  トを通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう間  ます。	己慮されてい
٦	サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
	子どものプライバシー保護を徹底している	<b>\</b>
	評点( A	) 
	評価 標準項目 1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにし	1
	● あり ○ なし	○非該当
	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	
	<b>●</b> あり ○ なし	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	
	TATO 4X 7 ALL OF 1	
ı	1	

	評価項目2 サービスの実施	こあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	
		<b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし		○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
	【A+の取り組み	○ あり ● なし	
		サブカテゴリー5の講評	
	プール宝族時	や排泄時等におけるプライバシーへの配慮	
	園では、プールの	で弁が回い寺にのけるフライバターへの配慮 )着替えは屋内で行い、シャワーを浴びる際も外からの視線をさえぎるなどの配慮を行うとともに、排泄時やるのブライバシーに配慮した活動を行っています。	おむつ交換時
	園では、園独自に 適切な対応を行っ は大切にされてい	トを用いた振りかえりの実施 こ作成したCSチェックリスト(自己振り返りシート)を用いて半期に一度振りかえりを行っており、子どもや保護 っていないか、自らを見つめなおす機会を設けています。この成果は利用者調査において9割を超える保護さいる」と、また、8割を超える保護者から「職員は礼儀正しく丁寧」と肯定的に捉える回答となって現れていると ついている活動と評価できます。	者から「子ども
		サブカテゴリー6	
6	 事業所業務の標		
	評価項目1 手引書等を整備し	J、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
	● あり ○ なし		○非該当
	●あり ○なし		○非該当
	●あり ○なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
	【A+の取り組み	] ○ あり ● なし	

評価項目2 サービスの向上を	めざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		
	<b>評点</b> (	Α	)
評価	標準項目		
H I IP-	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		
● あり ○ なし			○非該当
	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や技術を発表する場合によるようによる。	是案、子	
● あり ○ なし	どもの様子を反映するようにしている		○ 非該当
<u> </u>	  3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り&	ロムブロ	
	3. 職員一人のとリルエス・以番したリーに人事例はとをもとに、基本事項や予順寺の以番に取り終る	H/U CV:	<u> </u>
● あり ○ なし			〇 非該当
			ı
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし		
ᇓᄺᄚᄆᇬ			
評価項目3	みにより、業務の一定水準を確保している		
さなさなな 扱い 荒口	かにより、美務の一定小学を帷休している <b>評点</b> (	Α	)
	) matr	^	,
評価	標準項目		
нтіш	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るよ	うにして	
(a) + 12 (b) + 1	113	,,_,	○ +F++>//
● あり ○ なし			○非該当
	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		
● あり ○ なし			○非該当
	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		
● あり ○ なし			○非該当
	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		·
_	4. 職員一人ひとりのサービ人旋供の方法について、 指导有が助言・指导している 		
● あり ○ なし			○ 非該当
	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		
			○ ₩₩₩
● あり ○ なし			○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ・ ● なし		
「ハナリン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	サブカテゴリー6の講評		
園の基本的なノ	ルールや各種対応方法を定めたマニュアル		
園の基本的なル-	-ルや事件・事故等に対する対応方法などについては、それぞれ、区で作成した「危機管理マニュ」	アル」、園	で作成した
	「保健マニュアル」にとりまとめられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際に		
に、必要に応じて、	改訂作業も行われています。		
O.ITを活用した	:保育水準の維持・向上に向けた取り組み		
		171-+ F	711401 311+
	告い職員のいる本園では、実務研修等への派遣と平行して、ベテラン職員との組み合わせによる○ 日々の保育のしかたや記録のつけ方など、自分以外の職員の行う保育や記録を見る機会が多くな		
	ロマの味自のしかだや記録のプロカなと、自ガ以外の職員の行う味自や記録を見る機会が多く。 るだけでなく、ベテラン職員にとっても「見られる」という緊張感が良い刺激となっており、園全体の眼		
	るだけでは、ハイング職員にとうでも、兄られる」という系統感が良い利威となってのが、國主体の中っていると考えられます。	概 貝 ツ /ロ	ほんでして
IV) JJIC JGB	J ( 1 1 2 2 3 2 3 1 1 4 3 5 )		

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

_			2条日 (ガノコグ U-T)	
	評価項目	1		
	子どもの	発達を促	けための保育を行っている	
4	, = 507	- U.Z. C IX		1
'			評点( 人	)
	評化	⊞	標準項目	
			1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	
			1. 100 人のでもの先足の危性や土山吸光などにより」ともの主権はなどには	
	● あり	○なし		○ 非該当
	)	<b>O &amp; O</b>		○ 1F#X⊒
			2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	
	_	_		_
	● あり	○なし		○ 非該当
			3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	
	@ + ·	<u> </u>		O
	● あり	○なし		○ 非該当
			4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	
	<b>⊙</b> ສ ງ	○なし		○非該当
	@ 05'J	U 40		
			5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	慮している	○ 非該当
	)	~ ~ ·		O TERNIA
	【A+の取	り組み】	◯ あり : ● なし	
_				
			評価項目1の講評	
			······································	

# 子どもの自主性·自発性を大事にした「ゆるやかな縦割り保育」

園では、クラスでの年齢別の活動のほか、昨年度より幼児クラス(3・4・5歳児)を対象として「ゆるやかな縦割り保育」に取り組んでいます。この取り組みを行うあたっては、おもちゃや絵本の配置場所、室内装飾や棚などの配置など環境設定を変更し、子どもたちが、クラスの区切りを意識せずに遊びの選択ができるよう配慮されています。

また、ブロックや積み木を用いた活動については、その作品を週末までは壊さずに飾っておくことができるルールを作り、意欲的に活動ができるような配慮も行われています。

# 音楽活動や製作活動など多様な表現活動

園内活動としては、リズム遊びや楽器遊び、歌などの表現活動、芋ぼりの際に採取した芋づるを利用したリース作りや卒園児の胸に着けるコサージュを作成する指編み、玄関前の小スペースを年長児が装飾する活動、絵画制作や粘土細工などが行われています。また、園外活動では、芋ぼりや幼児を対象とした遠足などイベント的なもののほか、園周辺に点在する公園に出かける散歩活動も時には異年齢で行うなど、子どもたちがいつでも新鮮な気持ちに、そして、楽しい気持ちになれるように様々な取り組みが行われています。

# 関係機関と連携した障害児保育への取り組み

障害がある子どもの保育については、担任保育士はもちろんのこと職員全員が連携して行っています。また、区としては、発達センターの 専門家が巡回指導を行う機会を設けているとともに、園でも必要に応じて担任保育士が専門機関に出向き指導を受けるなど、個々の事例 を通じて保育方法等について学ぶ機会が保障されており、障害がある子とものよりよい保育に向けた様々な取り組みが展開されていま す。

###		2 ンスを考	慮したうえで、おいしい食事を出している <b>評点( A+</b>	)				
● あり	評価	<b>T</b>						
● あり ○ なし 3 。 食物アレルギーや文化・習信の違いなど、個別に配慮した食事を提供している ● 本談当 ○ ない ○ 非談当 ○ ない ○ まじゃん ない のいま できるように環境のできるように環境のできるように環境のできるように環境のできるように環境のできるように環境のできるように環境のできるように環境のできるように環境のできるように関係しています。 ○ ない ○ またぎりづくいやクッキーづくの、3枚におるした生のさんまをきむる体験をするなど 保護者や子どもたちに「食」について考えてもらうなの対象ができるプログラムを用意しています。 字価項目目の議評 ○ (章)について考えてもらう食育活動 ■では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」について考えてもらう食育活動 ■では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」についての間心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。 年長児では、サウィギの収穫に調理体験 ばんではてと、焼き芋など を行うとともに、あにぎりづくいやクッキーづり、3枚におるした生のさんまをさむる体験をなると微々な体験ができるプログラムを用意しています。 なか、食物の栽培等については、栄養士との連携を密して、今後を経験ができるプログラムを用意しては、方、なか、食物の栽培等については、栄養士と保育との連携を密して、今後が経験的に行っこができるよう気の組引ととが受けれている、食事の選集をいてもないを含むないと食事が個別に対応した食事が個別に対応した食事が個別に対応した食事が個別に対応した食事が個別に対応した食事が個別に提供することもに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。 と事がしやすい環境の整備(事の際に子どもたちか食いなども「のはこれ」は思いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。 「申録と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様なな工夫が凝らされています。 「申録といできるたちに、対応とないと見いないます。 「申録とは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の			1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている					
● あり	⊚ あり	○なし		○非該当				
● 80 ○ なし			2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している					
● 80 ○ なし	<ul><li>あり</li></ul>	O til.		○非該当				
● あり ○ なし	<i></i>	<u> </u>	이 소체코트 내 원 - 사 수 / 사 형 셔 이 얼마 사 다 / 유미 / 지 후 / 소 후 # 년 / 나 고 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기	O TRIAL				
● あり ○ なし	_	_	3. 良物アレルキーや文化・音順の遅いなど、個別に配慮した良争を提供している 					
● あり ○ なし   5.1 (0歳児を受け入れている保育所のみ)	● あり	○なし		○非該当				
● あり ○ なし 別児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている ② 非該当  [A+の取り組み] ● あり ○ なし 園では、栄養士が配置されており、月に1回、食育たより、を終行する、保護者にレンビを配付するなど、保護者や子どもたちに「食」についての間のと持ってもらうためのなっな取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験(ぼんでぼてと、焼きすなどを行うとともに、おにぎりづ(りやクッキーづ(り、3枚にあるした生のさんまをさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。 評価項目2の講評  「食」について考えてもらう食育 所 产動			4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている					
● あり ○ なし 別児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている ○ 非該当  [A+の取り組み] ● あり ○ なし 園では、来養士が配置されており、月に「回「食育たより、差粉行する、保護者にレンビを配付するなど、保護者や子どもたちに「食」につての関心を持ってもらうための体々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験(ぼんでぼてと、焼きすなどを行うとともに、おにぎりづく)やクッキーづくり、3枚にあるした生のさんまをさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。 評価項目2の講評  「食」について考えてもらう食食 方活動  悪では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。 年長児では、サツマイモの収穫と調理体験(ぼんでぼてと、焼きすなど)を行うとともに、おにぎりづく)やカッキーづくり、3枚におるした生のさんまをさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。なお、食物の栽培等については、栄養士と保育士との連携を密して、今後を経験的でできるよう取り組むことが望まれます。  個別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提ざれています。また、配題に関しても個別トレーによる配語だけでな(名前のれ・除去食材のれを用いた内容の明確にが行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、組心の注意と様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境の整備食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を得到用しています。の歳少でスでは産苗の調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ととい合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべ合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使っての高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② お幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ② 非該当  4 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ・非該当  4 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ・非該当	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当				
● あり ○ なし     (A+の取り組み)			5 「① 造旧を巫仕 〉 わている 保存所の む					
(A+の取り組み)	O			0				
圏では、栄養士が配置されており、月に1回「食育たより」を発行する、保護者にレシビを配付するなど、保護者や子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験(ぼんでぼてと、焼き芋などを行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3枚におるした生のさんまをさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評  「食」について考えてもらう食育活動  割では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児でより、マイモの収穫と調理体験(ぼんでぼてと、焼き芋などを行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3枚におるした生のさんまさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。なお、食物の栽培等については、栄養士と保育士との連携を密いて、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。  固別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供しなしています。た。記贈に関しても個別トレーによる配鑑だけでなく名前の利・除去食材の利を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては緊製品を削削しています。「離児クラスでは座面の調整がきくイスを、1~2歳児クラスでは高さの観整が行うえる机をそれぞれ採用し、子ども・ルタとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるへ合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使ことの高さの機調をを行っなど、全ての子ともが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価項目3 ・ ま装当  「まま当  「まま当  「まま当  「まま当  「まま3 (歳児) なし  「非該当  「本談書に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「本該当	● あり	○なし		○非該当				
圏では、栄養士が配置されており、月に1回「食育たより」を発行する、保護者にレシビを配付するなど、保護者や子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験(ぼんでぼてと、焼き芋などを行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3枚におるした生のさんまをさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評  「食」について考えてもらう食育活動  割では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児でより、マイモの収穫と調理体験(ぼんでぼてと、焼き芋などを行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3枚におるした生のさんまさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。なお、食物の栽培等については、栄養士と保育士との連携を密いて、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。  固別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供しなしています。た。記贈に関しても個別トレーによる配鑑だけでなく名前の利・除去食材の利を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては緊製品を削削しています。「離児クラスでは座面の調整がきくイスを、1~2歳児クラスでは高さの観整が行うえる机をそれぞれ採用し、子ども・ルタとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるへ合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使ことの高さの機調をを行っなど、全ての子ともが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価項目3 ・ ま装当  「まま当  「まま当  「まま当  「まま当  「まま3 (歳児) なし  「非該当  「本談書に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「本該当	I A L O HV	114日 ユ `	<b>● t</b> 1					
ての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験(ぼんでぼてと、焼き芋などを行うとともに、おにぎりづく)やクッキーづくり、3枚におろした生のさんまをさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評 「食」について考えてもらう食育活動  園では、栄養土が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験(ほんでぼてと、焼き芋など)を行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3枚におろした生のさんまさらな体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。なお、食物の栽培等については、栄養土と保育土との連携を密して、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。  園別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提びされています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともで、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利か出ます。1元を予したといますが、1歳児クラスでは座面の調整がイスをれ、それぞれ採用し、子ともしかといに含むせた高さに調整するほか、3歳児以上のグラスについてもなるべ(合う高さのイスヤテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「非該当  ② 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳効児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「非該当  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
を行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3 枚におるした生のさんまをさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。  評価項目2の講評 「食」について考えてもらう食育活動								
評価項目2の講評 「食」について考えてもらう食育活動 園では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験」におってきた。食き芋など)を行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3枚におろした生のさんまさむる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。なお、食物の栽培等については、栄養士と保育士との連携を密して、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。 個別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供 されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでな(名前の礼・除去食材の礼を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう。細心の注意と様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても起慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、3億児りラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子どもーノひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使て足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。 評価項目3 子どもお心身の健康を回復・維持するための支援を行っている 「本様当直】 ・ま該当 ・多か) なし ・ま該当 ・ま該当 ・まま当 ・ままり なし ・まま当 ・まま当 ・ままり なし ・まま当 ・ままり なし ・まま当								
評価項目2の講評 「食」について考えてもらう食育活動 圏では、栄養上が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験(ほんでほてと、焼き芋など)を行うとともに、おにぎりづ(りやクッキーづ(り、3枚におろした生のさんまきさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。なお、食物の栽培等については、栄養士と保育士との連携を密して、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。  個別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子ともや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提付されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでな(名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境の整備 (事事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がき(イスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子とも一ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目 ・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			にさりフミリやクッキーフミリ、3枚にあるしに生切さんまをさわる体験をするなど依々な体験ができるプログ	/フムを用息し				
「食」について考えてもらう食育活動  園では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験に活んでぼてと、焼き芋などとを行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3枚におろした生のさんまきさわる体験をするなど様々な体験ができるよう取り組むことが望まれます。なお、食物の栽培等については、栄養士と保育士との連携を密して、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。 個別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提付されています。また。配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整が含くイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行えるがいをれぞれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整する目が、3歳児以上のクラスについてもなるべ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使て足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。 評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「標準項目 ・・ま該当 ・・まり、○なし ・・まり、○なし ・・ま該当 ・・まり、○ま該当 ・・まり、○なし ・・ま該当 ・・まり、○なし ・・ま該当 ・・まり、○なし ・・ま該当 ・・まり、○なし ・・ま該当 ・・まは当して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている ・・ま該当 ・・ま該当 ・・まは一般を対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている ・・ま該当	CVIA 9.							
「食」について考えてもらう食育活動  園では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験に活んでぼてと、焼き芋などとを行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3枚におろした生のさんまきさわる体験をするなど様々な体験ができるよう取り組むことが望まれます。なお、食物の栽培等については、栄養士と保育士との連携を密して、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。 個別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提付されています。また。配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整が含くイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行えるがいをれぞれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整する目が、3歳児以上のクラスについてもなるべ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使て足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。 評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「標準項目 ・・ま該当 ・・まり、○なし ・・まり、○なし ・・ま該当 ・・まり、○ま該当 ・・まり、○なし ・・ま該当 ・・まり、○なし ・・ま該当 ・・まり、○なし ・・ま該当 ・・まり、○なし ・・ま該当 ・・まは当して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている ・・ま該当 ・・ま該当 ・・まは一般を対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている ・・ま該当								
圏では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験に係んでぼてと、焼き芋など)を行うとともに、おにぎりづく)やケッキーづくり、3枚におるした生のさんまださわる体験をするなど様々な体験ができるよう取り組むことが望まれます。  (個 別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  (食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひといに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  「評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている 「標準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「標準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「非該当  ・あり なし ・ なし ・ なん ・ なん ・ なん ・ なん ・ なん ・ なん ・ なん ・ なん			評価項目2の講評					
圏では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験に係んでぼてと、焼き芋など)を行うとともに、おにぎりづく)やケッキーづくり、3枚におるした生のさんまださわる体験をするなど様々な体験ができるよう取り組むことが望まれます。  (個 別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  (食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひといに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  「評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている 「標準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「標準項目 1、子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「非該当  ・あり なし ・ なし ・ なん ・ なん ・ なん ・ なん ・ なん ・ なん ・ なん ・ なん	「食」につ	ついてき						
は、サッマイモの収穫と調理体験(ぼんでぼてと、焼き芋など)を行うとともに、おにぎりづくりやケッキーづくり、3枚にあるした生のさんまをさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。なお、食物の栽培等については、栄養士と保育士との連携を密して、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。  個別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでな(名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、の歳別クラスでは座面の調整が含くイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべ(合)高さのイスやテーブルを用意するとどもに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「標準項目 「大きもの健康状態を定期的に記録し、把握している 「非該当 「あり」」なし 「非該当 「ます」」 「本様者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている 「非該当 「おり」」なし 「非該当 「おり」」なし 「非該当				ナ 年長旧で				
さわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。なお、食物の栽培等については、栄養士と保育士との連携を密して、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。  個別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。 食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、①歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
して、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。  個別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供 されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるととも に、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を 利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がらくイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人 ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使て足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「おり」のなし  「京価では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本できるよう配慮されています。  「おり、日本では、日本では、日本では、日本では、日本できるよう配慮されています。  「おり、日本では、日本では、日本できるよう配慮されています。  「おり、日本では、日本では、日本では、日本では、日本できるよう配慮されています。  「おり、日本では、日本では、日本できるよう配慮されています。  「おり、日本では、日本では、日本できるよう配慮されている。  「おり、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では								
個別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供 されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるととも に、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人 ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもる高く会う高さの力ルを用意するとともに、マットを使て足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「神庙( A )  評価  ② 非該当  ② ま、乳切児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある ② 非該当  ③ あり ○ なし  ③ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ 様準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している ② 非該当  ④ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  ④ 様準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している ② 非該当  ④ あり ○ なし  ④ おり ○ なし  ④ 様準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している ○ 非該当  ④ あり ○ なし  ④ おり ○ なし  ○ 非該当				. 47 (12 (12 (40 )				
アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の利・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスにこついてもなるべく合う高さの付款をそれぞれ採用し、子ども一人でとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスにこついてもなるべく合う高さので調整を行うなれをそれぞれ採用し、子ども一人でとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスにこついても配慮がなされています。  アットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「標準項目 1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「非該当 2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  「非該当 2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  「非該当 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「非該当 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  「非該当								
アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使て足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ② なし  ② 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ③ あり ③ なし  ③ ま該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  ④ あり ③ なし  ④ あり ③ なし	個別に対応した食事の提供							
されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整が含くイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合うわせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使て足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ② なし  ② ま数当  ② ま数当  ② ま数当  ② 非数当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  ④ あり ③ なし  ③ ま数 ○ なし  ③ ま数 ○ なし  ③ ま数 ○ なし  ④ ま数 ○ なし  ④ ま数 ○ なし				が個別に担け				
に、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。  食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  「神仏 人)  「評価 標準項目  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録とは、おかある  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録とは、おかある  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握性でいる  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握性であるとともに、マットを使っています。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握性であるとともに、マットを使っています。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握性であるとともに、マットを使っています。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握性であるとともに、マットを使っています。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握性であるとともに、マットを使っています。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といるといます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といるといます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といるといます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といるといます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といるといます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といるといます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といます。  「1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、記録といます。  「1. 子どものは、などものは								
食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を 利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人 ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべ〈合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使: て足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。 評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ②あり ②なし  ②あり ③なし  ②ま数児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするし〈みがある  ③非該当  3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している  ③非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③非該当  ③まり ③なし  ③まり ③なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ③まり ○なし  ④まり ○なし								
食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1 ~ 2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ○ なし  ② ま幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ② ま数 ○ ま数 ○ なし  ③ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ○ 非該当	. ,							
食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1 ~ 2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ○ なし  ② ま幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ② まり ○ なし  ③ あり ○ なし  ③ あり ○ なし  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当								
食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1 ~ 2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべ(合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ○ なし  ② ま幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ② ま数 ○ ま数 ○ なし  ③ あり ○ なし  ④ あり ○ なし  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ○ 非該当	食事がし	しやすい	1環境の整備					
利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを、1~2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべ〈合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ② あり ② なし  ② あり ③ なし  3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している  ③ あり ③ なし  ④ あり ③ なし  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ③ 非該当				け既製品を				
ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。  評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ③ あり ○ なし  2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ③ あり ○ なし  3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している  ④ あり ○ なし  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ① 非該当  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ① 非該当								
評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている  評価 標準項目  ① までは、	ひとりに含	わせた	高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに	、マットを使っ				
子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている       評価       標準項目         ・ 家は のまり のまり のまり のまり のまり のまり のまり のまり のまり のまり	て足の高	さの微調	整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。					
子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている       評価       標準項目         ・								
評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している  ⑤ あり ○ なし  2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある  ⑥ あり ○ なし  3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している  ⑥ あり ○ なし  4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている  ⑥ あり ○ なし  ○ 非該当								
評価 標準項目  1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している ○ 非該当  ② あり ○ なし 2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある ○ 非該当  ③ あり ○ なし 3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している ○ 非該当  ④ あり ○ なし 4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている ○ 非該当	子どもがん	心身の傾		,				
<ul> <li>● あり ○なし</li> <li>1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</li> <li>● あり ○なし</li> <li>② 非該当</li> <li>② ま該当</li> <li>③ あり ○なし</li> <li>③ ま該当</li> <li>③ ま該当</li> <li>④ あり ○なし</li> <li>④ あり ○なし</li> <li>④ ま該当</li> <li>④ ま該当</li> <li>④ ま該当</li> <li>④ ま該当</li> <li>④ ま該当</li> </ul>			itm( A	,				
<ul> <li>● あり ○なし</li> <li>1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している         <ul> <li>● まり</li> <li>● あり ○なし</li> </ul> </li> <li>2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある             <ul> <li>○ 非該当</li> <li>③ ま該当</li> <li>③ ま該当</li> <li>④ まり</li> <li>○ なし</li> <li>4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている                     <ul> <li>○ 非該当</li> </ul> </li> <li>● あり</li> <li>○ なし</li> <li>・ 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている                     <ul> <li>○ 非該当</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	評価	西	標準項目					
② あり       ○ なし         ② あり       ○ なし         ③ あり       ○ なし         ③ あり       ○ なし         ④ あり       ○ なし         ④ あり       ○ なし         ● あり       ○ なし         ● あり       ○ なし         ● あり       ○ なし    ・ す該当 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
② あり       ○ なし         ② あり       ○ なし         ③ あり       ○ なし         ③ あり       ○ なし         ④ あり       ○ なし         ④ あり       ○ なし         ● あり       ○ なし         ● あり       ○ なし         ● あり       ○ なし    ・ す該当 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(இ க்பி	O til.		○非該当				
● あり         ○なし           3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している         ○非該当           ● あり         ○なし           4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている         ○非該当	0 007	<u> </u>		O TENA				
<ul> <li>③ a. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</li> <li>⑤ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>④ あり ○ なし</li> </ul>			2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症毒を予防をするしくみかある					
● あり         ○なし           4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている         ○非該当	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		〇 非該当				
● あり         ○なし           4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている         ○非該当			3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している					
4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている <ul><li>● あり ○ なし</li><li>□ 非該当</li></ul>	(A) + 12	O #1		○ 4F++1/				
<ul><li>● あり ○なし</li><li>○ 非該当</li></ul>	<b>●</b> あり	しなし		○非該自				
			4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている					
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		○非該当				
【A+の取り組み】 ○ あり <b>②</b> なし								
	【A+の取	り組み	○ あり  ● なし					

## 評価項目3の講評

## 子どもの健康状態のきめ細かな把握

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は月2回、以後は春と秋の年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申請書を用いて対応しています。

# 感染症予防と感染症発生時の対応を効果的に行うための取り組み

感染症予防に関しては、月1回発行の保健だよりを通じて情報提供を行っているほか、感染症発生時には、全クラスに園内掲示をして注意を喚起するなど感染の拡大が起こらないよう取り組まれています。また、感染症の発生時にパート職員を含めた全職員が嘔吐などに対応できるよう、年に1回、園内研修(感染症マニュアルとおりに動けるように行う実地訓練)を行うとともに決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。

#### 子どもたちが自らの体や健康について学ぶ健康教育

園では、看護師が子どもたちに自らの体のことや健康について学ぶ「健康教育」を定期的に実施しています。また、健康教育で特に日々気をつけてほしいことや身につけて欲しいことは、関連する手作りポスター(「かぜにまけない」「うがい」「手洗い」等)を各クラスにも掲示しており、子どもたちが忘れないように、そして、自ら確認できるように配慮がなされています。

評価項目4 園内の生活が、子	・ どもたちにとって楽し〈快適なものになる工夫を行っている	評点(	Α	)
評価	標準項目			
	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)			
● あり ○ なし				○非該当
	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている			
● あり ○ なし				○非該当
	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし			

#### 評価項目4の講評

## 落ち着いて過ごせる環境設定

環境設定については、「子どもの目線に合わせたレイアウト」を基本とし、設定しており、クラス担任を中心として全園を挙げて取り組んでいます。 幼児クラスについては、ホールを含めた4つの部屋を異年齢交流の場と位置づけ、おもちゃや本などを配置するとともに、落ち着いた雰囲気にし活動に集中できるよう、室内装飾も控えめにしています。 乳児クラスでは、少人数での保育を基本としているため、小集団が集中して活動できる小さい場の設定を行えるよう配慮されています。 また、園庭についても皆が楽しく過ごせるよう環境設定を行っています。

# 最後の一人まで落ち着いて過ごすことができるための延長保育時の配慮

これまでは、延長保育を行う場とお迎えの保護者が通る動線が、同じ教室の中に設定されており、子どもが落ち着いて活動することが難しい場面もみられました。これを踏まえ、今年度は、延長保育時にお迎えの保護者が通る場所(動線)を4歳児クラスに定めて、保育中の子どもたちが活動するクラス(3歳児クラス)と分けるようにし、最後の子どもが帰るまで落ち着いて過ごせるような環境を確保するよう改善しました。

# 子どもたちが園生活を楽しめるよう取り組む行事や交流

誕生日は子ども一人ひとりが特別な気持ちなれるよう、誕生日当日にクラスでお祝いを行う形式となっています。また、行事については、 七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、乳児を対象として年3回の30分程度行われる「ニコニコランド」や幼児を対象として うたやゲームを楽しむ「わくわくタイム」のほか、近隣の公立保育園4園で行う交流をはじめ、ゆうゆう久我山館との交流や学校訪問、ボラ ンティアによる腹話術や紙芝居、手品など、子どもたちが保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。

評価項目5 保育所と家庭と6 5	D交流·連携を緊密に行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
 評価	標準項目	
<u>計画</u> <b>③</b> あり	1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある	○非該当
● あり ○ な	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
● あり ○ な	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
⊕ ಹ) ○ な	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
⊕ ಹ) ○ な	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み		
	評価項目5の講評	
保護なり 保護すりから では では では では では では では では でいっし では でいっし でい でいっし でいっし でいっし でいっし でいっし でいっし でいっし でいっし でいっし でいっし でい でい でい でい でい でい でい でい でい でい	タイムリーに伝える日誌の公開 等に加え、保護者に情報を伝える方法として、日誌の公開が行われています。当園では特に見易さ、わかりたいてはスケッチブックを使うとともに、スクラップブックに日々の活動の様子を写した写真を貼り、公開していは、要点を絞った記載にするなど、職員一人ひとりが読みやすい文章とは何かを考え、工夫を重ねています。われているのか明確になるよう、週案も同時に公開しており、その時々に行われる活動の意味も保護者と共す。 組みや育児困難家庭への支援を行っている	3保護者はロ 軽にそして 各種お食(舌も た)はなく に特日 ではなく に特日 ではなく
評価	標準項目 1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	I
● あり ○ な		○非該当
● あり ○ な		○非該当
● あり ○ な		〇非該当
● あり ○ な	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを 行っている /	○非該当
【A+の取り組み	▶] ○ あり ● なし	

	評価項目6の講評	
	区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援 虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、「虐待防止マニュアル」の実践をはじめ、区の保育課、家庭式児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見どが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。	
	研修内容の職員間での情報共有と園全体の対応能力の底上げ該当するケースは無いものの、区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力のともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされまれています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。	るよう取り組
7	評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	評価標準項目	
	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している <ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	○非該当
	② atl (2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している) なし (本保している) ではしている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	

# 評価項目7の講評

# 保護者の希望する地域情報の提供

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。また、保護者から望まれる情報として、地域の医療機関の情報を配付するなど、関係機関から回って〈る情報だけではな〈、保護者からのニーズを捉え必要と思われる情報についても提供しています。

# 豊かな経験をもたらす地域の様々な人たちとの交流

地域との交流は、中学生の職場体験などの受け入れや実習生などのほか、地域の方も参加できる乳児を対象として年3回、30分程度行われる「ニコニコランド」や園庭開放「いつでもあそびにきてね!」に参加する親子との交流、近隣の公立保育園4園(久我山・久我山東・上高井戸・高井戸)で行う交流、ゆうゆう久我山館との世代間交流や地域の学校訪問、ボランティアによる腹話術や紙芝居、手品など、様々な年代の方々との交流が意欲的に行われています。

# 地域ニーズの再発掘や新たな交流先の開拓とそれを実行できる職員能力の向上

上記のように様々な交流が行われている当園ですが、異動して3年未満の職員集団であることから、従来行われてきた活動を継続的に行うところでとどまっており、地域ニーズの掘り起こしや新しい交流先の発掘など、地域社会に積極的に飛び出し活動を行うまでには至っていません。今後は、地域活動を行うことができる能力(情報収集やコミュニケーションの能力)を職員一人ひとりが身につけるとともに、園(職員)がより地域との結びつきを深めるためには何が必要かを考え、より効果的な活動が行われることを期待します。

	特に良い	1と思う点
	タイトル	より良い子どもの活動を引き出す環境設定
1	内容	環境設定は、「子どもの目線に合わせたレイアウト」を基本としています。幼児クラスについては、ホールを含めた4つの部屋を活動の場と位置づけ、落ち着いた雰囲気で活動に集中できるよう、室内装飾も控えめにしています。乳児クラスでは、少人数での保育を基本としているため、小集団が集中して活動できる小さい場の設定としています。また、園庭については基本的なルールを定め、時には大胆な活動が行えるようにしています。延長保育時には、お迎えの保護者の動線と保育の場を分け、子どもが落ち着いて過ごすことができるような環境に改善しました。
	タイトル	保育の情報を共有し、子どものことを全職員で見守る姿勢
2	内容	毎月開催しているケーススタディ会議では、保育課題を職員間で相談・検討しています。担当外のクラス、子どものについても情報を共有し、何かあれば全体で解決するという意識がとても強く、また、勤務時間や業務に制約のあるパートタイムの保育士とも、子どもの成長の様子や園全体の課題などを共有しようとする姿勢がみられます。こういった姿勢が利用者調査の「子どもが大事にされている」及び「人との関わり方の基礎が育てられている」(区の独自項目)ことを9割を大きく超える人が肯定的に捉えているという結果につながっていると想定されます。
	タイトル	積極的なサービス向上・職員の能力向上のためのCSチェックの実践
3	内容	区の研修制度や個人のチャレンジプランなどによる職員育成の取り組みとあわせて、園ではさらに独自の「CSチェックシート(自己振り返りシート)」の活用を進めています。一人ひとりの意識や行動を細かく自己評価・分析することで、潜在的な問題に気づき、改善のための主体的な思考・実行ににつなげる狙いがあります。難しい取り組みに挑戦する姿勢は大きく評価できます。チェックの項目も、園や保育の実状にあわせて作成するなど、"自らの手で気づいて変える"という積極性が感じられ、継続的・発展的な取り組みが期待されます。
	さらなる	
	タイトル	時間の有効活用の工夫
1	内容	園の特徴でもあるチームワーク力の基盤となる、情報の共有、業務の協働には多くの会議や話し合いの時間が必要です。職員の異動が続いたこともあり、園運営について再確認を図る必要があるなど、実際に多くの時間が割かれてきました。時間の使い方には職員それぞれの感じ方や考え方もあるので、それぞれの意見を確認しあう時期にきたといえるのではないでしょうか。話し合いの時間帯や議題の優先順位を検討し、効率的な時間管理をすることで生まれたゆとりが、職員それぞれのアイデアや工夫の結実につながることが期待されます。
	タイトル	より積極的な子どもの安全対策の推進
2	内容	定期的な避難訓練や不審者対策の訓練の実施、保健衛生の管理をはじめ園庭での遊具の使い方や散歩時の注意をまとめたマニュアルの完備など、子どもの安全確保のための様々な取り組みを行っており、現状、事故や怪我の件数が増加してはいません。しかし、利用者調査では安全対策について肯定的に捉えている保護者は3分の2ほどにとどまっています。園でも、人の出入り、子どもの移動が増える夕方の時間帯の安全対策の強化についての必要性を感じていることから、園の取り組みについての利用者への周知も含め、さらなる対策の推進が望まれます。
	タイトル	地域ニーズの再発掘や新たな交流先の開拓とそれを実行できる職員能力の向上
3	内容	当園では、様々な地域との交流が行われていますが、異動して3年未満の職員集団であることから、従来行われてきた活動を継続的に行うところでとどまっており、地域ニーズの掘り起こしや新しい交流先の発掘など、地域社会に積極的に飛び出し活動を行うまでには至っていません。今後は、地域活動を行うことができる能力(情報収集やコミュニケーションの能力)を職員一人ひとりが身につけるとともに、園(職員)がより地域との結びつきを深めるためには何が必要かを考え、より効果的な活動が行われることを期待します。

# 浜田山保育園

(事業所名: 杉並区立 浜田山保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯89世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数89共通評価項目による調査対象者数89共通評価項目による調査の有効回答者数56利用者総数に対する回答者割合(%)62.9

# 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を大きく超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が94.7%)。個別にみると、「保育時間の変更への柔軟な対応」、「体調変化への対応」について肯定的な回答が約9割を占める他、「職員の聞く姿勢」、「子どもは大切にされている」、「提供される食事への配慮」、「家庭と保育園との信頼関係」などについても肯定的回答が8割を大きく超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。 一方、「安全対策」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「行事日程の設定」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

# 利用者調査結果

みられます。

<b>书者調査結果</b>				
共通評価項目		実	数	
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	47	7	0	2
食事やおやつへの満足度は高く、季節感を取り入れたメニューや子どもに合わせた調理がいます。また、食事について栄養士や保育士からのアドバイスを評価する意見もみられま		既ね肯定的	な意見が寄	<b>ぎせられて</b>
	l			
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	45	10	1	0
   肯定的な回答は8割ほどで、公園や園庭での遊びについては概ね満足する意見が多く見り   表しよく伝わっていることがうかがえます。中には、散歩や外の公園で遊ぶ機会を増やした。				L 子が、保護
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	50	3	1	2
肯定的な回答は約9割を占め、満足する人が多い項目です。延長利用(スポット保育)の构約がある程度可能なことなどが満足度を高める要因となっていると予想されます。自由回行				

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	50	6	0	0
肯定的な回答は約9割を占め、満足する人が多い項目です。保護者へ連絡をとるタイミング 況に配慮して〈れた」など様々な意見が寄せられています。	       	 は「早い」、	[ <b>[</b> [遅 <b>い</b> ]、「新	  の就業状
5.安全対策が十分取られていると思うか	30	25	1	0
肯定的な回答は5割強にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い結果となっています。たれいため、園の安全対策が保護者に十分伝わっていないことも要因のひとつと考えられます率は低く、行動範囲が広がることによって、危険、不安を感じる保護者が増える傾向もみらなどについても、様々な意見が寄せられています。	。年齢別で	は、乳児に	比べ幼児で	で肯定的な
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	37	16	3	0
肯定的な回答は7割を下回っています。「予定に幅があり、スケジュールを組みやすい」や「ど肯定的な意見のほか、平日の行事を不満に感じるもの、さらに早い予定の周知を望むも				
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	46	8	2	0
肯定的な回答は8割を超えています。乳児クラスにおいて、職員に相談しやすいと感じる保由回答では、相談のしやすさを評価するもの、機会はあるが十分時間がとれないというもの見が寄せられています。				
8. 保護者の考えを聞〈姿勢があるか	48	8	0	0
肯定的な回答は8割を大きく超え、否定的な回答はありません。職員の姿勢については、3  ます。	民定した評(	<b>曲が得られ</b> 	ていることが	がうかがえ
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	38	18	0	0
肯定的な回答は7割を下回っており、年齢別に見ると、乳児クラスでは6割強、幼児クラスでれます。否定的な回答があるわけではなく、"どちらともいえない"と回答する理由としては、うことが主なものと考えられます。				
10.一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	48	8	0	0
肯定的な回答は8割を大きく超え、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。子から、子どもが大切にされていることをうかがい知ることができる、といった意見が寄せら			なことや、	担任の様

11.職員の対応は丁寧か	45	10	1	0
肯定的な回答は約8割を占め、職員の礼儀正しさや丁寧さは概ね認められています。自由 ようになった」というもののほか、「職員によって異なる」とする意見は複数みられます。	意見の中に	には「子ども	が丁寧な言	言葉を使う
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	35	16	4	1
肯定的な回答は6割強にとどまっています。言いづらさは、乳児クラスに比べ幼児クラスで見すいかいいづらいかを一律でき〈設問なので、寄せられた意見の中には「言いたいことはまなどもみられます。				
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	43	12	0	1
対応については、肯定的な回答が7割を大きく超え、否定的な回答はみられません。自由意なフィードバックの例をあげ、園の前向きな姿勢を評価する意見も寄せられています。	意見では、 写	<b>実際のアン</b> ・	ケートなどへ	への迅速
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	11	7	36	2
知らない人が多勢で、全体の6割強を占めており、ポスター等が園内や公共施設に掲示してれていない状況が結果となって現れています。	てあるにも7	かかわらず	、関心を持	って見ら
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	13	5	0	0
1年以内に利用を開始した18人中13人が肯定的な回答をしています。否定的な回答はあり頭がいっぱい」、「説明は全体的なことで、子の年齢による細かいことはわかりづらかった」、もわからなかった」などもあげられています。				

[組織マネジメント:認可保育所]

(事業所名: 杉並区立 浜田山保育園)

# **組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)**

		共通評価項目	
I		カテゴリー1	
	リーダーシップと頽	急思決定	
İ		サブカテゴリー1	
	事業所が目指して	ていることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指して	ていること(理念、基本方針)を明確化・周知している <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	○非該当
	● あり ○ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	● あり ○ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	● あり ○ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	○非該当
	【A+の取り組み】	] ○あり ●なし	
	評価項目2 経営層(運営管理	理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	● あり ○ なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	○非該当
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	

係者に周知して	いて、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関 いる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ な	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている 	○非該当
	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
● あり ○ な		○非該当
● あり ○ な	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて   いる 	○非該当
【A+の取り組み		
	カテゴリー1の講評	

# 「健康なこども」、「心豊かな子ども」、「自分で考えて行動する子ども」の周知と理解

園が保育で大事に考え利用者に発している3つのメッセージは、園内の掲示やパンフレット等を通じて職員も保護者も確認できるようになっています。利用者調査では「食事」、「外遊び」、「病気や怪我への対応」、「人との関わり方の基礎育成(区の独自調査項目)」、「子どもは大切にされている」ことを肯定的に捉えている人がいずれも8割を大きく超え、子どもの心身の健康づくりと自立心の育成に必要な温かい人間関係の基礎づくりといった、園のメッセージに関連する取り組みは、子どもの発達を通じて保護者にも理解されている様子がうかがえます。

## 会議内容についての周知徹底

保育内容の検討、環境の整備、園の管理運営など、職員の役割分担により様々な構成の会議体があり、開催時間も日中、夜間など様々 です。きめ細かい検討を行うために必要な構成となっていますが、検討経緯や決定事項について、全体への周知が十分とは言い切れな い状況です。経営層も会議の持ち方について見直しの必要性を感じていることから、周知の方法も含めた工夫が望まれます。

# 大事にしている「仲間に伝える」、「みんなで考える」

園長をはじめ職員の異動による入れ替わりが多く、各場面で確認や見直し業務が発生しています。 何事も模索中であるという認識を持ち、 職員同士相手の気持ちを尊重しつつ情報を伝え合う、 意見を出し合うことを意識的に取り組む姿がうかがえます。

また、今年度の業務改善点のひとつに「異職種の業務内容を知る」を掲げ、各職種(保育士・栄養士・看護師など)がお互いにより知り合うことで円滑な運営を目指しています。知る過程も、園の目指していることや基本方針を確認しあう機会となっているのではないでしょうか。

]責任		
サブカテゴリー1		
スに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
<b>評点</b> (	Α	)
		○非該
全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでに	13	
		○非該
		•
	Δ	)
) mx i p		,
標準項目 標準項目 (第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	7114 <sup>[]</sup> ,	
	り組ん	٠٠ . د د
		○非該
・透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会・ に関する情報を開示している	に事業	
		○非該
○ あり ● なし		
○ あり ● なし		
<b>○</b> あり <b>◎</b> なし		<u> </u>
○ あり		1
<b>○ あり ● なし</b>		1
サブカテゴリー2		
サブカテゴリー2		
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている 止の専門性をいかした取り組みがある		
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている	A	)
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている 止の専門性をいかした取り組みがある <b>評点</b> (	A	)
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある <b>評点(</b> 標準項目  東業版の機能や東門性は、利用者に支際のなり範囲で地域の人に漫元している(施設・供品)		)
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある <b>評点(</b> 標準項目  東業版の機能や東門性は、利用者に支際のなり範囲で地域の人に漫元している(施設・供品)		<u> </u>
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある  評点( 標準項目 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品領人)	等の開	○非該
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある <b>評点(</b> 標準項目  東業版の機能や東門性は、利用者に支際のなり範囲で地域の人に漫元している(施設・供品)	等の開	○非該
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある  響点( 標準項目 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等は、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の	等の開	○非該
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある  響点( 標準項目 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等は、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の	等の開	○非該
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  ##項目  事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等)、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の)  「派遣など」を行っている	等の開	○非該
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  ##項目  事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等)、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の)  「派遣など」を行っている	等の開	○非該
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  ##項目  事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等)、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の)  「派遣など」を行っている	等の開	○非該
	標準項目 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでい  ○ あり ⑥ なし  ○ あり ⑥ なし  評点( 標準項目 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取りにいる	ス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる    探集項目

評価項目2	入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している			
ホラフティア 支ログ	(11に)戻りる本平女党で明確にし、仲間で唯立している	評点(	Α	)
評価	標準項目			
	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
● あり ○ なし				○非該当
	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
評価項目3	・の注集と同じている			
評価項目3 地域の関係機関と	この連携を図っている	評点(	A	)
評価項目3 地域の関係機関と 評価	標準項目	評点(	A	)
地域の関係機関と		評点(	A	)
地域の関係機関と 評価 ② あり ○ なし	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	)
地域の関係機関と 評価 ○ あり ○ なし	標準項目		A	○非該当
地域の関係機関と 評価 ② あり ○ なし	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	<u> </u>
地域の関係機関と 評価 ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当
地域の関係機関と 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えて		A	○非該当

# 遊びに来た地域の親子が心地よく過ごせるような雰囲気づくり

"あそびにきませんか?!"のパンフレットを用意し、園庭開放やふれあい保育、毎月の身体測定や育児相談を実施しています。遊びに来た子どもには、測定結果を記録できるカードを用意するなど、親子がまた来園したくなるような雰囲気づくりに努めるとともに、家庭ではできない体験の提供を心がけています。

現在は希望者を受け入れるにとどまりますが、園では地域の親子が保育園に何を望んでいるかを改めて探る必要性を感じていることから、地域の子育てへのより積極的な関係づくりの実践に期待が寄せられます。

# |職員の法・規範・倫理に関する理解

園に常備している公務員倫理に関する特別区のハンドブックには、子どもの人権尊重や個人情報保護をはじめ、福祉サービス従事者として守るべきことが明示されています。また、平成21年度より実施される新保育所保育指針の検討は、倫理法令等の遵守について再確認する機会にもなっています。一方、職員自己評価では「法・規範・倫理の周知」の肯定的な回答は半数ほどにとどまります。職員は法令順守に則った保育の実践を行いながらも、法律等を十分に理解するには至っていない状況がうかがえるため、これらの理解を深める取り組みも期待されます。

# 地域の関係機関との連携

行政連絡会をはじめ、地域子育てネットワーク連絡会のメンバーとして、地域の子育てや教育の課題などについて情報・意見交換を行っています。また、保育士は児童館で乳児向けの保育の話をしたり、行事に関わったり、育児支援者として地域に出向いています。さらに、中学校の授業に講師として出向くなど、公立園として関係機関と協働する体制はできていますが、このような園としての取り組みは全職員に十分伝わってはいないのではないでしょうか。職員同士で仕事内容を知りあうことも大事にしていることから、伝え合うことができるとよいと思われます。

	カテゴリー3	
利用者意向や地域	或·事業環境の把握と活用	
	サプカテゴリー1	
利用者意向や地域	或·事業環境に関する情報を収集·活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	•
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目2		
	的·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目3		
	関する情報を収集し、状況を把握・分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目  1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>	

## カテゴリー3の講評

# きめ細かい利用者意向への対応

保護者会、面談のほか、連絡帳や日常的な保護者とのコミュニケーションからの意向把握を大事にし、また行事後にはアンケートを実施 するなど積極的な取り組みがみられます。職員自己評価からも利用者の意向は全園で検討している姿勢がうかがえ、行事のアンケートを 例にすると、日程調整の早期化や行事開催の場所や園外の行事との兼ね合いなど、出された意見は次年度以降に反映させるべく調整を 進めています。このような姿勢は利用者調査にも肯定的な結果として表れているといえます。

# 保育を取り巻く社会・地域のニーズを収集・把握する意識

保育業界に関する情報などは「保育サービス検討会議報告」、「杉並区保健福祉計画」をはじめ保育関係の本を園に常備することで、職員がいつでも閲覧できる環境ができています。また、現在行っている保育所保育指針の改定に伴う確認作業は、保育を取り巻〈社会環境や ニーズを改めて客観的に見直す機会にもなっています。しかしながら、これらの情報の収集や把握などについては職員一人ひとりの意識 に大きな開きがあることから、経営層は関心を喚起することも必要ではないでしょうか。

#### 苦情解決制度の周知

区の保健福祉サービス全般を対象に行われている「保健福祉サービス苦情調整委員制度」については、その概要と委員の氏名を記載し たポスターを掲示して、利用者に周知を行っています。 しかし、利用者調査では制度についての認知率は2割を下回ることから、引き続きの周知活動が必要といえます。

<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している</li> <li>評価 標準項目</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② 表別の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている</li> <li>⑤ あり ○ なし</li> <li>○ あり ○ なし</li> </ul>		実行	
平価項目1 収り組み期間に応じた課題・計画を策定している		サブカテゴリー1	
YPA	課題·計画		
(ア)組み期間に応じた課題・計画を策定している    評価			
評価		た課題・計画を策定している	
<ul> <li>● あり ○ なし</li> <li>② 2. 年度単位の計画を策定している</li> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ 3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる</li> <li>④ あり ○ なし</li> <li>② あり ● なし</li> <li>② 本井の取り組み】</li> <li>③ あり ● なし</li> <li>評価</li> <li>標準項目</li> <li>1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている</li> <li>● あり ○ なし</li> <li>② 表別の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている</li> <li>● あり ○ なし</li> </ul>	VII-31-75 - 1	評点( A	)
<ul> <li>あり ○ なし</li> <li>2. 年度単位の計画を策定している</li> <li>あり ○ なし</li> <li>3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる</li> <li>本+の取り組み】</li> <li>あり ● なし</li> <li>評価</li> <li>標準項目</li> <li>1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている</li> <li>あり ○ なし</li> <li>2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている</li> <li>あり ○ なし</li> </ul>			
② ab	_	理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
● あり ○ なし  3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる  (本の取り組み) ○ あり ● なし  (本の取り組み) ・		ケー・フェー・ファンス アー・ファンス アー・エー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	○非該
<ul> <li>③ あり ○ なし</li> <li>③ おり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② あり ○ なし</li> <li>② 本人</li> <li>② 本人</li> <li>② 本人</li> <li>② 本人</li> <li>② 本人</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>② まり ○ なし</li> <li>○ なし</li> </ul>	_	<b>年度単位の計画を束定している</b>	○非該
● あり ○ なし  A+の取り組み]  「 あり ● なし  「	-	短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<u> </u>
A+の取り組み]  ② あり ③ なし  ② あり ③ なし  ② あり ○ なし  ② あり ○ なし  ② あり ○ なし  ② あり ○ なし  ② あり ○ なし  ② あり ○ なし	_		○非該
平価項目2			
# ( A )	り組み」	○ あり ・ ● なし	
評価	12		
1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている			)
② まり ○ なし 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている ○ なし	視点から課	<b>評点( A</b>	)
⊕ ಹು ೦ ಜು	視点から課	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	)
	視点から課 <u>面</u> 1.	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	視点から課 面 1. 〇 なし	<b>評点( A</b> <u>標準項目</u> 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該
	視点から課 面 1. ○ なし 2. ○ なし		
	西 1. つなし 2. つなし 3.	<b>評点( A</b> <u>標準項目</u> 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
- 「定している」	孤	<b>評点( A</b> 標準項目 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該
	孤点から課 面 1. ○ なし 2. ○ なし 3. ○ なし 4. 完	標準項目 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
[A+の取り組み] ○ あり ・ ● なし	孤	標準項目 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策している	○ 非該
	孤	標準項目 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
	孤	標準項目 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策している	○ 非該 ○ 非該
	孤	標準項目 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策している	○ 非該 ○ 非該

☆ (本で日)		
評価項目3	(= I— III 1960 / -7x1 1.7	ļ
有美は前回の夫1	行に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>B</b>	)
	nm( D	,
評価	標準項目	
- HLIE	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど	
● あり ○ なし	の取り組みを行っている	○非該当
	2 公元が生にまたり、中化オロ博り造成度合いを図る指揮を明子している	
	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	_
○ あり ● なし		〇 非該当
<b>-</b>	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで	
	1112	
● あり ○ なし		○非該当
【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	ļ
	サブカテゴリー2	
	1) ////////////////////////////////////	
利田老の安全のは		
利用者の安全の	ログググブロッー2 確保·向上に計画的に取り組んでいる	
		_
評価項目1	確保・向上に計画的に取り組んでいる	
評価項目1	確保・向上に計画的に取り組んでいる 確保・向上に計画的に取り組んでいる	
評価項目1	確保・向上に計画的に取り組んでいる 確保・向上に計画的に取り組んでいる	)
評価項目1 利用者の安全ので	確保・向上に計画的に取り組んでいる 確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価項目1	確保・向上に計画的に取り組んでいる  確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	)
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる	
評価項目1 利用者の安全ので	確保・向上に計画的に取り組んでいる	)
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる  確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点</b> ( A  標準項目  1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる	
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全の研 評価 ・ あり	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当
評価項目1 利用者の安全ので 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	確保・向上に計画的に取り組んでいる <b>評点( A</b> 標準項目  1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している  2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている  ○ あり ● なし	○非該当
評価項目1 利用者の安全の行 評価	確保・向上に計画的に取り組んでいる	○非該当

# ヤレノンノフノに則った計画的な業務改善・接各内上・人材育成

杉並区役所が区民満足度向上のために実施しているチャレンジプランでは、前年度を振り返り、今年度に取り組む改善点を組織全体で確 認・実行する仕組みができています。園では家庭との子育て情報の共有意識を新たにすることや地域の親子のニーズの探求、研修成果の着実な実践などを園全体の目標として取り組んでいます。年度途中では達成状況を確認して課題を再確認するなど、PDCAサイクルが 定着しているといえますが、目標に応じた適切でわかりやすい指標の設定には改善の余地があると思われるため、これらの改善に向けた 取り組みが期待されます。

## 危機管理意識の維持と安全対策の継続

安全については、危機管理マニュアルの完備や事故簿の記録、職員の防犯訓練や避難訓練の実施などに取り組んでいます。事故が起き た場合はその重要度に応じた園や区の対策を保護者に明示するなど、説明責任を果たし、保護者の不安軽減に努める姿勢が顕著にみられます。また、課のマニュアルの散歩時の安全対策グッズに、園では使いやすさを付加するなどの工夫もみられます。しかしながら、利用 者調査では安全対策について肯定的な意見は5割強にとどまることから、引き続き高い危機管理意識の維持や対策の継続が必要である と思われます。

# 家庭と共有することを大事にしている保育指導計画

子どもに関する活動については、保育目標を定めた保育課程に基づき、年・月・週ごとの指導計画を作成しています。クラスの指導計画は 担任を中心とした職員が子どもの発達や興味関心にあわせて月(週)ごとに作成し、幼児クラスでは毎月のクラスだよりにも掲載していま す。家庭と子どもの育ちを共有することを大事に考えているので、クラスだよりには計画や目標に向けた保育士の思いも綴られています。

が能力向上 サブカテゴリー1 話している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる			
て必要な人材構成にしている	評点(	Α	)
<u>↓</u> #\$\#+∓ [7]			
	.13		
			○非該論
			0 11 11/2
			○非該論
			O TERM
			○非該計
40			
且み】 ○ あり ・ ● なし			
可上に取り組んでいる	評点(	A	)
	評点(	A	)
可上に取り組んでいる 標準項目 1.職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	評点(	A	)
標準項目	評点(	A	<u> </u>
標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	評点(	A	<u> </u>
標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している なし	評点(	A	○非該
標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している なし 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	評点(	A	○非該
標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している なし  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している なし	評点(	A	○ 非該
標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している なし  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している なし  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	評点(	A	○ 非該
標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している なし  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している なし  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	評点(	A	<ul><li>非該</li><li>非該</li><li>非該</li></ul>
標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している なし 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している なし 3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている なし 4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している なし 5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の			<ul><li>非該</li><li>非該</li><li>非該</li></ul>
標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している なし 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している なし 3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている なし 4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している			○ 非該: ○ 非該: ○ 非該:
標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している なし 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している なし 3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている なし 4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している なし 5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の ないコレスレス			)
	標準項目 1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示してしなし 2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っているなし 3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<b>評点</b> ( 標準項目	評点( A         なし       標準項目         1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している         なし       2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている         なし       3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる

員一人ひとりと組	サブカテゴリー2	
	1織力の発揮に取り組んでいる	
<sup>7</sup> 価項目1 減員一人ひとりの主	主体的な判断·行動と組織としての学びに取り組んでいる <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
評価	標準項目	
<b>③</b> あり ○ なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
● あり ○ なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
<b>③</b> あり ○ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当
A+の取り組み】	○ あり	
-    価項目2  員のやる気向上に	に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
遺のやる気向上に 	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	•
詳員のやる気向上に <u>評価</u> 1. ● あり ○ なし メ	<b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネメントを行っている	•
評価 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネメントを行っている 2.就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	· ・ジ
評価	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネメントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	ジーの非該当
評価	<b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネメントを行っている 2.就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	・ジー・非該当ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネメントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	・ ○ 非該当 ○ 非該当
評価	標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネメントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	・ ○ 非該当 ○ 非該当
2. () あり () なし () 3. () あり () なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該

#### |研修報告の定期的な実施

保育士の経験年数などに応じた研修があり、職員は受講後にレポートを提出し、その後も研修成果をどのように現場で実践しているか等について区に報告する仕組みがあります。

園ではこれとは別に研修内容を職員に報告する機会を設けています。特に若手の職員が研修内容を実践したり、新しい試みを始めるきっかけとなる効果に期待が寄せられ、これまで滞りがちだった報告会を月に1回程度は実施するようになったことは、着実な取り組みとして評価できます。

## 相談・提案しやすい会議の工夫

職員の異動が近年続いたことにもよりますが、職員がみなで考えて伝え合うチームワークの大切さを再確認しています。事務室には議題 用紙を設置し、議事を思いついた職員はいつでも提案・発表したいことを記入できる仕組みがあります。難しい仕組みではないが、いつで も閲覧・記入できることは、日ごろの気づきや工夫の輪を広げ、互いが学びあう機会を逃さない重要なものといえます。相談や提案のしや すさは多くの職員が感じていることでもあり、組織力を支える基盤でもあることから、意識的に維持することが大切といえるのではないで しょうか。

# チームワークで補いあう人員配置

常勤職員については配置基準による区の採用があり、園には人材構成を踏まえた実質的な人事権はありません。園は必要な人員の確保を区に要求していますが、突発的ともいえる人員不足には経営層をはじめ園内で補いあってきました。利用者へ大きな影響を与えることなくサービスが提供できたのは、チームワークの成果ともいえます。職員にかかる負担は決して小さくない中、職員がお互いの業務を知り合うことも人材育成の一環と考え対応してきました。本来のあるべき姿とはいえないが、実績は組織の自信となって蓄積されると考えられます。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	ずに取り組んでいる	
·/= •= • • •		
7価項目1 業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
	評点( A	)
評価	標準項目 1.情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	1
<b>●</b> あり ○ なし		○非該
	  2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	VI 112
● あり ○ なし		○非該
	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	1
● あり ○ なし		○非該
価項目2		
価項目2	】 ○ あり <b>●</b> なし 人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
価項目2 人情報は、「個	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u> ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
評価 ● あり	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
で価項目2  人情報は、「個                                     	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該
で価項目2  人情報は、「個                                     	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

# 個人情報保護法や区の条例等の再確認 個人情報については、園長・主査及びフリーの保育士がリーダーとなり、パソコンの管理をはじめ書庫の鍵の管理などを行っています。情報の管理はマニュアルに則って行われ、利用者の理解が必要な子どもの写真の扱いなどは保護者会で説明しています。一方、情報管理のもとになる区の規定などについては、職員による認識に開きがあることがうかがえます。今後は、法や条例の理解を深めることも大事に考えて取り組めるとよいのではないでしょうか。

カテゴリー7の講評

カテゴリー8				
カテゴリー1~7に関する活動成果				
₩ <b>₫</b> ₩= <b>₫</b> ₩ <b>4</b>				
	١ ٦			
則牛及CU, /、尹朱川以川尚はV的唯山「広川山 「V川)씨 'Vッ (エグ・Vッ (エク・Vッ (エッ・) ユー・・ 				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている。				
・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」	○ A+	( <b>a</b> ) A	∩в	Ос
・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	<del>-</del>	_	_	<u> </u>
改善の成果				
園の理念や方針の再確認				
園長をはじめ職員の異動による入れ替わりが多く、各場面で確認や見直し業務が発生しています。 19  職員同十相手の気持ちを尊重しつつ情報を伝え合う、 意見を出し合うことに意識的に取り組んでいま	]事も模索中 す. これまで	であると であると	という認記 して行っ	哉を持ち、 ていたこ
とも、明文化しながら理解を深めてきました。				
	うにする」をほ	<b>目標のし</b>	<b>)とつに</b> i	渇け、合
	こといえます	•		
サブカテゴリー2				
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテコリーで評価される部分につい   て、改善を行い成果が上がっている				
・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+	<ul><li>A</li></ul>	Ов	ОС
	· ' ^ L = I-T	218-50	-nĿ::	・マム佐
はどうしても低くなりがちであり、継続的な報告会の開催は困難な状態でした。				
定に設定しました。		対古云い	)用惟口:	をサ月回
	<b>ます</b> 。			
サブカテゴリー3				
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している				
て、改善を行い成果が上がっている				
・カテゴリー 6 : 「サービス提供のプロセス」	<ul><li>A+</li></ul>	$\bigcirc$ A	Ов	Ос
・ガテコリー / ∵ 1月牧の1木環・共行」 				
7. ¥ A # B				
	ᄴᄯᅃᆔᄓ	∟ı+∰¥	धर साम	李の利
昨年度までは試行段階であった延長人示ット保育を本年度より本格美施し(1回500円、月の利用回 便性に向上を図りました。	数かり凹り.	上は無↑	斗)、利力	有の利
	サブカテゴリー1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してい 評価項目1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上してい 評価項目1 前年度と比較困難な場合は可能な期間でしと比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい 、カテゴリー1:リーダーシップと意思決定。 ・カテゴリー4: 計画の策定と着実な実行。  改善の成果 園の理念や方針の再確認 園長をはじめ職員の異動による人れ替わりが多く、各場面で確認や見直し業務が発生しています。何報員同士相等の実行を容養重しつつ情報を伝え合う、意見を出し合うことに意識的に取り組んでいまとも、明文化しなが5理解を深めてきました。また、チャレンジブランでは「継程ごとの仕事をお互い知り合い、それぞれの仕事がスムーズにいくままた。チャレンジブランでは「繊維ごとの仕事をお互い知り合うことで円滑な運営を目指してきました。これらの取り組みの過程で、職員は園の目指していることや基本方針を改めて確認しあうことができた。  東西選したの取り組みの過程で、職員は園の目指していることや基本方針を改めて確認しあうことができた。 「本の表を行い成果が上がっている「おの表別、また、これらでも何と以来が上がっている。・カテゴリー5:職員と組織の能力向上。  改善の成果  研修成果の実践の場づくり (保育士の経験年数などに応じた研修があり、職員は受講後にレポートを提出し、その後も研修原果をについて区に報告する仕組みがあります。また。これまでも受講像に関内で報告する場は設定されてはどうしても低(なりがちであり、継続的な報告会の力にと思考するとはそレンジブランの目標に掲げ、そこで、園では「研修成果を保育の実践であ互いに学びあり、ことをチャレンジブランの目標に掲げ、そこで、園では「研修成果を保育の実践であ互いに学びあり、ことをチャレンジブランの目標に掲げ、そこで、園では「研修成果を保育の実践であ互いに学びあり、ことをチャレンジブランの目標に掲げ、そこで、園では「研修成果を保育の実践の場」、特に若手職員の活躍の場づく切につながる、計画的で着実な取り組みといえ、では近日を開発を構造していて、改善者に対し、対している計画を度に対して対している計画を度に対して対している計画を度に対して向上している計画を度に対して対しませがようでは近日を向上している計画を度に対して対しませがよります。  「本の表別に対しているの表別になり、対しているでは近日を表別に対しているがよります。  「本の表別になり、対しているでは、対しているがより、対している対しているがよりでは近日を表別になり、対しているがよりでは、対しているでは、対しているでは、対しているでは、対しているでは、対しているでは、対しているでは、対しないのでは、対しないのでは、対しているでは、対しないのでは、は	サブカテゴリー1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している 評価項目1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している 評価項目1 前年度と比較困難な場合は可能な期間で」と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を行い成果が上がっている。 カテゴリー2・19 クシップと意思決定。 カテゴリー3・19 の表生と物責任。 カテゴリー4・計画の策定と着美な実行。  改善の成果 國長をはいめ職員の異動による入れ替わりが多く、各場面で確認や見直し業務が発生しています。何事も模索中職員同土相手の気持ちを尊重しつつ情報を伝え合う。意見を出し合うことに意識的に取り組んでいます。これまでさ、明文化しがら理解を表力できました。 また、チャレンジブランでは「職種ごとの仕事をお互い却い合こととで円滑な適害を目前してきました。これも、の取り組みの適様で、職員は関の目指していることが母本方針を改めて確認しあうことができたといえます。これちの取り組みの適様で、職員は関の目指していることで円滑な適害を目前してきました。これちの取り組みの適様で、職員は関の自指していることで再名な適害を自有してきました。カテゴリー2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している 評価項目1 「こ、改善を行い成果が上がっている。カナディン・カテゴリー2・19 職員と組織の能力向上。  改善の成果  保管・大阪と組織がある。また、これまでも関端な出版でした。これできたといるました。しについて反に報告するが組みをいました。しはといったではおいまいたがある。計画的で着実な取り組みといえます。 研修成果の実践の場、特に若手職員の活躍の場づくりにつながる、計画的で着実な取り組みといえます。 ・カテゴリー3 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している 評価項目1 前年度に比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1・1 情報の保護・共有   第4年度とじたべ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している 評価項目1 前年度に比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1・1 情報の保護・共有   ② A+	カテゴリー1 - 7に関する活動成果  サブカテゴリー1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している 評価項目1 新年度に財産財産場合は可能な期間でしと比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい 「か幸る行い規集が上がっている ・カテゴリー2 : 常量における社会の責任・カテゴリー2 : 常量における社会の責任・カテゴリー2 : 常量における社会の責任・カテゴリー2 : 常量における社会の責任・カテゴリー2 : 常量における社会の責任・カテゴリー3 : 元テゴリー3 : 元テゴリー3 : 元テゴリー3 : 元テゴリー5 : 元まで順例ととも、明文化しなが3 理解を深めてきました。また、チャレンダブランでは「職性との仕事な力」の「おお互により知り合い。それぞれの仕事がスムーズにいておってまで信例ととも、明文化しなが3 理解を深めてきました。これをで自分なごともに思慮的に取り組みの退船で、また、チャレンダブランでは「職性との仕事と次のできました。これらないの関係を深めてきました。これらないの関係を深めてきました。これら取り組みの過程で、職員は関の目指していることや基本方針を改めて確認しあうことができたといえます。  サブカテゴリー2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している  非価項目 前年度に取回顧な場合は可能な期間で、と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5 : 第員と組織の能力の上 ・カテゴリー5 : 第員と組織の能力の上 ・カテゴリー5 : 第日と観点の能力の上 ・カテゴリー5 : 第日と現場では、一下を提出し、その後も研修成果をどのように現場でまる にといて、(2)が5であり、頻繁的な場を会の開催に関係な状態ではあって報告でいる。としました。 ・オーゴリー5 : 第日と見たが、特に表手職員の活躍の場づくりにつながる。計画的で着実な取り組みといえます。  サブカテゴリー3 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している  デ価項目 前年度に投資機な場合は可能な期間で、と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい て、改善を持ています。・カテゴリー6 : サービス提供のプロセス・・カテゴリー7 : 情報の保護・共有。  第一年度上では設計可能な用の保護・共有・アルテゴリーで評価される部分につい ・カテゴリー6 : サービス提供のプロセス・・カテゴリー7 : 情報の保護・共有・アルテゴリー7 : 情報の保護・共有・アルテゴリー7 : 情報の保護・共有・アルテゴリー7 : 情報の保護・共有・アルテゴリー7 : 信報の保護・共有・アルテゴリー7 : 情報の保護・共有・アルテゴリーで評価される部分につい  ・カード・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・	サブカテゴリー1 - 7に関する活動成果  サブカテゴリー1  前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している  評価項目1  前年度に比較に関係が上かっている ・カテゴリー1・「ドライン・「シーケン・アンを思し決定・カテゴリー2・「経営におけい規果が上かっている ・カテゴリー2・「経営における社会的責任・カテブリー2・「経営における社会的責任・カテブリー2・「経営における社会的責任・カテブリー2・「経営における社会的責任・カテブリー2・「経営における社会的責任・カテブリー2・「経営における社会の責任・ファン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン

+				
サブカテゴリー4 事業所の財政等において向上している				
事業別の財政寺において四上している				
評価項目1				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がって				
เาอ		$\bigcirc$ .	$\bigcirc$ n	$\bigcirc$ o
	● A+	○ A	Ов	$\bigcirc$ C
改善の成果	1			
行財政改革の着実な実行				
区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度				
同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」と	ト。この中で、 ៶>᠈つが坦	区立保	育園の	事業委託
予め自信としては、指定自注自制度の推進」制造業務の委託の推進」 円務業務の委託の推進」とは   分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。	いりつつか短	) 516 (	このり、区	との休月
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価さ				
	○ A+	<b>●</b> A	Ов	Ос
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している	○ A+	<b>●</b> A	ОВ	Ос
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している	○ A+	<b>●</b> A	Ов	ОС
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している	○ A+	<b>●</b> A	Ов	Ос
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	○ A+	<b>●</b> A	Ов	Ос
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」  改善の成果  利用者意向を園全体で検討し改善につなげる姿勢  保護者会、面談のほか、連絡帳や日常的な保護者とのコミュニケーションからの意向把握を大事にし	、また行事	受にはア	<b>'</b> ンケー	トを実施
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」  改善の成果  利用者意向を園全体で検討し改善につなげる姿勢  保護者会、面談のほか、連絡帳や日常的な保護者とのコミュニケーションからの意向把握を大事にしするなど積極的な取り組みをしています。行事のアンケートを例にすると、日程調整の早期化や行事	人。また行事4 開催の場所	<b>後にはア</b> や園外(	'ンケー の行事と	トを実施 cの兼ね合
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」  改善の成果  利用者意向を園全体で検討し改善につなげる姿勢  保護者会、面談のほか、連絡帳や日常的な保護者とのコミュニケーションからの意向把握を大事にし	人。また行事4 開催の場所	<b>後にはア</b> や園外(	'ンケー の行事と	トを実施 cの兼ね合
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」  改善の成果  利用者意向を園全体で検討し改善につなげる姿勢  保護者会、面談のほか、連絡帳や日常的な保護者とのコミュニケーションからの意向把握を大事にしするなど積極的な取り組みをしています。行事のアンケートを例にすると、日程調整の早期化や行事いなどについて出された意見は、次年度以降に反映させるべく調整を進めています。相談や提案をし	人。また行事4 開催の場所	<b>後にはア</b> や園外(	'ンケー の行事と	トを実施 cの兼ね合
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」  改善の成果  利用者意向を園全体で検討し改善につなげる姿勢  保護者会、面談のほか、連絡帳や日常的な保護者とのコミュニケーションからの意向把握を大事にしするなど積極的な取り組みをしています。行事のアンケートを例にすると、日程調整の早期化や行事いなどについて出された意見は、次年度以降に反映させるべく調整を進めています。相談や提案をし	人。また行事4 開催の場所	<b>後にはア</b> や園外(	'ンケー の行事と	トを実施 cの兼ね合

(事業所名: 杉並区立 浜田山保育園)

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

		共通評価項目	
		サブカテゴリー1	
1	サービス情報の扱	是供	
	評価項目1		
	保護者等に対して	:サービスの情報を提供している <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
		1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	
	● あり ○ なし		○非該当
		3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み】	<b>○ あり ● なし</b>	1
		サブカテゴリー1の講評	
	園の情報をさる	まざまな形で発信	
		g所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームペ	
		rーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図 「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。また、園においてもコンノ	
	ます。		
		ハる様々な活動を見学・体験できるメニューを用意	
		R育相談、「大き〈なったかな」(身体測定)、「あそびにきませんか!?」(園庭開放)、ふれあい保育(10:00 『動会、焼き芋)等、地域の子育て世代や入園希望者などに対して、一人ひとりのニーズにあわせた内容:	
		『劉云、 焼き子) 寺、 地域の子育 とせてや人園布望有などに対して、一人ひとりのニースにのわせに内谷 きる様々なメニューを用意しています。 園では、これら見学者等の受け入れに際し、体制を工夫するなども	
		- ズに行われるよう配慮されており、無理なく対応することができています。	

		サブカテゴリー2	
2 サ-	- ビスの開始・	終了時の対応	
±π./	<del></del>		
    サ-	価項目1 -ビスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている	
			)
	÷π: /π <u>e</u>		
$\vdash$	評価	標準項目  1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	l
	\ +ı1		○╬₩
	あり ○ なし		○非該当
		2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	_
•	)あり 〇なし		○非該当
		3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
•	)あり 〇なし		○非該当
<b>H</b> .	- TT : 0 AFT = 1	<u> </u>	
( A ·	+の取り組み】	○ あり	
評化	西項目2		
		ひび終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	
		評点( A	)
$\vdash$	評価	標準項目	
$\vdash$	7年1四		
	) + i)		<u> </u>
	)あり 〇 なし		○非該当
		2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	
•	)あり 〇なし		○非該当
		3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	
<b>I</b> •	)あり 〇なし		○非該当
		  4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援	O 11
	\+I1 \(\chi\)	は、リーと人の終了時(就子を除く)には、丁ともと体験者の小女を軽減し、文族の経過性に能慮した文族をしている	<u></u>
•	)あり 〇なし		○非該当
[ A -	+の取り組み】	○ あり ・● なし	
	100-700-1		
		サブカテゴリー2の講評	
$+_{\lambda}$	国時の各種	聞き取りや説明はわかりやす〈漏れがないよう配慮	
		周 さなり で成功  は1フカックマット  胴1でかないよりに) 思 入園説明会では、園での基本的なルール、園生活で必要なもの等について資料等を用いて丁寧に説明され	ています ま
		へ園試明芸では、園での基本的なルール、園主活で必要なもの寺について貝科寺を用いて丁寧に説明され にては栄養士や調理士が、健康面については看護師が、それぞれ対応し聞き取りや説明等を行うなどの配慮	
いま	ます。しかし、利	用者調査においては入園時の説明はわかりやすかったと支持する意見が7割強にとどまるとともに、「入園	初日の基本
		クづらい」等の意見も寄せられており、 今後、 さらに多くの保護者からわかりやすいと感じられるように説明等 *	を工夫してい
	とが望まれます	·	
1		どもへの影響を考えた保育を実施	
初め	かての園生活を	を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、小グループでの保育を行うと	ともに、職員
		享⟨して、子ども一人ひとりの入園前の状況を踏まえた柔軟な保育が行えるよう対応しています。また、保育  育を行う「なれ保育」を可能であれば実施しており、子どもが園や担当保育士になれ、無理な⟨園生活をお⟨	
		目を行う。なれ床肓」を可能であれば美施してあり、すともか園や担ヨ床肓工になれ、無理なく園主活をあくる 者が安心して園に預けていただけるよう努めています。	2 C C W. C C ≥
0	/ ON IC   PINHSE		

	サブカテゴリー3	
固別状況に応じた	計画策定·記録	
評価項目1 必要に応じて、定 面ごとに明示して	められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 いる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該計
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該
A+の取り組み	○ あり ● なし	•
	どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計	
画を作成している	<b>評</b> 点( A	)
評価	標準項目	_
◉ あり ○ なし		○非該
◉ あり ○ なし	2. 計画を保護者にわかりやす〈説明し、同意を得るようにしている	○非該
● あり ○ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該
● あり ○ なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該
A+の取り組み	೦ ಹ೮ 🌘 ಭ∪	
平価項目3 必要に応じて、子	どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	
	<b>評</b> 点( A	)
評価	標準項目	
◉ あり ○ なし		○非該
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該
A+の取り組み	○ あり ● なし	

•	A	
	評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	ļ
I		)
ŀ		
ŀ	評価 標準項目 1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	
Ì		¬++* ¼
1		○非該当
1	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<u> </u>
1	● あり ○ なし	○非該当
Ì		
1	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	
Ī		
1		
1		
1		
+	サブカテゴリー3の講評	
4	The state of the s	
	保育に関する計画については3段階で作成	
	保育に関する計画については、クラスごとに年間及び月の指導計画・週ごとの計画(週案)の大きく3段階の計画があり、それ	ぞれの計画
	は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々	
	状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行れ す。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月のクラスだよりでそれぞれ伝えられています。	つれていま
	り。なの、休暖日に対しては、午间中間は休暖日本で、万木はサワジノンスにあってで1via/につ1vでvia)。 I	
	- 子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録	
		·
	子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この  は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分	
1	は、杉亚区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子ともに関する事項が記入しやすいよっ項目分に  す。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成・	またついて保
	9。また、次年度の新味自角率の施行に向けて、「光量宗」の様式の改定について区主体で取り組んであり、より子ともの成っ   護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われております。	及にフィー
1		
1	口頭と記録をセットにした情報の伝達や共有	
	口頭と記録をピケドにひた   〒秋の   広座 で天      各クラスでの情報共有は月の指導計画や保育日誌、職員会議を通じて行われているとともに、日々の情報共有については、	年ロのミー
	各クラ人での情報共有は月の指導計画や保育日誌、職員会議を通して行われているとともに、日々の情報共有については、  ティングのほか朝夕保育表やクラスの朝夕ノート、延長保育日誌を通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することに	
	ディングのはか朝夕  休育表  やプラスの朝夕アート、延長  休育日誌を通じて行われてあり、口頭と記録のビットで伝達することに 発生しないよう配慮されています。また、朝夕パートなどの非常勤職員との情報共有については、必要な情報については口頭	
	もに、仕事を依頼する際は理由も同時に伝え、制約がある中での最大限の配慮を行っています。	( ) ( ) ( )
4		
<u> </u>	サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
ļ		
	評価項目1	
Ī	子どものプライバシー保護を徹底している 知点( 人	•
Ī	PA(A)	)
Ì	評価標準項目	
Ī	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにし	
ı	● あり ○ なし ている	○非該当
ŀ		— ¬ı н
ı	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	1
	● あり ○ なし	○非該当
Ī	【A+の取り組み】 ○ あり <b>●</b> なし	
	「A+の取り組み」	
Ī	<u></u>	
ı		
Ī		
Ì		

が価値口で		
評価項目2 サービスの実施に	こあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している <b>評点( A</b>	)
±π/ <b>म</b>	標準項目	
評価	<u> </u>	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	○非該当
● あり ○ なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり	
	サブカテゴリー5の講評	
保護者の同意	を経て子どもに関する情報を提供	
に伝えるため、日 なるため必ず保護	報については、子ども一人ひとりの状況に応じた保育を行うため、また、子どもたちの成長した姿や園でのは、全記録を行い、蓄積していますが、これらの記録を外部に提供する必要がある場合は、目的外に情報を使 、全記録を行い、蓄積していますが、これらの記録を外部に提供する必要がある場合は、目的外に情報を使 に対しているできました。 はが協力を行うなどこの考え方をしっかりと実践している姿も確認できました。	用することと
園では、プールの	や排泄時等におけるプライバシーへの配慮 着替えは屋内で行い、シャワーやプール遊びを行う際も外からの視線をさえぎる目隠しを設けるなどの配慮 においても、「おむつ交換コーナー」を設け、おむつ交換時は必ずここで行うなど、子どものプライバシーにi	
園では、毎月行わ ル」として職員がE 切に行っているか	通じて行われる振りかえりの実施 れる指導計画の検討の際、日ごろの保育中の子どもや職員の姿を事例を通して検討しているとともに、「係 日ごろから心がけるべき基本的な姿勢を取りまとめ、文章として明示するなど、子どもに対する接し方や言葉 を振りかえり、よりよい対応につなげていく取り組みを行っています。この成果は利用者調査において8割を もは大切にされている」と肯定的に捉える回答が寄せられており、着実に成果に結びついている活動と評価	ミ遣い等が適 :大き⟨越える
	サブカテゴリー6	
事業所業務の標準	<b>準化</b>	
評価項目1 手引書等を整備し	、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
● あり ○ なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	○非該当
● あり ○ なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	○非該当
● あり ○ なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし	

が(無)古口り			
評価項目2	めざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		
9 CX000112	<b>評点</b> (	Α	)
			<u>,                                      </u>
評価	標準項目		
	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		
● あり ○ なし			○ 非該当
	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や扱	皇案、子	
● あり ○ なし	どもの様子を反映するようにしている		○非該当
	  3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り終	1/ 7/1	0 11 12 1
_	3. 職員一人のとリルエス・以告したサービス事例などでもとに、基本事項で子順寺の以告に取り組 る	1/0 ((1)	O 11 41 111
● あり ○ なし			○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし		
「ハ・ロン4人・ハルロン・」	<u> </u>		
評価項目3			
	みにより、業務の一定水準を確保している		
COV COV OVER STATE	<b>評点</b> (	Α	)
評価	標準項目	<u> </u>	
	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るよいる	うにして	
● あり ○ なし	¢ । ର		○ 非該当
	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		
● あり ○ なし			○非該当
	o IMP 스모션 그냥 o CO 스바드파트 Late Verta Late Le		O 4FIX I
_	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		
● あり ○ なし			〇 非該当
	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		
● あり ○ なし			○非該当
	こ 吹号は もんともいっしがけるも吹に 七道老歩と非空にわざし いってぶはていて		0 11 #2 =
	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		
● あり ○ なし			○非該当
【A+の取り組み】			
「A+リン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	サブカテゴリー6の講評		
園の基本的な人	ルールや各種対応方法を定めたマニュアル		
園の基本的なルー	- ルや事件・事故等に対する対応方法などについては、区で作成した「危機管理マニュアル」に取り	まとめら	れているとと
もに「危機管理マ	ニュアル」では不十分な領域については園の実情にあわせた園独自の「マニュアル」を作成していま	ξす。こσ	フマニュアル
	「の振りかえりに活用されるとともに、内容の見直しについては、年間反省や半期反省などの際の定	関的な	もののほか、
必要に応じて随時	改定も行われています。直近では「園外保育の手順」についてその内容が見直しされました。		
マニュアルを日	々の保育で活用		
	要なときにすぐに参照できてこそ作成した意味がありますが、園では事務室において「マニュアル集		
	児を受け渡す場所には「検温の方法」を貼り出す、延長保育日誌には、ケアが必要な子どもの名簿	と対応が	方法を掲載す
るなと、マニュアル	レが必要とされる場面・場所に応じてすぐに参照できるよう工夫しています。		
1			
I			

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

	<u> </u>		PQ日(カノコツ V-T)	
	評価項目			
1	1 2 007:	元ほでに		)
	評	価	標準項目	
	н	<u> </u>	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	
	● あり	○なし		○非該当
			2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	
	⊚ あり	○なし		○非該当
			3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	
	⊚ あり	○なし		○非該当
			4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	
	● あり	○なし		○非該当
	(a) ± 15		5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	
	● あり	○なし		○非該当
	【A+の取	り組み】	○ あり ・	
			評価項目1の講評	

## 恵まれた周辺環境の中で展開される充実した戸外遊び

園では、恵まれた周辺環境を生かし、散歩など戸外で行う活動を充実させています。地域の方からいただいた竹を使って製作したおもちゃ (竹ぽっくり等)や丸太をスライスしただけの遊具など自然のものを上手に利用して展開される遊び、区民農園を利用した野菜作り、製作活動の際に使う松ぽっくりやどんぐり、枯れ枝や枯葉を採集に出かける、時にはお弁当やおやつを持ってお出かけする「お弁当持ち散歩」「おやつ持ち散歩」なども行われており、子どもたちが様々な刺激を受けるとともに、楽しい気持ちで活動を行えるよう、様々な工夫が施されています。

# 自主的、自発的な遊びを引き出す様々な配慮

園では、子どもたち一人ひとりが遊びに対して積極的に取り組めるよう、年齢に応じた様々なおもちゃを用意するとともに、外遊び等で空いているクラスやホールも有効に使いながら、遊びこめる環境づくりを行っています。また、積み木遊び等で遊びこんでいる際に、クラスの活動のために中断しなければならない場合などは、積み木で製作中の作品をそのままにして、また遊びを再開できるよう配慮するなど、子どもが自分の好きな活動を継続的に行えることを大事に考えて園の遊びのルールが定められています。

## 関係機関と連携した保育への取り組み

障害や特別な配慮が必要な子どもを保育する際は、区の制度として定期的に専門家による巡回相談を受けることができる制度が用意されており、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を保育士が専門家から直接学ぶことができる機会が保障されています。こうした巡回相談で得られた情報や対応方法については、職員間で伝え合うことによって、共有されており、組織としてより充実した保育を行っていきたいとする姿勢が強く感じられます。

評価 <b>●</b> あり ○ なし	標準項目							
●あり ○なし	1.メニューや味付けなどに工夫を凝らしている							
● あり ○ なし								
		○非該当						
(a) ±11 ( ) ±1		○ 4⊦±±±¥						
● あり ○ なし		○非該当						
	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している							
● あり ○ なし		○非該当						
		9 11 #21.						
	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている							
● あり ○ なし		○ 非該当						
	  5. [0歳児を受け入れている保育所のみ]							
● あり ○ なし	乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当						
<b>9</b> 80 0 12 0								
【A+の取り組み	● あり ○ なし							
園では、「食」につ	いて考え、学ぶことを大切に考えており、年長児では、区民農園にてサツマイモの栽培・収穫と調理体験()	焼き芋など)を						
	『に合わせてクッキーを作ったり、おにぎり作りを体験するなど、栽培から調理に至る食事ができるまでの一							
	とができるプログラムを用意しています。また、調理師の協力の下、園庭で栽培した野菜や庭木の実(プル							
穫し良へたり、給 価できます。	食を食べる前に保育士がその日の食材についてお話しする等、職種を越えて協力しながら食育に取り組ん	でいる点は計						
一世でさまり。								
	評価項目2の講評							
◆事がし!2 F								
食事かより一点	<b>国楽し〈なる環境配慮</b>							
	)行事の際には、会食形式で食事を行うほか、誕生日当日には、ランチマットやランチ皿を使用する、雪のE							
	フ」にして提供する、また、散歩の際にお弁当やおやつを持って出かける「お弁当持ち散歩」や「おやつ持ち。							
	日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た目を変えて、より一層食事を楽しむことが	できるよう工						
夫されています。								
個別に対応した	こ食事を提供							
	個別に対応した食事を提供。ストル・奈特別の配慮が必要が得るからは、保護者が栄養力、保育力との思ってよったがある。ストルギニュス							
アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って  個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の同								
個々の内谷に心しに良事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と1   でクロスチェックをかけるなど、間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。								
ピソロステェックをかけるなと、同遅いか悪いよう、惊々な上大が <i>凝</i> りされています。 								
食事がしやすり	1理培の数件							
食事の際に子ど	たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて	は既製品を						
	、0歳児クラスでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ							
	こ合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやす	「い姿勢で食						
事ができるよう配	<b>恵されていまり。</b>							
±= /= -=								
評価項目3								
子ともか心身の物 	健康を回復·維持するための支援を行っている <b>評点( A</b>	1						
	評点( A	)						
評価	標準項目							
н і іщ	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している							
@ + # O		O = 15+5-14						
● あり   ○ なし		○非該当						
	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある							
(A) + 12 (A) + 1		○						
● あり ○ なし		○非該当						
	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している							
● あり ○ なし		○非該当						
	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている							
		○非該当						
(●)あり ()なし		0 11 #21						
● あり ○ なし	【A+の取り組み】							
	○ あり ・ ● なし							
● あり ○ なし 【A+の取り組み	○ あり							
	○ あり							
	○ あり							
	<b>○ あり ● なし</b>							

#### 評価項目3の講評

## 子どもの健康状態のきめ細かな把握

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況を確認しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は週1回、以後は年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いた対応等を行っています。

## 感染症予防の取り組み

感染症予防に関しては、感染症が流行する時期には、園内掲示をして注意を喚起するなどの活動が行われています。また、感染症の発生時には、嘔吐などにすぐに対応できるよう決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。なお、感染症が実際に発生した場合は該当クラスだけではな〈他クラスも含め注意喚起の掲示を行い、感染の拡大が起こらないよう取り組まれています。

鲆	풰	陌	Ш	4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

**評点( A )** 

評価		標準項目				
		1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)				
● あり	○なし		○非該当			
		2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている				
● あり	○なし		○非該当			
		3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている				
● あり	○なし		○非該当			

【A+の取り組み】

○ あり ● なし

#### 評価項目4の講評

#### |年齢別で配慮された環境設定

0・1歳児クラスについては、窓の位置が低く、子どもたちでも外が見えるようになっており、1歳児クラスでは、出入りの業者との挨拶を楽しみにしているなど、室内にいながら外部との交流を楽しめるようになっています。また、室内にはキルティングの手作り壁掛けなど、手作りで温かみのあるおもちゃなどが配置されており、柔らかな雰囲気が漂うクラスで落ち着いて活動ができるよう配慮されています。また、2歳児以上のクラスでは、製作活動や絵画活動で作成した作品が展示されており、日々の活動の成果を保護者も共有できるよう配慮されています。

## 子どもたちが園生活を楽しめるよう取り組む行事や交流

誕生日は、誕生日当日にクラスでお祝いを行う形式となっており、誕生日であることを示すリボンをつけ、食事もランチマットにランチ皿で食べるなど子ども一人ひとりが特別な気持ちになれるよう配慮しています。また、行事については、七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、保護者参加行事である運動会や夏祭り、発達センターの子どもたちとの交流(障害児との交流)やゆうゆう館との交流などを行い、子どもたちが保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。

# 子どもたち一人ひとりの生活リズムを大事にした睡眠

延長保育を行っている本園では、長時間お預かりしている子どももいるため、個々の生活リズムをより大切に考え、お昼寝についても特に 配慮をしています。0歳児クラスでは、子ども一人ひとりのリズムに合わせ眠いときには寝かせるとともに、1歳児クラスでは必要な子ども には午前睡もとるなど配慮しています。また、その他のクラスでもお昼寝は長時間保育の中での休息の時間と捉え、食事が終わったらすぐ に睡眠が取れるよう布団をあらかじめ敷いておくなど、ぐっすりと休めるよう配慮しています。

評価項目5 保育所と家庭との 5	D交流·連携を緊密に行っている <b>評点</b> ( <b>人</b>	)
評価	標準項目	
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある	○非該当
● あり ○ なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている 	○非該当
【A+の取り組み	○ あり ● なし	
	評価項目5の講評	
保護者に対すするに 者に対すするに 者にが、ないで う 事 等ががでいて で の が を で が して で が り で が い で が い で が い で が い で が い で が い い で が い で が い で が い い で が い い い で が い が ま で が い が ま が が が が が が が が が が が が が が が が	る主な行事については、運動会は土曜日開催、夏祭りは平日夕方開催、卒園式は保護者の予定を考慮して、運動会は近隣の保育園や小学校などと開催日が重ならないように情報収集してから決定するなど、配慮護者会については、平日に開催されています。利用者調査では、肯定的な意見が7割を切っており、高い支。・平日等の参加しにくい日程であっても園にきて良かったと感じられるような設定について検討するなど、今	護者の方が 章と合わせ 調整し決決定 しながらけるに 持をの取り組 ており、職員
 評価	標準項目	
<ul><li>●あり ○なし</li></ul>	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	〇非該当
●あり ○なし		○非該当
● あり ○ なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み	] ○ あり ● なし	

評価項目6の講評				
区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援				
虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援セ 児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の どが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。				
研修内容の職員間での情報共有と園全体の対応能力の底上げ 該当するケースがない場合でも区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力のとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされません。とれています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待され	れるよう取り			
評価項目7  地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	)			
評価標準項目				
1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当			
<ul><li>② あり ○ なし</li><li>② あり ○ なし</li><li>② あり ○ なし</li><li>② あり ○ なし</li><li>② あり ○ なし</li></ul>	○非該当			
【A+の取り組み】 ○ あり <b>●</b> なし				
評価項目7の講評				
保護者の希望する地域情報の提供 杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。	頼があった場			
豊かな経験をもたらす地域の様々な人たちとの交流	击 国应阻抗			
地域との交流は、中学生の職場体験などの受け入れや実習生などのほか、地域の方も参加できる運動会や夏祭りなどの行やふれあい保育に参加する親子との交流、発達センターとの交流、ゆうゆう館との世代間交流など、様々な年代の方々とのに行われています。しかしながら、園庭開放やふれあい保育等に気軽に参加してくれる親子が少ないため、園が地域の子育して地域に根ざしているとまではいえない状況であると園では考えています。今後の園の取り組みが期待されます。	交流が意欲的			

	特に良い	1と思う点
	タイトル	家庭と園でともに子育てを進める姿勢
1	内容	「保護者と連携して子育てを進めていく」ことを今年度の業務改善の最上位に掲げています。 幼児クラスの保育計画は保育士の想いを綴って毎月のクラスだよりに掲載し、遊びの場面が多くなりがちだった乳児クラスの写真は生活の様子も取り入れるなど、子どもの興味や関心をより細かく伝え、多くの情報を共有するよう努めることで、家庭での会話を広げる効果ももたらしています。また、園内にある職員の顔写真掲示や園の協力のもと父母会が作成・配布する職員の顔写真入りおたよりは、利用者が園をより身近に感じる一助となっていることがうかがえます。
	タイトル	恵まれた周辺環境の中で展開される充実した戸外遊び
2	内容	園では、恵まれた周辺環境を生かし、散歩など戸外で行う活動を充実させています。地域の方からいただいた 竹を使って製作したおもちゃ(竹ぽっくり等)や丸太をスライスしただけの遊具など自然のものを上手に利用して 展開される遊び、区民農園を利用した野菜作り、製作活動の際に使う松ぽっくりやどんぐり、枯れ枝や枯葉を採 集に出かける、時にはお弁当やおやつを持ってお出かけする「お弁当持ち散歩」「おやつ持ち散歩」なども行わ れており、子どもたちが様々な刺激を受けるとともに、楽しい気持ちで活動を行えるよう、様々な工夫が施されて います。
	タイトル	「仲間に伝える」「みんなで考える」ことを大事にする姿勢
3	内容	職員がみなで考えて伝え合うチームワークの大切さを再認識しています。今年度の業務改善点のひとつに「異職種の業務内容を知る」を掲げ、各職種(保育士・栄養士・看護師など)がお互いにより理解し合うことで円滑な運営に取り組んできました。 また、職員室には議題予定ノートを設置し、議事を思いついた職員はいつでも提案・発表したいことを記入できる 仕組みがあります。日ごろの気づきや工夫の輪を広げ、互いが学びあう機会を逃さない重要なものといえます。 情報を伝え合う、意見を出し合うことを意識的に取り組む姿が評価できます。
	さらなる	改善が望まれる点
	タイトル	地域の親子との一歩進んだ関係づくり
1	内容	地域の親子に向けて"あそびにきませんか?!"のパンフレットを用意し、園庭開放やふれあい保育、毎月の身体測定や育児相談を実施しています。遊びに来た子どもには、測定結果を記録できるカードを用意するなど、親子がまた来園したくなるような雰囲気づくりに努めるとともに、家庭ではできない体験の提供を心がけています。現在は希望者を受け入れるにとどまりますが、園では地域の親子が保育園に何を望んでいるかを改めて探る必要性を感じていることからも、一歩進んだ関わり方の実践に期待が寄せられます。
	タイトル	行事等の日程への配慮
2	内容	保護者が参加する主な行事のうち、保護者会については、平日に開催されており、このことが、利用者調査において、行事日程について肯定的な意見が7割を切る結果につながっている主な要因となっていることが予想されます。すべての行事を土日に開催することは大変難しいことを考慮すれば、平日等の参加しにくい日程であっても園にきて良かったと感じられるような設定について保護者の意見を踏まえて検討するなど、保護者を巻き込んだより踏み込んだ検討が期待されます。
	タイトル	危機管理意識と迅速な対応
3	内容	安全について、マニュアル完備や各種訓練とあわせ、事故等が起きた場合のその重要度に応じた園や区の対策を保護者に明示しています。説明責任を果たし、保護者の不安軽減に努める危機管理の姿勢がうかがえます。 また、子どもの安全を最優先とし、例えば園舎内で頭をぶつけた子がいればその日のうちに緩衝材を設置したり、落ちても針がささらない形状の画鋲に取り替える、散歩時の安全対策グッズには独自に使いやすさを付加する、などの実績もあります。継続した取り組みにより、園の安全対策への利用者の認知がさらに高まることが期待されます。

# 今川保育園

#### [利用者調査:認可保育所]

(事業所名: 杉並区立今川保育園)

調查対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯78世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

調査方法

利用者総数78共通評価項目による調査対象者数78共通評価項目による調査の有効回答者数54利用者総数に対する回答者割合(%)69.2

# 利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を大きく超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が92.6%)。個別にみると、「提供される食事への配慮」、「体調変化への対応」、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が約9割を占める他、「戸外遊びの機会」、「職員の聞〈姿勢」、「職員は礼儀正し〈丁寧」などについても肯定的な回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。 一方、「安全対策」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「行事日程の設定」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

# 利用者調査結果

用者調宜結果					
共通評価項目		実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当	
1.提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	49	5	0	0	
食事やおやつへの満足度は高く、概ね肯定的な回答が寄せられています。また、補食に対れしい)や自分で食べるように挑戦させている点がよいなど、食事に対する姿勢について記				ることがう	
2.保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	44	5	5	0	
肯定的な回答は8割ほどで、年齢別でみると特に3歳以上の子どもを持つ保護者の方が満足率が低い傾向が見られます。自由意見では、公園や園庭での遊びについては、概ね満足する意見が多くみられますが、もっと外遊びをさせて欲しいという、意見も多い状況です。					
3.保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	37	9	3	5	
肯定的な回答は約7割ほどで、延長利用(スポット保育)が利用しやすいという意見が多く身ら電話がつながりづらい等の意見も見受けられます。	られます。	また、それ	以外では、	少数なが	

4.子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	51	2	1	0
肯定的な回答は9割を超え、満足する人が多い項目です。保護者へ連絡をとるタイミングに様々な意見があげられています。また薬を与えて〈れるので助かるという意見も寄せられて		早い「人に	こよって異な	<b>ぱる」など</b>
5.安全対策が十分取られていると思うか	32	17	3	2
肯定的な回答は約6割にとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。ただし、 ている安全対策が保護者に十分伝わっていないことが要因のひとつとも考えられます。子出入り、園近くの公園に関することなどについて、様々な意見が寄せられています。	否定的な[ ども同士で	回答は少なの怪我に対	いことから するご意見	、園で行っ 見や人の
6.行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	29	18	7	0
肯定的な回答は5割ほどです。平日開催の懇談会に関する不満が大多数を占めているが、 する不満も挙げられています。	乳児クラス	スの運動会	参加がない	ことに対
7.子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	11	0	0
肯定的な回答は約8割です。自由回答では、相談のしやすさを評価するもの、機会自体がになり連絡帳がなくなり相談しづらくなったという意見も挙げられています。	ないというも	らのなど様々	マですが、ダ	幼児クラス
8.保護者の考えを聞〈姿勢があるか	44	9	0	1
肯定的な回答は約8割ほどで、否定的な回答もなく、多くの保護者から支持を受けている項い、相談しにくい、相談してもいい回答がかえってこない、今後相談したい等様々な意見が	目といえま 寄せられて	す。自由回 います。	答では、村	目談しやす
9.サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	41	7	2	4
肯定的な意見は8割弱ですが、少数ながら0~2歳児の保護者から否定的な回答もみられあるという意見が複数寄せられています。	ます。自由	回答では、	配慮に欠け	けることが
10.一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	50	3	0	1
肯定的な回答は9割を超え、否定的な回答もなく、ほとんどの保護者から支持を受けている切にされているという肯定的な意見のほか、少数ながら朝の出迎えがほとんどないとの否定	項目といえ     定的なコメ	ます。また ントも寄せら	、自由回答	ぎでは、大 す。

11.職員の対応は丁寧か	48	5	1	0
肯定的な回答は約9割で、否定的な回答もほとんどなく、多くの保護者から支持を受けてい パート職員の対応について否定的な意見が複数寄せられています。	る項目とい	「えます。た 	だし、自由I	回答では、
12.要望や不満を事業所に言いやすいか	28	20	4	2
肯定的な回答は5割強にとどまり、言いやすいとは感じていない保護者も一部みられます。 問なので、寄せられた意見の中には「言う必要がない」なども多くみられ、回答方法に苦慮の中には、「言える要望と言えない不満がある」等の不満は言いづらいとの意見や言ってもられています。	した姿も垣	間見られま	す。なお、 <b>E</b>	自由意見
13.利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	36	16	0	2
肯定的な回答は7割弱にとどまっています。ただし、否定的な回答はなく、わからないとのF様、回答しづらかった方も多い設問であったと想定されます。	自由意見も	寄せられて	いることか	ら、前問同
14.第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	16	4	32	2
知らない人が多勢で、全体の6割を占めています。また、0~2歳児の保護者のほうが約2ます。ポスター等が園内や公共施設に掲示してあるにもかかわらず、関心を持って見られす。				
15.【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	10	0	0	1
1年以内に利用を開始した11人中10人から肯定的な回答を得ているとともに、否定的な回行から支持されていることがうかがえます。	意由自め茗	見もないこ	.とから多く(	の保護者

(事業所名: 杉並区立今川保育園)

組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7、8)

		共通評価項目	
		カテゴリー1	
	リーダーシップと意	意思決定	
		サブカテゴリー1	
	事業所が目指して	こいることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1		
	事業所か日指し(	ていること(理念、基本方針)を明確化・周知している <b>評点( A</b>	)
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	○非該当
	<b>*</b> + 12	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<b>○ 45++1/</b>
	● あり ○ なし		○非該当
	● あり ○ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	● あり ○ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を 思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	○非該当
	【A+の取り組み】		
	評価項目2 経営層(運営管理	型者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
			)
	評価	標準項目	
	_	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	_
	● あり ○ なし		○非該当
	0 + n	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	O - 315-44-14
	● あり ○ なし		○非該当
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	
ı			

評価項目3 重要な案件につい 係者に周知してい	1て、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関 いる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み		
	カテゴリー1の講評	

# 園の目指しているもの(保育目標等)は周知されています

園の保育目標は、区の保育園紹介のホームページや入園時に保護者に配付される「園のしおり」に掲載しているほか、事務所への掲示、 各クラスに配付されているマニュアル集などを通じて、職員や保護者がいつでも確認できるようになっています。また、区では新保育指針 施行に向けたプロジェクトの中で杉並区区立保育園全体の保育目標について現在検討しており、来年度、これを受けて園の保育目標に ついても再検討する予定となっています。

## 経営層(園長・主査)は、自らの役割と責任に基づいて行動しています

園長や主任の役割と責任は、区のマニュアルに規定されているほか、年度の事務分担表に全職員の役割分担を記載しています。園長は、園の総括を行う中で、園長・主査や一般の保育士、看護師、調理員等、役職や職種間に垣根を作らず、自由に意見を言いやすい雰囲気作りを心がけ、職員間のチームワークが最大限に発揮される環境を整えることを大切にしています。また、地域に向けた活動については、経営層が中心となって行っており、園の対外的なアピール役として活躍しています。

## 各種定例会議により、意思決定過程が明確になっています

園での最高意思決定会議である職員会議を頂点として、クラスリーダー会議や各種行事の会議等の目的に合わせた様々な会議が設定されており、目的別の会議で話し合われた重要な内容については、最終的に職員会議に報告され、承認されるというスタイルが浸透してます。また、保護者に対する重要事項の伝達については、年2回の保護者会で説明を行っているほか、随時お知らせを配付して伝えています。

]責任		
サブカテゴリー1		
スに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
<b>評点</b> (	Α	)
		○非該
全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでに	13	
		○非該
		•
	Δ	)
) mx i p		,
標準項目 標準項目 (第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	7114 <sup>[]</sup> ,	
	り組ん	٠٠ . د د
		○非該
・透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会・ に関する情報を開示している	に事業	
		○非該
○ あり ● なし		
○ あり ● なし		
<b>○</b> あり <b>◎</b> なし		<u> </u>
○ あり		1
<b>○</b> あり <b>●</b> なし		1
サブカテゴリー2		
サブカテゴリー2		
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている 止の専門性をいかした取り組みがある		
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている	A	)
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている 止の専門性をいかした取り組みがある <b>評点</b> (	A	)
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある <b>評点(</b> 標準項目  東業版の機能や東門性は、利用者に支際のなり範囲で地域の人に漫元している(施設・供品)		)
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある <b>評点(</b> 標準項目  東業版の機能や東門性は、利用者に支際のなり範囲で地域の人に漫元している(施設・供品)		<u> </u>
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある  評点( 標準項目 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品領人)	等の開	○非該
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある <b>評点(</b> 標準項目  東業版の機能や東門性は、利用者に支際のなり範囲で地域の人に漫元している(施設・供品)	等の開	○非該
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある  評点( 標準項目 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等は、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の	等の開	○非該
サブカテゴリー2 D取り組みを行っている  此の専門性をいかした取り組みがある  評点( 標準項目 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等は、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の	等の開	○非該
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  ##項目  事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等)、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の)  「派遣など」を行っている	等の開	○非該
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  ##項目  事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等)、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の)  「派遣など」を行っている	等の開	○非該
サブカテゴリー2  D取り組みを行っている  ##項目  事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等)、個別相談など)  地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の)  「派遣など」を行っている	等の開	○非該
	標準項目 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでい  ○ あり ⑥ なし  ○ あり ⑥ なし  評点( 標準項目 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取りにいる	ス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる    探集項目

評価項目2				
	入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	評点(	Α	,
		) 从行	А	)
評価	標準項目			
	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
● あり ○ なし				○非該当
	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
● あり ○ なし				○非該当
	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
ᆇᇎᄺᇎᇎᇛᇰ				
評価項目3				
評価項目3 地域の関係機関の	との連携を図っている	超占(	Λ	١
評価項目3 地域の関係機関の		評点(	Α	)
評価項目3 地域の関係機関の 評価	標準項目	評点(	Α	)
地域の関係機関の 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	評点(	A	T
地域の関係機関と	標準項目 1.地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	)
地域の関係機関の 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		A	T
地域の関係機関の 評価	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		Α	T
地域の関係機関の評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関の 評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関の 評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関の 評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当
地域の関係機関の 評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えてい		A	○非該当

# 遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

全職員が所持する公務員倫理に関するハンドブックには、子どもの人権尊重や個人情報保護をはじめ、福祉サービス従事者として守るべきことが明示されています。また、平成21年度から施行される新保育所保育指針の検討は、倫理法令等の遵守について再確認する機会にもなっています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配付文書は、園内で回覧したり、打ち合わせで周知を行っています。

# 園庭開放や保育所体験を実施し、園の機能や専門性を地域に還元しています

園庭開放・身体測定を毎月実施しているほか、地域の親子の保育所体験(ふれあい保育)や中学生の体験学習を受け入れ、来園者から の育児相談にも都度対応するなど、園の機能や専門性を地域に還元しています。特に身体測定やふれあい保育については、来園者一人 ひとりに個別のカード作成し配付するなど、1回限りの利用で終わらせず継続的に園に足を運ぶようなきっかけとなるような配慮も行われ ています。また、子育てサポートセンターが併設されていることから、こちらとの交流も頻繁に行われております。

## 小学校地域の子育てネットワークに参画しています

小学校地域の子どもに関わる施設・関係者(児童館、小学校、保育園、民生委員等)で組織された地域子育てネットワークに参画し、行事等への協力等を行っています。この地域との連携や交流に関しては、現在、経営層が主に行い、一般の保育士等はあまり関わっていない状況ですが、職員自己評価結果では、経営層・一般保育士の双方から職員全体が関わっていくべきである、という意見が多数寄せられており、園全体で今後の課題であるという認識ができています。

	カテゴリー3	
利用者意向や地域	或·事業環境の把握と活用	
	サプカテゴリー1	
利用者意向や地域	或·事業環境に関する情報を収集·活用している	
評価項目1 利用者一人ひとり 解決制度を含む)	の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情 <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	•
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目2		
	的·分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		
評価項目3		
	関する情報を収集し、状況を把握・分析している <b>評点( A</b>	)
評価	標準項目  1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし		○非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】	<b>○ あり                                   </b>	

## カテゴリー3の講評

# 保護者一人ひとりの意向を把握し、解決を図っています

苦情や意見、要望の把握については、現状、ノートや保育士との会話、保護者会を通じた要望、区への投書(メール)等、多様な手段を用いて行われています。ここで把握した内容については、朝のミーティング等を通じて全職員に周知し、内容を確認するとともに園長を中心としてに園全体で検討し、ケースに応じて区の担当課に相談して対応しています。

# 苦情解決制度を設けており、第三者に相談できる体制を整えています

区の保健福祉サービス全般を対象に行われている「保健福祉サービス苦情調整委員制度」については、定期的にその概要と委員の氏名を記載したポスターを掲示して、利用者に周知を行っています。 しかし、利用者調査では制度についての認知している保護者は3割に満たないことから、引き続きの周知活動が必要といえます。

#### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワークの連絡協議会や区立保育園の園長会、外部研修等への参加によ り収集・把握しています。 園では専門誌の定期購入は行っていませんが、区の保健福祉計画等の資料や通知を掲示、回覧するなどして、 職員への情報の周知を図っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていま すが、今後、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

計画の策	定と着す	<b>ミな実行</b>	
		++ ¬+ = ¬11 4	
≧践的な	課題·計	サブカテゴリー1 画策定に取り組んでいる	
『価項目		Sじた課題·計画を策定している	
( ) MAC ) )		<b>評点</b> ( A	)
評值	西	標準項目	ı
<b>●</b> あり	○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該
9 00 0	<u> </u>	  2. 年度単位の計画を策定している	
● あり	○なし		○非該
		3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
<b>●</b> あり	○なし		○非該
7 4 4 4 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1	り組み	○ あり ● なし	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	)
「価項目 角的な	]2 視点から	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b>	)
硒項目	]2 視点から	ら課題を把握し、計画を策定して <b>い</b> る	<u> </u>
通項目 角的な 評価	]2 視点から	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<u> </u>
価項目 角的な 評価 かあり	32 視点から <u></u> ○ なし	ら課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該
・価項目角的なご 角的なご 評価 ・ あり	∃2 視点か∮ 西	高課題を把握し、計画を策定している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該
平価項目 角的な 評価 ● あり	32 視点から <u></u> ○ なし	を課題を把握し、計画を策定している	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
平価項目 角的な 評価 ● あり	12 視点から のなし	新点( A 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目 角的な 評価 ● あり  ● あり	12 視点から 面 ○ なし	新点( A 標準項目 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
平価項目 角的なる 評価 ● あり ● あり	12 視点から のなし なななし	回ります。	)
呼価項目	12 視点から のなし なななし	回ります。	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
『価項目 角的な 評価 ● あり ● あり	12 視点から のなし なななし	回ります。	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該

評価項目3		
	テに取り組んでいる	
	評点( A	)
評価	横淮□□	
青十1川	標準項目 1.計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
● あり ○ なし	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	○非該当
	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例·失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	<b>O</b>
● あり ○ なし	074X 7 MED ( C 0 1 0	○非該当
	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	
● あり ○ なし		○非該当
	▲ 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで	
● あり ○ なし	113	○非該当
		○ 1F#X⊐
【A+の取り組み】	○ あり ・	
	サブカテゴリー2	
利用者の安全の研	確保·向上に計画的に取り組んでいる	
÷= /= -=		
評価項目1	確保・向上に計画的に取り組んでいる	
が、一角の女主のは		)
		<u> </u>
評価	標準項目	
	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	
● あり ○ なし		○非該当
	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	
● あり ○ なし		○非該当
	  3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わってい	
(A ± 1) (A ± 1)		○非該当
● あり ○ なし		○非該ヨ
【A+の取り組み】	○あり ●なし	
【A+の取り組み】	○ あり : ● なし	
【A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし	
【A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし	
【A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし	
【A+の取り組み】	<b>○</b> あり <b>●</b> なし	
[A+の取り組み]	<b>○ あり</b> ● なし カテゴリー4の講評	

### チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます

区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションブランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジブランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。今後は、さらにわかりやすい目標や指標を設定するなど、職員が身近に感じられるよう運用されることが期待されます。

#### 各種の年間計画や行事計画を作成し、計画的に園運営を進めています

園では、年度の役割分担等を取りまとめた「事務分担表」「職員係分担」や、保護者会・個人面談予定、避難訓練、防犯訓練の予定等を記載した個別の「年間計画」を作成しているほか、行事や外出等の短期の活動についても、プログラムや配置、準備物を記載した「行事計画書」、散歩についても「保育園散歩計画」を作成しています。これらは、年間・期の反省を行う打ち合わせ等の中で検討を重ねて作成しており、現場の意向や保護者の意向を踏まえて、計画的に園運営を進めていることが理解できます。

# 子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいます

子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルに基づき、定期的に安全点検を実施しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に実施しています。防犯訓練では、警察官を招いて子どもに対する教育等も実施しています。また、事故が発生した場合は、その状況や原因、経過を「事故報告書」に記録し、全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。しかし、利用者調査では安全対策について肯定的な意見は6割弱にとどまることから、保護者も巻き込んだ訓練を企画する等新しい取り組みも必要であると思われます。

		カテゴリー5	
職員と組	織の能力	的向上 	
		サブカテゴリー1	
事業所が	「目指して	ている経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
評価項目 事業所に		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	)
評·	価	標準項目	
RI	<u>ІЩ</u>	15   15   15   15   15   15   15   15	
● あり	○なし		○非該当
		2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	
● あり	○なし		○非該当
		3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	
⊚ ಹ)	○なし		○非該当
【A+の取	以組み	] ○ あり <b>③</b> なし	l
評価項 職員の質		に取り組んでいる <b>評点( A</b>	)
職員の質	の向上	<b>評点</b> ( A	)
	の向上	<b>評点</b> ( <b>A</b> 標準項目	)
職員の質 <u>評</u>	価	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<u> </u>
職員の質	の向上	<b>評点( A</b>	)
職員の質 <u>評</u>	価	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<u> </u>
職員の質評・	<b>価</b> ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○ 非該当
職員の質評・	<b>価</b> ○ なし	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当
職員の質 評・ ● あり	<b>価</b>	<b>評点( A</b> 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○ 非該当
職員の質 評 あり     あり     あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 評・ ● あり	<b>価</b>	#点( A 標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、0」Tや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○ 非該当
職員の質 評 ● あり  ● あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを アデジストでして	○ 非該当 ○ 非該当
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>非該当</li><li>非該当</li><li>非該当</li><li>非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>非該当</li><li>非該当</li><li>非該当</li><li>非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
職員の質 ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり ・ あり	<b>価</b>	標準項目  1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している  2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している  3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている  4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している  5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>

	サブカテゴリー2		
職員一人ひとりと	組織力の発揮に取り組んでいる		
評価項目1 職員一人ひとりの	主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)
評価	標準項目		
● あり ○ なし			○非該当
● あり ○ なし			○非該当
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		○非該当
【A+の取り組み】			
評価項目2 職員のやる気向」	上に取り組んでいる <b>評点</b> (	A	)
職員のやる気向」	<b>評点</b> (		)
職員のやる気向」 評価 ● あり ○ なし	<b>評点(</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材・メントを行っている		) 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり ○ なし  ● あり ○ なし	<b>評点(</b> 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材でメントを行っている  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる		<u> </u>
職員のやる気向」  評価      あり	評点( 標準項目 1.事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で メントを行っている 2.就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3.職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる		○非該当
職員のやる気向」  評価      あり	#点( 標準項目 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で対したでいる 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	#点( 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で対したでいる  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○ 非該当 ○ 非該当
職員のやる気向」  評価  ● あり	#点( 標準項目  1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材で対したでいる  2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる  3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる  4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○ 非該当 ○ 非該当

## 園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、パランスを考慮して園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係分担についても、各職員から希望を出してもらい、クラスや業務負担が偏らないように調整して決定しています。

## 個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が個人面談を行う中で把握しています。特に本園では職員が記入しやすいように独自に作成した自己評価シートを用いることによって、より職員が記入しやすい形にしたことは評価できます。また、研修は、勤務時間中の受講が保障されており、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて受講を進めています。研修受講後は、個人の研修歴カードに実績を記録するとともに、レポートを作成して、園長が確認した上で区に提出しています。

## 職員一人ひとりの経験が組織の経験になるよう取り組んでいます

園では、職員一人ひとりが受講した研修の内容について、研修報告会を設けたり、資料の回覧等を行うことによって、その成果を職員間で 共有できるよう仕組みを整備しています。特に障害指定園である本園では、障害児に対する対応も非常に重要であることから、定期的に 行われる専門家による巡回指導などは、障害児の支援を直接行っている保育士だけではな〈会議の中に取り込んで多〈の職員が参加で きるようにするなど、園全体で共通認識が醸成されるよう工夫しています。なお、今後は現状では手薄になっている園内研修を充実させて い〈ことが望まれます。

	サブカテゴリー1	
報の保護・共有	這に取り組んでいる	
<sup>7</sup> 価項目1 「業所が蓄積して	こいる経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
	評点( A	)
評価	標準項目 1.情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	1
<b>●</b> あり ○ なし		○非該
	  2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	0 11 112
● あり ○ なし		○非該
	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	1
● あり ○ なし		○非該
	] <b>⊙</b> ສປ <b>⊙</b> ຊປ	
A+の取り組み 平価項目2 引人情報は、「個	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	
通項目2		)
· · · · · · · · · · · · · ·	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
福項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1.事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<u> </u>
価項目2 人情報は、「個 評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該
価項目2 人情報は、「個 <u>評価</u>	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <b>評点( A</b> 標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○ 非該
で価項目2  人情報は、「個  評価 ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○非該
☑価項目2  人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
☑価項目2  人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○ 非該 ○ 非該 ○ 非該
☑価項目2  人情報は、「個 評価 ● あり ○ なし ● あり ○ なし	人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	)

## カテゴリー7の講評

# 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に 従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使 いやす〈更新しています。 児童票等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるファイリングキャビネットやロッカーに保管し ています。 電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

# 個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得るより一層の取り組みが望まれます

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類に一部記載は見られますが、園においても、園のしおりに具体的に利用目的を明示したり、写真撮影や他機関への情報提供が必要な場合には保護者から書面で同意を得るなどの取り組みが望まれます。

#### 個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、職員採用時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修 の中で個人情報保護に関する研修も実施されています。園内では、何か問題があった場合に打ち合わせ等で職員に注意を喚起していま す。実習生やボランティアに対しては、個人情報保護等の留意事項を伝えています。個人情報の取り扱いについては、保管場所や掲示の 仕方、写真データの保管方法などに細心の注意を払って対応しています。

	カテゴリー8				
8 カテゴリー	1~7に関する活動成果				
	サブカテゴリー1				
前年度と比	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13			
評価項目					
	較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい 行い成果が上がっている				
・カテゴリー	- 1:「リーダーシップと意思決定」	○ A+	A	Ов	Ос
	- 2 : 「経営における社会的責任」 - 4 : 「計画の策定と着実な実行」	0	0	0 -	
,,, ,					
改善の成	果				
	る地域の方々が着実に増えています				
終わらせる 74名 今 <sup>2</sup>	子を対象とした身体測定やふれあい保育については、来園者一人ひとりに個別のカード作が続続的に園に足を運ぶようなきっかけとなるような配慮を行った結果、特に身体測定を目 手度11月末までで72名)したことは大変評価できます。また、園を訪れる親子が増えたことに 名 今年度10月末までで25名)するなど、相乗効果も生まれています。	的に訪れる	親子が均	曾加(昨:	年度のべ
	サブカテゴリー2				
前年度とと	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
13 1 DC					
評価項目					
	較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい 行い成果が上がっている				
	-5:「職員と組織の能力向上」	<b>⊚</b> A+	Оа	Ов	Ос
-1.11					
改善の成					
区では共道 とから、より 把握しやす	ジプランに独自のアレンジを行うことにより、職員の意欲が高まっています 風の様式による個人のチャレンジプランを作成することとなっていますが、本園では、職員か D回答しやすい独自の自己評価シートを作成しました。これによって、経営層においては職 くなり、また、職員においても、「自分が行っている保育について見直し、向上を図る機会が あげられるなど、経営層にとっては指導しやすく、職員にとっては意欲の向上を導いた取り	員個々の能 ができた」と挑	力向上I 足える意	こ関する 見が職	希望等を 員自己評
	サブカテゴリー3				
前年度とは	どべ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している				
評価項目	1				
前年度(比	較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい				
	行い成果が上がっている -6:「サービス提供のプロセス」		A	Ов	$\cap$
	- 7: 「情報の保護・共有」		<b>●</b> A	ОВ	
7L++ 01					
改善の成		<u> </u>			
これまでは 健・散歩等 項」という-	・た基本事項を「確認事項」という1つの冊子にまとめ利便性を向上させました。 、会議などでその都度個別に検討・確認され、配付されていた園で定めた基本的なルールの各種計画、事務分担表・職員係分担等の各種分担表、アレルギー対応・緊急対応・散步ー冊の冊子にまとめ、各教室に配付しました(従来は事務室のみ)。 これにより、職員の身近ることができるようになり、各種計画の立案や振りかえり、反省、手順確認などが即座にである。	√(保育目標: 毎等の各種で 近なところでも	?ニュア. 各種手川	ル等)を 頁や目標	「確認事

サブカテゴリー4				
事業所の財政等において向上している				
評価項目1				
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている	<b>●</b> A+	ОА	Ов	Ос
改善の成果				
スマートすぎなみ計画に沿った行財政改革を着実に実行しています 区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度 同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています 等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」とい 分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。	。この中で、	区立保	育園の	事業委託
サブカテゴリー5				
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している				
評価項目1				
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	○ A+	<b>●</b> A	Ов	ОС
改善の成果				
地域の苦情や要望等について区役所の他部門からも聴取するようになりました園の近隣には、多くの公園が設置されており、園で行う散歩等の保育活動にも組み込み、積極的に利原っぱ広場」について、園での利用が苦情となって区役所の他部門である公園課に寄せられている利用の方法について見直しを行い、苦情を小さな芽のうちに摘むことができました。園では、これを機情や要望にも注意して情報を集めるよう心がけられています。きっかけは偶然ですが、これを契機とし増やしたことは、評価できます。	ことがわかっ に区役所の	oたことが 他部門/	いら、園で へ寄せら	での公園 れる苦

(事業所名: 杉並区立今川保育園)

# サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

		共通評価項目		
		サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供			
	評価項目1			
	保護者等に対して	:サービスの情報を提供している <b>評点</b> ( <b>人</b>	)	
	評価	標準項目		
	нтич	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている		
	● あり ○ なし		○非該当	
		2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		
	● あり ○ なし		○非該当	
		3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		
	● あり ○ なし		○非該当	
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし		
		サブナニマリ 4の誰が		
		サブカテゴリー1の講評		
		別の状況に応じて対応しています		
		t、次年度の入園申し込みに向けた見学をはじめ、地域の親子を対象とした身体測定やふれあい保育等、: 11月末までで延べ72名の方々を受け入れています(身体測定のみ)。 見学の際は、見学者の時間的な都台		
		11月末までで延べ72名の万々を受け入れています(身体測定のみ)。 見字の際は、見字名の時间的な郁息に応じた時間設定(園児の活動しているところを見たいのであれば午前中がよいです等)を提案するなど、		
		うな配慮も行われています。		
	園の情報は、さ	きまざまな形で提供されています		
		- ひこのでがてたたいていていてい &所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームペ-	-ジは 杉並区	
	区立園共通のフォ	rーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や		
	向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。			

		サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・	終了時の対応	
	는		
	評価項目1 サービスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている	
	2/(3/)3/2		)
	評価	標準項目	
	<u>青半7川</u>		
	●あり ○なし		○非該当
		  2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	
	● あり ○ なし		○非該当
		3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
	● あり ○ なし		○非該当
	74 - A HD 1140 71	1	
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	
	i		
	i		
	評価項目2		
		ひび終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	
			)
	<u>÷</u> च /ऋ	T	
	評価	標準項目 1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	Γ
			~ 1545 VV
	● あり ○ なし		○非該当
		2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	
	● あり ○ なし		○非該当
		  3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	<u> </u>
	O+1		→ → → → → → → → → → → → → → → → →
	● あり ○ なし		○非該当
		4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援	
	● あり ○ なし	をしている 	○非該当
	【A+の取り組み】	] ○ あり ● なし	
_	<b></b>	11 _0 10 1 44t dot:	
		サブカテゴリー2の講評	
	_ 入園時の各種	説明は、わかりやすいよう配慮しています	
	入園前の面接やん	入園説明会では、園での基本的なルール、園生活で必要なもの、園生活の様子等が、「保育園のしおり」や「	前年度の保
	育の様子を撮影し	」た写真等を用いて丁寧に説明されており、利用者調査において9割を越える保護者の方からわかりやすか	いったと支持さ
		ついています。 しかし、利用者調査より「説明時間が短い」といったご意見があるとともに、「保育園のしおり」『	
	料については、項  ます。	『目ごとに1枚もののプリントで配付しているなど、まだまだ改善の余地があると思われるため、今後の取組み	ナか期付され
		パレー・マロ 郷ナヤミ と /ロディ /ロゲナ	
		どもへの影響を考えた保育を保護者とともにすすめています	
		を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、少人数の集団での保育や特別	
		ፄ員の人員配置を手厚くする体制で臨んでいます。また、保護者の方々にも、初日から数日は短時間保育を? だいております。なお、これまでの保育経験(初日から1日預かるような保育をすると子どもによっては疲れれ	
		たいてのります。なの、これまでの休育経験(初口から・口頂かるような休育をすると于ともによっては疲れん 日も休むようになる事もある)等も交えながらをお話しし、保護者の方々も納得し、ご協力いただけるように多	
	す。		302 CV.00
	1		
	l		
	l		
	l		
	4		

サブカテゴリー3					
個別状況に応じ	た計画策定・記録				
面ごとに明示し	定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場 ている <b>評点( A</b>	)			
評価	標準項目	1			
● あり ○ な		○非該当			
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	2.子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当			
● あり ○ な	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当			
【A+の取り組a		-			
	子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計				
画を作成してい	중 <b>評点( A</b>	)			
評価	標準項目				
● あり ○ な		○非該当			
● あり ○ な		○非該当			
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当			
● あり ○ な	4. 計画を緊急に変更する場合のし〈みを整備している し	○非該当			
【A+の取り組 <i>ā</i>	<b>◇ あり ● なし</b>				
評価項目3 必要に応じて、 <sup>-</sup>	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している				
評価	<b>評点</b> ( A	)			
<b>● あり</b> ○ な	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足な〈記載するし〈みがある	○非該当			
<ul><li>● あり ○ な</li></ul>	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当			
【A+の取り組a	<b>◇</b> あり <b>③</b> なし				

	評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	
	maxic A	)
	評価標準項目	
	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している ● あり ○ なし	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	
	サブカテゴリー3の講評	
	保育に関する計画については、3段階で作成され、状況に応じて変更も行われます 保育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大き〈3段階り、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画のは日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に	の作成の際に
	は日々の子ともの状況を踏まれるはか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要にが行われることあります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月の園だよりで、週案は園内掲示によています。  子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記され、大事に管理されています	心して、反反
	子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この  は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分	「児童票」 けされていま
	す。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成態者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われております。	
	子ども一人ひとりの状況は保育にあたる職員間で共有されています 障害児指定園であることもあり、個別に配慮を行わなければならない子どもが多く在籍しているため、子どもに接する意識、文いて共通理解が得られるよう、専門家が訪問する巡回指導の際は会議形式を取り、多くの職員が参加できるようにするなどでます。また、各クラスでの情報共有は月案やクラス会議を通じて、日々の情報共有については、ミーティングのほかクラスノートを通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。	記慮されてい
	サブカテゴリー5	
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
		)
1	評価 標準項目	
	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	② まり ○ なし 2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>⑥</b> なし	

	評価項目2 サービスの実施に	あたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	評点(	Α	)
	評価	標準項目			
	● あり ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している			○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることの相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	Dないよう、	職員が	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている			○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			
		サブカテゴリー5の講評			
	園では、オムツ換 ぎる、トイレのドア	バシーに配慮するとともに、「恥ずかしい」と思う気持ちを育てています えは所定の位置で行うようにしており、また、プールの着替えは屋内で行い、シャワーを は閉める、裸のままうろうろさせないなど、子どものプライバシーに配慮した活動を行っ 恥ずかしい」と思う気持ちを育ませることにも取り組んでいます。			
	園では、園独自に 自らを見つめなお	者との接し方について、定期的に振りかえりを行っています 作成したチェックリストを用いて毎月振りかえりを行っており、子どもや保護者に対して、 す機会を設けています。この成果は利用者調査において9割を超える保護者から「子と 者から「保護者の考えを聞いてくれる」と肯定的に捉える回答となって現れていると考え きます。	ごもは大切	にされてい	いる」と、また、
		サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準	<b>基化</b>			
	  評価項目1  手引書等を整備し	、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	評点(	Α	)
	評価	標準項目	キャナル イル	- A	
		1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本 確にしている	事項や手順	詩を明	○非該当
	● あり ○ なし	<ol> <li>手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている</li> <li>提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検</li> </ol>	: TIVZ		○非該当
	● あり ○ なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や子順寺に沿っているがどうがを無や 4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を		12	○非該当
	● あり ○ なし		/DHU CV	1.9	○非該当
	【A+の取り組み】	○ あり ● なし			

評価項目2 サービスの向上を	めざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	評点(	Α	)
 評価	標準項目			
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定め	られている		○非該当
● あり ○ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等かどもの様子を反映するようにしている	らの意見や	提案、子	○非該当
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等のる	改善に取り	組んでい	○非該当
【A+の取り組み】				
評価項目3				
	みにより、業務の一定水準を確保している	評点(	Α	)
評価	標準項目 1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に	- 仁土油フ	- ミルーテ	ı
● あり ○ なし	เาอ	_仃さ渡る。	こうにして	○非該当
● あり ○ なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している			○非該当
<b>●</b> あり ○ なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている			○非該当
● あり ○ なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している			○非該当
● あり ○ なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けてい	<b></b>		○非該当
【A+の取り組み】				
	サブカテゴリー6の講評			
園で定めた基本的ルギー対応・緊急す。これにより、暗省、手順確認など	本事項は「確認事項」という1つの冊子にまとめられ活用されています 的なルール(保育目標等の各種目標、行事・保健・散歩等の各種計画、事務分担表・職 対応・散歩等の各種マニュアル等)は「確認事項」という一冊の冊子にとりまとめられて 戦員の身近なところで各種手順や目標などをチェックすることができるようになっており、 が即座にできる基礎が整っています。 日容は定期的に見直しが行われています	おり、各教	室に配付	されていま
マニュアルの内容 内容の見直しが行いやすい雰囲気が	は、年に1回、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度けれています。なお、話合いにおいて職員一人ひとりの意見が反映できるよう、普段が行われており、職員自己評価の自由記述でも「意見が出しやすい」等の意見が多 保育は職員の「学び」によって支えられています	から職種・後	と職に関係	な〈意見がい
とりが学んだことで 述のように経営層	1体制作りが行われているとともに、巡回研修を会議形式にしていること、定期的に行れ を組織として共有することができるようにしているなど、職員は多くの「学び」に触れる機 と、職員との間で意見が言いやすい雰囲気作りができていることから、経営層からの声 こ行うことができるようになっており、職員の成長を促す環境が整えられているといえま。	会を提供さ かけばかり	れていま	す。また、前

サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

	評価項目		77 (W) T)	
	子ともの	発達を促	すための保育を行っている	
1			<b>評点( A</b>	)
	評·	価	標準項目	
			1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	
	<ul><li>あり</li></ul>	O #\		○非該当
	<b>●</b> めり	○なし		
			2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	
	(a) ± 14	O		O 4544.14
	● あり	○なし		○非該当
			3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	
	(a) + 14	_		O 4544.14
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし		〇 非該当
			4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	
	O	_		O 11 43 414
	● あり	○なし		○非該当
			5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配	
	<b>O</b>		慮している	O
	<b>●</b> あり	○なし	100 CV. 0	〇 非該当
l				
	【A+の取	(り組み)	◯ あり : ● なし	
			が保持しては	
			評価項目1の講評	

# 行事などを通じた多様な保育活動に取り組んでいます

園内活動としては、七夕や節分、お店やさんごっこなどの行事活動、健常児と障害児との交流をはじめ、裏庭での栽培活動、カブトムシマンションなどの飼育活動など、子どもの発達を促す活動や行事が取り入れられています。また、成長を表現する機会として、おおきくなった会(発表会)などもあります。また、園外活動では、芋ほりや年長児を対象とした遠足などイベント的なもののほか、近隣の原っぱ広場をはじめとして周囲に点在する多くの公園をめぐる散歩活動も充実しており、これらを生かした保育活動として取り組んでいます。

# 障害児の受入れ体制が整えられており、状況に応じた保育が展開されています

障害児指定園であることから、施設的にも障害児保育用の「特別室」があり、また、障害の内容により補助者となる人員も配置されていることから、保育環境としては他園に比べ恵まれた状況といえます。また、専門家による定期的な巡回指導を受けることができ、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を学ぶ機会も用意されており、これらを有効に活用した充実した保育が展開されています。

## 障害児を含む活動についてより一層の充実に期待します

障害を持つ子どもであっても、可能な限り、同年齢のクラスの子どもたちと一緒の活動が行われています。訪問調査時もホールでの活動 を一緒に行う、食事を共にするなど、細心の注意を図りながらも様々な活動を一緒に行う様子を確認することができました。しかしながら、 狭いクラスでの活動の際は、クラスの担任や障害児の補助者など大きな大人が複数人入ることから、主役である子どもたちの活動が窮屈 になってしまうことも想定されます。これらにも配慮したより充実した活動が期待されます。

- 1	評価項目 栄養バラ	•	慮したうえで、おいしい食事を出している	,
				)
ŀ	評	<u>価</u>	標準項目  1.メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	1
	⊚ ಹು	○なし		○非該当
ĺ	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
ŀ			3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	
ŀ	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
	● あり	○なし		○非該当
	● あり	○なし	5. [0歳児を受け入れている保育所のみ] 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当
l	【A+の取	(リ組み)	● あり ○ なし	
			引されている作物の栽培活動や芋ほりなどの収穫活動、掘った芋を焼き芋にする調理活動など、栽培からi らえ、子どもたちの成長を促す活動と位置づけて展開されており、大変評価できます。	間理に至る流
ļ			*T/T*T C1 0 *#**T	
L			評価項目2の講評	
ı			<b>雪楽し⟨なる環境整備を行っています</b>	
3	むなど、‡	持別な日	)行事の際には、バイキング食で提供される、毎月のカレーの際には幼児クラス3クラス混合でカレーパーテには、食事のメニューだけではなく、環境設定も変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されてい	
li	晋段の筤	いいまである。	いても、テーブルに花を飾るなど、彩を大切にし、落ち着いて食事ができるよう配慮されています。	
١	個別に	対応しか	と食事を提供しています	
1			こはチェルのでvidy) P子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事	が個別に提供
-	されてい	ます。また	た、配膳に関しても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるたな工夫が凝らされています。	
ı			1環境を整えています	
1	食事の際 利田して	ミに子ども いますが	5たちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについて 、0歳児クラスまでは座面の調整がき〈イスを採用し、子ども一人ひとりに合わせて調整するほか、1歳児り	は既製品を LEのクラスに
ŀ	ついても	なるべく	合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもか	
	姿勢で食	事ができ	きるよう配慮されています。	
П.	評価項目 そどもが	•	<b>津康を回復・維持するための支援を行っている</b>	
۱	, _ 0,,		<b>評点(</b> A	)
L	評·	価	標準項目	
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当
ŀ			2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするし〈みがある	
	● あり	○なし		○非該当
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当
l			4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	_
ŀ	<ul><li>● あり</li></ul>	○ なし		1 非該当
L	【A+の取	以組み	○ あり	
ĺ				
1				

#### 評価項目3の講評

## 子どもの健康状態は、看護師が毎日把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は週1回、以後は年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いた対応等を行っています。

#### 保健だよりや園内の掲示により、情報提供を行っています

保健分野に関する保護者への情報提供は、月1回発行の保健だよりを通じて行っているほか、特に感染症に注意が必要な時期は、おたよりのほかに園内掲示をして注意を喚起するなど、予防対策に取り組んでいます。また、地域の医療機関の場所を地図に落とした医療マップを作成するなど、保護者が必要とする地域の情報についても情報提供を行っています。

#### 保育中の発熱や怪我の対応は看護師を中心として行っています

保育中の発熱や怪我の対応は、常駐の看護師が対応し、必要に応じて医務室で安静にしながら、保護者のお迎えを待つ体制を整えています。こういった取り組みは、保護者から「保育中の発熱や怪我」への対応について9割強の肯定的な回答を得る結果に結びついており、 園の活動について保護者から支持されている様子がうかがわれます。

評価項目4 園内の生活が、子	<sup>2</sup> どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている	評点(	Α	)
評価	標準項目			_
	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)			
● あり ○ なし				○非該当
	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている			
● あり ○ なし				○非該当
	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている			
● あり ○ なし				○非該当
【A+の取り組み	○ あり : ● なし	•		

#### 評価項目4の講評

# |静かに過ごしたい場合には、特別室など開いている場所を確保して保育を行います

体調が優れず、落ち着いて過ごしたい子がいる場合や一人になりたい子がいる場合には、出来る限り人員配置を見直して保育士を確保 し、特別室等の開いている場所を確保して、子どもの気持ちに添う保育を行うことも行われています。

## 子どもたちが楽しめる工夫をしています

七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、誕生会は、一人ひとりの誕生日のその日に個別に行う形で開催されています。誕 生日の日は、その日一日、ひとり一人の子どもが主役となり特別な気持ちでいられるように工夫されています。

# 午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

食事、睡眠、運動、排泄などは子どものリズムにできるだけあわせる配慮を行い、午睡については、早〈寝たい子、目が覚めてしまう子が それぞれ快適に過ごせる場所(特別室等)を確保して対応しています。

	評価項目5							
5	保育所と家	呆育所と家庭との交流·連携を緊密に行っている <b>評点</b> ( <b>A</b> )						
ŀ	評价	FF		•				
ŀ	<u>PT II</u>	Щ	原牛項目 1. 保護者などが常時参観できるし〈みがある					
	⊚ ಹು	○なし		○非該当				
Ī			2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している					
	● あり	○なし		○非該当				
			3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている					
	● あり	○なし		○非該当				
	0		4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	O				
	● あり ○ なし		E /Q=罐耂小との担談   広じを休場を取っていて	○非該当				
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	5.保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当				
l	【A+の取	川組み	<u>○</u> あり <b>●</b> なし					
I	174074	リ和ログ						
			評価項目5の講評					
	掲示物を	積極的	的に活用し、情報提供を行っています					
			<b>動からの情報提供は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりの発行を通じて行われていま</b>					
			テ定である週案やその日の出来事をイラスト入りでお知らせしている日誌などもクラスごとの掲示スペースに 皆全員に園の様子が伝わるように工夫をしています。一方、掲示の方法を工夫をしているものの、保護者に					
			ョ王貞に園の様子が伝わるように上大をしています。一方、梅木の万法を上大をしているものの、味暖有にいことから、さらに掲示方法について検討するなど、保護者への情報提供やコミュニケーションの充実に向け					
	が期待され							
	保護者に	日誌:	を公開し、日々の園の様子を伝えています					
			り等に加え、保護者に情報を伝える方法として、日誌の公開が行われています。日誌を公開するに当たって					
			うな要点を絞った記載にする、イラストをいれるなど、職員一人ひとりが工夫を重ねており、保護者とのコミュ	ュニケーション				
	のひとうと	٠, ١	の試みが少しずつ実を結んでいくことが期待されます。					
			1てはアンケート調査を実施しています					
	運動会等、	主な行	事については、アンケート調査を実施し、反省点を整理するとともに、次回の開催に役立てる取り組みを行	っています。				
			『においては、「行事等の日程の配慮』については、他の項目と比べて評価が低いことから、全ての保護者の ものの、意見交換の場や機会を充実していくことにより、これらの評価を改善することが望まれます。	)息미を反映				
1	評価項目	6						
			]みや育児困難家庭への支援を行っている					
6			デ点( A	)				
ŀ	評价	<u> </u>	標準項目					
ĺ			1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている					
	● あり	○なし		○非該当				
ľ	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組							
	● あり	○なし	織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当				
ŀ			3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関					
	● あり ○ なし 係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている							
ŀ	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを							
	<ul><li>あり</li></ul>	○なし	行っている	○非該当				
	【A+の取り組み】 ○ あり <b>●</b> なし							
Ī								

	評価項目6の講評	
	区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます	
	虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、「虐待防止マニュアル」の実践をはじめ、区の保育課、家庭式児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見どが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。	₹援センター、 見時の対応な
	研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています 該当する子どもがいない場合であっても、区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けたり 上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上 よう取り組みを行っています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりか す。	げがなされる
7	評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <b>評点</b> ( <b>A</b>	)
	上	
	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	【A+の取り組み】 ○ あり · ● なし	
	評価項目7の講評	
	地域の情報を保護者に提供しています	
	杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域施設や機関から依頼は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。また、保護者から望まれる情報として、地関の地図(医療マップ)を看護師が中心となって作成するなど、関係機関から回って〈る情報だけではな〈、園独自で編集・加]資料についても提供しています。	地域の医療機
	中学生の職場体験などを積極的に受け入れ、地域との交流を図っています 地域の交流は、中学生の職場体験などの受け入れや実習生・ボランティアの受け入れ、子育て支援センターに預けられてい との交流、身体測定やふれあい保育にきた親子との交流など、園に招き入れる形での交流を中心として行われています。	る子どもたち

(事業所名: 杉並区立今川保育園)

特に良に	(事業が名・杉並区立ラ川休月風/
	障害児と健常児がともに育ちあう保育
タイトル	
内容	本園は障害児指定園であり、施設的にも「特別室」が設けられるとともに、障害の内容により補助者となる人員も配置されています。また、専門家による定期的な巡回指導を受けることができ、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を学ぶ機会も用意されており、障害児であっても、可能な限り、同じクラスの子どもたちと一緒の活動が行われています。訪問調査時もホールでの活動を一緒に行う、食事を共にするなど、障害児・健常児とも楽しそうに活動する姿が見られ、細心の注意を図りながらも様々な活動を一緒に行う様子を確認することができました。
タイトル	恵まれた周辺環境で展開される保育
内容	園の近隣は、自然を感じられる公園や遊具等がなく一面原っぱで広々と遊ぶことができる原っぱ広場など、散歩と組み合わせ様々な活動が展開できる公共的なスペースが点在しています。また、園庭自体はそれほど広くないものの、園敷地内では、栽培やカブトムシマンションを設置するスペースがある裏庭など、環境がそろっており、これらを生かした栽培活動や飼育活動等を通じて、子どもに豊かな経験をもたらし、発達を促す効果が期待されます。
タイトル	職種の枠を超えて展開される食育
内容	裏庭を中心に展開されている作物の栽培活動や芋ほりなどの収穫活動、掘った芋を焼き芋にする調理活動など、栽培から調理に至る流れを食育としてとらえ、子どもたちの成長を促す活動と位置づけて展開されています。また、調理員においても庭で取れた収穫物の調理を行うなど、職種を超えて連携し、食育に取り組んでおり、園を挙げての活動として大変評価できます。
さらなる	改善が望まれる点
タイトル	保護者の意見や要望に対する対応方法の振りかえり
内容	保護者の意見や要望に対しては、園内で確認した後、対応策を検討し、必要があれば区の保育課にも相談して対応しています。しかしながら、対応した後は、そのままであることが多く、園からの一方的な対応と受け取られていないか等、追跡して調査を行うことも重要です。今後は、意見・要望への対応後について定期的に検証を行えるよう、園としての体制を整えるとともに、保護者会に対して協力を求めるなど、より効果的な方策を検討することも必要と思われる。
タイトル	障害児補助者等の動きの工夫
内容	本園では、障害を持つ子どもであっても、可能な限り、同年齢のクラスの子どもたちと一緒の活動が行われていますが、狭いクラスでの活動の際は、クラスの担任や障害児の補助者など大きな大人が複数人入ることから、主役である子どもたちの活動が窮屈になってしまうことも想定されます。これら大人たちが限られたスペースの中でどのように動けばよいのか、今一度検討し、工夫することによって、現在よりも充実した活動になることが期待されます。
タイトル	チャレンジプランの目標・指標の設定方法
内容	年度ごとに各園においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。しかしながら、中期的な目標設定やわかりやすい指標設定など、目標や指標の設定についてまだまだ改善の余地があると思われます。組織運営上の問題については職員の監視が薄い分野だと思われますが、職員がチャレンジプランをより身近に感じられるよう改善を行い、運用されることが期待されます。
	内夕内方方 <t< td=""></t<>

## 巻末 付属資料

付属資料1:杉並区立保育園 利用者調査 調査票

付属資料2:経営層合議シート(事業プロフィル・組織マネジメント・サービス分析)

付属資料3:職員用シート(組織マネジメント・サービス分析)

## 平成20年度 **保育園サービス** 利用者調査

(保護者用)

#### 調査のお願い

このたび、園では、よりよい保育サービスの実施をめざして、東京都の福祉サービス第三者評価を 実施することになりました。この評価は、東京都福祉サービス評価推進機構によって認証されている ひょう株式会社が実施いたします。

第三者評価にあたって、園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して、どのように感じていらっしゃるかを把握するため、アンケート調査を実施することになりました。

調査結果は、園のサービスを評価をするために使用し、定められた項目については、インターネットを通じて公表されることになっています。

また、調査結果は統計的に処理したうえで使用しますので、記入者を特定したり、第三者評価の目 的以外に使用したりすることは絶対にいたしません。

お忙しいところたいへん申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力いただきま すようお願いいたします。

#### 記入に当たって

- ・この調査は、園を利用されている保護者の方がご回答ください。
- · あてはまる番号に をつけてください。
- ・<u>質問内容が、ご自身にとって「経験がない」「認識がない」など該当しない場合には、記入しな</u>いで次の質問に進んでください。
- ・質問ごとにご意見などがある場合は、(自由意見)欄にご記入ください。
- ・この調査票は、別添の返信用封筒をご利用のうえ、平成20年10月24日までに投函してください。

この調査に関してのお問い合わせは、下記にお願いします。

問合せ先

評価機関: ひょう株式会社

〒145 - 0072

東京都大田区田園調布本町24-12-A101

電話 03-3722-5099

## 現在ご利用の保育園についておたずねします

あなたの気持ちに最も近い番号を1つだけ選び、 印をお付けください。

複数のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年齢の低いお子さんの例でご回答ください。

#### 毎日の保育サービスについてお聞きします

	口のからう。これにういての間にしなり			
		はい	どちらとも いえない	いいえ
問1.	食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮 された工夫がありますか	1	2	3
(自由意	意見)			
問2.	戸外遊びの機会は十分ですか	1	2	3
(自由意	· 意見)			
問3.	保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更 する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	1	2	3
(自由	i意見)			
問4.	保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変 化への対応は十分ですか	1	2	3
(自由	i意見)			
問5.	安全対策が十分取られていると思いますか	1	2	3
(自由	i意見)			
問6.	保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	1	2	3
(自由	ɪ意見) 			
問7.	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話した り相談することができますか	1	2	3
(自由	ɪ意見) 			
問8.	保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿 勢がありますか	1	2	3
(自由	ɪ意見) 		<u>'</u>	
問9.	友達とのふれあいなど、人とのかかわり方の基礎が育てられ ていると思いますか	1	2	3
(自由	ɪ意見)			

#### お子さんや保護者の尊重についてお聞きします

	はい	どちらとも いえない	いいえ
問10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー (秘密)を守っていますか	1	2	3
(自由意見)			
問11. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	1	2	3
(自由意見)			
問12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	1	2	3
(自由意見)			

#### 要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします

	はい	どちらとも いえない	いいえ		
問13. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	1	2	3		
(自由意見)					
問14. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	1	2	3		
(自由意見)					
問15. 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相 談員)などにも相談できることを知っていますか	1	2	3		
(自由意見)			_		

#### 利用前の保育園の対応についてお聞きします

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか

1.はい 2.いいえ 総合的な感想へお進みください

問16へお進みください

	はい	どちらとも いえない	いいえ
問16. 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか	1	2	3
(自由意見)			

## ≪総合的な感想についてお聞きします≫

≪総合的な感想についてお聞さしより//
[1] 現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。
\_\_\_\_\_(1つに○)

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満
1	2	3	4	5

[2] 日頃お感じになっている保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。
[3] 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。
[3] 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。
〔3〕今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。
〔3〕今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。
[3] 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。
〔3〕今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。
[3] 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。
[3] 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。
〔3〕今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

## 最後に保護者の方についておたずねします

F 1.	調査票記入者	(1つに〇)	_				
	1. 父	2. 母	3.	父母一緒に	4.	その他(	)
F 2.	調査票記入者の年齢(	主に中心になっ	って回答した方)	_ (1つに(	<u>)</u>		
	1. 20歳未満	2. 20~25歳	未満 3.	25~30歳未満	4.	30~35歳未満	
	5. 35~40歳未満	6. 40~50歳	表未満 7.	50歳以上			
F3.	保護者の勤務形態	(○は各1~	<u>o)</u>				
	①父						
	1. 常勤(フルタイム)	2. パート、	アルバイト3.	自営業 4. 無職	5.	その他(	)
	②母						
	1. 常勤(フルタイム)	•		自営業 4. 無職	5.	その他(	)
	③その他の保護者(主) 1. 常勤(フルタイム)			自営業 4. 無職	5.	その他(	)
F4.	保育園を利用してるお	3子さんの年齢	(複数のお子)	さんがいらっしゃる	場合	は、該当する全	部に〇
	1. 0歳	2. 1歳	3.	2歳	4.	3歳	
	5. 4歳	6. 5歳以上					
ご協	力ありがとうございまし	た。					

この調査票は、別添の返信用封筒をご利用のうえ、平成20年10月24日までに投函してください。

評価機関: ひょう株式会社

 $\mp 145 - 0072$ 

東京都大田区田園調布本町24-12-A101

電話 03-3722-5099

## 付属資料2

#### 事業プロフィル

1事業所名(サービス種	別):		(	)
2 (1)運営主体(法人名	等):			
(2)設 置 主	体:			
3事業所所在	地:			
4 事業所の長の氏名(施設長	等):			
5 連 絡	先			
Tel		Fax		
Eメール		ホームへ゜ーシ゛ 		
6 同一運営主体が同じ敷地内 つ以内(例.特別養護老人が				
(1)	N 4, 73 17	CONCORD CAR	⋆C、π™⋈⋊∓∓	:e = 0°)
(2)				
(3)				
(4)				
(5) 7定員および現在の利用者				
7 足貝のよび現住の利用名 内訳は別紙のとお	ו)			
8 職員の状況				
(1)職員数				
職員	数計男	性 女性		
常勤職員	数			
非常勤職員	数		<u>對換算</u>	人)
計		( べB	計算式:非常勤職員( 持間数の総数 ÷ 当該事	のそれぞれの勤務延 ፤業所の常勤職員が
(2)専門職員の人数	. w. II		務すべき時間数)	1
専門職の名称	人数 専門職の名	「「「「「「「「」」」「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「	俄の名称 人数	-
				_
				-
(3)非常勤職員の勤務形	 能レ <del>業</del> 教力家	 *職員種別は、パート、		」 契約等、
(3)非市勤嘅貝の勤務形		施設で通常使用してに	1る呼称でご記入くた	<b>ざい。</b> 1
職員種別		務形態 引、シフト) │	業務内容	
	(2.500 5)			
				]
				J
(4)前年度採用・退職の		1		
	計 常勤 非	常勤		
採用				
		<del> </del>		
(5)常勤職員の平均年齢				
(6)常勤職員の平均在職:	干数 <u>  年</u>	. (現在の事業所での	王職年数とする)	

(7)直接支援に携わっている職員(非常勤は常勤換算)1人当たりの利用者数<u>人</u> (計算式:定員÷直接支援に携わっている職員数)

9 平面図等施設の状況がわかるものを添付

- 7 定員及び現在の利用者 (年月現在) ※下記の利用者の状況が分かる表を添付するか、下の空白部分に書き込んでください。
  - (1) 一般保育

//X / A H		
	定員(人)	利用者児(人)
O歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		
計		

(2) 多様な保育サービス

夕惊な休月り一に入				
	定員(人)	利用者児(人)	料金(円)	備 考
産休明け保育				
延長保育				(  )時間延長
夜間保育				
障害児保育				
休日保育				
学童児童受け入れ				
一時·特定保育				
子育て広場※1				事業内容番号
在宅子育て支援※2				事業内容番号
その他()				
計				

- ※1 子育て広場には、つどいの広場を含む。
- ※2 「在宅子育て支援」欄は、在宅子育て家庭を対象とした子育て支援事業を実施している場合 に、備考欄に下記の事業内容番号を記入すること。
  - ①育児相談 ②育児講座 ③保育所体験 ④出産を迎える親の体験学習
  - ⑤子育でサークル支援 ⑥子育で情報誌の発行 ⑦家庭訪問 ⑧出前保育

#### 事業プロフィルⅡ

1	理会・	方針
	坪 忍 •	711/1/1

事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述(関連 カテゴリー1リーダーシップと意思決定)

1)

- 2)
- 3)
- 4)
- 5)
- 2 サービス提供の考え方について記述

日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた事業者独自の取組、利用者や家族との関係、地域との関係を含む (関連 カテゴリー6サービス提供のプロセス)

- 3 期待する職員像(関連 カテゴリー5職員と組織の能力向上)
  - (1) 職員に求めている人材像や役割
  - (2) 職員に期待すること (職員に持って欲しい使命感)
- 4 現在のサービス提供能力と利用者数(関連 カテゴリー5職員と組織の能力向上)

(以下のどれかに〇をつける)

- 1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりいる
- 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない (ほぼ定員を満たしている)
- 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
- 5 3年後の見通し(関連 カテゴリー3利用者の意向や地域・事業環境などの把握と活用、 カテゴリー4計画の策定と着実な実行)

(以下、〔契約による利用〕、〔措置など契約以外による利用〕のどちらかを選んだうえで、 一つに〇をつける)

〔契約による利用〕

- 1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
- 2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数 は維持できると思う
- 3) 現在の利用者数を維持するのは余程経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい 情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他( )

[措置など契約以外による利用]

- 1) 施設規模の拡大または新たなサービス提供を行う計画がある
- 2) 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向で考えている
- 3) 現在のサービス提供能力を維持するのは、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり 難しい情勢になっているのではないかと思う

4) その他( )

6 評価対象としているサービス事業に関して事業者として力を入れて取り組んでいる点を、人的 サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述

(関連 カテゴリー4計画の策定と着実な実行)

〈人的サービス面〉

- 1)
- 2)
- 3)

〈設備・環境面〉

- 1)
- 2)
- 3)

	2)重要な変遷
8	経営に影響を与えると考えている事業環境の変化を記述(制度改正を含む)(関連 カテゴリー3利 用者の意向や地域・事業環境などの把握と活用、カテゴリー4計画の策定と着実な実行)
9	評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述(関連 カテゴリー4計画の策定と着実な実行) 1) 2) 3)
10	三字
_	
_	
_	
=	
_	
_	
_	
=	
_	
_	
_	
_	
_ 11	実習生の受け入れ状況 前年度の実習生受け入れ人数 <u>人</u> 【内訳】
	実習生の紹介元 受け入れ人数

7 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷 (制度改正に基づくもの含む) 年 月

1)開始時期

## [平成20年度]

# 組織マネジメント分析シート 【自己評価用】

## 経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者	(役職名)	(	氏名)	

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1~7に関する活動成果
Armilla Change Change China Change Ch

網掛け部が組織マネジメント分析シートに該当します

- ■組織マネジメント分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順
- 1 評点は「評価項目」ごとにつけます。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、〔ねらい〕を確認のうえ 「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
- 2 「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 3 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
  - (1 事業者が当該事項を実施していること 2 その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること
  - ⇒「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
    - 3 その根拠が示せること
  - ⇒「その実践の記録等」欄に記入する内容です。)
- 4 評価項目ごとに、すべての「標準項目」を上記2により記入後、上記3により評点をつけてください。 評価項目の評点は、次のとおりです。該当する評点を記入してください。

カテゴリー1~7

- A:標準項目をすべて満たした状態 B:標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
- C:標準項目をひとつも満たしていない状態

カテゴリー8

- A:改善傾向が確認できる状態
- B:取り組んでいるが改善結果は確認できない状態
- C:取り組んでいない状態
- 5 すべての評価項目を記入した後に「カテゴリー」全体を通じて、「良いと思う点」「改善する必要があると 思う点」を記述します。

#### ※参考

- 「A+の取り組み」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みです。A+は自己評価では使いません。
  - (ア 当該評価項目のねらいに合致していること イ 事業所の理念・方針に合致していること
  - ウ 事業所の独自性または現状を改善するプロセスが認められること)
    - \*標準項目を満たしたうえでの取り組みを対象としますので、標準項目に含まれる 取り組みはA+の対象にはなりません。

## カテゴリー1 リーダーシップと意思決定 サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目 1-1-1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している				
[ねらい]・理念、基本方針を達成するた ・それを職員の日頃の行動に結	めにそれをわかるように示している テびつけるための取り組みを行なっ			( )
標準項目		私たちの実践例	その実践の記録	禄等
□ 1 事業所が目指していること(理念・ 示している	ビジョン、基本方針など)を明			
□ 2 事業所が目指していること(理念・ いて、職員の理解が深まるようなB				
事業所が目指していること(理念・ 3 いて、利用者本人や家族等の理例 行っている				
重要な意思決定や判断に迷った □ 4 ること(理念・ビジョン、基本方針な 取り組みを行っている(会議中に	とど)を思い起こすことができる			
評価項目 1-1-2 経営層(運営管理者含む)は自らの [ねらい]・経営層は、理念等を実現する ・経営層は、理念、基本方針を		わかりやすく伝えているか	าอ	評点 ( )
標準項目		私たちの実践例	その実践の記	禄等
□ 1 経営層は、自らの役割と責任を職	員に伝えている			
□ 2 経営層は、自らの役割と責任に基	らづいて行動している			
評価項目 1-1-3 重要な案件について、経営層(運営 ている [ねらい]・重要な案件については、組織 ・職員に意思決定過程の透明性	として決定する手順をあらかじめ定		関係者に周知し	評点
標準項目		私たちの実践例	その実践の記録	禄等
□ 1 重要な案件を検討し、決定する手				
□ 2 重要な意思決定に関し、その内容 周知している	Fと決定経緯について職員に			
□ 3 利用者等に対し、重要な案件に関 要に応じてその内容と決定経緯を				
カテゴリー1 について リーダーシッ	プと意思決定			
良いと思う点		改善する必要があると思	う点	

## カテゴリー2 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目 2-1-1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫 [ねらい]・組織の社会的責任として遵守すべき法・規範・倫理などについて			評点
・さらにそれを遵守できるように理解を深めているか	りが作べていているがっ		( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	己録等
□ 1 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個 人の尊厳)などを明示している			
□ 2 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの 理解が深まるように取り組んでいる			
評価項目 2-1-2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会 [ねらい]・組織の社会的責任として、透明性の確保のために外部の目を活 ・地域社会に情報発信することで透明性を高めているか		となっている	評点
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	己録等
□ 1 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる			
透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事 2 業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している			
サブカテゴリー2 地域の福祉に役立つ取り組みで	を行っている		
評価項目 2-2-1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	-1 -1 \ 7 -1		評点
[ねらい]・組織の社会的責任として、地域の一員として事業所の機能を還っ ・地域社会に専門性をいかした取り組みをしているか	正しているか。		( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	己録等
□ 1 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)			
地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をい 2 かした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っ ている			
評価項目 2-2-2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確認 [ねらい]・組織の社会的責任として、ボランティアを受入れるための考え方・そのための体制を整備しているか	=		評点
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	己録等
□ 1 ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
□ 2 ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、 手引き書の作成など)			
□ 3 ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事 項などを伝えている			
評価項目 2-2-3		<u> </u>	評点
地域の関係機関との連携を図っている [ねらい]・地域の一員として関係機関とのネットワーク化に貢献しているか ・地域の一員として、地域での共通課題の解決に協働しているか			( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	己録等
□ 1 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している			
□ 2 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組め るような体制を整えている			
カテゴリー2 について 経営における社会的責任			
良いと思う点	改善する必要があると	思う点	

## カテゴリー3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用サブカテゴリー1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目 3-1-1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把	・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	苦情解決制度を含 評点
<b>む)</b> [ねらい]・事業所のサービスの利用者一人ひとりの苦情等についてどのよ ・その苦情等についてどのように解決に取り組んでいるのか	うに把握しているのか	( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
□ 1 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		
□ 2 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる		
評価項目 3-1-2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組ん	でいる	評点
[ねらい]・利用者の意向をどのように集約・分析しているのか ・その結果をサービス向上に活用しているか		( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
□ 1 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者 の意向を把握することに取り組んでいる		
□ 2 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から 見たサービスの現状・問題を把握している		
□ 3 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる		
評価項目 3-1-3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析してして 「ねらい」・サービス・経営改善のために地域の福祉ニーズについてどのよ ・また福祉事業の動向についてどのように把握分析しているのか		<b>評点</b> ( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
□ 1 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる		
□ 2 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組 んでいる		
□ 3 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉 ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している		
カテゴリー3 について 利用者意向や地域・事業環境の把握		
良いと思う点	改善する必要があると思	lう点

## カテゴリー4 計画の策定と着実な実行サブカテゴリー1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

	平価項目 4-1-1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点
	[ねらい]・理念、基本方針実現のため実践的な課題・計画を策定している・計画の立て方も取り組み期間に応じているか	מֹל	( )
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
	□ 1 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		
	□ 2 年度単位の計画を策定している		
	□ 3 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる		
	平価項目 4-1-2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している [ねらい]・理念、基本方針実現のため、課題の明確化、計画策定の時期や ・その計画は現場の意向や利用者の意向等を踏まえたものとなっ		<b>評点</b> ( )
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
	□ 1 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		
	□ 2 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できる ようにしている		
	□ 3 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや 事業環境など)を踏まえて策定している		
	□ 4 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している		
		-	評点
	着実な計画の実行に取り組んでいる [ねらい]・理念、基本方針実現のため、計画に基づき効果的に実行してい ・進捗状況に応じ、見直しながら、着実に成果を上げられるような」		( )
lſ	標準項目	私たちの実践例	 その実践の記録等
ľ	□ 1 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	11470 200 2000	C > JCDA > BCDA ()
	計画推進にめたり、より高い放果が待られるように事業所内外 □ 2 の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行ってい		
	□ 3 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している		
	□ 4 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		
サ	ブカテゴリー2 利用者の安全の確保・向上に	計画的に取り組んでい	3
	平価項目 4-2-1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点
	[ねらい]・利用者の安全確保のための体制は整備されているか ・組織的に再発防止・予防対策やその徹底が図られているか		( )
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
	□ 1 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や 事業所内の役割分担を明示している		
	□ 2 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発 防止・予防対策を策定している		
	□ 3 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機 関などに具体的な活動内容が伝わっている		
カ	テゴリー4 について 計画の策定と着実な実行		
I	良いと思う点	改善する必要があると思う	点

## カテゴリー5 職員と組織の能力向上

## サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に 取り組んでいる

ā	  項目  5-1-1 業所にとって必要な人材構成にしている		評点
	[ねらい]・理念、基本方針を実現するのに適した人事制度が定められてい ・それに基づき、人材の確保や配置が行われているか	るか	( )
	標準項目	私たちの実践例 その	の実践の記録等
	1 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している		
	2 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている		
_	3 適材適所の人員配置に取り組んでいる		
	 「項目 5-1-2 員の質の向上に取り組んでいる [ねらい]・理念、基本方針実現のため、職員一人ひとりの意向を把握し育 ・その計画に基づき、職員が研修等育成に向けての取り組みが行	成計画を策定しているか われているか	評点
	標準項目	私たちの実践例 その	の実践の記録等
	1 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		
	2 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している		
	3 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている		
	4 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している		
	5 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している		
	カテゴリー2 職員一人ひとりと組織力の発	<b>惲に取り組んでいる</b>	
1	  項目 5-2-1  員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取	-	評点
	[ねらい]・職員一人ひとりの力と組織力の発揮、理念等実現のため、どの。 ・そのために職員一人ひとりが学びに取り組むようにしているか		( )
	標準項目 標員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方	私たちの実践例その	の実践の記録等
	1 法を明示している		
	2 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶ ことに取り組んでいる		
	3 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		

#### 平成20年度 組織マネジメント分析シート(経営層合議用)

<b>職員のやる気向上に取り組んでいる</b>		評
[ねらい]・理念、基本方針実現のため、職員の意識や就業状況を的確に把 ・把握した上で、職員のやる気と働きがいの満足に影響を及ぼす要		(
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
□ 1 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・ 昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている		
2 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる		
3 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる。		
4 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		
-ゴリー5 について 職員と組織の能力向上 といと思う点	改善する必要があると思	う点
ー テゴリー7 情報の保護・共有 ブカテゴリー1 情報の保護・共有に取り組んで 価項目 7-1-1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組 [ねらい]・事業所をより良くするためにどのような情報が必要であるかの検討	んでいる	評
・経営に関して必要な情報が適切に収集・整理・分析された上で、イ		(
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
] 1 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		
2 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している		
3 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		
··· * * ···		<b>評</b>
国人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有し [ねらい]・保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保		(
国人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有し [ねらい]・保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保 ・その方法が行き渡るようにしているか	護方法を定めているか	(
個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有し [ねらい]・保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保 ・その方法が行き渡るようにしているか 標準項目	護方法を定めているか	(
国人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有し [ねらい]・保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保 ・その方法が行き渡るようにしているか 標準項目 1 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	護方法を定めているか	その実践の記録等
■人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有し [ねらい]・保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保・その方法が行き渡るようにしているか 標準項目  □ 1 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している □ 2 個人情報の保護に関する規定を明示している □ 3 開示請求に対する対応方法を明示している □ 4 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む) □ 4 が理解し行動できるための取り組みを行っている	護方法を定めているか	(
3	護方法を定めているか 私たちの実践例	その実践の記録等
個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有し [ねらい]・保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保・その方法が行き渡るようにしているか 標準項目 1 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している 2 個人情報の保護に関する規定を明示している 3 開示請求に対する対応方法を明示している 4 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている ***	護方法を定めているか	その実践の記録等
□ 人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有し [ねらい]・保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保・その方法が行き渡るようにしているか 標準項目 □ 1 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している □ 2 個人情報の保護に関する規定を明示している □ 3 開示請求に対する対応方法を明示している □ 4 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む) が理解し行動できるための取り組みを行っている □ 1 「一7 について 情報の保護・共有	護方法を定めているか 私たちの実践例	その実践の記録等
・その方法が行き渡るようにしているか標準項目  1 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している  2 個人情報の保護に関する規定を明示している  3 開示請求に対する対応方法を明示している  4 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)	護方法を定めているか 私たちの実践例	その実践の記録等

## カテゴリー8 カテゴリー1~7に関する活動成果

評価項目 1

善を行い成果が上がっている

・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」

サブカテゴリー1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、 地域・社会への責任の面で向上している

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改

•カテゴリー4:「計画の策定と着実な実 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げる			
_ 成果のあった取り組み	具体的な成果	その成果の記録等	
自由記述】			
サブカテゴリー2 前年度と比	ばべ、職員と組織の能力の	)面で向上している	
評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間 善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げる	]	「価される部分について、改	評点 ( )
成果のあった取り組み自由記述	具体的な成果	その成果の記録等	
サブカテゴリー3 前年度と比 の面において向上している	び、福祉サービス提供で	プロセスや情報保護・	共有
評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間 善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」		価される部分について、改	評点
[ねらい]・前年度と比べて成果を上げる			( )
成果のあった取り組み 自 由 記 述	具体的な成果	その成果の記録等	

評点

## サブカテゴリー4 事業所の財政等において向上している

評価項目 1 財政状態や収支バランスの改善へ向けた			り成果が上がっている	
[ねらい]・主体的な取り組みにより財政等で	で成果を上げるこ	とができたか		評点
				( )
改善に向けて取り組んでいること	取り組ん	だ成里	その成果の記録等	<u> </u>
自由記述				
サブカテゴリー5 前年度と比/ している	ヾ、利用者湯	ちにや利用者は	意向の把握等の面で	で向上
評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で) において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業類			テゴリーで評価される部分	評点
[ねらい]・前年度と比べて成果を上げること	こができたか			( )
成果のあった取り組み	具体的	か成果	その成果の記録等	<u> </u>
自由記述				
事業所の特に良	いと思う点			
特に良いと思う点		特に	改善したいと思う点	

注)これは「サービス分析シート(カテゴリ6 サービス提供のプロセス)」の評価結果を含めて記述してください。

## [平成20年度]

## 認可保育所

## サービス分析シー (6. サービス提供のプロセス)

## 経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者	(役職名)	(氏名	)	

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1~7に関する活動成果

網掛け部がサービス分析シートに該当します

- ■サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順
- 1 評点は「評価項目」ごとにつけます。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、〔ねらい〕を確認のうえ 「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
- 「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等に あたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の 記録等」欄は省略できます。
- 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。 (1 事業者が当該事項を実施していること 2 その実施が継続的 (必要性を認識し、計画的)であること
- ⇒「私たちの実践例」欄に記入する内容です。 3 その根拠が示せること
- ⇒「その実践の記録等」欄に記入する内容です。)
- 4 評価項目ごとに、すべての「標準項目」を上記2により記入後、上記3により評点をつけてください。 評価項目の評点は、次のとおりです。該当する評点を記入してください。
  - A:標準項目をすべて満たした状態 B:標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
  - C:標準項目をひとつも満たしていない状態
- 5 すべての評価項目を記入した後に、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
  - ・サブカテゴリー  $1 \sim 3$  及び 5 、 6 は、サブカテゴリーごとに記述します。 ・サブカテゴリー 4 「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。

#### ※参考

- 「A+の取り組み」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みです。A+は 自己評価では使いません。
  - イ 事業所の理念・方針に合致していること (ア 当該評価項目のねらいに合致していること
  - ウ 事業所の独自性または現状を改善するプロセスが認められること)
    - \*標準項目を満たしたうえでの取り組みを対象としますので、標準項目に含まれる 取り組みはA+の対象にはなりません。

## カテゴリー6 サービス提供のプロセス

#### サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目 6-1-1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点
[ねらい]・サービスを選択するための情報が、利用者に届くように工夫して提供・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない	もしているか	( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
□ 1 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかり やすいものにしている		
□ 2 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		
□ 3 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の 状況に応じて対応している		
サブカテゴリー1 サービス情報の提供 について		
良いと思う点 サービスの開始・終了時の対応	改善する必要があると思	見う点
評価項目 6-2-1		
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点
[ねらい]・サービス開始時に、保護者の状況に応じたサービス内容の説明をし ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか		( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
□ 1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護 者の状況に応じて説明している		
□ 2 サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		
□ 3 サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		
評価項目 6-2-2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるようす	援している	評点
[ねらい]・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしてい・子どもがサービスを終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減す		( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
□ 1 サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を 決められた書式に記録し、把握している		
□ 2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配 慮している		
□ 3 サービス利用前の生活をふまえた支援をしている		
□ 4 サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安 を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている		
サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応 について	•	
良いと思う点	改善する必要があると思	見う点

#### サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目 6-3-1			
必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子 ている	どもの課題を個別のサービス	場面ごとに明示し	訊訊
[ねらい]・支援をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握している ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や改訂基準が確立している			( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	録等
□ 1 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している			
□ 2 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している			
□ 3 アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている			
評価項目 6-3-2 必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を る	・取り入れた個別のサービス	計画を作成してい	評点
[ねらい]・子どもの様子や保護者の希望をどのように取り入れ、計画を作成して ・個人の状況に応じた計画となるよう作成し、見直しをしているか	いるか		( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	録等
□ 1 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている			
□ 2 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている			
□ 3 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に 応じて見直している			
□ 4 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している			
評価項目 6-3-3 必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立	している		評点
[ねらい]・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか ・具体的な支援の内容や子どもの変化等が適切に記録されているか			( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	録等
□ 1 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある			
□ 2 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態が どのように推移したのかについて具体的に記録している			
評価項目 6-3-4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している			評点
[ねらい]・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか ・日々の子どもの変化等をどのような方策で共有化しているか			( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	録等
□ 1 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共 有し、活用している			
□ 2 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を 職員間で共有化している			
サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録 につい			
良いと思う点	改善する必要があると思	う点	

## サブカテゴリー4 サービスの実施

		項目 6-4-1 ごもの発達を促すための保育を行っている		評点
	[ね	らい]・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか ・発達過程に配慮した保育がされているか		( )
		標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
		1 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの 全体的な姿を把握している		
		2 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている		
		3 多様な表現活動や園外活動を計画している		
•		女化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工 夫をしている		
•		5 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している		
評	価ュ	頁目 6ー4ー1 について		
Į	見し	と思う点	改善する必要があると思	り点
	Ti /III			
	r am	1百日 6-4-2		
		項目 6-4-2 &バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点
	栄養			評点
	栄養	<b>婆バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している</b> らい]・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか	私たちの実践例	
	栄養	<b>婆バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している</b> らい]・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか ・子どもが食事を楽しむことができているか	私たちの実践例	( )
	栄養	<b>遂バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している</b> 5い]・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか ・子どもが食事を楽しむことができているか 標準項目	私たちの実践例	( )
	栄養	<b>遂バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している</b> 5い]・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか・子どもが食事を楽しむことができているか  標準項目  1 メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	私たちの実践例	( )
	栄養	<ul> <li>(ボランスを考慮したうえで、おいしい食事を出しているい)・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか・子どもが食事を楽しむことができているか 標準項目</li> <li>1 メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</li> <li>2 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している。食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事</li> </ul>	私たちの実践例	( )
	栄養	<ul> <li>「ランスを考慮したうえで、おいしい食事を出しているい」・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか・子どもが食事を楽しむことができているか 標準項目</li> <li>「メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</li> <li>子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している</li> <li>食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している</li> </ul>	私たちの実践例	( )
	<b>栄 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>	<ul> <li>「ランスを考慮したうえで、おいしい食事を出しているい」・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか・子どもが食事を楽しむことができているか 標準項目</li> <li>メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</li> <li>子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している</li> <li>食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している</li> <li>快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている</li> <li>【0歳児を受け入れている保育所のみ】</li> <li>乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズム</li> </ul>	私たちの実践例	( )
評	<b>栄 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>	<ul> <li>「ランスを考慮したうえで、おいしい食事を出しているい」・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか・子どもが食事を楽しむことができているか 標準項目</li> <li>メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</li> <li>子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している</li> <li>食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している</li> <li>快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている</li> <li>【0歳児を受け入れている保育所のみ】</li> <li>乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている</li> </ul>	私たちの実践例  改善する必要があると思	( ) その実践の記録等
評	<b>栄 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>	「アンスを考慮したうえで、おいしい食事を出している  い」・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか ・子どもが食事を楽しむことができているか  標準項目  「メニューや味付けなどに工夫を凝らしている  2 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している  3 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している  4 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている  【の歳児を受け入れている保育所のみ】  乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている  【1 のまます。 このいて		( ) その実践の記録等
評	<b>栄 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>	「アンスを考慮したうえで、おいしい食事を出している  い」・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか ・子どもが食事を楽しむことができているか  標準項目  「メニューや味付けなどに工夫を凝らしている  2 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している  3 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している  4 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている  【の歳児を受け入れている保育所のみ】  乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている  【1 のまます。 このいて		( ) その実践の記録等

子どもが心身の健康を回復·維持するための支援を行っている。	3		評点
[ねらい]・子どもの日々の健康状態をどのように把握しているか ・医療機関との連携を基に、子どもの健康維持策を講じているか			( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	録等
□ 1 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している			
2 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある			
□ 3 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している			
日本 4 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている			
評価項目 6-4-3 について			
良いと思う点	│ 改善する必要があると♬	思う点	
評価項目 6-4-4			
<b>園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工</b>	夫を行っている		評点
	夫を行っている		評点
<b>園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工</b> [ねらい]・子どもの意向をどのように引き出しているか ・子どもにとっての望ましい環境が整備されているか	夫を行っている		評点 ( )
[ねらい]・子どもの意向をどのように引き出しているか	<b>夫を行っている</b> 私たちの実践例	その実践の記	( )
[ねらい]・子どもの意向をどのように引き出しているか ・子どもにとっての望ましい環境が整備されているか		その実践の記	( )
[ねらい]・子どもの意向をどのように引き出しているか ・子どもにとっての望ましい環境が整備されているか 標準項目 ・子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季		その実践の記	( )
[ねらい]・子どもの意向をどのように引き出しているか ・子どもにとっての望ましい環境が整備されているか 標準項目  コ  子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)		その実践の記	( )
[ねらい]・子どもの意向をどのように引き出しているか ・子どもにとっての望ましい環境が整備されているか 標準項目 □ 1 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など) □ 2 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている		その実践の記	( )
<ul> <li>「ねらい」・子どもの意向をどのように引き出しているか・子どもにとっての望ましい環境が整備されているか 標準項目         <ul> <li>一 1 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)</li> <li>□ 2 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている</li> <li>□ 3 お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている</li> </ul> </li> </ul>			( )
[ねらい]・子どもの意向をどのように引き出しているか ・子どもにとっての望ましい環境が整備されているか 標準項目 □ 1 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など) □ 2 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている □ 3 お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている  評価項目 6-4-4 について	私たちの実践例		( )
[ねらい]・子どもの意向をどのように引き出しているか ・子どもにとっての望ましい環境が整備されているか 標準項目 □ 1 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など) □ 2 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている □ 3 お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている  評価項目 6-4-4 について	私たちの実践例		( )

評価項目 6-4-5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点
[ねらい]・家庭との連絡を緊密に取っているか ・家庭との信頼関係を構築しているか		( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
□ 1 保護者などが常時参観できるしくみがある		
□ 2 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している		
□ 3 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている		
□ 4 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている		
□ 5 保護者からの相談に応じる体制を整えている		
評価項目 6-4-5 について		
良いと思う点	改善する必要があると思	見う点
評価項目 6-4-6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		
		評点
虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている [ねらい]・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか	私たちの実践例	
虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている [ねらい]・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか ・育児困難家庭への支援を行っているか	私たちの実践例	( )
虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている [ねらい]・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか ・育児困難家庭への支援を行っているか 標準項目 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	私たちの実践例	( )
虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている  [ねらい]・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか ・育児困難家庭への支援を行っているか  標準項目 □ 1 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・ 研修会を実施し理解を深めている  職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たとき □ 2 や虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対	私たちの実践例	( )
虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている  [ねらい]・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか ・育児困難家庭への支援を行っているか  標準項目 □ 1 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・ 研修会を実施し理解を深めている 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たとき □ 2 や虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている  虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相 □ 3 談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行	私たちの実践例	( )
虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている  [ねらい]・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか ・育児困難家庭への支援を行っているか  標準項目 □ 1 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・ 研修会を実施し理解を深めている  職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たとき □ 2 や虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対 応を決定する体制を整えている  虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相 □ 3 談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行 い、その後も連携できるような体制を整えている □ 4子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、	私たちの実践例	( )
虚待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている  [ねらい]・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか ・育児困難家庭への支援を行っているか  標準項目 □ 1 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たとき つ や虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている  「虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている  「子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、イースとは、イース	私たちの実践例  改善する必要があると思	その実践の記録等
虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている  [ねらい]・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか ・育児困難家庭への支援を行っているか  標準項目 □ 1 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている □ 2 や虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている □ 3 談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている □ 4 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、 □ 4 保護者との共通認識を得る取り組みを行っている  評価項目 6-4-6 について		その実践の記録等
虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている  [ねらい]・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか ・育児困難家庭への支援を行っているか  標準項目 □ 1 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている □ 2 や虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている □ 3 談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている □ 4 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、 □ 4 保護者との共通認識を得る取り組みを行っている  評価項目 6-4-6 について		その実践の記録等

評価項目 6-4-7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組	<del></del> みを行っている		評点
[ねらい]・地域との交流により、子どもの生活の幅を広げているか ・家庭と地域との関係作りについても支援しているか			( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	 !録等
□ 1 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している			
□ 2 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子ど もが職員以外の人と交流できる機会を確保している			
評価項目 6-4-7 について			
良いと思う点	改善する必要があると思	う点	
サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の <b>尊</b> 評価項目 6-5-1	重		ı
評価項目 6-3-1 子どものプライバシー保護を徹底している			評点
[ねらい]・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか ・組織としての規定やしくみに則って行動しており、属人的な対応にな	っていないか		( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	録等
□ 1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた 場合には、保護者の同意を得るようにしている			
□ 2 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている			
評価項目 6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を奪	享重している		評点
[ねらい]・日常の中で、子どもの権利を擁護し、不適切な対応を排除しているか ・保護者の価値観等による子どもの生活習慣を考慮したうえで保育をし			( )
標準項目	私たちの実践例	その実践の記	録等
□ 1 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している			
子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無 2 視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している			
□ 3 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行って いる			
サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重良いと思う点	について 改善する必要があると思	う占	
K C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	<b>4、ロテツジ女が切り</b> した	シンボ	

## サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

Ī	平価項目 6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組み	ょをしている	評点
	[ねらい]・業務の一定水準を確保するため、手引書等を整備し、実施している。 ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない	ўз \	( )
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
	□ 1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供して いるサービスの基本事項や手順等を明確にしている		
	□ 2 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている		
	□ 3 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している		
	□ 4 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、 日常的に手引書等を活用している		
	平価項目 6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直	[す取り組みをしている	評点
	[ねらい]・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか・よりよいサービスをめざし、どのようなタイミングで見直しているか		( )
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
	□ 1 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見 直しの基準が定められている		
	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、 2 職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映する ようにしている		
	□ 3 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる		
ī	平価項目 6-6-3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		評点
	[ねらい]・職員全体が、一定のサービス水準を確保する取り組みをしているか・業務の標準化を図るためのOJT等多様な手段を評価する		( )
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
	□ 1 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や 手順等が職員全体に行き渡るようにしている		
	□ 2 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		
	□ 3 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		
	□ 4 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助 言・指導している		
	□ 5 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談 し、助言を受けている		
サ	ブカテゴリー6 事業所業務の標準化 について		
	良いと思う点 ロード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改善する必要があると思	う点

## 〔平成20年度〕

## 職員用組織マネジメント分析シート

#### 記入の手引き

#### 分析シートの構成

「組織マネジメント分析シート」は、8つの大きな「カテゴリー(評価の領域)」で構成されています。

ただし、6番目のカテゴリー「6.サービス提供のプロセス」は、巻末「職員用サービス分析シート(6.サービス提供のプロセス)」で評価し、このシートは使用しません。

#### 評価の進め方

- (1)まず「標準項目」の内容を確認し、その結果を考慮しながら「評価項目」の評価を行っていただきます。
- (2) カテゴリー 1 ~ 7 の評価は次の評点基準で行います。当てはまると思うところに 印を つけてください。
  - A ・・・・標準項目をすべて満たした状態
  - B ・・・・標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
  - C ・・・・標準項目をひとつも満たしていない状態

第三者評価の評点はA+、A、B、Cの4つですが、自己評価ではA、B、Cの3つの評点を使います。

(3) 職員用シートでは成果が上がったと思うことを記入していただき、それを参考に評価機 関が第三者評価を行います。

#### <参考>

カテゴリー8の評価は次の評点基準で行います

A+・・・計画的な取り組みによる改善傾向が確認できる状態

A ・・・・改善傾向が確認できる状態

B ・・・・取り組んでいるが改善傾向は確認できない状態

C ・・・・取り組んでいない状態

#### 回答シート

この「組織マネジメント分析シート」で評価したうえで、回答シートに転記し、回答シート のみ提出してください。

回答シートに記入していただいた内容は、第三者評価以外には使用しません。

なお、回答シートには事業所全体として 特によいと思う点、 特に改善したいと思う点 (各3つ以内)を記入する欄があります。

この欄は、「職員用サービス分析シート(6.サービス提供のプロセス)」も終わってから一番最後に記述してください。

#### カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

			評点		標準項目
	TIM-55日	Α	В	С	惊牛块口
		()	()	()	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	事業所が目指していること(理				事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の 理解が深まるような取り組みを行っている
1-1-1	念、基本方針)を明確化・周知している				事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者 本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
					重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビ ジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中 に確認できるなど)
4.4.2	経営層(運営管理者含む)は自 らの役割と責任を職員に対して	0	0	0	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
1-1-2	表明し、事業所をリードしている				経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
	重要な案件について、経営層	0	0	0	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
1-1-3	(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を				重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	関係者に周知している				利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその 内容と決定経緯を伝えている

## カテゴリー2 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

	評価項目		評点		標準項目	
	<b>叶叫块</b> 白	Α	В	C	1家牛块口	
2-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫			0	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	
2-1-1	理などを周知している				全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	
2-1-2	第三者による評価の結果公表、 情報開示などにより、地域社会	0	0	. ,	第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	
2-1-2	に対し、透明性の高い組織と なっている				透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	

#### サブカテゴリー2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

	₩/ж 12 C		京哨		福港市口			
<b>評価項目</b> 		Α	BC		標準項目			
2-2-1	事業所の機能や福祉の専門性		0		事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元して いる(施設・備品等の開放、個別相談など)			
2-2-1	2-2-1 をいかした取り組みがある				地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発 活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている			
			0		ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			
2-2-2	ボランティア受け入れに関する 基本姿勢を明確にし、体制を確 立している				ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			
	TO C (1)				ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝え ている			
2-2-3	地域の関係機関との連携を図っ	0	0	0	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している			
2-2-3	ている				地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を 整えている			

#### カテゴリー3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目		点鸭			標準項目	
		Α	В	C	1家干块口	
3-1-1	利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把	0	0		苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮な〈利用できる ことを、利用者に伝えている	
3-1-1	握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)				利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	
	利田本奈白の佐め、八七七廿一	()	0		利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	
3-1-2	利用者意向の集約・分析とサー  ピス向上への活用に取り組んで   いる				事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの 現状・問題を把握している	
					利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	
	444. 南米耳塔广照子 2 连邦大	0	0		地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	
3-1-3	地域・事業環境に関する情報を 収集し、状況を把握・分析してい る				福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	
					事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	

#### カテゴリー4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

評価項目		評点			標準項目	
		Α	В	С	像牛块口	
					理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
4-1-1	取り組み期間に応じた課題・計 画を策定している				年度単位の計画を策定している	
					短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組ん でいる	
		0	0	0	課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている 	
4-1-2	多角的な視点から課題を把握				課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	
4-1-2	し、計画を策定している				計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	
					計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の 増大など)を踏まえて策定している	
		0			計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
4-1-3	着実な計画の実行に取り組んで いる				計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失 敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	
4-1-3					計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	
					計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直 しをしながら取り組んでいる	

#### サブカテゴリー2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目		評点			標準項目
		Α	В	C	体牛块口
					利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割 分担を明示している
4-2-1	利用者の安全の確保・向上に計 画的に取り組んでいる				発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策 を策定している
	EMILING CALA				再発防止·予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている

#### カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目		評点			標準項目	
		Α	В	С	惊牛块口	
		0	0	0	事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	
5-1-1	事業所にとって必要な人材構成  にしている				事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている 	
					適材適所の人員配置に取り組んでいる	
		0			職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	
					職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	
5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる				個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	
					職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している 	
					職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本 人の育成に役立ったかを確認している	

#### サブカテゴリー2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目		評点			標準項目	
		Α	В	C	惊牛块口	
		$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	
5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判 断・行動と組織としての学びに 取り組んでいる				職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んで いる	
	AND CALE				職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	
		0			事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	
5-2-2	職員のやる気向上に取り組んで				就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組 んでいる	
J-Z-Z	113				職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	
					福利厚生制度の充実に取り組んでいる	

## カテゴリー7 情報の保護・共有

サブカテゴリー1 情報の保護・共有に取り組んでいる

評価項目			評点		標準項目	
		Α	В	С	惊华块日	
	事業所が蓄積している経営に関 7-1-1 する情報の保護・共有に取り組 んでいる				情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	
7-1-1					収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	
	70 ( ) 18				保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	
		0	0	0	事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	
7 4 2	個人情報は、「個人情報保護 法」の趣旨を踏まえて保護・共 有している				個人情報の保護に関する規定を明示している	
7-1-2					開示請求に対する対応方法を明示している	
					個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動で きるための取り組みを行っている	

#### カテゴリー8 カテゴリー1~7に関する活動成果

〇カテゴリー8は、カテゴリー1~7と評点のつけ方が異なり、以下のようになっています。

「A+」……計画的な取り組みによる改善傾向が確認できる状態

「A」 …… 改善傾向が確認できる状態

「B」…… 取り組んでいるが改善傾向は確認できない状態

「C」…… 取り組んでいない状態

このカテゴリーでの評価は、事業所の皆様に成果の上がったことを記入して頂き、それに基づいて評価機関が評点をつけます。

昨年と比べて成果が上がったと思う点をご記入ください。

→ こちらのカテゴリーは「職員用 回答シート」にご記入ください。

#### 貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点

〇上記について3つ以内でご自由にお答え下さい。

(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

## ○ 組織マネジメント分析シート(カテゴリー1~5、7) (あてはまるもの一つに"〇"をつけてください)

NO.	評点			
NO.	Α	В	С	
1-1-1				
1-1-2				
1-1-3				
2-1-1				
2-1-2				
2-2-1				
2-2-2				
2-2-3				
3-1-1				

	1		
NO.	i	評点	į
110.	Α	В	O
3-1-2			
3-1-3			
4-1-1			
4-1-2			
4-1-3			
4-2-1			
5-1-1			
5-1-2			
5-2-1			

NO.	評点					
110.	Α	В	С			
5-2-2						
7-1-1						
7-1-2						

0	昨年と比べてよくなったと思う点をご記入ください。	
	(カテゴリー8 カテゴリー1~7に関する活動成果	)

$\bigcirc$	<b>皇車業配の柱に白いし田2よ</b>	性にお羊したいも用るちた	スカ ズカッへ 四内 本プロ 由に む炊き
$\cup$	貝手未別の付に及いと応りは	、付に以苦したいと応り息を、	. それぞれ3つ以内でご自由にお答え
下	\$L\_		

特に改善したいと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあ わせてご記入下さい。)

## [平成20年度]

## 認可保育所

## 職員用サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)

#### 記入の手引き

#### ■サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)の位置づけと構成

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、 巻頭「組織マネジメント分析シート」のカテゴリー6「サービス提供のプロセス」をより詳細に 評価するためのものです。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、6つのサブカテゴリーに分かれています。

そして各サブカテゴリーはさらに評価項目、標準項目と、よりサービスの具体的な内容が記述されています。

#### ■評価の進め方

- (1) まず「標準項目」の内容を確認し、その結果を考慮しながら「評価項目」の評価を行っていただきます。
- (2) 評価は次の評点基準で行います。当てはまると思うところに○印をつけてください。

A ・・・・標準項目をすべて満たした状態

B ・・・・標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態

C ・・・・標準項目をひとつも満たしていない状態

N ・・・・知らない・分からない

(3) 自分が直接関わっていない仕事についてもなるべく自分の考えで評価してください。 ただし、見当がつかないという項目については「知らない・分からない」のNに ○をつけてください。

#### ■回答シート

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」で評価したうえで、 回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。 回答シートに記入していただいた内容は、第三者評価以外には使用しません。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、日常の業務点検などに活用していただければ幸いです。

#### カテゴリー6 サービス提供のプロセス

#### サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目	評点				標準項目		
計画視日		A B C N		N	保牛块口		
/ 「、、		保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものに している					
6-1-1 保護者等に対してサービスの情 報を提供している					事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		
					保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		

#### サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

TIND LANG	14194			- 7 -	2 / 3 / NC		
評価項目		評	点		標準項目		
		ABCN		Ν	""惊"中 <b>没口</b>		
	0	0	()	0	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		
6-2-1 サービスの開始にあたり保護者 に説明し、同意を得ている					サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		
					サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		
	0			0	サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		
サービスの開始及び終了の際   6-2-2 に、環境変化に対応できるよう					利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している		
支援している					サービス利用前の生活をふまえた支援をしている		
					サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている		

#### サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録

グノカノコリー3 個別1人がに	יטיי נ							
評価項目		評	点		標準項目			
計画項目	Α	В	С	N	<b>快华坝</b> 日			
必要に応じて、定められた手順		()		()	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している			
6-3-1 に従ってアセスメントを行い、子 どもの課題を個別のサービス場					子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している			
面ごとに明示している					アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている			
		()		()	計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている			
必要に応じて、子どもの様子や 保護者の希望、関係者の意見を					計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている			
<sup>0-3-2</sup> 取り入れた個別のサービス計画   を作成している					計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している			
					計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している			
必要に応じて、子どもに関する 6-3-3 記録が行われ、管理体制を確立			()	()	子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある			
している					計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移 したのかについて具体的に記録している			
6-3-4 子どもの状況等に関する情報を	()	0	()	()	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している			
<sup>0-3-4</sup> 職員間で共有化している					申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共 有化している			

サブカテゴリー4 サービスの実施

サフカテコリー4 サービスの 評価項目	<u> </u>	評	点		標準項目
計画項目	Α	В	С	N	******
					子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を 把握している
					子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている
6-4-1 子どもの発達を促すための保育 を行っている					多様な表現活動や園外活動を計画している
					文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている
					障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している
					メニューや味付けなどに工夫を凝らしている
					子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している
6-4-2 栄養バランスを考慮したうえで、 おいしい食事を出している					食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している
					快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている
					【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて 行っている
	()		0	()	子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している
6-4-3 子どもが心身の健康を回復・維					乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある
<sup>0-4-3</sup> 持するための支援を行っている					医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している
					保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている
		( )		$\bigcirc$	子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)
園内の生活が、子どもたちに 6-4-4 とって楽しく快適なものになる工 夫を行っている					園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている
7211700					お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている
	0		0		保護者などが常時参観できるしくみがある
					便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭 に紹介している
6-4-5 保育所と家庭との交流・連携を 緊密に行っている					保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている
					保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている
					保護者からの相談に応じる体制を整えている
	()		()		虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている
お生味よの味はむもは女に虫					職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実 を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えてい
6-4-6 虐待防止の取り組みや育児困 難家庭への支援を行っている					る 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども 家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるよ うな体制を整えている
					子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との 共通認識を得る取り組みを行っている

評価項目		評	点		標準項目		
計画視日	Α	В	О	Ν			
地域との連携のもとに子どもの 6-4-7 生活の幅を広げるための取り組		$\left( \cdot \right)$	()	()	保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している		
みを行っている					保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外 の人と交流できる機会を確保している		

## サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目		評	点		標準項目		
<b>計画視日</b>	A B C N		Ν	[			
6-5-1 子どものプライバシー保護を徹			()		子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている		
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている		
			( )		日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		
サービスの実施にあたり、子ど 6-5-2 もの権利を守り、個人の意思を 尊重している					子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している		
					子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		

#### サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

サノカナコソーひ 争未別未依	, <b>-</b> > 1;	<u> </u>					
評価項目		評点			標準項目		
		В	С	Ν	[		
		0	()		手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービス の基本事項や手順等を明確にしている		
手引書等を整備し、事業所業務 6-6-1 の標準化を図るための取り組み					手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている		
をしている					提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか を点検している		
					職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引 書等を活用している		
ユービュのウトナルギーマ 市		0	()		提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準 が定められている		
サービスの向上をめざして、事 6-6-2 業所の標準的な業務水準を見 直す取り組みをしている					提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護 者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		
直 9 4人 7 100 7 2 0 2 0 10					職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる		
	0	0	()	()	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員 全体に行き渡るようにしている		
					職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		
6-6-3 さまざまな取り組みにより、業務 の一定水準を確保している					職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		
					職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		
					職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		

#### 一 認可保育所版 一

## 職員用 : 回答シート

施設:	事業所名	:				

「A」…… 標準項目をすべて満たした状態 「C」…… 標準項目をひとつも満たしていない状態

「B」……標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態 「N」……知らない・分からない(サービス分析シートのみ)

## 〇回答者属性 (どちらかに"〇"をつけてください)

リーダー層
一般職員

## 〇サービス分析シート(カテゴリー6) (あてはまるもの一つに"〇"記入してください)

NO.		評点									
NO.	Α	В	O	Ν							
6-1-1											
6-2-1											
6-2-2											
6-3-1											
6-3-2											
6-3-3											
6-3-4											

NO.		評点								
NO.	Α	В	O	Z						
6-4-1										
6-4-2										
6-4-3										
6-4-4										
6-4-5										
6-4-6										
6-4-7										

NO.	評点			
	Α	В	С	N
6-5-1				
6-5-2				
6-6-1				
6-6-2				
6-6-3				
-				